

法政大学 工学部 マンドリンクラブ
60周年記念誌



2024年9月

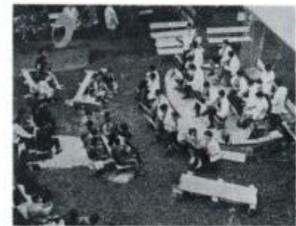
目 次

I 法政大学工学部 マンドリンクラブ沿革	4
II クラブ活動	
1. 定期演奏会プログラム	6
2. 定期演奏会曲目	14
3. 地方演奏会曲目	73
4. ジョイントコンサート曲目	77
III OB/OG 寄稿	101
IV 資料室	
1. 会則	123
2. 定期演奏会パンフレット詳細	127
3. 地方演奏会パンフレット詳細	312
4. ジョイントコンサートパンフレット詳細	319
5. OB/OG 名簿	378
V 編集後記	383

I 法政大学工学部 マンドリンクラブ沿革

創設期(1957~1963)

我がクラブが誕生したのは今から21年前、昭和32年の春でした。当時法政大学工学部はまだ麻布に有り、校舎も狭く当然部屋も無く楽器は各自が持ち歩いてました。ですから活動も同好会的なもので、集まっても合奏というよりも雑談に花が咲くといった具合いで部員数もわずか、その大半がギター奏者でギタークラブの色彩が強く、名称もマンドリン・ギタークラブとなっていました。そうして数年が過ぎて行くうちに昭和35年頃より次第にクラブとしての形を整え始め、36年には三の橋旧工学部三番教室においてレパトリーわずか3曲で第1回演奏会の初舞台を踏むのです。以後、初めての合宿を長野のお寺で行ない、工学祭に於ける第2回演奏会が開かれ、38年には待望の学外演奏会として第12回HOPE CONCERT(六大学コンサート)への出演を果し68年まで続けました。こうして我がクラブは着々と第1回定期演奏会を目指して活動を続けます。



S 38 工学祭
麻布校舎中庭での演奏

拡大期(1964~1968)



小金井移転当時 地下2階
穴倉部屋

39年、工学部が現在の小金井に移転すると同時に、我がクラブは文化連合(工学部内文化系サークルの自治組織)で最大の部員数にまで成長し、その年の11月11日、創立7年目にして第1回定期演奏会を開催し、翌40年には部室を獲得、名称をマンドリンクラブと改称しました。尚この年の第14回HOPE CONCERTに於いては、フルート奏者が負傷欠場し、ピンチヒッターに冷汗をかくというアクシデントがあったそうです。また地元小金井市の市民祭等の行事参加もこの頃から積極的に行なわれる様になりました。41年には工学部音楽団体によるスプリングコンサートが始まり、42年第1回オール法政を開催するなど活発な活動が始まります。

成長期(1969~1972)

44年、クラブとして初の試みとして地方公演を長野県伊那市で行ない地方公演の地盤を固めました。しかしこの年は当時の学園紛争による学校閉鎖により第6回定期演奏会中止、第3回オール法政の出演辞退という年でもありました。翌45年にも富山公演が行なわれ、その収益によりベースを購入するなど地方公演全盛の頃でありました。ここで当時のプログラムより地方公演を前にした夏合宿の思い出の一節を御紹介しましょう。「8月10日新宿駅に集合、お盆の帰省客で満員になるという情報あり、前日から駅に集まって座席確保を目指した者十数名、なかには数名新宿駅を抜け出し、真夜中に駅から締め出しをくらったバカなやつもいたナー。前日からたむろしていた者の意に反して、翌日集合した者も全員座席につき、なにはともあれ列車は雑踏の新宿駅を後にし、一路白馬へ……」

蛭雪期(1973~1975前)

48年頃より部員数の減少という事態にみまわれ、やむなく地方公演を中断します。翌49年にはわずか36名となり、クラブ顧問であった高橋先生の死去、50年1月クラブ技術顧問で東京マンドリン宮田楽団(当時、東京宮田楽団)の主宰であり、我がクラブ創設当時からクラブ発展にお力ぞえ下さった宮田俊一郎先生の死去と重なる不幸に、クラブとしても受難の時期でありましたが、楽団員の地力を養う為に技術面の向上の努力が成されました。

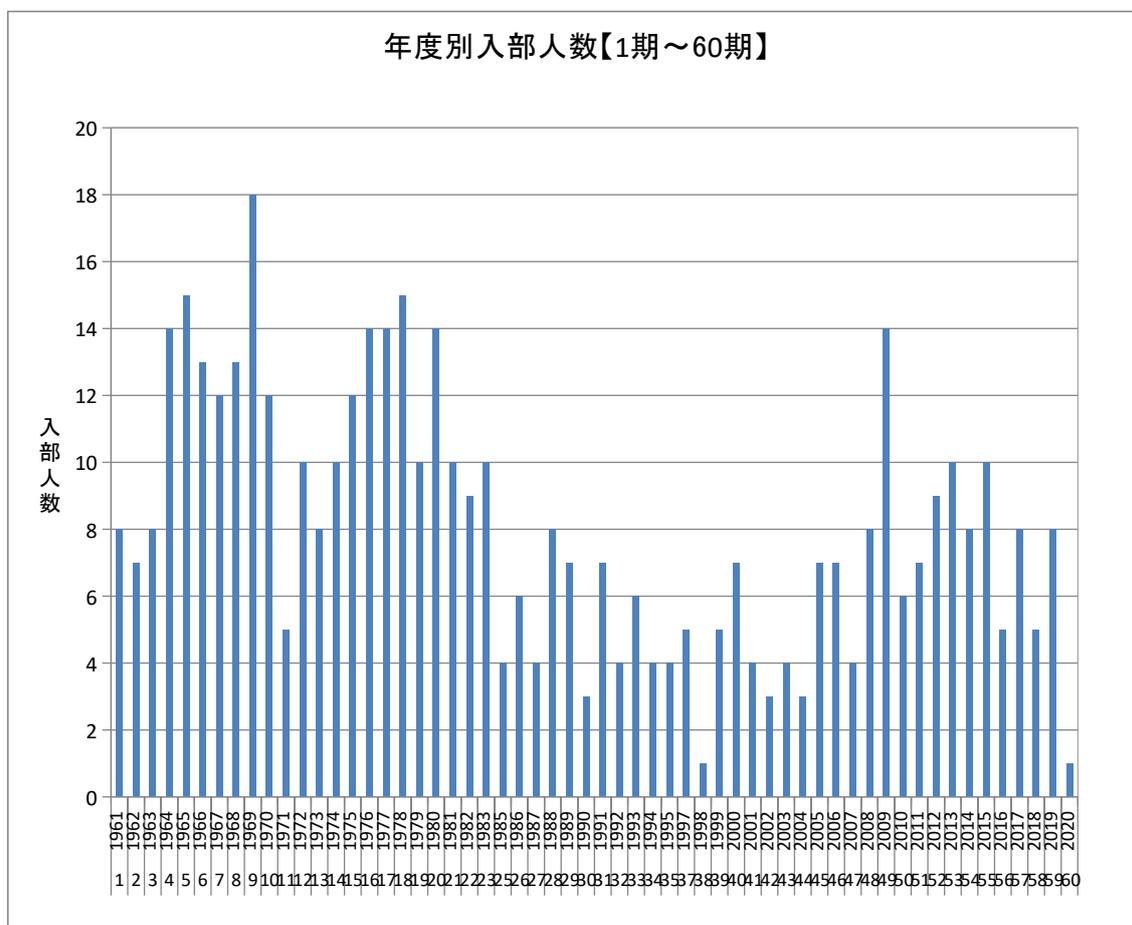
発展期(1975後~∞)

51年、それまでのスプリングコンサートに変わって、ジョイントコンサートを東洋女子短期大学と行い新分野を開拓。翌52年にはクラブ創立20周年という事でOB・OGを招いての記念パーティー、名簿作成等が行なわれ、部員数も安定した増加を始め、本年約60名とかつての全盛期とほぼ同数になり、清泉女子大との100名をこすジョイントコンサート、五年間中断されていた地方公演復活等、クラブの新たな躍進、発展へと向けてさらに大きくはばたき始めたところと言えるでしょう。

以上簡単にHTMCの略史を述べてまいりましたが、今後、20回、30回と我がクラブが演奏会を重ね、より充実したクラブへと発展しますよう、どうか皆さんこれからも暖かく見守って下さるようお願いいたします。

上記は15回定期演奏会(1973年)のパフレットに掲載された内容です。

クラブ創設依頼、定期演奏会は継続され 2023 年に第 60 回の節目を迎えることができました。また、第 1 期（1961 年度：入部年度）から第 60 期（2020 年度）までの入部者数は 467 名にのぼっております。各年度の入部者の推移は下記となります。



第 9 期（1969 年）に入部数がピーク 18 名となり、その後減少傾向にありましたが、第 2 のピークが 1978 年（15 名）の入部となっています。

全体として入部数は低めの推移となっておりますが 0 名の年は今までありません。

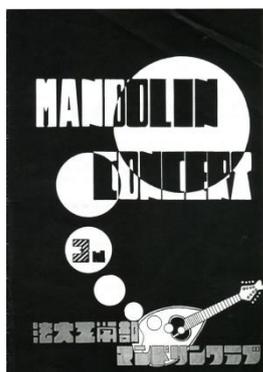
ここまで継続しクラブを支えて頂いた部員には頭が下がる思いです。

今後は火を消すことなく、発展と継続を望みます。

II クラブ活動

1. 定期演奏会プログラム

第3回定期演奏会



第4回定期演奏会



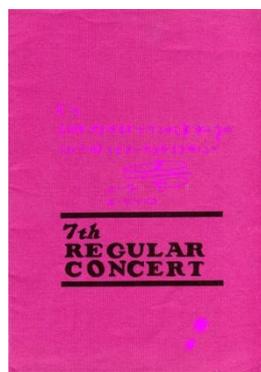
第5回定期演奏会



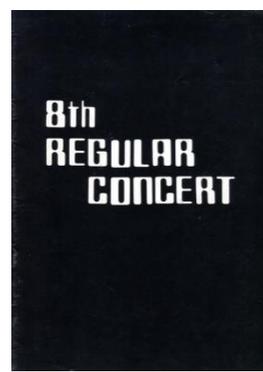
第6回定期演奏会



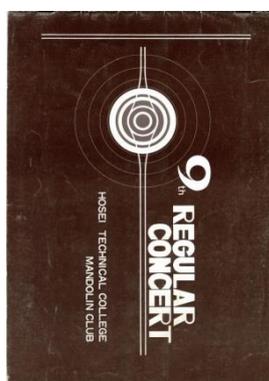
第7回定期演奏会



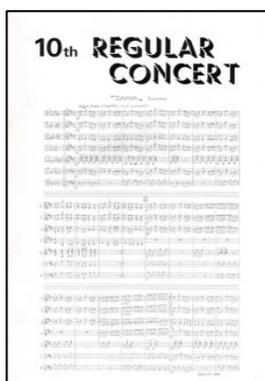
第8回定期演奏会



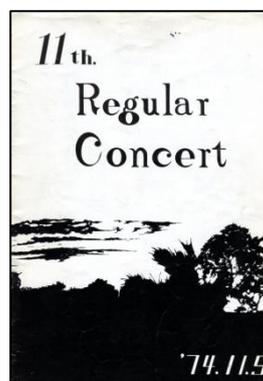
第9回定期演奏会



第10回定期演奏会



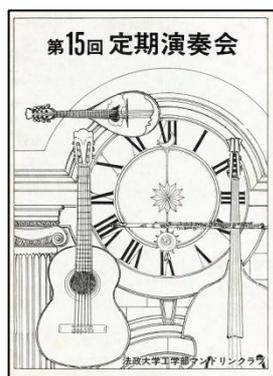
第11回定期演奏会



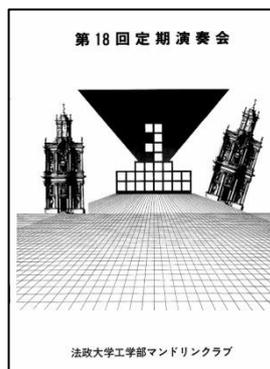
第12回定期演奏会



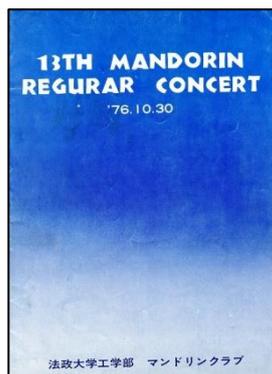
第15回定期演奏会



第18回定期演奏会



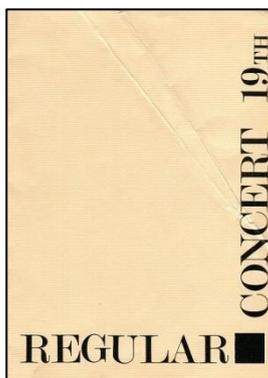
第13回定期演奏会



第16回定期演奏会



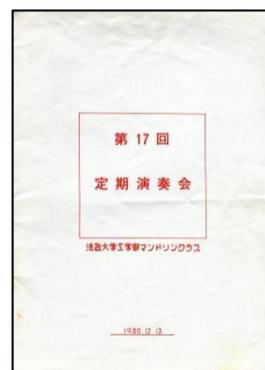
第19回定期演奏会



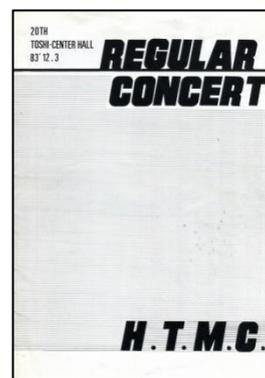
第14回定期演奏会



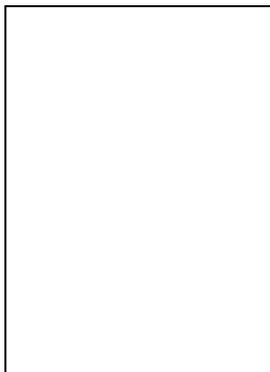
第17回定期演奏会



第20回定期演奏会



第 21 回定期演奏会



第 22 回定期演奏会



第 23 回定期演奏会



第 24 回定期演奏会



第 25 回定期演奏会



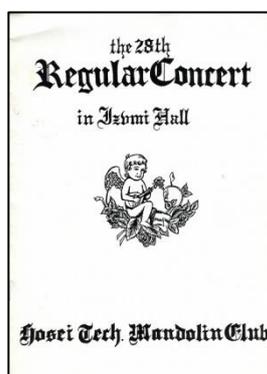
第 26 回定期演奏会



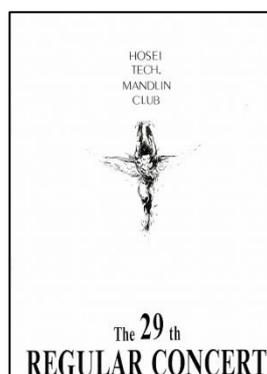
第 27 回定期演奏会



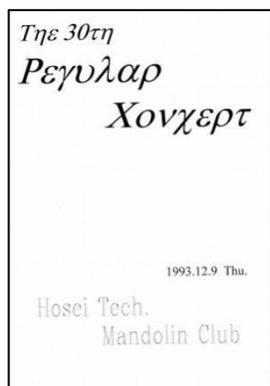
第 28 回定期演奏会



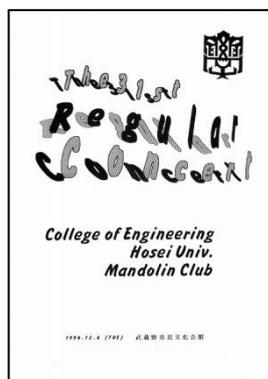
第 29 回定期演奏会



第 30 回定期演奏会



第 31 回定期演奏会



第 32 回定期演奏会



第 33 回定期演奏会



第 34 回定期演奏会



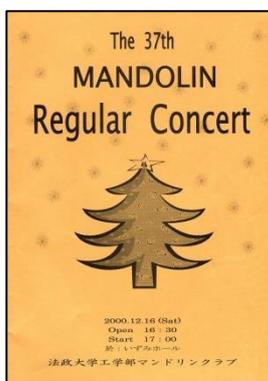
第 35 回定期演奏会



第 36 回定期演奏会



第 37 回定期演奏会



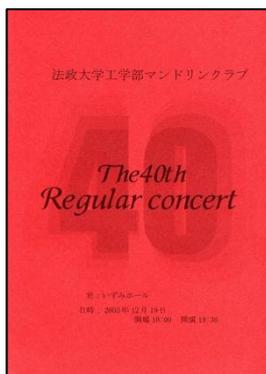
第 38 回定期演奏会



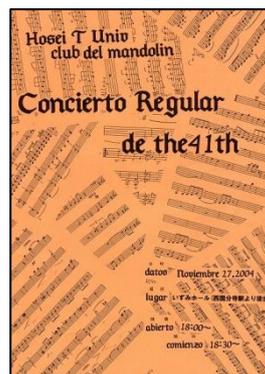
第 39 回定期演奏会



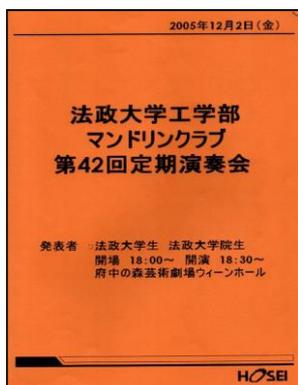
第 40 回定期演奏会



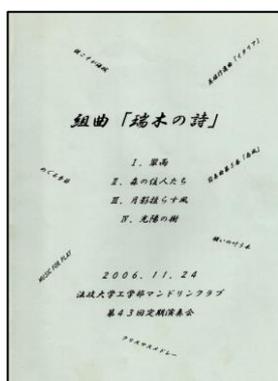
第 41 回定期演奏会



第 42 回定期演奏会



第 43 回定期演奏会



第 44 回定期演奏会



第 45 回定期演奏会



第 46 回定期演奏会



第 47 回定期演奏会



第 48 回定期演奏会



第 49 回定期演奏会



第 50 回定期演奏会



第 51 回定期演奏会



第 52 回定期演奏会



第 53 回定期演奏会



第 54 回定期演奏会



第 55 回定期演奏会



第 56 回定期演奏会



第 57 回定期演奏会



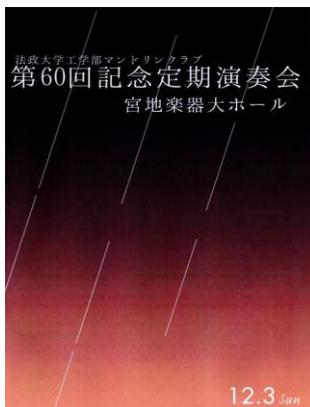
第 58 回定期演奏会



第 59 回定期演奏会



第 60 回定期演奏会



II クラブ活動

2. 定期演奏会曲目

第3回 1966年11月20日(日) 18:00 厚生年金会館

第1部	マンドリンオリジナル	
	序曲ニ長調	K.Wolk
	序曲イ長調	K.Wolk
	魔女の谷	Fr.Mennichetti
	悪魔と天使	宮田俊一郎 編曲
第2部	クラシック	
	歌劇“オラウッチ兄弟とクリアッチオ兄弟”より序曲	D.Cimarosa
	歌劇“秘密の結婚”よりその序曲	D.Cimarosa
	別れの曲	Chopin
第3部	ギターの調べ	
	ラ・クンパルシータ	ロドリゲス
	メヌエット2題	バッハ
第4部	ポピュラー	
	慕情	サミーフェイン
	黒いオルフェ	宮田俊一郎 編曲
	カタリカタリ	宮田俊一郎 編曲
	浜辺の歌	成田 為三
	愛の賛歌	マグリット・モノー
	引き潮	ロバート・マックウエル
	青空	Barnabas von Geczy
	奥様お手をどうぞ	山口吉 雄 編曲
	恋心	井上 健 編曲
	オレガッパ	宮田俊一郎 編曲
	夜のタンゴ	菊池 隆 編曲



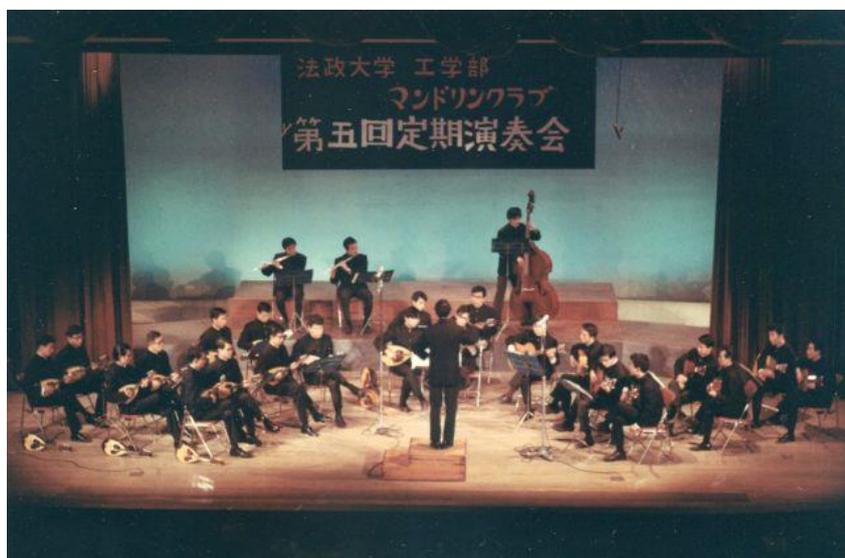
第4回 1967年11月11日(土) 18:00 日本青年館ホール

- | | | |
|-----|---|---|
| 第1部 | マンドリンオリジナル
サンジェスト寺院の鐘
西域より
マンドリニストの群れ
ジプシーラブソディ
秘密の結婚 | I.Bittelli
川崎 貞利
C.A.Bracco
M.Maciocchi
D.Cimarasas |
| 第2部 | ギターの調べ
思い出のソレンツァラ
マリア・エレナ
他 | 向井 俊博 編曲 |
| 第3部 | マンドリン世界の旅
八木節
双頭の鷲の旗の下に
リトルボーイ
マカレナの乙女
キサス・キサス・キサス
ブラジル
ヴィオレッタに捧し歌
マニヒリメレ | 宮田俊一郎 編曲
日本
ドイツ
フランス
スペイン
メキシコ
ブラジル
アルゼンチン |



第5回 1968年11月16日(土) 18:00 日本青年館ホール

- 第1部 マンドリンオリジナル
- | | |
|---------|-------|
| 序曲ニ長調 | ヴェルキ |
| 序曲イ長調 | ヴェルキ |
| ハムライゼ | マチョッキ |
| 水車小屋の乙女 | マチョッキ |
- 第2部 マンドリンによる映画音楽祭
- | | |
|----------|---------------|
| 八十日間世界一周 | 宮田俊一郎 編曲 |
| 魅惑の宵 | ビクターヤング |
| エデンの東 | リチャード・ロジャース |
| 夜霧のしのび逢い | レオナード・ローゼンマン |
| 禁じられた恋の島 | J・V・ヴェテッル |
| チョコと鮫 | カルロ・ルスティケリ |
| ドレミの歌 | フランチェスコ・デ・マージ |
| | リチャード・ロジャース |
- 第3部 ギターアンサンブル
- | | |
|-----------|---------|
| オリエンタルダンス | ロシア民謡 |
| 花祭り | ペルー民謡 |
| タンブラン | J.F.ラモー |
| 他 | |
- 第4部 ラテン音楽
- | | |
|---------|----------------|
| キエンセラ | 宮田俊一郎 編曲 |
| ベサメムーチョ | P・ベルラン・ルイス |
| 夜のバイオリン | ベラスケス |
| シボネー | チェザレ・アントレ・ヒクシオ |
| フレネシ | レコーナ |



第7回 1970年12月6日(日) 17:30 久保講堂

- 第1部 マンドリンオリジナル
序曲「レナータ」 L.G.Lavitrano
ムーア風グラナダ M.M.Garcia
海の組曲 Amadio Amadei
水車小屋の乙女 マチョッキ
- 第2部 ギターアンサンブル
イギリス組曲 第3番より「ガボット」 J.S.Bach
管弦楽曲 第2番より「ロンド」「ブーレー」 J.S.Bach
真珠採りのタンゴ G.Bizet
ラ・クンパルシータ G.H.Matos Rodriguez
- 第3部 クラシック
ペルシャの市場にて A.W.Ketelbey
美しく碧きドナウ Joram Stowss
秘密の結婚 Dominico Cimarosa
- 第4部 ポピュラー
宮田俊一郎 編曲
日本民謡(五木の子守唄、よさこい節、津軽ジョンガラ節、花笠音頭、八木節)
ラテン(タブー、サンバクマーナ)
映画音楽(愛の誓い、ララのテーマ、旅情のボレロ)



法政大学工学部マンドリンクラブ第7回定期演奏会於久保講堂'70.12.6

第8回 1971年11月12日(金) 18:00 都市センターホール

- 第1部 マンドリンオリジナル
序曲「第二番嬰へ短調」 K・ヴェルキ
ローマの衣装 C・ガランティ
熱情 ブランツォリー
- 第2部 クラシック
エジプトの秘境 A・ケテルビー
皇帝円舞曲 J・シュトラウス
序曲「セヴィリアの理髪師」 ロッシーニ
- 第3部 ギターをテーマとした調べ
Sealed With A Kiss
Close To You
黒いオルフェ
- 第4部 華麗なるマンドリンの世界
恋よさようなら 山中 正博編曲
ロミオ&ジュリエット 山中 正博編曲
愛はすべてを超えて(女王陛下の007より) 塚田 好夫編曲
夏の日の恋 根本 純一編曲
枯葉 内藤 泰明編曲
アルフィーサンホセの道 森下 和夫編曲
男と女 内藤 泰明編曲
ある恋の物語 宮田俊一郎 編曲



東京都交響楽団 (北政大学工学部マンドリンクラブ) 東京都センターホール 71.11.12 撮影・編集 写真美術研究所

第9回 1972年11月18日(金) 17:30 都市センターホール

第1部 マンドリンオリジナル

雪

H.ジャッチト・ラビトラー

風車場のほとりにて

クーレー

妖精の舞

ブージェロン

第2部 クラシック

詩人と農夫

F・スッペ

弦楽セレナード ト長調

W.Aモーツァルト

「アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク

第3部 ギター名曲の調べ

アルハンブラの思い出

F.タルレガ

愛のロマンス

スペイン民謡

ギター協奏曲ニ長調

A.ヴィバルディ

インペンション No1

J.S.バッハ

第4部 マンドリン音楽の魅力

ママに捧げる詩

森下 和夫編曲

ゴッドファーザー

鈴木 繁編曲

愛よ永遠に

鈴木 繁編曲

碧い影

鈴木 繁編曲

デライラ

塚田 好夫編曲

キスオブファイア

塚田 好夫編曲

グラナダ

宮田俊一郎編曲

ティコティコ

宮田俊一郎編曲



第10回 1973年11月24日(金) 18:30 厚生年金会館

第1部 マンドリンオリジナル

序曲ニ長調

K.Wolki

ハンガリーの旅

Fr.Menichetti

レナータ

H.Lavitrano

第2部 クラシック

バグダッドの太守

Fr.A.ボアルデュー

学生王子のセレナーデ

ジークモント・ロンバルグ

歌劇「サンバ」序曲

ルイ・ジョセフ・フルナン・エロー

第3部 Easy Listening

エーゲ海の真珠

鈴木 繁編曲

ラストワルツ

高橋 俊博編曲

アドロ

鈴木 繁編曲

涙のカノン

塚田 好夫編曲

黒いワシ

塚田 好夫編曲

シバの女王

塚田 好夫編曲

セレソローサ

宮田俊一郎編曲

急流

宮田俊一郎編曲

エストレリータ

宮田俊一郎編曲

キサス・キサス・キサス

宮田俊一郎編曲

マンボ No5

宮田俊一郎編曲



第1部 オリジナル&クラシック

魔女の谷

メニケッティ

海の少女

服部 正

交響曲第8番「2楽章、3楽章」

ベートーヴェン

蝦夷

鈴木 静一

第2部 短き夜のための舞曲

ハンガリー舞曲

ブラームス

ドイツ舞曲

W・Aモーツアルト

組曲「くだものの舞曲」

武井 守成

第3部 Popular

パピヨンのテーマ

鈴木 繁編曲

旅情のボレロ

宮田俊一郎編曲

涙のトッカータ

手塚 賢一編曲

カタリカタリ

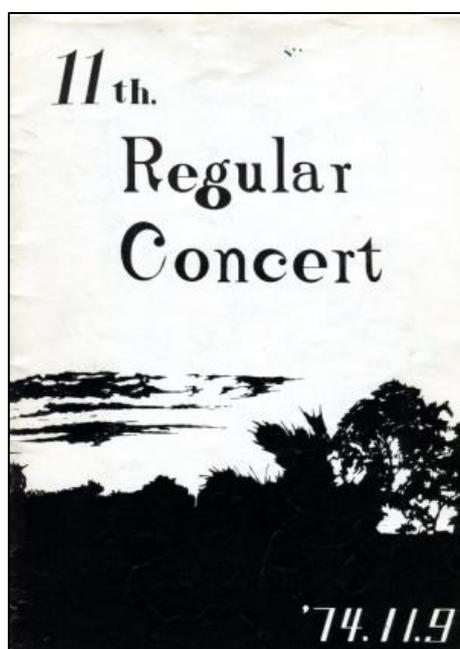
宮田俊一郎編曲

碧空

宮田俊一郎編曲

ティコティコ

宮田俊一郎編曲



第1部 オリジナル

Die Heimreise

武蔵野の秋

イタリア風序曲ト長調

Die Grosse Stunde

コンラット・ヴェルキ

宮田 俊一郎 (作曲)

D・ジョバンニ

コンラット・ヴェルキ

エルキ

第2部 クラシック

組曲「第2番」(ロ短調)より

「椿姫」第1幕への前奏曲

金と銀

J.S.バッハ

ジュゼッペ・ヴェルディ

フランツ・レバール

第3部 ポピュラー

アルディア

天使のセレナーデ

愛よ永遠に

マイアミビーチルンバ

エルクンバンチェロ

ベサメムーチョ

クマーナ

マカレナの乙女

宮田俊一郎編曲

宮田俊一郎編曲

宮田俊一郎編曲

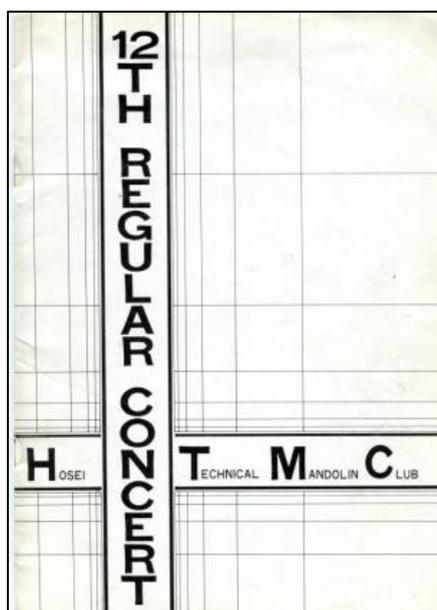
宮田俊一郎編曲

宮田俊一郎編曲

宮田俊一郎編曲

宮田俊一郎編曲

宮田俊一郎編曲



第1部 オリジナル

シュバーベン序曲

R.クレベス

秋と空と海と

宮田俊一郎

ロマン的協奏曲

K.ヴェルキ

Die Grosse Stunde

コンラット・ヴ

エルキ

第2部 クラシック

ペールギュント

E.グリーク

「第1組曲」、「第2組曲」

第3部 ポップ・クラシカル・ミュージック

G線上のアリア

J・S・バッハ

シンコペイティド・クロック

L・アンダーソン

亜麻色の髪の乙女

C・ドビュッシー

ピアノ・ソナタ

W・A・モーツアルト

夢

C・ドビュッシー

第4部 ラテン特集

旅の出て、そして

塚田 好夫

ビギン・ザ・ビギン

宮田俊一郎編曲

ソラメンテ・ウナ・ベス

榊原 崇編曲

ブラジル

宮田俊一郎編曲

マンボ No5

宮田俊一郎編曲

マラゲーニア

手塚 賢一編曲



206

法政大学工学部マンドリンクラブ第13回定期演奏会 於都市センター 551.10.30
 ■CONDUCTOR 住藤弘基 ■CONCERT-MASTER 榊原崇 ■司会 榊沢寛行 撮影・テス飯島舞台写真

第1部 クラシック&オリジナル

歌劇「フィガロの結婚」序曲

W.A.Mozart

2つのマンダリンのための協奏曲ト長調

D.A.Vivaldi

パストラル・ファンタジー

藤掛 廣幸

管弦楽組曲 第2番より「ポロネーズ」

J.S.Bach

喜歌劇「こうもり」序曲

J.Strauss

第2部 定演第15回 記念ステージ

第3部 ポピュラー

アフリカン・シンフォニー

バン・マッコイ

コーヒー・ルンバ

ホセ・マンソ

ティコ・ティコ

セキーヤ・アヴレウ

エストレリータ

マヌエル・ポンセ

勝手にシンドバット

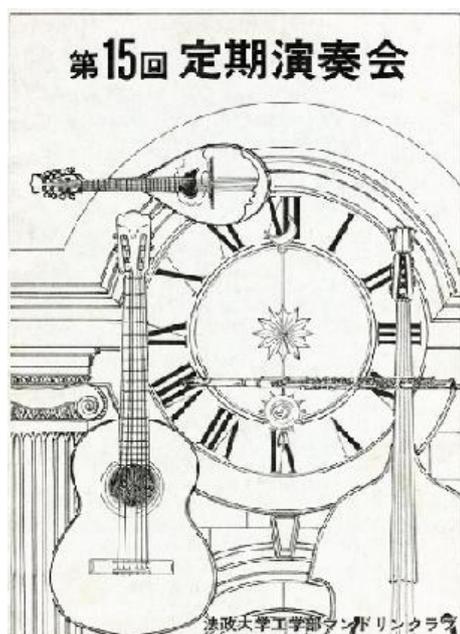
桑田 佳祐

マカレナの乙女

パウルティスク・モンテルゲ

マンボ No5

ペレス・ブラード



第1部 クラシック&オリジナル

序曲「ニ長調」

カデリア

歌劇「セヴィリアの理髪師」序曲

スラヴ舞曲 第10番

スラヴ行進曲

ファルゴ

馬淵 邦夫

ロッキーニ

ドボルザーク

チャイコフスキー

第2部 ギターアンサンブル

カノン

ラルゴ

アストゥリアス

第3部 ポピュラー・ラテン

パリのあやつり人形

魅せられて

思い出は美しすぎて

ポーラースター

It's all right With me

キャリオカ

クマーナ

Carbaval~Let the Children Play~Jugando



第1部 クラシック

ボルガ「狩り」

J.シュトラウス

円舞曲「ウィーンの森の物語」

J.シュトラウス

協奏曲集「調和の幻想」より第11番

A.ヴィヴァルディ

歌劇「ルスランとリュドミラ」

M.格林カ

愛のあいさつ

E.エルガー

ハンガリー狂詩曲第2番

F.リスト

第2部 ポピュラー

歌劇「ルスランとリュドミラ」Part II

M.格林カ

ライディーン

高橋 ユキヒロ

The cat's song

童謡メロディ



第18回 1981年

第1部 マンドリンオリジナル

大いなる時代

KONRAD.WOIKI

思い出のバラライカ

JOH.B.KOK

魔女の谷

FR.MENICHTTI

台所用品による変奏曲

DON.GILLIS

四年生紹介 (全14曲)

BREAKFAST TIFFANY'S

H.MANCINI

第2部 クラシック

交響曲《シェラザード》作品35

リムスキー・コルサコス

「千一夜物語」による

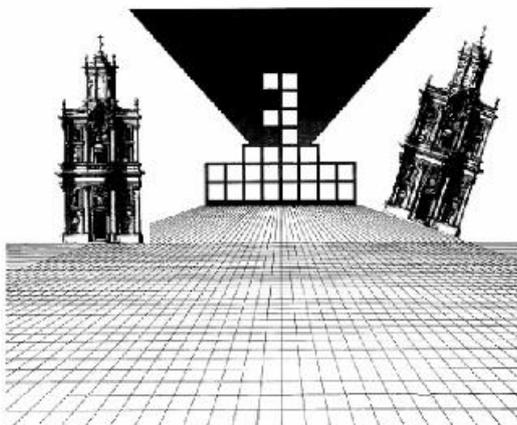
I 海とシンドバットの船

II カランダール公の物語

III 若い王子と若い王女

IV バグダットの祭、海、船の難波

第18回定期演奏会



法政大学工学部マンドリンクラブ

第19回 1982年

第1部

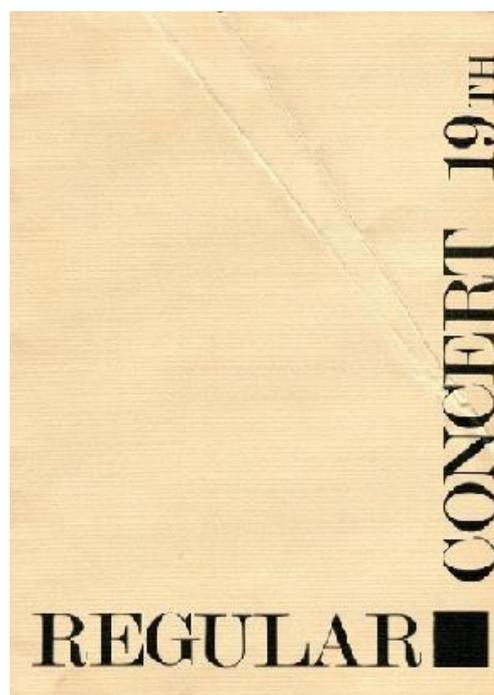
ペールギュント組曲より “山の王の宮殿にて”	グリーグ
中央アジアの草原にて 歌劇「タンホイザー序曲」	ボロディン ワーグナー
パストラール・ファンタジー	藤掛 廣幸

第2部

別れの朝
シボネー
さらばジャマイカ
コパカバーナ

第3部

舞踊組曲「胡桃割人形」より
第2楽章 行進曲
第3楽章 花のワルツ



第1部

喜歌劇「こうもり」序曲

J.シュトラウス

道化師の朝の歌

M.ラベル

舞踊組曲「ロメオとジュリエット」

S.プロコフィエフ

グランド・シャコンヌ

藤掛 廣幸

第2部

慕情

S.フェイン

4年生紹介

20回記念ステージ

第3部

SLAUGHTER ON IOTH AVENUE

R.Rodgers

BELEZA PULA

M.TANAKA

TELEPHONE LINE

E.L.O

BOHEMIAN RHAPSODY

F.Mercury

ONE LAST FAREWELL

N.Matsuoka

FUNKY FLUSHIN'

T.Yamanaka



第 1 部

遙かなるアラモ

Michelli

Oh! Darling

The Last Summer Day

Meu amor a.....

Island Girl

Ff (フォルテッシモ)

第 2 部

華麗なる大円舞曲 変ホ長調 作品 18

交響曲第 8 番 ト長調 作品 88

弦楽四重奏第 1 番 ニ長調 作品 11

管弦楽組曲第 2 番

弦楽セレナーデ

F.Chopin

A.Devorak

Tschaikowsky

J.S.Bach

Tschaikowsky



第 1 部

Kanon

交響曲「おもちゃ」

交響曲第 4 番 第 3 楽章

J.Pachelbel

J.G.Keopold Mozart

P.I.Tchaikovsky

第 2 部

Rock around the Clock

The Second to Heaven

雪が降る

Beautiful Dreamer

Fine Beauty's Bitch

素敵な花

Moving Vortex

第 3 部

四季より「冬」 第 2 楽章

歌劇「魔弾の射手」

Simple Symphony

A,Vivaldi

K.M.Weber

B.Britten

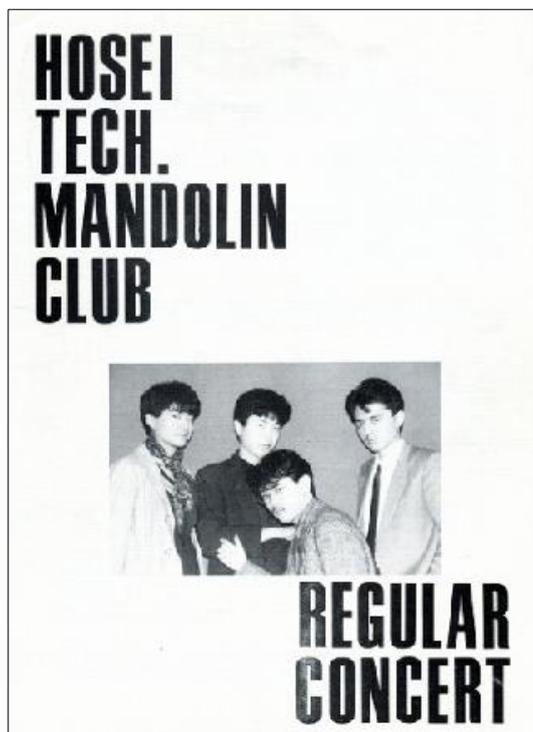


第 1 部

Gymnopedie	E.Satie
Time is on my Side	N.Meade
Lullaby of TAKEDA	Ballad of Kyoto
Grunblu	R.sato
Adegio und Fuga	W.A.Mozart

第 2 部

Two Aquarelles	F.Delius
Water Music	G.F.Handel
Serenade	.Dvorak



第 1 部

ホルベアの時代より
組曲“動物の謝肉祭”より
不思議な朝
ソナタ”悲愴“より第 2 楽章
“幻想交響曲”より第 2 楽章

E.H. グリーグ
サン・サーンス
佐藤 亮一
L.V. ベートーベン
ベルリオーズ

第 2 部

アダージョ
Johnny.B.Goode
BABY I'M EASY
鱒

T. アルビノーニ
C. ペリー
T. ブライス
F.P. シューベルト

第 3 部

弦楽六重奏
NEVER ON SUNDAY
白鳥の湖 より

J. ブラームス
M. バジャダギス
P.I. チャイコフスキー



第 1 部

合奏組曲 作品 6-1 より

G.F.Mandel

交響曲第 8 番より第 3 楽章

A.Dvorak

アルルの女より前奏曲

B.Bizet

第 2 部

The Longest Time

B.Joel

Queen of Awards

M.Goldenberg

Ave maria

F.P. シューベルト

別れの曲

F.ショパン

2 つのノルウェーの旋律

E.Grieg

第 3 部

ハンガリー舞曲第 1 番

J.Brahms

交響曲第 3 番より第 3 楽章

J.Brahms

歌劇 “運命の力” より序曲

G.Verdi



第1部

笑点
 空から降ってきた少女
 真実の果実
 エジプトの秘境にて

中村 八大
 レノン&マッカートニー
 桑田 佳祐
 A.W.ケテルビー

第2部

WIPE OUT
 主よ人の望みの喜びよ
 MIDNIGHT FLIGHT
 THIS NIGHT
 バクダットの太守

ベンチャーズ
 J・S・バッハ
 浜田 省吾
 ビリー・ジョエル
 F・A・ボアルデュー

第3部

交響曲第7番イ短調 作品92より
 シシリエンヌ 作品8 第3番
 歌劇“シチリア島の夕べの祈り”序曲

ベートーヴェン
 G・フォーレ
 G・ヴェルディ



第 1 部

君に Merry X'mas
あいたくなつた時に君はここにいない
ドーヴァーの白い思い出

小田 和正
桑田 佳祐
服部 克久

第 2 部

聖母たちのララバイ
Pavane 作品 50
ハンガリー舞曲第 5 番

大森 敏行・J.Scot
G.Faure
J.Brahms

第 3 部

小組曲「子供の遊び」
Noctune
「ウィーンの朝、昼、晩」序曲

G.Bizet
A.Borodin
F.Suppe



第 1 部

歌劇「ファウスト」よりワルツ

グノー

歌劇「予言者」より載冠子規行進曲

MEYER BEER

15 の夜

尾崎 豊

I Love You

尾崎 豊

第 2 部

星空のピアニスト

R. CLAYDERMAN

Tomorrow, Today

G. O'SULLIVAN

チャイコフスキーメドレー

P. Tchaikovsky

FAREWELL

LOUDNESS

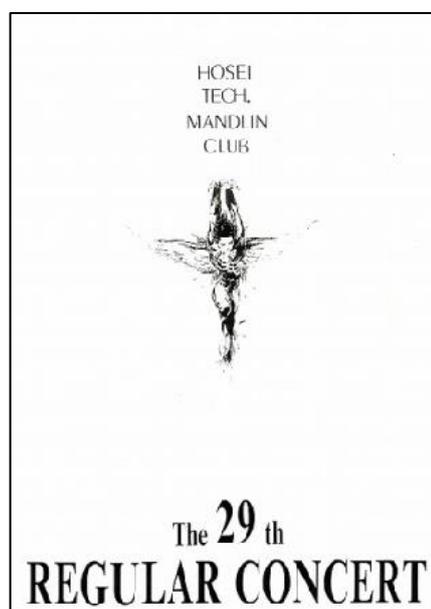
第 3 部

[展覧会の絵]より抜粋

M. Moussorgsky

IMPRESSIONS D'ESPAGNE

E. BOUCHERO



第1部

「さすらい人」幻想曲
G線上のアリア
組曲ドラゴンクエスト

Franz Schubert
J.S.Bach
すぎやまこういち

第2部

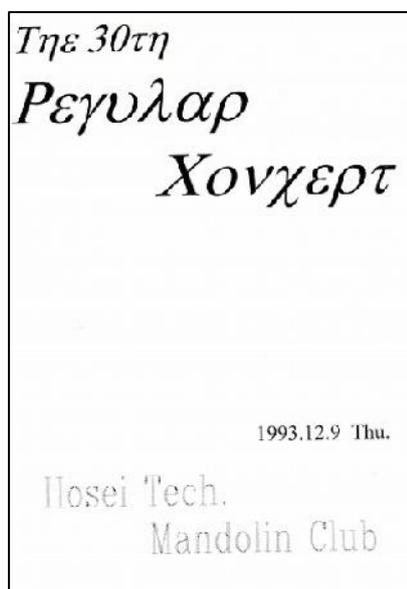
Hard to Say I'm Sorry
Peter Cetera/David Foster
CROSS TOWN TRAFFIC
SIR DUKE
WE ARE THE CHAMPIONS
TELSTAR

Jimi Hendrix
Stevie Wonder
Freddie Mercury
Joe Meek

第3部

前奏曲とマズルカ
～バレエ組曲「コッペリア」より
弦楽四重奏曲「アメリカ」へ短調作品 96

L. Delibes
Dvorak



第1部

「セレナード第13番 ト長調」K525
祈り
Die Halmelse (帰郷)

W.A.Mozart
U.Bottacchiari
K.Wolke

第2部

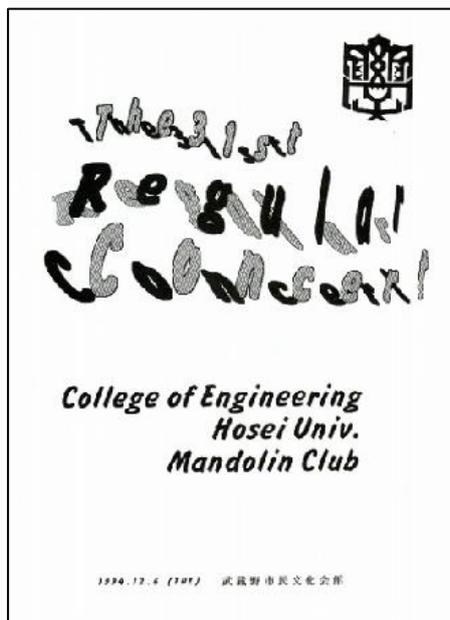
心の愛
Angel ～天使～
Yesterday Once More
クリスマス メドレー

S.Wonder
J.Hendrix
R.Carpenter
安藤 滋編曲

第3部

エスパニアカーニ
ロマン的協奏曲
マンドリンオーケストラの為のラブソング No6

K.WSLSKI
熊谷 賢一



第 1 部

歌劇「果敢なき人生」よりスペイン舞曲第一
皇帝円舞曲

M.D.Falla
J.Strauss

第 2 部

組曲「動物の謝肉祭」より 13 番「白鳥」
グリーンズリーブスの主題による幻想曲
THE FINAL COUNTDOWN
クリスマス メドレー
SACABOROUGH FAIR

SAINT-SANES
V.Williams
Europe
窪寺 将司編曲
青木健一郎編曲

第 3 部

スペインの印象
パストラルファンタジー

E.Boucheron
藤掛 廣幸



第1部

PRINCIPE DI PIEMONTE

G.Manemte

Serenate Napolitane

P.Silvestri

CARNIVAL OF ROSES

J.Olivadoti

第2部

B-Curry

渋谷 和俊編曲

When the Saints go marching in

American Folk Song

Never on Sunday

M.hadidakis

HELP!

J.Lennon

君を乗せて

久石 譲

第3部

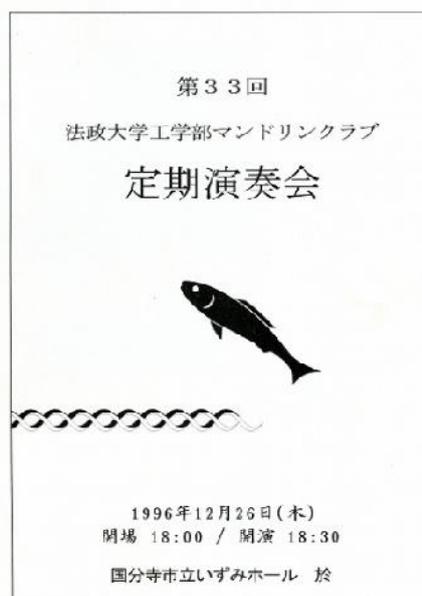
Die gobe Stonde

K.Wolki

(大きな時代)

マンドリンオーケストラの為の生命の時

藤掛 廣幸



第1部

小嶋

マンドリンオーケストラの為のソナチネ
英雄行進曲「イタリア」

H.Lavitrano

J.B.KOK

A.AMADEI

第2部

丘をこえて

ルパンⅢ世のテーマ

＜宮崎駿＝久石譲＞映画音楽メドレー

古賀 政男

大野 雄二

平井 朗編曲

第3部

スリーフレンチクリスマスキャロル

セレナーデ No2

NAWOKI 編曲

藤掛 廣幸



第1部

マンドリンオーケストラの為の4章より
(行進曲)

水野 真人

YAH・YAH ～あの時代を忘れない～
海の組曲

小笠原康弘編曲
アマディー

第2部 <OB・OG 合同ステージ>

ディズニーメドレー

平井 朗編曲

グリーンスリーブスの主題による幻想曲

平井 朗編曲

Pastral Fantasy

藤掛 廣幸



第1部

Let It Be

「シネマ・ストーリー」

福井 勝治編曲

平井 朗編曲

第2部

そりすべり

組曲「Toint」

Leroy Anderson

HTMC 4th YEAR ALL ST☆

RS

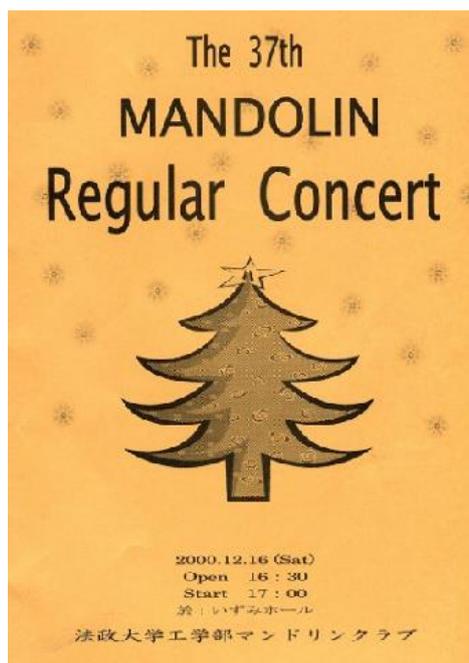
第3部

歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より間奏曲

星空のコンチェルト

P.Macstcagni

藤掛 廣幸



第1部

ビエモンテ皇子

青春の輝き

マンドリンオーケストラの為の4章

Manente

CARPENTERS

水野 真人

第2部

Laputa Fantasy

モーニング娘メドレー

久石 譲

つんく♂

第3部

星条旗よ永遠なれ

風の軌跡

J.Ph.Sousa

小林 直美編曲



第1部

英雄行進曲「Italia」

Amedeo Amadei

夢の後に

G.U.Faure

交響的前奏曲

Ugo Bottacchiari

第2部

ペケペケ

ユコーン

舞踊風組曲「ゴジラ vs モスラ」

平井 朗編曲

第3部

協奏曲第4番「冬」第2楽章

Antonio Vivaldi

二つの動機(モチーフ)

吉永 秀徳



第1部

踊る大捜査線のテーマ
ジブリメドレー

松本 晃彦
久石 譲

第2部

風の印象詩
アルハンブラ幻想曲

細野 照美
F.Tarrega

第3部

黄昏前奏曲
雲の行方

Dino Berruti
芝崎 利文



第1部

EI Cumbanchero

R.Fernandez

RuRU

Marionette

「八つのバラード」より

藤掛 廣幸

・星の子供

・フィナーレ

第2部

Dancing Queen

ABBA

RIVER DANCE

Bill Whelan

第3部

「夢うつつ」

U.Bottacchiari

Prelude2

吉永 秀徳



第 1 部

祝典序曲 「春」	藤掛 廣幸
ロシア民謡 ” 黒い瞳”	編曲：内海悟志
狂詩曲 ” 海”	鈴木 静一
・星の子供	
・フィナーレ	

第 2 部

卒業生演奏	
Swing Jazz メドレー	編曲：中村 明博
STAR WARS メドレー	John Williams

第 3 部

大陸の西	坂野 慎哉
組曲 「杜の鼓動」	丸本 大悟

第43回 2006年11月24日(金)

第1部

英雄行進曲「イタリア」	A.AMADEI
願いの叶う本	丸本 大悟
めぐる季節	高橋 太志

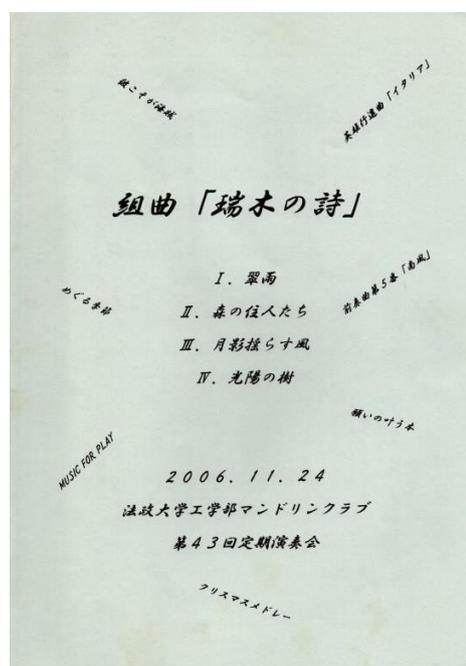
第2部

彼こそが海賊	Klaus Badeit
映画「パイレーツオブカリビアン」より	編曲：山本 雅三
クリスマスメドレー	編曲：貴俵 聡史
MUSIC FOR PLAY	Claudio Mandorino
I. ENTRATA II. CAZONA III. RITMICO	

第3部

前奏曲第5番「南風」	加賀城 浩光
組曲「瑞木の詩」	丸本 大悟

I. 翠雨 II. 森の住人たち III. 月影照らす風 IV. 光陽の



第1部

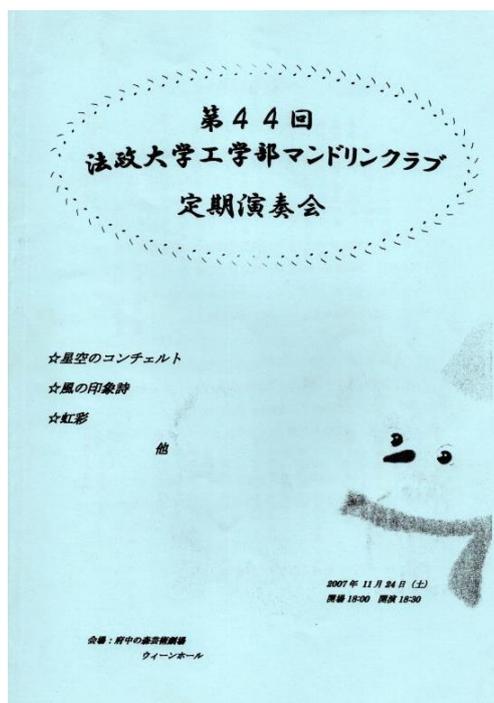
からす	藤掛 廣幸
～「バラード第一組曲」より～	
風の彼方へ	大村 慎一
星空のコンチェルト	藤掛 廣幸

第2部

Bittersweet Samba	Sol Lake
	編曲：茂木 勝俊
懐メロメドレー	編曲：貴俵 聡史
風の印象詩	細野 昭美

第3部

星の航路	柴崎 利文
前奏曲第3番「旅立ち」	加賀城 浩光
虹彩	丸本 大悟



第1部

「倅せな一日」序曲

J.Cimarosa

編曲：J.Nakano

忘れられし夢

L.Anderson

樹魂の歌

藤掛 廣幸

第2部

てんとう虫のサンバ

馬飼野 俊一

アクア -2つの小品風の塔のロンド-

永井 祐一

降誕祭りの夜

A.Amadei

第3部

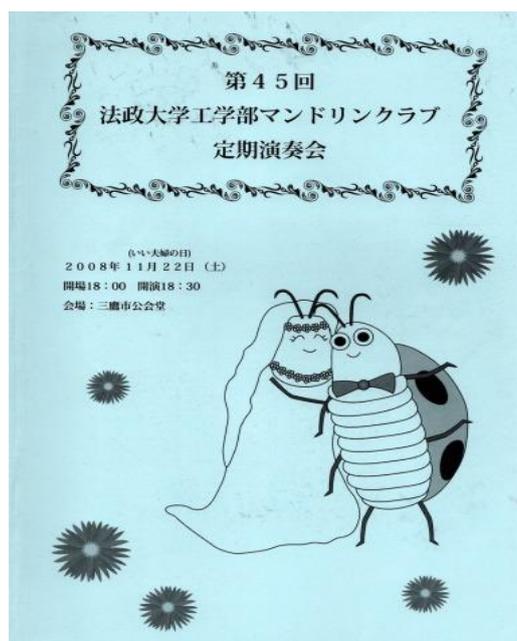
夏空の憧憬

鳶 大樹

ARSNOVA 組曲

末廣 健児

丸本 大悟



第1部

トランペット吹きの日
MOのための4章より 行進曲
Impression 1999

Leroy Anderson
水野 真人
舟見 景子

第2部

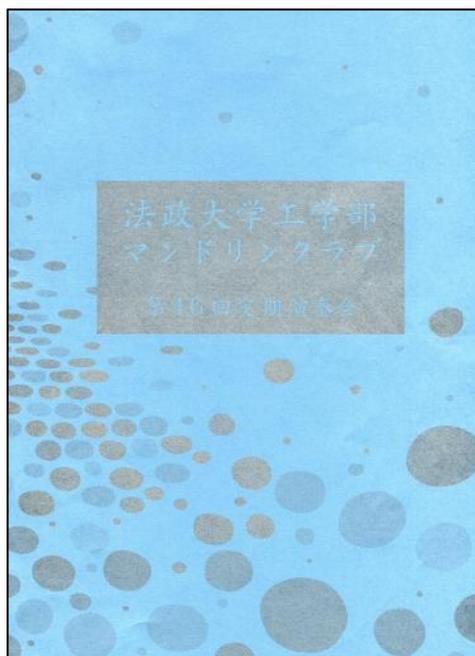
Rolling Strings
大陸の西 -Cabo da Roca-
MOのための妖精組曲より IV-Sylphe-

西方 淳一
坂野 信哉
二橋 潤一

第3部

ORION
杜の鼓動 ～魂の還る場所～
AZZURRO

森岡 万貴
丸本 大悟
丸本 大悟



第1部

踊り明かそう

Frederick Loewe

L'Tendre Pluie D'Arlequin ～道化師の優しい雨～

坂野 慎哉

十字軍～地平をこえて～

柴崎 利文

第2部

Plink Plank Plunk!

Leroy Anderson

Merry Charismas Mr.Lawrence

坂本 竜一

生命の詩

藤掛 廣幸

第3部

雪空のファンタジア

鴈 大樹

幻想的間奏曲 I

加賀城浩光

時の宝石

丸本 大悟



第 1 部

「スペイン」第 2 組曲より「祝宴」	鈴木 静一
In the mood	J.C.Garland
山河緑照	藤掛 廣幸

第 2 部

そり滑り	Leroy Anderson
アシタカせつ記	久石 譲
THE SOUND OF MUSIC	

第 3 部

AQUA EXPRESS	遠藤 秀安
杜の鼓動IV～桜の風景～	丸本 大悟



第1部

マンドリンオーケストラの為の4省 IVアレグロ	水野 真人
桜色の幻影	末廣 健児
星の航路	柴崎 利文

第2部

ムーン・リバー	Henry Mancini
Winter Wonderland	Felix Bernard
いきものがかりメドレー	水野 良樹

第3部

Impression II	舟見 景子
Planetarium	丸本 大悟



第 1 部

Rock'n March	藤掛 廣幸
Little Tune for Mandolin Orchestra No3	大村 慎一
Beyond the skies	末廣 健児
マンドリンオーケストラの為の 4 省 IVアレグロ	水野 真人

第 2 部

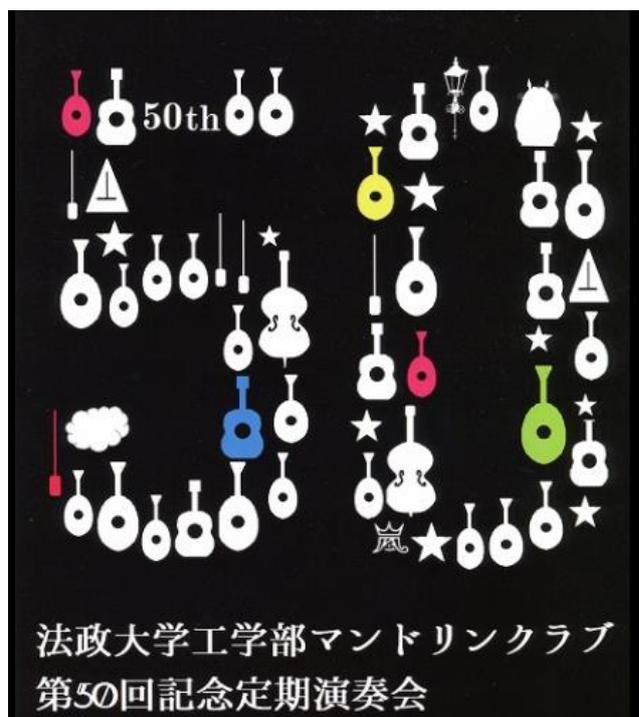
となりのトトロより「風のとおりみち」	久石 譲
嵐メドレー	遠藤 秀康編曲

【OB の部】・現役との合同演奏

Solamente una Vaz	AgutinLara
愛器を奏でて	A.Altman
トロイカ ロシア民謡	高橋 芳巨
砂漠の哀愁	平山 英三郎編曲

第 3 部

星空のコンチェルト	藤掛 廣幸
杜の鼓動Ⅲ 一街の灯ー	丸本 大悟



*** 50回記念 現役OB/OG 合同演奏 ***





第1部

「My Sketch」より Reset!
組曲「端木の詩」より第四楽章「光の樹」
夏空の憧憬

船見 景子
末廣 健児
鳶 大樹

第2部

戦場のメリークリスマス

HIGHLIGHTS FROM HAPPY POTTER

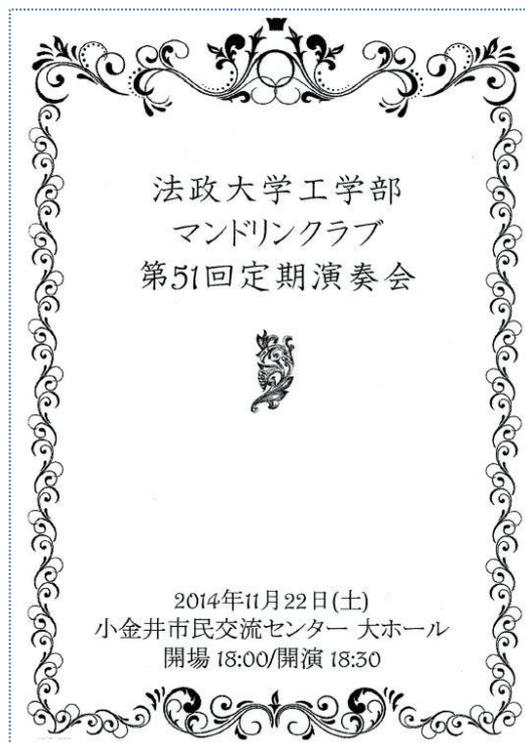
絵本の旅

坂本 龍一
編曲：赤城 淳
John Williams
編曲：高野 勲
本間ユウスケ

第3部

劇的序楽「細川ガラシャ」
AZZURRO

鈴木 静一
丸本 大悟



第1部

Amalthea ～ for Mandolin Orchestra

丸本 大悟

Floating Cloud

武藤 理恵

マンドリンオーケストラの為の幻想曲第一番イ短調

久保田 孝

Op.22

第2部

リスボンの恋人たち

湯浅 隆

編曲：森本 和幸

あの日の川

久石 譲

編曲：陣内 義和

組曲「惑星」より「木星」

G.Holst

編曲：小穴 雄一

第3部

流星群

末廣 健児

ARSNOVA 組曲

末廣 健児・丸本 大悟



第1部

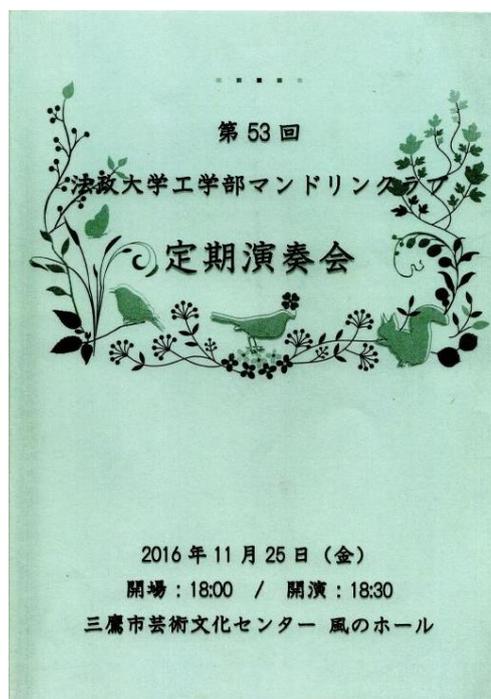
組曲「風の組曲」より第三楽章「風の軌跡」 長谷川武宏
SEA-BLUE for Mandolin Orchestra 2016 改定版 中崎 智大
組曲「杜の鼓動」より第一楽章「櫻の風景」 丸本 大悟

第2部

VS.～知覚と快樂の螺旋 福山 雅弘
遠藤 秀安
アルヴァマー序曲 J.バーンズ
編曲：小川 拓也

第3部

Mandolin Concerto 丸本 大悟
組曲「」 Pia-no-jaC
編曲：池田寛志、森遥香
祈り 末廣 健児



第1部

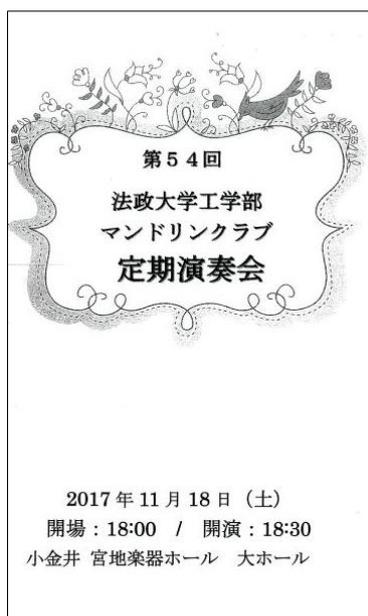
組曲「杜の鼓動」より第二楽章「魂の還る場所」 丸本 大悟
疾風風雅 椎根慎太郎
Beyond the skies 末廣 健児

第2部

モンスターハンターより「英雄の証」 幸田 雅人
吉永 英徳編曲
アクア 2つの小品より「風の塔の証」 永井 裕一
月に舞う 武藤 理恵

第3部

抒情組曲 長谷川武広
Planetarium 丸本 大悟



第1部

組曲「瑞木の詩」より第二楽章 森の住人たち
祈り for Mandolin Orchestra

末廣 健児
堀 雅貴・幡田賢彦
小関 利編曲

明日への序章

末廣 健児

第2部

Oriental Wind

久石 譲

マンドリンオーケストラの為のシンフォニエッタ

「森の精霊」より第3楽章 樹の精霊

小林 由直

第2部 OB・OG ステージ

願いの叶う本

丸本 大悟

RuRu for Mandolin Orchestra

湯浅 隆・吉田豪志

「天国と地獄」序曲

J. オフエンバック

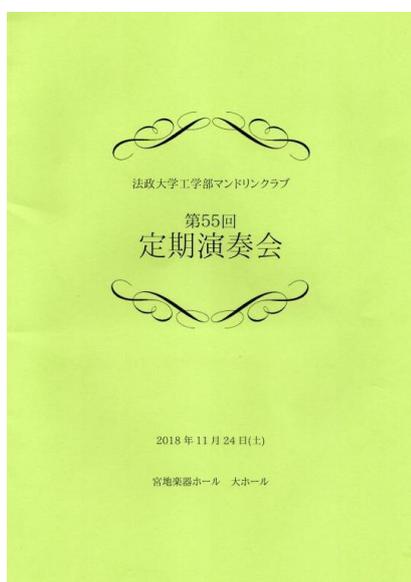
第3部

残された時間

末廣 健児

杜の鼓動より第三楽章 街の灯

丸本 大悟



第1部

Amalthea for Mandolin Orchestra

丸本 大悟

マンドリン酒場の夜

湯浅 隆

吉田剛士編曲

マンドリンオーケストラの為の群炎

熊谷 賢一

第2部

人生のメリーゴーランド

久石 譲

紅蓮んの弓矢

Revo

劇付随音楽「皇帝ポリス」より序曲

V.S.Kalinnikov

第3部

杜の鼓動Ⅲ 一桜の風景一

丸本 大悟

杜の鼓動Ⅲ ～2.ある雪の日の記憶～

丸本 大悟



第1部

プリンク・プレnk・プランク

Lerory Anderson

千と千尋の神隠しより「いのちの名前」

久石 譲

Pirates of the Caribbean

Klause Badelt

第2部

The Road to Lisdoonvatma

アイルランド民謡

大将 編曲

明日も

宮崎 朝子

そりすべり

Lerory Anderson

組曲「杜の鼓動」より第二楽章「魂の帰る場所」

丸本 大悟

第3部

BLACK OUT

加賀城 浩光

Overture Historique No.2

帰山 栄治



第 58 回

2021 年 12 月 11 日 (土) 18:00

宮地楽器 大ホール

第 1 部

フェスタス・デ・リスポア

湯浅 隆

Another Day Of Sun

Justin Hurwits

マードックからの最後の手紙

樽谷 雅徳

第 2 部

リベルタンゴ

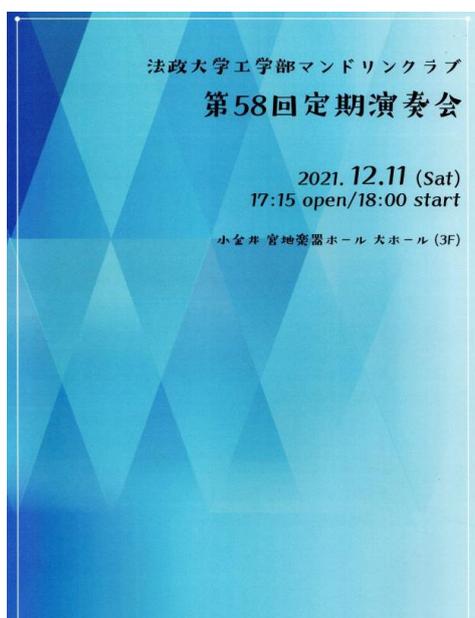
Astor Piazzolla

嵐の印象詩

細野 昭美

Beyond the Skies

末廣 健児



第59回 2022年12月11日(日) 16:00

第1部

ルージュの伝言

荒井 由美

コバルトブルーの奇跡～旅立つ君へ～

武藤 理恵

第2部

茜

丸本 大悟

小組曲「降誕祭の夜」

Amedeo Amadei

第3部

山河緑照

藤掛 廣幸

<星の航路>Phantasmal Overture vol5

柴崎 利文



第1部

「猫の恩返し」より風になる
東洋の印象 第二組曲

つじ あやの
A.Amadei

第2部

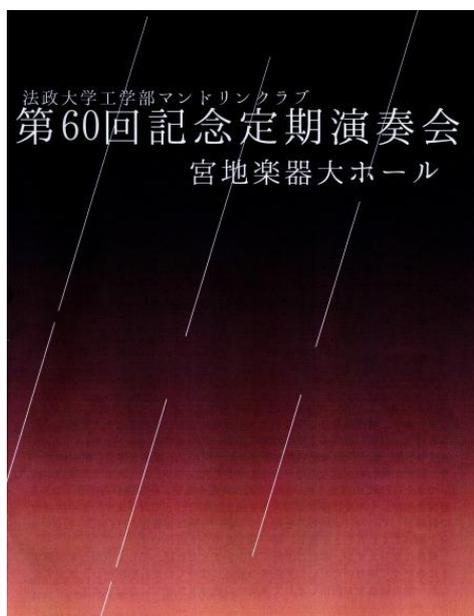
天体観測
今宵・SAKURA
死の舞踏

藤原 基央
武藤 理恵
C.Saint-Saens

第3部 OB・OG 合同演奏

じょんがら抄
マンドリニストの群れ
月に舞う

藤掛 廣幸
(指揮：品川加奈子 3年)
C,A,Bracco
(指揮：田作好司郎 9期)
武藤 理恵
(指揮：花井さやか 53期)



*** 60回記念 現役OB/OG 合同演奏 ***





II クラブ活動

2. 地方演奏会曲目

第1部 オリジナル・クラシック

レナータ序曲

H.Ravitrano

ペルシャの市場にて

A.Ketelbey

美しく碧きドナウ

Johann Strauß

第2部 <ギター合奏>

日本民謡集

ボルガマーチ

<フラメンコギター独奏>

関口 健朗

ファルータ

ソロンゴ・ヒターノ

ソレアレス

第3部 マンドリン・ヒットメロディ

歌謡曲メロディ

マルタ島の砂

ハーヴ・アルバート

黒いオルフェ

ルシス・ボンファ

太陽がいっぱい

ニーノ・ロータ

エルクンバンチェロ

ラファエル・エルナンデス

グラナダ

アグスティン・オリヴェイラ

テイコ・テイコ

アロイシオ・オリヴェイラ

マカレナの乙女

パウテイスタ・モンテルテイ

いそしぎ

ジヨニー・マンテル

ラ・プラヤ

ジョー・ヴァン・ウエッター



第1部 オリジナル・クラシック

ローマの衣装

皇帝円舞曲

序曲第2番嬰へ短調

劇場支配人

C. ガランティ

J. シュトラウス

K. ヴェルギ

モーツァルト

第2部 <ギター合奏>

マイアミビーチルンバ

マズルカ

管弦楽組曲第三番ガボット

舞曲

ベサメムーチョ

マラゲーニア

アーヴィング・フィールド

ドリーブ

J・S・バッハ

ビボー

コンセルロ・ペラスケス

エルネスト・レクオーナ

第3部 ポピュラー

ある愛の詩

急流

雨

男と女

キエンセラ

キサスキサス

グラナダ

Francis Lai

Lao Carmi

D. Pace

Francis Lai

Osvaldo Farres

Osvaldo Farres

Agustin Lara



第1部

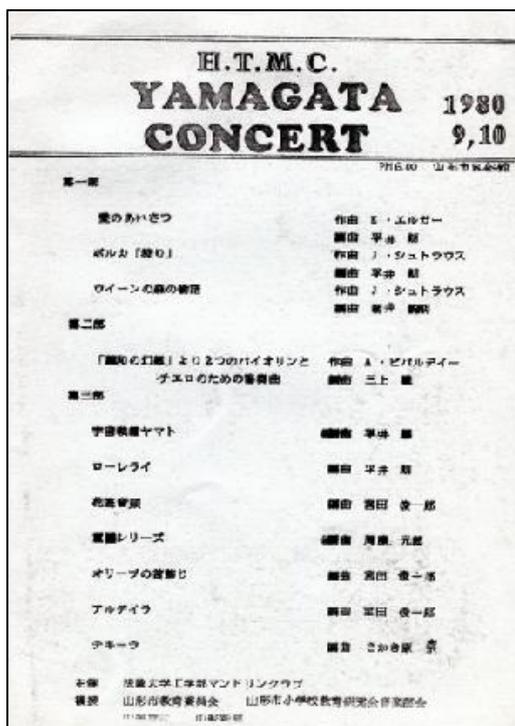
愛のあいさつ	E・エルガー
ボルカ「狩り」	J・シュトラウス
ウィーンの森の物語	J・シュトラウス

第2部

「調和の幻想」より2つのバイオリンと チェロのための協舞曲	A・ビバルディ
----------------------------------	---------

第3部

宇宙戦艦ヤマト	平井 朗編曲
ローレライ	平井 朗編曲
花笠音頭	宮田俊一郎編曲
童謡シリーズ	
オリーブの首飾り	宮田俊一郎編曲
アルディラ	宮田俊一郎編曲
テキーラ	さかき原崇編曲



II クラブ活動

3. JOINT CONCERT 曲目

【*東洋女子マンドリンクラブ+法政大学工学部マンドリンクラブ】

第1部 (合同演奏)

ラデッキー行進曲	J・シュトラウス
平城山を主題とする幻想曲	宮田俊一郎
ロマン的協奏曲	K・ヴェルキ

第2部 (東洋女子短期大学)

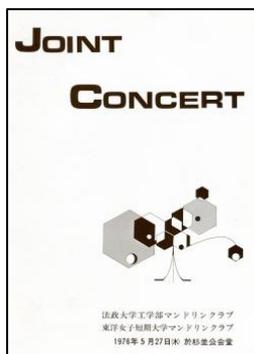
日本民謡	
おてもやん	榊原 康編曲
ずいずいずっころばし	榊原 康編曲
八木節	宮田俊一郎編曲
ロシア民謡	
赤いサラファン	榊原 康編曲
モスクワ郊外の夕べ	榊原 康編曲
イタリア民謡	
サンタルチア	宮田俊一郎編曲
フニクリ・フニクラ	宮田俊一郎編曲
知床旅情	森重久弥

第3部 (法政大学工学部)

トリのチトラッチ・ポルカ	榊原 康編曲
アンネン・ポルカ	佐藤 弘基編曲
ピッチカート・ポルカ	
皇帝円舞曲	宮田俊一郎編曲

第4部 (合同演奏)

夏の日の恋	宮田俊一郎編曲
스팅グより～エンターティナー～	榊原 康編曲
ララのテーマ	河村純一郎編曲
幻想のアダージオ	宮田俊一郎編曲
花まつり	宮田俊一郎編曲
テキーラ	榊原 康編曲
グラナダ	宮田俊一郎編曲



【*東洋女子マンドリンクラブ+法政大学工学部マンドリンクラブ】

第1部 (合同演奏)

序曲「二長調」

K.ヴェルキ

Cavalleria Rusticana

P.1 マスカーニ

牧場にて

ジュリアン

第2部 (東洋女子短期大学)

日本のうた

日本郷愁

旅路、浜辺の歌、出船、城ヶ島の雨

日本の民謡

谷茶前節(沖縄)

茶切節(静岡)

串本節(和歌山)

津軽じょんがら節(青森)

第3部 (法政大学工学部)

ペルシャの市場にて

A.ケテルビー

Plink・Plank・Plunk

ルロイ・アンダーソン

南国のバラ

J.シュトラウス

第4部 (合同演奏)

バラ色のメヌエット

青い影

ジャンバラヤ

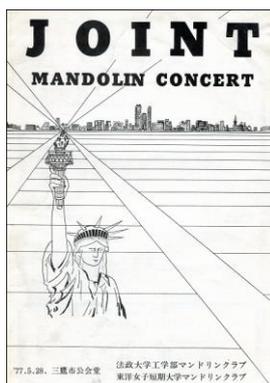
愛がすべて

タブー

さらばジャマイカ

マッシュケナダ

マンボジャンボ



【*清泉女子大学マンドリンクラブ+法政大学工学部マンドリンクラブ】

第1部 (清泉女子大学)

帰郷	Konnod Wolki
星への祈り	Pietro Garbin
歌劇「果敢なき人生」よりスペイン舞曲第1番 (法政大学工学部)	Manuel de Falla
円舞曲「美しく青きドナウ」	J.Strauss
ハンガリア舞曲 第5番	Brahms
ピアノコンチェルト 第21番 ハ長調	Mozart
ノクターン 変ホ長調 作品9-2	F.Chopin
トッカータとフーガ ニ短調	J.S.Bach

第2部 (合同演奏)

皇帝円舞曲	J.Straus
マドンナの宝石	E.W.Ferrari
歌劇「ジョコンダ」より時の踊り	Amicare Poncielli

第3部 (合同演奏)

アクエリアス
 やさしく歌って
 スターダスト
 エルクンバンチェロ
 セレソローサ
 マラゲニア
 クマーナ



【*清泉女子大学マンドリンクラブ+法政大学工学部マンドリンクラブ】

第1部 (清泉女子大学)

スペイン第2組曲

鈴木 静一

(法政大学工学部)

グリーン・スリーヴスの主題による幻想曲

ウイリアムス

アンネン・ポルカ

ヨハン・シュトラウス

火祭りの踊り

ファリア

小フーガト短調

バッハ

第2部 (合同演奏)

歌劇「アイダ」より大行進曲と舞踊音楽

ヴェルディ

ふいんらんディア

シベリウス

第3部 (合同演奏)

ハッスル

ヴァン・マッコイ

エーゲ海の真珠

アルゲロ

ピンク・パンサー

ヘンリー・マンシーニ

ひき潮

マックスウエル

ラブ・ミー・トゥナイト

ピラット・パンゼリ

グラナダ

オーガスティン・ララ

シボネー

レクオーナ

ガンダーラ

タケカワユキヒデ

みずいろの雨

八神順子

ユパカバーナ

パリー・マニロー



【*武蔵野女子大学マンドリンクラブ+法政大学工学部マンドリンクラブ】

第1部 (武蔵野女子大学)

歌劇「劇場支配人」序曲

W.A.Mozart

ノクターン

S・コペルティニー

マンドリニストの群れ

C・A・ブラッコ

(法政大学工学部)

故郷の人々 (スワニー河)

S・C・フォスター

「ウエストサイド物語」よりシンフォニックダンス

L・バーンスタイン

ジョニー・B・グッド

チャック・ベリ

第2部 (合同演奏)

コッペリアよりチャルダッシュ

L.ドリーブ

愛のあいさつ

E・エルガー

ルーマニア狂詩曲第1番

G・エネスコ

第3部 (合同演奏)

栄光への脱出

アーネスト・ゴールド

ムーンライト・セレナーデ

グレン・ミラー

第1印象

さだまさし

フーテナニー

H・L・ワルターズ

マイアミビーチルンバ

A・フィールズ

エストレリータ

マヌエル・ポンセ

モア

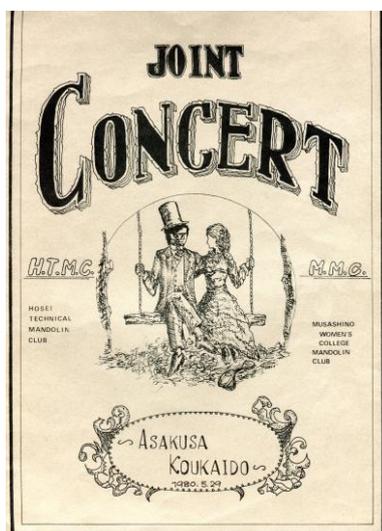
H・オリビエロ

エルクンバンチェロ

ラファエロ・エルナンデス

マッシュケナダ

ジョルジュ・ペン



【*清泉女子大学マンドリンクラブ+法政大学工学部マンドリンクラブ】

第1部 (清泉女子大学)

交響曲第40番 ト短調 第1楽章

W.A.Mozart

東洋の印象第2組曲

A.Mozart

(法政大学工学部)

アフリカン・シンフォニー

バン・マッコイ

愛は奇蹟のように

バリー・マニロウ

CARNAVAL

カルロス・サンタナ

第2部 (合同演奏) <アメリカ特集>

雨にぬれても、聖者の行進、金髪のジョニー

星条旗よ永遠なれ、カリフォルニア・ドリーム

荒野の七人、マイリトル・タウン、夜のストレンジャー

ジャンバラヤ、トゥナイト・アメリカ

第3部 (合同演奏)

歌劇「ザンパ」序曲

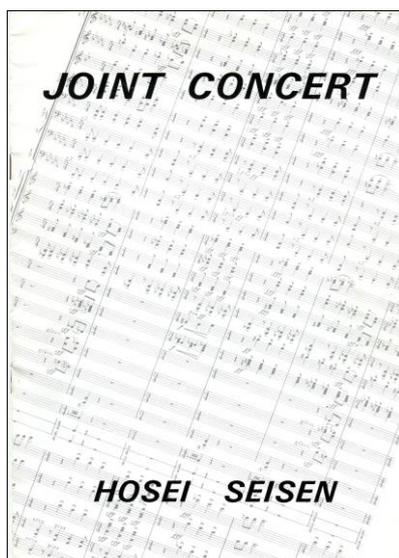
ルイ・エロール

ソルベグの歌

E.グリーグ

スペイン奇想曲

R.コルサコフ



JOINT CONCERT 1984年

【*東京家政大学マンドリンクラブ+法政大学工学部マンドリンクラブ】

第1部 (法政大学工学部)

Can't take my eyes off you

B.T.GANG

黒い鷲とカンテレ

E.UHEYAMA

We're all alone

Boz Scaggs

FANTASY

E.W.&F

(東京家政大学)

シンフォニア

G.Manente

交響的前奏曲

U.Bottacchiari

第2部 (合同演奏)

チキチキバンバン

夏の日の恋

インザムード

ムーンライトセレナーデ

マンボ ジャンボ

ティコティコ

マッシュケナダ

第3部 (合同演奏)

歌劇「セビリアの理髪師」序曲

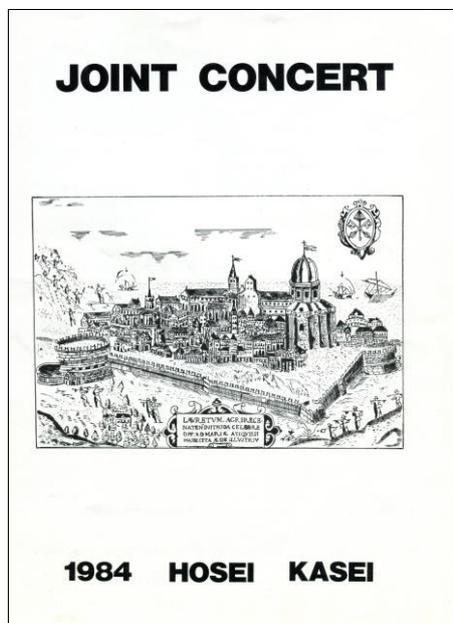
G.Rossini

「弦楽とオルガンのためのアダージョ」ト短調

T.Alibinoni

歌劇「いやいやながらの王様」ポーランドの祭

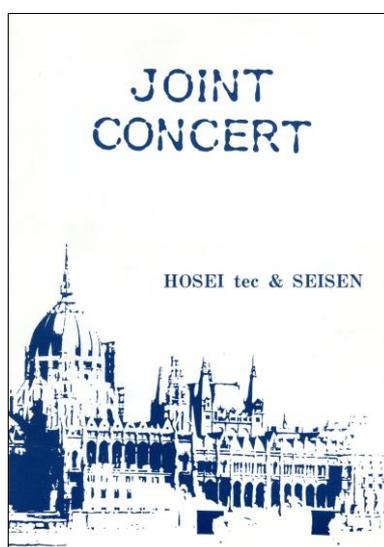
E.Chabrier



JOINT CONCERT 1985年

【*清泉女子大学マンドリンクラブ+法政大学工学部マンドリンクラブ】

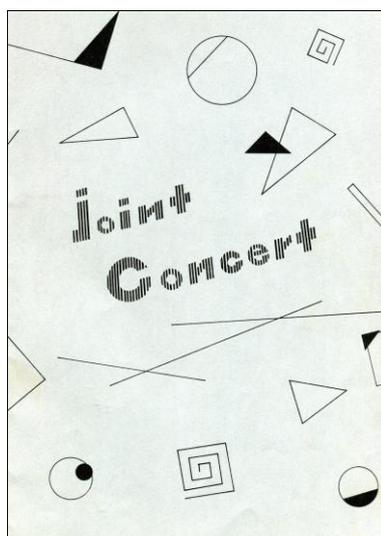
- 第1部 The Montagues and The Capulets S.Prokoff
-モンタギュー家とキャブレット家-
「ロメオとジュリエット」
Contemplazione Intermezzo G.Manente
瞑想 ロシア舞曲
- 第2部 One-A Chorus Line-
Feels So Good
Scarborough Fair
Barbarian
This Night
Hello Good-Bye
- 第3部 Jupiter,the Bringer of Jollity G.Holst
組曲「惑星」より
Elsa's Procession to the Cathedral R.Waner
エルザの大聖堂への入場
Hungarian Rhapsody No2 F.List
ハンガリー狂想曲 第2番



JOINT CONCERT 1986年

【*東京家政大学マンドリンクラブ+法政大学工学部マンドリンクラブ】

- 第1部 歌劇「フィガロの結婚」序曲 W.A.モーツァルト
交響曲 第25番ト短調 第1楽章 W.A.モーツァルト
小組曲「降誕祭の夜」 A. アマディ
- 第2部 Never on Sunday
Volare
追憶
ひき潮
いい日旅立ち
Morning Island
- 第3部 くるみ割り人形より「行進曲」 P.J.チャイコフスキー
管弦楽組曲第3番の第2曲
~G線上のアリア~ J.S.バッハ
富士旅情 鈴木静一



JOINT CONCERT

1990年5月17日(木)

武蔵野市民文化会館ホール

【*実践女子大学マンドリンクラブ+法政大学工学部マンドリンクラブ】

第1部 (法政大学工学部)

エンターティナー

Scott.Joplin

会議は踊る

W.r.Heymann

ペルシャの市場にて

A.W.Ketelbey

カバレリア・ルスチカーナ

P.Masgagni

メリークリスマス・ミスターローレンス

坂本龍一

第2部 (実践女子大学)

イスパニア・カーニ

Marquina

愛の挨拶

E.Elger

マンドリンのための組曲

W.Althoff

第3部 (合同)

三つのスペイン風舞曲

P.Lacone

ハンガリ-狂詩曲

Liszt



【*東京家政大学マンドリンクラブ+法政大学工学部マンドリンクラブ】

第1部 (法政大学工学部)

マンドリニストの群れ

C.A.Bracco

海の組曲

A.Amadei

第2部 (東京家政大学)

マンリナータ

E.Carosio

星の庭

小林 由直

Fantastic March

尾園 勝善

第3部 (合同)

Ouverture in D-Dur

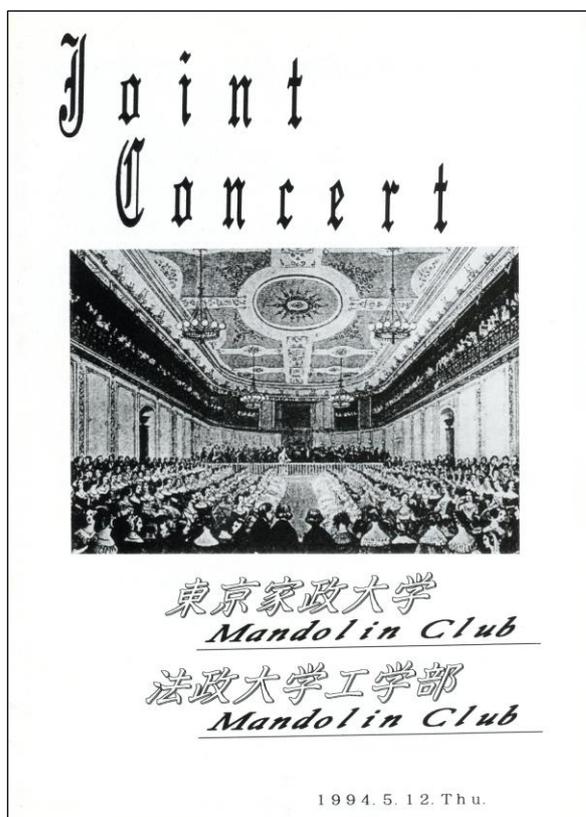
K.Wolk

序曲ニ短調

S.Falbo

GRAND CHACONE

藤掛 廣幸



JOINT CONCERT

1995年5月13(土)

武蔵野市民文化会館

【*白百合女子大学マンドリンクラブ+法政大学工学部マンドリンクラブ】

第1部 (法政大学工学部)

魔女の谷

Menichetti

「バグダットの太守」序曲

F.A.Boielieu

第2部 (白百合女子大学)

「Myrthalia」序曲

M.Maciocchi

Spillen (憂愁)

A.Amadei

田園風景 黄金と夜の祭

鈴木 静一

第3部 (合同)

「Renata」序曲

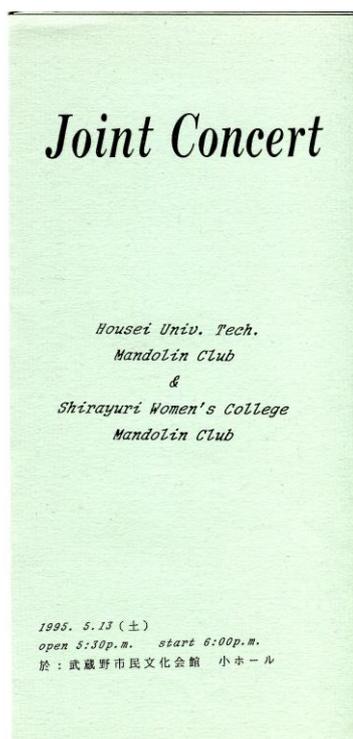
H.Lavitorano

Sulla Piana della Melia

G.Manente

夜明けの賛歌

藤掛 廣幸



【*駒沢大学ギターマンドリンクラブ+法政大学工学部マンドリンクラブ】

第1部 (法政大学工学部)

小嶋

H.ラビトラーノ

オアシスにて

L.ボッケリーニ

英雄行進曲

A.アマディ

第2部 (駒沢大学)

スペイン舞曲集より第五集「アンダルーサ」

E.グラナドス

小曲集第十番より「昔々」

E.H グリーグ

歌劇「アウリスのイフィゲニア」より序曲

C.W グルック

第3部 (合同)

シンフォニア

G・マネンテ

シエナ組曲

V・チェルラ



【*実践女子大学マンドリンクラブ+法政大学工学部マンドリンクラブ】

第1部 (法政大学工学部)

エジプトの秘境にて
魔女の谷

A.Kettelidy
Fr, Menichetti

第2部 (実践女子大学)

美しき青きドナウ
ピエモンテ皇子
青春の輝き

J. Straus
G. Manente
リチャード・カーペンター

第3部 (合同)

もののけ姫〜アシタカせつき〜
サイモン&ガーファンクルメドレー
マンドリニストの群れ

久石 譲作
赤城 淳
C.A. Bracco



JOINT CONCERT

1999年5月1(土)

いずみホール

【*武蔵野女子大学マンドリンクラブ+法政大学工学部マンドリンクラブ】

第1部 蛍の舞曲

A.Amadei

Yesterday Once More

R.Carpenter

お子様アニメメドレー

マンドリンオーケストラの為の

「生命の詩」

藤掛 廣幸

第2部 環俗修道士

G.Filippa

組曲「ペレアスとメリザンド」より

シリエンヌ

G.Faure

Remembranza

戸井田 まこと



JOINT CONCERT

2001年4月27日(金)

いずみホール

【*武蔵野女子大学マンドリンクラブ+法政大学工学部マンドリンクラブ】

第1部 (武蔵野女子大学)

PLUCKING STRINGS

アシタカせつ記

晩年に

Julius Steffano

久石譲

H.Lavitrano

第2部 (法政大学工学部)

EL.MATADOR

明日に架ける橋

C.A.Bracco

サイモン&ガーファンクル

第3部 (合同演奏)

Prelude2

ファンタジア九州

吉水 秀他

藤掛 廣幸



【*東京家政大学マンドリンクラブ+法政大学工学部マンドリンクラブ】

第1部 (法政大学工学部)

序曲「真夏の夜の夢」より “結婚行進曲”

メンデルスゾーン

Chesford Portrait

James Swearingen

生命の詩

藤掛 廣幸

第2部 (東京家政大学)

サウンド オブ ミュージック メドレー

Richard Rodgers

Spanish Serenade

Bizet

プレリュード2

吉永 秀徳

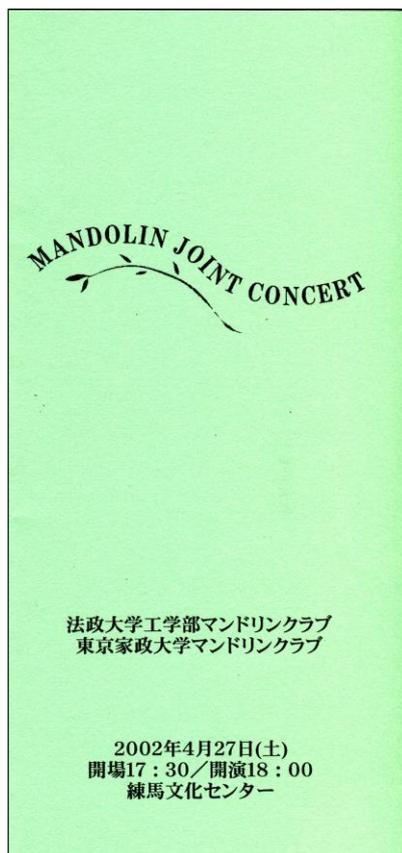
第3部 (合同)

狂詩曲 一海一

鈴木 静一

セレナーデ No2

藤掛 廣幸



JOINT CONCERT

2003年4月30日(水)

いずみホール

【*津田塾大学マンドリンクラブ+法政大学工学部マンドリンクラブ】

- | | | |
|-----|----------------|-------------|
| 第1部 | 情熱大陸 | 葉加瀬太郎 |
| | 花のワルツ | Tchaikovsky |
| | 海のファンタジー | 藤掛 廣幸 |
| 第2部 | 綺想的間奏曲 | A.Amadei |
| | 峠 | 鈴木 静一 |
| | 風の印象詩 | 細野 昭美 |
| 第3部 | マンドリニストの群れ | C.A.Bracco |
| | 幻想曲第一番イ短調作品 22 | 久保田 孝 |



【*駒沢大学ギターマンドリンクラブ+法政大学工学部マンドリンクラブ】

第1部 (法政大学工学部)

茜-AKANE-

丸本 大悟

風の丘

久石 譲

流星群

末廣 健児

第2部 (駒沢大学)

リベルタンゴ

Astor Piazzolla

セレナーデ風ガボット

Amedeo Amadei

めぐる季節

高橋 大志

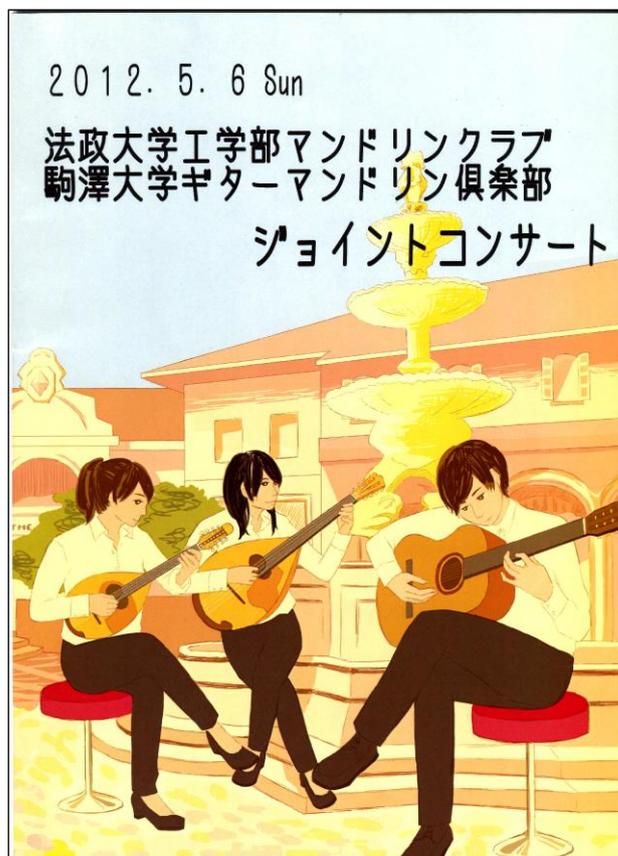
第3部 (合同)

組曲「風の大地」

加賀城浩光

劇的序曲

Arrigo Cappelletti



【*東京家政大学マンドリンクラブ+法政大学工学部マンドリンクラブ】

第1部 (法政大学工学部)

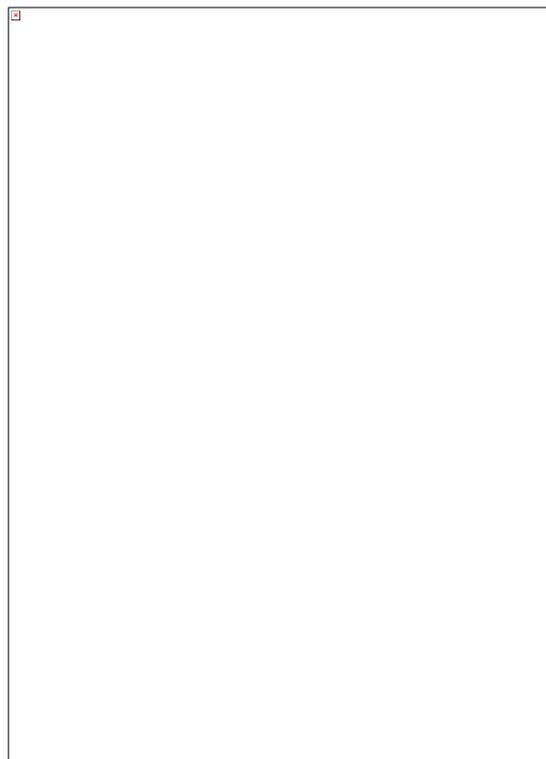
Desert Rose	武藤 理恵
杜の鼓動	丸本 大悟
狂詩曲「海」	鈴木 静一

第2部 (東京家政大学)

カシアーナの温泉	G.Manente
ウエールズの讚美歌に基づく3つの前奏曲より	Vaughan Williams
風の印象詩	細野 昭美
「ロージメードル前奏曲」	

第3部 (合同)

虹菜	丸本 大悟
EUREAKA	石川 淳



JOINT CONCERT 2019年5月3日(金) 小金井宮地楽器 大ホール

【*法政大学マンドリンクラブ+法政大学工学部マンドリンクラブ】

第1部 (法政大学)

セイリング・ディ - 出航 -	遠藤 秀安
「ティファニーで朝食を」よりムーンリバー	Henry Mancini
英雄行進曲「イタリア」	Amedeo Amadei
桜色の幻影	末廣 健児

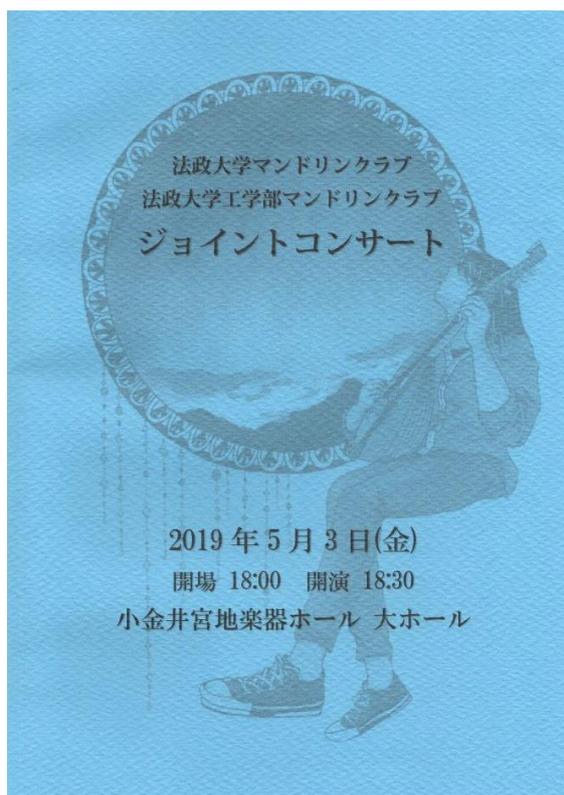
第2部 (法政大学工学部)

I. 生命を育む森	
II. 水辺で遊ぶこどもたち	
III. 紅葉の反映	末廣 健児
夜空への回想曲Ⅱ～花火の煌めき～	中崎 智大

第3部 (合同)

雲の行方 Phantasmal Overture vol.2	柴崎 利文
星のしずく - 空への扉 -	丸本 大悟

JOINT
CONCERT



2021年5月2日(日) 小金井宮地楽器 大ホール

【*駒沢大学ギターマンドリンクラブ+法政大学工学部マンドリンクラブ】

Phantamal Overture vol5

柴崎 利文

海辺の時計台

青山 涼

劇的序曲

A.Cappelletti

他

法政大学工学部マンドリンクラブ
駒澤大学ギターマンドリン倶楽部

ジョイント コンサート

～Program～

〈星の航路〉Phantasmal Overture vol.5
作曲:柴崎利文

海辺の時計台
作曲:青山涼

劇的序曲
作曲:A.Cappelletti

他

入場無料

2021.5.2(sun)
13:30 open 14:00 start

場所:小金井 宮地楽器ホール 大ホール
アクセス
JR中央線 武蔵小金井駅南口より徒歩1分

法政大学工学部マンドリンクラブ
公式Twitter
駒澤大学ギターマンドリン倶楽部
公式Twitter

Ⅲ. OB・OG 寄稿

第 60 回記念定期演奏会開催に伴う『記念誌の発行』に寄せて；

2024 年 8 月 13 日

HTMC-OB・OG 会々長 清水正明（1949 年電気工学科卒）

法政大学工学部マンドリンクラブは創立依頼 60 年を迎えることができました。誠におめでとうございます。昨今、大学のマンドリンクラブは部員の減少から廃部となり存続することが難しい状況となっているなか、60 周年を迎えられたことは OB/OG の皆様のご尽力および現役の方々のたゆまぬ活動のお陰だと思っております。

ここに改めて皆様方に感謝申し上げます。

60 周年を迎え、2023 年 12 月 3 日に小金井市宮地楽器大ホールにて定期演奏会が開催され、加えて現役、OB/OG との合同演奏も行われました。

OB/OG の方々は卒業後も継続して音楽活動をされている方、会社リタイア後に再び楽器を手にされた方と様々ですが音楽を通して皆様と共有できる世界を持てることは何よりも幸せなことだと思います。

60 周年でクラブに在籍された方々は 1961 年～2020 年入学迄で総数 467 名にのぼっております。この間、入部者数の変動はありましたが途切れることなく今に至っており、誠に頼もしい限りです。

大学も私が在籍していた工学部は機械、電気、建築、土木、経営と 5 学科であったのですが現在は情報科学部、理工学部、生命科学部と 3 学部に拡大され小金井キャンパスも新しく生まれ変わっております。

ちなみにマンドリンクラブの構成も今では女子が大半をしめ、時代の様変わりを感じております。

記念誌は 2013 年に 50 周年として発刊いたしました。その時は”言い出しっぺ”で私が担当させて頂き、今回も引き続き発刊のお手伝いをする事になりました。

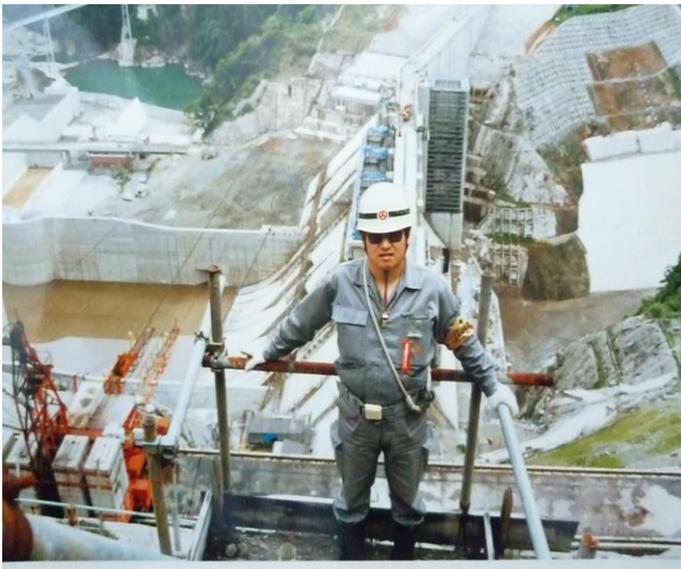
記事を掲載している中で当時現役の皆様方の元気で楽しい写真を眼にするにつれ、私自身も当時の思い出が蘇って編集の時間も楽しいひと時になりました。

最後に 60 周年記念誌発行にあたりご協力頂きました現役部員及び OB/OG の方々に厚く御礼申し上げます。今後の更なる発展をお祈りしております。

「マンドリン倶楽部後輩 OB との出会い」

(第5期) 佐藤秀夫

法政大学工学部マンドリン倶楽部創部 60 周年誠におめでとうございます。
最初に私事で恐縮ですが、唐突な話からさせていただきます。
私が、小・中学校に通った日々は戦後の物不足時代、皆で、いろいろ考え工夫して遊んだことが、今になると懐かしく思い出され忘れることはありません。
その中学生時代、当時としては最新の重機械を使った、自衛隊による運動場造成工事を目の当たりに見ることができ子供ながらに大変興味を持ちました。それが最初のきっかけとなり、縁あって法政大学土木工学科に進み、マンドリン倶楽部に入部しました。



大川ダム建設工事にて

そして3回生の時、衝撃的な映画と出会うこととなります。それが石原裕次郎主演の「黒部の太陽」でした。この映画は当時、世紀の大事業と呼ばれた黒四ダム建設に使用する建設資材運搬用のトンネル工事を描いたものです。軟弱地盤で崩壊と大出水を繰り返す破砕帯にぶつかり、難工事を強いられた男たちの命をかけたドラマでした。
総合建設会社(ゼネコン)に行こうと決めたのは、大自然を相手にできるという魅力でしたが、映画「黒部の太陽」の影響も大きなものがありました。
そして土木技術者として、ゼネコンに入社し工事部門30年間の大半をダム建設に携わりました。
42年間勤めたゼネコンを卒業後、中堅ゼネコンに移り、ある懇親会の席で、マンドリン倶楽部14期OBの河口さんとの偶然の出会いがありました。



河口さんと！

河口さんは、マンドリン倶楽部現役時代、フルートを担当されていたとのことでした。OB 同士が仕事上で出会い、会えば学生時代、青春時代に戻った気分で親しく、お付き合いさせてもらっています。マンドリン倶楽部の絆は凄いですね！
ありがとう！マンドリン倶楽部！

マンドリン倶楽部のますますの発展を祈念いたします。

***** 以下は 50 年記念誌に記載された寄稿分になります。*****

第 50 回記念定期演奏会開催に伴う『記念誌の発行』に寄せて；

2013 年 9 月 30 日

HTMC-OB・OG 会々長 菊地隆（1961 年機械工学科入学）

.....

来る 2013 年 11 月 23 日に、HTMC にとって記念すべき第 50 回記念定期演奏会の開催が予定され、又一个の区切りとして、記念誌発行も計画されています。そこで、HTMC 創設の頃の経緯・活動・思い出話、および OB・OG 会の事や現役の方々への御願いを、私なりにお伝えしておきたく寄稿させていただきます。

- (1) マンドリン・ギター・クラブの創設
- (2) クラブの成長とホープ・コンサート出演
- (3) マンドリン・クラブの再スタートと東小金井校舎への移転・定期演奏会
- (4) HTMC の OB・OG 会の結成 及び 後輩・現役の方々へ

.....

(1) マンドリン・ギター・クラブの創設 ；

私は工学部校舎が、未だ、港区麻布新堀町にあつ 1961 年 4 月に、入学致しました。工学部内には、学生会技術連盟・体育連盟・文化連盟と云う 3 つの部活動を取り纏める組織がありました。文化連盟傘下の軽音楽関連の部として、『ウエスタン・プレイ・ボーイズ』と『アイランド・エーセス』と云う 2 グループが、活動しておりました。

入学後の 1 年間程は、『マンドリン・クラブ』は、組織化されず、楽器演奏が好きな学生が何人かいて、マンドリン、ギター、を持ち寄って集い、狭かった麻布学舎の何処かで、休み時間などに誰かが好きな曲を奏でていると云う、集会或いは同好会として存在していたと云った状況でした。

(*注 1) 1961 年 4 月から 1962 年 4 月までの 1 年間の事及び、私の入学以前の事は、私も、「また聞き」になる事が含まれますが、概ね以下の経緯があった様なので、記録として留めておきます。

— (記録) —

上述の様な集会、同好会組織としてのマンドリン・クラブは、1957 年に、産声を上げた様です。1960 年 4 月当時に、存在したマンドリン・クラブの組織は、林道夫（部長）、藤井（・・）、元吉紀子（M） の 3 名と伝えられて

います。その1960年4月に栗田（故人、G後に部長）、服部（会計）、竹森（・・）、長野（M）、と云った方々が入部したとの事です。1961年4月に、入学した私を含む、数人、野沢、竹本、笹森と云った面々が、マンドリン、ギターの愛好者として必然的に、同好会の集いに、時々加わっていました。しかし、クラブ・又は部として何ら具体的に活動していなかったグループですから、当初から、入部したと云う認識は皆がしていませんでした。

1961年11月3日に、定期演奏会を麻布校舎の3番教室に於いて開催したと言われております。しかし、これは学内での事ですので、単なる練習または発表会に過ぎません。又この際に、他高校からの賛助出演も有ったとの事ですが、定期演奏会とは関係無く、招待してマンドリンの学内での啓発の為に演奏をお願いしただけの様です。

ー（以上、記録終り）ー

部（クラブ）創設と新入部員勧誘、「工学部ホープ・コンサート出演」を目指そう、と何度か、私から提案しましたが、他の軽音楽関連のクラブに邪魔されるかも、又忙しいから、と言う事で、結局、組織化しての活動は、その年には出来ませんでした。

そこで、1962年4月に『マンドリン・ギター・クラブ』として、学生会文化連盟の組織下でのクラブ活動の開始・準備、学生課への手続・説明、および新入部員の勧誘を開始しました。これが、今日のHTMCの原点となっています。

（*注2） 後述しますが、第1回定期演奏会は2年後の1964年11月11日に開催しておりますので、今年の2013年11月23日の定期演奏会は、第50回です。『マンドリン・クラブ（HTMC）』は、1962年4月に『マンドン・ギー・クラブ』と云う名称で創部されており今年の2013年4月で51周年を迎えたになります。）

この時（1962年4月）の部員は全員当時の2年生で、わたし菊地（G）、竹本（M）、野沢（G）、島貫（G、Md）、牛久保（故人、G、B）、笹森（G）などで、新入部員は、小林（M）、三浦（M）、市野川（G）、大野（G）、阿部（G）、加藤（M）、多田（M）、細川（M）と云った方々でした。

尚、創部後の約2年間近くは、『マンドリン・ギター・クラブ』と称していましたが、これは以下の理由・背景があった為でした。

当時は ギター愛好者が圧倒的に多く、『ベンチャーズ』や『トリオロス

パンチョス』が大変な人気となっており、マンドリン・クラブでは、新入部員の勧誘確保は難しいと云う判断が、先ずありました。更に、工学部電気工学科卒の先輩で、その頃すでにバリバリのギタリストであった、吉田光三先生(小原安正師に師事の一番弟子)に私の方から御願ひして、工学部内での週一指導や、先輩の地域演奏活動への協力参加を行う事で、クラブ活動の幅を広げ、舞台度胸も付ける事が出来たので、「・ギター・」を残しておいた、と云う背景が有りました。

また、当時日本でも大人気となった『トリオロスパンチョス』の演奏スタイル・曲目に拘った『ラテン・ノーバス』と云う素晴らしいグループも、この年に文化連盟の組織下で創部され、お互いに切磋琢磨・相互応援をし合いなら、歩み始めたのも、この年1962年4月からでした。

1962年8月には、『マンドリン・ギター・クラブ』は初めての夏季合宿を、長野県駒ヶ根市の『光前寺』で行い、翌年の同所、更に、翌々年の愛媛県新居浜市『西山寺』へと、繋がって行きました。

『光前寺』や『西山寺』の宿坊での合宿生活は、高地の涼風と、地域の人々との交流などがあり、今もなお忘れがたい思い出となっています。

(2) クラブの成長とホープ・コンサート出演 ; ;

1963年4月の新入部員は、初期のHTMCの基礎を固めた方々であったと思います。この年の新入部員は、沢端(M)、小泉(G)、星野(M)、杉原(G)、田辺(G、P)、柚山(故人、G、P)、松尾(故人、G、P)、志賀(故人、G)、細川(M)、井上(M)と云った方々でした。

先に触れたように、この1963年8月にも、前年に続いて、長野県駒ヶ根市の『光前寺』で、夏季合宿を行いました。この頃からは、楽器の種類を増やすべく色々と挑戦していて、私はフルートの練習に取り組み始め、結構な苦勞をしましたし、他にも、ベース、パーカッション各種を、加えて行きました。

また、半世紀も昔の事ゆえ年月日を記憶していませんが、この頃に、マンドリン合奏を大学のクラブ組織でやって行きたいのならば、宮田マンドリンの総帥である、宮田俊一郎先生に指導を御願ひするのが良い、と周囲からの助言がありました。

竹本と私で宮田先生にお会いすると、大変好意的に受け入れて下さり、並々ならぬ御協力・御理解を頂戴する事が出来ました。

又、宮田マンドリン・バンドの練習風景を拝見・拝聴している間に、マンドリン・アンサンブルの楽しさを、本当に実感しました。定期演奏会の開催を目標と定めたのは、この時かも知れません。

1963年12月8日には、中央区有楽町の読売会館(現、ビッグ・カメラ

有楽町店) の読売ホールに於いて開催された、法政大学工学部学生会文化連盟主催の第 12 回『ホープ・コンサート』に、遂に念願が叶って出演する事が出来ました。

この年の『ホープ・コンサート』は、昼夜の入れ替え制でした。 昼の部は法政工学部からは、『マンドリン・ギター・クラブ』と『ラテン・ノーバス』が出演し、他大学からの競演は、慶応『ライト・ミュージック・ソサエティ』、青山『ブルー・マウンテン・ボーイズ』、早稲田+前田美智子『オルケスタ・デ・タンゴ・ワセダ』、上智『グリーン・クラブ』、明治『マンドリン・クラブ』でした。 夜の部は、法政工学部からは『ウエスタン・プレイ・ボーイズ』と『アイランド・エーセス』で、他大学からの競演は、青山及び上智に入れ替わって、東大『イースト・ハード』および立教『セント・ポール・スイング』でした。

まさに、この時点で、自らの定期演奏会開催の夢が、現実味を帯びて芽生え始めていったと思います。 部員皆の総力で、課題を一つ一つ乗り越えながら進める事が出来れば、何とかなると。

(3) マンドリン・クラブとしての再スタートと定期演奏会開催 ;

1964 年 4 月に、工学部は港区麻布新堀町から、東小金井の武蔵野市梶野町の新校舎へ移転しました。 工学部の学部構成は移転後も変わりませんでした。 学部は、機械工学科、電気工学科、建築工学科、土木工学科、経営工学科の 5 学科でした。 旧国鉄が移転に合わせて 東小金井駅 を開設して呉れた事、学食を充実して設置して呉れた事、スペース的に余裕のある部室が用意された事など、下宿の変更や利便性の低下はありましたが、満足以上のものでした。

記憶が確かでは無いのですが、この頃にギターの吉田先輩にもお話をして、『マンドリン・ギター・クラブ』から『マンドリン・クラブ』に名称変更をして、定期演奏会に向けて再スタートしたと思います。

1964 年の新入部員は、瀬川 (M)、市倉 (M)、吉野 (M)、井口 (・・)、小原 (・・)、白井 (・・)、山崎 (・・) の方々でした。

この 1964 年 8 月には、愛媛県新居浜市の『西山寺』に於いて夏季合宿を行いました。

HTMC の第 1 回定期演奏会は、1964 年 11 月 11 日に新宿の厚生年金会館の小ホール (800 名収容) に於いて開催しました。 この時に「プログラム」及び「チケット」 (¥1000) は、第 11 回定期演奏会としておりました。

これは、初めて経験する演奏会で、チケットが捌けて採算が果たして取れるのか、又、11 月 11 日の第 11 回は響きが良くて記憶に残る……等、と云う、

とんでもないお話もあったからです。 当時の下級生には大変に申し訳なかったし又、感謝も致しました。 とに角、不安を感じながらも、怖いもの知らずで 突き進み、「何とかしよう」と言う全部員の一体感と、工学部内の音楽クラブ、『ウエスタン・プレイ・ボーイズ』および 『ラテン・ノーバス』の協力と後押しも得て、「何とかなつた」 の出来栄えではありました。 この時のある程度以上の成功は、1963 年 4 月入学の部員の方々の貢献の賜物であったと思っております。

又、この年 1964 年は、「東京オリンピック開催（10 月 10 日）」、「東海道新幹線、東京－新大阪の開業（10 月 1 日）」、「法政大学工学部の移転（4 月 1 日）」等々、が有り、世の中は「騒がしい勢い」 に満ちていて、HTMC も「行け行けの空気」であったのかも知れません。

(4) HTMCのOB・OG会の結成 及び 後輩・現役の方々へ

1999 年 6 月 19 日にHTMCのOB・OG会は設立されて、この時にOB・OG会の会則制定 及び 会報発行が行われました。 HTMCのインターネット上の、ホームページにも（下記 URL）記録が一部分残っています。

<http://www.geocities.co.jp/MusicHall/7181/>

OB・OG会の設立当時の関係者、役員及び現役の方々の並々ならぬ熱意とご苦勞が感じられます。 私も経緯など存じませんので、何方か関係された方のお話が、聞けるかも知れません。 多分当時の役員・現役の方々の時間的な負担が大きく、必ずしも、会の活動は継続的に行なわれた訳では無かった様です。

2005 年 10 月の事だったと思いますが、HTMCのOB・OG親睦会を箱根でやりますと言う事で、参加・不参加の問い合わせが届きました。 先ずは古い年代の第 1 期から第 10 期位迄に絞り込んで実施し、順次新しい世代に広げて行くと言う趣旨でした。 結果的にはこの箱根が第 1 回目の『OB・OG親睦旅行』となり、その後は毎年欠かさず、時期的には多くは秋口に実施されて来ています。

箱根の後は、焼津、諏訪、熱海、石和、三ヶ日、伊豆高原 恵那 そして今年 2013 年 8 月 24/25 日の群馬県磯部 へと続いております。 次は何処にするか、が持ち回りの幹事様の悩みとなっております。 尚、OB・OG会総会は親睦旅行の機会を利用して、又は工学部の校舎内でも行なったりしていません。 2008 年 6 月 21 日の総会で、役員の変更と、OB・OG会々則の改定も行なっております。 この時に私が会長の任に選出され、2. 5 期 の 5 年間

務めています。

さて、現役の方々に関しては、最近のHTMCの定期演奏会で聴衆の一人として感じる事は、演奏に強弱が付いて来て、さらに聴衆に良い音楽・曲を楽しんで聴いて貰いたいと云う思いが、伝わって来るという事です。段々と良い方向に向かっている様に思います。

指揮者、トップを第1部、2部、3部で学年度等で、入れ替えるのも試練・伝承・活性化・進化と云った点からも、中々のアイデアで、やるな……と、えて貰いました。

現役の方々へのアドバイスは、先・後輩各々、3学年分を含む

7学年分のクラブ活動を通じての仲間は、将来に亘って本当に得難い友となりますから、その絆を深め、大切に持って行って下さい。

終わりにHTMCのOB・OGと現役の方々への御願いは、更なる伝統の構築とクラブ活動の継承を目標として頂ければ良いなと云う事です。

創立 50 周年記念

(第 4 期) 市倉 皖示

工学部の新校舎が小金井に移転した時に入学した昭和 39 年、校舎の周りは畑と新しい住宅もまばらで、のどかな武蔵野であった。通学路は武蔵小金井駅からバスを利用したが、その年の 9 月中旬に東小金井駅が開業、駅から徒歩になり便利になった。(10 月東京オリンピック開催)

春のうららかな昼休み、地下二階の部室がある廊下を歩いていると軽やかなで歯切れのいい爽やかな音が流れてきて、これが始めて耳にしたマンダリンの音であった。この音色に誘われてマンダリンクラブに入部した。しかし何とも男くさく狭い部室はムンムン。声の大きい人や体の大きい人、酒、彼女、マージャンの話で盛り上がる…その人たちが練習になると小さなマンダリンやギターをかかえ、楽譜と真剣にニラメッコの姿がおもしろかった。

三年になり禰寝強志が指揮者になった。彼は音楽の知識や経験が豊富でマンダリン、ギターの演奏の腕も抜群で指揮者ふさわしい男でクラブをグイグイと引っ張っていった。夏の白樺湖での合宿から定期演奏会の曲目、マンダリンオリジナルの序曲ニ長調、序曲イ長調(ヴェルキ作曲ドイツ) 魔女の谷、悪魔と天使のパート別や、合同練習を始めた。秋にはクラシックの歌劇オラクッチオ兄妹とクリアッチオ兄弟より序曲、歌劇「秘密の結婚」より序曲(D. Cimarosa 作曲)、別れの曲(Chopin 作曲)の難曲まとめた。またポピュラー曲目では指揮者の編曲で(愛の賛歌)、タンゴの(青空)などを夕方 5 時頃から 10 時頃まで一階の学生ホール(?)で猛練習に明け暮れた。特にコンサートマスターの吉野繁はすばらしいマンダリンを鮮やかな音色で弾き演奏テクニックはトップクラスであった。個性ある部員 71 人が一つにまとまり目標の頂点に向かって進む姿は熱い情熱と青春の血潮が燃えるオーケストラ楽団の輝きがあった。曲目では序曲ニ長調はアレグロで始まる力強い旋律は部員を魅了し、今でも鮮明に残っている。その成果は第 3 回定期演奏会を新宿厚生年金会館(昭和 41 年 11 月 20 日(日))で行い大成功(?)だったと遠い昔を振り返り、懐かしくほのかな追憶にひたる。

社会人になってからはオーディオ会社のためステレオで音楽はよく聞いたが、仕事の合間をみては音楽の好きな人とコンサートに良く出かけた。その最大のインパクトは[NHK ホールの柿落とし](昭和 48 年 9 月 8 日)イタリア歌劇団の『アイダ』を観てからは、すっかりオペラファンに。ヴェルデー、プッチーニ、モーツァルト、ワーグナー、レハール、ロシーニ、12 月はヘンデルのメサイヤなどの作品の名演奏にボルテージが上がった。走り出したら「どうにも止まらない」心境で、都心のホールを走りまわった。

その後、コンサートである友人(学校の音楽の先生)と親しくなり、友人宅に遊びに

行ったら帰る時、新しいピアノを買ったので古い電子ピアノをプレゼントすると言う、何度も断ったが貰うことになりこれが鍵盤楽器の出会いであった。やがて本物のピアノが欲しくなり、その友人を通して真新しいピアノを購入。背筋がしき締まる思い出で弾き始めた。一年後にピアノ教室に通いはじめ、バイエルからスタート。先生はよく言った「ピアノ練習の捕らえ方はスポーツとして捕らえろ、両手の運動と頭の体操である。短時間でも毎日やるのがいい、だから風邪をひいては駄目だ、進歩しても直ぐ後退する。プロの演奏者は風邪をひかないと」。お蔭で健康に注意してレッスンに励み、バイエル、ハノン、ツェルニー、ソナチネ、ソナタと階段を登った。ソナチネを初めて弾く前に先生は「ソナチネはソナタの子供のような作品で、ソナチネを弾ければピアノを習って本当に良かったと思える曲ばかり、音楽の楽しさが解るレベル」と言う。おおよそ構成は第1, 2, 3 楽章からなりアレグロ、アンダンテ、アレグロの速度が多く、冒頭のソナチネ 7 番をクリアした時は教則本に、92. 6. 6 の日付を記入して、新しい世界に足を踏み入れた心境であった。

ピアノ発表会にも子供たちと共に「変なおじさん」としてステージでピアノを弾いた。レッスンも 10 年弱楽しく頑張り思い出は尽きない。

近況では定年も過ぎ何かピアノを生かせないかと考えた末、老人ホームでピアノのボランティアを月に一度始めた。お爺さんやお婆さん 30 人ほどで大きな声で童謡や唱歌や叙情唄、歌曲、昔の歌謡曲などを 60 分歌い、ピアノの伴奏も力が入り盛り上がります。声を出すことは健康にいいし、気分もすっきりとなり、何よりも楽しいと喜んで拍手もしてくれます。

この様にマンドリンクラブで音楽に出会い、楽しい友達に廻り逢い、そこで培われた礎が未知の視界を大きく開き、何事にもチャレンジ精神が湧き上がるキッカケになった。これからも美しい旋律に彩られた音の旅を続けたいと思う今日この頃です。

法政大学工学部マンドリン倶楽部50年を振り返って

(第5期) 佐藤秀夫

法政大学工学部マンドリン倶楽部創部50周年誠におめでとうございます。

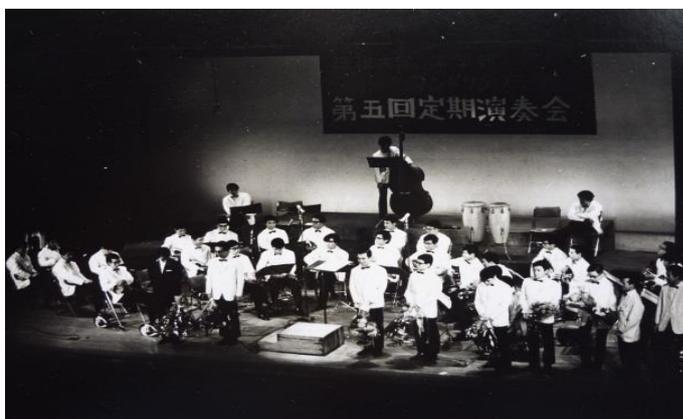
私は昭和40年4月、土木工学科に入学！オリエンテーションで何気なくサインしたのが入部のきっかけでした。楽器に関わったといえば中学校での一年間、リード合奏部でティンパニーをやったぐらいでした。

この歳になって当時を振り返ると楽しい思い出が頭をよぎります。



入部同期と・・・

倶楽部そのものは、出来立てほやほやでしたので、非常に家庭的で先輩とのつながりも深いものがありました(当時、全員男子約50名の大所帯)。セクションはマンドリンで、私にとって初めての出会いでした。練習は熱心ではありませんでしたが、良き先輩に恵まれ何とか弾けるようになりました。ただコンパとか飲み会は一生懸命やっていたようです。そして当時、出会った先輩・仲間とは未だにお付き合いをさせていただいております。



第5回定期演奏会

初めて参加した仙台での夏合宿では、最終日に石巻駅前のホールでコンサートを初体験しました。そして11月には、九段会館で第12回（実際には2回目）定期演奏会に初出演、オープニングの「ソラメンテ・ウナ・ベス」の曲は、今でも記憶に残っています。

渋谷公会堂で行われた東京六大学軽音楽祭にも参加！そして気がつけば4回生としての最後の定期演奏会！あっという間の4年間でした。



平成24年秋、小泉先輩（右）と東京六大学野球応援

社会人になってからも伝統ある法政大学に誇りを持ち、マンドリン倶楽部での仲間との絆を大切にして42年間のサラリーマン人生を無事終えることができました。ただネコン時代は、ダム屋であったがため、長い間、倶楽部とは疎遠になってしまいました。ようやく、また関わりが持てるようになり本当に嬉しく思っています。

マンドリン倶楽部の今後ますますの発展を祈念いたします。

法政大学工学部マンドリンクラブ50周年

第27期 井戸 志保 (旧姓：入谷)

法政大学工学部マンドリンクラブ50周年おめでとうございます。

大学を卒業して22年。現在は岐阜県で小学生の男の子三人を育てながら専業主婦をしております。私は平成元年に土木工学科に入学しました。土木工学科に女子は一人。女友達のいない学科で、途中で挫折してしまうのではないかとという心細さから、一緒に何か打ち込める仲間を求めて必死でサークルを探しました。

勧誘で、音楽を熱く語る先輩方に魅力を感じ、女子の先輩同期に親しみを感じ、クラブ入部を決めました。良い仲間巡り合え、充実した大学生活を送り、無事卒業できたのはマンドリンクラブのおかげと感謝しております。



第27回定期演奏会 ～東京都児童会館にて～

旧校舎学生ホールで他の学生がお茶飲みながら談笑してる横で、マンドリンの練習をした風景を思い出します。お世辞にも上手な演奏とは言えませんが、それでもたまに白熱した合奏ができた時、周りの学生から拍手をもらうこともありました。また、狭い部屋に休講などで数人が集まった時、思うままに演奏しあう楽しさ。音楽とは縁のない生活の今、懐かしく思い返されます。

マンドリンクラブ在籍中、合同演奏会を3回体験することができました。2年生の時は本校、3年は実践女子大学、4年で東京家政大学。この合同演奏をきっかけに結婚した先輩後輩もいます。特に印象に残っているのが本校とのジョイントコンサート。当時工学部の部員は約20名。本校40人とのジョイントは、私の在籍4年間の中で一番の大所帯でのステージとなりました。ラストに演奏した「華燭の祭典」はその大音響に鳥肌が立ちました。



1991年 夏合宿 ～清里にて～

演奏もさることながらなによりも一番楽しかったの皆さんも同じだと思いますが、コンサートの打ち上げ・文化祭・歓迎会・合宿ごとの飲み会です。何でも言い合える仲間との学生ならではのあのハチャメチャな飲み会。本当に楽しかったです。



4年間共にした同期8人と

在籍中、少人数クラブだったため、新入生が入部しないと演奏会ができない、部の存続も危ういかもと必死で勧誘した覚えがあります。それが、卒業して20年を過ぎた今も部が存続し、なおかつ50周年を迎えること誇らしく思います。

マンドリンクラブの今後の益々のご発展をお祈りします。

マンドリンクラブ 50周年

7期 清水正明

“クラブ創立 50 周年”、誠におめでとうございます。

昭和 46 年卒業した 7 期の清水です。卒業後、35 年間マンドリンから離れておりましたが、5 年前からマンドリンのサークルに復帰し、動かない指と格闘している毎日です。思えば入学当初は校舎も現在とは異なり大学の周辺も殺風景な状況でした。今では校舎も新しくなりました。東小金井駅も高架となり、卒業後 43 年間の時間の経過をひしひしと感じます。

マンドリンクラブへの入部はマンドリンが当時 1 万円で購入できたこと、大学では文化系のサークルに入りたかったことなどから決めました。

入部当初は部室に通じる地下室の一角で、只々トレモロ練習ばかりを行っていたことを覚えております。翌年のスプリングコンサートには舞台上上がることができ、頭の中が真っ白になったことも、いまでは良い思い出となっております。

在学中の 2 年～3 年にかけては学園紛争の真っ只中にあり、法政もその中に巻き込まれておりました。この為、定期演奏会（第 6 回）は開催ができず無念の年になりましたが、その年に富山県にて地方演奏会を開催できたことは当時クラブの幹部であった 7 期の結束を強固にしたように感じます。

在学中は授業にはあまり出席せず、部室に直行、直帰したことは幾度もあり、まさしくクラブ活動そのものの 4 年間でした。当時の仲間とは現在も交流があり、青春時代の輝かしい思い出にしたりながら、酒を酌み交わしております。

クラブ活動で培った思い出は人生の中で掛け替えのない経験であったと思います。



(当時の現役仲間)

法政大学工学部マンドリンクラブが創設以来 50 周年を迎えられたことは、ひとえにクラブを支えてこられた諸先輩とその後の部員および現役の皆様の熱心な活動の賜物と思っております。部員の数が増え、廃部に追い込まれた他大学マンドリンクラブもある中で、継続していることは、卒業生にとっては大変頼もしくまた、誇りに感じます。

現在マンドリンクラブの OB/OG 会の副会長を務めさせて頂いております。

今後、さらに法政大学工学部マンドリンクラブの発展の為に微力ながら、お助けできればと思います。

最後に益々の発展と継続を心よりお祈り申し上げます。

50年を迎えて

榎本隆司（8期）

創立50周年おめでとうございます。私の大学生活は、つまりマンドリンクラブは、青春時代そのものでした。入学し1年のころは、先輩たちについていき、2年になると後輩が出来、そして3年になるとクラブの運営をし、4年はオブザーバーとして過ごして参りました。3年の時を思い出してみると、春の合宿、スプリングコンサート、新人歓迎合宿、女子大合ハイ、富山市地方演奏会、小金井市演奏会、オール法政演奏会、工学祭、第7回定期演奏会、追出ダンスパーティ等いろいろな今でも昨日のように思い出し、懐かしく思います。

昨年平成24年4月、私たちが当時(昭和45年)現役のころ、当時合ハイとして交流した清泉女子大のOGの方々とそれこそ40数年ぶりにジョイントコンサートを開催いたしました。私たち法政は、OBが少なく現役の学生にも協力して頂き法政ステージも盛況に終わりました。その中で清泉女子大のマンドリンクラブは、現在存在していませんでした。私たちのHTMCマンドリンクラブは、後輩たちがしっかりと引き継いでくれていてくれて、こんな幸せなことはないと感じました。そして今年創立50年を迎えて第50回定期演奏会でOB・OGのみなさんと、現役のみなさんたちと合同演奏会が開催されて本当にうれしく思います。そしてまた合同演奏会が開催されることを楽しみにしています。これからもOB・OGのみなさんが、現役の方々へ出来る限り援助して、OB・OG会とHTMCがますます発展していくことを願っています。

マンドリンクラブの思い出

第9期 徳江健一

私が大学に入学したのは、昭和四十四年である。今ではもうないが、池がありその上には、図書館があった。毎週四十ページの実験レポートに追われ、通ったところであった。

クラブの練習場所は一階の学生ホールであった。今のように、禁煙と喫煙の区別はなかった。毎日のように三時から五時まで、練習に明け暮れていた。そして、スタミナの城で、大統領を飲んで帰ったことを覚えている。

又、クラブの部室は地下にあり、大きな灰皿があった。いつでも、煙が充満しており、臭かった。それでもいつも、元気な声が響き毎日が楽しく忘れられない。

我が思い出は、色褪せぬ、立ち上る紫煙のくゆらぎの中に。

13期の高橋です。

法政大学工学部マンドリンクラブ第50回定期演奏会おめでとうございます。今年で、50回目の定期演奏会を迎えるのですね。「あつという間に時は過ぎるものだなあ」と改めて思いました。そして、法政大学工学部マンドリンクラブが今でも活躍し続けていることはとっても幸せなことだと感じています。

大学時代の思い出や出来事を振り返ってみますと、演奏会のこと、合宿のこと、練習のこと、行事のことなど数々のことが思い出されます。その中で、特に印象に残っている、良かったことと残念だったことを書きます。

一つは、私が指揮をした第12回定期演奏会（都市センターホール）。指揮者が落ち着かないと良い演奏ができないと、演奏会の準備で雑用に気を使わないように喫茶店に連れ出してもらい落ち着かせてもらったこと。そして、そのおかげで、演奏会のフィナーレ、工学部マンドリンクラブ得意なラテン、最後の曲、マンボNo.5の演奏の途中で大きな拍手を会場から頂いたこと。指揮棒を振っていて、うれしくて涙が出てきたこと。そのせいで、勢い余って曲の終わりの指揮を間違えてしまったことを昨日のこのように思い出されます。

そして、もう一つ大きく記憶に残っているのが、私たちの演奏会（12月）が終わり年が明けて間もなくだったと思いますが、法政大学工学部マンドリンクラブを指導してくださっていた宮田先生が急逝したことです。年の暮に定期演奏会のお礼に伺ったときは普段と変わらずとても元気だったのですが、その先生が突然いなくなったことは、とてもショックな出来事でした。演奏会に使う曲の相談や編曲の依頼など、東横線都立大学の先生のお宅によく伺い指導を受けたこと、宮田先生の代表曲でもある「武蔵野の秋」を定期演奏会で演奏したこと、定期演奏会前には小金井の大学まで来ていただき、熱心に指導してくださったことなどマンドリンクラブにとってとても貴重な先生でした。とても残念な出来事でした。

話は変わりますが、私がマンドリンクラブに入ったきっかけは、コーヒーを奢ってもらったことからです。大学に入学し何かやりたいと考えていました。中学・高校とバスケットボールをしていたのですが、何か違うことをやりたいと思っていました。その矢先、同期で入学した友人（後のコンサートマスター）が、クラブの新生へのPRを階段教室に聴きに行くということで誘われ付いて行きました。行ったときにはマンドリンクラブの演奏はほとんど終わっていたのですが、なんとなく流れでマンドリンクラブの先輩に喫茶店に連れていかれ、コーヒーをご馳走になり入部してしまったことがきっかけでした。そして、高校時代、フォークソングなどをかじっていたことから、ウッドベースがかっこいいなと思い、ベースをやりたいと先輩に言ったのが人生の友となるコントラバスとの出会いでした。

大学を卒業しマンドリンとは離れるところだったのですが、マンドリンクラブでコント

ラバスを弾けるようになったおかげで、卒業後、大学の同級生が所属していたオーケストラに参加しコントラバスを少し続けました。仕事が忙しくなり、オーケストラは続けられなかったのですが、その後、1985年に地元町田のマンドリンアンサンブルに入り今でも続けています。さらに、法政大工学部マンドリンクラブのOBということで、大学時代、練習や演奏会に顔を出していただいた先輩が主宰する八王子マンドリンクラブにも誘われ参加させていただいています。

大学時代にマンドリンクラブに所属していたことは、コントラバスが弾けるようになっただけでなく、人との繋がりも広がり私の人生にとって大きな財産になっています。ひよんなきっかけで、法政大学工学部マンドリンクラブに入部したことは私にとってとてもラッキーなことだったとつくづく感じています。

最後になりますが、今後も法政大学工学部マンドリンクラブが益々発展していくことを祈念しております。

《追伸》

第12回定期演奏会曲目

校歌

1部 マンドリンオリジナル曲

Die Heimreise (コンラッド・ヴェルキ)

武蔵野の秋 (宮田 俊一郎)

イタリア風序曲ト長調 (ドメニコ・ジョバンニ)

Die Grosse Stunde (コンラッド・ヴェルキ)

2部 クラシック

組曲「第2番」ロ短調より (J.S.バッハ)

「椿姫」第一幕への前奏曲 (ジュゼッペ・ヴェルディ)

金と銀 (フランツ・レハール)

3部 ポピュラー

アルディアラ

天使のセレナーデ

愛を永遠に

オリーブの首飾り

(情熱のラテン特集)

マイアミビーチルンバ

エルクンバンチェロ

ベサメムーチョ

マカレナの乙女

クマーナ

マンボ No.5

IV 資料室

1. 会則
2. 定期演奏会パンフレット（詳細）
3. 地方公演パンフレット（詳細）
4. ジョイントコンサートパンフレット（詳細）
5. OB/OG 名簿

IV 資料室

1. 会則

法政大学工学部マンドリンクラブ OB, OG 会会則

第1章 総則

第1条 本会は、法政大学工学部マンドリンクラブ OB, OG 会（以下 OB, OG 会という）と称し、法政大学工学部マンドリンクラブ OB, OG をもって組織する。

第2条 本会は、事務局を法政大学工学部マンドリンクラブ内に置く。
本会の所在地は、会計自宅に置く。

第2章 目的および事業

第3条 本会は、OB, OG 会および法政大学工学部マンドリンクラブ（以下 HTMC という）の更なる発展を希望し、それを支援することを目的とする。

第4条 本会は、次の事業を行う。

- (1) OB, OG 会の定期総会・臨時総会の開催
- (2) OB, OG 名簿の作成
- (3) 年一回の会報の発行および送付
- (4) 演奏会案内状の送付
- (5) 親睦会などの OB, OG 会に関する行事の開催

第3章 役員

第5条 本会には次の役員を置く

会長1名、副会長3名、理事10名以内、会計1名、会長補佐3名
会計監査1名、事務局2名以内。任期は原則2年とする。ただし再任は妨げない。

会長、副会長、理事、会計、会計監査、会長補佐は、定期総会において推薦により選出する。事務局は、現役部員2名以内とする。

また、必要に応じ、役員会を開催する。

第6条 役員の仕事は、次のとおりとする。

会長は、本会を代表し、会務を統括する。

副会長は、会長を補佐する。また、会長が不在の時はその職務を代行する。

会長補佐は会長及び副会長を補佐する。

理事は、担当役割を遂行する。

会計は、会費等の出納を管理し、決算書を作成する。

監査は、会計を監査する。

事務局は、OB, OG と連携を図る。

第7条 本会に、顧問を置くことができる。

顧問は、定期総会において推挙する。

第4章 年会費・援助費

- 第8条 本会の活動費として年会費を集めることとする。
- 第9条 収支の決算は、監査を経て、定期総会の承認を要する。
- 第10条 年会費は、3,000円とする。
- 第11条 年会費の改定は、第17条の規定により行い、会報により周知する。
- 第12条 年会費とは別として、援助費は、HTMCへの援助金として集めることができる。
- 第13条 援助費は、楽器、譜面台、その他HTMCへの共用備品の購入・修繕およびHTMCの継続的な活動の維持運営に役立てる事を目的として使用する。
- 第14条 年会費・援助費の余剰金は、次年度に繰り越す。
- 第15条 会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

第5章 OB, OG 定期総会・臨時総会

- 第16条 定期総会は、年一回、日時と場所を指定し、開催するものとする。
臨時総会は、必要の都度、日時と場所を指定し、開催するものとする。
- 第17条 年会費の改定、あるいはその用途などは定期総会に提出して、その承認を受けなければならない。
- 第18条 定期総会の議事の要項および議決した事項は、会報により会員に通知する。

平成11年6月19日 創設

附則 平成20年6月21日 一部改正

附則 令和3年11月21日 一部改正

附則 令和3年12月13日 一部改正

附則 令和5年8月27日 一部改正

附則 令和5年9月16日 一部改正

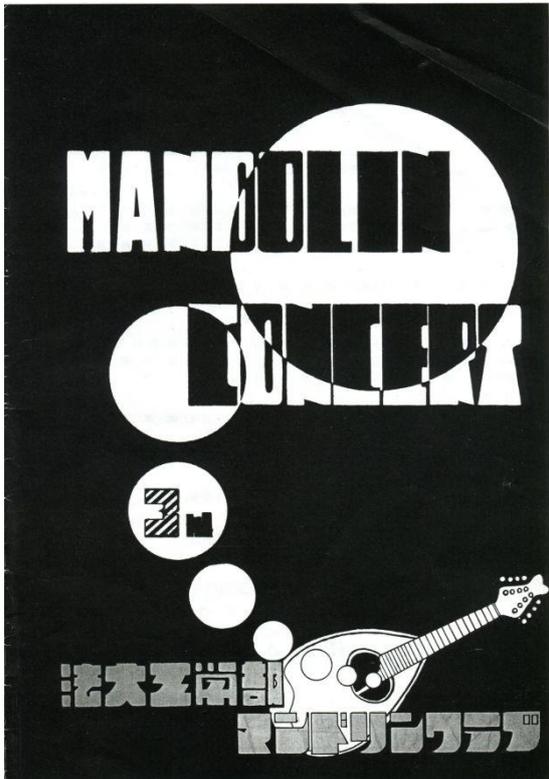
法政大学工学部マンドリンクラブ役員名簿 (2024年)

職責	氏名	期	担当	入学年
顧問	市倉 皖示	4期		(1964年入学)
会長	清水 正明	7期	記念誌	(1967年入学)
会長補佐	佐藤 秀夫	5期	会報	(1965年入学)
会長補佐	中村 明博	42期	合同演奏会	(2002年入学)
会長補佐	茂木 勝俊	45期	合同演奏会	(2005年入学)
理事	栗原 武	7期	会計、企画(ゴルフ)	(1967年入学)
理事	榎本 隆司	8期	企画(旅行)	(1968年入学)
理事	田作 好司郎	9期	会計監査、合同演奏会	(1969年入学)
理事	遠藤 弘之	11期	記念誌(CD)	(1971年入学)
理事	高橋 豊	13期	案内状、名簿	(1973年入学)
理事	小林 幸平	55期	総務(現役窓口)	(2015年入学)
事務局(2024年)	吉田さん		(3年)	
	鹿島さん		(3年)	

IV 資料室

2. 定期演奏会パンフレット（詳細）

**** 定期演奏会パンフレット****



第3回定期演奏会



1966年11月20日(日) P.M.6:00

於：厚生年金会館

主催 法政大学工学部マンドリンクラブ

御挨拶



皆様、本日はお忙しい中を多数御来場下さいまして誠にありがとうございます。我がクラブは工学部のみという限られた人材とスケジュールその他幾多の困難な条件にもめげずクラブ員の熱意と団結とをもって学業の余暇、音楽を通して円満な人格完成の為努力してまいりました。その甲斐あって当クラブも漸く軌道に乗りかけてまいりました。そこでさらに各々の個性と協力をもちまして、立派なクラブになる様一層の研究、練習とを誓い合っております。本日の我々の意気にもえる熟演をお聞き願ひ、今後ともこの若いクラブに對しまして、暖かい御支援と厳しい御批判をお聞かせ願えれば幸いです。最後に本日の演奏会開催にあたり御支援御協力いただきました関係者各位に心から御礼申し上げます。

部長 瀬川昌克

(1)



宮田俊一郎先生紹介

大正14年6月東京麻布に生る。中央音楽学校卒業後NHK東京放送管弦楽団にマンドリンギター奏者として入団、連日テレビ、ラジオで活躍中、又全日本マンドリン連盟顧問をなされ、著書もカルカッションギター教本、マンドリン曲集等多数ある。当クラブ創立以来、色々と御世話いただいたいております。

■演奏曲目

第1部 マンドリンオリジナル

- 序曲ニ長調 K. Wolk
- 序曲イ長調 K. Wolk
- 魔女の谷 Fr. Menichetti
- 悪魔と天使 宮田俊一郎 編曲

第2部 クラシック

- 歌劇“オラッチョオ兄妹とグリファッチョオ兄弟”より序曲 D. Cimarosa
- 歌劇“秘密の結婚”よりその序曲 D. Cimarosa
- 別れの曲 Chiopin

家庭的な雰囲気でお学生生活をエンジョイする

雀荘 清風

(2)

第3部 ギターの調べ

- ラ・タンパルシータ ロドリゲス
- メヌエット 2題 バッハ
- etc.

第4部 ポピュラー

- 慕情 サミー・フェイン作曲 宮田俊一郎 編曲
- 黒いオルフェ 宮田俊一郎 編曲
- カタリ・カタリ 宮田俊一郎 編曲
- 浜辺の唄 成田為三作曲 宮田俊一郎 編曲
- 愛の讃歌 橋本強志 編曲
- 引き潮 ロバート・マックウエル 宮田俊一郎 編曲

タンゴ アルバム

- 青空 橋本強志 編曲
- 奥様お手をどうぞ 山口吉雄 編曲
- 恋心 井上健 編曲
- オレガッパ 宮田俊一郎 編曲
- 夜のタンゴ 菊地隆 編曲
- etc.

東小金井駅北口

内藤薬局

資生堂チェーン

※ 小金井全市民の健康と美容をお約束する店 ※

(3)

■ 曲目紹介

序曲ニ長調

作曲家ヴェルディは近代ドイツにおける重要なオペラ音楽の作曲家であり、その作風はドイツ人らしく雄大且つ壮重なものである。
序曲ニ長調は、彼の作品の中でも特に有名である。曲は激しいアンダレの序奏で始まり、主題は、力強く、最後まで通される。

序曲イ長調

作者は、序曲ニ長調と同じヴェルディで、序奏は序曲ニ長調とは全く対照的で、静かで又壮重な雰囲気を持ち、主題も、序奏の変奏の様なものであり、そのスケールの大きさからいうとニ長調に劣らぬものがある。

魔女の谷

マンドリンオリジナルの中でも、あまり演奏されない曲であり、その曲の中で使われるテクニックは非常に難しく、その内容は豊かである。内容は、魔女とそれに対抗する勇者の戦いを表わそうとしたもので、曲の初めの部分は魔女の不気味な暗い力を感じるが、曲が進むにつれて勇者の勝利を暗示するよう明るく力強い曲想に変化してゆく。

オラウッチオ兄妹とクリアッチオ兄弟

チマローザは歌劇作曲家であり、元来この曲は、マンドリンオーケストラ用に作曲されたものではありませんが、マンドリンでは現在多く弾かれているものです。内容は、ローマとアルバニアとの戦争の裏にかくされたオラウッチオ兄妹とクリアッチオ兄弟の深い恋愛の物語であります。

別れの曲

これは、ショパン作曲の有名なピアノ曲ですが、山口吉雄先生がマンドリン合奏用に編曲したものです。

和菓子・喫茶
 <お茶とお菓子の出る学生ホール>
井筒屋支店 松屋

(4)

■ メンバー紹介

指揮 福寝強志(経営3)
 コンサートマスター 吉野繁(機械3)

第1マンドリン

星野芳晴(電気4) 井上健(電気4) 松本光譜(機械2)
 遠山周二(土木2) 大友浩(電気2) 大塚敏弘(機械2)

第2マンドリン

(T)市倉院示(機械3) 多田文嗣(建築4) 松尾信之(経営4)
 杉原英之(機械3) 古木良夫(電気3) 広沢吾郎(建築3)
 佐藤秀夫(土木2)

マンドラ

(T)大和明(機械3) 沢端司郎(機械3) 井口健可(電気3)
 広田稔(機械2)

ギター

(T)小原林太郎(電気3) 田辺正俊(電気4) 小泉晴雄(経営4)
 志賀貞生(経営4) 瀬川昌充(機械3) 山崎秀良(電気3)
 田辺好功(土木3) 桜井幸雄(機械2) 小沢仁(建築2)

ベース

柚山繁義(経営4) 椎名民夫(土木3)

フリュー

マラカス 貝出賢司(電気2)
 中村俊昭(土木2)

ボンゴ

クラベス 酒巻正紀(建築3)
 山下稔(建築2)

ギタ

スネア 桜井慎一(土木2)
 谷村一男(機械2)

在学中に運転免許を待たずに乗れる
 合格率最高の当教習所へ
公認 むさし小金井自動車教習所
 中央線東小金井駅北口下車 正前より送迎バスあり
 TEL (0423) 81-3321~2

(5)

■ 四年生の横顔



志賀貞生

全女性あこがれのマナコを持ち、野菜イタメを得意とするが、時には腹までイタメることがある。



田辺正俊

一見あどけなさを感じさせる。それが母性本能をくすぐる。……と学業との両立とで常に悩んでいる紳士



星野芳晴

現代娘が内藤洋子とあまりにもかけ離れているので失望の感あり。少しでも似ていたら立候補乞う。



井上健

札幌からはるばるマンドリンを弾くために上京。教養がたまし出すその容姿は子供が群がる原因となっている。



多田文嗣

建築科専攻のわりに骨組みがしっかりしていない。しかしデザインをさせたら“素人顔負け”



小泉晴雄

女子高校生あこがれのまとも。持ち前の反逆精神からギターを左で弾いている。



松尾信之

コンパにはかせない人材であり、彼の“パンザイ”なくしてコンパ成立せず。マンドリンをこよなく愛する江戸っ子。



柚山繁義

ベースの音と同じ様につかみどころのない感じ。大きな夢を見ようと必死になって寝ている“夢は夜ひらく”

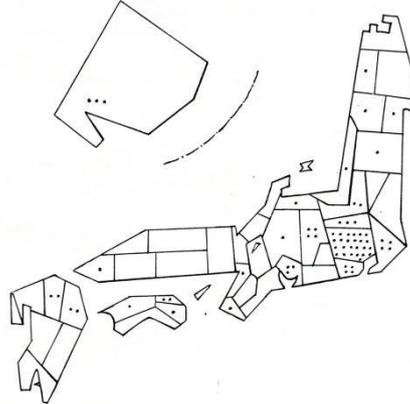
(6)

■ クラブ紹介

我がクラブの――

特色：後輩の方が強い事
 長所：コンパの回数が多い事
 短所：女子部員が少ない事
 部員数：71名(うち持待生3名)
 年令：9才
 平均身長：5しゃく7寸ん
 部室：地下二階の穴倉
 財産：マラカスだけ
 先輩：寄付金いまだ未済
 エニホーム：夢千円也の最高級品

■ 部員の出身地 (点1個は部員1人を示す)



(7)

■ 終りに

年に1回のこの定期演奏会は日頃の成果の御披露と我がクラブのお祭りでもあるのです。愛知県蒲郡での春季合宿、スプリングコンサート、長野県白樺湖畔での夏季合宿 etc.

この1年間、楽しい事、苦しい事がたくさんあり、去年の定期演奏会が夢のように思われます。そこで、終りに部員の声聞いてみようと思います。

- ・合宿の夜“湯の町エレジー”が旅館のおばさんにもてて困った。
- ・中学校での演奏会でサインゼめにはまいったなー。
- ・オリジナルの演奏に対してはめられたとき程、うれしい事はない。
- ・舞台と観客とが一体となるような演奏会にしたい。

最後に、お手許にお届けしましたプログラムは、何かどもの足りないところもあるとは思いますが、私達、実行委員一同が精いっぱい作成したものです。今宵の記念に後々までおそばに置いて下されば幸いです。

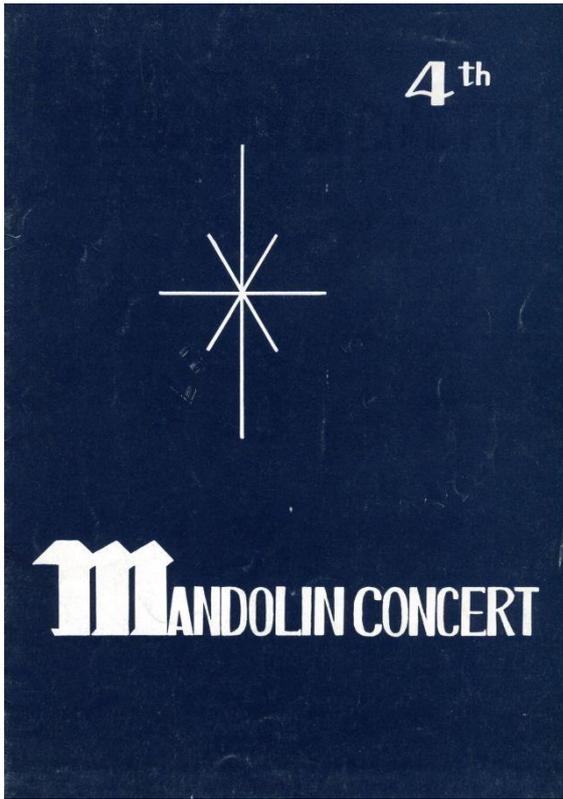
定期演奏会実行委員一同 井口 健 司 遠山 周二
古木 良 六 大友 浩
市倉 皖 司



日本楽器・ヤマハ・特約店

株式会社 **丸石楽器店**

吉祥寺北口駅前通り TEL 0422-22-7003・7004



法政大学工学部マンドリンクラブ

第 4 回
定期演奏会

'67 11.11 (土) P.M. 6:00

日本青年館ホール(神宮)

後 援 法政大学工学部文化連合

PROGRAM

指揮 小 沢 仁
司 会 加 藤 邦 洋

第1部 マンドリンオリジナル&クラシック

- サンジェスト寺院の鐘.....I.Bittelli 作曲
- 西域より.....川崎貞利 作曲
- マンドリニストの群れ.....C.A.Bracco 作曲
- ジブシーラブソデイ.....M.Maciocchi 作曲
- 秘密の結婚.....D.Cimarosa 作曲

第2部 ギターの調べ 編曲 向井俊博

- 思い出のソレンツァラ
- マリア・エレナ
- 他

第3部 マンドリン世界の旅 編曲 宮田俊一郎

- 八木節.....日 本.....
- 双頭の鷲の旗の下に.....ド イ ツ.....
- リトルボーイ.....フ ラ ンス.....
- マカレナの乙女.....ス ペ イ ン.....
- キサス・キサス・キサス.....メ キ シ コ.....
- ブラジル.....ブ ラ ジ ル.....
- ヴィオレッタに捧げし歌.....アルゼンチン.....
- マニヒリメレ.....ハ ワ イ.....

御挨拶 部長 広田 稔

本日は法政大学工学部マンドリンクラブ第4回定期演奏会に御来場いただきまして有難う御座ります。私達のクラブは発足以来数年しかたっておりません。歴史の浅いクラブですが学業の厳しさを背負いながらも毎日部員一同が一丸となって御来場下さる皆様方の御期待に沿うような演奏をお聴かせしようと努力しております。これも皆、宮田先生や諸関係者様の御指導のおかげと感謝致し厚く御礼申し上げます。又今後共同一層の努力を致し立派な演奏をお聴かせ出来る様致したいと思っております。今宵は学生として恥じぬ様精一杯の演奏をお聴かせするつもりですのでどうぞ最後までゆっくりと御観賞下さる様お願い致します。

富田俊一郎先生紹介

大正14年6月東京麻布に生れ、法政中より中央音楽学校に学び、その傍らマンドリンを宮田信義、比留間頼子、ギターは寿楽光雄、和声楽を森正、津川圭一の諸先生に師事、昭和21年2月より、NHKに東京放送管弦楽団マンドリン、ギター奏者としてテレビ、ラジオで活躍中です。また全日本マンドリン連盟顧問をなさり、東京マンドリンミヤタ楽団編曲、指揮。著書もカルカッシギター教本、古典ギター名曲集、マンドリン曲集多数あります。私たちのよき先生であり、麻布校舎でのクラブ創立以来色々とお世話いただいております。

クラブ紹介

私達のクラブは昭和32年校の花さく頃、麻布の旧校舎に同好の者数名によって発足し、以来、部員数わずかの同好会として数年、後、小金井の新校舎へ移転してからは急速にその数を増し現在ではその数約60名と工学部文化系サークルの中で最大のクラブと成長しました。このような1つの学部、工学部だけというマンドリンクラブは他に類をみずユニークな存在として関係各方面から注目されております。

終りに

本日は御来場下さりましてありがとうございました。第4回定期演奏会いかがでしたでしょうか。部員一同力を合わせて今日まで頑張ってきました。ともかく今宵のステージが無事終了できましたことは我々一同喜びにたえません。最後に本日の演奏会に色々とお協力下さいました方々に深くお礼申し上げます。
——演奏会実行委員一同——

発行 H. T. M. C

編集 山内治夫

印刷 日比美術印刷店

家庭的な雰囲気です学生生活をエンジョイする



雀荘
清風

ヤマハピアノ・エレクトーン特約店

琴・三味線

ヤマハ音楽教室
各種個人レッスン



株式会社 丸石楽器店

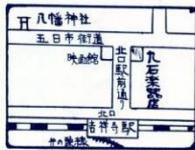
吉祥寺北口駅前通り 武蔵野映画館前
TEL 0422 (22) 7003・7004

毎月 3,000円で

ヤマハピアノを
便利で有利な
ピアノローンを御利用下さい

個人レッスン御案内

ピアノ
エレクトーン
ギター
ドラム
琴・三味線



MANDOLIN CONCERT

5

第 5 回 定期演奏会

法政大学工学部 マンドリンクラブ

1968. 11. 16(土)
P. M. 6:00開演
日本青年館ホール

後援 法政大学工学部文化連合

第 5 回定期演奏会によせて

第 5 回の定期演奏会を迎えた法政大学工学部マンドリンクラブは、32年に数名の同好者の集りより発足したとのことです。その後数年で立派にクラブとして育ち、演奏会も第 5 回を数えることになったことは非常に喜ばしい次第です。これもクラブ一同の努力と関係者各位の助力のためでもあります。工学部の学生としてクラブ活動に参加し、活動することは困難を伴うことが多いが、それをのりこえ、それを通じて教養、趣味また、人間関係が身につくことでしょう。演奏会は個々の技術的問題もさることながらチームとして日々、また合宿で練習、努力より得られた成果を発表する機会であり、この機会に皆さんの期待に答え、今後共、学生諸君また関係者各位の助力を得、着実にクラブとして成長して行くことを期待致します。

法政大学工学部マンドリンクラブ顧問
法政大学工学部助教
高橋敏雄

御挨拶

皆様、今宵は法政大学工学部マンドリンクラブ第 5 回定期演奏会に御来場いただきました、有難う御座います。歴史の浅い私達のクラブではありますが、皆様の御期待に沿うような演奏をお聴かせしようと、毎日努力してまいりました。今宵は学生として恥じぬ様一杯の演奏をお聴かせするつもりですので、どうぞ最後までゆっくりと御観賞の上、皆様の御批評をお聞かせ下さい。最後は、今宵の演奏会のために御指導いただきました宮田先生はじめ、諸関係者の皆様方に厚く御礼申し上げますと共に、今後とも、より一層の御支援を下さいますよう、お願い申し上げます。

部長 丸茂勝彦

(2)

宮田俊一郎先生紹介

大正14年6月東京麻布に生れ、法政中より中央音楽学校に学び、その傍らマンドリンを宮田信義、比留間朝子、ギターは寿樂光雄、和声楽を森正、津川圭一の諸先生に師事、昭和21年2月より、NHKに東京放送管弦楽団マンドリン、ギター奏者としてテレビ、ラジオで活躍中。また全日本マンドリン連盟顧問をなさり、東京マンドリンミヤタ楽団編曲、指揮、著書もカルカッシギター教本、古典ギター名曲集、マンドリン曲集多数あります。私たちのよき先生であり、麻布校舎でのクラブ創立以来色々とお世話いただいております。



(3)

指揮 栗田 誠
司会 加藤 邦洋
(マヒナ・プロダクション専属)

第1部 マンドリンオリジナル

- 序曲「ニ長調」……………ウ エ ル キ 作曲
- 序曲「イ長調」……………ウ エ ル キ 作曲
- ハイムライゼ……………マ チ ョ ッ キ 作曲
- 水車小屋の乙女……………マ チ ョ ッ キ 作曲

第2部 マンドリンによる映画音楽 編曲 宮田俊一郎

- 八十日間世界一周……………ビ ク タ ー ヤ ン グ 作曲
- 魅 惑 の 宵……………リ チャード・ロジャース作曲
- エ デ ン の 東……………レオナード・ローゼマン作曲
- 夜霧のしのび逢い……………J・V・ウエテッ作曲
- 禁じられた恋の鳥……………カルロ・ルスステイリ作曲
- チ コ と 鯨……………
- ド レ ミ の 歌……………リ チャード・ロジャース作曲

スキー・スケート・合宿・民宿のことなら親切にねいにご案内いたします

旅館・貸切バス
航空・各私鉄切符

株式会社 双葉観光協会 三鷹支店

武蔵野市中町1-16 (小松ストア二階)
TEL 武蔵野 (0422) 52-2311 (代表)

第3部 ギターアンサンブル

- オリエンタルダンス……………ロ シ ア 民 謡
- 花 祭 り……………ベ ル ー 民 謡
- タ ン プ ラ ン……………J. F. ラ モ ー 作曲
他

第4部 ラテン音楽

編曲 宮田俊一郎

- キ エ ン セ ラ……………P・ベルラン・ルイス作曲
- ベ サ メ ム チ ョ……………ベ ラ ス ケ ス 作曲
- 夜 の バ イ オ リ ン……………チ ョーザレ・アンドレ・ヒタシオ作曲
- シ ボ ネ……………レ コ ー ナ 作曲
- フ レ ネ シ……………

曲目は変更することが御座居ます

家庭的な雰囲気でお学生生活をエンジョイする



雀 荘
清 風

■ 曲目紹介

序曲 ニ長調

作曲者ウエルキは近代ドイツにおける重要なアレクトラム音楽の作曲家であり、その作風はドイツ人らしく雄大且つ壮重なものである。序曲ニ長調は、彼の作品の中でも特に有名である。曲は激しいアレグロの序奏で始まり、主題は、力強く、最後まで通される。

序曲 イ長調

作曲者は、序曲ニ長調と同じウエルキで、序奏は序曲ニ長調とは全く対照的で、静かで又壮重な雰囲気を持ち、主題も、序奏の変奏の様のものであり、そのスケールの大ききからいってニ長調に劣らぬものがある。

水車小屋の乙女

1874年ローマで生れたマチョッキは、マンドリン、ギターの作曲家として広く知られております。この曲は水車小屋で働く娘達を恰も自分の恋人であるかのような気持で描かれております。曲は壮重雄大な主題で始まり次いで、いかにも楽しそうに働いている娘達の雰囲気を感じられ、そして軽やかに水車のまわる音が聞えてきます。彼女達の口からは自然に歌がでてきます。やがて再び主題が力強く現れ、次いで娘達の楽しい気持が水車小屋をいっぱいにし仕事はつづくのです。

夜霧のしのび逢い

「日曜はダメよ」「春のめざめ」などととも、わが国で評判を呼んだギリシャ映画の主題歌です。クロード・チャリのギター、岸洋子の歌などで有名です。

キエン・セラ

「キエン・セラ」とは「誰かしら」ということです。私を愛してくれるのは誰でしょう、誰でしょう……といった意味の詩がつけられております。ここでは、マンドリンでリズムカルにそしてちょっぴり哀愁をおびて演奏されております。

シボネ

キューバの作曲家エレネスト・レコナーの代表作で、キューバ島のインディアン、シボネ一族の美しい娘に捧げられたものといわれております。原曲はルンバです。

ベサメム・チヨ

メキシコの女性、ベラスケスが1941年に作曲した甘い美しい恋の曲です。今宵はマンドリンの音色でお聞きください。

めんばあ

指揮 栗田 誠
コンサートマスター 荒谷 重治

第1マンドリン

- 遠山周二(土木) 大友 浩(電気) 大塚敏雄(機械) 上野 仁(機械)
- 清水正明(電気) 堀見清春(電気) 吾妻孝信(経営) 増田芳住(電気)
- 江島康夫(機械)

第2マンドリン

- T小川清彦(建築) 小林 聡(電気) 堀沢隆利(機械) 松本光緒(機械)
- 佐藤秀夫(土木) 中西章雄(建築) 八木憲夫(電気) 五反田利幸(経営)
- 栗原年男(建築) 板東照夫(建築) 沢山常清(経営)

マンダラ

- T細川日出夫(経営) 安江正博(建築) 山内治夫(機械) 広田 稔(機械)
- 川村総一郎(電気)

ギ タ ー

- T吉原重雄(機械) 谷村一夫(機械) 桜井幸雄(機械) 原 卓雄(機械)
- 前知繁人(機械) 小沢 仁(建築) 山下 稔(建築) 具 出 賢 可(電気)
- 五十嵐 優(電気) 栗原 武(機械) 岩崎正己(機械) 榎 本 隆 司(経営)
- 鈴木幸一(電気) 岡島省三(建築) 手塚 先 人(経営)

リズム楽器

- T 桜井 慎一(土木) 北垣 信二(建築) 村村優一郎(建築) 塩 田 正(電気)

フルート

- T丸茂 勝彦(建築) 佐藤 正(電気)

ベ ー ス

- T関 口 幾 朗(電気)

■ くらぶのぶろいーる ■

私達のクラブは昭和32年桜の花さく頃麻布の旧校舎に同好の志者数人によって発足し、以来、部員数わずかの同好会として数年、後小金井の新校舎へ移転してからは急速にその数を増し現在ではその数約60名と工学部文化系サークルの中で最大のクラブと成長しました。このような1つの学部・工学部だけのマンドリンクラブは他に類をみずユニークな存在として関係各方面から注目されております。

■ 昨年の活動 ■

- 1967 4月 春 の 合 宿
- 6月 スプリングコンサート出演
- 8月 夏 の 合 宿
- 10月 小金井市民祭出演
- 11月 福生青年のついで出演
オール法政マンドリンコンサート出演
- 12月 ホープコンサート出演
定期演奏会
おいだしパーティ

終りに

本日は御来場下さりまして、有難う御座いました。第5回定期演奏会いかがでしたか？ 今宵の演奏会のために夏の合宿以来、部員一同一生けんめいに、練習にはげんでまいりました。その成果がみあって、今宵のステージが無事に終了出来ました事は我々一同喜びにたえません。最後に本日の演奏会に色々と御協力下さいました方々に深くお礼申し上げます。

——演奏会実行委員一同——

表紙 丸茂 勝彦
編集 前畑 繁人
印刷 朝日美術印刷店

つきや
小金井市間野町 バス停前
0423(81)-1781-7911

麻雀
タバコ

Peace

九萬

法大 つきや

バス停

お菓子・パン・喫茶

ながい

法政大学前
TEL (0423)81-8978番

法大

PROGRAM

司会 加藤

I. Mandolin Original

指揮 川村 純一郎

序曲「レナータ」..... L.G.Lavitrano Lavitrano
Renata Overture

ムーア風グラナダ..... M.M.Garcia
Granada Morisque

海の組曲..... Amadio Amadei

Suite Marinaresca

第1楽章 ナイアーデのセレナーデ

第2楽章 オンディエスの踊り

第3楽章 シレーネの唄

第4楽章 トリートネのフーガ

II. Guitar Ensemble

イギリス組曲第3番より

ガボット..... J.S.Bach

管弦楽組曲第2番より

ロンド..... J.S.Bach

ブレー..... J.S.Bach

真珠採りのタンゴ..... G. Bizet

ラ・クンパルシータ..... G.H.Matos Rodriguez

III. Clasic

指揮 沢山 常清

ペルシャの市場にて..... A.W.Ketelbey
In a Parsian Market 編曲 川村 純一郎

円舞曲「美しく碧きドナウ」..... Jorann Strowss
An der schönen blauen Donau 編曲 宮田 俊一郎

秘密の結婚..... Dominico Cimarosa
Overture in II Matrimonio Sigreto 編曲 宮田 俊一郎

IV. Popular

指揮 沢山 常清

日本民謡集..... 編曲 宮田 俊一郎
五ツ木の子守唄・よさこい節・津軽ジョングラ節
花笠音頭・八木節

ラテンミュージック
タブ..... 編曲 宮田 俊一郎
サンバクマーナ..... 編曲 宮田 俊一郎

スクリーンミュージック
愛の誓い..... 編曲 安江 正博
ララのテーマ..... 編曲 川村 純一郎
旅情のボレロ..... 編曲 宮田 俊一郎



曲目解説

I. Mandolin Original

レナータ序曲 Renata Overture H.L.Ravitrano

急激の変化に富んだダイナミックなこの曲レナータはアレクトラム音楽の最高峰と称せられる作曲で、数多のマンダリンオーケストラがかけ、現在では、最もポピュラーなマンダリンオーケストラ曲の一つとして知られている。

曲はアダグロ・ビートに始まり、マンダリンの高音部のメロディとそれに対する低音部との繰り返しの後、ギター、マンダリンソロのカデンツァからロマンが美しいメロディへと流れた後、突然低音部の力強い音、そしてアレグロに入り豪快に終ります。

ムーア風グラナダ Granada Morisque M.M.Gar

今を去る500年の昔、スペイン、グラナダの高原に平和な王国を営んでいたサラセン民族の一族ムーア人が、キリスト教徒のカスティーラ女王イザベラとその夫アラゴン王フェルディナンドに攻められて、その王アフィールと共に険しい王国に別れを告げ、アフリカに四散したという悲しい運命を幻想曲風の組曲にしたものです。

曲は1.前奏曲、2.前奏アラビア風のグラナダへの訣別、3.アラビア風小夜曲、4.舞曲と終曲の四つの部分に分かれています。

前奏曲は力強い低音とマンダリンの強奏に続いてマンダラ、マンダリンのsoloがあらわれます。二曲目はマンダリンの伴奏にのった低音の旋律に続いて、曲は6拍子となり、特徴的な旋律がマンダリンによって奏されます。三曲目はセレナーデ、マンダラがアラビア風のセレナーデを歌います。マンダラの美しい旋律、そして3拍子となり2ndマンダリンの伴奏にのって、1stマンダリン、マンダラによる舞曲が奏されます。そして終曲、マンダラ、マンダリンのsoloのみと曲は、力強く終ります。

海の組曲 Suite Marinaresca Amadio Amadei

イタリアのマンダリン音楽の代表的作曲家アマディによるこの組曲は、海の持つさまざまな面を巧みに描写していて、マンダリン音楽の独創性を発揮した名曲といえるものです。

第一楽章 ナイアーデのセレナーデ
静寂な夜の海、水に映る月光を反映する神秘的な水面を静かに駆けまわっている。マンダラの度々たまたたゆるやかな伴奏にのって、マンダリンの美しい旋律が水面に降り始める。

第二楽章 オンディエスの踊り
夜の海辺の夕日に照らされてはくだける波、波に載れる波の音オンディエスの踊りは魅惑と夢幻に満ちている。ギターは伴奏に続いてマンダリンの軽やかな旋律が聞えてくる。

第三楽章 シレーネの唄
シレーネに休みつづ、その美しい声でもって人々を魅惑する半人半魚の女神シレーネ、シレーネは静寂の夜の海、船人を美声の唄で魅惑せしめるのです。

第四楽章 トリートネのフーガ 第四楽章
夜は夜の静寂を壊し、安らぎとして現れ、半人半魚の男神トリートネは貝音を吹き鳴らし怒濤を捲きつづ駆けまわっている。

「フーガ」と題されるこの楽章はマンダラ3rd、1stのかけ合い、また、マンダリンとギターのかけ合いがあり、変化に富んだ楽章で勢いよく豪快に終ります。

大谷モダンバレエ研究所
幼児から大人まで 各クラスあり

大谷 体育 教室
幼児、小学生、中学生、各クラス及び美容体操クラスあり

小田急線 下北沢下車
TEL. (468) 2962

II. Guiter Ensemble

メンバー

1st 榎本 隆・鈴木 幸一・森井 誠治
2nd 入江 博・田中 好博・山中 正博
3rd 岡島 省三・神木 哲士・小出 行雄・三田 輝

管弦楽組曲第2番ロ短調より「ロンド(アレグロ)」ブレー(アレグロ) J.S.Bach

Bachの作品は、特定の楽器を選ばず、いろいろな編曲で演奏できるものが多くギターによる演奏もまたおもしろい。特に、フランス起源の2/2拍子の舞曲である ロンドブレーは原曲はあたかもフルート協奏曲のような感じで、その美しい旋律は聞く人の心をとらえます。

ロンド(アレグロ)

フランス起源の、2/2拍子の舞曲。フルートと第1ヴァイオリンがユニゾンで奏する軽快なガヴォット風のロンド主題が、これとは対照的な歌謡風のグループを奏して3回反復されます。この形はロンドがもととなりアレグロの踊りのための歌で、プロとコーラス(リヴァイン)が交互に歌うようになっている形式の名残であるとされています。

ブレー(アレグロ)

ブレーはフランス起源の活気にあち2/2拍子の舞曲です。この曲は3部形式で、トッカータの躍動的な第1ブレーとフルートのソロが主導的な役割を演ずる第2ブレーから成り、トリコに相当するこの静かな第2ブレーのあと、ダ・ダして第1ブレーがもう一度演奏されます。

真珠採りのタンゴ

作曲者 G. Bizet

「カルメン」で名高いジョルジュ・ビゼーの作曲したオペラ「真珠採り」のアリア・ナデルのロマンスをタンゴにアレンジしたもので戦後最も流行したコンチネンタルタンゴの1つと称賛も御存知の事と思います。アルフレッド・ハワース・マシトウアーニー楽団のあの湧き出るようなストリングスは3つと部隊も一度は耳にした事と思います。今回は美しいギターのトレセロとアルペジオの音の神秘さをお聴き下さい。

ラ・クンパルシータ

作曲者 G.H. Matos Rodriguez

いわずと知れたアルゼンチンタンゴの名曲です。クンパルシータとは仮装行列のことこの曲は仮装行列の華やかさをよそに恋に破れ嘆し(死んでゆく)孤独な男の心を唄っています。いつ頃作られたタンゴなのかわからない方は書籍をしてみてください。北九でかっくください。タンゴ(三五)15?というでしょ。それではないです。1915年に世に出た曲なんです。

化粧品、雑貨

法政

ミドリ薬局

東小倉駅

二至新宿

法政大学ナラビ

TEL. 0423-81-7565

ミドリ薬局

III. Classic

ペルシャの市場にて In a Persian Market A. W. Ketelbey
何度ともなく聞くこの曲「ペルシャの市場にて」、東洋的な雰囲気を持ったこの曲は私達の心を、

円舞曲「美しく響きドナウ」 An der schönen blauen Donau Johann Strauss
「ブルーワグ」呼ばれているシュトラウスの大傑作であるウィーンのシンボル。そしてオース

秘密の結婚 Overture in B Mätrimonio Sigreto Dominic Cimarosa
今日、チャモワの曲はマンドリン合奏によってしばしば演奏されています。きょうお聞かせ



合宿・民宿・スキー・スケート
旅館の予約 乗物の手配
株式会社 双葉観光協会
本店 東京都文京区湯島3の38の12 TEL (833) 8501-5
支店 三鷹駅北口駅前小松ストア内 TEL (832) 5008

IV. Popular

日本語メドレー 富田俊一郎 編曲
日本の代表的な民謡を集めてみました。ドドンパのリズムによるツツ木の子守唄、マンボ節…

タブー、サンバクマーナ 富田俊一郎 編曲
キューバの女流作曲家マルガリータ・レクオナが作ったタブー、そしてカン・作曲のサンバクマ

愛の誓い (T I L L) CHARLES DANVERS 作曲 安江正博 編曲
トニー・ベネットの歌で大ヒット、以来多くのソリストやオーケストラが歌っているス

ララのテーマ モーリス・ジャール作曲 川村純一郎 編曲
1966年の最大のヒットとなった大スクリーン映画「ドクトル・ジバコ」のテーマです。

旅情のポレロ 富田俊一郎 編曲
キャサリン・ヘップバーン、ロサナ・ブランチ主演によるアメリカ映画「旅情」の中で演

(三多摩大学生協連等指定)
運転免許証をお取りになりませんか?
学生諸兄に馴染深い教習所で
教習料(学割) 技能1時限 1200円
公認 むさし小金井自動車教習所
(申込み 当校 協へ)
国電 東小金井駅北口下車 送迎バスで2分
TEL 0423 (81) 3321

4年生プロフィール



高橋 真 (前年度会計、キター・トップ)
彼は、もともとがキター・トップで活躍し、(はま)と(コ)



今井 亮一 (前年度編曲、2ndマンドリン・トップ)
2ndマンドリンとして、初めてマンドリン合奏の一年生



高橋 真 (前年度編曲、マンドリン・トップ)
彼は、前年度の会計から会計士を目指して、大がかりな



高橋 真 (前年度会計、キター・トップ)
コンサートマスター兼マンドリン・トップとして演奏



清水 正明 (前年度編曲、1stマンドリン)
編曲として、彼の曲の演奏の機会には必ず



関口 隆 (前年度総務、ベース・トップ)
編曲として、前年度の会計から会計士を目指して、大がかりな



日守 日出夫 (前年度部長、マンドリン・トップ)
事務の担当から、二学期からマンドリンの為に



手塚 光人 (ギター)
取れた。山崎、池田の部で中絶し、中絶し



八木 重夫 (前年度部長、2ndマンドリン)
今年度には、前年度の部長として、彼の指揮し



安江 正博 (前年度編曲)
自他、編曲の天才。現在、西武のマンド



北條 健二 (前年度マンドリン、パーカッション)
1に指揮 2にマンドリン 3、4がなくてはいけません

村松 健一 (前年度パーカッション・トップ)
はるばる、来子から出てくるのを聞いてはたして、合宿では

四年間どうもご苦労様でした
先輩にうまれるのを覚悟して、フィードバックをもちに、思いつづきにつづりま

昭和46年度新役員

部長……………	藤 恭 一	指 揮……………	田 作 好司郎
副部長……………	内 藤 泰 明・小 林 和 男	コンサートマスター……………	徳 江 健 一
総 務……………	神 永 哲 士・櫻 本 栄 子	2ndマンドリントップ……………	岩 崎 清
会 計……………	山 崎 政 晴・伊 東 豊 桂	マンドラトップ……………	藤 恭 一
マネージャー……………	三 田 勝・松 田 正 明	ギ タ ー ト ッ プ……………	森 井 誠 治
備 品……………	小 出 行 雄	ベーストップ……………	内 藤 泰 明
譜 面……………	小 野 精 一・山 中 正 博	フルートトップ……………	根 本 順 一
文通本部長……………	内 藤 泰 明	クラリネットトップ……………	松 田 正 明
軽音楽委員……………	森 井 誠 治	パーカッショントップ……………	森 下 和 夫
		ミュージックディレクター……………	森 下 和 夫

終りに

今日は、御来場下さりまして有難とう御座居ました。部員一同 力を合わせて今日まで頑張ってまいりました。ともかく今宵のステージが無事終了できましたことは我々部員一同喜びに耐えません。最後に今日の演奏に色々御協力下さいました方々に、深くお礼申し上げます。 —部員一同—

編集後記

今年八月に地方演奏会を行なった為、定期演奏会の準備が遅れ、このプログラムも試験が終わってから、あわてて広告取りや、原稿集めに奔走西走し、ようやくここに編集後記を書くにいたりました。去年は学園紛争の為、定期演奏会を開くことが出来なかつたので今年はその分もと、はりきって練習終了後、連日連夜討論をかきねべページ数も例年に比べてアツとムやりました。三年生としてクラブ最後の仕事であるプログラム作製の仕事を買って出たのは良かったのですが、つくづく自らの文章表現力のなさを悟りました。ない知恵をしぼりにしほってようやく出来がありました。「ました」が多すぎました。あー今夜の月は なんときれいに見えるコトヨー。

発 行 法政大学工学部マンドリンクラブ 編集局
 表紙・ジャケット 神 永 哲 幸
 編集委員 坂 東 照 夫・吾 妻 孝 恒・川 村 純 一・鈴 木 幸 一
 印 刷 練 日 比 美 刷 印 刷 店

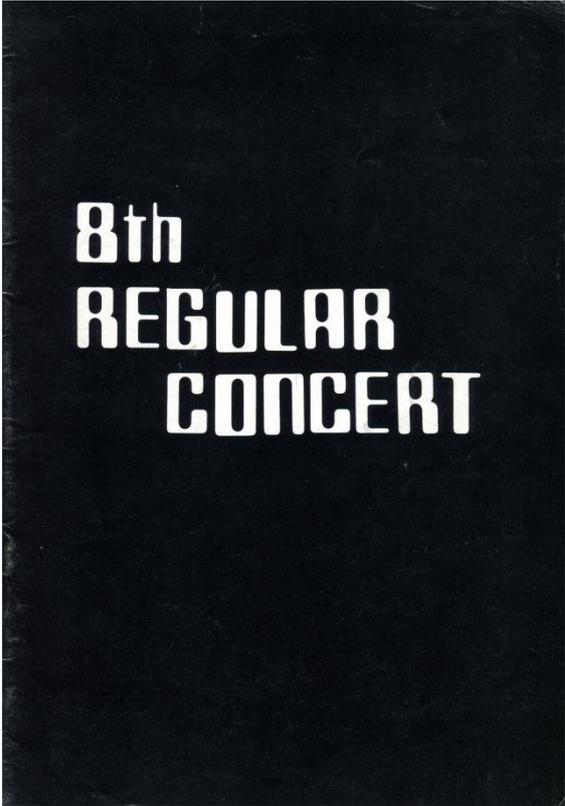
つきや
 小金井市関野町 バス停前
 0423(81)-1781-(83)7911

麻雀
 タバコ

Peace

九萬

法大 つきや
 バス停



法政大学 工学部
マンドリンクラブ

第 8 回
定期演奏会

1971・11・12(金) 指揮者 田作 好司郎
PM 6:00 コンサート マスター 徳江 健一
都市センターホール 司 会 加藤 洋

第 8 回定期演奏会によせて

法政大学工学部長 森田 忠 孝

法政大学工学部マンドリンクラブは、法政工学部における学生の音楽グループの中でも最も大きな、そして最も活発な団体の一つだと思っています。工学部の学生は、日頃機械とか電気とかの「固い」学問を学んでいるだけに、かえってメロディーやハーモニーに対するあこがれが人一倍強いようです。ですから、わが工学部においても、演奏会をもちよると、あつちから湧き出る音が流れ、碧風景なキャンパスに響かぬ限りを話してきます。練習を通じてたいに曲の奥底を高めてゆき、その成果を一夜の演奏会に輝かせるその緊張と興奮は演奏会にたずさる者の無の趣味といつてよいでしょう。

本日演奏場の皆様どうぞわが工学部マンドリンクラブの演奏を最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

マンドリンクラブ顧問
工学部助教授 高橋 敏 雄

今回第 8 回定期演奏会を開催することが出来たことは部員と共に非常に喜ばしいことと存じます。これは部員一同の目こらの努力、各先輩の指導及び皆様の御協力によるものまことに大であると思えます。法政大学工学部マンドリンクラブは、工学部の 1 サークルとして活動始めて数年、現在では部員 60 数名をかかえる団体であり、部長を中心とした部員構成の団体の日常の活動に対する部員相互の理解と協力によって大きく育って来たクラブであります。

工学部の学生として勉学とクラブ活動を両立させることは非常に困難であり、忍耐が必要であります。それを克服し、日ごらの練習の成果をここに充分発揮し、皆様へよい演奏を御聞かせ出来ることと信じております。皆さんの御声援と御批判を受け、期々学生演奏グループとしてのわが法政大学工学部マンドリンクラブが成長することを切に希望する次第です。

小倉井部長 永利 友 喜

首都東京の近郊住宅都市として発展している当市には、まだまだ武蔵野の面影を留した所が散在していますがこの武蔵野の面影を留した一隅に法政大学工学部が所在しています。

本日法政大学工学部マンドリンクラブ第 8 回定期演奏会を開催させていただきます。これまでで最も美しい卒業の余韻を奏用されて、練習を積み重ねてこれた貴重な結晶を充分に発表され、演奏会が成功されますことを心から期待するものであります。

手工 絃楽器
S. Watanabe
マンドリン・ギター他低音楽器
絃楽器全般製作修理
渡辺絃楽器研究所
北区滝野川 5-43-5 号 TEL (916) 8 5 2 8-9
国電 板橋駅 都電バス共滝野川 5 丁目下車

法政大学工学部マンドリンクラブ
OB・OG 会長 菊地 隆

深まりゆく秋の一夜を第 8 回定期演奏会へお越し頂き、誠に有難うございます。ここに無事演奏会を終えることが出来たのも、音楽を愛する皆様の御支援の賜と部員一同と共に心から感謝致しております。今日は、我がマンドリンクラブが日頃成果と情熱とを余す所なく発揮してくれるものと思えます。何かとお忙しい毎日とは思いますが楽しんでくれるだけお過ごし頂ければ幸いです。

最後に関係各様の御協力、並びに各地の校友会の御援助に御礼申し上げます。

東京マンドリン: 宝田 康 徳 富田 俊 一郎

法政大学工学部マンドリンクラブ第 8 回定期演奏会おめでとうございます。部員一同もこの演奏会を楽しみにして居り、学業の合間一致団結、若さの御熱を傾けて参りました。

本日の演奏会では、さつと青春の感懐もあって、大いにひきまわさるでしょう。学業の余暇の練習といふよりも、律々劣等が多い事でしょうが、そこは若さで先づは和、そして努力とファイトで更に立派な内容のある演奏が出来よう努力、精進して下さい。

終りに本日御来場頂きました皆様方にも今後とも法政大学工学部マンドリンクラブの為に、暖かい御支援と御鞭撻をお願い申し上げます。

昭和 40 年 法政大学工学部機械工学科卒
卒業後エンジニアとして就職、この時期に東京アナウンスアカデミー普通科を終了しました。42 年和田弘とマヒスターズ専属司会者となり、主としてステージ関係の司会を担当、現在では千昌夫などの司会も担当、幅広く活躍しています。大学在学中から我々クラブの定期演奏会の司会をして頂き、色々とお世話になっています。

司会者紹介 加藤 洋

祝 第 8 回定期演奏会
三美堂印刷
中央区湊町 3-2-6 TEL (551) 4 7 8 4

第 8 回定期演奏会の成功を祈って

部長 堀 恭一

本日は、御多忙の所、法政大学工学部マンドリンクラブ第8回定期演奏会に御来場いただきまして、誠に有難うございます。

我がマンドリンクラブも昭和32年秋の花咲く頃、森有の田舎会に同好の者数名によって発足して以来、39年小金井の新校舎へ移転してからは急激にその数が増し現在ではその約600名と工学部文化祭アワードの中で最大のクラブと成長しました。そして今、その円熟期、安定期に入ろうとしています。

ここに第8回定期演奏会が催されますのも部員の熱意と共に、皆様方の暖かい御支援の賜物と感謝しております。どうか最後までごゆっくり御聴き下されまして色々と御批評をいただきますようお願い申し上げます。

最後に、この演奏会に際し、御指導賜りました諸先輩、宮田俊一郎先生、関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

清泉女子大学マンドリンクラブ

第8回定期演奏会おめでとうございす。
この晩秋の一夜、一年間の努力の結晶が花開くことを、私達同マンドリンを奏するものとして心から御祝い申し上げますと共に、この後も益々御発展なさいませ御祈りしてやみません。

跡見学園女子大学マンドリンクラブ

今宵は第8回定期演奏会を迎えられ、おめでとうございす。私達マンドリンクラブ一同、心より御祝い申し上げます。
今日に到る間には苦しかったこと、つらかったこと数多あったことでしょう。しかし、それを乗り越えてこられた貴クラブの絶えざる努力はマンドリンを通じて志を同じくする私達にとって大きな励みとなります。今日とはたぬみない練習の成果を残らずこの舞台で発揮して下さい。

車検・一般整備、钣金塗装、新中古車販売
トヨペット指定サービス工場
運輸大臣認定民間車検場
東京海上保険代理店

 **日本自動車整備株式会社**

〒184 小金井市緑町2-16-27(法政大学前)
☎ 0423-81-0004・6420

CONCERT PROGRAM & INTRODUCTION

I 部. Mandolin Original

指揮 田作好司郎
司会 加藤洋

1. 序曲「第二番嬰へ短調」…………… K・ヴェルギ作曲

まずアンダンテの荘厳な序奏で始まり、美しい和音の調和の中を気高さを秘めた旋律が静かに流れます。続いてアレグロに展開して活発なテンポで華麗なマンドリンと重厚なマンドラ、マンドセロのメロディが、からみ合い中間部ではマンドリン、ギター、ベースのハーモニーを伴奏としてフルートの陽気なソロが聞かれます。

再びテーマに戻り勇壮な低音楽器のリズムによって一気にビウソツに入り豪壮なフィナーレに達するのです。

曲を通しての強弱の交代は、作者の激しい心の動きを表わしているようです。

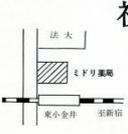
2. ローマの衣裳 …………… C・ガランティ作曲

この曲はマッソッキの編曲により我国でもマンドリン合奏曲として、たびたび演奏されるようになりました。アレグロで静かに始まりクレッシェンドされ盛り上がる。この形が幾度か繰返され速度とアンダンティモ、アレグロ(タランテラ)、アンダンテ、クラシオソ、アマビレ、アレグロ・アジタードと激しく変わります。それは題名どおり激しく、その色彩を変えアレグロ・ウィーヴォで華やかに終曲する。

3. 熱情 …………… ブラントワリー作曲

ブラントワリーの代表作であって、全篇情熱的で美しいがその美しさは民族的なものでなく更に純粋な深い高いものを持っている。演奏は時々困難な箇所が多く優れた演奏技術を要する。作者ブラントワリーはイタリーのボロニアの近くのセントに生れ1909年に亡くなった。弦楽楽団の指揮者であった彼はマンドリン、ギターにも興味を持ち、この作品を書いている。彼にはギターやマンドリンの教則本のほか、フルートも研究しておりその歴史と奏法の著書もある。

祝 第8回定期演奏会
皆様の健康と公衆衛生に努力する。

 **ミドリ薬局**

法政大学ナラビ
TEL(0423)83-8414

II 部 Classic

1. エジプトの秘境 …………… A・ケテルビー作曲、清水保雄編曲

イギリスの作曲家ケテルビーは「ベルシャの市場にて」また「中国寺院の庭にて」等、好んで東洋的な雰囲気を取り入れた描写音楽の作品で広く知られています。この曲もまた、世界最古の文明が開花したエジプトの満天輝るごとき星耀；砂漠にそそり立つ謎のスパイナス；ピラミッドの秘密；永久に隠された宝を沈め、歴史をたぐって流れるナイルの神秘と冒険に満ちた秘境を謳ったものである。

2. 皇帝円舞曲 …………… J・シュトラウス作曲、宮田俊一郎編曲

1888年、83歳の時当時のオーストリア皇帝フランツ・ヨーゼフ1世の皇帝即位40年の記念祝賀会が催されました。

この曲はその会のために作曲されたもので皇帝に捧げられました。そのために、この名があるわけですがその名によさわく非常に堂々とした壮麗な気分を持っています。特に前奏の部分は行進曲風のリズムで書かれているのも特徴で、そのためほかのワルツとは異なった趣意をもっています。

3. 序曲「セヴィリアの理髮師」…………… ロッシーニ作曲、宮田俊一郎編曲

イタリアの作曲家ロッシーニは父はホルン、母はソプラノ歌手という恵まれた環境に育ち、彼の才能は、その中で思う存分伸ばされた。「イタリアのモーナルド」と呼ばれるように華麗、明快な旋律にあふれりスル音楽法に独創的要素を強く示しているように感じられます。フランスの劇作家ベッリニの同名の戯曲をもとにしたロッセーニのオペラ「セヴィリアの理髮師」はロッセーニの代表作といえるばかりでなく、19世紀前半にイタリヤで作曲されたオペラのうちで最も有名なものである。初演は1816年である。今日「セヴィリアの理髮師」は序曲として親しまれているこの音楽は、本来、他のオペラのための序曲として作曲され、それが転用されたものである。

合 宿・民 宿・スキースケート
旅館の手約 乗物の手配

株式会社 **双葉観光協会**

本店 東京都文京区湯島3の38の11 TEL (03) 8501-5
支店 三鷹市北口駅前小松ストアー TEL (0422) 52-2311

III 部 ギターをテーマとした調べ

前年までGuitar Ensembleとしてクラシックを主として行ってきたが、今回はPopular音楽にすべてを打ち込んでGuitarの持つ可能性を最大限に利用してみようと思う。Guitarがなかった Ensembleには、フルート、バイロ、ドラムなどの楽器を加えてマンドリン合奏とは別個の編成で試みることにできない魅力がギターをテーマとした調べにおいて見出しで欲しい。

- Guitarの持つおもしろさを十分味わってください。
- Sealed With A Kiss
 - Close To You
 - 黒いサングラス
 - その他
- Music Director 森下和夫



IV 部 華麗なるマンドリンの世界

1. 恋よさようなら…………… 山中正博編曲
2. ロミオ & ジュリエット…………… 山中正博編曲
3. 愛はすべてを越えて(女王陛下の007より)…………… 深田好夫編曲
4. 夏の日恋…………… 橋本順一編曲
5. 枯葉…………… 内藤泰明編曲
6. アルフィーサンホセへの道…………… 森下和夫編曲
7. 男と女…………… 内藤泰明編曲
8. ある恋の物語…………… 宮田俊一郎編曲

「華麗」そんな言葉がぴったりするような曲をそろえてみました。「華麗」という言葉の意味するものは知らない深さがあるような気がします。我々は、その音楽の華麗さを追求しているうちに、得体の知れない恐怖感と共に、音楽の深さを確信して感じさせられました。我がクラブが華麗なるマンドリンの世界に挑戦した結果を最後までゆっくり御聴き下さい。

ラワン・南洋材・挽材及び一般羽柄材

西川商店

江東区深川木場3-11-5 TEL (642) 3672
市川販売所 市川市間ヶ島84 TEL 0473(57) 0753

役員の素顔

指揮者紹介

常に演奏会においては観客席に背を向け、指揮棒にその素顔を見せる時間が一番少ない。田作野司郎。そんな彼にちよっ一言、言わせてみましょう。

我が指揮者パートは絶頂1名という非常に忙しいパートである事は御来場の皆様には御存知の事と思います。そのせいか、今年の指揮者は「気難」な「クール」な指揮者で、行く先々の演奏会では、女性のサインせめて、にあって困っています。

(本人は、我れこそ「気難」かつ「優美」の象徴であると思っているようです) 今夜は大学生生活、最後のコンサート。一生懸命演奏致しますので、どうぞよろしくお願い致します。



田作野司郎



1st Mandolin

ファーストマンドリンは、マンドリンオーケストラにおいて、ブラスと呼ばれるソロパートを担う最も重要なパートです。彼らが奏でる美しい旋律が演奏の完成度においてとても持ち合わせているのにも関わらず、複雑な生活を送っているのが現状です。そんな二重生活の第一人者がファーストマンドリンの部員として女性ならではの繊細さや、総務として女性ならではの細かい仕事ぶり、根本家子儀、部費をしっかりと取り生かすという会計の山崎純。以上1stのマンドリンです。

山崎純 山崎純 山崎純 根本家子



2nd Mandolin

1stの奥、あまり目立たないけれど、ひたむきに弾く。マンドリンを奏でる姿は全部員の胸を打つ。マンドリンにかける情熱は、どのパートよりも……か強く、自分の技量に甘んじることなく、特別にも楽曲で(心で役)に忠し、今日も明日も指揮者、セカンダリー、花ならつはみ、今日もトシモ、明日も……

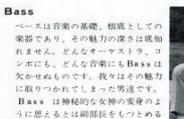
左よりトップの若狭清、女性を見ると急に目つきが変わるという後です。2ndが女性上級になったのは彼女が原因という会計の伊東豊枝。浜松市演奏会では、あの細い杖に手打って弾き回した演奏者の小野精一。



Mandala - Tenor

マンドラパートは我がクラブにおいて重要なパートで、その楽器の特性から「優美」で「深み」のある雰囲気を持っています。ただ少人数という点の弱みですが、そこは少数精鋭で一生懸命がんばっています。

又、ドラパートからは部長：磯部、副部長：小林和男というクラブの重要な役員を消している為、毎日の練習では大変な忙しさを伴って演奏するところから始まる。一言がけない、などと言われ、本人達もその気になって急にはふけ込んで来たところかと思わす。でも頼りになるこの二人です。



Bass

ベースは音楽の基礎、根底としての楽器であり、その魅力の深さは底知れません。どんなオーケストラ、バンドにも、どんな音楽にもBassは欠かせない。我々はその魅力に取りつかせられた男達です。Bass は神秘的な女神の姿の上にいるとすると副部長をもつとめる内藤泰明の身です。



Percussion

音楽の三要素(Melody, Harmony, Rhythm)が現代の音楽において最も調子がとれていると評され、特にリズムが重視される。曲を盛り上げるのに欠かせないものでもある。我がクラブにおいて今までのクラッシュ楽器に似てリズムを得意と見えて現代音楽の主流であるロックの世界にも挑戦しているとは、これまたミュージックディレクターの森下和夫が得意どころである。

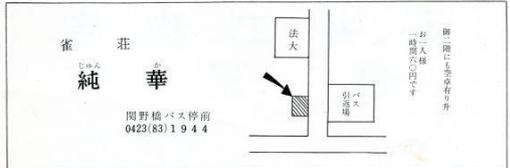
内藤泰明 森下和夫

人生何事も付き合い!!

隣りの家とも
隣りの国とも
隣りの店のパンは

タカラ屋

法政工学部隣り



役員の素顔



Guitar

我が法政工学部マンドリンのギターパートは、クラブ内最大の人員を要してベースと共にリズムの部分をしっかりとカバーしている。その為かクラブ内においても最大の互利団体となっておりパート練習の場などは他の練習場より力が入り、他のパートの演奏もあがります。その互利関係のリーダーが森下和夫。どんな時でも笑いながら絶えぬ品性の小出行雄。マンドリンの腕は一品色という三田 隆。全くの初心者という演奏者の山中純。練習の場から生かすという演奏者の山崎純。それらもそれらというギターパートである。

山中純 小出行雄 森下和夫 三田 隆 神末賢士



Flute & Clarinet

我がパートこそ、我がクラブの演奏会に欠かせないパートの部員。マンドリンをもつとめるクラッシュの仲間。明るく活潑で人々の心を惹く音色をもち、演奏でかっこいいサウンド。いつも一歩引いて演奏しているため演奏会では目立たずとも、他のパートを支えるパート。その個性たっぷりの演奏を聞きながらいっしょに演奏して下さい。

山崎純 根本家子

東京都知事登録(リ)第35971号

建築請負
石井工務店

石井繁次郎

森崎区麹切2丁目59番地
TEL (697) 3496

Memories

浜松市演奏会 大成功!

真夏の太陽の下、汗だくになり、チヤット売りに見知らぬ街角をかきずり廻り、気が付いた時には夜空に星が輝いていた。

そんな浜松の思い出。

浜松市演奏会のために8月6日から長野県白根町に合宿。馬小屋の二階を練習場として借り受け涼しい風にマンドリンの響きや音色を奏せて、指のいたさをこらえ練習に励んだ合宿。夜更けまで騒いでいた目的の朝、正座をさせられたマツコ。なかほどの休みの一日。さすがに練習場には人影は見られなかった。合宿の最後の夕食でのジンギスカン鍋。肉の取り合いでケンカをしたマツコ。

さて部員が浜松に入ってから!

それは女性の数が圧倒的に多いこと。

それも皆 美人ばかりときちやまらナイ。

指揮者。コンマスをはじめ管ソウワウ、ソウワウ。

きっと浜松で生まれる子供はほとんど女の子なのだろう。

いや、そうは違うな。きっとそうか……

演奏会当日!

お客さんが多勢入りますように、明るく気持ちである。

恋狂の一曲目が終わった時の顔談によって

最後の曲を弾き終えた。

絶大なる拍手とアンコールの呼び掛け

やったぞ という感激。

浜松市民会館の上の夜空に

色とりどりの花火の輝きが見えた。

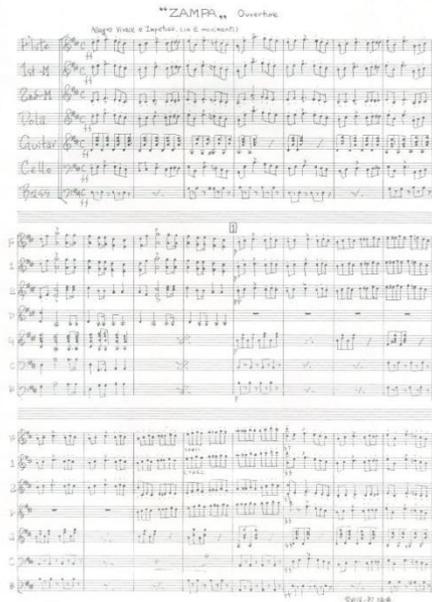
夏休みの思い出がまた1ページ増えました。



雀 莊
東 發

法政大学通り (81) 8 8 0 5

10th REGULAR CONCERT



第 10 回 定期演奏会

日 時 昭和48年11月24日(土)
午後 6:00開演

於 厚生年金会館 (小ホール)

法政大学 工学部 マンドリンクラブ

第10回定期演奏会によって

マンドリンクラブ顧問 高橋敏雄
工学部助教

今日、第10回定期演奏会を迎えることが出来ましたことは何々種と共に大変喜ばしいことと存じます。さて法政大学工学部マンドリンクラブも結成以来16年の歴史を持つまで成長しました。これも、クラブOB諸氏、クラブ員の日頃の努力、情熱を注いだ結果であり、このような発表の機会を持って皆さんと楽しい一時をすごすという目的があるからであります。演奏会というのは日頃のクラブ員一人一人の練習の成果をクラブ全体として調和、協力の形で皆さんに聞いて戴き、いろいろな御批評を戴き、より一層進歩、発展という方向へ歩を進めるべき chance であります。皆さん、また、OB諸氏の御支援、御理解を受け増し、良き法政大学工学部マンドリンクラブの発展をクラブ員共々期待したいと思います。

法政大学工学部マンドリンクラブ
OB・OG会会長 菊地 隆

深まりゆく秋の一夜を第10回定期演奏会へお越し頂き、誠に有難うございます。ここに無事演奏会を迎えることが出来ましたが、音楽を愛する皆様の御支援の賜と部員一同と共に心から感謝致しております。今宵は、我がマンドリンクラブが日頃の成果と情熱を余すことなく発揮してくれるものと思っております。何かとお忙しい毎日とは思いますが楽しくつらい一時をお過ごし頂ければ幸いです。何かとお忙しい毎日とは思いますが楽しくつらい一時をお過ごし頂ければ幸いです。何かとお忙しい毎日とは思いますが楽しくつらい一時をお過ごし頂ければ幸いです。

法政大学工学部文化連合 執行委員長 下条高志

秋の長雨といいますが、それとはいいもので、それはときにはつらいもの
雨にうたれるのはさびしいけれど、雨を見ているのはほっとつらい
ぬるい肌寒が、のどを下って行く、時が歩きはじめる。

外は再び秋
おねがいだから「おんがく」をとめないで、あなたの方のイメージが、かけらうように浮かぶ。
P. S. (僕が12のときからその頃は聴いていないですね)

車検・一般整備・鈑金塗装・新中古車販売
トヨペット指定サービス工場
運輸大臣認定民間車検場
東京海上保険代理店

日本自動車整備株式会社

〒184 小金井市鉢町2-16-27(法政大学前)
☎ 0423-81-0004・6420



東京マンドリン宮田楽団
宮田 俊一郎

法政大学工学部マンドリンクラブ第10回定期演奏会おめでとう御慶居ます。十年一昔というように、一日に10回といっても、工学部という忙しい学部でもあり、一年々が授業のこと、辛いこと、苦しいこと、又楽しいこと、色々のことがあった10年。諸先輩の御支援、若さで情熱で御努力、ファイトで積み重ねた貴重な第10回目の演奏会ですね。

今日の演奏会、全力投球で悔のない演奏会にして下さい。これからはますます盛んになるであろうアレクサ音楽界の爲にも、学業の余日、昔の一つ一つを大切に、技術の向上、部員同志の相互の友情・団結等々、青春時代の貴重な一ページを残しながら、努力精進、さらにさらに立派なクラブにして下さい。

揮毫する法政大学工学部マンドリンクラブ期待していますよ、頑張れ！本日御来場頂いた皆様方も今後とも法政大学工学部マンドリンクラブの為に熱い御支援と御理解をお願ひ申し上げます。

司会者紹介

三木 節子



武蔵野女子大学 文学部 日本文学科に在学中、
長崎県出身

今年の春 SPRING COCERNT が我がクラブとの初めての出会い、音楽では「ロック」が好きという彼女、普段話しているとは男の子の言葉も飛び出すほどのですが、司会をやってもらうと、優しく甘い口調が、我が部員のみなさん、会場のお客さんを酔わせるという不思議な魅力を使っています。

雀 荘



ダービー



法政大学通り

***** 第10回定期演奏会の成功を祈って *****

部長 北島 昭一

本日は御多忙の中、御来場いただきまして誠にありがとうございます。おかげさまで第10回定期演奏会を越えることができ、部員一同心から感謝いたします。

昭和37年から開催してまいりました定期演奏会も昭和44年、学園紛争の爲に一回中止された以外、順調な発展を遂げ、今年でちょうど10回目を迎えます。今宵の演奏会は上級生から下級生まで、そして、O・B・O・G会の一致賛同と協力で企画されるものです。従来の定期演奏会をそっくり受け継いで延長して行なうのではなく、もっと新鮮な気持ちで進めたいという思いで、これを契機として一段と飛躍しようと考え、精一杯努力してまいりました。そして、そのようにすることが部員一同の感謝の気持ちを表現することだと思っています。

今年も幹部が主人という趣向の小人戯で行なった為、演奏会では2年連続でトップに加入させるといふ事象が起きました。演奏会では、いろいろな仕事を一人二役で行なわなければならないという従来の演奏会とは、演奏会と演奏会の分離が行なわれます。特にこの両面を幹部の兼任せざるを得なくなりました。このことは部員数の減少ともつながり、地方演奏会の中止を引き起こしたのです。今までも地方演奏会のみならず、国産か否かは度外となく言われてきたのですが、今年思い切って中止したのは、幾多の解決されないまま残っている問題があり、それを超越できなかったからでした。故に、幹部としては年間を通じて最大の行事である定期演奏会一本に絞って学内で練習を行ない、合演もそれに合うように行ないました。それが最良だと思ったからです。

今年の6月に4年生の顧問の不幸の事故があり、幹部はもろもろ、他の部員にも多大な悲劇だったと思います。しかし、それを乗り越えようとして、部員各自の努力には感心させられ、今では頼もしいものになりました。特に一年生にとっては、これだけ技術のいる曲を弾くことは、かなり難しく、辛かったと思います。最後にこの演奏会に際し、御指導賜りました諸先輩、宮田俊一先生、関係者のみなさまに厚く御礼申し上げますと共に、今後とも御指導、御鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。



祝 第10回定期演奏会

小川 製作所

東京都品川区平塚1-14-6 ☎ (781) 9 0 1 8

***** PROGRAM & INTRODUCTION *****

指揮 堀田 秀男

コンサート
マスター

遠藤 弘行

司会 三木 節子

***** 第 1 部 *****

Mandolin Original

1. 序曲ニ長調 作曲 K. Wolk
編曲 宮田 俊一

作者は、ドイツ生まれのヴァルキで、数々の有名なマンドリンの爲のオリジナル曲を作り、彼の作った *A-dur・H-moll* ・ロマンス的協奏曲等は、多くのマンドリン・コンサートで演奏されて好評を博しています。

この *D-dur* も彼の代表作の一つで、アンソロで始まり、楽しく、うかぶようなメロディーを持ったり美しい曲です。

ハンガリーの旅 作曲 Fr. Menichetti
編曲 宮田 俊一

作者は、メニケッティ (1899-1968) でコロンビアのトガで生まれ、マンドリン・オリジナル曲として『魔女の谷』『最後のステージ』『ハンガリーの旅』等を発表しました。

ハンガリーの旅は、小品ではあるけれども、弾きどころが内に秘めた情熱をうまく織りまぜて、ハンガリーの情景を表現して、速度の変化のある美しいファンタジーとして作曲されています。

3. レナータ 作曲 H. Lavitrano
編曲 宮田 俊一

作者は、ラビトラノで、イタリアのナポリ・イスキア島で生まれ、数々のマンドリンの爲のオリジナル曲を発表し、中でもこの『レナータ』や『ローラ』『雲』などが有名です。

この曲は、レナータの生涯を描いたもので *Allegro Vivo* で始まり、美しいメロディーを繰り返して、ギターとマンドリンのソロで美しい哀愁のロマンスに移り、低音部の導入により、急激に *Allegro* に変わり雄大なメロディーを繰り返しながらクライマックスへと進み、レナータの美しい一生を大変にうまく表現しています。

***** 第 2 部 *****

Classic

1. 「バクダットの大守」 作曲 Fr. A. ボアルデュー
編曲 宮田 俊一

作者ボアルデューは、18世紀から19世紀初期にかけて活躍したフランスの音楽家・作曲家で、18才頃から歌劇などを発表し、24才の時にこの曲を発表し、彼の代表作となりました。彼はその後ロシアに住み、仏露戦争開始と同時に帰国し、パリ音楽院の作曲教授となりました。この「バクダットの大守」は、音楽劇であり、今日ではほとんど上演されず、この序曲だけが単独で演奏される場合が多くなっています。曲は果てしなく続く砂漠の情景を表現した序奏部で始まり、白い長い服をきたアラビアの太平の行進を思わせるアンソロへと移り、軽快な調子で進みます。

2. 学生王子のセレナーデ 作曲 ジョージモンド・ロンベルグ
編曲 宮田 俊一

ハイデルベルクに留学した王子と、酒場の女との恋を題材にしたこの作品の作曲者は、ハンガリー生まれのジョージモンド・ロンベルグで、彼は当時盛んになり始めたニュー・クラシックに力を入れ「美しい月」「五月」などの名作を出しました。中でも「アルト・ハイデルベルグ」を原形としたこの歌劇「学生王子」は好評を博しました。この作品はその歌劇の中のセレナーデで、五分たらずの小品で干渉しても、流れるような美しいメロディーを持つ一曲です。セレナーデ楽器といわれるマンドリンの美しい音色をお楽しみ下さい。

3. 歌劇「ザンパ」序曲 作曲 ルイ・ジョセフ・フェルナン・エロー
編曲 宮田 俊一

作者、ルイ・ジョセフ・フェルナン・エローは、パリ生まれでパリ音楽院の出身、オペラやバイ音楽家も多く書きましたが、現在ではほとんど上演されません。この「ザンパ」序曲は、彼が40歳の時の作品で代表作です。

この「ザンパ」は、もともと歌劇の序曲で地中海の海賊ザンパを主人公にしたもので、オペラコミックらしく、数々のシーンやメロディーが入れ替わり変わり、楽しい曲となっています。



***** 第 3 部 *****

Easy Listening

- 1. エーゲ海の真珠 鈴木 繁 編曲
- 2. ラスト ワルツ 高橋 敏 弘 編曲
- 3. アド ロ 鈴木 繁 編曲
- 4. 涙のカノン 塚田 好 夫 編曲
- 5. 黒いワシ 塚田 好 夫 編曲
- 6. シバの女王 塚田 好 夫 編曲
- 7. セレソローサ 宮田 俊一 編曲
- 8. 急 流 宮田 俊一 編曲
- 9. エストレリータ 宮田 俊一 編曲
- 10. キサス・キサス・キサス 宮田 俊一 編曲
- 11. マンボNo.5 宮田 俊一 編曲

祝 第10回定期演奏会

紳士 洋品

勉強 堂

東京都大田区東蒲田2-19-1 ☎ (738) 4 8 9 5



鶴岡 治朗 宮林 毅 白井 良明
佐藤 誠 眞田 順一

2nd Mandolin

2ndマンドリンは、目立たない存在ですが、メロディーに輪を持たせその響きはよってそのイメージを変える大切なパートであります。

トップの眞田順一が、むづかしい箇所に来ると音符を欲しながらマンドリンを弾く、その輪が1人1人に移り合奏の時むづかしい箇所に来ると全員が口をバクバクしながら演奏するというおもしろいパートです。一年生も大部成長したように思えます。

Mandola-Tenor

“純潔”を愛し、“差別”を拒否するクラブの一の理想である。部長の北島君。勉強もできなければ、女にも縁がない、それに加えて“インファン”な顔を持っているクラブの一の“?????”の石月君。

“節操”みないな顔をしていて、先輩をいじるクラブの一の“サディスト”の橋本君 etc. など、いろいろの“個性派”ぞろいの楽しいパートです。



石月 治義 北島 昭一 橋本 善純



鈴木 清美 久富 柳次
渡辺 寛

Guiter

誰にも親しみやすい楽器のため、いつも人数が多く、大きな顔をする事しり、でも、トップの渡辺寛を始め、二年生の鈴木清美、久富柳次、今年四月から仲間になった、一年生まで、人情味豊かな人がそろっていて、練習風景はとてもごやかで楽しい限りである。そして、音楽的には、ジャズからクラシック・ドラムスからピアノ・バイオリンまで幅広く手掛けているメンバーもおり、たのしいパートである。

Bass

ベースの魅力と言えれば低音、低音の魅力と言えればベース。つまりベースは合奏の基礎をなす低音部を受けもって、後ろの方で地味にやっています。でも、地味だった彼等。演奏以外の時には、親分の小川正晴を頭に、二年生の高橋一之。そして一年生の高橋博之の三人がそろってほしい姿身イ。何をやるにしても先頭を切って行き、勢いありすぎて失敗することはないが、でもチームワークは“ウツリ”のベース3人でありませう。



高橋 博 高橋一之 小川正晴



五十嵐 修 高橋博之

Flute

トップの高橋博之。実にフルートを好み、音楽を好み、女性を好む。クラブ内では1位と位を競うもてふりで全国各地から彼を一目見て惚れないと、少なくとも二人の女性が来るという噂が……。

一方の五十嵐修。小学生に人気のある野田美穂の出身地である福島県は福島県で製造、流く美しい湖と、勇大な磐梯山で絶少の頃からワンパク場主として、又、親子の息子として県内にどどいた。彼のフルートは、「千里の道も一歩から」式で着々と……。

大栄ポウル 0423-83-2351 日曜09:00-23:00
10:00-23:00
スナック 葵 0423-81-5386 12:00-22:00
スナックベトロール 0423-81-7641 17:00-02:00
麻雀荘 ロンロン 0423-83-2669 15:00-23:00
スナックスベア 0423-83-4909 10:00-21:00
(大栄ポウル内)

Memories

- 11/22-27 工学祭参加
- 12/4 ダンスパーティー
- 12/10 幹部交替コンパ
- 1/13 4年進出しコンパ
- 3/27-4/3 春季合宿 於伊豆
- 4/25 新人生歓迎コンパ
- 6/2 スプリングコンサート
於 日本青年館
- 8/22-28 夏季合宿 於 山中湖
- 10/6 小金井祭参加



山中湖にて

祝 第10回定期演奏会

手工 絃楽器

S.Watanabe

マンドリン・ギター他低音楽器
絃楽器全般製作修理

渡辺絃楽器研究所

北区滝野川5-43-5号 TEL (016) 8528-9
国電 板橋駅 都電・バス滝野川5丁目下車

11th. Regular Concert



'74.11.9

マンドリンクラブ顧問
工学部助教授 高橋敏雄

今日、第11回定期演奏会を迎えることが出来ましたことは皆々様と共に大変喜ばしいことと存じます。さて法政大学工学部マンドリンクラブもクラブ結成以来16年の歴史を持つまでに成長しました。これも、クラブOB諸氏、クラブ員の日頃の努力、情熱を注いだ結果であり、このような発表の機会を持って皆さんと楽しい一時を過ごすという目的があるからです。

演奏会というのは日頃のクラブ員1人々々の練習の成果をクラブ全体として調和、協力という形で皆さんに聞いて戴き、いろいろ御批判を戴き、より一層進歩、発展という方向へ一歩進めるべきchanceであります。皆さん、また、OB諸氏の御支援、御鞭撻を受け増々、且且法政大学工学部マンドリンクラブの発展をクラブ部員共々期待したいと思います。

法政大学工学部マンドリンクラブ
OB-OG会 会長 菊地 隆

殊よりゆく秋の一夜を第11回定期演奏会へお越し頂き、誠に有難うございます。ここに無事演奏会を迎えることが出来たのも、音楽を愛する皆様の御支援の賜と部員一同と共に心から感謝致しております。今宵は、我がマンドリンクラブが日頃の成果と情熱を余すことなく発揮してくれるものと思っております。何かとお忙しな毎日とは思いますが楽しんでいただく一時をお過ごし頂ければ幸いです。

最後に関係各位の御協力、並びに各地の校友会の御援助に御礼申し上げます。

東京マンドリン楽団
宮田俊一郎



法政大学工学部マンドリンクラブ第11回定期演奏会おめでとうございます。工学部という新しい学部になりながら、学期の余暇に、練習に練習を重ね、文部館高のこの御時節に、合演費も上がり、喜びいろいろ。今日この日を目標として努力、精進してきた部員一同、今日こそ若さ一杯、情熱をこめた悔いのない演奏で、有終の美を飾って下さい。今日の演奏会のこの感動をいつまでも忘れずに、十年の余先輩達の築き上げたクラブを更に充実したクラブにする為に、和・努力・フィードで努力、精進して下さい。

本日御来場の皆々様も、今後とも法政大学工学部マンドリンクラブの為に、暖かい御支援、御鞭撻をお願い申し上げます。

手工 絃楽器
S. Watanabe
マンドリン・ギター他低音楽器
絃楽器全般製作修理
渡辺絃楽器研究所

北区地野川5-43-5号 TEL (916) 8528-9
国定 板橋駅 都電バス東武野川5丁目下車

- 4 -

法政大学工学部マンドリンクラブ
部長 石月浩義

本日は、お忙しい所をお越し頂きまして、誠にありがとうございます。この定期演奏会も、今回で11回を数え部員一人々の日頃の努力によることから、一帯に音楽のあふれる、いいいな音響を聴かせて下さった。宮田俊一郎先生はじめ、先輩の御支援を以て下さった。OB・OG会の皆様のおかげと御礼申し上げます。

私達は、この第11回定期演奏会にあたって、先輩諸氏が築き上げてこられた、伝統を守り、かつ今までのクラブになかった何か新しいものを、と決意し、この一年間、はげんでまいりました。果たしてどれだけ事ができたのか私達にもわかりません。ただ、この演奏会で、そのほんのひとかけでも見出し出してくれたなら、私達にとって、これはどれだけの事はありません。

学部の都合上、思い切った練習時間もとれず、決して豊富な練習量であったとはいえない。そして、誰もが一度は経験する、学業との両立という悩みに、これまで以上に、幾度となくこの問題にぶつかり抱苦しめた時を思い出さざるを得ない。音楽に対する情熱もなくなる。このクラブへの愛も、部員同志の友情も、あったと思います。慣れた舞台に、あがりきみの一年生。これが学生生活最後の演奏となる4年生。今日のこの2時間余りの演奏に、私達は、がっさりスクラムを組んで、学生らしい若さと情熱とをぶつけるつもりです。どうぞ最後まで、ごゆっくり御鑑賞下さることを願っています。

明法学院大学法学部4年
末田正雄

司会者紹介

クラブ員Xの高校時代の先輩という方で、Xの押し強さ、固々さきりに負けて、とうとう定演の司会を引き受けていただきました。

某放送局に就職が決まったという後、学生とは背反、その名司会ぶりには定評があり、その甘い声とマスクに魅せられた人は数多くいるということです。

今夜は、その名司会でステージを大きく盛り上げていただければ幸いです。

東京  **学生割引**

コンタクトレンズ

高田馬場駅前 TEL 209-4646(代)
◆池袋 971-8188 ◆渋谷 409-0005

- 5 -

Program

∞ I ∞

Original & Classic

魔女の谷	作曲 メニケツテイ 編曲 宮田俊一郎
海の少女	作曲 服部 正
交響曲第8番	「2楽章」「3楽章」 作曲 ベートーベン 編曲 宮田俊一郎
マドンナの寶石	作曲 エルマンノ ヴォルフ・フェラーリ 編曲 宮田俊一郎
蝦夷	作曲 鈴木 静一

第一楽章 藤深き朝
第二楽章 牧場の朝
第三楽章 秋の声
第四楽章 黄昏の帰還

車検、一般整備、钣金塗装、新中古車販売
トヨタ指定サービス工場
運輸大臣認定民間車検場
東京海上保険代理店

日本自動車整備株式会社

〒184 小金井市緑町2-16-27(法政大学前)
☎ 0423-81-0004・6420

- 6 -

10月9日(日) 祝日(祝)

11月9日(日) 祝日(祝)

第17回定期発表会

COFFEE & SNACK
カルチャー

中央線東小金井駅北口 2F TEL. 0425(04)9005

新幹部登場

部長: 佐藤 誠	コンタクター: 高橋 豊
副部長: 橋本 真純	コンサートマスター: 嶋岡 治朗
総務: 白井 良明・山口 哲生	ギタートップ: 植田 益徳
マネージャー: 植田 益徳・河野 本章	セカンドトップ: 白井 良明
会計: 嶋岡 治朗	ワンドラトップ: 橋本 真純
備品: 白井 良明・山口 哲生	フルードトップ: 河野 武彦
清酒係: 植田 益徳・河野 本章	ペーストトップ: 江口 直之
	パーカッショントップ: 河野 本章

食堂
むさしの

本町2丁目バス停前
TEL. 0423-81-6814

アルバイト募集!! ウエイター 10:00-14:00 時給400円 ②
14:00-21:00

tea & lunch **豆の木**

中央線西武池袋口駅 3F TEL. 332-6400

編集
坂野 一之
渡辺 寛
表紙・チャット
デザイン
渡辺 寛
印刷
岡アザック
写真印刷
TEL. 813-6091

発行
法政大学
工学部
マシソン
クラブ

編集後記

いつのまにか、夜も白々となり、暁が鳴き始める時刻になりました。私の上には、ようやく書き終えた、努力の結晶である原稿と、一冊の労作を掲げている尻置が、ボツンと残っている。しばらくしてようやく、仕事を終えたという満足感が湧き上がってきて、さっきまでの脱気も、どこへやら……

このプログラムが、みなさんの手元に残って、演奏会の立派な案内役を、努めてくれれば、私たちは、一層幸せです。

尚、プログラムのために、原稿をお寄せ下さった方々、並びに、広告主の方々、また、協力して下さいました部員の方々、どうもありがとうございました。

namiuchi
浪内静子 美容室

Fashionable Beauty Salon

西武池袋駅南口 TEL. 332-2325 西武東武池袋口 TEL. 332-2392
西武池袋駅南口東武池袋口 TEL. 332-2895 西武池袋駅南口 TEL. 332-2392

Namiuchi Beauty Academy TEL. 334-2496

T.M.C.

■ 終りに

年に1回のこの定期演奏会は日頃の成果の御披露と我がクラブのお祭りでもあるのです。愛知県蒲郡での春季合宿、スプリングコンサート、長野県白樺湖畔での夏季合宿 etc.

この1年間、楽しい事、苦しい事がたくさんあり、去年の定期演奏会が夢のように思われます。そこで、終りに部員の声を聞いてみようと思います。

- ・合宿の夜“湯の町エレジー”が旅館のおばさんにもてて困った。
- ・中学校での演奏会でサインゼめにはまいったなー。
- ・オリジナルの演奏に対してはめられたとき程、うれしい事はない。
- ・舞台と観客とが一体となるような演奏会にしたい。

最後に、お手許にお届けしましたプログラムは、何かともの足りないところもあるとは思いますが、私達、実行委員一同が精いっぱい作成したものです。今宵の記念に後々までおそばに置いて下されば幸いです。

定期演奏会実行委員一同 井口 健 司 遠山 周二
古木 良 六 大友 浩
市倉 皖 司



日本楽器・ヤマハ・特約店

株式会社 **丸石楽器店**

吉祥寺北口駅前通り TEL 0422-22-7003・7004



第 12 回 定期演奏会

日時 昭和50年12月6日(土)
午後6:00開演
於 都市センターホール

法政大学工学部 マンドリンクラブ

あいさつ

マンドリンクラブ顧問
建築学科助手 阿部 俊

本年もここに定期演奏会を迎えることが出来たことは皆々様と共に大変喜ばしいことだし、感慨深く思っています。

定期演奏会も数えて12回と平気で云うなら早くも一週りしたことになります。大学のクラブという宿命により演奏会の回数ほどにめざましい進歩があったとは言い難いと思いますが、このような発表の機会をめぐして、常日部クラブ部員一人一人が勉学の余暇を精一杯の努力と情熱を注いで得た成果ですので、楽しく響きまに聴いて戴ければ幸いです。また、本年中途にして前顧問の高橋敏雄助教授が急逝されたという大変悲しい事件がございましたが、この演奏会の成功をもって長い間の故人の意願に報いたいと思っております。

今後とも、部員共々、本クラブの発展を期し実行していく所存ですので、御来場の皆様のかいり御支援と御鞭撻をお願いします。

東京マンドリン研究会
吉田 俊一郎



法政大学工学部マンドリンクラブ第12回定期演奏会おめでとう御座います。研究室に実練に忙しい学部でありながら、部員の皆さん、又OBの皆々様が努力とファイトで、学間に練習に苦勞しながら一回、一回と積み上げた第12回の演奏会、今日もこの苦勞をふっとばす若さと、悔いのない演奏を期待しています。今後とも学間にマンドリンクラブに、今日のこの感激を土台に、更に努力、精進してますます発展するクラブに磨きをかけて下さい。又御来場の皆々様におかれましては、今後とも法政大学工学部マンドリンクラブにかき御支援、御鞭撻をお願いします。

法政大学工学部マンドリンクラブ
OB・OG会長 菊地 隆

深まりゆく秋の一夜を第12回定期演奏会へお越し頂き、誠に有難うございます。ここに無事演奏会を迎えることが出来たのも、音楽を愛する皆様の御支援の賜と部員一同と共に心から感謝致しております。今宵は、我がマンドリンクラブが日頃の成果と情熱を余すことなく発揮してくれるものと感念しています。何かとお忙しい毎日とは思いますが楽しくつらいつらいつら一時をお過ごし頂ければ幸いです。最後に関係各位の御協力、並びに各地の校友会の御援助に御礼申し上げます。

手工 絃楽器
S. Watanabe
マンドリン・ギター他低音楽器
絃楽器全般製作修理
渡辺絃楽器研究所

北区滝野川5-43-5号 TEL (916) 85528-9
国電 板橋駅 都電バス丸の内線 丁目下車

定期演奏会によせて

法政大学マンドリンクラブ

秋夕に深く、冷気まじしに預る頃、貴法政大学工学部マンドリンクラブ第12回定期演奏会おめでとうございます。

勉学さらにクラブ活動に熱心でられる貴クラブの皆様方が今宵のステージでこの一年間の練習の成果を遺憾なく発揮されることを私達は祈りいたす次第であります。これからも同じ法政大学に学ぶ友として、数多くの面で協力しあっていたいと思っております。

最後に、貴クラブの御発展を私達法政大学マンドリンクラブ部員一同心から願って、お祝いの言葉をさせていただきます。

法政女子短期大学マンドリン倶楽部

師走となり、なにかと忙しい中、貴法政大学工学部マンドリン倶楽部が、ここに第12回定期演奏会を開催されますことを、私達法政女子短期大学マンドリン倶楽部一同、心より、お慶び申し上げます。

我倶楽部が、貴倶楽部と交流をはじめ、まだ二年という短いつきあいではありますが、貴倶楽部の倶楽部に付する「和」には、隔のするおもしろい、後輩へのおもしろい、先輩との語り、いつも、うらやましく、拝見しています。しかし演奏にはいると、まぎれて、愛のムネがとよその中に現われる、音楽に対する態度に、すばらしい「和」を感じるのです。

今宵のステージに、あらためて「和」のとうきを発揮され、本日の演奏会で大成功をおまわれますと共に、今後の貴倶楽部の御発展をお祈り申し上げ、お祝いの言葉をさせていただきます。

法政女子大学マンドリンクラブ

法政大学工学部マンドリンクラブ、第12回定期演奏会の開催を部員一同心からお慶び申し上げます。

貴クラブのはつらつとした演奏は、必ずや聴く人々の心を魅了するものと存じます。日頃の練習成果を充分に発揮され、本日の演奏会が成功期に於ります事と共に、貴クラブが今後お一層、御発展、御活躍なされます事を祈り申し上げ、お祝いの言葉をさせていただきます。

相模女子大学マンドリンクラブ

冬の気配も濃くなり始めた今日この頃、貴法政大学工学部マンドリンクラブの第12回定期演奏会を開催されますことを心からお慶び申し上げます。今宵は皆様が日頃の音楽への情熱とその練習の成果を充分発揮され、立派な演奏会となることを期待し、また今後の御発展をお祈りしてお祝いの言葉をさせていただきます。

東京 **学生割引**
高価 ¥14,000

コンタクトレンズ

高田馬場駅前 TEL 209-4646 (代)
◆池袋 971-8188 ◆渋谷 409-0005

PROGRAM 1部(オリジナル)

法政大学工学部マンドリンクラブ
部長 佐藤 誠

本日は御多忙の中、御来場いただき誠にありがとうございます。皆様の御支援のおかげで第12回定期演奏会を迎えることができ、部員一同心から感謝申し上げます。

第1回定期演奏会を開催して以来早くも12回目を迎えたわけですが、11回目より初心に帰ったつもりで新たな気持ちで頑張っております。今宵の演奏会も昨年を土台とし新たな発展の為の方向性を見出し目指せばよいと思います。また、演奏はあくまで聴く者と演奏者が一体にならなければならないのではないでしょうか。その点にはただ単に演奏するだけでなく、何処に何を表現し、理解してもらおうかを真剣に考えてみることも必要です。このことによりよりよい音楽が生まれるのではないのでしょうか。

今年も例年より幹事の期間が1か月ほど長かったです。そこで我々幹事はじっくり演奏のことを考え、練習面ではいろいろと試みしてみました。特に大きな目標は基礎練習をみっちり行う事だったのです。練習時間が30分近く基礎練習という特別の時間を設けて練習してきました。この成果が急に現れるとは思いませんが、長い目でそれが現れたらそれは最良だと思います。

今年も後期試験が4月にあり、1年の入部時期が例年より1か月遅れたので、何人入部するか心配でした。ところが現在にいたるまで13人の1年生が残り続けてくれたことは大変嬉しく思っています。それに新入部員の練習はスプリング・コンサートの前で毎日練習している時だったので、その練習に欠かす旨、その厳しさが当然のことのように思っていることはまったく頼もしいかぎりです。

9月に我々クラブを長い間面倒見下された高橋敏雄先生が病氣療養中急に逝去し、幹事のもろろ、他の部員にも多大の悲しみだったと思います。しかし、それを耐え忍び今日まで必死に頑張ったことが先生の御志が一番届いたことと思っております。

最後に演奏会に際し、御指導賜りました宮田俊一先生、OB・OG会の皆様、関係者の皆様厚く御礼申し上げますと共に、今後とも御指導、御鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。

法政大学学友会工友会工学部
文化連合委員長代行
副 堀 本 章

マンドリン・クラブの定期演奏会も12回目を迎え、これが無事催されることをまずお祝い申し上げます。

「工学部マンドリン・クラブ」は任意団体として発足し、言わば学友会費の代理徴収機関としての学友会に、工学部文化連合が加盟して以来文化連合と共に形が定まりました。現在500名を超える工学部文化連合は、まだまだ団体としては未熟であり、音楽部サークルに対しても充分な練習時間を保障するに至っていません。いやそれどころか一部のサークルには部室まで提供出来ていないのです。しかし、この様な問題を総合的に解決するには学生会館だけでなく、工学部文化連合も工学部自治会、技術連盟、工学部体育連合とともに、その設立を目指しているのです。

マンドリン・クラブの皆様も、これより以上に共同の利益のために、工学部文化連合と共に夢を追い求めたいと思っております。

司 会 者 紹 介
明治学院大学アナウンス研究会
町 田 暢 人

明治学院アナウンス研究会とは昨年の定期演奏会からの付き合い。今年もさっそ今日の演奏会の司会をお願ひしたところ、彼がすてきに引き受けてくださいました。今副部長として大いに活躍しているということです。今夜は、彼の名司会ぶりステージを大々盛り上げていただけるでしょう。

1. Die Heimreise
作曲 コンラット・ヴェルキ
編曲 宮田俊一
コンラット・ヴェルキは1904年ドイツ生まれ、民謡音楽を主流としたリグナーと共に、第一次世界大戦後ドイツで再び盛りだいたアムステルダム音楽の中心者で、彼の作曲はマンドリン・ギターと特長にふさわしい作風と内容を持ち、その創作活動を続けているという事は欧米に於てはほとんど唯一の作曲家である。また、彼は「A-dur」「D-dur」など五つの序曲や「スペイン組曲」「大いなる時代」など多くのマンドリン・オリジナル曲を作っている。この曲は「ふるさとへの旅路」と日本語がつけられているように、ある若者がふる里へ帰ろうとしているときの若者の心の中ふる里へ思いや思い出を感じさせる。特に中間のAdagioの部分は懐大なるふる里の風景を思い起させるかのようなものである。
2. 武蔵野の秋
作曲 宮田俊一
武蔵野の夜は静かに明けた
それは冷たい秋雨にむくむ朝
すすきの穂に降りかかる秋風
クヌギ・ナラの緑木林に降る秋風
武蔵野は大都會東京の首都発展のため、ブルドーザーの音と共に、次第に失われていってしまいます。しかし、心の中の武蔵野はいつまでも残しておきたいものです。
宮田先生は良く観をみつけては郊外に昆虫や植物などを採集に行くそうです。そんな先生の自然を愛する気持ちから作られた曲です。
3. イタリア風序曲長調
作曲 D・ジョバンニ
編曲 宮田俊一
ドメニコ・ジョバンニは、イタリア・ボローニャ生まれ、「幻想曲・夜の印象」「ローマトリノ」ト調序奏「我が懐き山々」などのマンドリン・オリジナル曲の作曲したマンドリン音楽作曲家であります。
この曲は重々しいAllegroで始まり、ゆっくりした優雅なリズムを持ったAllegroを経て納部を迎えます。この曲を聴きますと1800年代後半のイタリアが思い浮かぶかのようなようです。
4. Die Grosse Stunde
作曲 コンラット・ヴェルキ
編曲 宮田俊一
この曲は、ヴェルキの青年期のもっとも円熟した作風を示している作品でヴェルキの作品の中でも最大の傑作といっても過言ではないだろう。初めのAdagioの部分は荘重で、Allegroの部分のリズミカルな簡潔なメロディーに曲は進み、再び荘重なAdagioを奏し、Allegroを経て終りを迎える。我々の心に深い感銘を与えてくれる。又、本曲は「大いなる時代」とこの曲にピッタリの題名がつけられているが、本来はドイツのお祭り時の曲につくられた曲であるかのような感じ。

ポスター・カタログ・プログラム・各機関紙、他
株式会社 **アザック写真印刷**

東京都文京区小石川1丁目25-3
TEL (813) 6691 (代表)

2部(クラシック)

1. 組曲「第2番」(口短調)より
作曲 J. S. バッハ
編曲 高橋 豊
- D第2曲「ロンド」Allegro
バッハがロンド調を使用したのはこれが最初であったそうである。華麗なロンド主題が、同じ楽句からなる歌謡的メロディを中絶して反復されるロンド形式である。中世の民間音楽として発達したRound danceの発展的に拡大されたものが出来る。
- D第3曲「サラバンド」Andante
スペイン起源の荘重な舞曲であり、バッハが最も好んで組曲に用いた音楽であるが、2段形式で構成されている。フルートと1stが演奏する主題に低音が小曲おわれてカノンで進行する。
- D第4曲「アレグロ」Allegro
アレは南フランス、オーペルニエ地方の農民舞曲で、非常に快速な生気にあふれた曲である。これもサラバンドと共にバッハが好んで使用した舞曲であった。
このアレは、「第1アレ」と「第2アレ」とから成っている。
- D第6曲「メヌエット」Allegretto
前段8小節、後段16小節と後段が2倍の延長になった2段形式で、中間部がないのが注目される。
フルートと1stの重要な優位な旋律に対して低音が比較的自由に進む。これはメヌエット舞曲の軽快さを求めたという方策を意図している。
2. 「姉妹」第1幕の前奏曲
作曲 ジュゼッペ・ヴェルディ
編曲 宮田俊一
ジュゼッペ・ヴェルディ (1813-1901) は、イタリア歌劇の作曲家で「リゴレット」「運命の力」「アイダ」「オチーオ」等の名作を残しています。
この曲も彼の名作の一つで、ヴェルディの「姉妹」という小説をもとに、ピアヴェッという人が台本を書いた歌劇で、パリの上流社会に出入りする高等娼婦であるヴィオレッタとアルフレッドという青年との恋しい恋を描いたものです。この前奏曲は、ヒロインの悲しい宿命を暗示するかのような感傷的な美しい旋律をもった曲です。
3. 金管楽
作曲 フランツ・レハール
編曲 宮田俊一
フランツ・レハール (1870-1948) は、ハンガリー生まれ、最初は軍楽隊の指揮者をしていましたが、ワルブ作曲家に転向し、「メリー・ワット」「ル・オセシタルの印象」などのオペレッタやワルブを数多く手がけ、ヨハン・シュトラウスの後継者としてウィーンで活躍した作曲家です。
1899年のこと、メッテルニッヒ公夫人がウィーンで「金と銀」というテーマで舞踏会を開きました。黄金の星をあらわした顔のモスリン天幕の下、きめ細い衣裳を着飾った踊り手の前で演奏されたのが、レハールのこのワルブだったそうです。なおこの曲は三つの短いワルブから出来ています。

3部(ポピュラー)

1. アルディアラ 編曲 宮田俊一
2. 天使のセレナーデ 編曲 宮田俊一
3. 愛を永遠に 編曲 宮田俊一
4. オリーブの首飾り 編曲 宮田俊一

情熱のラテン特集

1. マイアミビーチルンパ 編曲 宮田俊一
2. エルクンパンチェロ 編曲 宮田俊一
3. ベサメム・チョ 編曲 宮田俊一
4. クマーナ 編曲 根田 哲雄
5. マカレナの乙女 編曲 宮田俊一

食堂 **むさしの**

本町2丁目バス停留所
TEL. 0423-81-6814



幹部紹介

橋本喜純
白井良明
瀧脇本章
高橋豊
佐藤誠

植田益徳
山口哲生
鶴岡治朗

—植田益徳—
段揚を許さず、常にギターの音として
練習に専念した一途線の真面目男。
(いやあ兄談 冗談)

—鶴岡治朗—
ニヒルで、クールなその瞳は城が丸く
そしてゐた凡ての幼女の憧れ!!

—白井良明—
アラクホール経由で地球に来た
ため少々濡れている空軍人。

—佐藤誠—
1年自クラブの大黒柱としての部長をつと
め、精力を使い果たさざりしにスタ
マをつけて居たワケ。

—高橋豊—
指揮者としての苦しさ、女の子
との楽しくて解消して来たスパイマン

—橋本喜純—
練習に励み過ぎたせいで、最近めづ
ねを使い始めた人。

—瀧脇本章(仮)—
自他共に認める躁ウツ病患者
看護婦サ〜ん 早く来て。

—山口哲生—
ギタークラブに入部する積りで喧嘩で
マンドリンクラブの部室に来た幸運者。



国家検定品 各種消火器・自動火災報知設備
避難器具・各種消火設備設計施工

東京消防開発株式会社

神奈川県相模原市南台3丁目11番19号
電話 0427-42-5608 番(代)

新幹部紹介

部長：千葉晴示
副部長：高橋 淳・黒河精志
総務：田中 一彦・石井良徳
渉外：岡田安典・江口直之
会計：河川武逸
備品：須田祐司
講演：常盤 一治・柳原 崇

法政大学工学部マンドリンクラブ

コンダクター：佐藤 弘基
コンサートマスター：柳原 崇
セカンドトップ：須田祐司
ギタートップ：田中 一彦
マンドラトップ：千葉晴示
フルードトップ：河川武逸
ベーストップ：江口直之
パーカッション
トップ：高橋 淳
クラリネット
トップ：佐藤和良
セロトップ：佐藤 誠

幹部

部長：佐藤 誠
副部長：橋本喜純
総務：白井良明・山口哲生
渉外：植田益徳・瀧脇本章
会計：鶴岡治朗
講演：白井良明・山口哲生
備品：植田益徳・瀧脇本章

発行：法政大学工学部
マンドリンクラブ

編集：植田益徳
表紙・チケットデザイン：
山口哲生

印刷：(株)アザック写真印刷

編集後記

本日は御来場ありがとうございました。私達の未熟な演奏に、少しでも御満
足いただけたでしょうか。また、このプログラムが案内役を務め、皆様役に
立てばと思ひ、一生懸命作りしました。しかし、運営面上、この様に手書きのペ
ージが増え、読みづらいこととお詫びします。

尚、このプログラムのために、原稿をお寄せ下さった方々、並びに広告主の
方々、また協力して下さった部員の方々、どうもありがとうございました。

(M・U)

**13TH MANDORIN
REGURAR CONCERT**
'76.10.30

法政大学工学部 マンドリンクラブ

法政大学校歌
佐藤秀夫 作詞
近衛香彦 作曲

美き我が都の秋なり
こゝに掛けて愛する母校
兄弟の聲が響く門の外
榮葉めむ門の外
よき師ありては佳し
法政お、わが母校
法政お、わが母校

美き我が都の秋なり
こゝに掛けて愛する母校
われはとせにみえたるや
進取の志を貫き貫く凡
まを日なり代表者
法政お、わが母校
法政お、わが母校

第13回定期演奏会
CONDUCTOR 佐藤弘基
CONCERT-MASTER 榊原 崇

法政大学工学部 マンドリンクラブ
昭和51年10月30日(土)
午後5:45 開演
都市センターホール 於

第13回定期演奏会によせて
法政大学工学部マンドリンクラブ顧問 阿部 俊

本日は、御多忙の中御来場下さいまして誠にありがとうございます。
本年も無事、本日この場で定期演奏会を開催できますことは、皆様の御支援の賜物でありますことは言うに及ばず、私にとってもこの一年間の励みの少くは辞め兼ねた大快事です。
クラブ活動として数年の長い間を50人程の大部隊が揃って練習するというのは遠征で見ても大変なことで、従来までの練習とはまた違って、先輩諸氏の残された大仕事を継承し、発展させることは考えれば大変なことであります。まして、4年間の語り継いだ期間での後継者は、各組毎のお子かながらの御前、後進のくり返して、音楽に対する情熱と同様の連帯感のみを伝えられる部分が多きように思われます。
この定期演奏会も13才と小学校から中学校へと進んできました。一般社会では、中学生になると少しづつ世の中に目を向け始め、明確な形で自己主張を持つ年齢になるようですが、当クラブは私の目から見ても、後、休も中学生になったとは云えず、御来場の皆様からは何かと御不満なことがあるかと思いますが、従来は常に彼らに相応しい心と技を磨り出すよう、御支援と御期待を戴いたら幸いと存じます。
それでは、今宵の一時、彼らの演奏を最後までお楽しみ願ひ、今後の活動を励まして下さいますようお願い致します。

東京マンドリン宮田楽団法華 宮田 吉子

団長の娘、法政工学部マンドリンクラブ第13回定期演奏会に御来場頂きまして誠に有難うございます。
本日は、クラブのメンバー一同、若さとびたひきな情熱を余すことなく発揮され、強いのない演奏で御らんとして頂きます。
今は亡き後一帯も、数年前この若さあふれる工学部マンドリンクラブに大きな期待をもって見守って居りましたが、1月に他界し誠に残念でなりません。生前どのクラブにも申して居りました「和・努力・ファイト」の精神で、更に内容充実した法政工学部マンドリンクラブとして頑張ってください、私の出来る限り、御共一同と共に歩んでまいりたい所存であります。
本日御来場頂きました皆々様をはじめ御来場の皆さん、今後共工学部マンドリンクラブに何か御支援、御鞭撻をお願い申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブOB・OG会会長 堀 恭一

第13回定期演奏会へお越し頂き、誠に有難うございます。ここ数年センターホールに演奏会を設けることが出来ましたが、皆様の御支援があればこそと御共一心から感謝致しております。
秋も深まり爽やかな季節となりましたが、我々マンドリンクラブも数多くの試練を経て、多に熟したようです。その証は青春の息吹を帯び、今宵は日頃の成果と情熱を余すことなく発揮するものと思えます。最後まで楽しくくつろいでいただければ、幸いです。
最後に、関係各位の御協力、並びに各他校友会の御賛助を感謝し、ここに御礼申し上げます。

手工絃楽器
S. Watanabe
マンドリン・ギター・他低音楽器
絃楽器全般製作修理
渡辺絃楽器研究所
北区滝野川5-43・TEL (916) 8528-9
国電 板橋駅 都電バス共滝野川5丁目下車

ペールギュント第2組曲より

5. ペール・ギュントの踊り

今や愛もひびも半白の老人となったペールは生まれ故郷へ戻る為、船にのってノルウェーの海にさしかり漂着する。美しい嵐魔術の詠唱の中に「朝」のドラの5音階の主題が現れるが、そこでペールはアリアを回想したのであらう。

6. ソルヴェイグの歌

ソルヴェイグが、放浪歌のある愛人ペールもいつかは必ず自分のもとへ帰って来る事を固く信じていると、水産の婦人の純情を歌うこの歌は夢の場面で歌われる。



シュバーベン序曲

作曲家レアスは、ヴェルキと共に現在もドイツで活躍している。後の作品は以前日本では余り知られていなかったが、近年少しずつ取り入れられるようになった。

曲は序曲特有のソナタ形式で、Maestoso の序奏に始まり、第1主題は軽快な A Tempo で数回モチーフを繰り返され、中間部で変化する。第2主題は第1主題と関連して中低音に力強く表れる。中間部では序奏の旋律が変調となり、マンドラカマンマンドリンに変わるように移っていく。この A Tempo のモチーフはマンドリンの特色を遺憾なく発揮できるものである。

秋と空と海と

この曲は、高宮田俊一先生による「浮城山を主題とするお祭曲」。「武蔵野の秋」に続いて作曲されたものである。中音部によるメロディは特に美しく、自然を愛する作曲家の心が表われている。深まりゆく秋の晴れた日の朝、我一人海辺に立つ。青い空、青い海、太陽が地平線より輝き、白い帆が一つ一つ波にまかされている。風も冷たくさわやかで、朝の海はことのはが美しい。

ロマン的協奏曲

マンドリン・ソナタの作曲家として有名なヴェルキの作品で、「古いなる時代」や数々の序曲と共に彼の代表作である。題名通りロマン的で感傷的な旋律を含む華麗な曲である。

曲は序奏を基本としたソナタ形式で、軽快な流れのような Allegro に始まり、メジャーと1stマンドリンのささやき合いから、音階の真意をこめた旋律へと続き、この旋律も戸惑いと興奮から歓喜に変わり、Prest. で最高盛り上がりを見せ曲を閉じる。

旅に出て、そして……

今から3年前、不幸にして交通事故で亡くなった長女の先輩岡田さんが生前に自作された曲で0日の方々の御協力をお借りしてマンドリンオーケストラ用に編曲し、今演奏致します。

君を愛すること	まごころのほかにほ	木陰の影に身をうすめて
何もできずに	今日まで来たけど	音空見上げ お話したいな
恋いバクを續んで	君の胸にかざろうわ	二人きりの 僕の思い出だから
それだけ 僕のききやかな	プレゼント	君をいばけに 君をいつか
		そんな君に 届けたいな
		長い旅に 船をからませながら

(作詞 岡田 野夫)

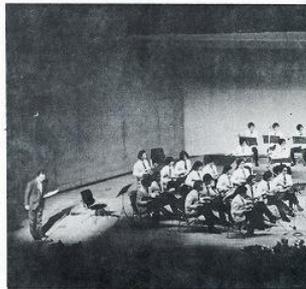
MEMBER

CONDUCTOR

佐藤弘基 (電3 東京)

CONCERT-MASTER

柳原 崇 (機3 新潟)



1st Mandolin

① 柳原 崇 (機3 新潟)
石井良徳 (計3 山口)
高橋 淳 (計3 静岡)
鶴岡 治朗 (土4 東京)
井上 信宏 (機2 東京)
高山文宏 (電2 静岡)
忽湊谷 淳 (電2 千葉)
遠藤 弘行 (OB 東京)

2nd Mandolin

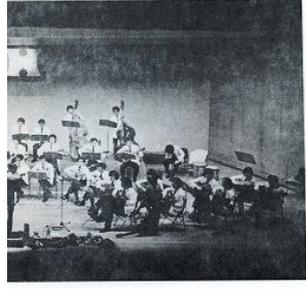
① 黒河 精志 (経3 愛媛)
植松 美樹 (計2 長崎)
浜口 直人 (機2 東京)
小出 芳弘 (電1 新潟)
杉山 雅章 (機1 静岡)
長瀬 伸二 (電1 千葉)
西本 公洋 (建1 茨城)
宮口 修介 (電1 東京)
渡辺 真 (建1 埼玉)

Mandola-Tenor

① 千葉 晴示 (機3 若干)
橋本 喜純 (土4 熊本)
長塚 義和 (経2 東京)
加藤 郁夫 (経1 三重)
佐藤 悦郎 (経1 東京)
川村 純一郎 (OB 東京)

Mando-Cello

① 佐藤 誠 (電4 青森)
常盤 一治 (建3 東京)
堀田 秀男 (OB 東京)
田作 好司郎 (OB 東京)



司会者

明治大学放送研究会 3年

柳沢 真行

明治大学放送研究会とは、今年5月のフェイェントコンサートからの御付き合いです。今回も電演の司会を御願いたしましたこと、心よく引き受けて下さいました。

彼の真摯且つ誠実な学生らしい好感の持てる司会は、今回の私達のステージを一層盛り上げてくれるでしょう。

Flute

① 河口 武逸 (土3 香川)
熱田 昌紀 (土2 東京)
喜多嶋 多喜彦 (機2 兵庫)
須崎 賢一 (土1 東京)

Guitar

① 田中 一彦 (建3 東京)
岡田 安央 (建3 東京)
植田 益徳 (計4 山口)
山口 哲生 (経4 佐賀)
岡本 明彦 (経2 神奈川)

Contra-Bass

① 高橋 豊 (土4 神奈川)
加藤 正人 (経1 東京)
山本 晃 (電1 東京)

Clarinet

① 佐藤 和良 (機2 福岡)
宮崎 洋志 (建2 福井)
佐藤 昌昭 (経1 山形)

Percussion

清水 敏彦 (機2 山梨)
若山 幸雄 (土2 愛媛)
井上 勉 (経1 広島)
帯賀 常久 (電1 広島)
久須美 章 (経1 新潟)
田中 誠一 (土1 福井)
① 高橋 淳 (計3 静岡)
岡田 安央 (建3 東京)
忽湊 谷淳 (電2 千葉)
杉山 雅章 (機1 静岡)
山本 晃 (電1 東京)

Piano

佐藤 弘基 (電昇 東京)

PART 紹介

1st Mandolin



「マンドリンオーケストラの花婿、あなたの太陽」と言われる位、我パートはバックリキまっているのだ。「数学の位は知らない純な男」そして「麻家の位は知らない純な男」なのですが、それにも劣らぬ情熱をマンドリン音楽に傾け、ひたすら自己の音楽を追求しています。感傷に魂を売って、美しいトリオ奏法を会得したという麻家、あの「悪魔のトリオ」の呪いも甘ささ、今宵はあなたの耳に……
—アリアマ—マンドリン

Conductor



コンダクターとは要するに棒をふる人のことであるが、これは他からみると物凄そうに見えるが、「棒ふる事非業き事」と言われるように、オーケストラを、まとのめには、3年かかるのです。また指揮するには是非早くないかと思うのですが、指揮者になって3ヶ月間には、みんなをまとめるのです。いかに我クラブの演奏者が、楽譜を使いこなすかということがおわかりでしょうか……



2nd Mandolin

マンドリンの重要な楽器を聞く時、ファーストマンドリンの奏でる主旋律は出てきて美メロの旋律を聞くことができます。「美メロ」それが私たちがマンドリンの役割なのです。私たちが、ファーストマンドリンの演奏を引き立てる化学調味料でありスパイスなのです。スパイスは料理の決め手と申します。今日は3年生1人、2年生2人、1年生6人からなるセカンドスパイスの味をごっくり御覧下さい。

Mandola-Tenor

マンドラパートは、常にステージの中央に位置し、その単純なる音の響きは聴けるスゴい効果をもたらしている。我々は又々の期待を背負い、日夜同じ地下室で孤独に耐え、この日を目前して練習をきたしたのです。しかし、スターといえ人間であり、パート練習の時ときとして練習をしない日もありましたが、何しろ〇〇光線を筆頭として楽しい人が多く、練習中にも完成がとびだし、なかなか楽しいパートです。



Mando-Cello

セロはトレンボ系の繊細楽器である。今宵この楽器を動かすのは、演奏中のアタリと技師。そしてアタリの周りの、Topの佐藤さんと、先月よりマンドラよりこのパートにコンパニをされた佐藤君。俱に楽超同好クラブ……二を争うbixな奴ら二人……時には眠ることなく徹しく時には半分の力でこくやましく合奏の低音部をベースと併に支えていると言いたいのであるが……？
さて今宵ステージでは……



Guitar

「ギターは小さなオーケストラ」と、かのベトナムも賛美したように、ギターはまさに完全で美しい音楽を奏でます。しかし、そんなギターも通常マンドリンオーケストラにあっては、はなびなく輝光を浴びることはなく、伴奏専門の地位になってしまっています。これは、常に輝光を浴びたい輝かに願っている「めだとう精神」を持った連中ばかりが乗った我々にしてみれば、悲しい現実ですが、とにかく今日我々の精神を貫き、輝かしいと思います。



とん 東
りゆう 発
小金井市梶野町 3-17-17
☎ 0423(81)8805

やきとり・うなぎ
お二階はお座敷
鯉 作
中野店 (386) 3 8 8 4 番

皆様の健康と公衆衛生に努力する。
ミドリ薬局
小金井市梶野町 4-17-6
☎ 0423(83) 8 4 1 4

Flute & Clarinet



「一言で言ってしまうとこの管楽器パートは……」なんて簡単に言いきれないのがこのパートです。だって有る向いても危ないもムツアスなこの中で「まだこんな人間もいたんだな〜」って感じさせるそんなパートなの。とにかくじっくり見て下さい。演奏会の時は持「ウツ」です。楽譜を見れば「ナント」と驚きます。きっとあなたは生きる事に何かの希望と自信をそこに思い出すでしょう。

Contra-Bass



低音パートは、昔ながらの酒におけるアルコールのそれと同じ感度をします。その魅力ある低音を受け持つのが本パートである。そのため本パートでは「アルコール」とは何かという哲学的な問いに日々悩み続けているのでメンバーは皆、意々ならぬケツノミストである。

今年のパートは、昨年の指揮者に加えて期待の新人ふたりをかきこ、酒に音楽に力一杯頑張ろうと闘志満々である。

Percussion



もし我クラブの最高の魅力は？と聞かれたら、多分それは「何となく答えてしまおうか？」あの熱狂のランパ、パーカッションがたまになく良いとか……でも、ペッカマッコンの魅力もHOS&I-MUSICのものたる魅惑のほんの一部でしかないのです。

我らメンバーの唯一の誓い、
「攻撃を内包している音楽への追求。」
〜ばくリズムを闘いとれ〜

麻雀 タバコ・菓子パン 冷暖房付
つきや
小金井市梶野橋バス停前 TEL.0423-81-1781 駐車場有り

クラブ紹介

◇法政大工学部マンドリンクラブ紹介

特徴：男臭さで音楽にアタック！
長所：根性があつ！
短所：いい男が多すぎる！
部員数：46名
クラブ年齢：19歳6ヶ月（思春期）
平均身長：5尺7寸
平均体重：132ポンド迄

◇一年の歩み

- 1975.12.14 ダンス・パーティー
- 1976.1.14 4年生追い出しコンパ
- 3.23 春期合同合宿
- 〜4.1 (於 岩井)
- 4.24 新入生歓迎コンパ
- 4.29 合同ハイキング
- 5.1 強化合宿
- 〜5.3 (於 代々木青少年センター)
- 5.27 ジョイント・コンサート with 東洋女子短期大学
- 9.4 夏期合宿
- 〜9.11 (於 鹿山)
- 10.9 小金井祭出演
- 10.30 第13回定期演奏会

部 室：地下2階の8畳間
財 産：ロッカー、ハイザラ
アフリカ原産のタイコ
その他 もろもろ
ユニホーム：10年前、当時参千円也の
最高級品



合同ハイキング



ジョイントコンサート



夏期合宿



卒業生プロフィール



植田 健二
前年度：ギター・トップ、渉外

山形県の磐城からギターを抱えて上京。あの若さでギターの極致を極めたらしく、既に過ぎた第一の課題は自己満足の良い状態でギターを弾けるようになることらしい。



高橋 豊
前年度：指揮者

前年度の指揮者。音楽を愛する反面、土木科という強固な体をいかしてスゴークラフの野戦、バスケットボール、アテコ、すべり音、指すもろ、ペーパ、めんこ等々。



植田 健二
前年度：ギター・マスター

前年度コンサートマスター。ニヒルでクールなその種と容姿は、全ての場を自分の小さな世界に閉じている。昨年は、得意の算数で会計の仕事も頑張ってくれました。



橋本 真純
前年度：ドラム・トップ

無表情で徳田の真顔。ドラムをひくアゴアのような、パワジレンとも思われるスタイル。しかし、彼の真面の裏には「本人顔負け」。



佐藤 誠
前年度：部長

我々の「祖」を育ててくれた前年度部長。コソコソ次中級の人杖。片手にセロ、片手にドラム。その独特なフォームでリズムをとる我らのアツク。



山口 哲生
前年度：秘書

音楽と学業並みの高この夏コーロンに同かう。イタリヤ、ワラシ、ドイツ、スペイン、イギリスと各都を巡る。9月、ミッドで高橋。



四年間御苦労様でした。青春の1ページを飾ったこのクラブでの思い出をいつまでも大切に!

幹部



- 部長：千葉晴示
- 副部長：高橋 渉・黒河精志
- 総務：田中 一彦・石井良徳
- 渉外：岡田 安典
- 会計：河川 武志
- 備品：黒河 精志
- 譜面：常盤 一治・藤原 崇
- コンダクター：佐藤 弘希

人間、恥をかきこぼれたら何でござい... 佐藤 弘希
よか、たう 恥のかきかたおしえます! 常盤 一治
何でマンクラに入ったの? 中 一彦
マンクラに入ってよかった? 千葉晴示
法政大工学部インディVクラブは永遠に不滅です! 田中 一彦
音楽の情熱を求めて3年間 結局 何も得なから... 黒河 精志
マンクラに入って得たものは、忍耐と体力? ... 岡田 安典
マンクラに遅れながらでも3年早いものがある。 黒河 精志
フルートの音色にひかれて入ったけれど... 河川 武志
全力を尽した後の成就感。明日、この場で再び... 石井 良徳

車検、一般整備、鍍金塗装、新中古車販売
トヨタ指定サービス工場
運輸大臣認定民間車検場
東京海上保険代理店

日本自動車整備株式会社

〒184 小金井市緑町2-16-27(法政大学前)
☎ 0423-81-0004・6420

新幹部登場

- 部長：植松 美樹
- 副部長：熱田 昌紀・惣滑谷 淳
- 総務：井上 信宏・岡本 明彦
- 渉外：喜多嶋多賀彦・長塚義和
- 会計：高崎 洋志
- 備品：若山 幸雄
- 譜面：清水 敏彦・高山 文宏
- コンダクター：佐藤 和良
- コンパートマスター：高山 文宏
- セカンドトップ：浜口 直人
- マンドラップ：長塚 義和
- セロトップ：植松 美樹
- ギタートップ：若山 幸雄
- ベストトップ：フルートトップ：喜多嶋多賀彦
- クラリネットトップ：高崎 洋志
- パーカッション：惣滑谷 淳

編集後記
夏期合宿が終わり、プログラム締め切り日まであと3週間。刻々と迫るこの歳の日まで我々は決して芽を向けずに迷うと誓い合い、世間の冷たい風にも負けず、クラブ員の冷たい目にも耐え、どうこの難業を果たしたのです。
この血と汗と涙の結晶。今宵の演奏会で皆様の良きお祈り、室内役を勤めてくれれば幸いです。
最後にプログラム製作にあたり、原稿をお寄せ下さった皆様。並びに忘れたくない。また御協力下さった大勢の皆様にお礼申し上げます。

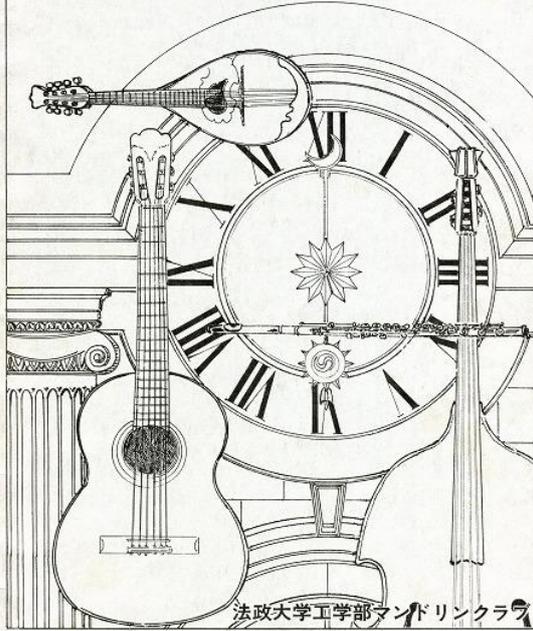
発行：法政大学工学部
マンダリングクラブ
編集：石井 良徳
田中 一彦
表紙、チケットデザイン：石井 良徳
印刷：朝アザック写真印刷

フォーシーズンズが集まれば安くなる
ベルファン フレンドシステム
毎月PM5:00からPM7:00までにご入会いただき
ますと、献物と料理をPM5:00まで割引いたします。
割引額は下記の表をご覧ください。
●申し込みに関係はございません。主観目のみPM6:00
までのご入会となります。

コース	人数	割引率
オーダー	1名以上	30%
2名以上	2名以上	20%
3名以上	3名以上	10%

TEL: 0422(22) 9 9 9

第15回 定期演奏会



法政大学工学部マンドリンクラブ

第 15 回 定期演奏会



昭和53年12月16日(土)

午後6時開演

日本都市センターホール

法政大学工学部マンドリンクラブ

ごあいさつ

法政大学工学部マンドリンクラブ部長 加藤 邦夫
 本日は御多忙の中、御来場いただきまして誠にありがとうございます。ここに第15回定期演奏会を開くことができましたのも、皆様方のおかげであると部員一同心より感謝いたしております。
 定期演奏会も15回目となりますと、とかく中身の濃い年間行事の一つとなりかれません。まして毎年4分の1の部員が入り替わるわけですから、15年の内には部員の考え方も大分変わってしまったかも知れません。

そこで今年は、少しでも初心に返れたらと近年行なわれていなかった地方演奏会を行ないました。その他の行事にいたしても、この1年はクラブ創設21年目の新たな年出逢の年ということで、すべて真剣に取り組んでまいりました。そういった意味でも、この1年の締めくくりであります今日の演奏会、どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

尚、私達のクラブ活動にあたり、御指導御支援賜りました宮田吾子夫人、阿部優先生、諸先輩、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ顧問 阿部 優

本日は法政大学工学部マンドリンクラブ第15回定期演奏会に皆様方多数の御来場感さ心から御礼申し上げます。最後までお楽しみ願えれば幸いです。

早いもので、工学部が麻布から小金井に移転し、そろそろ根が付き始めたかと思っていざしたら、既に10数年の歳月が経っていたというのが実感です。当演奏会も工学部の概念と共に15回を数え当初に比べ、量ともに隔世の感があります。現在、工学部内のクラブ活動としては、最も充実しているクラブの一つに挙げられ、御理解ある諸先輩、教育関係者、そして御来場の皆様の御援助のもとにジョイントコンサート、地方公演、公式行事の手伝い等を通して、クラブ活動を意義づける努力をしているようです。

今後、質の向上をめざして第一層の精選が必須と思われませんが、皆様の忍耐強い御支援と忍耐強い御批判を最後にお願ひ致します。

東京マンドリン宮田美田主幸 宮田 吉子

法政大学工学部マンドリンクラブ第15回定期演奏会おめでとうございます。

年月はその時の境遇に於いて長くも短くも感じられるものです。マンドリンクラブの定期演奏会がもう15年の積み重ねであったとは感慨無量で御座ります。始めて我が家へ訪ねていらした方々、執行部が代わる度にいらしたOBの方々の御思いが伝わります。今年も忙しい学業の合間にジョイントコンサート、演奏旅行等行い別々かつ大変であったと思えます。年々人員も増えクラブも大きく成長すると共に、お互いに頼りあって、礼儀正しく、それ故、楽しいメロディー、ハーモニーとなって表現される素晴らしい演奏をいつも楽しみにしております。

武蔵野の名残りとめる素晴らしい環境の中で、若さと情熱を持ち、今後日々努力発展され一年々々その法政大学工学部マンドリンクラブの伝統を誇り上げて頂きたいと願っております。本日の演奏会の御成功お祈り致します。

第15回定期演奏会によせて

法政大学工学部マンドリンクラブOB・OG会会長 梶 恭一

いつの間にか鐘物が酒の肴に合う季節となりました。御走らしい風情が漂う今日この頃ですが、おいそいそ中を閉心を持って御来場いただき誠にありがとうございます。

今演奏会も15回目を数えるという事も振り返る気持です。私が幹部を務めたのは僅か3回目ではないかと思いますが、さばりたがる部員の尻を叩いて進み練習していた頃を思い出します。学生運動の最中の事であり活劇家のヘルメット姿を紛分意識しながら練習に励んでいたものです。またその頃の部室である地下のタコ部屋の匂いとか、なつかしい思い出ばかりのようです。

最重の卒業生の思い出を乗せ、今日の演奏会は特に熱演が期待されるものと思っております。

清泉女子大学マンドリンクラブ

貴法政大学工学部マンドリンクラブ第15回定期演奏会開催おめでとうございます。
 法政大学工学部マンドリンクラブと清泉女子大学マンドリンクラブは今年5月にジョイントコンサートを開くことができました。他大学とのジョイントははじめての私共にとりましては、法政大学工学部マンドリンクラブから学ぶ点が多くありました。あれから早半年、彼らのあのクラブに対する熱心な態度で、ますます努力精進され、今宵の定期演奏会を開かれまことを、私共一同、心より御慶び申し上げます。

最後に今宵の演奏会の御成功と、今後の御発展を御祈り申し上げ、御挨拶にかえさせていただきます。

東洋女子短期大学マンドリンクラブ

吹く風も冷たく冬も本格的となりましたが今宵、貴法政大学工学部マンドリンクラブが第15回定期演奏会を開催されることを心からお慶び申し上げます。

学生として音楽を追求するうちには、幾多の困難や困難にぶつかってこられたことと思われませんが、皆様のプロフェッショナル音楽に対する熱心な研究と情熱、クラブの顔には、私共にとって学ぶことが多いように思われます。今年も、演奏旅行も経験され、より迫力ある演奏を開かせてくださることを願っております。

最後に、今宵の演奏会の御成功と、今後一層の御活躍と発展をお祈り致しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

東京

学生割引

コンタクトレンズ

◆高田馬場 209-4646
◆新宿 348-4646

◆池袋 985-4646
◆渋谷 409-0005

PROGRAM

第 1 部

歌劇「フィガロの結婚」序曲 W.A.Mozart 作曲
 "LE NOZZE DI FIGARO" OVERTURE
 2つのマンドリンのための協奏曲ト長調 D.A.Vivaldi 作曲
 KONZERT IN G-DUR FÜR 2SOLO-MANDOLINEN
 パストラール・ファンタジー 藤掛廣幸作曲
 PASTRALE FANTASY
 管弦楽組曲 第2番より「ポロネーズ」 J.S.Bach 作曲
 SUITE NO.2 B-minor POLONAISE
 喜歌劇「こうもり」序曲 J.Strauss 作曲
 "DIE FLEDERMAUS" OVERTURE

第 2 部

定演第15回記念ステージ

第 3 部

アフリカン・シンフォニー バン・マッコイ作曲
 AFRICAN SYMPHONY
 コーヒー・ルンバ ホセ・マンソ作曲
 COFFEE RUMBA 佐藤高昭編曲
 ティコ・ティコ ゼキニーニャ・アヴレウ作曲
 TICO-TICO 佐藤高昭編曲
 エストレリータ マヌエル・ボンセ作曲
 ESTRELLITA 宮口修介編曲
 ベサメ・ムーチョ コンスエロ・ペラスケス作曲
 BESAME MUCHO 佐藤高昭編曲
 勝手にシンドバット 桑田佳祐作曲
 KATTE NI SINDBAD 宮口修介編曲
 マカレナの乙女 パウティスタ・モンテルデ作曲
 LA MACARENA 宮田俊一郎編曲
 マンボ NO.5 ベレス・ブラード作曲
 MAMBO NO.5 宮田俊一郎編曲

ご紹介しします

指揮者 佐藤 昌 雄 (経工学科3年)

愛用の楽器に自慢の思いタクトケース (中には安物のタクト3本と折れたの1本、それに百円玉1つ、新築1年とわずがサイコロ1つ入っている) と恋仲の姫曲・邦曲のスコア譜を入れてお茶を飲むその後、練習時間になると、練習より早く練習場に姿を現わし、その日びりませバートをサマコロで運んでくる彼。高校時代は九龍の高校の中でも名バート奏者として知られ、マントラに入ってからタワリネットを吹いていた彼。アンマン版(音楽祭)を中心としたアンチマンドリンの強い勢力群(の略称)の一員だった彼。そんな彼が今やマンドリンの名コンダクターに変わ。彼は静かな口調で語る。「みんな演奏会で入らなくてもいいことだけを目的に練習しているのではないだろうか? より良いものを目指すのいいことだが、僕には好きな事を好きにやるしか能がない」。今、彼の自慢のサマコロは100万歩に輝いているのです。



コンサートマスター 渡辺 真 (建築科3年)

春のジョイントコンサート、夏の新劇公演という過去2回のコンサートでの彼の存在は非常に大きかったと思う。トップでありながら音楽にうとい私にとって、彼は真き音楽の師でいてくれた。にもかかわらず、その2回のコンサートでの彼の存在は「カメフラシ」とか「オカサマ」など、あまりに彼の外面から受ける印象のみにとられすぎている。よって私は今、彼の内面にある本当の姿の素晴らしさを感じようと思ったが、そのその字が読めなくて来たので観念ながらここで筆を置くことにする。注1: 半笑で別れた王子の顔をみればまたまた黒いひよこのこと。彼のヘアスタイルもくろくが似ているところからそう呼ばれるようになった。注2: 主にマンドリンの3年を中心につられた問題。歴史は古いが組織は弱い。

トップ会

我が北大工学部マンドリンクラブにおいてトップ会などという会は、実はまだまだ確立してないが、プロダム電機のものとしてした手落ちのためできた数行の予算を埋めるため私がかたくなトップ会を毎週日曜日に開催。さてその本意は読んて下さるごときトップ会である。彼等は毎日トイシにもいかず、他の者より下手にひかないようにひたすら練習をするのである。このため彼等は演奏に激しく入るのである。これを解消するために彼等はひそかに別のマンドリンと照る者に誰からもなく小倉井田に集結し、互に互の方に向かって「マンドリン」を吹くのである。この声が一斉に響きわたる。コンサートと異なり一年間練習され、死んでいくものである。ちなみに私は二度目に声がかかった人です。



やきとり・うなぎ
 お二階はお座敷

鯉 作

中野店 (386) 3 8 8 4 番

第 1 部 クラシック マンドリンオリジナル

歌劇「フィガロの結婚」序曲 W.A.Mozart 作曲
 「フィガロの結婚」は、当時パリの演劇界にその鋭い批判と笑いによって、モリエール以来最大の成功という評判を取ったボームシュの同名の戯曲のために、1785年に作曲されたものである。この戯曲は、1775年に発表された「セビリアの理髪師」が前編となっており「理髪師」が前編の意をとり、その功によって伯爵の下僕となり、伯爵夫人の下の下女と相思相愛となる。そして結婚の計しを告げるのが始端が原因で今夜が結婚式という日。でんやめやの大騒ぎとなってしまう。・・・といった内容です。
 序曲は1786年になって出来上がったもので、その内容にふさわしく、うきうきとした人々の心を見事に伝えています。曲は展開部の代りに短い経過部のあるソナタ形式で書かれており、弦楽隊のピアノのユニゾンで始まります。今日の演奏会は、この曲で華やかめたいと思います。

2つのマンドリンのための協奏曲ト長調 ヴィヴァルディ
 作曲者バビロディについては、ここで説明する必要もないでしょう。彼の作品として、四楽はあまりにも有名です。しかし彼はさまざまな楽器のために数多くの曲を残しています。この曲もその一つで、イタリア・バロックの味をおまますところなく伝えてくれます。特に第2楽章のアンニュイなメロディーは、地中海に降りそぐ陽光とそのゆるやかな抒情を感じさせます。繊細なマンドリンのイタリア風な健康的で甘味な音色が、美しい音色にきそう・・・そんな演奏が出現したらと思います。

パストラール・ファンタジー 藤 掛 廣 幸
 マンドリンのコンサートを見聞く方や、その関係の方々には、近年数多く演奏されているこの曲についての説明は不要かと思えます。昭和40年の日本マンドリン連盟主催の第1回合同作曲コンクールに於て、1位該当なしの2位に入賞した作品です。
 曲は第1部が歌劇風のファンタジーで、曲名はこの抒情的なテーマに由来しています。第2部はワグナーで始まり、パストラール・シューマの再現による第3部としてC#mとなりませ。この曲については、作曲者の言葉を直接読みたいと思います。
 「聞く人の自由なファンタジーをよくらせてゆくことが出来れば、またならば精神的に豊かものを知り入にもたらすことが出来れば自分にとって最大の喜びです」

管弦楽組曲第2番より「ポロネーズ」 J.S.Bach 作曲
 バハはアーテン・コンソルトの管弦楽隊のために4曲の管弦楽組曲を書いたといわれ、その中で最も有名なこの2番です。この曲はフルートと他楽器とあり、フルートは演奏者としていないと思える曲です。ポロネーズは全て楽章の中で5曲とされており、特にフルートの美しさが際立つ部分であると共に、ポロネーズの管弦楽曲に起源を持つポロネーズの真実な趣きが生かされています。フルートの高貴な美しさとスケッチの軽快な重なりによって重層的な第1部と、中間部のフルートの変奏、またその技巧的なパッセージをお楽しみ下さい。

喜歌劇「こうもり」序曲 J.シュトラウス
 我がクラブの演奏会は、ここ数年の中にフルートを導入しています。特に去年からは、演奏会ごとに、3つのフルートの曲が演奏されました。今回のこの「こうもり」は、R.Benedictの書いた「魔窟」という喜劇に基づいて、C.HafferとR.Gesnerの二人が脚本を書いた三幕物の小劇です。シュトラウスは1873年夏に、極めて短期間にこれを作曲したといわれています。劇は珍世紀の教養階級ウィーンの上流社会が背景となっています。あら数は、アイゼンシュタイン男爵が役人を侮辱した為に、懲罰の刑を受け、舞踏会の際に真珠が目を刺す勢にやめて来るのですが、そのとき舞踏会に忍び込んで来た男爵の妻ロザリンドの恋人の悪友と間違え連行してしまいます。やがて当夜の舞踏会には、豪華した男爵の外、ロザリンド、その侍女、舞踏会場の主人、それぞれこっそりと登場して出現し、お互い取柄のまじで色恋の取引をした結果、ごたごたお祭り、結局は翌日、舞踏会にまで参加してしまいます。舞踏の趣きは、実はこの趣きに似ています。最初の友人グループが舞踏会の際に、会場の中央に置き去りにされたとき、彼が「こうもり」の演奏のまじで登場まで取り、人々に突かれたことにも由来しています。
 この曲は、オーボエがアイゼンシュタイン、クラリネットがロザリンドを表現し、この二人の期待が強中現れたり、また舞踏会の際に、それが終った劇6時の時刻を表現するレントの部分など、劇中の場面が盛り込まれています。
 (後 録) さてひと通り解説の終わったところで少々書き加えることにします。1部の曲を見てみると、異調と笑いに始まり、音楽劇に続いています。この2曲は演奏者の指を見てみると、正に喜劇でしょう。しかし、演奏されているには、正に悲劇です。この2部において、指揮者は演出士の役でありませ。中にはさまれた3曲に及ぼす影響は計り知れないものがあります。これらの曲が演奏するところの問題についての解説は、次の2部で書きたいと思います。あしからず・・・

手工 絃楽器
 S.Watanabe
 マンドリン・ギター 他低音楽器
 絃楽器全般製作修理
渡辺絃楽器研究所
 北区滝野川5-43-5号 TEL (916) 8528-9
 四電 板橋駅 都営地下鉄6号線新橋下車

150名様迄OK (お座敷大小個室あり)

歓迎 学生コンパ2,500円よりOK

新宿駅 中央口前 送迎 予約 大漁 (356) 7641

〈異議の動き等. に関係なく、主に我がクラブの部員と異議との対面に占って占われましたのでご了承下さい。

16TH MANDOLIN
REGULAR CONCERT

COLLEGE OF ENGINEERING
HOSEI-UNIV.
MANDOLIN-CLUB



第16回
定期演奏会

1979年 11月17日(土)
日本都市センターホール
開演6:00PM

法政大学工学部マンドリンクラブ

法政大学校歌

作詞者 作曲者 進衛者 彦彦

若き我々が歩む道は
ここに掲げし志を以て
足跡を高く響かせ
榮光めむ門の外
よき師よ友よと信ぜり
法政お、わが母校
法政お、わが母校

若き我々が歩む道は
ここに掲げし志を以て
われひとせにみちを
進取り志を以て
法政お、わが母校
法政お、わが母校

ごあいさつ

法政大学工学部マンドリンクラブ部長 久保田 明

本日は御多忙の中、私達の第16回定期演奏会においでいただきまして誠にありがとうございます。こうして盛大な演奏会が開催できますのも、ひとえに皆様の暖かい御支援の賜と、部員一同から感謝致しております。

私達のクラブが創設されたのも22年前、今ここにいる私達が、生まれるかいないかのころのことです。そして、この22年の間には、部員の考え方も、我々のクラブの課題も変わってきました。そこで今年、音楽を通して「和」を見直し、そこから新しいクラブの方向を見つけ、課題を乗り越えようとしてまいりました。学部都合上、決して豊富な練習量とはいえませんが、その得られた時間はすべての情熱を傾けてきたつもりです。私達がこれから行なう2時間余りの演奏に、そのほんのひとかけらでも感じていただけたら、幸いと思っております。

最後に演奏会に際し、御指導賜りました宮田吉子先生、岡部優先生、OB・OGの皆様、関係者の皆様に厚く御礼申し上げますと共に、今後とも御指導・御鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

第16回定期演奏会によせて

法政大学工学部マンドリンクラブ顧問 阿部 優

本日は法政大学工学部マンドリンクラブの第16回定期演奏会に皆様方の御来場を載さるごさいませ。

時の過ぎるのは速いもので、定期演奏会の回数もやっと2桁になったばかりと思っていたのがつい先年を感じると同様に、本クラブの歴史も現在では工学部最大になり、組織として確かな歩みをお見せなされたようです。ここでも承りましたのは、皆様の暖かい御声援とクラブOB、OGの結年の努力、指導の賜物と存じます。しかしながら、4年間の学園生活という時間的制約の中では伝統と云えるような付けは未だの感が深く、部員のなごみ一杯の努力に加え、限られた皆様の御批判、御指導を戴くことにより、その光明となるように想われる幸いです。

晩年の今宵、彼らの熱演が幾分なりとも皆様方へ届くと共に、と期待すると共に、十分お喜び下さいませ。

東京マンドリン楽団委員長 宮田 吉子

法政大学工学部マンドリンクラブ第16回定期演奏会おめでとうございます。

春のジョイントコンサートに続き、本日の秋の定演と、卒業の余韻をすべて、この日に備えて一生懸命練習を重ねていらしたことで、本日の演奏は、音楽を通しての充実した学生生活、それは経営を共にした良き共を携り、演奏の統一のため「和」を深め、技術向上に集中努力することは大変素晴らしい年行であると思っております。

クラブの執行部の方、よく頑張りにこらえますが、皆さん大変見事な演奏で素晴らしい演奏会に好意が寄せられます。今年はずいぶん進歩しておりますが、中でもオリジナル新曲発表とすることで、クラブ員の皆さんが張り切っているから、私も大いに期待しておりますと同時に日頃の練習成果を十分発揮され、今年度の成功を心から祈っております。

法政大学工学部マンドリンクラブOB・OG会長 横 恭一

深まりゆく秋の一夜を第16回定期演奏会へお越し頂き、誠に有難うございます。

ここに無事演奏会を迎えることが出来たのも、音楽を愛する皆様の御支援の賜と部員一同と共に心から感謝しております。

今宵は我がマンドリンクラブが日頃の成果と情熱とを余すなく発揮してくれるものと思っております。何かとお忙しい毎日とは思いますが、楽しいひと時をお過ごし頂ければ幸いです。

最後に関係各位の御協力、並びに各地の校友会の御援助に御礼申し上げます。

清泉女子大学マンドリンクラブ

秋の深まりが感じられる今宵、貴法政大学工学部マンドリンクラブが第16回定期演奏会を開催されることを部員一同、心からお慶び申し上げます。

クラシックからポピュラー、ワグネルに至るまでの幅広い選曲、そして高揚感あふれるステージや数多くの編曲など、何事に対しても積極的にチャレンジする姿勢には感心し、私たちも見習わなくてはならないと思っております。

最後に今回の演奏会が成功に終わると共に今後のますますの御発展をお祈り致しましてお祝いの言葉をさせていただきます。

プログラム

I

- 序曲二短調 フアルボ S.Falbo
Overture in Re min.
- カデリア 馬淵邦夫 Odaka

ORIGINAL

CLASSIC

II

- 歌劇「セヴィリアの理髪師」序曲 ロッシーニ G. Rossini
"The Barber of Seville"
- スラヴ舞曲 第10番 ドボルザーク Slavonic Dance No. 2-10 Dvorak
- スラヴ行進曲 チャイコフスキー Slavischer Marsch Tchaikowsky

ギター・アンサンブル

- カノン
- ラルゴ「四季一冬」
- アストゥリアス

Ⅲ ポピュラー・ラテン

- パリのあやつり人形
- 魅せられて
- 思い出は美しすぎて
- ポーラースター
- It's all right With me
- キャリオカ
- クマーナ
- Carnaval〜Let the Children Play
〜Jugando

POPULAR
LATIN

第 1 部

【序曲二短調】

この曲は、ソナタ形式で書かれており、まずAndante Sostenutoにより不安な和音の上をマンドリン・マンドセロ・1stマンドリンが旋律を奏で不気味な暗示的な導入部をなしています。続いてAllegrettoに入り、第1主題が現れて、Allegro ana troppoに入り第2主題が1stマンドリンにより劇奏で奏され、次第に盛り上がりを見せた後、第1主題の展開部となります。再び第2主題が奏され、経過部を経て第1主題再現曲に入ります。Fin mossoに入ってから、不協和音を利いた新しい和音が次々に変換し、委縮なフィナーレを飾ります。かつて多くの作曲家たちが取らなかった形式を、プレクトラム音楽の上で可能にした点で、意義のある作品であり、イタリア風ソナタの代表作と言えます。

フルボ作曲

カデリア

「私は彼方に広がる壮大な地平線が好きだ。今私は、そういった大自然の偉大さ、そして、それに負けぬ人間、そういったイメージをカデリアと呼ぼう」この曲は、大きく分けてⅠ、Ⅱ、Ⅲの3つに分け、それをCODAで締めくくっている。

馬淵邦夫作曲

カデリアⅠ — 軽やかなリズムにのせて、幾種類もの旋律がそれぞれのパートによって奏でられ、それはまるで小鳥が復明けをつける合唱をするかのようである。やがて曲は絶頂に達し、激しいクライマックスをむかえる。

カデリアⅡ — 突然静寂を切って、激しいメロディーが飛び出しすくゆるやかな3拍子となり、Oboeの旋律に引き金パートが和らかな情緒あふれる旋律を奏でる。そして1stとドラムのソロによりⅡは終了する。

カデリアⅢ — 活気あふれるドラムのリズムにのせてⅢは始まり、やがて金パートが加わり、まるでスペインの熱情を思わせるかのような一天スペクトラム音楽を形成する。そして、微妙な速度の変化を繰り返しながら、曲は静寂へ向い、雄大なCODAへと入っていく。

CODAに入ると、田園的な旋律がくり広げられ、やがてⅠの主題が再び奏され、劇的にカデリアは幕を閉じるのである。「喜び、恋しみ、笑い、恐れ、そして愛、こういった人間の感情の輝きをこの曲で表現しよう」と試み、それがどのフレーズであるか、それは聞く人が、自由に解釈していただければ幸いである」(作曲者談)

東京  学生割引

コンタクトレンズ

◆高田馬場 209-4646 ◆新宿 348-4646
◆池袋 985-4646 ◆渋谷 409-0005

第 2 部

歌劇「セヴィリアの理髪師」序曲

ロッシーニ作曲 宮田俊一郎編曲

ロッシーニのオペラ中の代表作「セヴィリアの理髪師」は、作曲家が僅か24歳の時の作品で2幕から成ります。モーツァルトの代表作の一つである「フィガロの結婚」はこの「セヴィリアの理髪師」の姉妹篇で、原作は「朝ある毎」と共に3部作をなしています。この序曲は「ウィリアム・テル」同様、今日でもオーケストラの主要レパートリーとしてなくてはならない存在となっています。最初の半長調の序奏に続く主部は、本短調のヴァイオリンによる歯車回りのよい第1主題と、木管による第2主題の対照が絶妙なソナタ形式によって書かれており、展開部が省略されている点では、モーツァルトの「フィガロの結婚」序曲と同じ趣向です。

【スラヴ舞曲第10番】第2集の10 本短調作品72の2

ドヴォルザーク作曲 中川隆典編曲

ドヴォルザークは、自らの祖国であるボヘミアの音楽に深く興味を持ち、ブラームスのハンガリア舞曲にならって、ボヘミアの民族の旋律から2集16曲のピアノ連弾用「スラヴ舞曲」を作曲しました。作品46と72の各8曲からなるこの曲は、「ハンガリア舞曲」と同じく最初はピアノ手曲(5連弾)として作曲され、その後オーケストラ用に編曲されました。「スラヴ舞曲」には、10種類程度の舞曲のリズムが使われていますが、この第10番は、ショパンのピアノ曲で広く知られている、3拍子のリズムを持つポーランド舞曲で、マズルカと呼ばれ、激しさと優しき、光輝の姿態といった対比が、たくみにありなされてゆきます。

【スラヴ行進曲】

チャイコフスキー作曲 宮田俊一郎編曲

1876年トルコとセルビアの間に戦争が起り、同じスラヴ民族だということでも、ロシアはセルビアを支持し露土戦争となりました。その頃モスクワ音楽院長だったニコライ・ルビンシュタインは、保衛兵の親睦会集のため演奏会を開き、この時ルビンシュタインがチャイコフスキーに作曲を依頼してきたのが、スラヴ行進曲です。曲は最初強で華やかな曲風が示され、次いで主要主題が現れます。この主題に忠告する旋律が出て、曲はやがてロシアの讃歌が流れますが、間もなく活気ある行進曲に高鳴られ、愛国心を盛り上げて素晴らしいクライマックスとなり、曲は終わります。座で壮麗な行進曲で、スラヴの民謡を取り入れたりして、そのスラヴの民族精神を歌い上げたチャイコフスキーの作品の中では、最もポピュラーになっている曲です。

第 3 部

- パリのあやつり人形、思い出は美しすぎて、ポーラースター……国井邦巳 編曲
- 魅せられて……榎原利幸 編曲
- It's all right with me, カニバルメドレー……平井 尚 編曲

手工 絃楽器

S.Watanabe

マンドリン・ギター 他低音楽器

絃楽器全般製作修理

渡辺絃楽器研究所

〒114 東京都目黒区三田 3-15-5 TEL (03) 8528-0909
国電 板橋駅 都営地下鉄 三田線 新板橋下車

ステージメンバー



1、指揮者紹介
指揮者の山下さんは土木工学科の3年生、故郷は兵庫県神戸市、会中中には多くの関西弁がしばしば飛び出す「なんのこっちゃ」彼は、後輩に対して非常にやさしく新人生には、ないお茶を無理に出して、たまにおどろいておかないかと、また、彼の服装は白のワイシャツ、地味なズボン・スニーカーそれが指揮者らしく落ちついて見えるのだが彼の威風凛々な下に行ってみると事態は一変する……2年前のラーメン屋の上に取りがらばら、さらにはگریグが……私が選びに行ったその日、そのラーメンは私の目に留まったのです。



2、コンマス紹介
コンサートマスターの井手先輩について、彼は経営工学科3年、はるばる阿蘇のふもと熊本よりやってきて、現在、小倉市内に下宿している。じつとその顔をながめると口ヒゲが目につく、コンマスの威厳を示すためのなか、いや、きっと合同コンパなんかで目立ってやろうと必死でやっているのだろう。また、彼は合奏中に時々「ニコッ」と笑うことがあり、1時間に約3回これをやる。
下宿は他の先輩と同様にちからちからあって足ふみ場はない、すぐ隣には指揮者の山下さんの下宿がある。……しからのち2人は不倫の恋に陥り、井手さんが「はれさせてしまてごめんさい」と言ったとか、その真偽と彼の笑顔についてはまだかではない。

新幹部

この定期演奏会が終わると我々も、新しい幹部の時代となります。ここに80年代のH.T.M.Cを担う新幹部を紹介しましょう。



- | | |
|---|---|
| <p>一連責任者</p> <p>部長：八代 明彦
副部長：大野 清永
渉外：渡美 某一
広井 敬
三上 俊
渡辺 幸彦
総務：浅尾 仁志
篠瀬 英樹
深澤 行夫
会計：北岡 正剛
贈品：松浦 雅彦
譜面：野井 徳明
間藤 元郎</p> | <p>トップ録一</p> <p>指揮者：平井 朗
コンマス：岡塚 元郎
1st：朝井 能明
2nd：清水 洋伸
マンドラ：三上 俊
セロ：北岡 正剛
ギター：松岡 雅彦
ベース：八代 明彦
フルート：渡美 某一
クラリネット：
深澤 行夫</p> |
|---|---|

彼等は、十人十色という言葉がピッタリの個性的な人間のおつまりですが、一つの目標に向かい各自の個性を発揮して、一団となりクラブを運営していく意欲に燃えています。

今後の活躍に期待して下さい。

来年度の演奏会予定

5月29日(木) ジョイント・コンサート 浅草公会堂にて

12月13日(土) 第17回定期演奏会 日本都市センターホールにて

Flash Men in H.T.M.C

この時間にフレッシュと言っても新鮮味に欠けませんが、今年も某女子大生の御協力を得まして11名の若い男が入部しました。

5日以来、いくつかのコンパを経て、最近やっとマンクラブ員らしくなってきたようです。(部室での膨脹の大きいこと等)

まあ、がんばってもらいたいものです。



編集 川島 一広・小山 実
鈴木 豊・渡辺 充

ポスター・表紙 デザイン 馬淵 邦夫

発行 法政大学工学部マンドリンクラブ
印刷 (株)アザック写真印刷

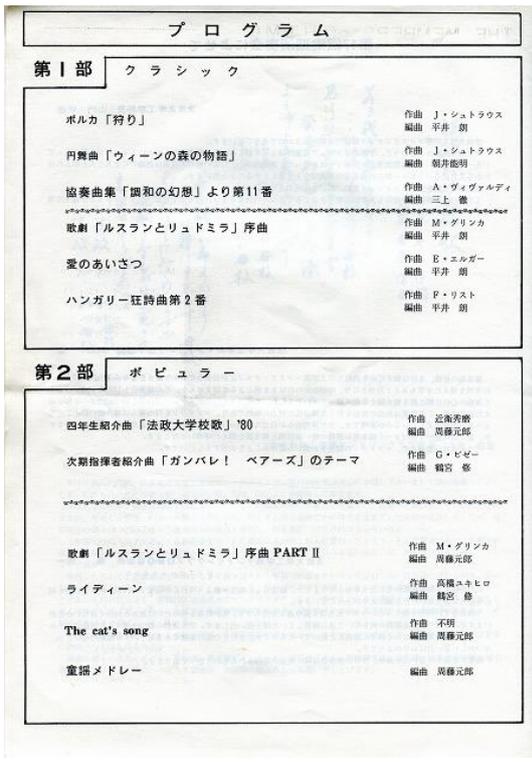
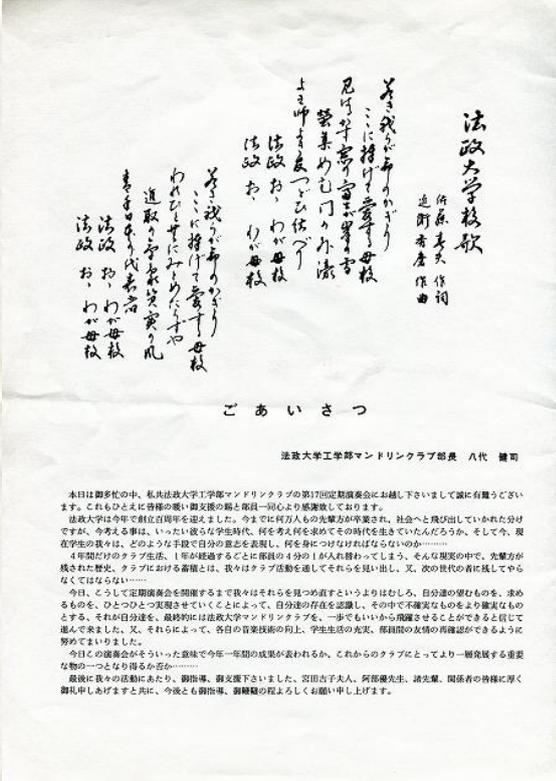
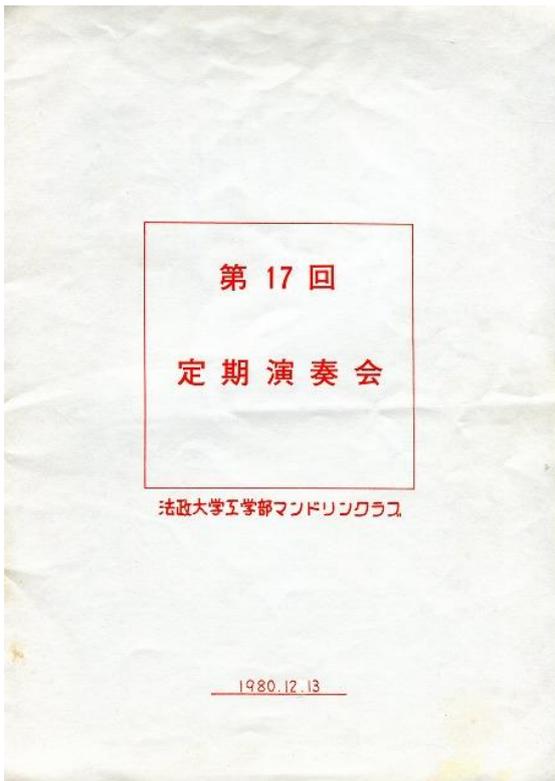
- ♡努力したかいもなく、プログラムはできてしまいました。(川 島)
- ♡くるしい、くるしい、ほんとうにくるしいプログラムを作るって、ほんとうにたいへんだ。(小 山)
- ♡試験勉強と同じく、一夜漬けの夜間仕事。どうにか出来上がりました。いっしょに徹夜して手伝ってくれた吉武君に感謝しています。(鈴木)
- ♡感謝無量Part 2。(馬 淵)
- ♡驚いたことに、この5日間の合計練習時間は、客観的ではある10時間でした。試験前日でも9時間は寝るのに。(渡 辺)

最後にプログラム製作にあたり、御協力下さいました皆様にお礼申し上げます。(編集委員一同)

<p>ハンバーグ&定食のうまい店</p> <p>レストラン</p> <h1>カジノ</h1> <p>小金井市梶野町5-7-20 電話 0423 (86) 0446</p>	<p>今夜もやっぱりBAN</p> <p>SUNTRY</p> <p>白.....2,600円 角.....3,200円 Old.....3,900円</p> <p>コンパ受付中</p> <p>TEL 0423 86 0446 FAX 0423 21 45 7821</p>
---	---

	<p>夜7時まで営業</p> <p>東京都小金井市梶野町5-1-4</p> <h2>平和相互銀行</h2> <p>東小金井支店 電話 0423-83-1611</p>
--	---

<p>やきとり・うなぎ</p> <p>お二階はお座敷</p> <h1>鯉 作</h1> <p>中野店 (386) 3884 番</p>	
---	--



REGULAR ■ CONCERT 19TH

ごあいさつ

本日は御多忙にも拘らず、舊縁力の御来場を頂き感謝申し上げます。
近年では本学マンドリンクラブの活動も盛んな様子で、春のジョイントコンサート、夏の地方演奏会、そしてこの定期演奏会と一応のスケジュールをこなし、体形だけは成人へと輝きに近づいているようです。また、来年はいよいよ成人式を迎え、人間たたとえれば大人として独り歩きを始まるとも思われます。
ここまで育ったのは、個々毎回演奏会を御支援して下さる皆様のご協力の賜物と存じます。体形だけでなく本当の体力をつけて、独り歩きする為にも、この演奏会を通じて貴重な助言、御意見を頂ければ幸いです。
秋も深まり長い夜の一節、ちまたの雑念を忘れ、マンドリンの演奏をPCMに心リフレッシュを望む所です。

法政大学工学部マンドリンクラブ顧問 阿部 優

法政大学工学部マンドリンクラブ第19回定期演奏会おめでとうございます。
今年も忙しい学業の合間にジョイントコンサート、演奏旅行等行ない何かと大変であったと思います。年々人員も増えクラブも大きく成長すると共に、お互いに和を持って、礼儀正しく、それ故、楽しい演奏、ハーモニーとなって表れる素晴らしい演奏をいつも楽しみにしております。
武蔵野の名残りとどめる素晴らしい環境の中で、若さと情熱を持ち、その法政大学工学部マンドリンクラブの伝統を誇り上げて頂きたいと願っております。本日の演奏会の御成功お祈り致します。

東京マンドリン宮田楽団主宰 宮田 吉子

本日は御多忙の中、私共法政大学工学部マンドリンクラブ第19回定期演奏会へおいで下さいまして誠にありがとうございます。こうして無事演奏会を迎えることが出来ますのも、ひとえに音楽を愛する皆様の暖かい御支援の賜と部長一同心から感謝致しております。
この一年は私共にとりまして、実に豊饒な年であったように思われます。ステージを見て頂ければわかりにられるでしょうが、今年は1年分3年までの40名に満たないという今までのない体制となり、今後のあり方等いろいろと考えさせられる点も多くありました。その中で、春の清泉女子大学とのジョイントコンサート、夏の地方公演等、未知ながらもこの一年を音楽に専らまいりました。そして、一年の締めくくりでもある本日の演奏会から、そんな中生まれた私共の「和」と部長一人一人の音楽に対する情熱を皆様に感じさせて頂ければ幸いです。
最後になりましたが、ひろく大変お世話になっております宮田吉子先生、顧問の先生、師・DCの皆様、関係者の皆様にも厚く御礼申し上げますと共に、今後共御指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ部長 藤田 智己

プログラム

	指揮 柳 沢 清 明
I	パールギョント組曲より
	作曲 グリーク
	編曲 藤田 智己
	山の王の宮殿にて
	交響的絵画
	作曲 ボロディン
	編曲 宮田 俊一郎
	中央アジアの草原にて
	指揮 薬 谷 弘 一
	歌劇
	タンホイザー序曲
	作曲 ワグナー
	編曲 薬 谷 弘 一
	指揮 柳 沢 清 明
	バストラール・ファンタジー
	作曲 華 掛 廣 幸
	指揮 柳 沢 清 明
II	エンターティナー
	西部開拓史
	指揮 鈴 木 修 一
	別れの朝
	指揮 柳 沢 清 明
	シボネー
	さらばジャマイカ
	コパカバーナ

指揮 柳 沢 清 明

III	舞踏組曲「胡桃割人形」より	作曲 チャイコフスキー
		編曲 宮田 俊一郎
		藤田 智己
第2楽章	行進曲	
	トレパック	
	アラビア人の踊り	
	シナの踊り	
	葦笛の踊り	
第3楽章	花のワルツ	

82幹部お疲れ様!

部長 藤田智巳
 副部長 原田一則 三沢健一
 幹事 高橋泰彦 千野道人 桑谷弘一
 行総務 一方井志雄 関場達也
 会計 和田清
 徳島 早川英樹
 徳島 植田治久 柳沢清明
 スポーツ 鈴木兼之 仲野雅朗

コンマス 植田治久
 2nd. 仲野雅朗
 ドラ 高橋泰彦
 トピックス 千野道人
 アップ 原田一則
 ベース 藤田智巳
 フルクラ 桑谷弘一
 オーボエ 三沢健一
 パーカス 山領慶弘
 指揮 柳沢清明

貴方にもレコードが作れる??

一枚でも注文受けます。

東京レコード工業株式会社

東京都足立区昭和町1の9の5
TEL. 03 (820) 8191

空くて便利ある

東和ホリデー

グループ旅行 03(350)10161
 音楽団体会宿 03(476)10541
 042(2)21128804

こがねちゃん弁当の
ニューまごころチェーン

ササニシキのごはん
はいつもほっかほか

・惣菜注文、出張料理も承ります。・バーベキュー、お祭り、お祝い行事、会合などにも
・電車で注文も承ります

こがねちゃん弁当 観野店
代表者 山口新一
小金井市観野町5丁目7-1 TEL. 0423(84)3834

夜7時まで営業

東京都小金井市観野町5-1-4

平和相互銀行

東小金井支店 電話 0423-83-1611

お座敷 500名様収容 席料、サービス料無料

学生コンパ 2,500円よりOK

新宿駅 ◎カラオケ設備あり
 中央口前 *寿司
 セントラルホテルビル *割烹
 地下2F *活造り

大漁 (356) 7641

- 第1回定期演奏会
- 第2回定期演奏会 資料不足のため曲目不明
- 第3回定期演奏会
 - 序曲ニ長調 ○魔女の音
 - 「イラウツイ見録とクリアッチ見録」より序曲
 - 「秘密の結婚」より序曲 ○序曲イ長調
 - 風変わりな歌 ○別れの曲
- 第4回定期演奏会
 - 「秘密の結婚」より序曲 ○サンジュスト等協の鐘
 - ジャレーラアンディー
- 第5回定期演奏会
 - 序曲ニ長調 ○水車小屋の乙女
 - 序曲イ長調 ○ハイムライゼ
- 第6回定期演奏会
 - 学生紛争による学校閉鎖により中止
- 第7回定期演奏会
 - 「秘密の結婚」より序曲 ○ムーア風アグナダ
 - ベレンシアの広場にて ○序曲「レナータ」
 - 海の舟曲 ○冥しき舞臺トナウ
- 第8回定期演奏会
 - 序曲「第2番 喜 悲」 ○奏曲
 - 皇宮内舞曲 ○ローマの夜宴
 - ムンブアの結婚 ○「セビリアの夜宴」より序曲
- 第9回定期演奏会
 - 序曲 ○夜霧の鐘
 - 演奏ホールナードト長調KISS「アイダライネナハトムコーア」
 - 風変わりなはよりにて ○「詩人と鹿火」より序曲
- 第10回定期演奏会
 - 序曲ニ長調 ○ハンガリーの歌
 - 学生王子のセレナード ○バグダットの太守
 - 「ザンパ」より序曲
- 第11回定期演奏会
 - 魔女の音 ○海の少女
 - 交響曲第8番より第2・3楽章 ○ハンガリー舞自5番
 - くまの舞曲 ○ロッドナの寶石 ○戦災
 - ドイツ舞曲
- 第12回定期演奏会
 - イラウツイ見録ニ長調
 - 音楽家経路第2番の短調よりロンド「サラバ」アンダーレメメント
 - 「秘密」より第1楽の序曲 ○ハイムライゼ
 - 武蔵野の秋 ○大いなる時代 ○金と銀
- 第13回ジョイントコンサート (with 東洋女子短期大学)

- 第14回定期演奏会
 - シェパードの序曲 ○ロマン的協奏曲
 - シニエ上のアリア ○夢
 - 秋と朝と暁と ○ペールギュント
 - シンコペイアトド・オモツク ○ピアノソナタ
- 第15回ジョイントコンサート (with 東洋女子短期大学)
- 第16回定期演奏会
 - ムーア風アグナダ ○序曲「第二番 喜 悲」
 - カメルン舞曲 ○「エタメント」より序曲
 - 靴の天使 ○組曲のワラ
- 第17回ジョイントコンサート (with 清泉女子大学)
- 第18回定期演奏会
 - 「イラウツイ見録」より序曲
 - 2つのランドリンのための協奏曲ト長調
 - ハストラルファンタジー
 - 管弦楽組曲第2番より「ボネーヌ」 ○「こゝろ」より序曲
- 第19回ジョイントコンサート (with 清泉女子大学)
- 第20回定期演奏会
 - 序曲ニ長調 ○カチア
 - 「セビリアの夜宴」より序曲 ○ストラブ舞曲第10番
 - ストラブ舞曲
- 第21回ジョイントコンサート (with 武蔵野女子大学)
- 第22回定期演奏会
 - 序曲 ○クワイーンズの島の物語
 - 「秘密の結婚」より第1楽章
 - 「カメルンと王子と」より序曲 ○愛のあいさつ
 - ハンガリー狂詩曲第2番
- 第23回ジョイントコンサート (with 清泉女子大学)
- 第24回定期演奏会
 - イラウツイカ ○大いなる時代
 - 魔女の音 ○シムハラゴート
- 第25回ジョイントコンサート (with 清泉女子大学)
- 第26回定期演奏会
 - 「ペールギュント」より曲の正の音程にて
 - 中央アジアの草原にて ○「タンホイザー」より序曲
 - ハストラルファンタジー ○「朝花満人形」より
- 第27回ジョイントコンサート (with 清泉女子大学)

幹 部 紹 介

部 長 宇野 雅夫
 副 長 中岡 佳治
 会 員 高橋 寿
 池 田 浩野 義博・山岡 康弘・中野 春樹
 総 務 新井 英幸・日高 伸二・関田善一
 備 品 中岡 佳治
 ステキネ 宇野 雅夫
 譜 面 鈴木 務一・中岡 佳治



編集後記

レポート、製図、プログラム……に追われ、あっという間に月日はながれ、予定より大幅におくれてしまったけれど、別とができました。いそいそめでない。(H, A)

20周年といえども何も考えないでプログラム制作に手を付けたので、ほとんどA氏にまかすきりで、このころは編が上からない毎日です。しかし、こんな日々ももう少しで終りです。やっただ、P.S.、ほくほく少しは考え込んだぞ。(S, H)

プログラム作成にあたり、親友氏、御指導下さいましたアザック写真部員の有志はじめ、広報掲載に御協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。



貴方にもレコードが作れる!!

あなたのクラブも、楽会のレコードを作ってみませんか。H, T, M, C. 第20回定期演奏会のレコード、テープをお求めの方は、03(3)4146(編野)までお問い合せ

東京レコード工業株式会社

東京都北区昭和町1の9の5
 TEL. 03 (860) 8101

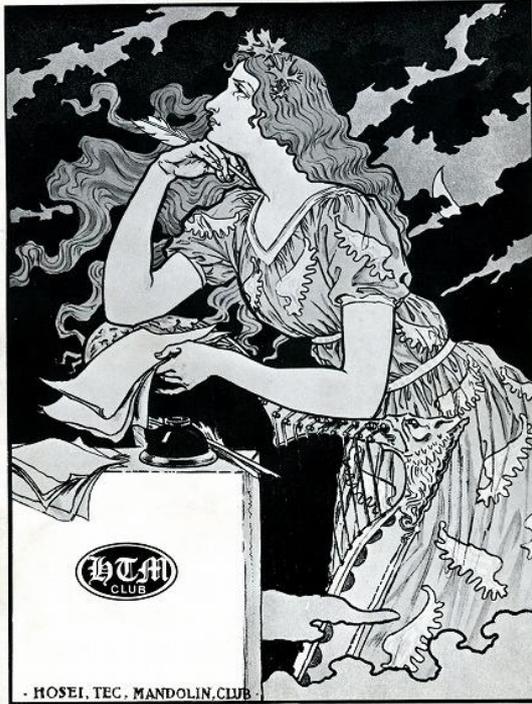
発 行 法政大学工学部マンドリンクラブ
 編 集 新井 英 幸・日 高 伸 二
 表 紙 新 井 英 幸
 印 刷 関アザック写真印刷

台所ガイドセンター
 ☎(03)263-4311 所

手 工 絃 楽 器
S. Watanabe
 マンドリン・ギター他低音楽器
 絃楽器全般製作修理
渡辺絃楽器研究所

北區滝野川5-43-5号 TEL. 1916) 8228-9
 店 舗 板橋駅 駅東地下鉄0号線南口徒歩下り

CONCERT 22



御挨拶

顧問 阿部 肇

本日は多くの皆様にお集まりいただき、心より感謝致します。
 法政大学工学部マンドリンクラブの定期演奏会も22回目を無事ここに開催できますことは一重に皆様方、並びにOB諸兄の御支援の賜物と存じ、改めて御礼申し上げます。学園内のサークル活動の動向も年々変わるもので数年前までは音楽系のサークルに人気があり、当クラブも50余名の大所帯で活気に溢れていましたが最近では体育系クラブの全盛で、時代がかなり逆戻りした印象を受けます。一考するに、音楽が学園生活の特権では無くなったとも言えるのではないのでしょうか。その意味から当クラブの演奏活動も“個性”を造り出す時期に差し掛かっていると思われ、皆様の御助言を切望する所です。
 それでは、最後までマンドリンの演奏をお楽しみ下さい。

部長 千野 友久

本日は御多忙の中、私共法政大学工学部マンドリンクラブ第22回定期演奏会において下さいまして誠にありがとうございます。こうして無事演奏会を迎えることが出来ますのも、ひとえに音楽を受する皆様の暖かい御支援の賜と部員一同心から感謝致しております。

私達のクラブが創設されて26年の歳月が流れその間に部員の気質も、クラブの課題も変化して参りました。とりわけ今期は一年から四年まで30名に満たぬ体制となり、工学部の多摩校地移転とあわせ、今後のあり方等、検討すべき点も多くありました。その中で春の清泉女子大学とのジョイント等、未熟ながらもこの一年を着実に歩んで参りました。そして、晩年の今宵“実験的”ともいえる私共の自由かつ奔放な演奏をお楽しみ頂ければ幸と存じます。

最後になりましたが、日頃大変わ世話になっております宮田吉子先生、顧問の先生、OB・OGの皆様、関係者の皆様の厚く御礼申し上げますと共に今後とも御指導、御鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

やきとり・うなぎ

お二階はお座敷

鯉 作



中野店 (286) 3884番

PROGRAM

I

遙かなるアラモ
 Michelle
 Oh! Darling
 The Last Summer Day
 Meu amor é...
 Gloria
 Island Girl
 ff (フォルテシモ)

II

GRANDE VALSE BRILLANTE Op. 18 F. Chopin
 華麗なる大円舞曲 楽本長調 作品18 編曲 西谷 孝宏

SYMPHONIE 8 Gdur Op. 88 A. Dvorák
 交響曲第8番 長調 作品88 (イギリス) 編曲 板垣 浩

Andante Cantabile from the Quartet
 Op. 11 P. I. Tschaiikowsky
 弦楽四重奏曲第1番 長調 作品11 編曲 油田 泰隆

SUITE NO. 2 J. S. Bach
 管絃楽組曲第2番 編曲 板垣 浩

Serenade FOR STRING ORCHESTRA
 Op. 48 P. I. Tschaiikowsky
 弦楽セレナーデ 編曲 板垣 浩

曲目紹介

華麗なる大円舞曲

ショパンのワルツは性格上から言って2種類に大別される。一つは実際の舞踏用楽曲を理想化したもので、もう一つはワルツの型式を借用した1種の叙情詩である。この曲は前者に含まれる。この曲は1831年に作曲され1834年の夏に出版された。後年のショパンの作品に見られる神秘的な陰影は、若い頃の作品であるこの曲には、まだ、ほとんどなく、明るく切り切れた美しい感じのワルツである。

イギリス

交響曲第8番は1889年11月8日ブラハで完成された。いかにもチェコの田舎の静かな日ざしを受けているような感じは、そのころの作曲者の充実した幸福な気分を表わしている。この曲は、イギリスの出版社で出版されたので「イギリス交響曲」と呼ばれたこともある。第3楽章はワルツ的な舞曲風の楽意で、典型的にチェコの気分にあふれている。旋律は、のびやかで、しかもいくぶん憂いをふくんでいる。

アンダンテ・カンタービレ

この美しい作品は、チャイコフスキーの妹が住んでいたカメンカで書かれたという。妹の歌で帰った家屋の壁を穿つペンキ屋が仕事に耽っていた民謡に魅せられたチャイコフスキーが書き写し、後に自作の弦楽四重奏曲第1番の第2楽章に使ったのである。楽口長調2/4拍子で高音器をつけたヴァイオリンが奏す第1主題がそれで、素朴ながらも味わい深いものがある。

管絃楽組曲第2番

バッハの管絃楽組曲は現存する4曲いずれもが序曲ではじまる。4曲中この第2番が最も親しまれており、フルートは独立し、協奏的に振られており、唯一のフルートとオーケストラのためのまとまった作品でありバッハの手によってしか書き得ない高貴さと音楽的完成度を持っていることは疑い得ない。

弦楽セレナーデ

チャイコフスキーは1880年10月16日のメック夫人への手紙の中で、「私はセレナーデを肉体的な衝動にかられて作りました。この作品は感情に落ちたものでありそれゆえあえて言いますが真の価値を失わないものです。」と書いている。彼は、このセレナーデを弾んでスラスラと書きあげた。形式も室内楽曲であり、交響曲や歌劇の作曲と違って単純であるから心にかかれば旋律をもとに何の苦もなく書きつづることができたのである。この作品は彼のもっとも成功した作品の一つである。

小田利成 (Guitar 部長)
 総務部の合宿やイベントの企画に力を入れている小田部長は、音楽活動以外にも様々な活動に取り組んでいます。

岩倉秀彦 (2nd 部長)
 イベントの企画や運営に力を入れている岩倉部長は、音楽活動以外にも様々な活動に取り組んでいます。

中島 友一 (Guitar 会計)
 イベントの企画や運営に力を入れている中島部長は、音楽活動以外にも様々な活動に取り組んでいます。

小林 仁 (Drum 部長)
 イベントの企画や運営に力を入れている小林部長は、音楽活動以外にも様々な活動に取り組んでいます。

-GRADUATE-

FROM H.T.M.C.....

王利芳 (Guitar 部長)
 イベントの企画や運営に力を入れている王利芳部長は、音楽活動以外にも様々な活動に取り組んでいます。



杉山智雄 (Guitar 部長)
 イベントの企画や運営に力を入れている杉山部長は、音楽活動以外にも様々な活動に取り組んでいます。

小池茂樹 (Drum 部長)
 イベントの企画や運営に力を入れている小池部長は、音楽活動以外にも様々な活動に取り組んでいます。

柳昇平 (Guitar 部長)
 イベントの企画や運営に力を入れている柳部長は、音楽活動以外にも様々な活動に取り組んでいます。

田中 龍也 (Drum 部長)
 イベントの企画や運営に力を入れている田中部長は、音楽活動以外にも様々な活動に取り組んでいます。

稲原 龍也 (Drum 部長)
 イベントの企画や運営に力を入れている稲原部長は、音楽活動以外にも様々な活動に取り組んでいます。

MEMBER'S

INTRODUCTION



池田 泰隆 (Guitar 2nd)
 音楽活動以外にも様々な活動に取り組んでいます。



Mando Cello
 イベントの企画や運営に力を入れています。



1st. 松本 光雄 (Guitar)
 イベントの企画や運営に力を入れています。



Mandolin 内田 幸徳 (Drum)
 イベントの企画や運営に力を入れています。

カジュノ1F
 ステーキと定食の美味しい店です。

小田利成 (Guitar 部長)
 イベントの企画や運営に力を入れています。

スタジオスペースフォト (ステージ写真)
 Studio SPACE PHOTO
 ☎ 0473-97-1283

カジュノ1F
 TEL.0423 (84) 0446番

民宿 松屋
 ☎ 05558-2-2501



Contra Bass
 イベントの企画や運営に力を入れています。

Guitar
 イベントの企画や運営に力を入れています。



Flute Clarinet
 イベントの企画や運営に力を入れています。

Flute Clarinet
 イベントの企画や運営に力を入れています。



Conductor
 イベントの企画や運営に力を入れています。

Concert Master
 イベントの企画や運営に力を入れています。

一編後記
 イベントの企画や運営に力を入れています。

REGULAR CONCERT

おめでとう
 ありがとうございます
 たくさん
 ください

合宿ガイドセンター
 ☎ (03) 263-4311



1 音部	
Kanon	J. Pachelbel 編・西崎典浩
交響曲 「おもちゃ」	J.G. Leopold Mozart 編・たかしまあきひこ
交響曲第4番 第3楽章	P.I. Tchaikovsky 編・大浪亮一
2 音部	
Rock around the Clock	
The Second to Heaven (ダクタン人の誇り)	
雪が降る	
Beautiful Dreamer	
★ Fine Beauty's Bitch	(★印はオリジナル作品)
★ 素敵なお花	
★ Moving Vortex	
3 音部	
四季より「冬」 第2楽章	A. Vivaldi 編・西崎典浩
歌劇 「魔弾の射手」	K.M. Weber 編・大浪亮一
Simple Symphony	B. Britten 編・佐藤亮一

■ 交響曲 「おもちゃ」

この曲は、それまでハイドンの作曲とされていたが、1951年、シュミットという学者が、レオポルト・モーツァルトの作品であることを実証し、現在ではレオポルト・モーツァルトの作品であるという説が有力である。しかしながら、真偽の程は定かではない。このレオポルト・モーツァルトは、かのウ・オルプガン・アマデウス・モーツァルトの父であり、後にザルツブルク大司教の副楽長にまで出世した人である。
なお、作曲年は、1788年となっている。

★ 交響曲第4番 第3楽章

この曲は、ちょうどベートーヴェンの第3交響曲と同じように、チャイコフスキーにとって1つの重要な転機を曲にまとめたものと言われている。この時期彼は、妻との離婚などで精神的・肉体的にも大変衰えており、この曲が完成するまでに随分と長い月日を要した。しかしこの曲に対して彼は、「これまでの私の作品でこんなに苦勞したことはありませんが、自分のどの作品にも、これ程の愛情を感じたことはありません。」と言っている。
参考までに、この曲から私達が得た知識は、貴重なものがあります。

◆ 歌劇 「魔弾の射手」

ウェーグナーは、初めの歌劇「シルヴァーナ」で大成功をおさめたが、彼の名声を決定的にしたものは、なんといっても歌劇「魔弾の射手」である。この曲は、単にウェーグナーの代表作というだけでなく、ドイツ歌劇史上に輝かしい1ページを加えたものとして、決して忘れられるものではない。
この曲は、しばしば単独でも演奏される程有名なもので、劇中におくられるいくつかの旋律を集めている。曲は荘重な序奏から始まり、主部の低音にささえられた無気味な旋律を経て、勝利を歌う樹鬨たる終曲にはいる。

● Simple Symphony

This 'Simple Symphony' is entirely based on material from works which the composer wrote between the ages of nine and twelve. (The actual sources are given in footnotes to each movement.)
Although the development of these themes is in many places quite new, there are large stretches of the work which are taken bodily from the early pieces — save for the re-scoring for strings.
Benjamin Britten

GRADUATE



- 板垣 浩 (役 前エース)
- 闇の世界、現世にしろやん 鬼も多過ぎる?!
- 松本 劇 (役 前スター)
- 誰か涙くたのは強情過か、ツレリ過ぎか?
- 池田 泰隆 (2nd 前会費)
- 若い歳を度々あやまる 2ndの悪幕
- 内田 幸 (2nd 前会費)
- いや〜、ワルヤンバに だまされた。!!
- 千野 友久 (Cello 前部長)
- 寝ぐせ? やつツリバマをしよう、先輩!!
- 佐藤 浩 (2nd 前部長)
- 地球防衛軍指令官 当座 (決意)
- 柳井 孝之 (Bass 前部長)
- 正義バカか、力が正義か?
- 酒井 浩 (Fiddle 前部長)
- 「おれ〜!!」先輩「い〜」(学業バマ)
- 西谷 寿宏 (指揮者 2nd)
- 神出鬼没 - 満場皆笑と見えど...
- 保田 光隆 (Bec. Art. 前部長)
- One, Two, One Two Three Four!!

HOSEI TECH. MANDOLIN CLUB



REGULAR CONCERT

HTMC GATHERS

GOVERNMENT—KING OF CORNERING



Norihiro Nishizaki
Conductor Guitar Percussion

Ryoichi Ohnami
Concert Master

MIDNIGHT GAMBLERS—HIT THE NAPOLEON



Masaomi Matsunuma
2nd Mandolin Top

Hiroyuki Toho
Sub Conductor 2nd Mandolin

Keisuke Matsuda
2nd Mandolin

Kenji Miyamoto
2nd Mandolin

Yoshiko Mutoh
2nd Mandolin

Tetsu Okada
Mandola Tenor Top

OLD BOYS

Hiroshi Itagaki Hiroshi Sakai Shigeki Koike

NO MOSS !

TOP SECRET—SHE IS SO RESPECTABLE



Mitsuhiro Satoh
1st Mandolin

Shigeru Iwasaki
Guitar Top

Hideki Mashio
Guitar

SERENADE

the 1st & 4th movements

この曲は1775年5月3日から14日までの12日間で書きあげられており、爽やかな作風の中に下ボルゼークならではの情緒が色濃く流れている。

今回はその中から、機軸があふれ、中間部でト長調のリズミックな音楽に変わる第1楽章と、スラブ舞曲のフィナーレで、リズミックな第1主題に始まり、途中第1楽章の主題が再び登場して、アレストのコーダで全曲を結ぶ第5楽章をお送りします。

KOGANEI BROTHERS—THE SUPER STAR



Ryoichi Satoh
Mando Cello
HTMC Leader

Kiyotake Tachibana
Contra "Dancing" Bass
Sub Leader

HOSEI Tech. Mandolin Club the 24th REGULAR CONCERT

I	Gymnopédie	E. Satie arr. by N. Nishizaki
	Time is on my Side	N. Meade arr. by K. Tachibana
	Lullaby of TAKEDA	Ballad of KYOTO arr. by M. Matsunuma
	Grünblau	R. Sato (audio & arr.)
	Adagio und Fuga	W. A. Mozart arr. by H. Toho
II	Two Aquarelles	F. Delius orchestrated by E. Fenby
	Water Music	G. F. Handel arr. by R. Ohnami
	Serenade	A. Dvořák arr. by R. Ohnami

narratress N. Usui

26^{th.} Regular Concert



PROGRAM

- 1部 司会者：高橋すみえ
- "合奏協奏曲 作品6-1"より
第1楽章 ア・テンボ・ジユスト
第2楽章 アレグロ
第3楽章 アレグロ
-G.F.Handel
arr. 武蔵 佳子
 - "交響曲第8番"より第3楽章 -A.Dvorak
arr. 坂口 淳子
 - "アルルの女"第1組曲より
前奏曲、アダージェット、鐘
-G.Bizet
arr. 武蔵 佳子
- 2部
- "The Longest Time" -B.Joel
arr. 下山 信平
 - "Queen of Swords" -M.Goldenberg
arr. 後本 孝子
 - "Sentimental Journey" -L.Brown, B.Homer
arr. 森 敏明
 - "Ave Maria" -F.P.Schubert
arr. 入谷 志保
 - Etude op.10-No.3 "別れの曲" -F.Chopin
arr. 東方 弘之
 - "2つのノルウェーの旋律"
1. 民謡
2. 平気い曲と農民の踊り
-E.Grieg
arr. 東方 弘之
- 3部
- "ハンガリー舞曲第1番" -J.Brahms
arr. 松田 圭介
 - "交響曲第3番"より第3楽章 -J.Brahms
arr. 松田 圭介
 - 歌劇 "運命の力"より序曲 -G.Verdi
arr. 宮本 健司

曲目解説

"交響曲第8番 下長調 作品88"より 第3楽章
ドボルザーク作曲 坂口 淳子 編曲

ドボルザークは、＜国民音楽の父＞といわれる。彼の音楽は、
年と共にスラブ的な色彩を強めていたが、この8番においては、
民族音楽からくみとられた牧歌的なたたかきと憂愁、そして民
族的な感情のたぎりが、形式・内容ともに最も豊かに様式化され
ている。

第3楽章は、暖かみやかて哀愁をおびた旋律によって、この交
響曲の中でもとりわけ親しまれている楽章である。旋律の美しさに
終始せず、感涙を重ねてクライマックスを築き上げている。

"アルルの女 第1組曲"より
前奏曲、アダージェット、鐘
ビゼー作曲 武蔵 佳子 編曲

フランスの作家ドーデーの戯曲「アルルの女」の付随音楽27
曲の中から、作曲家自身が4曲を選んで演奏会用に改訂したのが
この第1組曲である。前奏曲は、地方色と劇的内容に促される情
緒を表す美しく力強い作品であり、アダージェットは、母の恋心
を思い起こす美しい祝のにじむ場面を伴奏し、鐘は、婚礼を祝う
鐘か鳴り響くシーンを楽しみしひとた嬉しさの中で人々の挨拶す
るところを奏でている。

"交響曲第3番"より 第3楽章
ブラームス作曲 松田 圭介 編曲

この曲は、ブラームスから0歳頃の作品で、その情熱的な内容
のゆえに、ベートーヴェンにおける第3交響曲にもたとえられ、
「ブラームスの英雄交響曲」とも呼ばれている。悲愴的な第1交響
曲、肉感的な第2交響曲に続くこの第3交響曲は、2つの交響曲
によって体得した経験を生かし、勇敢な楽意をここに備えて、こ
こに最も男性的なブラームス文様を伴う止めた。かくて、第3交響
曲は、最もブラームスらしい人間の強靭性にかき出された作品であ
る。

歌劇 "運命の力"より 序曲
ヴェルディ作曲 宮本 健司 編曲

「運命の力」は、ヴェルディが完璧に完成した序曲を付けた
数少ないオペラの1つで、中でも序曲は最もモジュラーな曲であり、
度々独立して演奏会で演奏される。この序曲は、全く従来の
形式を無視し、自由に劇中のテーマを駆使して全ドラマの内容を
暗示している。
「運命の力」は、1862年11月10日、ベテルスブルクの
帝国歌劇場にて初演の幕が上げられた。歌手、コーラス、オーケ
ストラとともに素晴らしい演奏を見せ、初演は大成功をおさる、そ
の後各地で演奏された。

MEMBER

- | | |
|--|--|
| Conductor
東方 弘之 (計測 4年)
坂口 淳子 (機械 2年) | Concert Mistress
武蔵 佳子 (経工 3年) |
| 1st Mandolin
T. 武蔵 佳子 (経工 3年) | 2nd Mandolin
T. 宮本 健司 (電子 3年) |
| 佐藤 光浩 (計測 4年) | 東方 弘之 (計測 4年) |
| 入谷 志保 (土木 2年) | 松沼 雅臣 (電子 4年) |
| 福田 尚紀 (機械 2年) | 前川 達也 (電子 3年) |
| Mandola-Tenor
T. 松田 圭介 (電子 3年) | 坂口 淳子 (機械 2年) |
| 岡田 肇 (計測 4年) | 後本 孝子 (建築 2年) |
| 中村 一彦 (電子 2年) | 太田 錦光 (電子 1年) |
| 根岸 英樹 (計測 1年) | 小川 裕子 (経工 1年) |
| Mandolin-Cello
T. 下山 信平 (電子 2年) | 大浪 亮一 (O B) |
| 森 敏明 (電子 2年) | Guitar
T. 本多 宗之 (電子 2年) |
| 入見 孝一 (機械 1年) | 馬場 英樹 (計測 4年) |
| Contra-Bass
T. 岩崎 暁 (土木 4年) | 松本 秀明 (電子 1年) |
| 林 淳一 (電子 1年) | 茂木 学 (計測 1年) |
| | Percussion
藤本 孝子 (建築 2年) |
| | 入見 孝一 (機械 1年) |



パート紹介



Conductor

姿態漂う後ろ姿、曲える指先、そして凛とした表情。東方さんは、何事に対しても真剣だが、「王子様」と呼ばれるようなお茶目な一面も持っている。坂口さんは、彼の魅力に迫り、「Princess」と呼ばれたいと思いつつレッスンを積んでいる。今宵あなたは見るだろう。「王子」と「王女」の力強く、優雅な舞いを。

1st

この定演の為に35000円でネックを一新した武蔵任子。疾風のように現われて疾風のように去って行くOld-Farr佐藤光浩。デハオ・サンデーを始めとする数々の逸話を熟した入道志保。最初に出演を残した男、福田尚紀。以上で構成される1st。実力はいかほど？



2nd

初めに、大田所Tさん。マツキー・Mさん。トップのクラッシャー・M本。加えてコマンドー・M田。飲み会で甘海老を独占するJ子。日夜エレキギターを練習するO田（通称子供）のJ子チヤコとY子。以上の面々をお送りします。可憐な雑音を楽しまってください。



Dola

我々4人の性格は、トレモロを見ていたたければ一目瞭然。まず、幽霊スタイルの岡田。続いてストロングスタイルの松田。さらにストロングマイルドの中村。ストロングスーパーマイルドの根岸。約1名、路線のちかう者（岡田）がいますが無視してください。P.S.岡田さん、練習出てください。

guitar

パワーのある奴はハートがある。ハートが熱い奴はパワーがある。挫折は俺達の無二の親友。そして指揮者は俺達の悪友。旋律は詩になり、律動は消然になる。そして今、俺達の終りなき疾走が始まる。Written By Honda



Cello

*友人だと言いつつ素人卓球大会にでてしまった下山君。
*最近、コンミスの人生相談を受け付けている森君。
*アヒルを飼っているペシワリアン見君1、2半年かけの超エリート（？）ハートCelloは、今日も元気に弦を切るぜ！



Bass

「優雅」この2文字のために、日夜鏡の前でとりあえずカッコだけをつけ続けて二十有数年。個性音楽に極まされながらも、毎晩恋女の血を求めさすラトウキユウ盛七、悪魔の弓を買ってしまった手下が一入、淳一。今宵、貴女をたとえ思女でなくとも夢の世界へと引きずり込みます。ご注意ください。

卒業生紹介



岩崎 滋 (Bass)

「趣味は何ですか?」「ナンパです。」

岡田 徹 (Dola)

その存在は、まさに亡きが如し。

佐藤 光浩 (元 Concert Master)

遠い分る男の GOLD-BLEND.

東方 弘之 (Conductor 2nd)

昨年、我がクラブを引退した王子様。

馬場 英樹 (Guitar)

「本多、何やってんだよ〜」

松沼 雅臣 (2nd)

自称、アルコールアレルギーの酒豪。



幹部紹介

松田圭介 (部長、ステマネ)
宮本健司 (副部長、渉外)
武藤佳子 (会計)
前川達也 (ボディガード)

ご挨拶

今晩は、法政大学工学部マンドリンクラブです。今日は、俺達のコンサートに来てくれてありがとう。26回目のレギュラーコンサートだが、今年もやるぜ。ベイビー。ストロングスタイルの顔結を見せてやる。気持ちが入り過ぎてしくじっちゃうかもしれないけど許してね。友達なんだから。コンサート終った後、交通費返せなんて言われても、ヘビメタは買えなから返せない。なお、上記の文章は全てフィクションなので、スポンサー以外の方からの苦情は一切お断りいたします。

法政大学工学部マンドリンクラブ部長 匿名希望



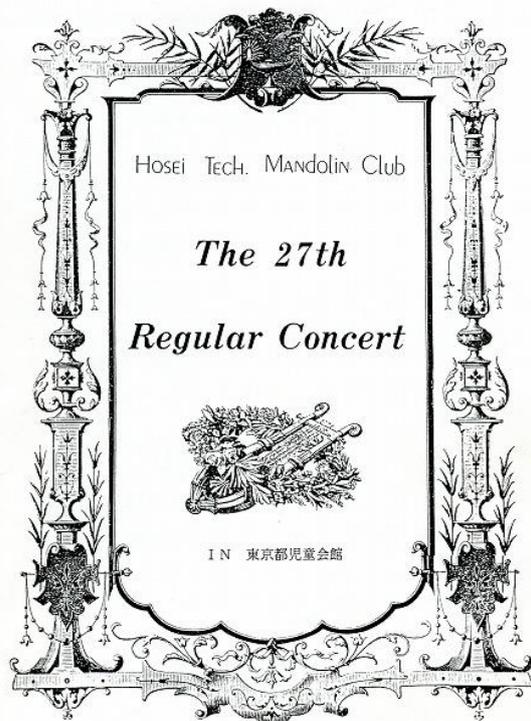
編集後記

今回、パンフ、チケットを作成するにあたったメンバーは、宮本健司、坂口淳子、森敏明でした。ご協力いただいた方々に感謝致します。

制作：法政大学工学部マンドリンクラブ

印刷：アザック写真印刷

以上6名が今日をもってクラブを引退する面々です。彼らの過去四年間の活躍は、目を閉じると走馬燈のように流れていくでしょう。彼らと思い出を作った方、そうでない方も今宵この6名最後の舞台に、その熱いまなざしを!!



PROGRAM

可会者 菅沼里佳

- 1部 "笑点"
- 中村 八大
 - arr. 松本 秀明
- "OB-LA-DI OB-LA-DA"
- レノン & マッカートニー
 - arr. 入谷 志保
- "空から降ってきた少女"
- 久石 譲
 - arr. 茂木 学
- "真夏の果実"
- 桑田 佳祐
 - arr. 下山 浩平
- "エジプトの秘境にて"
- A・M・ケテルビー
 - arr. 入谷 志保
- 2部 "WIPE OUT"
- ベンチャーズ
 - arr. 森 敏明
- "主よ人の望みの喜びよ"
- J.S.バッハ
 - arr. 小川 裕子
- "MIDNIGHT FLIGHT"
- ~ 一人ぼっちのクリスマスイブ ~
- 浜田 省吾
 - arr. 本多 宗之
- "THIS NIGHT"
- ビリー・ジョエル
 - arr. 下山 浩平
- "バクダットの太守"
- F.A.ポアルデュ
 - arr. M.マチャッキ
- 3部 "交響曲第7番 イ長調 作品92"より
- 第2楽章 アレグレット
- ベートーヴェン
 - arr. 人見 孝一
- "シシリエンス" 作品8 第3番
- ~ ペリアスとメリザンドより ~
- G.フォーレ
 - arr. 入谷 志保
- 歌劇 "シチリア島の夕べの祈り" 序曲
- G.ヴェルディ

曲目解説

"エジプトの秘境にて"

作曲 デイヴィッド・ヘンリー

編曲 入谷 志保

この曲は、エジプトの神秘な風景を、幻想的なメロディとリズムで表現しています。

"MIDNIGHT FLIGHT"

~ 一人ぼっちのクリスマスイブ ~

作曲 浜田 省吾

編曲 本多 宗之

この曲は、クリスマスイブの夜、一人ぼっちの寂しさを表現しています。

"交響曲第7番 イ長調 作品92"より

第2楽章 アレグレット

作曲 ロベール・シューマン

編曲 人見 孝一

この曲は、シューマンの交響曲第7番の第2楽章をアレンジしています。

歌劇 "シチリア島の夕べの祈り" 序曲

作曲 G.ヴェルディ

この曲は、ヴェルディの歌劇「シチリア島の夕べの祈り」の序曲です。

MEMBER



- | | | | |
|----------------|------------------|------------------|------------------|
| Conductor | 坂口 淳子 (機械 3年) | Concert Mistress | 入谷 志保 (土木 3年) |
| Sub-Conductor | 松本 秀明 (電子 2年) | | |
| 1st Mandolin | T. 入谷 志保 (土木 3年) | 2nd Mandolin | T. 森本 孝子 (建築 3年) |
| | 武藤 佳子 (理工 4年) | | 宮本 健司 (電子 4年) |
| | 小川 裕子 (理工 2年) | | 前川 達也 (電子 4年) |
| Mandola-Tenor | T. 中村 一彦 (電子 3年) | 坂口 淳子 (機械 3年) | |
| | 松田 圭介 (電子 4年) | 福田 尚紀 (機械 3年) | |
| | 根岸 英樹 (計測 2年) | 太田 錦光 (電子 2年) | |
| | 金谷 武志 (電子 1年) | Guitar | T. 本多 宗之 (電子 3年) |
| Mandolin-Cello | T. 下山 浩平 (電子 3年) | | 松本 秀明 (電子 2年) |
| | 森 敏明 (電子 3年) | | 茂木 学 (計測 2年) |
| | 人見 孝一 (機械 2年) | | 吾郷 健一 (機械 1年) |
| Contra-Bass | T. 林 淳一 (電子 2年) | Percussion | 下山 浩平 (電子 3年) |
| | | | 吾郷 健一 (機械 1年) |
| | | | 金谷 武志 (電子 1年) |

the 28th Regular Concert in Izumi Hall



Hosei Tech. Mandolin Club

PROGRAM

I 部

君に Merry X'mas	作曲：小田 和正 編曲：茂木 学
遠いなくなった時に君はここにいない	作曲：桑田 佳祐 編曲：林 淳一
ドーヴァーの白い思い出 ~White Cliff of Dover~	作曲：服部 克久 編曲：茂木 学

II 部

聖母たちのララバイ	作曲：大森 敏之・J.Scott 編曲：人見 孝一
Pavane 作品50	作曲：G.Faure 編曲：入谷 志保
ハンガリー舞曲第5番	作曲：J.Brahms 編曲：坂口 淳子

III 部

小組曲「子供の遊び」	1.Marche 2.Duo 3.Galop	作曲：G.Bizet 編曲：小川 裕子
Nocturne		作曲：A.Borodin 編曲：人見 孝一
「ウィーンの朝、昼、晩」序曲		作曲：F.Suppe 編曲：小川、林、松本

曲目解説

ハンガリー舞曲第5番 J. Brahms
ブラームスは、青年時代に知り合ったハンガリーのヴァイオリニストから教えられたジプシーの舞曲（チャルダス）を楽譜に書き付け、ピアノ曲「ハンガリー舞曲」として出版した。
曲はすべてハンガリージプシー的な奔放なリズムと情熱的な旋律、そして哀愁たじょうムードを持つ。
第5番は、激しく高まる情熱的なリズムと美しい旋律が印象的で、数多いこの舞曲の中でも最も有名な曲の1つである。

小組曲「子供の遊び」 G. Bizet
この曲はビゼーが子供の無邪気に遊ぶ情景を描いた曲か或いは子供達に聴かせる為に作った曲で、ビゼーの特色を良く表す愛すべき五つの小品を組み合わせたものである。
本日はこのうち3曲を演奏する。

1. Marche
4分の4拍子の行進曲である。組曲はまず行進曲ではしめるのが方式であるが、普通言われている行進曲ではなく舞曲の一種と見るべきもので形式の自由である。
2. Duo
小さなお嬢さんと小さなお嬢さんとのあどけないまごど遊びの情景である。
3. Galop
Galopとは馬でかけるという意味で急速な舞踏である。子供達のにぎやかな舞踏会の情景である。

「ウィーンの朝、昼、晩」序曲 F. Suppe
この曲は1844年2月26日に初演された戯曲のための序曲である。スッペの音楽はウィーン風の優雅さと軽妙さ、それにイタリア的な活潑な旋律美を具えており、今日ではこの多くの劇はもったに上演されないが、特に充実した序曲は単独でしばしばとりあげられる。
今回演奏されるこの曲も彼の素晴らしい音楽特性がよく表れており、広く親しまれている。

MEMBER



Conductor 松本 秀明 (電子3年)	Concert Mistress 小川 裕子 (機械3年)
Sub Conductor 坂口 淳子 (機械4年)	
1st Mandolin T.小川 裕子 (経営3年) 入谷 志保 (土木4年) 柴山 幸康 (電子1年)	2nd Mandolin T.太田 御光 (電子3年) 坂口 淳子 (機械4年) 福田 尚紀 (機械4年) 末武 照彦 (機械1年) 永沢 智路 (計測1年) 矢島 健一 (機械1年)
Mandola-Tenor T.根岸 英樹 (計測3年) 金谷 武志 (電子2年) 浅見 竹彦 (機械1年) 前川 達也 (院 1年)	Guitar T.茂木 学 (計測3年) 本多 宗之 (電子4年) 松本 秀明 (電子3年) 百塚 健一 (機械2年) 会見 直子 (経営1年) 山口 竜広 (電子1年)
Mandola-Cello T.人見 孝一 (機械3年) 下山 浩平 (電子4年) 塚本 剛之 (土木1年)	Contra-Bass T.林 淳一 (電子3年) 足立 文学 (機械1年)
	司会：岡島 千草 (白百合女子大学放送研究会)

HOSEI
TECH.
MANDLIN
CLUB



The 29th REGULAR CONCERT

PROGRAM

I 部

歌劇「ファウスト」よりワルツ
歌劇「予言者」より戴冠式行進曲
15の夜
I Love You

作曲：グノー
編曲：吾郷 健一
作曲：MEYER BEER
編曲：秋田 英毅
作曲：尾崎 豊
編曲：金谷 武志
作曲：尾崎 豊
編曲：人見 孝一

II 部

星空のピアニスト
Tomorrow, Today
チャイコフスキーメドレー
FAREWELL

作曲：R. CLAYDERMAN
編曲：秋田 英毅
作曲：G. O'SULLIVAN
編曲：柴山 幸康
作曲：P. Tchaikovsky
編曲：吾郷 健一
作曲：LOUDNESS
編曲：末武 照彦

III 部

「展覧会の絵」より抜粋
1. プロムナード
2. 小人
3. ビードロ
4. プロムナード
5. 卵の殻をつけたひなの覆り
6. パーバ・ヤーガの小屋
7. キエフの大門

作曲：M. Moussorgsky
編曲：秋田 英毅

IMPRESSIONS D'ESPAGNE
i. Cortège 作曲：E. BOUCHERO
ii. Serenade
iii. Sous Les Orangers
iv. Bolero

曲目解説

◎I Love You 尾崎 豊

I Love You
今だけは悲しい歌 聞きたくないよ...

...それからまた二人は 目を閉じるよ
悲しい歌に 愛がしらけてしまわぬように

◎星空のピアニスト R. CLAYDERMAN

大体において、イージー・リスニングとかムード・ミュージックの中で特にインストゥルメントのスターは、ポップスのシンガーやロックのグループと違ってなかなか出て来ません。そこには、優れた音楽性とテクニックは勿論ですが、それに加えて魅力ある個性と、いい音質、親しみのある品性が必要で、その上、こころしほらくの間のポピュラー界はますます刺激的になり、また多様化の方向を辿りました。音楽はもはや、聴くものでなく、胸に沁入るものとして受け取られていたようです。そんな時にこのリチャード・クレイグマンの「夜のアドリアス」とフランク・ミルズの「愛のオルゴール」が大ヒットしました。中でもリチャード・クレイグマンは、その静さと抒情性をもって一躍スターの道を歩き始め、たて続けに3枚のLP盤を出しました。その中でとても素敵なメロディをもつ、この星空のピアニスト、お聴き下さい。

◎Tomorrow, Today G. O'Sullivan

TBS系ドラマ「あの日の僕をさがして」の主題歌であり、('92、4月上旬~6月下旬放映)、織田裕二主演(森男役)と未知、宏樹との複雑な三角関係を描いたドラマである。

どちらかといえば淡々としている曲の部類に入るとは思いますが、比較的単純なようでギルバード・オサリヴァン独自の風情と盛り上がりがあります。

◎展覧会の絵 H. Moussorgsky

ムソルグスキーは、現実の客観的な印象から音楽のインスピレーションといった傾向の作曲家です。

ムソルグスキーの親友に医者の息子で芸術家の、ハルトマンという人がいました。このハルトマンの遺作展覧会が1874年にストロゴラードで開かれました。ムソルグスキーは、亡き友人の最もよい追憶としてその展覧会の絵から受けた印象を音楽で現わし、その1つ1つの作品を永久に後世の人々の目に残そうと考え、この一連の組曲「展覧会の絵」を作曲したので、本演奏会では、7曲ですが、本当は全部で10曲から成っています。

MEMBER

Conductor 金谷 武志 Concert Master 秋田 英毅

Sub Conductor 末武 照彦

1st Mandolin

T. 柴山 幸康 (電気2年)
小川 裕子 (経営4年)
末武 智路 (計測2年)
守田 和弘 (計測1年)

Guitar

T. 吾郷 健一 (機械3年)
宮本 学 (計測4年)
会見 直子 (経営2年)
落合 和広 (土木1年)

2nd Mandolin

T. 秋田 英毅 (機械3年)
矢島 雄一 (機械2年)
末武 照彦 (機械2年)
大塚 洋 (建築1年)
根崎三和子 (建築1年)

Mandola-Tenor

T. 浅見 竹彦 (機械2年)
根岸 英樹 (計測4年)
金谷 武志 (電子3年)
大崎 真司 (計測1年)
加藤 亮 (計測1年)

Mandolon-Cello

T. 人見 孝一 (機械4年)
安藤 遊 (計測1年)

Contra-Bass

T. 足立 文孝 (機械2年)



第29回 定期演奏会

法政大学工学部マンドリンクラブ 殿

環太平洋旅行株式会社



楽しい合宿 /

お約束します。

〒104

東京都中央区京橋2-2-15 環太平洋ビル6-F

tel 03-3272-1155 FAX 03-3272-1170

運輸大臣登録一般社団法人第145号

日本旅行業協会正会員

卒業生紹介



根岸 英樹 (Dola) 林 淳一 (Bass) 人見 孝一 (Cello)
小川 裕子 (1st) 太田 錦光 (2nd)
茂木 学 (Guitar)

4年間お疲れ様でした。今回の演奏会には、残念ながら学業のほうがいそがしくて出演出来なかった先輩もいらっしゃいますが、御来場の皆様も先輩達の最後の首をしっかりとお聴き下さい。

院へ行く人は、来年もクラブに出て下さいね。

パート紹介



Conductor

僕は子供の頃、コウモリを10匹部屋で放し飼いでいた時があった。学校から帰ると、彼らは部屋中を元気に飛び回っていた。彼らが押入の奥で並んでふさがっている様子は、とてもあいらしかった。だがある事件が起き、僕は、彼らのうちの1匹に対して償いきれない罪を犯してしまった。ごめんねコウモリ君……。

1st Mandolin

我々はプロになるわけでない。部の目的とは本来上下学年や他学科の人達との親善をはかるためにある。楽しくやればいいんじゃないですか？



なんこんのもいぼ？



2nd Mandolin

ぼくは狼狽した。第一、ワラジ虫というやつは、実物どころか、絵を見ただけでも身の毛がよだつ。ゲジゲジについて苦手な生物なのである。おまけに、生きたまま飲み込んだのだから、患者の胃の中で生きつづけたらしたらどういことになるのだろう……。

Mandola-Tenor

今年は熟年パワーに磨きがかかる根岸さん。そしてドラパートを半分担当でコンダクターに亡命した金谷さん。そしてそして実力派の加藤とアナーキーな大崎の1年生コンビ。そしてそして最後にひかえるのは、ドラパートのハルマゲドンこと頼りないTop 浅身。以上キレがあるのにコクがある5名で構成されています。



Guitar

緑色の境の中、暗闇の単調な振動に包まれながら1人眠る。まどろみの中で、愛する者が残した砂が僕の肌をこする。深く夢に浸れば、今でも遙かなる時代の金属音が響きわたる。外は、暗闇が支配する黄金の世界。



Mandolin-Cello

俺はいつか今まで何をやってたんだらう。いったい何を求めていたんだ。気がつくや暗闇のなか、一人きりだった。先はまるで見えない。でももう後戻りはできない。どうすればいいや、行くしかない。自分を信じて。それがCelloパートだよん。



Contra-Bass

1年生には逃げられ (come back 小島!!)、林先輩は学会で出られなくなり (help me!!)、一人となり残される、自称ジャコ=バスドリアスこと足立。以上、1名で構成されています。

STAFF



金谷 武志 (会計、その他)
君部 健一 (部長、ステマネ、その他)
秋田 英毅 (総務、その他)

春のJointでは、HTMCの三年はみんなアーツと茶ジャン姿で変だといじめられ、苦難のスタートをきった今年一年でしたが、なんとか定期演奏会までやり着きました。なにしろ幹部が三人だけだったので色々といらない事があったと思いますが、その際にお世話になった方や、御迷惑をかけた方々にお礼とお詫びを申し上げます。@ありがとうございます。@ごめんなさい。本日は、御来場いただきましてありがとうございます!!!!

編集後記

バイクを持っている方！一緒にツーリング行きましょう。はやくスキーに行きたいな。

編集 金谷 武志

Τηε 30τη Ρεγυλαρ Χονχερτ

1993.12.9 Thu.

Hosei Tech.
Mandolin Club

PROGRAM

I	
「さすらい人」幻想曲	Franz Subert 秋田 英毅 編曲
G線上のアリア	J.S.Bach 柴山 幸康 編曲
組曲ドラゴンクエスト	すぎやまこういち 永沢 智路 編曲
II	
Hard to Say I'm Sorry (素直になれなくて)	Peter Cetera/David Foster 会見 直子 編曲
CROSS TOWN TRAFFIC	Jimi Hendrix 足立 文孝 編曲
SIR DUKE	Stevie Wonder 足立 文孝 編曲
WE ARE THE CHAMPIONS	Freddie Mercury 金谷 武志 編曲
TELSTAR	Joe Meek 金谷 武志 編曲
III	
前奏曲とマズルカ ～バレエ組曲「コッペリア」より	L.Delibes 会見 直子 編曲
弦楽四重奏曲 「アメリカ」 ～長調 作品 96	Dvorak 末武 照彦 編曲
金と銀	Franz Lehar

曲目紹介

「さすらい人」幻想曲

1822年に完成された「さすらい人」幻想曲へ長調D、760は、アレグロ/アデージョ/スケルツォ/アデージョの形を取りフィオレの4つの楽章からなり、テーマはほぼ密接に結びついていて、楽章の間で休みを取らずにつづけて演奏される。基本的な要素は明瞭な楽章を結び付ける強一弱のリズムで、シューベルトが自らの歌曲「さすらい人」の旋律をテーマとして使っている変奏を伴う緩徐楽章が全体の焦点となっている。3つの楽章は緩やかなソナタ形式を示し、アレグロの楽章は提示部、アデージョの楽章は展開部とみられる事もある。このように相互に結びつけた楽章間の構成は、新しい地平を開き、1850年代に、フランツ・リストが発展させた交響詩という新たな分野に重要な手本を示した。本日はその中から終楽章をお送りします。

組曲DRAGON QUEST

DRAGON QUESTはゲーム音楽として作曲されたもので作品としては現在5作、曲数としては84曲余りになる。今回はその中からマンドリンオーケストラ用に編曲した4曲を組曲として演奏する。

- 第一楽章 序曲のマーチ
- 第二楽章 謎の城
- 第三楽章 不死身の敵に挑む
- 第四楽章 結晶のルツ

バレエ組曲「コッペリア」より前奏曲とマズルカ

L. ドリレーは、フランス歌劇およびバレエの代表的作曲家であり、なかでも「コッペリア」は特に有名である。「コッペリアまたはエナメル製の眼をした娘」と題されたバレエは、1876年にパリのオペラ座で初演された。話の内容は、愛むらじの老人コッペリアスが作った人形のコッペリアがあまりにもよく出来たので、人形と知らずにあこがれてしまう青年フランツと、その恋人スワニルダが中心となって展開する。第1幕の中ではワルツの方が一般に知られているが、今回は同じ第1幕から前奏曲とマズルカを演奏する。

弦楽四重奏曲「アメリカ」

八曲ある彼の弦楽四重奏曲の中で、この作品96はもっとも有名になっている。それはかならずしも八曲中もっともよい作品というわけではないが、この曲がきわめて親しみやすいからであろう。誰にでもロマンチックな甘美な哀愁のこもった主題と、ほほえましい楽天的なリズムが各楽章に歌われ、展開も対照的均衡を保ちながら明快に流れていくので、人々の心が容易に受け入れてくれるのである。民謡調の主題ゆえに、その和声法は大味であるが、いたるところに命題をみせている。また対位的構成に乏しいのも、主題の性質からであろう。

STAGE MEMBER

Conductor 末 武 照 彦 (機械3)	Concert Master 永 沢 智 路 (計測3)
Sub Conductor 金 谷 武 志 (電子4) 根 崎 三 和 子 (建築2)	
1st Mandolin T. 永 沢 智 路 (計測3) 柴 山 幸 康 (電子3) 根 崎 三 和 子 (建築2) 守 田 和 弘 (計測2) 畑 田 宗 介 (物質1) 吉 田 和 義 (機械1)	Mandola Tenor T. 加 藤 亮 (計測2) 金 谷 武 志 (電子4) 寺 田 尚 弘 (電情1)
	Mando Cello T. 安 藤 滋 (計測2)
2nd Mandolin T. 矢 島 雄 一 (機械3) 秋 田 英 毅 (機械4) 末 武 照 彦 (機械3) 大 塚 洋 (建築2) 保 科 法 子 (土木1)	Guitar T. 会 見 直 子 (管工3) 吾 郎 健 一 (機械4) 鳥 澤 航 也 (管工1)
	Contra Bass T. 足 立 文 孝 (機械3) 清水 口 誠 (機械1)

祝 演奏会 **楽しい宿舎!**

お約束します。

お気軽に相談ください!



お問い合わせ

ベル・フランニフ ☎ (042) 336-4262

〒119 東京都明田市花ヶ谷53 フォレストハイブE102

卒業生紹介



秋田 英毅(Mandolin) 吾郷 健一(Guitar)
金谷 武志(Conductor, Dola)

他の大学で結構有名な4年生たち。ぼくらが1年生の時たった2人しかいなかった4年生は、1年前機械工学科からマンドリン部へ転部して来た大技師の秋田さんに加え、小教メンバーながらその行動実績はわが部の歴史に残るものとなりました。そんな先輩たちに御世話になった方も、した方も、今夜で最後の演奏会になる先輩たちを暖かい眼で見つめてあげてください。

パート紹介

1st Mandolin

踊れ! 葉山!、燃えろ智路!
髪を毛立てろ根崎!、すこしは弾け! 守田、
実にいい! 吉田、吉本めざせ! 経田、
以上、5人で構成されています。



2nd Mandolin

今年の2ndパートは頼れる前Topの秋田さん、2部だけ登場のコンダクター末武、練習量はTopを上まわる大塚、緊張感の中でも実力を発揮できる侯科、これらのメンバーに、1年ほど前から上積みのないのんきなTop矢島をつけ加えた6人で成り立っています。



Mandola Tenor

現在、過去、未来、いろいろあって今は2人だけ、それを見てConductorから金谷さんがカムバック。とまあこんな有様だけどCellioに比べれば(と思えるし、不景だし(ユニット関係ない? いんだよ!) 仕方ないと思って一前部練習してきました。(オレ以外) どうか暖かい目で聞いてやって下さいませってオレも出るんだよね、しかもトップで・・・ヤバイなこりゃ。



Mando Cello

Cellioパートには、僕しかいません。思いおこせば1年前、4年の大先生の足を引っ張りながらはじめてでした。半年後にはトップになり、胸より先に口が上達しました。1年生にもやめられました。ねえ、だれかチヤロしません?



Guitar

部内一の低出席率、退部率を誇るギターパートは、卒業単位は足りるか? A、部員不在を嘆く3年A、教習所に行ってる場合じゃないぞ1年T、の3人で構成されるはずである。



Contra Bass

毎度お馴染み流浪のパート、ベースだよ。メンバーは、新人の清水口と新人ではない足立の2人だよ。唄って踊れるベーシストを目指して、日夜血の滲むような努力をしているんだ。でも、パート練習はいつもお茶を飲んでると終わっちゃうんだ。まあ、たまにはぼくたちの音にも耳を傾けてね。(厳しい練習風景→)



Conductor

22時36分、東京駅のかじりに乗って、私は坊間に出た。車窓には、ネス湖の底で眠る、ネッシーの音のように伝わる響が、この世の終わりにまで響いているかのように映っていた。トンネルを抜けると、そこは海面だった。剣は泳ぎ、猫は吠え、えりまさトカゲはお、ゆけつこをし、茶羽ゴキブリは笑っていた。たん(玉葉の編み子はナタデココを、べんべん(鹿)は、パンナコッタを食べている。そして、金谷さんはスキーをし、末武さんは、ヘビメタを聴いている・・・。

STAFF



平成5年度役員

部長	足立 文孝	会計	会 員 直子
専務	葉山 幸康	ステマネ	矢島 健一
総務	末武 照彦		浅見 竹彦
文運委員	永沢 智路		

第30回定期演奏会を迎え今年は30人以上で演奏するぞ!と春の勧誘ではたくさん1年生を勧誘したのにやっぱり毎年恒例のGuitar大量退部に、思惑どうりにはいかにずりにつくりするものでありました。でもそんな中でも、ちょびり増えたドラムパートと来年も現役の次期4年マンドリニスト3名は健在です。次回第31回定期演奏会はずばらしい4年生とのびのびと育てた期待のできる次期3年生、そして今年は野放しに過ぎた来年はのびのびとやらせない次期2年生で素晴らしい演奏会ができると確信しています。

編集後期

パンフは楽しいものを作ろうと、11月中旬の数日間、秋田さんの家に居候をし工学技術情報誌のマシーンでこのパンフを作るのでありました。その間、生まれて初めて口にしたポテトサラダは・・・!!という、ポテトサラダの初体験に自分の視野の狭さを知ることができました。

次回予告

JOINT CONCERT

東京家政大学マンドリンクラブ
法政大学工学部マンドリンクラブ

1994. 5. 7



The 31st Regular Concert

College of Engineering
Hosei Univ.
Mandolin Club

1994.12.6 (TUE) 武蔵野市民文化会館

ごあいさつ

本日はお忙しい中、法政大学工学部マンドリンクラブ第三十一回定期演奏会にお越し下さいまして誠にありがとうございます。

部長になりましてから全日本学生マンドリン連盟に加盟するなど、数々の改革を行なってまいりましたが、一番の苦勞は音楽的なことと団体としての楽しみの両立でした。自主的な活動であるという域を超えたくないという方針でありながらも強制的になってしまうこともありましたが、楽しい魅力的な部にすることに努め、苦しいことも乗り切ってまいりました。その成果は、この演奏会に表れていると自負しております。

最後に、御来場下さいました皆様楽しんで頂けることを願って、ご挨拶と致します。

法政大学工学部マンドリンクラブ
部長 安藤 滋

PROGRAM

Stage 1

「セレナード第十三番 ト長調」K525
「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より第一章

W.A.Mozart

祈り

U.Bottacchiari

Die Heimreise
overture für zupforchester (編 郷)

K.Wölki

Stage 2

心の愛

S.Mönder
清水口 誠 編曲

Angel～天使～

J.Hendrix
足立 文孝 編曲

YESTERDAY ONCE MORE

R.Carpenter/J.Battis
安藤 滋 編曲

クリスマス メドレー

安藤 滋 編曲

Suite DRAGONQUEST IV

すぎやまこういち
永沢 智路 編曲

Stage 3

エスパニアカーニ

ロマン的協奏曲

K.Wölki

マンドリンオーケストラのみのラブソディーNo.6

～DANCING Part II～

熊谷 賢一

曲目紹介

「セレナード第十三番 ト長調」K525

「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より第一章

モーツァルトのセレナード中、特に人気の高い作品。「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」は「小夜曲」つまり「小セレナード」と同様のドイツ語でソナタ形式で書かれた曲でその第一主題は「で力強く提示され、少しおどけたような第二主題がつづき、推移主題を繰り返した後、提示部が終わる。

そして、第一主題前半を使った展開部の後、典型的再現部で曲を結ぶ。タイトルどりの肩のこらない曲でモーツァルトのセレナードらしい名曲である。

Die Heimreise

作曲家 K.Wölki は1904年ベルリンに生まれ、1983年に没している。Wölki はドイツ風の機能的構成そして種々の管楽器とのコンビネーション等、それまでイタリー派、フランス派に見られなかったダイナミックなプレクトラム音楽を確立した。本曲は若者の帰郷の過程を描いたものであり、若者の心の動きを思うがままに表現している。

心の愛

この曲は、1980年代につくられたもので、全体を通じてゆったりとした曲で前半はおちついた雰囲気を感じるが、後半は次々と調が変わり最後には大きな盛り上がりを見る。過去にアカデミー賞主題歌曲にも選ばれた曲である。

Suite DRAGON QUEST IV

昨年の定期演奏会で一部の方に暖かい支持を戴きました組曲ドラゴンクエストを新しい曲構成で更にお送りいたします。交響組曲ドラゴンクエストⅣのCDを聞きながら、ピアノ用の譜面と実際のゲーム上で使用された譜面をもとに、構想一年、製作日数一週間という月日を掛けて編曲いたしました。今後はこの曲を法政大学工学部マンドリンクラブの伝統の一曲として演奏いたします。

STAGE MEMBER

ANGEL～天使

ジミ・ヘンドリックス —— その傑出した才能の大きさはエレクトリック・ギターのソロ・スタイルをのみだしながらも早世した1930年代のジャズ・ギタリスト、チャーリー・クリスチャン以来のものであり、残したオフィシャル・アルバムは僅か6枚、若く27歳で天逝しながら、もはや越えられることのできないだろうとされる、永遠の天才ギタリスト。
マイルス・デイビスが彼のことを「マイルス・デイビス自伝」の中で次のように語っている。

『とにかくジミは、独学の、偉大な天性のミュージシャンだった。誰からでもなんでも、しかもすばやく吸収してしまう。テクニック的な話をしている、「ジミ、ディミニッシュのコードを弾く時は・・・」とか言い出すと、彼はまごついた表情を浮かべる（ジミ・ヘンドリックスは語彙が読めない）。で、「OK、OK、忘れていたよ」と言いながら、ピアノかトランペットで演奏してやると、誰よりもすばやく理解してしまうんだ。あんな奴は、いない。彼は音楽を聴くための、天性の耳を持っていったんだ。だから、いろんな異なったやり方を示してやったり、オレやトレーンのレコードをかけて、何をやっているかを説明してやったり。やがて彼は、オレが教えてやったことを自分のレコードで生かしてはじめた。すばらしかったな。彼はオレに影響を与え、オレも彼に影響を与えた。それこそすばらしい音楽が作られる関係なんだ。教え、教えられながら、もつとずつと先に進んでいくんだ。（中略）
オレと同じように、ジミもブルースから出てきた男だった。だから、オレ達はずっと互いを理解しあえた。彼は偉大なブルース・ギタリストで、彼とスライ・ストーンは自分のハートで聴いて、演奏できる、偉大な天性のミュージシャンだった。』と・・・

ロマン的協奏曲

この曲は、「大いなる時代」「一楽章のシンフォニー」などと共に K.Wiki の代表曲の一つとして挙げられる。作品番号の14番にあたるこの曲は「コンチエルトゥク」（協奏曲）と呼ばれ、構成は作曲家が好んで用いる序曲形式で書かれ、華麗なテーマで始まり、中間部には、美しいアダージョを含んでいる。尚、題名となったロマン的と思われるこの中間部のテーマを強調するため、編曲に際し反復されている。

ラブソフィーNO.6～ダンシング Part II

本曲は、熊谷賢一氏の「ラブソフィーシリーズ」の第6番目の作品である。「ラブソフィー」とは自由奔放な作品を指すが、作曲家はその中で「人間の感情を素直に表現し、人間のすばらしさを追求しようとした」と語っている。
4拍子に始まり3拍子を経て、最後にまた4拍子で終わる。リズムカルなメロディが自然に心に残る、そんな曲である。

Conductor

吉田 和義(機械2)

Sub Conductor

末武 照彦(機械4)

1st Mandolin

※大塚 洋(建築3)

※柴山 幸康(電気4)

※森永 沢 智路(情報4)

※保科 法子(土木2)

※吉田 和義(機械2)

※須永 隆則(システム1)

2nd Mandolin

※守田 和弘(情報3)

※末武 照彦(機械4)

※矢島 雄一(機械4)

※蛭田 崇介(情報2)

※佐々木 英之(建築1)

Mandolin Player

※加藤 亮(情報3)

※浅見 竹彦(機械4)

※寺田 尚弘(情報2)

※窪寺 利司(システム1)

Concert Master

大塚 洋(建築3)

Musical Cell

※安藤 滋(情報3)

※片桐 英樹(土木1)

Guest

※島澤 航也(建築2)

※森見 直子(建築4)

※渋谷 和俊(土木1)

※吾郷 健一(院生1)

※面部 聡司(賛助)

Contra Bass

※清水 口 誠(機械2)

※宗立 文孝(機械4)

※青木 健一郎(システム1)

Drum

※根崎 三和子(賛助)

Staff

※首席奏者

※Ⅱ部 首席奏者

幹部紹介



平成六年度役員

部長 安藤 滋
副部長 守田 和弘
総務責任者 加藤 亮
会計責任者 窪寺 利司
Stage Manager 大塚 洋

第三十一期定期総会を迎え、この総会を最後に私たちが、幹部職から引退します。
たった4人しかいない、超員ではない、文句だらけで文句も少ない、いい加減に死んでしまいたい、まじりかたの総会だかどうかわからない、10人千色から、誰一人置かずで構成されている（誰が誰かわかりませんか？）。そのために、何かあるたびに必ず衝突していました。まあ、喧嘩するほど仲が良かったと言いますが、それどころか仲が悪いというわけでもなく、それぞれが自分の都合で好き勝手に活動していたわけ、4人が総会を握ったということもありません。総会に4人揃うこと他の幹部がいない・・・「総10に集合だ!」と言って、10時に集まることはなく、常に後手、後手にまわってしまっていました。そんな総会が約1年前から職員全員を引っ張って、この総会までほとんどやってきました。
他は同様、さーて、どうなることやらですが・・・
それでは、いって参りますか! (どこへ?)

パート紹介



Guitar

吾郷さん、私はあなたがいてくれるだけで幸せな気分になります。でも、もう少し練習に出てきてほしいです。
会見さん、ぼくはあなたがいてくれるだけでホッとした気分になります。(僕が引けないから。)でも、もう少し練習に出てきてほしいなあ。
渋谷くん、オレ、君に教えることはもうないよ。だって上手いからさあ。でも、もう少し練習に出てきてくれ。
でもって賛助の幹部見ん、好きです。(でもホモじゃないよ。)でも、そろそろ練習に来てください。
(全ては、11月1日現在)
でもみんな忙しそうで大変だなあと聞いてまるで俺がひまみたいだね。(みたいじゃなくて本当にひま。)
ではみなさん、せめて本番くらいは休まないでください。

Drum

ドラパート、それは Approximate reasoning の世界。個人個人 Mandolin-Tenor という楽器を弾くことに対して、やる気と練習時間の独特な Membership function を持つ。それらを Overlap させ、今の機嫌がある。そんな Fuzziness なメンバーを紹介しよう。
まずはこの部員、現在のドラパートの在り方を示した浅見竹彦(写真左)彼の肩には、本日の演奏会におけるドラパートの浮沈がかかっているといっても過言ではない!

そして『窪田引水』加藤亮(写真右)高価な楽器(ドラ)を買って好きなならあっさり見切りをつけ、2ndパートに移動しようと考えている、なかなかの逸者。さらに、未来のドラパートを背負って立つ(かもしれない)寺田尚弘(写真なし)彼にひと言「お前は自分が思っているほど強くない!」最後に控えは、今は亡き、アナーキー大崎の継承者と他は思う窪寺利司(写真中央)まあ、彼の胸についた姿に敬杯。
以上4人で成り立っているはずである。



Control of a Bass

ステージの端から2〜3歩歩いてきて、自分の年の2倍はするだろうと思うベースを弾く。それが俺達だ。そしてベースの中にはロソクが入っている。当然ベースから出る音は、種子龍叔(フェリニの映画)みたいなぼやけた音。見る諸君は、強弱記号があまりなく、当たり前のようにワグニスばかりある。そんなこんな状況の中、持てる感性を使いきりかまはっている。それが俺達だ。そんなこんな自分たちに酔っている。それが俺達だ。

ウオー

卒業生紹介

2:

永沢智路 (1st Mandolin)

去年はコンサートマスターとしてみんなをまとめ、仕事のほうでは部の役員で一番大変な文芸委員の仕事という部のために貢献してくれた先輩です。とても忙しい部活生活だったと思いますけどこれから社会にでも頑張ってください。
(本人談)文化連合本部委員として卒業するまで活動すること、1st マンドリンとしてコンサートマスターも務めるという夢に自分の学生時代という時を費やした。多くの犠牲を払うことは工学部生としての夢のためにも正しいとは言えない。しかし、時間の経過と共にその犠牲にひかえている自分が存在していたこと、それが隠し通さるような思いははなくなってきたというのもまた現実の姿であった。自分の一時代を彩る何か素晴らしい記憶に心が傾いていく。思い出だけでも生きていける



法政大学
工学部
マンドリンクラブ



第三十二回
定期演奏会



Welcome to our Concert

法政大学工学部マンドリンクラブ

第 32 回定期演奏会

1995.12.5 (Tue)

烏山区民センターホール

ごあいさつ

本日はお忙しい中、私ども法政大学工学部マンドリンクラブ第三十二回定期演奏会にお越し下さりまして誠にありがとうございます。昨年のごころ部長になりました、これといって何もせぬまま一年がたつてしまいました。しかし、音に対しては人一倍気をつけてきたつもりです。音という抽象的なものに対してどれだけこだわったか、そういったところを、今日皆様を感じていただければ幸いです。最後に、御来場下さいました皆様楽しんで頂けることを願って……………ご挨拶と致します。

法政大学工学部マンドリンクラブ
部長 清水口 誠

PROGRAM

I 部

歌劇「果敢なき人生」より スペイン舞曲第一	M. D. Falla
皇帝円舞曲	J. Strauss II

II 部

組曲「動物の謝肉祭」より13番「白鳥」	SAINT-SANES
グリーンズリーブスの主題による幻想曲	V. Williams
THE FINAL COUNTDOWN	Europe
クリスマス メドレー part II	篠寺 将司 編曲
SCARBOROUGH FAIR/CANTICLE	P. Simon 青木 健一郎 編曲

III 部

スペインの印象	E. Boucheron
バストラル ファンタジー	藤掛 廣幸

曲目紹介

歌劇「果敢なき人生」より スペイン舞曲第一

近代スペインの代表的作曲家、マヌエル・デ・ファリャ (1876-1946) の代表作の一つ、オペラ「果敢なき人生」は、1905年、当時21才のファリャが発表した意欲作です。アンダルシア地方を舞台にした恋の悲劇を描いたこのオペラの中に、2つのスペイン舞曲がでてきますが、ここで演奏される第1番はとりわけ高く、管弦楽やピアノ編曲でも知られるほか、クライスターによるヴァイオリン用編曲によっても広く愛好されています。

皇帝円舞曲

音楽の都ウィーンが生んだワルツ王、ヨハン・ストラウスの60才を過ぎてからの作で、時の皇帝でありストラウスが敬愛していたフランツヨーゼフ1世の即位40周年祝典舞踏会のために書かれました。

軽快な行進曲風の序奏に始まり、4つの変化に富んだワルツを軽やかに曲をしめくります。ストラウスの数ある名曲中の名曲の1つです。

組曲「動物の謝肉祭」より13番「白鳥」

チェロのための美しい小品として人気のある「白鳥」は、フォーレの舞にあたるサン＝サーンス (1835-1921) オーストリアの小さな町クルムディムで友人たちが集った謝肉祭のために作曲したもので、ライオンや象、カンガルーやかっこうなど、様々な動物たちの生態がユーモラスに描かれています。全体は14曲からなるが、13番目におかれた「白鳥」は、その楽団隊に、もっとも高貴で優雅な名曲であります。

Pastrale Fantasy

曲目の由来ともなる牧歌的な第1部のテーマがこの曲全体の核となっており、フーガに始まる第2部、バスターレテマの感傷的な再現、そしてコーダへと続いていく。静かにあらわれるテーマの、特徴的な2度の下行音形 (E-D) が、連続分断してからだが作られていくように、この曲全体の最も大切な構成要素となっている。

STAGE MEMBER

Conductor
吉田 和義 (機械3)

Sub Conductor
青木 健一郎 (システム2)

Concert Mistress
保科 法子 (土木3)

Mandolin
★ 保科 法子 (土木3)
☆ 蛭田 崇介 (物質3)
大塚 洋 (建築4)
安藤 滋 (計測4)
守田 和弘 (計測4)
加藤 亮 (計測4)
吉田 和義 (機械3)
渡辺 武史 (経営1)
横山 敦子 (機械1)

Mando Cello
★ 片桐 英樹 (土木2)

Guitar
★ 烏澤 航也 (経営3)
浪谷 和俊 (土木2)
細田 達也 (電情1)
吾郷 健一 (院生2)

Mandola Tenor
★ 寺田 尚弘 (電情3)
窪寺 将司 (システム2)

Contra Bass
★ 清水口 誠 (機械3)
青木 健一郎 (システム2)

★ 主席奏者
☆ II部 主席奏者

パート紹介

Mandolin

皆さんこんばんわ。

今回のドリンパートは楽しいです。それをたから見届け加藤さんと私共がいて、全てにおいて楽しい男、安藤さんがいます。蛭田、吉田のカップは2人そろって飛べし続け、これからが非常に楽しみな1年生の横山、渡辺も、これに基づいて飛べしつづつあります。そして、忘れてはならないのが、常に苦しいだと思っていたが、相違わずのベースでしゃべっていた守田さん。去年のうちに今年の方まで練習してしまっらしい大塚さん。これらの豪華メンバーで演奏会を乗り切ろうと思います。



Mando Cello

今回のセロパートは俺一人だ。本当は4年生に安藤さんという愛人 (いろいろな意味を込めて) がいるんだけど、何故か今回はマンドリンを弾いている。まあはまりりりってセロパートに安藤さんはいない。俺一人で十分だ。会場に来てくれるみんな、俺の首を回してくれ。パート内ではゼツリそろっているぜ。

なんだかんだ言ってるけど、でも本当は安藤さんのこと……好きだよ★



Guitar

我々のパートには、他のマンドリンクラブに類のみな人物がいます。その名もドクター百蔵。在籍年数6年目にしてマンドリン系の生き字引となり、この世界において知らぬことなどないと言語するこの男、正に恐るべし。

正しいもかわらず欠かすことなく練習に出席するは、我々一見野郎のいいものです。



Contra Bass

«Bass»って、固体でかいし、重いし、音がカブトムシみたいけどどうもいい音するんだぞ!! 素早い動きだっしてするんだ!! えっ? ともそんなの信じられないって? じゃあ今日の«Bass»ヲ、みて!

Conductor

今年のコンダクターは、I部とII部の1曲を受け持つサブコンダクターのちゅと怪しい青木と、II部とIII部の1曲を受け持つメインコンダクターのかなり***なゲンディー吉田でお送りします。



STAGE MEMBER



Conductor
青木 健一郎 (377A3)

Concert Master
渡辺 武史 (経工2)
篠寺 将司 (377A3)

Sub Conductor
吉田 和義 (機械4)

Mandolin

●篠寺 将司 (377A3)
●渡辺 武史 (経工2)
●鮫田 崇介 (物化4)
●保科 法子 (土木4)
●吉田 和義 (機械4)
●山上 恒太 (電情1)
●永沢 智路 (O B)

Mandola Tenore

●寺田 高弘 (電情4)
●永山 佳輝 (土木1)
●加藤 亮 (覇王)

Mando Cello

●片桐 英樹 (土木3)
●安藤 滋 (O B)

Guitar

●渋谷 和彦 (土木3)
●島澤 航也 (経工4)
●細田 達也 (電情2)
●宝田 浩志 (機械1)
●百郷 健一 (院生)

Contra Bass

●清水口 誠 (機械4)
●青木 健一郎 (377A3)
●山崎 博光 (経工2)

●: 主席奏者

株式会社 ワル・ルーレット

国内旅行業第260号
〒180 武蔵野市吉祥寺南町1-15-1
TEL 0422-43-4100
音楽・スポーツ・セミナー各種・宴会・パールの予約
承ります。【お気軽にご相談下さい】



4

曲目紹介

<第1部>

ピエモンテ皇子

G. マネンテ

作曲者は1867年イタリアに生まれ、イタリア各地の軍楽長を歴任し、また多くの作品を残している。そのほとんどが吹奏楽の為に書かれており、マンドリン界では、『シンフォニア』などがレパートリーとして定着している。本曲は当時のイタリアの皇子と、ピエモンテの為に作曲された行進曲です。

ナポリ風セレナータ

P. シルベストロ

作者は1871年3月3日イタリアのモデナに生まれ、1958年2月6日に逝去した作曲家、モデナのウンベルト1世吹奏楽団の指揮者に任命され、後モデナマンドリン合奏団を創立した。1911年には国際マンドリン演奏コンクールの会長に推され、アルバランディ教授の死後、後の主宰したボローニャのイルコンチェルト誌の主宰となってイタリアマンドリン界を啓蒙すると共に数多くのマンドリン曲を作曲した。この曲のタイトルにはセレナータとあるが、ワルツの要素が強く、明るいリズムで華やかに展開されている。ナポリの陽気な雰囲気を感じられる親しみやすい曲である。

序曲 バラの謝肉祭 (CARNIVAL OF ROSES - OVERTURE) J. Olivadotti

この曲は1947年に吹奏楽曲として作曲された、美しいメロディに満ちあふれた楽しい序曲です。オリヴァードティの曲の中では構成が長く大きな曲です。この曲を今回の定期演奏会に向けて、マンドリンオーケストラ用に編曲しましたが、相対力不足なものでこの曲の良さを表現しきれない部分も多々あると思います。しかしながら当演奏会で皆様方がこの曲に興味を持っていただけたら幸いです。<編曲者談>

<第2部>

HELP!

J. Lennon & P. McCartney

1960年代一世を風靡したロックバンド“ビートルズ”の初期のスタンダード・ナンバー。ビートルズの2作目の同名主演映画の主題歌にもなった。この曲でJohnはアイドル・スターであることの苦痛をリアリスティックに表現した詩作をのぞかせた。

君を乗せて

久石 譲

この曲は宮崎 駿アニメ『天空の城ラピュタ』のサウンドトラックで、ラピュタの中ではエンディングで歌われている曲です。久石 譲は『天空の城ラピュタ』に限らず、宮崎 駿のアニメの曲を多く担当しており、皆様のよく御存知の曲を多く書いている素晴らしい作曲家です。この曲も多くの方が御存知かと思えます。

5

<第3部>

大いなる時代

K. Wölki

作者は、1904年ベルリン生まれ、1983年に没した、近代ドイツの代表的なプレクトラム音楽の作曲家である。彼は12才で王室少年合唱団の一員となり、ベルリン歌劇場において歌劇の指揮を受ける一方、音楽指導、理論指導も受けた。本曲は作者の青年期のもっとも円熟した作品を示している作品で彼の作品の中でも最大の傑作といっても過言ではないだろう。初めのAllegroの部分は狂想で、Allegroの部分のリズミカルな簡潔なメロディーに曲は進み、再び狂想なAllegroを奏し、Allegroを経て終りを迎え、我々の心に深い感動を与えてくれる。また、本曲は『大いなる時代』とこの曲にビクターの題名がつけられているが、本来はドイツのお祭りの時の為に作られた曲であるそうです。

ワル・ルーレットの生命の詩 (世界の生命=広島心の)

藤掛 廣幸

作曲者は、1949年岐阜県加茂郡東白川村に生まれた。香川県芸術大学作曲科を卒業、同大学院を修了した。1977年、ベルギーのエリザベト皇太后国際音楽コンクールの作曲部門でグランプリを受賞したのをはじめ、数々の賞を受けている。マンドリン界では、本曲のほか『グランド・シャコンヌ』『トリビック・プレリュード』などが有名である。また、マンドリンのほかにも、テレビドラマの音楽を担当したり、自作のシンセサイザー曲をベルギーでレコーディングするなど、活動の幅は広い。この曲は1989年に作曲され、次のような歌詞のコーラスがついている。

「却火の中に 生まれ出た 新しい生命 広島
それは今 世界の平和 平和を築く 聖なる力
ああ我等 守りゆく 生命 生命 広島の生命
生命 生命 世界の広島」
(作詞 藤掛 廣幸)

曲は暗闇の中から届く鐘の音から始まる。プロローグには、ギターのアルペジオと11マンドリンのセグメントにのせて悲愴をたたえた八重洲の主題が現れ、それをお隠すような八重洲の主題が続く。その後、人々の心の歌が聞こえてくる。Soloから tutti になって民衆の合唱へと盛り上がり、中間部は再び狂火と原爆の恐怖を表すごとく激しく響き、やがてそれを打ち破るような全楽器の和音が鳴り響く。そして闇の底から立ち上がった人々の歌が力強く歌われる。最後に明日への希望の光を高らかにうたいあげ、平和への祈りを世界中に響かせるようにおわる。

6

パート紹介

Mandolin

こんばんわ、今年のドリンパートは、はっきり言ってマバイです。理由は……とにかく、お笑い部門の篠田さんとコンパ部門の吉田さんのカッパルは今度が最後です。またドリンの脇の支配者、保科さんも今度が最後です。逆に、今回デビューする山上、マンドテクニックもグレードアップした渡辺もいるし、このドリンパートを救いに来てくれた永沢さんもあるから何とかなるかな? 一人を除いて、その一人とは、帯く楽部と座る位置を勘違いしている奴だと、ほっといてあげてください。それではさようなら~



Mandola Tenore

(実況者) 今回のドラーズのオーダーを発表します。1番永山、2番寺田、3番加藤 (解説者) 前回活躍した篠寺君がFAでいなくなったのがたいです。その穴をどうやって埋めるかが今大会のチームの鍵となるでしょう。まず1番の永山君なんです。彼はドラフト1位でドラーズに入ったルーキーです。どれだけ活躍するか楽しみです。次に2番の寺田君ですが彼は入団したときは良かったんですが、ここ最近はずいぶん寂しいです。復活を期待したいです。最後に3番加藤さんですが、前回の大会はドリンズのベテランとして、今回はドラーズの監督も兼ねていると聞いています。まあこのチームは3人が実力を発揮できれば勝利は間違いないと思われま



Mando Cello

後、片桐、いつも一人、しかし今回は違う。やっとならしくなりそう。



7



法政大学工学部マンドリンクラブ
第35回定期演奏会

1998. 12.9 (水)
国分寺市立いずみホール
開場: 18:30 開演 19:00

御挨拶

今回はお忙しい中、私ども法政大学工学部マンドリンクラブ第35回定期演奏会にご参加くださり誠にありがとうございます。このような演奏会を開催できたのも、ひとえに皆様方の暖かいご理解とご支援の賜と御褒へ御心より感謝いたしております。

今宵の演奏会を聞くまでに幾多の問題にぶつかり、限られた時間の中、試行錯誤を繰り返して、ようやくここまでたどり着きました。ひとつの演奏会を飾るための一人一人の苦労と負担、そして努力というものは並大抵のものではないと思います。そのような中でクラブを続ける意味とは何なのでしょうか。それはひとつひとつの音楽を作り出そうとする私たちの情熱と、学年・パートの区別なくひとつになれる感動を味わいたいという願があるからなのでしょう。そして大学4年間の中で音楽という夢中になれるものに出会えた私たちは幸せかもしれません。まだまだ未熟な私たちではありますが、私たちの思いが皆様にも少しでも感じただければ幸いです。

最後になりましたが、この演奏会を開催するにあたり、ご指導・ご協力くださいました方々に厚く御礼申し上げますと共に、今後ともより一層のご支援・ご叱正の程を賜りたくお願い申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ部長
野口 智彦

STAGE MEMBER

Conductor

山崎 博光 (経営4)

Sub Conductor

佐藤 隆紀 (電電2)

Mandolin

横山 敦子 (機械4)

渡辺 武史 (経営4)

佐藤 隆紀 (電電2)

橋本 純 (電電2)

小林 裕司 (電情1)

横山 健介 (電情1)

蛭田 崇介 (賛助)

Mando Tenor

須永 大介 (システム2)

佐藤 隆紀 (電電2)

永沢 智路 (賛助)

安藤 滋 (賛助)

Concert Mistress

横山 敦子 (機械4)

Concert Master

渡辺 武史 (経営4)

Mando Cello

小笠原 康弘 (経営4)

Guitar

細田 達也 (電情4)

野口 智彦 (システム2)

福井 朋治 (土木1)

Contra Bass

山崎 博光 (経営4)

米田 高志 (システム2)

Special Thanks

伊東 久美子 (賛助)

豊田 直子 (賛助)

吉永 純子 (賛助)

PROGRAM

第1部

法政大学校歌

小唄

H.Lavitrano 作曲

マンドリンオーケストラの為のソナチネ 第1番

J.B.KOK 作曲

英雄行進曲「イタリア」

A.AMADEI 作曲

第2部

丘を越えて

古賀政男 作曲

ルパン三世のテーマ

大野雄二 作曲

<宮崎駿=久石譲>映画音楽メドレー

平井朗 編曲

第3部

スリーフレンチクリスマスキャロル

NAWOKI 編曲

セレナーデNo. 2

藤掛廣幸 作曲

横山敦子 編曲

横山 敦子

4年間、本当にあっという間でした。一番上の舞台により2年生の時には休演していました。そのあいだ中ずっとこの舞台のことが気になってしただけがありませんでした。まるで愛する人いや、わが息子を思ふ母のような気持ち。

“奨励”という形での優勝が今やコンミス。みなさんのおかげでここまでできました。ほんと感謝です。

最後に

後悔して自がた。

素晴らしいひと、素晴らしい仲間と出会うことができ...



な人がまじりすぎたかな

渡辺 武史

これで終わりっす！
みなさま御苦労様でヤンした。
そろそろ店開いっす！

マンドリン
終わってみれば
マンド人
ナニ者



MANDOLIN CONCERT

法政大学工学部 第36回 定期演奏会

1999.12.11 Sat.

Open 16:00

Start 16:30

於 いずみホール

御挨拶

いつの間にか鍋物が酒の肴に合う季節となりました。師走らしい風情が漂う今日この頃ですがお忙しい中、関心を持ってご来場いただき誠にありがとうございます。工学部の学生として厳しい学業の間にマンドリン音楽の追求はもちろんのこと、学生生活において最も大事な人と人とのつながりをその音楽を通して築き上げようと、部員一同学生らしい若さと情熱を持って一生懸命演奏いたします。

また、近年盛んに発足の声がかかっていたOB・OG会を今年6月に設立いたしました。今回はその記念と致しましてOB・OG合同ステージを設けさせていただきました。どうぞ最後までゆっくりとご鑑賞ください。

最後に本日の演奏会を開催するにあたり、ご来場の皆様をはじめ、ご協力・ご指導賜りました諸先輩、関係者の方々に厚く御礼申し上げます。今後ともよろしくご支援、ご批判くださいますようお願い申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ
部長 野口智彦

PROGRAM

第1部

- マンドリンオーケストラの為の4章より

「行進曲」 作曲 水野 真人

- YAH・YAH ～あの時代を忘れない～
編曲 小笠原 康弘

- 海の組曲
作曲 アマデー

第2部

<OB・OG 合同ステージ>

- ディズニーメロデー
編曲 平井 朗
- グリーンズリースの主題による幻想曲
編曲 平井 朗
- Pastral Fantasy
作曲 藤掛 廣幸

曲目解説

YAH YAH (あの時代を忘れない)

この曲は1982年にサザンオールスターズが発表した曲です。作詞、作曲は桑田佳祐で、ゆったりと流れるメロディーに心に響く歌詞、中でもサビの部分の「美しすぎるほど忘れぬ日々よ」という歌詞が印象的です。今もなお愛され続ける名ナンバーをマンドリンオーケストラでお楽しみください。

海の組曲

この曲はアマデーの作曲によるもので、地中海の伝説を4つの妖精により海のロマンスを描き出しています。第1楽章、静寂な海。水の妖精ナイアードは月の反映する神秘的な水面を静かに舞まわっており、第2、3楽章と続き第4楽章、夜は夜の静寂を破り突如として荒れ狂う。各パートの掛け合いの部分が多く、アマデーは第4楽章にマンドリンオーケストラの美を書き尽くしています。

パストラル ファンタジー

本作品はマンドリンオーケストラのために藤掛廣幸が1975年6月から7月にかけて作曲、同年8月23日初演されました。以来、数々の演奏会で演奏され、マンドリンオーケストラの中では最もポピュラーな曲の1つとなっています。全体の構成は、冒頭の牧歌的なアンダンテで始まるパストラル、フーガによる中間部、パストラルテーマの感動的な再現、そしてコーダという形になっていて、静かに提示されるテーマの特徴的な2度の下降進行 (E-D) が、あたかも細胞分裂して体が作られていくかのように、この曲全体を形作っていくための大切な構成要素となっています。

Stage Member

Conductor

佐藤 隆紀 (電電3)

Sub Conductor

福井 勝治 (土木2)

Mandolin

佐藤 隆紀 (電電3)

橋本 純 (電電3)

伊藤 しずか (シキム1)

河合 宏明 (電電1)

徳江 健一 ('73卒)

遠藤 弘行 ('75卒)

三上 徹 ('82卒)

水沢 智路 ('95卒)

安藤 滋 ('96卒)

横山 敦子 ('99卒)

渡辺 武史 ('99卒)

Mando Cello

小笠原 康弘 (経営工3)

倉田 光 (経営工1)

Guitar

野口 智彦 (シキム3)

福井 勝治 (土木2)

高木 嘉和 (電電1)

中嶋 友一 ('86卒)

細田 達也 ('99卒)

Contra Bass

米田 高志 (シキム3)

高橋 豊 ('77卒)

Mandola Tenor

須永 大介 (シキム3)

川村 純一郎 ('72卒)

窪寺 将司 ('98卒)



相模女子大学・
法政大学工学部
ジョイントコンサート

2000年4月28日
武蔵野市民文化会館
小ホール

The 37th MANDOLIN Regular Concert



2000.12.16 (Sat)
Open 16:30
Start 17:00
於：いずみホール

法政大学工学部マンドリンクラブ

御挨拶

いつの間にか鍋物や酒の香に合う季節となりました。本日はお忙しい中、法政大学工学部マンドリンクラブ第37回定期演奏会にご来場頂き誠にありがとうございます。

さて、自分が3年間のマンドリン生活を送るに当たり、お世話になった4年生の最後の演奏会となりました。勝手ながら先輩方の思い出に浸りながらこの文章を書いていきたいと思つています。正直、今の4年生を見ると「この人たちは何なんだろう?」と思うくらい色々な人がいます。しかし、どんな意見が分かれてケンカしそうになっても、誰かがおがまま言っても必ずまとまるという不思議な空気があります。部を思う気持ちはみんな人一倍のものを持っています。自分の学年が1人になった時も、俺を1人にはせずに、俺が間違つた事をした時には怒ってくれた先輩。迷っている時に方向性を示してくれた先輩。何でも相談してみろと言ってくれた先輩。困っていると助けてくれる先輩。構りの電車で愚痴を聞いてくれる先輩。「俺はマンド人じゃない」と言いながら、いつのまにかみんなマンド人です。4年間お疲れさまでした。先輩方の意志を受け継ぎ、今日を境にまた日々前進して行きたいと思つています。そして、またいつか一緒に演奏してください。酒を交えながら、今の思い出を語る日を楽しみにしています。

本年度は新入部員が12名という近年にない1年生の人数で、本日の演奏会に向け一生懸命練習してまいりました。まだ技術的にも未熟なところが多々あるかと思われませんが、日ごろの練習の成果が十分発揮出来るよう一杯演奏しますのでごゆっくりお聞き下さいますようお願い致します。

最後になりましたが、本日の演奏会を開催するにあたり、ご来場の皆様をはじめ、ご協力・ご指導賜りました「法政大学工学部マンドリンクラブOB・OG会」ならびに、関係者の方々には厚く御礼申し上げます。今後ともよろしくご指導、ご支援、くださいますようお願い申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ
部長 福井 勝治

～PROGRAM～

I 部

- ・FINAL FANTASY Selection
- ・Let It Be 福井 勝治 編曲
- ・「シネマ・ストーリー」～映画音楽メドレー～ 平井 朗 編曲

II 部

- <1・2・3年生ステージ>
- ・そりすべり L.Anderson 作曲 平井 朗 編曲
- <4年生ステージ>
- ・組曲「Joint」 HTMC 4th YEAR ALL STARS 作曲

III 部

- ・歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より間奏曲 P.Mascagni 作曲
- ・星空のコンチェルト 藤掛 廣幸 作曲

♪♪♪ 曲目紹介 ♪♪♪

・FINAL FANTASY Selection

スクウェアの人気RPG「FINAL FANTASY」シリーズから印象深い曲をセレクトした一品です。曲目構成は、①Prologue ②The Prelude ③お休み、また明日 ④Fight ⑤Fanfare ⑥涙のタンゴ ⑦Waltz de Chocobo ⑧Elec de Chocobo ⑨Prologue ⑩Eyes On Me ⑪Ending Theme となっています。ゲームを体験したことのある人はその懐かしさに浸ることができ、よければ体験してないとしても、馴染み易いメロディーが曲の随所で聞こえてくるでしょう。

・Let It Be

ビートルズの名曲であるこの曲。中学校の卒業式でながれていました。誰かを送るときはこの曲が頭を流れます。4年生の最後であるこの演奏会でこの4年間のマンドリン生活を思い出させるでしょう。

・「シネマ・ストーリー」～映画音楽メドレー～

平井朗編曲による映画音楽によるメドレーです。曲目構成は、①雨にぬれても ②おぼろげに ③ロイヤル・ダンス ④ニュー・イヤーク ⑤E. T. ⑥「マゼラン」のテーマ ⑦おかしな話 ⑧特・特・パンになっており、映画を見たことがある人はその当時の思いが蘇り、映画を見たことがない人もどこかで聞いたことのあるようなメロディーが聞こえてきて楽しむことができるでしょう。





・歌劇「カヴァレリア・ルステイカーナ」より間奏曲 P.Mascagni 作曲
この曲はイタリアの作曲家P. Mascagniの代表作とも言われていて三角関係の悲劇を描いた歌劇「カヴァレリア・ルステイカーナ」の間奏曲です。歌劇の中間で舞台から登場人物が去って誰もいなくなる部分があり、そこでこの曲が演奏されます。その後で起こる決闘のシーンとは無関係のような神秘的な美しさと優しさをもつ曲ですが、そのためにその後の決闘のシーンがよけいに激しくむごたしく感じられるのかもしれない。

・星空のコンチェルト 藤掛 廣幸 作曲

1996年2月3日アーベントムジークで初演されたこの曲は、「夜空に輝く無数の星たちを見ていると様々なイメージが浮かび上がってきます」という作曲者の言葉どおり、清らかで美しいメロディーが聞こえてきて、本当にいろいろなイメージを浮かび上がらせてくれます。この曲は美しいメロディーで始まり、徐々に盛り上がりフーガが始まります。このフーガの部分は各パートが協奏しており、とても劇的な盛り上がりを見せます。そして再び清らかで美しいメロディーが流れるが、最後には盛り上がり感動的な最後を迎えます。



~STAGE MEMBER~

Conductor

福井 勝治 (土木3)
河合 宏明 (電電2)

Concertmaster

佐藤 隆紀 (電電4)

1st Mandolins

☆佐藤 隆紀 (電電4)
河合 宏明 (電電2)
倉持 剛志 (経営工2)
植木 学 (電電1)
小林 葵 (CS1)
寺岸 勝 (☆FA1)
宮下 覚 (建築1)

Mandolin Cellos

☆小笠原 康弘 (経営工4)
倉田 光 (経営工2)
野口 明久 (土木1)

Guitars

野口 智彦 (☆FA4)
☆福井 勝治 (土木3)
高木 嘉和 (電電2)
佐藤 貴紀 (CS1)

2nd Mandolins

☆横山 健介 (電情3)
伊藤 しずか (☆FA2)
加納 裕二 (建築1)
小玉 剛史 (☆FA1)
諸星 寛可 (電電1)

Contorabasses

☆米田 高志 (☆FA4)
大野 慶晃 (物化1)

Mandola Tenors

☆須永 大介 (☆FA4)
石川 大介 (☆FA1)
石塚 啓也 (☆FA1)

☆: 主席奏者



Part+紹介

Conductor

コンダクターはなぜ4年生がいないのか疑問を抱きながら、悩みながら、迷いながらやっています。しかし、早い時期からコンダクターという大役を任せられたことにより充実したい経験させてもらっています。楽することによる満足感ではなく、積み立てることによる充実感。それは1人で楽できるものではありません。元マエストロから「食材がよくても料理人が悪ければ料理もまずくなる」と教えられました。今は料理人の腕を磨いている次第です。最近では料理人が食材を育てることもしなければならぬみたいです。

1st Mandolin

フタ伝説 完結編

前編までのあらすじ: 食べばあさんガ川で決闘をしていくと、大きな卵が落ちてきた。卵の中にはフタが入っていた。フタは「ポーク」と名付けられ、数々の困難に勝利しながら長旅を終えた。しかし、異常にも数回食べばあさんの卵で3日後の村祭りまで食べられることになった。 完結編は35回定期イベント参加



いよいよ年に一度の村祭りです。J-Porkはすくすくと育ち、今が食べごろです。あと数時間後にははかなく散る生命ですが、最期の一瞬まで精一杯生きようとしています。「何とか生き延びる方法はないかしら?」。そう考えたJ-Porkはタイムマシンを作りました。が、反抗期のためにタイムスリップ先が指定できない次品品ができました。「聞かしい未来に転移し、……タイムスリップ……あれ、真っ暗だわ?」「ブカブカしているわ?」「外からたたく音が聞こえるわ?」。ゴン、ゴン、ゴン、バカッ! フタ伝説に続く

2nd Mandolin

裏フタ伝説 中学編

前編までのあらすじ: 人間版の顔面を持ったフタ「じゃい」はコソコソ努力家。決して努力を知らない天才且「小太郎」とある運動会、二人は前編で対決することになる。結果は小太郎の圧勝。努力が報わらず結果を出せなかったじゃい、才能だけで勝った小太郎。舞台は中学時代へ。

小太郎との前編で勝負に負けたじゃいはそれからも地道な努力を怠らず、小太郎と同じ中学に入学(学区内が故に)しました。世間は学芸会シーズンです。何とも悲劇的なことに、じゃい率いる松組と小太郎率いる薔薇組が対決することになりました。じゃいはクラスの仲良し達と手作りの演劇を披露しました。演出は地味でストーリーもありふれていて、それでいて完成度も高く、お世評でも面白いとは言えません。小太郎はセミプロの脚本家や売れっ子演出家などを駆使し、本格的なミュージカルを披露しました。結果は無論、薔薇組ブラボーのオンパレード。小太郎は芸能事務所へスカウトされ、じゃいは責任を取って高校進学を辞退しました……



皆さんは、下手で所詮自己満足の世界だが主に自分達だけの力で作り上げた涙かみのあるものと、すばらしいが第三者の存在なくてはあり得ないもの、どちらを評価しますか?

Mandola Tenor

3年ぶりに人数が増えた。もう一人じゃなくなった。パーンがができるようになった。うれしかった。I川は、中国地方の特産物が好きらしい。I塚は、二十歳で工場長。俺は、今日で引退。バイバイ!



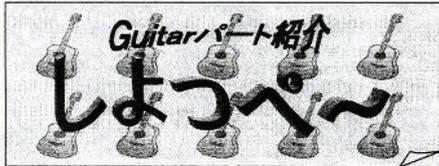
Mandolon Cello

こんにちは、工学部経営工学科2年、学籍番号9948006の倉田光です、これからセロパートの紹介をいたします。一つだけ面白いことは、

「セロパートは3人ともかっこいい」

ということです。それは実際に見てのおたのしみだけね。
 それではこれからちゃんとした紹介をしたいと思います。現在4年生の小笠原さんはメッチャ面白い。そして4年生でありながら、次回のジョイントと定期演奏会にも賛助として参加してくれます。2年の倉田(僕です)はたぶんセロパートの中で一番かっこいいです。1年生の野口君はセロパートで一番の努力家(?)で一番のマニアックです。それは一部の部員からやばいと言われるくらいに。これでセロパートの紹介を終わります。

Guitar



Contrabass

合奏中、指揮者に「ドラ、チェロ以下で」といわれて「俺らはチェロ以下の存在なのか・・・？」と考える今日この頃。



最後に一言

「Bassの(低音の)魅力のわからない者は国に帰れ！」

小笠原康弘(写真右)

パート：M.Cello



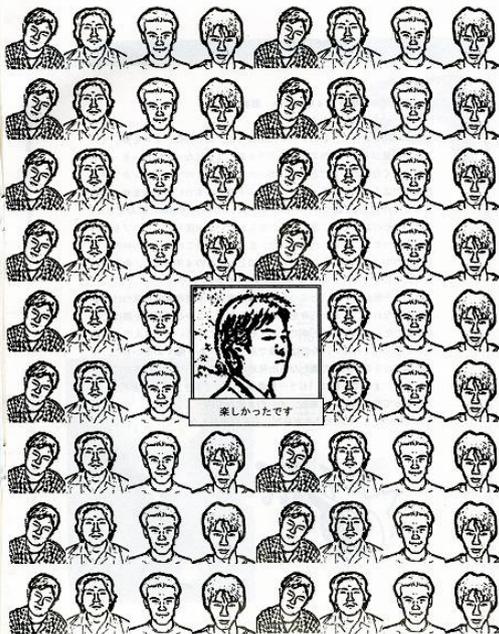
昭和53年横浜生まれのロシアの血が入った秋田人。
 両親の実家が農家なので多数の野菜を生産し部の食卓を彩る。
 が、野菜の売買は下手。専ら生産のみである。

いや早いものでマンドリン部に入り4年も経ちました。入部当時体がデカイという理由だけでCelloになりましたが現在ではMandolin位が丁度良い大きさになっています。

何故これ程までに？と言う程うちの学年は個性的なキャラクターが揃っていた気がします。問題、トラブルを数え上げるとキリがない(笑)。(かく言う自分もかなりの問題児だったと思うが(汗))現部長にもかなり迷惑をかけた気がします。けれどどういった問題も振り返ってみると楽しい思い出です。食き仲間と共に歩んできた4年間だからこそ問題があっても良い思い出になったんだな、と思っています。

この度無事に卒業を迎え我々4年生は新たな世界に旅立ちます。どんな世界に旅立つかは個人それぞれですがこの部で学んだ事、体験した事は新たな世界でもきっと財産になると信じています。

北海道で鮭の旅立ちを見た。鮭のお母さんが泣きながら子供に頼んでいた。「ねえぼうや、頼むから遠くへは行かないでくれ」
 けど子供達は黙って旅立ちました。
 鮭の子だからいくら言っても聞きやしない。
 おあとがよろしいようで……



卒業生紹介
 システム制御工学科 4年 Dola 関崎伝承者
 須永 大介

1997年の4月に、このクラブに出会った。はじめは、セロを弾いていたような気がするが何の時間にかドラを弾くようになっていった。きっとドラがいなくなったからだと思う。僕の大学生活はこのマンドリンクラブ色だったような気がする。そして、このクラブは本当に僕を悩ませ、成長させてくれた。人を傷つけ、人に傷つけられながらも僕は前に進んできた。むしろ、そのお陰で前に進めたのかもしれない。何度もこのクラブを辞めようと思ったが、辞められなかった。きっとそれはこのクラブの仲間を信じていたからかもしれない。僕にとってこの4年間は、今までに失ったものを1つ1つ取り戻したかったんだと思う。

出会いや離れ会いや人とのつながりは財産だ。本当の自分を見つける手だてにもなれば、困難から身を守る術にもなる。この心の財産は僕はこの4年間でたくさん得ることができた。そして、この思い出が与えてくれたものを決して忘れない。それは知識であり正義であり種であるからだ。今夜の演奏会を僕の人生の新たな出発地点とするならば、これまでに覚えてきたものすべてを糧に、もう一度勇気をこめて生きてゆこうと思う。

音楽ってやつがここにある。オレの大切なもの……
 それでいい…… それだけで充分だ。そんな気がした。



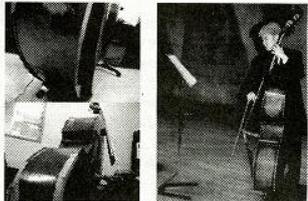
2000年11月



やっと音符が読める様になりました。
4年間かけて。

4年 野口

米田高志 (BASS)



ボロボロの Bass 達!!

4年間この3台の Bass と共に歩んできました。しかし、この3台の Bass もいまでは演奏会に使えるのは1台となってしまいました。しかもこの1台もどこから拾ってきて組み立てたものだと言葉から聞いています。本当にボロボロで、こんな Bass を使っているところはないかもしれません。けれどもすべての Bass に4年間の思いが詰まっていて、自分にとっては愛着のある最高の Bass 達です。

しかし、自分にとっては最高の Bass ですが、後輩達にとってはただのボロボロな Bass です。誰か恵まれない後輩達に愛の手を・・・。

<4年間の歩み>
茶→赤→金→青→紫→茶→緑→茶→桃→黒→黒→黒

<http://newlucky.ainet.or.jp/~yones/>

平成 12 年度 執行部紹介

部長	福井 勝治
会計	伊藤 しずか
スママネ	河合 宏明
全マン	倉田 光
文達委員	高木 嘉和
庶務	倉持 剛志
パンフ	横山 健介

INFORMATION

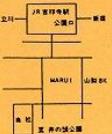
武蔵野女子大学・法政大学工学部 マンドリンクラブ
JOINT CONCERT
2001年4月28日 於：いずみホール

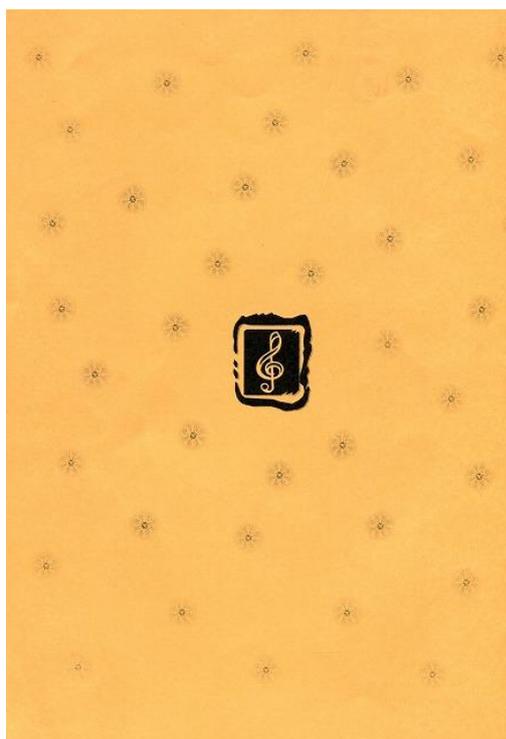
編集後記 ▽

役パンフ完成。最初は、一ヶ月前くらいには終わらせるつもりでしたが、レポートと練習に追われ気がつけば締め切りギリギリでした。都合が変わったあと家に帰りパンフを作るという日々がつづき「何卒この期止めてやる。」と思ったことか。他にも言いたいことはありますがとりあえず終わったのでゆっくり休ませてもらうと思います。最後はチケット、パンフ作成にあたりお世話になりました皆様、演奏会を前に来て下さった皆様にもお礼申し上げます。

株式会社 ワタル・ハーリヤト

武蔵野市吉祥寺南町1-15-1
TEL 0422-43-4100
音楽・スポーツ・セミナー会場・貸切バス等の予約承ります。【お気軽にご相談下さい】





法政大学工学部マンドリンクラブ
第 38 回
定期演奏会



2001. 11. 24 (土)
於：いづみホール
開場：17:00 開演：17:30

～御挨拶～



こんばんは。法政大学工学部マンドリンクラブ部長の3年倉田光です。本日はお忙しい中、私ども法政大学工学部マンドリンクラブ第38回定期演奏会にご来場頂き誠にありがとうございます。

8月には関東水不足問題、大型台風接近、9月にはニューヨークテロ事件、株価1万円割れ、10月にはアメリカ軍によるタリバン政権への空爆など世界の情勢が目まぐるしく動く中、わがマンドリンクラブでは大きな事件も無く日々努力を重ねてきました。

今宵の演奏会を開催するにあたり、8月より演奏会に向けて練習を開始し、9月には千葉県岩井で合宿を行い、11月には学園祭がありながらも、頑張って練習をしてきました。

さて、今宵の演奏会で忘れてはならないのが、4年生である福井勝治さんです。昨年は部長として部をまとめ、今年はロングクターとして部をまとめていただきました。僕が部のことで悩んでいる時はいつも真剣に答えていただきました。いつも部のことを最優先にして、わがマンドリンクラブがどうしてもさらさらに発展するかをいつも考えていた福井さん。今日は「真面目で、でもすごく楽しい先輩である福井さん」の最後の演奏会です。後輩として福井さんが楽しめて、そして思い出に残るような演奏会にしたいです。そしていつの日かまた福井さんと一緒に演奏をしたいです。そしてお酒を交わしながら、今の思い出を語る日を楽しみにしています。

最後となりましたが、今宵の演奏会を開催するに当たり大変多くの人にお世話になりました。本当にありがとうございました。

法政大学工学部マンドリンクラブ 部長 倉田 光

2

～PROGRAM～

～ I 部 ～

ピエモンテ皇子

Manente 作曲

青春の輝き

CARPENTERS 作曲
伊藤 しずか 編曲

マンドリンオーケストラの為の4章IV

アレグロ

水野 真人 作曲

～ II 部 ～

Laputa Fantasy

久石 譲 作曲

モーニング娘。メドレー

つんく♯ 作曲

HTMC ALL ST@RS 編曲

～ III 部 ～

星条旗よ永遠なれ

J.Ph.Sousa 作曲

福井 勝治 編曲

風の軌跡

小林 由直 作曲



3

～曲目解説～

マンドリンオーケストラの為の4章IV アレグロ

水野 真人

この「マンドリンオーケストラの為の4章」は、水野真人氏が1987年に1楽章「行進曲」、2楽章「妖精精」、3楽章「Fantasy」、4楽章「Allegro」として作曲しましたが、今回はこの中の第4章を演奏します。本曲は題名に示されている通り、躍動感あふれる曲になっており、1stを中心として各パートに旋律が引き継がれていきます。マンドリンの奏でる軽快で親しみやすいメロディーをお聞かせください。

モーニング娘。メドレー

つんく♯

平成のスーパーアイドルグループ「モーニング娘。」の代表曲を集めたメドレー曲です。曲目構成は①モーニングローヒー ②真夏の光線 ③ミニモニ。の歌 ④ちよこっと LOVE ⑤恋愛レボリューション21 ⑥ザ☆ビース ⑦I wishとなっています。

モー娘。ファンの方もそうでない方も、曲を聞いたことがある方もない方も皆様が楽しんでいただけたらと思います。法政大学工学部マンドリンクラブ陣身のこの一曲、聞けばアナタもモー娘。ファンに……

風の軌跡

小林 由直

本曲は雷鳴のような激しい勢いで幕を開ける。そしてMandolaの誘(いざな)いによって「風」というモチーフ(主題)が、Mandolaを中心にうたい奏でられていく。その後、微妙な変化「風」がおさまっていく様子をうつつたしていく。後半部は徐々に接近してくる風を連想させるようなMandola Cello, Contrabass, Guitarのあやしい音色で始まり、その後訪れる嵐を振り切るような形で再び訪れる「風」のモチーフのメロディーを全パートで壮大に奏で、最後は「風」が静かに消えていく。

そもそも風と音色とは目に見えないという共通点を含ませている。我が法政大学工学部マンドリンクラブもマンドリン界の風となり、その軌跡が歴史となって引き継がれて行くことを信じている。

4

～STAGE MEMBERS～

Conductor

福井 勝治 (土木4) (Ⅲ部)
河合 宏明 (電電3) (Ⅰ部)
加納 裕二 (建築2) (Ⅱ部)

Concertmaster

伊藤 しずか (シヤマ3) (Ⅰ、Ⅲ部)
倉持 剛志 (経営工3) (Ⅱ部)

Mandolins

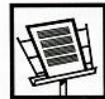
☆伊藤 しずか (シヤマ3)
河合 宏明 (電電3)
☆倉持 剛志 (経営工3)
加納 裕二 (建築2)
小玉 剛史 (シヤマ2)
小林 葵 (CS2)
宮下 聖 (建築2)
古賀 政弘 (シヤマ1)
藤 克典 (シヤマ1)

Guitars

福井 勝治 (土木4)
☆高木 嘉和 (電電3)
佐藤 貴紀 (CS2)
河崎 典男 (機械1)
吉宮 大輔 (機械1)
森林 毅 (機械1)

Contrabasses

☆大野 慶晃 (物化2)
根岸 哲也 (シヤマ1)



Mandola Tenors

☆石川 大介 (シヤマ2)
武庫 隆雄 (電情1)
小笠原 康弘 (賛助)

☆：主席奏者

Mandolon Cellos

☆倉田 光 (経営工3)
野口 明久 (土木2)

5

～パート紹介～

1st. mandolin

或日の事でございます。御釈迦様は極楽の蓮池のふちを、独りてぶらぶら御歩
きになっていらっしゃいました。やがて御釈迦様はその池のふちに御佇みになっ
て、水の表を蔽っている葉の間から、ふと下の容子をご覧になりました。す
るとその地獄の底に、かんだたと云う男が一人、外の罪人と一緒に蠢いている姿
が、御目に止まりました。

お釈迦様は地獄の容子を御覧になりながら、このかんだたにはマンドリンを遊
った事があるのを御思い出しになりました。

2nd. mandolin

that this nation, under God, shall have a new birth of freedom --- and
that government of the people, by the people, for the people, shall not
perish from the earth.

訳：入場料以上の演奏をするつもりです。まあ、無料ですけどね(笑)

Mandola Tenor

マンドリンオーケストラの中の主眼的存在。その組織にステージではいつでも真ん中。
西奥はまんどりん(♩)とまんどせる(♩)と違い、家族3人で暮らしている。狂は都内
の高校に通っているらしく、たまに中央線で見かけたりもする。彼は、交通整理のバイト
をして学費を稼いでいるというウソも、趣味は釣りで、休日ともなると御早くから出か
けてしまう。このごろは磯釣りにハマっているらしく、湘南の海によく行っていること
も、彼は自称料理が得意と言っていて、釣ってきたサカナを豪快にさばく。意外とおいし
かったりする。彼のこだわりは日タレの「金曜ロードショー」を毎週チェックすること。
好きな映画は「アルマゲドン」。将来の夢は宇宙飛行士らしい。
こんな素敵な彼とメル友になりませんか？連絡お待ちます。

6

Mandolon Cello

ゼロっ子家族大募集！！！！

現在のおゼロっ子家族は約7名(？)いるはずですが、条件は

Mandolon Celloを弾いていること！！！！

だけです。

Guitar

かつちゃんとうちな仲間達

Contra Bass



ーネギシクンが一生命描いてくれました。
ネギシクン有難う。
先輩思いです。
って書けて言われました。

文責 オオノ

Conductor

私達指揮者一同は、決して音楽的経験が他の部員より優れているわけではなく、
指揮者になった当初は何をするにしても苦労しました。答えを探しても見つからず
悩んだ事もありました。奏者との意見の違いによってぶつかる事もありました。何
をやっても良いのか分からず戸惑ってしまい、奏者に迷惑をかけてしまうこともあ
りました。そんな時、多くの先輩方や仲間達には優しく注意され、時にはやさし
く励まされ、そして助けられながら、今まで何とかやって来られたのだと思いま
す。今では、指揮者という貴重な体験が出来た事を誇りに思っています。

私達全員で作ってきた音楽は、決して素晴らしい音楽とは言えないものでは
すが、精一杯練習してきたので最後まで聴いてください。

7

卒業生より

福井勝治

指揮者をやるようになって**結果**を求めるようになった。

結果の出ない**過程**に満足することは意味がないと思った。

しかし、演奏会での**結果**とは何か？

練習量に対する成果か？客の評価か？

今は、人生の**結果**について考える。

人生の**結果**とは何か？

自分の夢を達成することか？ 家族が幸せであることか？

社会的地位、名誉を得ることか？

そう考えると、演奏会で求めている**結果**というものは人生
における**過程**となってしまうのではないだろうか。

しかし、この4年間本当にいい仲間に出会えた。

楽しくて仕方なかった。

今は法政大学工学部マンドリンクラブの4年間という

過程に満足しています。

8

2001年 執行部紹介

部長・全マン	倉田光
会計	伊藤しずか
スアマネ	河合宏明
庶務・OB	倉持剛志
パンフ・合宿	高木嘉和
文連委員	石川大介

お知らせ

法政大学工学部マンドリンクラブ
東京家政大学マンドリンクラブ
JOINT CONCERT

2002. 4. 27 (土)
練馬文化会館 小ホール



活魚・割烹 大衆酒造

スタミナの城

大小宴会 受け賜ります

中央線東小金井駅北口前
TEL 042-(381)-9602

法政大学工学部マンドリンクラブ

第39回

定期演奏会

HTMC

2002.12.6(金) 於: いずみホール

開場: 6:30 開演: 7:00

御挨拶

本日はお忙しい中、私ども法政大学工学部マンドリンクラブ第39回定期演奏会にご来場頂き、誠に有り難うございます。

今年度は新入部員を6名迎えたことで部員数も増え、喜ばしく思っております。部員が増えることによる演奏のまとめの難しさを肌を感じながらも、本日の演奏会に向けて一生懸命練習を行って参りました。まだまだ未熟な部分も多いと思いますが、部員一同、精一杯の演奏を致しますので、どうか最後までごゆっくりお聴き下さいませよう宜しくお願い致します。

最後になりましたが、本日の演奏会を開くにあたりまして、この演奏会を聴きにご来場くださった皆様をはじめ、ご指導、ご協力下さいました諸先輩方、並びに関係者の皆様、この場をお借り致しまして厚くお礼を申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ
部長 加納 裕二

Stage Members

Conductor

河合 宏明 (電電4)
加納 裕二 (建築3)
古宮 大輔 (機械2)

Concert Master

伊藤 しずか (シスマ4)
倉持 剛志 (経営工4)
小玉 剛史 (シスマ3)

Mandolin

伊藤 しずか (シスマ4)
河合 宏明 (電電4)
倉持 剛志 (経営工4)
加納 裕二 (建築3)
小玉 剛史 (シスマ3)
宮下 寛 (建築3)
吉賀 政弘 (シスマ2)
北島 龍 (建築1)
小股 健太郎 (電電1)
西郷 昌裕 (シスマ1)

Mandolon Cello

倉田 光 (経営工4)
野口 明久 (土木3)
内海 悟志 (電電1)

Guitar

高木 嘉和 (電電4)
佐藤 貴紀 (CS3)
河崎 典男 (機械2)
古宮 大輔 (機械2)
森林 毅 (機械2)
鈴木 光彦 (電電1)

Mandola Tenor

石川 大介 (シスマ3)
武庫 隆雄 (電情2)
中村 明博 (シスマ1)

Contrabass

大野 慶晃 (物化3)
根岸 哲也 (シスマ2)

Trute

天川 愛 (賛助)

Program

★第一部★ 指揮: 加納裕二 (建築3)

英雄行進曲「Italia」

作曲: Amedeo Amadei

夢の後に

作曲: G. U. Faure

交響的前奏曲

作曲: Ugo Bottacchiari

★第二部★ 指揮: 古宮大輔 (機械2)

卒業生特別ステージ

ベケベケ

編曲: コニコーン

舞踊風組曲「ゴジラ VS モスラ」

編曲: 平井 朗

★第三部★ 指揮: 河合宏明 (電電4)

協奏曲第4番「冬」第2楽章

作曲: Antonio Lucio Vivaldi

二つの動機 (モチーフ)

作曲: 吉水秀徳

Music Introduction

交響的前奏曲 (Preludio Sinfonico) ・ Ugo Bottacchiari

この曲は1915年に作曲された作品ですが、構成の優れた、文字通りの交響的な構成を有するマンドリン合奏の中でも屈指の名曲です。「Il Voto」にも見られるこの作曲家独特の重厚な和音の動きと計算された曲の運びだけでなく、一つの主題が冒頭では低く小さく、しかも感情を内に秘めて押し殺すように提示され、転調が繰り返されて主題が確定した後は様々な形の伴奏を伴って展開される、という具合で一つの主題が曲を通じて大きく貫かれている点で、線が太い曲という印象を与えています。

また、この曲は劇的要素が多く、若者の燃えるような宗教的な情熱が全曲を通じて湧き出ていますが、先に述べたように主題の提示とそれに続く転調は近代的な手法を感じさせ、いわゆる「イタリアのマンドリン音楽」とははっきり一線を画することができると思われまふ。しかしながらこの作曲家の旋律の甘さの底に流れるものは、やはりイタリア人ならではの「イタリアのセンチメンタリズム」で、そういう意味では「近代的作曲技法」と「イタリアのセンチメンタリズム」とが見事に融合したこの「交響的前奏曲」は、マンドリン音楽にとって貴重な財産であるといえるでしょう。

二つの動機・吉水秀徳

作曲家の吉水秀徳氏は1961年大阪府に生まれ、大阪府立四条暁高等学校マンドリン部を経て、大阪市立大学ギター・マンドリンクラブに入部、指揮者をつとめられました。現在は社会人団体のエルマノ・マンドリン・オーケストラに所属されています。

本曲は1982年、吉水氏が作曲された処女作で、当時吉水氏は上記の大学のギター・マンドリンクラブの部長としてこの曲のはじめての指揮者となりました。冒頭にマンドラが提示し、後に Allegro con moto で変形して活躍する第一のモチーフと Adagio amoroso で優しく現れる第二のモチーフとの対比と融合がドラマチックに展開します。そして最後に第一のモチーフが肯定される形で曲が閉じられます。

本曲は今回の演奏会の選曲の中でも非常に聞きやすい、夢のある曲であると思っております。「二つの動機(モチーフ)」が作り出す葛藤と融合の様を、どうやらラックスされてお聞きください。



Part Introduction

Conductor

遂にこの舞台がやってきました。コンダクターパート(?) 3人とも自然と気合が入ってきております!

これで部長として最後の演奏会となる「二つのモチーフ」他田部コンダクター河合先輩、今年新たなジャンルに着手し磨きのかかる「交響的前奏曲」他I部コンダクター加納先輩、そして、ゴジラデビューのII部コンダクター古宮がそれぞれの想いを持って舞台上へ!

…ところで先輩、舞踊風、ってどんな曲なんですか? (泣)

by D. K

Mandolin 1st

ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。波みに浮ぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとままりたる例なし。世中にある人と橋と、またかくのごとし。

たましきの都のうちに、櫓を並べ、賽を争へる、高き、いやしき、人の住まひは、世々を経て盡きせぬものなれど、これをまことかと尋ねれば、昔ありし家は稀なり。或は去年焼けて今年作れり。或は大家滅びて小家となる。住む人もこれに同じ。所も変わらず、人も多かれど、いにしへ見し人は、二三十人が中に、わづかにひとりふたりなり。朝に死に、夕に生るゝならひ、たゞ水の泡にぞ似たりける。

Mandolin 2nd

うちの両親は昔すごく仲が悪かった。母はとても気が強く、いつも一方的に怒鳴り散らして父は下を向いて黙ったまま。そんな光景を何度も見ながら育った。私は父のことがとてもかわいそうに思えて父の味方だった。幼心に「パパとママが離婚したらパパといっしょにくらそう」とずっと思っていた。

私の幼稚園ではお絵が絵画だけじゃなく、月に一度お弁当を持っていく日があって、その日は母がいつもかわいなお弁当を作ってくれた。でも、あるお弁当の日の前日、ケンカの後悔が家を飛び出してしまった。明日はお弁当なのはどうしよう、と思っていたが父には言い出せず、そのまま黙ってしまいました。

次の日の朝、母の代わりに父が台所に立っていた。「パパがお弁当作ったから」と得意気に私にお弁当箱を見せた。でも中身はサンドイッチがひとつ入ってるだけ。妙に腹が立った私は「こんなお弁当じゃない! ママのと全然ちがうもん!!」と泣き出してしまった。父は始め驚いた顔をしたが、やがて寂しそうな顔で「ママみたいに作れなくてごめん」と言って涙をこぼした。

お昼の時間になり、お弁当箱を開けるとイギリスの国旗が刺さっていた。父なりに工夫してくれただんだと思う。それを見て母は涙がにじみ泣きや父の不器用なお弁当のことなど色んなことが頭に浮かんできて、涙まじりながらサンドイッチを食べた。

ただ開ける為の前奏ではつまらないとは思われない。つたない技量だからこそ、演奏だからこそ、リアルに伝えられるのだ。

Mandola Tenor

本日は法政大学工学部定期演奏会に来てくれて有難うございます。あなたのご来場を記念して法政大学工学部オリジナルCDを作りました。次の問題に全問正解できたら、正解者全員にプレゼントしちゃいます。ぜひチャレンジを!!!

まゝ全部正解は無理だと思っただけね...

- 問1 英語で「Just kidding!」っていうのはどういう意味?
- 問2 普通免許の「AT限定」ってあるよね。「AT」の正式名称は?
- 問3 映画「風の谷のナウシカ」で一番最初に風の谷に降着してくる飛行機に乗っていたベジターの女の子(アスベルの妹)の名前は?
- 問4 映画「魔女の宅急便」で黒猫のジジの奥さんになった猫の名前は?
- 問5 映画「となりのトトロ」と同時上映していた映画は何?
- 問6 映画「天空の城ラピュタ」の破壊の呪文は?
- 問7 映画「もののけ姫」は宮崎駿監督の構想何年の作品?
- 問8 映画「千と千尋の神隠し」で主人公の友達「ハク」は何の化身? 多分誰も答えられないでしょう... 我はと思う人はアンケートに答えと連絡先を書いてね。正解していたら本当にCDあげます。答えは僕のHPで発表します。石川大介 HP「ふぁいるのつとふぁうんど」
<http://www.gocities.co.jp/MusicStar-Live/9165/>

Mando Cello

ヨロシクおねがいします。



Guitar



Contrabass

B: 美研じゃないよ。電研だよ！
A: あざできてないよ！
S: サトルじゃないよ。
S: サトシです。
てつや（2年）
よしあき（20歳）



執行部紹介

部長	加納 裕二
ステマネ	小玉 剛史
会計	大野 慶晃
文連	石川 大介
合宿	野口 明久
パンフ	佐藤 貴紀
庶務	宮下 覚

編集後記

終わりました。…ノンブルとか微妙におわってないけど、これからノンブル打って保存形式変更してCD-Rに焼いて…ああ、もう面倒すぎ！パソコン壊したくなってきました。

ところで最近オークションの楽器が安いですね。この間スズキのマンドリンが3000円で出ていてついつい入札。結局負けましたが送料価格5000円ちよいでした。マイ・マンドリンを買うかどうか本気で悩んでいます。当方がターパートですけどw

最後に、パンフ作成に協力してくださった先輩方、印刷会社の方々をはじめ、携わってくださった全ての方にこの場を借りて深くお礼申し上げます。そしてこんなところまで細かく読んでくださった貴方、本当に、本当に有難うございました。

パンフ担当 佐藤

法政大学工学部マンドリンクラブ

The 40th Regular concert

於：いずみホール

日時：2003年12月19日
開場 18:00 開演 18:30

挨拶

本日はお忙しい中私も法政大学工学部マンドリンクラブ第40回定期演奏会にご来場いただき誠にありがとうございます。

今年は個性豊かな一年生が五人加わり、合宿等を通じ定期演奏会に向けて明るく楽しく練習をしてきました。教えた事をすぐに吸収してくれる一年生の姿を見ると、教えている側としてとてもうれしく、また負けられないとも感じました。なお、今回の演奏会で四年生が引退すると部員数が少し寂しくなりますが、これまで諸先輩方の作り上げてきた部の雰囲気を守っていただけでなく、部員一丸となってより盛り上げていかねばならないと思いました。

それではお聴き苦しい点も多々あるかと思いますが、今宵の演奏会をお楽しみください。最後になりましたが今回の演奏会を聞くに当たり、暖かく見守って下さった諸先輩方、関係者の方々に深く感謝申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ部長

古賀 政弘

Stage Members

Conductor

加納 裕二 (建築4)
古宮 大輔 (機械3)
鈴木 光彦 (情電電2)

Concert Master

小玉 剛史 (シスマ4)
宮下 覚 (建築4)
古賀 政弘 (シスマ3)

Mandolin

☆小玉 剛史 (シスマ4)
☆宮下 覚 (建築4)
加納 裕二 (建築4)
古賀 政弘 (シスマ3)
浦山 恒太郎 (シスマ1)
高橋 宏和 (経営1)
養毛 裕一 (情電電1)
三上 徹 (OB)
永沢 智路 (OB)

Mandola Tenor

☆石川 大介 (シスマ4)
中村 明博 (シスマ2)
安藤 滋 (OB)

☆パートトップ

Mandolon cello

☆野口 明久 (土木4)
内海 悟志 (情電電2)
沼 義人 (経営1)
倉田 光 (OB)

Guitar

☆佐藤 貴紀 (CS4)
河崎 典男 (機械3)
古宮 大輔 (機械3)
森林 毅 (機械3)
鈴木 光彦 (情電電2)
上永 祐太 (シスマ1)
高木 嘉和 (OB)

Contrabass

☆大野 慶晃 (物化4)
高橋 豊 (OB)

-3-

Program

第一部

踊る大捜査線のテーマ

作曲：松本 晃彦 編曲：平井 朗

ジブリメドレー

作曲：久石 譲 編曲：平井 朗

第二部

風の印象詩

作曲：細野 照美
マンドリンオーケストラのための『組曲』より

Forlana

作曲：二橋 潤一

アルハンブラ幻想曲

作曲：F. Tarrega 編曲：藤掛 廣幸

第三部

黄昏前奏曲

作曲：Dino Berruti

雲の行方 ~ Phantasmal Overture vol.2 ~

作曲：柴崎 利文

-4-

曲紹介

ジブリメドレー

日本アニメ映画界の巨匠、宮崎駿監督によるスタジオジブリ制作作品のテーマ曲を抜粋。古くは、「風の谷のナウシカ」から「千と千尋の神隠し」までの曲を、我が法政大学工学部マンドリンクラブのOB平井朗氏が編曲したものに、更に現役部員の石川大介が手を加えて完成した作品です。映画を1シーン1シーン思い浮かべながらお楽しみください。

アルハンブラ幻想曲

スペインのギター音楽の鬼才、タルレガ (1854-1909) が、スペインの名宮アルハンブラ宮殿によせる若き日の思い出を物語った代表曲「アルハンブラの思い出」を藤掛廣幸氏が編曲した作品です。大きく2部の構成となっており、Allegro con anima で始まる前半部はギターの激しいストロークを中心にスペインの情熱的な感じを表しています。逆に、マンドリン、ギターソロ、ベースソロで始まる Andante cantabile molto espressivo の後半部は主にドラと1stがしっとり演奏です。それぞれのイメージに酔いさせてください。

雲の行方

本曲は、Phantasmal Overtureシリーズの第2作目として関東学生マンドリン連盟演奏会のために作曲されたもので、その後國學院大学の定期演奏会を機に楽曲の修正が加わったものが現在の版となっております。あの雲はどこから来たのか、どこへ行くのか自分でもわからない。しかし、遠くへ遠くへ旅を続けて行こうとしている、という、相反する複雑な思いを、青空に浮かぶ白い雲、嵐の前の黒雲、月にかかる灰色の雲といった様々な雲のイメージをモチーフに描かれたものです。(作曲者記)

-5-

パート紹介

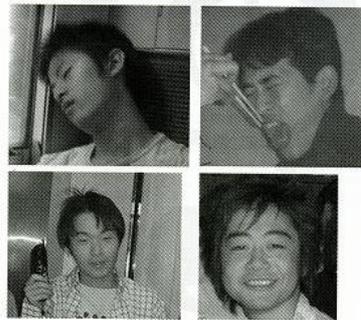
Conductor

うちの学校では現在、2年から4年まで一人ずつコンダクターをだしています。コンダクターの仕事は、基本的には曲をまとめることなのですが、うちのクラブの場合みんな好き勝手に弾くのでまず部員をまとめないといけないと先に進みません。そんなクラブをまとめる4年の加納さんも、もう引退というわけで最後に皆さんの記憶に残るような指揮を魅せてくれることでしょう。

...というわけで、コンダクターに注目!



1st Mandlin



左上から小玉、古賀、高橋、浦山です。仲良く4人組みです。



(おまけ) かのー

-6-

-2nd Mandolin-

宮下寛22歳と養毛裕一19歳のジェネレーションギャップのある2人は、音楽観の違いで悩んでいました。パート内で考えが違っていたのは、1つのまとまった音楽は作れません。マンドリンとは何か、音楽とは何か、オーケストラとは...こんな議論を繰り返して来ました。音楽に年齢は関係ありません。2人とも一歩も譲る事は無く、時には殴りあう寸前まで行く事もありました。ただ、良い音楽を作ろう、この信念だけは2人に共通していました。

2人は答えの出ぬまま、見合宿を迎えます。練習後の深夜はまた議論。しかし合宿3日目、練習休み中目のことです。2人はある一つの事実を見つめました。練習は嫌をつかない、と。考えより動け、ただ練習あるのみ。これが2人の出した最初の答え。もう十分考えた2人はそこからには無い練習の鬼と化しました。

学際も終わるころでしょうか、死に物狂いの練習で生まれた血染めのピクが1つ、また1つと増えるにつれ、2人の信念が距離を縮めたのです。そうです、やっとなんか気がつき見えたのです。共通の信念を手に入れた2人は無敵のヒーローです! 2人のハーモニーは、ここから向かいとして、相棒として急速に進歩したと言えそうです。

そして今宵の演奏会を迎える事が出来ました。あとはこれまでの思いを胸に、練習成果をステージに置いていくのみです。え? 2人の出した答えが知りたいならそれは2人の演奏、オーラ、表情、全てから感じ取って頂ければいいです。...え? 1人何も分らないか? しょうがないですね。今日の打ち上げ最中でしたら教えますよ!

DOLA PART INTRODUCTION



Akihiro Nakamura. Second Grader

Next year, he is alone. Because, on next concert, a player will become only one person in HTMC dola part. I pray that many new students enter the club and he gets the new dola players. At last, be fortunate until we play music together again...

Daisuke Ishikawa. Graduate

Hello, my name is daisuke. I live in Minamishingira city near Odawara city and Hakone town in Kanagawa. Tonight is my last concert in university days. But I'll be return. For example, next year...

2003 March Spring camp in Iwai



2003 September

Summer camp in Kawaguchi lake

-7-

Mandolon Cello

今年のチェロパは笑顔 200% !!



練習のモチベーションは、キースの弟さん! そのスマイルの力と強靭な精神はまさにアノチモノ一貫です!



素直に素直に素直に! 笑顔の期待の新星。そのやさしさで、ゼロへの愛情...まさにゴールデンドラゴーン!



もう... かけこれ! 1年ブレイクキープとしてこの前に多大な苦闘を乗り越ける男! ドクター・ストゥー

『夢』... それは全ての人望むものなんだよ。人はみんな努力したり助け合ったりしてそれを叶えようとするんだ。でもね、時にそれは過酷でくじけたりしちゃうこともあるんだ。なんでそうやってしまうかって?

それは人が辛いことを経験したり辛い日々をすごしてゆく中で、最初に持っていた純粋なものを捨てていく心が汚れてしまったんだよ。心が汚れてしまったらできることもできなくなっちゃうんだ。だから、心のお掃除をしなきゃいけないね?

そこで僕たちの出番なんだ。心にたまってる埃とベトベトした汚れ、その他いろんなものを掃除してあげるよ。どうやって? そんなこと、あんたたちになんかできるわけ? ...別に安い梅ジュースの果汁みたいな100%全てを取り除けるわけでも、ダズキンのマジックみたいなすっきり取り除けるわけでもない。じゃあなにができるんだって?

そっかっ... 投票くらいなら除けるようになったよ! あっ...でもまだ定数の曲が...って、そんなこと話してんじゃないよ!

僕らチェロパートにはチェロの持つ音楽の力と、どこにも負けないこの笑顔があるじゃないか! この2つの魔法の力を使って君たちの心の汚れをきれいにしてあげるよ。きつとあなたの『夢』が叫びますように...

Guitar

T Sato

ギターの人衆!

D Norio

T moribayashi

D Komiya

T Suzuki

Y Uenaga

-8-

ベース



右上の写真は根岸です。写真を撮る日に欠席しました。残念でした。
4年間マンドリン部に在籍しました。実は、マンドリンはあまり好きではないですが、ベースは大好きです。それよりも好きなのは、4年間演奏を共にしてきた仲間たちです。
マンドリンを弾く以外にも、彼は、そんなあいつらが大好きでした。
この部に入ってヨロハッター、

※写真中央：大野
※写真右上：根岸



上の写真がすべてを物語っています様に、大野慶晃先輩はお酒に酔うといつもこんな感じになり、とんでもない事をやらされます。みんなが飲み会の度に頭を悩ませていました。この状態になるともう大変です、誰も手がつけられません、まさに無敵です。

しかし、大野先輩は本当は勉強も運動も万端で、ベースもとてもうまく、それでいてカッコ良いです。そしてなにより後輩の面倒見の良さは誰にも負けません。ここまで自分のことについて真剣に考えてくれる先輩はもう生現れないと思います。大野さん大変お世話になりました。そしてお疲れ様です。

後輩より

卒業生 4年間の歩み

2000年	前期メンバー 宮下・佐藤・小林・橋本・橋本・石川・太刀川 入部
4月	1学期 練習、新歓にて「この先輩が言う名前?」という他校の女子大生の部員に対し、ある先輩Kに向かい名前が分からなかった「あそこいっつこいっつこいっつこいっつこいっつこいっつこい」と一語。
5月	加納・石川・大野・野口 入部 太刀川、一度きりの練習で引退。
7月	ムザジョとの初顔合わせ。石川つづれる。石川初めに先輩本宅に泊まる。小庄、寺澤、合コンに巻き込まれちゃって入部。
8月	小庄・加納・宮下ワークキャンプ参加。この中の誰かが帰るまで、ワーキャンを我慢する。
9月	初めての合宿。全員1年生の語録オーディション実施。そんな中橋本、先輩揃いに大浴場を襲撃するも以後全く練習参加なし。大野・野口、2人へ送り手書きポスターに束縛。
10月	1年生、練習せよんぜん行かぬ。先輩自らが初回の電話が来る。
12月	初の定例会合。そりまべりに全力を注ぎ、奮闘のコンチェルトで活躍の場に出ます。カワレリアでは先輩から思いから出すなどの指示を受ける。宮下・野口、ドッキリを演習のさいに1人の卒業生にはらす大失態。この時、大野戦力外のため退部せざる。本番でドッキリする。寺澤・橋本、四年生とともに引退。
2001年	ムザジョとのジョイント練習開始。相手校の指導者のあまりに驚かすことに合音も出る。しかし、小林は全く練習に参りない。一方宮下、「フレリコード2」全曲練習開始。合宿練習まで参加。
3月	春合宿前日。石川、浦和レッズに自薦の音。練習、登場で先輩全員に巻きつけて引退。合宿、小林が本番のマゾであることが判明。宮下、飲みで大活躍。今後飲み会の権威の座となる。合宿後、根岸先輩を叩きつけてジョイント相手校と後輩達に遊びに行く。(佐藤・小林欠席) 寺澤を宮下、最初の先輩陣にテイク。翌日、小庄、先輩陣に合宿の中で飲めさせる。
4月	2学期 小林、馬鹿に下ネタの言い過ぎで相手校コンダクターをぶち回れさせる。決めた合宿は前泊っていい。宮下「フレリコード2」全曲練習終了。石川、女子大のわい一掃大好き!以後女子大キャー。佐藤、新入生歓迎会未参加。春期に決まっていた合宿500円を払うくらいなら都合を諦めると断固拒否。みんな泣き止み受け入れる。ちなみにアドレスは「メガネネ」。(メガネネ) 女達の大野と女達の小庄、お合宿でばったり練習会。気まぎれ練習。野口、演奏会に出るの嫌。演奏会本番、3部演奏前に音を飲む。大野、2年にして一人ベースをやるの遅い大活躍を受ける。演奏会後、片づいて西側の練習を早くしよう。しかし、買ったのは次の演奏会前。ちなみに初演習責任者は先輩自任。総員金3600円徴収決定。佐藤、拾うのやめよ。小林未参加。
6月	部内演奏「Yesterday once more」を演奏。(野口欠席) 演奏の難しさと自分たちのレベルの高さを知る。今後の成長のきっかけになる。
8月	旅行よつこあーに行く。メンバーは石川・加納・小庄・宮下・先輩陣・先輩陣田 小庄、奥で練習アビュウ。先輩陣田、小田原・根岸先輩を誘って合宿。ワークキャンプ参加。小庄、大野を相手校を決める前に引かれる大失態。相手校は練習に決定!2日目、濡れてグロまわれの先輩を見て見せろりした宮下・石川・加納。かたや練習する小庄。野口、先輩のグロまわれスポンを弄ってやるが、スポンの中に入っていた異物も弄ってしまい、痛傷して下痢といふわかれ半額の500円を払う。ワーキャンを我慢する。
9月	練習会。小林、とうとう基礎練習を下ネタにすることに成功!小庄、痛でくっつけて引退されたトセロ出来ず。遅くの人にイタズラするの流行る。宮下、とうとうお金のコンパスに到着。打ち上げの酒中、石川・加納、合宿の場にタイプ、決される。加納・小庄、先輩陣田に後援を承諾される。
10月	加納・小庄・宮下、先輩伊勢屋の手紙に返信される。(うちの手紙はわり)しかし小林はよその予備はわり。一方石川、部のまわりにはない部員(野口・大野・佐藤)を「練習部」呼ばわり。
11月	先輩陣田に当時の2年に夕立しきれぬ先輩達。しかし、小林変化なし。加納はちよい引退!演奏会本番、またも練習に不参加。(2回目) 野口、またも練習に不参加。11月後にスケッチブックに書き添え。本番終わるの流行る。「フレリコード」にて大活躍。4年練習生の出来と自慢するも今後の成長のきっかけとする。加納、モーニング娘。メドレーでコンダクターデビュー。本番で初めて先輩を驚かすことに成功。石川ソロ大失態。宮下マイクデビュー。大野、打ち上げて先輩陣田に泣き上戸判。4年生卒業後、幹事代となる。佐藤、編み物で死んだらどういってコールを拒否技披露。
2002年	2月 春祭りのジョイント練習開始。前期の練習でいそなり「狂詩曲版」全部通され感動だにできず。たまたま芝居芝居全廃。今後の成長のきっかけになる。石川、女子大のパー練習やっばり大好き!!!

3月	練習会、3日が練習日と決まると約束。2日がメインになる。練習日は、大野は夕方に遊びがバドミントン。1000円程度でみんな30分程度おしゃべりした合宿後の合宿となる。おしゃべり合宿。1人が練習、合宿で先輩陣の練習の練習(1週間)に打ち、おしゃべり、おしゃべり。打ち上げ中、練習で「いーんーん」。加納一言で大野が練習を始めることに。おしゃべり合宿は先輩陣田にマゾされる。ひらひら打ち上げ中後半に引退。一方大野、打ち上げ大失態で相手校のコンパスを盗む(おしゃべり合宿)。
4月	3学期 野口、またも練習会に出るの嫌。(3回目) ジョイントコンサート本番。すっぴんの先輩。3部演奏に音を飲む。ジョイントとの練習なし。加納・石川、大野、練習会終了。練習会中合宿に引退。練習会に先輩陣田、スケッチブックに書き添え。相手校の先輩に引かれる。合宿、今後の成長のきっかけになる。
5月	野口、またも練習会に出るの嫌。(4回目) 練習会「YAMAHA」が練習で練習のコンパスを盗む。(野口欠席) 練習会中合宿に引退。合宿、今後の成長のきっかけになる。合宿、練習会中合宿に引退。合宿、今後の成長のきっかけになる。
7月	宮下、練習会中合宿に引退。(野口欠席) 練習会中合宿に引退。合宿、今後の成長のきっかけになる。
8月	練習会中合宿に引退。(野口欠席) 練習会中合宿に引退。合宿、今後の成長のきっかけになる。
9月	練習会中合宿に引退。(野口欠席) 練習会中合宿に引退。合宿、今後の成長のきっかけになる。
10月	宮下、練習会中合宿に引退。(野口欠席) 練習会中合宿に引退。合宿、今後の成長のきっかけになる。
11月	野口、またも練習会に出るの嫌。(4回目) 練習会中合宿に引退。合宿、今後の成長のきっかけになる。
12月	練習会中合宿に引退。(野口欠席) 練習会中合宿に引退。合宿、今後の成長のきっかけになる。
2000年	2月 練習会中合宿に引退。(野口欠席) 練習会中合宿に引退。合宿、今後の成長のきっかけになる。
3月	練習会中合宿に引退。(野口欠席) 練習会中合宿に引退。合宿、今後の成長のきっかけになる。
4月	練習会中合宿に引退。(野口欠席) 練習会中合宿に引退。合宿、今後の成長のきっかけになる。
4月	練習会中合宿に引退。(野口欠席) 練習会中合宿に引退。合宿、今後の成長のきっかけになる。
6月	練習会中合宿に引退。(野口欠席) 練習会中合宿に引退。合宿、今後の成長のきっかけになる。
8月	練習会中合宿に引退。(野口欠席) 練習会中合宿に引退。合宿、今後の成長のきっかけになる。
9月	練習会中合宿に引退。(野口欠席) 練習会中合宿に引退。合宿、今後の成長のきっかけになる。
10月	練習会中合宿に引退。(野口欠席) 練習会中合宿に引退。合宿、今後の成長のきっかけになる。
11月	練習会中合宿に引退。(野口欠席) 練習会中合宿に引退。合宿、今後の成長のきっかけになる。
12月	練習会中合宿に引退。(野口欠席) 練習会中合宿に引退。合宿、今後の成長のきっかけになる。

HOSEI Univ.
Mandolin Club

執行役員紹介

部長	吉賀 政弘
副部長	宮宮 大輔
会計	森林 毅
文通	河崎 典男
広報	吉賀 政弘
庶務	河崎 典男

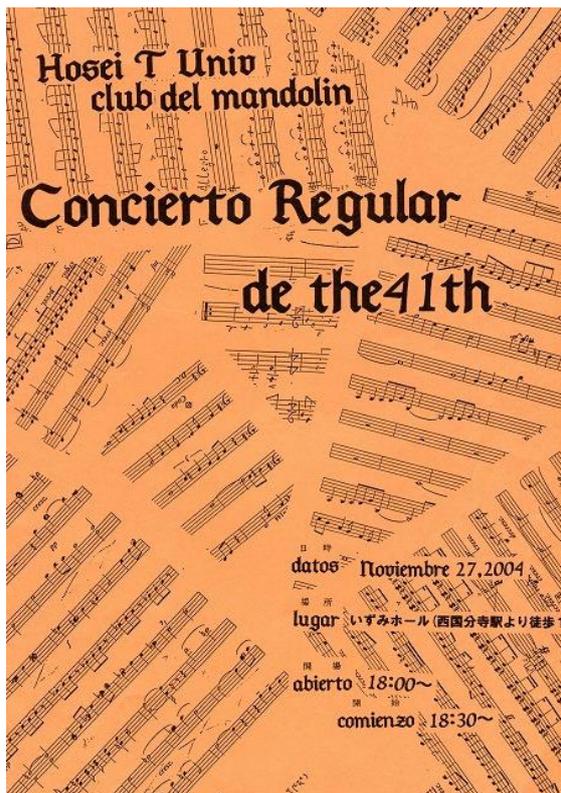
<4年生の皆様>

長い間ともありがうございました。

株式会社 ワグル・ツーリスト

〒100-0005 東京都千代田区千代田 1-1-1
TEL: 03-5561-4300
FAX: 03-5561-4305

〒100-0005 東京都千代田区千代田 1-1-1
TEL: 03-5561-4300
FAX: 03-5561-4305



～ご挨拶～

本日はお忙しい中、当部第 41 回定期演奏会に御来場いただき誠にありがとうございます。

演奏会のたびに足を運んでいただける皆様を支えられ今年も無事演奏会を開催することができ、部員一同感謝するとともに皆様の前で演奏できることを心より喜んでおります。未熟な演奏ではございますが最後までごゆっくりお楽しみください。

今年は新しく 3 人の部員を向かえ春のジョイントコンサート、夏合宿、依頼演奏などを経て団結力を高めて参りました。1 年生にとってははじめての、4 年生にとっては最後の法政工の部員としての演奏会です。

昨年は創立以来 40 回目の定期演奏会という節目を迎え OB 合同ステージを含む大きな演奏会でしたが、部員の減少により今年は 15 人での演奏会となります。しかし、少人数だからこそできること—マンドリンの特性を活かした演奏、また持ち前の“法政工らしい”演奏で 50 回へ向けてまた前進していければと思っております。

最後に本日の演奏会を開催するに当たり御指導、御助言をいただいた OB の方々、御協力いただいた関係者の方々、何より暖かく見守ってくださった団員の御父兄の方々に心より御礼申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ
部長 中村 明博

3

♭ PROGRAM ♭

～第 I 部～

- El Cumbanchero (作曲: R.Fernandez 編曲: 中野 二郎)
- RuRu (作曲: Marionette 編曲: 中村 明博)
- 「八つのバラード」より
星の子供
フィナーレ (作曲: 藤原 廣幸)

～第 II 部～

- Dancing Queen (作曲: ABBA 編曲: 山本 雅三)
- RIVER DANCE (作曲: Bill Whelan 編曲: 平井 郁)

～第 III 部～

- ロマン的セレナータ
『夢うつつ』 (作曲: U.Bottacchini)
- Prelude 2 (作曲: 古木 秀樹)

4

STAGE MEMBER

CONDUCTOR

古宮 大輔 (機械 4) (第 III 部)
鈴木 光彦 (情電電 3) (第 I 部)
浦山 恒太郎 (システム 2) (第 II 部)

CONCERT MASTER

古賀 政弘 (システム 4) (第 I、III 部)
高橋 宏和 (経営工 2) (第 II 部)

MANDOLINS

古賀 政弘 (システム 4)
浦山 恒太郎 (システム 2)
高橋 宏和 (経営工 2)
斎毛 裕一 (情電電 2)
吉井 友紀 (都市環境 1)

GUITARS

合河崎 典男 (機械 4)
古宮 大輔 (機械 4)
森林 毅 (機械 4)
鈴木 光彦 (情電電 3)
上永 祐太 (システム 2)
貴依 聡史 (都市環境 1)

MANDOLA-TENOR

☆中村 明博 (システム 3)

CONTRABASSES

☆飯村 浩明 (都市環境 1)
村里 真美 (賛助)

MANDOLON-CELLOS

☆内海 悟志 (情電電 3)
沼 義人 (経営工 2)

☆: 主催演奏者

5

～4年間のあゆみ～

2001年	古賀、榎原、藤、古宮、河崎、武庫
4月	
1年次	
5月	榎原の辞職が実行したことに、本人が困惑。標準語を勉強する。
6月	森林
8月	古宮、女子大と花火大会を企画するも、台風直撃であえなく食事もボウリング。大きく込む。 ワーキャン、金次で森林参加せず。ジョイント校練習開始に決まる。2日目、古宮バレーボール大会で最下位になり事件を飲む。さらに、飲みでリミットブレイク。藤丸周り7人に怪我を負わせた事件、酔いつぶれて後部進行。河崎、男トイレで倒れる。武庫の携帯がトイレに水没。
9月	初めての合宿。手選により森林参加せず。中日、先輩たちがお泊りの海に行っている時に武庫、古宮、藤、内田麻希に燃える！古賀、押入れ好きな事が判明。
10月	古宮、練習中にもかかわらず、メールを打つことから、榎原に『メールっ子』と命名される。小倉井公園で練習前にいつものあの子とバトミントンしていたところを先輩石川に目撃され、一瞬にして部長に伝わる。
11月	初めての定期演奏会。古賀、打ち上げでまたもリミットブレイク。3人に怪我を負わせる。 河崎、調子に乗らず急ぎアルコール中毒半前に陥り、トイレでぐったり。それを古賀が徹夜の番房、その数ヶ月にグロを吐かれる。この後、実は看病していたのは森林だと判明する。
12月	河崎、女子大との飲みで完全にセクハラキヤクとなり。
2002年	家政大学のジョイント練習開始。最初の練習でいきなり「狂詩曲『海』」を聴かれ、相手校とのギャップにたまる。平先輩河合が「法政工監合」をかける。
2月	古宮、津田塾の規則に戸を叩く。
3月	春合宿。古宮家の都合により参加せず。この頃から榎原、ブラック(復讐い)と呼ばれる。森林、引きこもる。
4月	女子大とボウリング。飲み会を開催する。
2年次	初めてのジョイントコンサート。本番前に榎原、武庫が体調を崩す。3部前、最悪な酔い酒を飲む。武庫、「酒は言葉の長」と言い始める。酒を飲む、背負って舞台に上がる。榎原、打ち上げになったとたん体調が崩れる。古宮、リミットブレイクにより家庭の2年生に心配される。4年生には「先輩の月をしよう」と辛口評語。
8月	榎原、ワーキャンに向けて勉強にライティングして相手校をためようとするが、持ち前のマイナス思考を発揮しオロオロする。
6月	部内演奏で、「I want it that way」を演奏する。藤、音楽性の違い(?)を理由に引退。 古宮、藤の穴を埋めるため、指輪から急ぎ2ndへ移行するも、トレキロができずソロがビッグキングになる。サッカー甲斐の影響を受け、古賀のコール「ガタイストーク、オレ！」が流行。古賀、完全に飲みキヤクとなり、開始1時間ですがるようになる。古賀、社会人団体デビュー。
8月	河崎、名前を「江崎」と見間違えられ、しばらくエザキと呼ばれる。ワーキャン1日目、榎原がおロオロする中、古賀がムリジョと話し合い、相手校をムリジョに決める。2日目、榎原がチューハイの酔いにお酒を入れ、一気に飲みを飲める。数名に目撃され「ブラック榎原」の称号を与えられる。
9月	夏合宿。中日、リッキーに目撃される。その日の夜、夜れのあまり練習の集合状況が悪く先輩からお叱りを受ける。5年不参加の森林、年主と一緒にオーディションを行う。ここでミスター博士の卵りを披露する。
12月	定期演奏会。古賀、「舞踏風組曲『ゴジラ vs モスウ』」で指揮者デビューを果たす。

2003年	榎原とジョイント練習開始。
2月	森林、引きこもる。
3月	春合宿。古賀、打ち上げでつぶされ、折られたみ式テーブルがつんである上で寝る。榎原、後のノートに近々やることをさりげなく書き込む。武庫、さりげなく引退。
4月	ジョイントコンサート。「海」のファンタジー」中絶で暴走しかけ、高冷やの演奏会となる。
3年次	古賀、打ち上げで後輩小夜より「コラコラ」をかける。
4月	河崎、セクハラキヤクを古賀に報告。しかし、新歓でキャンギャルのホットパンツに大興奮！
5月	榎原、他校からの演奏会のプレゼントを先輩にいたずらされる。キレて引退。
6月	古賀、部内演の相手校にムサジョを含め3校にしたことが原因になり、後輩にキレられる。それに対し逆ギレをし、持ち前のキレキャラを披露する。これを期に古賀の暴走が始まる...
6月	古賀、2度目の社会人団体での演奏会も、ほかの部長は皆女子大との飲み会を優先し、誰も見に来ない。部内演奏。森林と河崎、打ち上げ会場にて「みかんのおた(see machinegun)」で大フィーバー
8月	夏合宿。森林「ガタイ祭り」が流行り、飲み会序盤で古賀がつぶされることが増える(所要時間30分)。
9月	夏合宿。森林、先輩石川より「風クイン」コールを受け続ける。
10月	森林、〇〇と飲れたことが部長に知れ渡り、「モリハロオン」と呼ばれる。
11月	演奏会前、あまりに練習に参加しないガタイとパピオンに対し、先輩河合が脱税。
12月	定期演奏会。古賀コンマスデビュー。打ち上げで飲み会のコンマスデビュー。 第1回総人オラシキピック開催。元部員の榎原が優勝する。森林は観客が2位。河崎クック外。 河崎、自由会員の後の飲み会後、通行人にからみ、後輩が襲われる。相手校を引かせる。
2004年	ムサジョとのジョイントの練習開始。
2月	古宮、就職活動のためほとんど練習参加できず。大きく込む。古賀と森林、就職活動をさぼりまくる。
3月	ジョイント合宿。トップ校の選別に参加される。古賀、誕生日カードをもらうも届に送れる。
3月	森林、自宅前で自転車を盗まれる。この年は引きこもらず社会復帰。
4月	河崎の髪は依然に森林の名前が100件を超える。森林、ゲネには参加せず、打ち上げのみ参加。
4年次	河崎、×××に行き、「キヤクキ」と呼ばれる。
5月	ジョイント演奏会。河崎、元部員小夜に悪態を食われ、預えないまま演奏会に突入。古賀、ソロデビュー(8分前1つ分)。打ち上げ先輩として前に到着後、古賀先輩前打ち上げ、後輩から「21」、ガタイいっけんにしろ。」と怒られる。最終10分後に倒れる(史上最速)。
6月	森林、部内演には参加せず。打ち上げのみ参加。 元部員藤、立川で古賀のデート現場発見。
7月	前期打ち上げ。
8月	金マン。決戦下。韓国を解き演奏会には全員参加する。
9月	夏合宿。中日帰郷。打ち上げ完全燃焼。フィナーレで大フィーバー。河崎、酔って窓のガラスを割る。一枚1000円
10月	古賀、劇になり練習に来ない日が増える。しかしM女の後輩と大フィーバー
11月	4年生、忙い理由に練習にあまり参加せず。 古賀と河崎、年表作成で大喧嘩。パンツ係に迷惑をかける。 そして...最後の定期演奏会!!



Mandelin Club

執行役員部員紹介

部長	中村 明博
ステマネ	鈴木 光彦
会計	内海 悟志
合宿	内海 悟志
パンフ	内海 悟志
全マン委員	鈴木 光彦
OB委員	中村 明博



ご来場頂き、真にありがとうございました。

株式会社 **ワズル・ツーリスト**

〒180-0005 東京都荒川区西日暮里1-15-1
TEL: 03-62-43-4100
FAX: 03-62-43-4106
E-mail: mandelin@wazul.co.jp

代表: スーパー・ワズル・ツーリスト 代表取締役 中村 明博
代表取締役: 中村 明博

TEL: 03-62-43-4100
FAX: 03-62-43-4106
E-mail: mandelin@wazul.co.jp

2005年12月2日(金)

法政大学工学部 マンドリンクラブ 第42回定期演奏会

発表者 ○法政大学生 法政大学院生
開場 18:00～ 開演 18:30～
府中の森芸術劇場ウィーンホール

HOSEI

法政大学工学部マンドリンクラブ
The 42th Regular Concert
2005/12/02 (FRI)
OPEN 18:00- START 18:30-
IN 府中の森芸術劇場ウィーンホール(受付中歌より徒歩5分)

法政大学校歌

御招待

が命のかぎり
けてあま愛する母校
す宮の富士が峰の雪
門の外
き度つどい結べり
おほ わが母校
おほ わが母校
が命のかぎり
けてあま愛する母校
す宮の富士が峰の雪
門の外
き度つどい結べり
おほ わが母校
おほ わが母校

作詞 佐藤春夫
作曲 込野孝彦

法政大学校歌

青春の輝火
作詞 藤澤承久
作曲 岸野直太郎

一、
青春の輝火は高く
燃えたとす春草が船に
ああ法政学園の生命
演劇どこにあがる
法政 法政 各々が母校
二、
オレのその情熱に
その春に春草が船に
ああ法政学園の生命
青春に今こそくわたり
法政 法政 各々が母校
三、
新しい文化の理想
是れ用くが理想
ああ法政学園の生命
理想のあかり
法政 法政 各々が母校

～御挨拶～

本日は、私たち法政大学工学部マンドリンクラブ 第42回定期演奏会に御来場いただき誠にありがとうございます。

今年は多くの個性豊かな新入部員を迎え、演奏会に向けて夏合宿・学園祭などを通して練習に励んで参りました。日々の練習におきまして多くの問題で悩み、衝突することもありましたが、その中でたくさんのごことを学ぶことが出来ました。また部員同士がパート・学年の壁を越えて団結してきたと思います。

本日で引退する3人の4年生にとっては法政工としては最後のステージとなりますが、先輩方が今まで積み重ねてきた伝統を守り、教えて頂いたことを大切にしつつ、これからも部員一同精進して参りたいと思います。技術的には未熟な点も多々あるかと思いますが、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

最後になりましたが今回の演奏会を開催するに当たり、御指導・御協力下さいました諸先輩方、並びに関係者各位の皆様にご場をお借り致しまして心から御礼を申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ部長 沼 義人

b PROGRAM b

～第I部～

- ・祝典序曲「春」 (作曲: 藤澤 康幸)
- ・ロシア民謡「黒い瞳」 (編曲: 内海 悟志)
- ・狂詩曲「海」 (作曲: 鈴木 静一)

～第II部～

- ・卒業生演奏
- ・Swing Jazz メドレー (編曲: 中村 明博)
- ・STAR WARS メドレー (作曲: John Williams 編曲: 鈴木 光彦)

～第III部～

- ・大陸の西 (作曲: 坂野 慎哉)
- ・組曲「杜の鼓動」 (作曲: 丸本 大悟)

第3楽章 ～街の灯～

STAGE MEMBER

CONDUCTOR

鈴木 光彦 (情電電4) (第Ⅱ・Ⅲ部)
 浦山 恒太郎 (システム3) (第Ⅰ・Ⅱ部)

CONCERT MASTER

高橋 宏和 (経営工3) (第Ⅲ部)
 養毛 裕一 (情電電3) (第Ⅰ部)
 吉井 友紀 (都市環境2) (第Ⅱ部)

1st MANDOLIN

☆高橋 宏和 (経営工3)
 養毛 裕一 (情電電3)
 鹿嶋 将之 (物質科学1)
 仁保 陽平 (電情1)

MANDOLON-CELLO

☆内海 悠志 (情電電4)
 沼 義人 (経営工3)
 畑中 祐二 (経営工1)
 茂木 勝俊 (システム1)

2nd MANDOLIN

☆浦山 恒太郎 (システム3)
 吉井 友紀 (都市環境2)
 小柳 蒼寛 (機城1)
 服部 憲治 (システム1)

GUITAR

☆鈴木 光彦 (情電電4)
 貴塚 聡史 (都市環境2)
 天野 正博 (システム1)
 内海 恒亮 (システム1)
 水瀨 大輔 (システム1)
 河崎 典男 (OB)

MANDOLA-TENOR

☆中村 明博 (システム4)
 鶴川 岳夫 (機城1)
 斉藤 哲平 (システム1)

CONTRABASS

☆畑村 浩明 (都市環境2)
 青木 英明 (都市環境1)

☆: 主席演奏者

♪ 曲紹介 ♪

<第Ⅰ部>

祝典作曲「春」 (作曲: 藤井 康幸)

なんだか聞いたことのある曲です。
 これを聞けば踊り出すにはいられないでしょう。ふをふき、葉をあげ、枝を伸ばし、みんな元気に光合成です。
 一見同じようなフレーズは繰り返されるごとに転調しながら展開されます。場面ごとの切替えが軽快で、どこどこに現れるならかな旋律も相まって、春の清々しく暖かい空気が広がります。
 一見タバコ臭い私ですが、精一杯、清々しさを表現してみせます!

ロシア民謡「黒い瞳」 (編曲: 内海 悠志)

原曲はロシア民謡で、様々なジャンルにアレンジされたもののひとつ。歌詞も色々ありますが、なかなか切ないものなのです。
 題名となっている黒い瞳とは、他でもないあなたの瞳。出会ったときから、今このときも、その輝きは私を捉えてはなさない。
 あの日 あの夜の情熱よ
 愛情なのかいなのか 私に苦しみに戸惑うばかり
 私の思い出 思い出の瞳
 深く底知れぬ眼差しよ 私に苦しみに戸惑うばかり
 今なお輝く 思い出の瞳

狂詩曲「海」 (作曲: 鈴木 静一)

日本は島国である。よって「海」を主題とした曲は、身近に数多く存在する。その中で、マンドリンほど「海」を表現するのに適した楽器はないのではないかとと思われる。本曲は、「穏やかな静の海」、「経年の海のうねり」、「夕暮れのゆたかりとした海」、そして再びうねりへと、「海」の一日の情景を「静」と「動」を巧みに用いて見事に描き、またマンドリンの繊細性を充分に引き出してくれる曲ともいえよう。聴く者、弾く者、双方の気持ちを一気に盛り上げる名曲である。

<第Ⅱ部>

Swing Jazz モドレー (編曲: 中村 明博)

ジャズやるべえ!! 選曲会議は寝もたけなわ(?) よい感じに煮詰まってきたところでそう叫んだ。誰が? ... 誰だっけ?
 いやしかし確かに皆の耳にはその声がかえっていた。確実にい! ... おんななわけ、ある意味演舞一致、ある意味回答無用で決まったこの一曲、やるしかない! ... 承知れぬ私達のスタンディングに乗せてお送り致しますあす♪
 さて今回のモードレーに含まれる曲は次のうちどれでしょう。
 1. ちゃいらいこびん
 2. こいるいちゃびん
 3. ちゃいらいだこびん
 正解の方には、...

STAR WARS モドレー (作曲: John Williams 編曲: 鈴木 光彦)

この曲は、今年ついに完結したスターウォーズの劇中の曲をまとめたものである。構成は全編で用いられるメインテーマに始まり、EP2で本編の主役であるアナキンとヒロインであるパドメとの愛のテーマ、今では悪役の登場シーンには欠かせないダースヴェイダーのテーマと続き、シリーズ最高傑作と評判の EP5 のエンディングテーマで完結する。なお、お気づきの方も多いためと思われるが当演奏会の編曲は4年生全員が担当しており、この曲もそのうちのひとつである。

<第Ⅲ部>

大騒の音 (作曲: 坂野 慎哉)

坂野慎哉の MO 用の曲としては第4作品目にあたり、岡氏がポルトガルに何度か訪れた際の情景を音楽にしたもので、関東の学生団体にはしばしば演奏されている曲である。尚、作曲者の坂野氏は会社員で何年か過ぎた後、ヴィジュアル系バンドに参加し、現在では中学時代に始めたマンドリン合奏や、大学で演劇専攻であった経歴を活かしたビエロ(クラウン)パフォーマンズで各種イベント出演やボランティア活動をしている。

組曲「社の鼓動」より第3楽章 ～街の灯～ (作曲: 丸本 大樹)

社の鼓動は全部で3楽章から構成される組曲であり、それぞれ「樺の風景」、「魂の選る場所」、「街の灯」という副題がつけられている。「街の灯」は作者が都市でビルの立ち並ぶさまを「森」と比喩するところから曲想を得たものであり、人工的な建造物の立ち並ぶ「もり」、自然の動植物たちの住む「もり」がせめぎあいながらも融和を図ろうとする様を描いた曲である。

♪ パート紹介 ♪

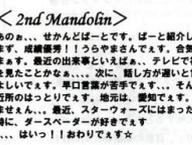
<Conductor>

ダクターの心算
 ひとつ 傍そくに踊ろうこと
 ひとつ 聞かないこと
 ひとつ 真けないこと
 ひとつ タクトで自分をつかないこと
 ひとつ 一人で泣かないこと
 今期メインコンダクターを務めるのは、4年生の鈴木光彦さんと、3年藤村浩明さんの背中を思いかけてきた僕(演出担当)です。僕が初めて鈴木さんを見たのはコンガを叩いている姿。軽快に、カウボーイハットまで被っちゃってカッコいい! 鈴木さんをコンガパートと聞いていた僕は、自分もコンガを叩く気運がした。しかし僕はダクターだと言う。背をまっ上上げる指揮者だと言う! 僕は針探さずしてダクターを志すしなくなりました。そうして鈴木さんの後を継ぎ続けた3年間。得たものはカール・マルクの厨と秘訣。世〇容顔のお気に入り履物。ありがとう。大切に引き継いで行きます!!



<1st Mandolin>

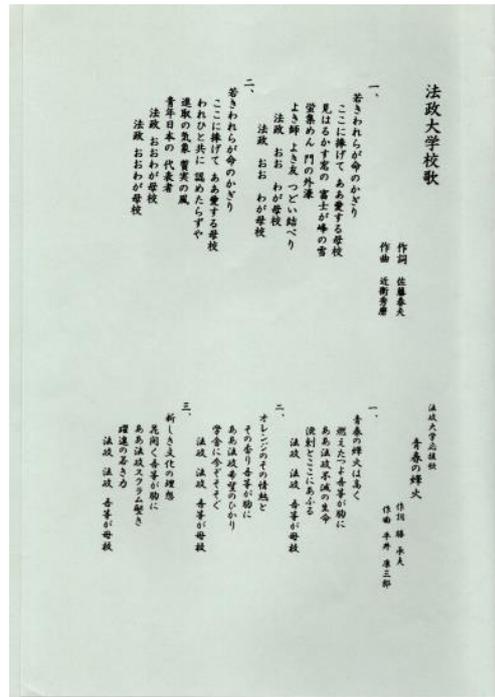
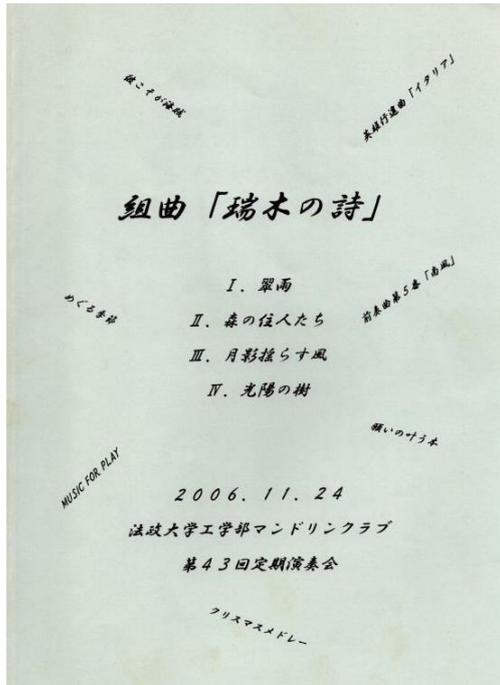
こんばんは、今期の演奏会の1STを紹介いたします♪
 まずは今年になつて演奏責任を委ねたカハシ。顔の赤さは演舞員に敵わないけど今夜も打ち上げ頑張ります!! お次は笑顔がムツリすけべなミノモ。金曲1STを頼めつつも演舞のゴミ掃除を欠かさない1STの業!! さてここからは今度デビューの新人達。1人目は又もといついついチャウシマ。本番中は表情に注目!! (笑) 2人目は顔に皺を掴めるニホ。打ち上げまで持ち帰る!! 卒業生が出ない強者がパート。他パートの卒業生を気持ちよく送り出すよう頑張ります!!



<2nd Mandolin>

あの... せんさんばーどです。ばーど紹介しまぁす♪
 まぁす、成績優秀!! うらやまさんです。合気道もやっています。最近の出来事といえば... テレビで初めて顔3中を見たことかな... 次に、顔1方が変わった...、よいいです。早口言葉が得意です... そんな、よしいと近所のはつとりです。地元は、鹿児島です。でも万博は、行ってません... 最近、スターウォーズはまったこやなです。特に、ダースヴェイダーが好きです
 ...、はいっ!! あわりてます*





～御挨拶～

本日はお忙しい中、私たち法政大学工学部マンドリンクラブ第43回定期演奏会に御来場いただき誠にありがとうございます。

本日の演奏会を開催するにあたり、夏合宿・学園祭などを通して練習に励んで参りました。日々の練習におきまして多くの問題で悩み、衝突することもありましたが、その中でたくさんの方を学ぶことが出来ました。また部員同士がパート・学年の壁を越えて団結してきたと思います。

本日で引退する4人の4年生にとっては法政工としては最後のステージとなりますが、先輩方が今まで積み重ねてきた伝統を守り、教えて頂いたことを大切にしつつ、これからも部員一同精進して参りたいと思います。技術的には未熟な点多々あるかと思いますが、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

最後になりましたが今回の演奏会を開催するに当り、御指導・御協力下さいました諸先輩方、並びに関係者各位の皆様へ厚く御礼を申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ部長 吉井 友紀

b PROGRAM b

第I部	・英雄行進曲「イタリヤ」	作曲：A. AMADEI
	・願いのうた本	作曲：丸本 大悟
	・めぐる季節	作曲：高橋 太志
第II部	・彼こそが海賊	作曲：Klaus Badelt
	～映画『バイレーツオブカリビアン』より～	編曲：山本 雅三
	・クリスマスメドレー	編曲：貴儀 聡史
	・MUSIC FOR PLAY	作曲：Claudio Mandonico
	I. ENTRATA II. CANZONA III. RITMICO	
第III部	・前奏曲第5番「南風」	作曲：加賀城 浩光
	・組曲「瑞木の詩」	作曲：末廣 健児
	I. 翠雨 II. 森の住人たち III. 月影揺らす風 IV. 光陽の樹	

STAGE MEMBER

CONDUCTOR

浦山 恒太郎 (システム4) (第Ⅲ部)
 内海 恒亮 (システム2) (第Ⅰ部)
 小柳 智寛 (電情2) (第Ⅱ部)

CONCERT MASTER

荻毛 裕一 (情電電4) (第Ⅲ部)
 吉井 友紀 (都市環境3) (第Ⅰ部)
 仁保 陽平 (電情2) (第Ⅱ部)

1ST MANDOLIN

☆荻毛 裕一 (情電電4) ☆沼 義人 (経営工4)
 吉井 友紀 (都市環境3) 畑中 祐二 (経営工2)
 鹿嶋 将之 (物質化学2) 茂木 勝俊 (システム2)
 小柳 智寛 (電情2) 北原 淳平 (システム1)
 西方 淳一 (DM1)

MANDOLON-CELLO

2ND MANDOLIN

☆高橋 宏和 (経営工4) ☆GUITAR 貴依 聡史 (都市環境3)
 浦山 恒太郎 (システム4) 天野 正博 (システム2)
 仁保 陽平 (電情2) 内海 恒亮 (システム2)
 服部 憲治 (システム2) 内海 恒亮 (システム2)
 秀野 嘉紀 (DM1) 永瀬 大輔 (システム2)
 三田村 茂和 (建築1) 山川 拓也 (電情1)
 安本 豊 (電情1)

CONTRABASS

☆飯村 清明 (都市環境3)

MANDOLA-TENOR

☆鶴川 岳大 (機械2) 青木 英明 (都市環境2)
 斉藤 智平 (システム2)
 河合 智之 (CS1) ☆: 主席演奏者
 曾我 真希人 (経営工1)

♪ 曲紹介 ♪

<第Ⅰ部>

英雄行進曲「イタリア」

作曲: A. AMADEI

この曲は行進曲である。
 曲名の通り、イタリアの兵隊さんのための行進曲であったのだろう。しかし、今夜だけは法政工の演奏者のための行進曲である。ただし「気がなることが…日本の行進は普通、全体、止まれ！！1、2！！1」と終わることは皆さんも知っているだろう。イタリアは「全体、止まれ！！1、2、3！！1」と終わるのだろうか…。この文の意味は曲の1番最後にわかります。是非、注意して聴いて下さい。

願いの叶う木

作曲: 丸本 大悟

願いの叶う木…こんな木が存在したらどんなに良いことだろう。全ての人にそれぞれの願いがあるはずだ。どんなに叶いっこない願いでも、せめてこの曲の演奏中は自分の願いを叶えてほしい。曲中に5人のソロ奏者が登場する。きっとこの5人は皆様の願いを叶えてくれる聖者に違いない。

めぐる季節

作曲: 高橋 太志

この曲はその名の通り「季節の移り変わり」を表現した曲である。今年も残り1ヶ月。すっかり秋が深まり、街が冬支度を始める今日、皆様が進んで来た1年を思い返してほしい。
 新しいステージに立った春、照りつける太陽と共に燃え尽きた夏、夏の日照り減り冷ましてくれた秋、そして、これから深まっていく冬。水気に繰り返す季節…。皆様は、これからどのような季節を繰り返していただくのだろうか。

<第Ⅱ部>

彼こそが海賊

作曲: Klaus Badelt 編曲: 山本 雅三

ディズニーランドのアトラクション「カリブの海賊」をモチーフにした映画「パイレーツ・オブ・カリビアン」は、17世紀、海賊たちが大海原を荒らしまわっていた時代、魔の海を舞台に壮大なスケールで描いた作品。この壮大な世界を支えたメインテーマ「彼こそが海賊」の迫力あるサウンドをどうぞお楽しみください。

クリスマスメロデー

編曲: 貴依 聡史

クリスマスまであと一ヶ月！街中がクリスマス色に染まる季節になりました。街にはたくさんさんのクリスマスソングが溢れているでしょう。そんなクリスマスソングの中から「ジングル・ベル」、「クリスマス・イブ」、「職場のメリークリスマス」、「ラスト・クリスマス」、「いつかのメリークリスマス」をメロデーにしました。一足早いクリスマスをマンドリンでお楽しみください！

MUSIC FOR PLAY

作曲: Claudio Mandonico

作曲者のクラウディオ・マンディニコは1957年イタリア生まれで、現在も作曲家、指揮者として活躍しています。本曲は三楽章で構成されており、息を呑むような緊迫感のある一楽章、ゆったりとしたリズムで切ないメロディの二楽章、一転して力強くリズムカルな三楽章、とそれぞれ違った楽しさのある作品です。

<第Ⅲ部>

前奏曲第5番「南風」

作曲: 加賀城 浩光

作曲家である加賀城浩光は1961年宮崎県生まれ。マンドリンバンド、楽団などで多様な活動を行ってきた。彼の演奏はマンドリン音楽の中でも新しいジャンルを生み出すような斬新な空気を感じるものが多く、また彼の生み出す楽曲にも強くそれを感じることが出来る。本曲は作者が鹿児島最南端の与論島に行ったときに書いたものである。

ギターソロから始まる。ゆったりとした雰囲気の中、マンドリンの軽やかで優しい音色が響きます。海から大地に流れる風のように、揺れるテンポに乗って皆様に心地よさが届けばと思います。

組曲「瑞木の詩」

作曲: 末廣 純児

4楽章からなる組曲「瑞木の詩」。この曲の魅力といたら、そのせいで未熟な私たちがまでもがこの種曲を演奏しようとする気持でしまったのだ。聴くたびに新しい音に気づかされ、じっと耳を澄ましているとまるで森の中に迷い込んだかのような気分になります。雨が降れば青葉を広げ、風が吹けば枝を揺らし、共に生きる動物や虫たちを優しく抱きかかると、夜なれば月の光に戯れて、そして朝になれば陽の光を全身に浴びて輝く森。命を廻らせ若々しくあり続ける、そんな森を感じます。
 私たちの感じた感動の少しだけでも皆様に伝えることができれば幸いです。

♪ パート紹介 ♪

<Conductor>

むかし、むかし、なげいとうっちはいました。なげいとうっちは仲良く、川原の浅瀬に洗濯しに行きました。すると！川の向うから橋がドンブラコッコ、ガンチャラホイ、ウラウラと流れてきました。なげいとうっちは、橋を掛り上げ、切ってみました。すると男の子が出てきました。2人は、その子を「彼女」と呼びました。彼女にはスクウガ、親しみが湧くほどの指揮者に成長しました。なげいとうっちは彼女に憧れ、指揮を習いました。
 そして、今度、彼女はなげいとうっちを選んで指揮をしにここに来たのです。



<1st Mandolin>

突然忘れていたあの気持ちが・・・心をワクワクさせるあの感覚が・・・懐いてきた・・・一目・・・妻を見ただけで・・・たった、それだけで・・・運きの板でも形跡すべきか、とんでもないアツクシラントに見舞われた・・・それは・・・誰か、いつか・・・こんな日が来ると思って・・・一生懸命練習してきた成果が、ここで発揮されることをうれしく、そして不安をもって・・・あなたにお届けします♡



<2nd Mandolin>

こんばんは！今夜の2ndマンドリンパートのメンバーは、今日で引退してしまう、いつも離れてきて・・・UNO? MEI!!?、アツクシラントピロコ、泣かせた女は、数知れず・・・ハルウラ、そして、最近やっと練習したH TMC抱かれた男NO.1とさわやかな笑顔でも顔の中はエロい2年コンビ、最後に、今夜ピロコ!!今日は、どんな運命が待っているワリーポッターと、ハンカチ王子ちゃん、今夜の大嵐断人みっちゃんです。



<Mandola Tenor>

これは専業に基づき構成されたドラム部の真実である。まず1日目、サッカードラム部編成、高選手に似ていることからこの名がついた大黒！しかし最近の飲み会ではボッコツコルが・・・2人目は楽園土庫から御用隊でやってきた。最近なぜか光が降りていく気がする先生である。3人目はモチモチがトレードワークのいいももももである。その頃の光はいつか（笑）、最後に楽園フリーザからやってきたゾグ！がはは！今日は楽園を征服した来たのだ！このドラム天王が今日は楽園にいろんな意味で楽園を打ち込むのである！



<Mandolin Cello>

僕、セロ買おうと思いましたが、けど、ギブソンのアコギに興味がありました。
 僕、ぽんちゃんには卓球負けちゃうけど、別に勝つ必要ありません。
 僕、ゲームセンターはフィクションだと思ってました。
 僕、自宅練習中です。でも対人対戦部じゃないよ。
 オマケのリュックを買ってみたい。メイドさん雇うために2時間働いたこともありましたが、
 食費あるけど、食べるの音手だったり、
 ジュース買おうと思ったら小銭が機嫌に足りなかったり、
 こんな飯屋5人ほっといても仲良くして、ホントに仲良くしてよー。



<Guitar>

華麗な音を生み出すキッドさんはとっても頼りになるNo.1キッドです。現在、「絶対王政」中。誰れも誰れに逆らえませんが！
 運命のマルツチ。彼は、まぎれもなく運命です。彼を演ずるために降り注ぐ「キター」コール。自己紹介は、エンドレスに「キター」コール。聞き覚えに「そして彼は・・・」
 最後の病人！もはや2年生を病みやす存在です。ジョイント部員でNo.1. 2になる予定とか・・・
 指揮するキター！キターとキターの両方を行う面白い。O.Bの跡本さんの再来となるか！
 バイトの病人。真実みかたは、練習そっちのけでバイト三昧。でも夏休みが終わったら練習一貫！実は意外と無い。



<ContraBass>

10月7日は今日は練習をしました。音楽はなぜかスツブでした。そういえばニモさんの機嫌がわかりました。
 10月8日は最近ニモさんは悪くなりながら弾けるようになりまし。音楽はなぜか今日はサングラスでした。今日はケータイをいじって浦山さんに怒られました。
 10月9日は今日は練習が休んでました。うれしかったです。
 10月10日は今日は2人とケータイを買いにいってました。うつとなぎさんにられました。
 10月11日は今日は2人と練習をしました。寂しかったです。
 10月12日は今日はベスの紹介文を書きました。演奏会が楽しみだなと思えました。



◆執行役員紹介◆

部長：吉井 友紀

ステマネ：貴儀 聡史

会計・合宿：飯村 浩明

パンフ係：吉井 友紀

全マン委員：吉井 友紀

★来年度ジョイント演奏会情報★

法政大学工学部マンドリンクラブ

&

昭和女子大学マンドリン・ギタークラブ

&

相模女子大学マンドリンクラブ

ジョイントコンサート 2007年4月27日(金)

府中の森芸術劇場 ウィーンホール(東府中駅より徒歩5分)にて

<予定>

4年間の歩み

2003.4	沼、東京に憧れて上京。
2003.4	入学。初々しい1年生でした。
2003.5	沼、養毛、浦山、高橋、上水入部。
2003.6	高橋、当たり前のない付き合い方を覚える。 沼、養毛スタスタデビュー。
2003.7	前期打ち上げ。始めて見る先輩方が多くて戸惑う。
2003.8	ワーキャン。 高橋の女子大キャラ確定。
2003.9	合宿 in 河口湖。浦山さん、ピアノ披露。 養毛、練習中にもかかわらず酔った中村先輩にからまれます。
2003.11	養毛、練習にこない。
2003.12	定期演奏会。養毛、微動だにできず。 忘年会。
2004.1	年明け。高橋みんなにメールを送る。
2004.2	ジョイント。選曲会。浦山、中村先輩に別れを告げて休部。上水も休部。 みんな悲しむ。沼悲しまない。 養毛、練習にはいたい遅刻。
2004.3	ジョイント合宿。沼、ミステルを歌いながら回る。
2004.4	問題児よしい入部。大いに期待する。 養毛、ステマネやりたくない。浦山を連れ戻すことを決意。
2004.5	ジョイント演奏会。養毛、練習の大切さに気づく。浦山、片付けに参加。 浦山、養毛に飲み会に誘われ、終電で新宿へ。
2004.6	部内演。浦山、上水復活。みんな喜ぶ。沼号泣。(ふり)
2004.7	浦山、主席となる。ボケッマナーがたんまり。
2004.8	ワーキャン。浦山、酔いつぶれ沼に運ばれる。 養毛、酔いつぶれ量の上で平泳ぎ。残念ながら、金メダルを逃す。
2004.9	合宿 in 苗場。合宿所のレミねえにアイスおごってもら。沼、号泣。 高橋、技術ではなくマンガを持ち帰る。
2004.10	高橋、オールダウンの極意を披露。
2004.11	浦山スアッドに落ち。先輩河崎を恐む。 定期演奏会3日前 高橋のMY楽器完成。我が子のように慎重に扱うも、翌日には弦を切る。 定期演奏会 高橋コンマスデビュー、ソロ失敗のオールダウン成功☆
2005.1	年明けました。高橋みんなにメールを送る。
2005.2	ジョイント開始。沼、いろいろあって泣く。養毛もらい泣き。

2005.3	ジョイント合宿(高橋、酒に飲まれてギタートップに告白) 浦山、後輩貴儀の携帯を洗濯する。
2005.4	花見。養毛さぼる。浦山インフルエンザになる。お見舞いされる。 浦山、スアッドにうかる。ステマネメール100通をこえる。やる気上昇。 ジョイント演奏会。養毛、コンマスデビュー。“風の大地”に大苦戦 高橋、浦山、ほっと一息。
2005.9	合宿(in 苗場2) 養毛、先輩森林と冬ソナにはまる。 先輩河崎のおかげでレミねえにおこられる。
2005.10	共立の文化祭賛助に出る。高橋、譜面を1行飛ばして弾いて共立の人に キレられる。 昭和女子の演奏会賛助にも出る。養毛、アラジンが弾けない。 浦山、セロがうらやましい。そしてアラジンが弾けない。 高橋、バイトでアラジンが弾けない。降誕祭の夜が弾けなくて凹む。
2005.11	武蔵野大の進行係。沼、「はいてんばつー」。コンミス、驚愕！！ 演奏会。養毛、一曲目の「祝典序曲 春」で撃沈。トイレにこもる。 高橋、トリ曲「杜の鼓動 三楽章」で後輩貴儀との2ソロ失敗。 養毛、トリ曲「杜の鼓動 三楽章」で重大なミス。曲が止まりかける。
2005.12	全マン演奏会。高橋さぼる。養毛ぶっつけ本番。二人ともキレられる。
2006.1	新年。高橋みんなにメールを送る。
2006.2	家政ジョイント。沼ついに輝く。が、相手校の指揮者に笑われて、泣く。
2006.3	ジョイント合宿。沼、落書きをはじめ。
2006.5	ジョイント演奏会。高橋、リボンつける 浦山、単独ステージでドラデビュー。色んな人から誉められて調子こく。 ジョイント仕上げ 浦山、飲み過ぎて吐血。高橋レスキュー。
2006.6	部内演。浦山、念願の☆コント相手校の●川隊長に認められる。 養毛、念願のガラシを先輩鈴木に披露して演奏。
2006.7.11	養毛の誕生日☆ビックリパーティー。沼、欠席。
2006.8	ヌマンシアツアー。沼パワー全開。はりきりまくる。
2006.9	合宿。高橋、ゼミを理由に不参加。浦山、人生を語る。 沼、後輩天野に涙ながらに土下座。
2006.10	ゲネ、浦山、みんなの出来の悪さにキレル。沼、打ち上げで、沼さんしつ かりしてください！と後輩に叫ばれる。
2006.11/24	演奏会本番。沼は再度輝くことができるか、高橋は仮装するのか、養 毛はまたトイレに閉じこもるのか、... うらやまタクトはもったか、

問1.沼は何回泣いたでしょうか？

答えは僕に聞いてください

< 広告 PAGE >

焼き鳥の美味しいお店

スタミナの城

大小宴会 受け賜ります
JR 中央線 東小金井駅 北口前
TEL 042-(381)-9602

ハーブ香る 富士五湖 河口湖畔
音楽、ゼミ、ダンス

民宿 花園

小佐野 近

〒401-0310 山梨県南都留郡富士河口湖町藤1-1154
TEL 0555-83-2453
FAX 0555-83-2943
<http://www.t.usane.jp/misun/honshukuhanazono/>

創業60周年
おもと専売専門店

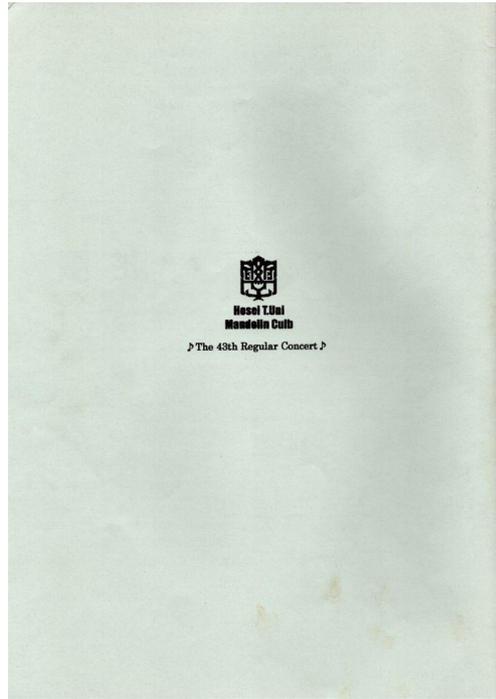
TEL 011-2441-2141 (FC)
URL <http://www.setmani.co.jp>

株式会社
ワイル・ツーリスト

〒190-0003
武蔵野市吉祥寺南町 1-15-1
TEL 0422-43-4100
E-mail nosaka@wtr.co.jp

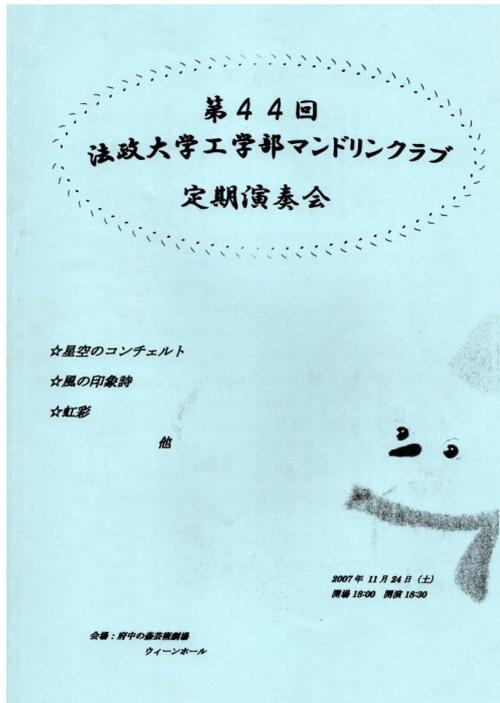
音楽・スポーツ・セミナー企画・
貸切バス等の予約承ります。
【お気軽にご相談ください】

広告にご協力頂いた皆様に部員一同心より感謝いたします



Hesel T'Uni
Mandolin Club

♪ The 43th Regular Concert ♪



法政大学校歌

作詞 佐藤泰夫
作曲 近衛秀磨

一、
若きわれらが命のかぎり
ここに捧げてああ愛する母校
見はるかす窓の 富士が峰の雪
望集めん 門の外濠
よき師 よき友 つじい結べり
法政 おお わが母校

二、
若きわれらが命のかぎり
ここに捧げてああ愛する母校
進取の風 奮発の風
青年日本の代表者
法政 おお わが母校

三、
青春の輝天は高く
燃えたつて 吾等が胸に
ああ法政不滅の生命
深淵どこにある
法政 法政 吾等が母校

オレソンのその情熱と
その香り 吾等が胸に
ああ法政希望のひかり
学舎に今ぞそそく
法政 法政 吾等が母校

新しき文化の理想
見聞く 吾等が胸に
ああ法政スクラム堅き
理達の香き力
法政 法政 吾等が母校

～御挨拶～

本日はお忙しい中、私たち法政大学工学部マンドリンクラブ第44回定期演奏会に御来場いただき誠にありがとうございます。
このような演奏会を開催できますのも、皆様の温かいご支援によるものと部員一同、心より感謝しております。
本年度も新入部員を迎え、演奏会に向けて夏合宿・学園祭などを通して練習に励んで参りました。今日この日までの練習におきまして、部員それぞれが多くの問題に悩み、衝突することもありましたが、その中で多くのことを学ぶことが出来ました。また部員同士がパート・学年の壁を越え、1つの音楽を創り上げるため団結してきたと思います。
本日で引退する3人の4年生にとっては法政工としての最後のステージとなりますが、先輩方が今まで積み重ねてきた伝統を守り、教えて頂いたことを大切にしつつ、これからも部員一同精進して参りたいと思います。技術的には未熟な点も多々あるかと思いますが、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。
最後になりましたが、今回の演奏会を開催するにあたり、御指導・御協力下さいました諸先輩方、並びに関係者各位の皆様にご場をお借り致しまして心から御礼を申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ部長
齋藤 哲平

♭ PROGRAM ♭

第Ⅰ部		
・ からす	作曲：藤掛 廣幸	
～「バラード第一組曲」より～		
・ 風の彼方へ	作曲：大村 慎一	
・ 星空のコンチェルト	作曲：藤掛 廣幸	
第Ⅱ部		
・ Bittersweet Samba	作曲：Sol Lake	
	編曲：茂木 勝俊	
・ 懐メロメドレー	編曲：貴侯 聡史	
・ 風の印象詩	作曲：細野 昭美	
第Ⅲ部		
・ 星の航路	作曲：柴崎 利文	
・ 前奏曲第3番「旅立ち」	作曲：加賀城 浩光	
・ 虹彩	作曲：丸本 大悟	

☆Stage Member☆

CONDUCTOR

小柳 智寛 (電情 3) (第III部)
 内海 恒亮 (システム 3) (第I部)
 三田村 茂和 (建築 2) (第II部)

CONCERT MASTER

吉井 友紀 (都市環境 4) (第I部・第III部)
 安本 豊 (電情 2) (第II部)

1st MANDOLIN

吉井 友紀 (都市環境 4)
 仁保 陽平 (電情 3)
 安本 豊 (電情 2)
 藤塚 公輔 (機械 1)

MANDOLIN-CELLO

茂木 勝俊 (システム 3)
 西方 淳一 (DM 2)
 石黒 幸介 (CS1)

2nd MANDOLIN

鹿嶋 将之 (物質化学 3)
 小柳 智寛 (電情 3)
 服部 憲治 (システム 3)
 秀野 嘉紀 (DM 2)
 三田村 茂和 (建築 2)

GUITAR

貴嶋 聡史 (都市環境 4)
 天野 正博 (システム 3)
 内海 恒亮 (システム 3)
 永瀬 大輔 (システム 3)
 山川 拓也 (電情 2)

MANDOLA TENOR

鶴川 岳大 (機械 3)
 齋藤 哲平 (システム 3)
 河合 智之 (CS 2)
 増倉 隆 (CS1)

CONTRABASS

飯村 浩明 (都市環境 4)
 青木 英明 (都市環境 3)

♪ 曲紹介 ♪

<第I部>

からす (作曲：藤掛 廣幸)
 作曲者の藤掛廣幸さんは1949年1月31日生まれ、出身は岐阜県です。1977年に世界三大コンクールの一つであるエリザベート王妃国際音楽コンクール作曲部門において、日本人として初めてグランプリを受賞しました。今回、演奏する「からす」という曲は、バラード第一組曲の中の一曲にあたります。

風の彼方へ (作曲：大村 慎一)
 作曲者の大村慎一さんは、一橋大学・津田塾大学マンドリンクラブ、ジュネスでギタートップを務め、日本マンドリン連盟主催の第1回マンドリン室内楽コンテストで大賞を受賞されています。
 曲調としては、風爽としたイントロから始まり、途中、マンドリン、マンドラによる静けさを表現する掛け合いを経て、最期はやはり、風爽とした感じで曲の終わりを迎えます。いかにも風を表現しているかの如く、風の吹く風爽とした様子がおおいに表現されています。皆様も風の中にいる感じで私達の奏でる音を楽しんでください。

星空のコンチェルト (作曲：藤掛 廣幸)
 曲調は前半部分の美しい旋律から、静かな夜空のイメージが徐々に浮かびます。曲が進むにつれ、だんだん盛り上がり「バスターナルファンタジー」を思い起こすメロディが流れます。この場面は夜空に流れ星が激しく力強く飛び交っているイメージが湧いてきます。この部分は各パートが協奏して、とてもドラマティックな盛り上がりを見せます。そして再び美しい旋律が流れ、最期にはいかにも星の持つ美しくも強大なパワーを表現しているかの如く終わりを迎えます。

<第II部>

Bittersweet Samba (作曲：Sol Lake)
 お酒のCMや深夜のラジオ番組オールナイトニッポンなどに使われていた為、聞き覚えがあるだけでなく懐かしいと感じる人も多いであろう一曲です。元々はハーブ・アルパート&ザ・ティファナ・プラスというバンドが演奏していたもので、それをマンドリンオーケストラ用に編曲しました。なんだか楽しくなるようなリズムとメロディーをお楽しみ下さい。

♪ パート紹介 ♪

<Conductor>

はいっ！嬉しかったです、ほうせいちゃんね。あなた心の友三田村です。私の詳細に関しては僕の2nd紹介のコーナー参照です。いやね、最近ギターやらせてもらってるんですよ、ギター、でも、全然楽しいじゃないですか。じゃあ、ここでギターの手順紹介！いつも冷静沈着な小嶋さん一騎の身ごなし。爽やかさMax内海さん一歩高い。二人もすごいんですよ。何がすごいって小嶋さんの身振りはスパイダーマン顔負け。あと内海さん、僕の軍師はみなさんの自己紹介で本領発揮ですよ。もうね、尊敬ですよ。認めたい。小一時間後の幕りしたい。うん、尊敬すべきはそこじゃないね。はいじゃあ次のコーナー1は紹介してあげよう！(DJっぽい声に音内換装してお楽しみ下さい)



<1st Mandolin>

【話者のいちゃんをY】
 ・ここは既読済みありません！！愚考が読めない！ヨシ=SY
 ・今日は勝手に泣きます！！空気が読めない！ニホ=KY
 ・いまだにドレミ歌っています！！譜面が読めない！ヤスト=FY
 ・ある意味大物1年生が今年も登場！！女の好みが読めない！アジツカ=OY
 以上、今夜は4人がみなさんを感動の世界に！！By FY



<2nd Mandolin>

私は夏合宿の写真に手を伸ばす。2ndの君々の写真を指す。
 1 校目：おにぎりハーの鹿嶋さんが寂寂のおばさんを口説いている。おばさんはメロメロである。
 2 校目：3年進級したい男No.1の鹿嶋さん。案にいい笑顔である。
 3 校目：クールな天塚・なぎさんが練習している。熱心である。
 4 校目：みっちゃん……これはすごい……これは見せられない。彼についてはギターを参照。
 ……あれ。私(しょーの)の写真が一枚もない……。



<Mandola Tenor>

僕らは心が綺麗な人達には見えません。ドラの黄色い心が読めない！聞こえないんだ。でも僕ら僕らにも名前はあるよ。ちよっと、ちよっとちよっと、ポコアポコアモカタンビレふいなるうえぽん。アルテマ=タカシ
 風の録音機、シラタマ=ウワード=エルリック
 とどここ〜送るよ。
 ゴッドハンドインフィニティハムスター=G=サイトウ
 この名をその心に響け！



<Mandolon Cello>

白き MAX モテインチャク。
貴族にコーヒーはかかせない。
今日も元気に。
「甘き MAX、マックスコーヒー」

黒き MAX、ジャガー。
強を見るも強顔のように逃げる。
今日も元気に。
「赤ク、ジャガー、トイレ」

ゼロの子化に悩むそんな二人。
…しかしクロの私入で涙の幕開けが！?



<ContraBass>

3年間のあゆみ

- 巨大熱帯魚にモモに出会う
- 青木、ニモのフェロモンに悩まされる
- 恋に落ちる
- 2人きりの幸せな日々
- 某社長によって2人そらって捕縛される
- 監禁&しごきに耐える毎日
- 無事生きて解放
- 再び隠れた平穩
- ライブ出演→脱獄、青木失態
- しかし、あきらめきれぬこの想い
- 監禁の壁へついに肉関係 (右写真)
- しかし隠れの時送る！?



<Guitar>

山川「天野さん、それギターじゃなくてはたきです！」
A野「でもそんなの関係ねえ！」

永瀬「天野が今日も熱い音」
天N「でもそんなの関係ねえ！」

内海「天野がボケメン集めてる」
あOの「でもそんなの関係ねえ！」

貴族「天野がイトロを使わない」
天野「でもそんなの関係ねえ！」
でもそんなの関係ねえ！
でもそんなの関係ねえ！」

「はい、オッパッピー(´▽`)」



◆執行役員紹介◆

- 部長：齋藤 哲平
- ステマネ：服部 憲治
- ：鹿嶋 将之
- 会計：鶴川 岳大
- パンフ係：永淵 大輔

★来年度ジョイント演奏会情報★

実践女子大学マンドリンクラブ
&
法政大学工学部マンドリンクラブ

ジョイントコンサート 2008年5月3日(土)

府中の森芸術劇場 ウィーンホール(東府中駅より徒歩5分)にて

<予定>

※ホールで出たごみは、各自お持ち帰りください。お願いします。

4年間の歩み

2004年4月	問題児吉井・飯村・貴族・立浪(イチロー、佐々木)飯入部*
6月	立浪自己紹介で中央線中野止まり臭 貴族5打数5安打 飯村森で熊さんに出会う♡ 飯村〇ーコさん 3人スタンスデビュー
8月	立浪引退♡ 飯村三度森で熊さんに出会う♡♡ 吉井ワーキャンであっさ〇に出会う♡ 飯村盗撮にあう♡
9月	合宿 屋根裏でビデオ鑑賞♡
10月	吉井初の1年会の幹事をする♡
11月	飯村森で熊さんに逃げられる♡ 初定演♡ 飯村超人になる♡
2005年2月	合宿でヒ〇コさんがねビヨト 貴族、〇水さんにギター指導ビヨ
3月	合宿で貴族ケータイ洗われるビヨト
4月	飯村飯入生に白い巨塔と命名される♡ 飯村新動でヤンキーに生卵を放まされる♡ ジョイント貴族誕生日、ソロに緊張し発熱ビヨト 吉井演奏会で楽器を持っていただけビヨト 吉井頭に異物混入一路上で熟睡♡ 吉井の不甲斐なきに先聲浴幻滅♡
6月	部内演で吉井、飯村、貴族玉碎** 貴族もみ上げ mu-cho になる♡ 飯村ワーキャンで女子風呂にやたら興奮♡ 貴族階段で一夜を過ごす♡ 3人それぞれ愛知万博に行く♡

9月	合宿打ち上げでブライド獲祭り、吉井お清めされる*
11月	学祭で長州生小力を見て興奮、先輩に怒られる*
12月	メロパンと再開♡ 貴族定演会場に遅刻、府中ではなく調布へ。+
3月	合宿、吉井風邪ひいて練習欠席も気付かれず*
4月	花見のために朝8時だよ、全員集合♡ www貴族ケーキでお祝いwww
5月	ジョイント演奏会 アナウサー感涙ト 吉井ソロデビュー☆ 打ち上げにて吉井・飯村いろんな意味で貴族に迷惑かける矣
6月	飯村部内演にてパッションパッション☆ 部内演、法政工 featuring ヨーコ結成 Signを弾くも失敗*
9月	飯村合宿であまの氏に土下座♡ 合宿で『珊瑚樹の詩』を全く弾けず*
11月	演奏会2週間前にやっとな珊瑚樹が弾ける♡ 2回目のSignも失敗**
12月	よいいサンタクロース、コンビニに行く♡
2007年2月	ジョイント練習開始 吉井・貴族初日から遅刻。飯村は欠席。* 最後のバレンタイン チョコレート1個ももらえず*
3月	合宿前半 吉井一人で妻える、ドロケイを模索♡ 合宿中日 飯村・貴族合流後、遠攻で飲む♡ 合宿4日目 パート会ではなく、やっぱり飲み会に♡ 合宿打ち上げ 吉井"アレ"で携帯を操作め
4月	貴族さんKYIになる** 貴族復面でコンビニに行く。やっぱりKYIだ**
5月	貴族さん吉井さんちで本当にKYI** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **
6月	部内演 吉井初の欠席*
8月	夏休みの練習、4年目で初めて遅刻しない(しかし、茂木1度遅刻)
9月	飯村、〇田の父に「ユキさんを僕にください」と挨拶しに行く♡

< 広告 PAGE >

焼き鳥の美味しいお店
スタミナの城

大小宴会 受け賜ります
JR 中央線 東小金井駅 北口前
TEL 042-(381)-9602



ikegaku



マンドリン独奏DVD初心者のためのマンドリン入門
「はじめようマンドリン」指導/監修 青山忠
好評発売中 33,990 (税込)
— 一巻の価格が更にお安くなりました! —
<http://www.ikegaku.co.jp/>
興イケガク 東京都豊島区西池袋 3-23-5
Tel.03 (5952) 1391 日祝定休 10:00 ~ 19:00

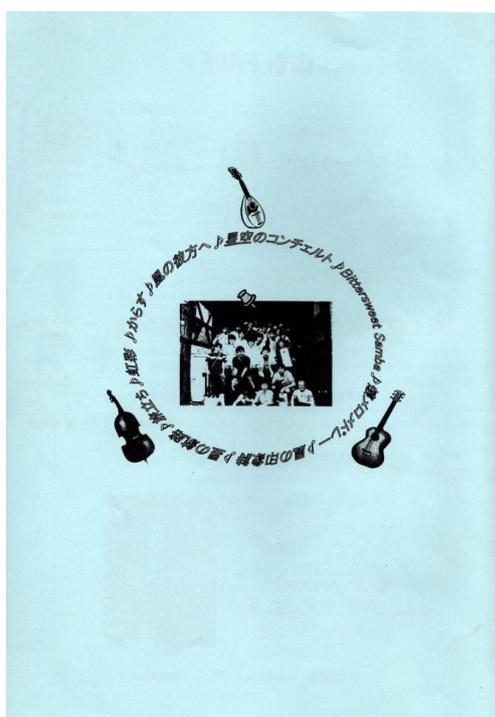
株式会社
ワタル・ツーリスト
〒180-0003 武蔵野市吉祥寺南町 1-15-1
TEL 0422-43-4100
E-mail ronaka@wtr.co.jp
音楽・スポーツ・セミナー会館・貸切バス等の予約承ります。
【お気軽にご相談ください】



サワギシ & Harmony Hall
新南南有馬郡溝沢町三郎770
〒419-62
TEL (057) 89-2261
FAX (057) 89-4522

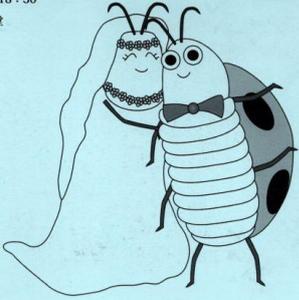


広告にご協力頂いた皆様に部員一同心より感謝致します



第45回
法政大学工学部マンドリンクラブ
定期演奏会

(いい夫婦の日)
2008年11月22日(土)
開場18:00 開演18:30
会場：三鷹市公会堂



法政大学校歌

作詞 佐藤春夫
作曲 近衛秀磨

一、
若きわれらが命のかぎり
ここに捧げて、ああ愛する母校
見はるかす志の、富士が峰の雪
望集めん、門の外濠
よき師よき友、つどい結べり
法政 おお、わが母校

二、
若きわれらが命のかぎり
ここに捧げて、ああ愛する母校
われひと共に、認めたらさずや
進取の気象、質実の風
青年日本の、代表者
法政 おお、わが母校
法政 おお、わが母校

法政大学応援歌

青春の烽火

作詞 藤承夫
作曲 平井康三郎

一、
青春の烽火は高く
燃えたつて青春が胸に
ああ法政不滅の生命
涙刺どこにふる
法政 法政、青春が母校

二、
オレンジのその情熱と
その香り青春が胸に
ああ法政希望のひかり
学舎に今ぞそそく
法政 法政、青春が母校

三、
新しい文化の理想
花開く青春が胸に
ああ法政スラム堅き
躍進の若き力
法政 法政、青春が母校

ご挨拶

本日はお忙しい中、私達の定期演奏会にご来場いただき誠にありがとうございます。部員一同心より御礼申し上げます。

今年は大勢の新人部員を迎えることができたことで、今まで以上に部員全体の活力が増えています。学校の再開発に伴い練習日数や練習場所が限られ、満足のいく活動ができない時期もありました。しかし、どんな困難に直面しても仲間と共に悩み、考え、乗り越えてまいりました。その仲間たちと共にここまで歩むことができたこと、演奏できることを幸せに感じております。また、今回は記念定期演奏会といたしまして、伝統を御創り下さった多くの諸先輩方より励ましのお言葉やご支援をして頂き、部員一同感謝いたします。

最後になりましたが、今回の演奏会を開催するにあたり、ご尽力くださいました諸先生方、諸先輩方をはじめ、ならびに関係者各位の皆様には厚く御礼申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ部長
安本豊

-1-

PROGRAM

第I部

『倅せな一日』序曲 作曲 J.Cimarosa
編曲 J.Nakano

忘れられし夢 作曲 L.Anderson

樹魂の歌 作曲 藤掛廣幸

第II部

てんとう虫のサンバ 作曲 馬飼野俊一

アクア -2つの小品 風の塔のロンド- 作曲 永井祐一

降誕祭の夜 作曲 A.Amadei

第III部

夏空の憧憬 作曲 鷹大樹

ARSNOVA組曲 作曲 末廣健児
丸本大悟

-2-

Stage Members

Conductor

小柳智寛 (電情 4, I部 1,2曲目, III部)
三田村茂和 (建築 3, I部 3曲目, II部)

○♪ : ○部コンマス
○口♪ : ○部口曲目コンマス

1st Mandolin

仁保陽平 (電情 4, III♪)
秀野嘉紀 (DM 3, II♪)
三田村茂和 (建築 3)
岡崎拓也 (電電 1)

Mandola Tenor

齋藤哲平 (システム 4)
河合智之 (CS 3)
増倉隆 (CS 2)
奥由輔 (CS 1)
江田愛 (生命機 1)

Guitar

天野正博 (システム 4)
内海恒亮 (システム 4)
山川拓也 (電情 3)
藤田和幸 (機械工 2)
是常崇 (応用情 1)
小原祐希 (生命機 1)

2nd Mandolin

安本豊 (電情 3, I 3♪)
小柳智寛 (電情 4)
山口良規 (機械工 3)
藤塚公輔 (機械工 2, I 12♪)
仲田理恵 (生命機 1)

Mand Cello

茂木勝俊 (システム 4)
西方淳一 (DM 3)
石黒幸介 (CS 2)
高橋浩一 (生命機 1)

Contrabass

青木英明 (部市環 4)
柿沼秀幸 (生命機 1)

電情：電子情報学科 システム：システム制御工学科 機械工：機械工学科
CS：コンピュータサイエンス学科 DM：デジタルメディア学科 建築：建築学科
部市環：部市環境デザイン工学科 生命機：生命機能学科 電電：電気電子工学科
応用情：応用情報工学科

—3—

曲紹介

『倅せな一日』序曲

(作曲 J.Cimarosa)

Domenico Cimarosa (1749-1801)はナポリ郊外、アヴェルサ生まれの18世紀後半のイタリアを代表する作曲家です。当時ナポリはイタリア・オペラを中心であり、彼は多くのオペラ作品を残しました。マンドリンでも演奏されている「アルテミシア序曲」や「オラッチ兄弟とクリアッチ兄弟」などの曲もオペラからのものです。本曲もオペラ「倅せな一日」の抜粋で、その生き生きとした旋律は華やかな一日の始まり予感をさせてくれるようです。この演奏会が幸せな時間になるようにという気持ちをこめてお送りします。

忘れられし夢

(作曲 L.Anderson)

Leroy Anderson (1908-1975)はアメリカの作曲家でクラシック音楽と大衆音楽を融合させた「セミ・クラシック音楽」もしくは「ライト・クラシック」に位置する小品を数多く作曲しました。「そりすべり」や「トランペット吹きの休日」などの曲でよく知られていることと思います。軽快な感じの曲が多い彼の作品の中では、本曲はめずらしくゆったりとした切ない感じの曲で、ギターから始まる美しいメロディが特徴的です。どうぞリラックスしてお聞きください。

樹魂の歌

(作曲 藤掛廣幸)

元々合唱とシンセサイザーによって演奏するための曲として作られ、それをマンドリンオーケストラで演奏するように編曲されたものだそうです。静かで神秘的な始まりから転調を繰り返して雄大に広がっていく樹の複雑さや生命力が感じられる曲です。

てんとう虫のサンバ

(作曲 馬飼野俊一)

演奏会当日は何の日？そんな考えから選曲しました。1970年代の代表曲で、現在も結婚式によく使われている「てんとう虫のサンバ」です。そんな老若男女に親しまれているこの曲を少しアレンジして演奏します。11月22日、7い夫婦門に控く法政工からの贈り物です。

アクア 2つの小品 風の塔のロンド

(作曲 永井祐一)

アクラインにある2つの建造物の昼と夜の顔を描いてみました。輪舞曲ではヨットの帆を意匠して作られた「風の塔」がまわりを行き交う船に誘われ海原を自由に遊び、夜想曲では「うみほたる」の灯が夜の訪れとともにひとつひとつ空へ昇って星空を形作ります。(作者記)

柔らかな海や空の情景が目に浮かぶこの曲は聴いていると自然と体が揺れてきます。

—4—

降誕祭の夜

(作曲 A.Amadi)

この曲はクリスマスを選材にしたもので、1935年に「ヴィッツァーリ」誌に発表されました。

第1楽章 横笛の歌

羊飼いの吹く楽しそうな横笛の音色が軽やかに流れています。

第2楽章 風にて(夜想曲)

風においてのキリストの誕生を描いた、静かで安らいだ気持ちになれる曲です。

第3楽章 ハレルヤ

降誕祭を祝って陽気な祭りが繰りひろげられます。

夏空の憧憬

(作曲 馬大樹)

一どこまでも広がる、輝く夏空。

誰にでもある、二度と帰らぬ青き日々。

仲間と共に過ごした、優しき思い出たち。

これは、手を取りあい高みを目指して駆け抜けた9人の、永遠の絆を描く詩。—(作者記)

この曲は「仲間」をテーマにした「空」の三部作の完結編にあたる曲です。青い空、白い雲、風に揺れる緑の木々。記憶の中にある夏の情景が少しずつ浮かんで来て、それと共にそこで過ごした記憶、仲間たちとの思い出を思い起こさせるかのようです。仲間と共にひとつのものを作り上げた、優しい青春の思い出を浮かべて聴いていただくと幸いです。

ARSNOVA組曲

(作曲 末廣健児、丸本大悟)

2002年のARSNOVA Mandolin Orchestra解散公演「Thanks!」にて発表された2楽章からなる曲で、作者2人でそれぞれの楽曲を担当し書かれた曲です。第一楽章は末廣氏が作曲したマンドリンオーケストラの為の曲としては初となる曲で、自身のARSNOVAでの活動の「原点回帰」を、また第二楽章のモチーフを取り入れることで「未来への繋がり」を表現しています。第二楽章は丸本氏による作曲で「ARSNOVA」の意味である「新芸術」ということを意識して「新しいもの、違うものを取り入れる、許容する」ということを考えて作曲されています。(作者記参考)

この曲には「一つの終わり」と「新しいことへの挑戦」という二つの意味がこめられています。演奏会最後の曲となりますが、これが終わりであると同時に新たな始まりとなるようにという気持ちでお送りします。

—5—

パート紹介

1st Mandolin

□おかざきの先輩編成歴記□

おかざき(1年)は1stの先輩の休憩時間の使い方を観察しました。

みっちゃん(3年)：常に仲を預けて飯中。

しほら(3年)：横に倒れる。譜面が散乱する。

しゅーの(3年)：イスに座ったまま飯中。たまに寝言を発する。「Yes, Sir!」

なぎ(4年)：譜面と飯中。飯中だししない。

眼を閉じたまま眠っているようだ。

には(4年)：床の上に倒れて飯中。たまに機動する。起きる気配はない。

……みんなよく寝ていました。



2nd Mandolin

(リエ)あんな途ちゃん演奏しなきゃ許してあげないから!!!
(ヤスモト)オレ部長なのにどうして!?
(グッチ)3年から入部したらこんな打ちが持つってなんて思わなかった(「五」)
(アジツカ)かわいい後輩ができたはずだったのに……ぐん。



(リエ)私たちのことわかった?でもわかってても何もしないんだから!!!

Mandola Tenor

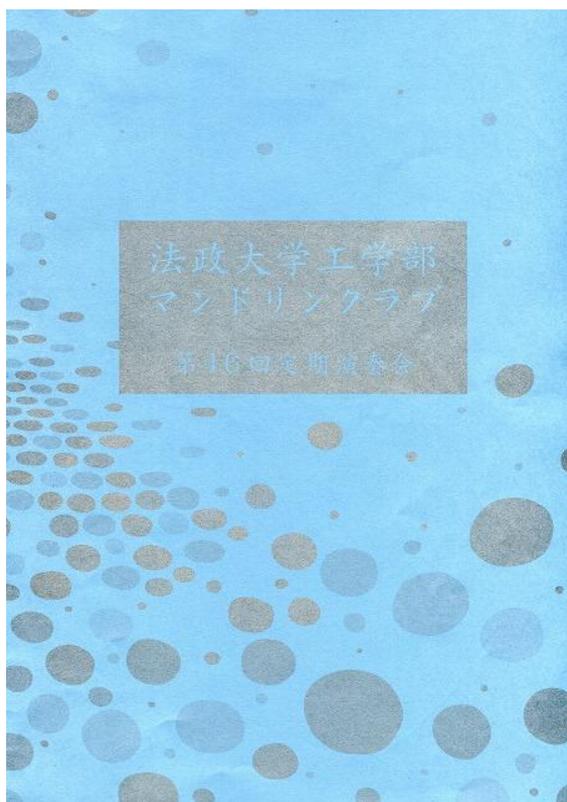
★DolaゴンクエストV ～天空の星～

悪の祖源オクターク、それに対するは天空の勇者アルテマ(時玉在任)。右手に輝くのはバースヴェルツのつぎ(みどり)がキレイ。オクタークは暗黒魔法エダナズンを駆使し、アルテマは十八番のアルテマで対抗する。果たして最後は勝つのは……

一方、タモプサンはトロコでグルグル回っているのだった。



—6—



ご挨拶

本日はお忙しい中、第46回定期演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。部員一同、心より御礼申し上げます。

今年は14名もの新しい仲間が加わり、活気ある日々を送っております。これから部を引っ張っていく者が沢山いるということは喜ばしい限りであります。演奏する人数が多くなったことにより、舞台上がる楽器の数も増えました。多くの音をひとつにまとめることは、容易なことではありません。しかし、部員一人ひとりが少しずつ力をつけ、全員でその力をひとつにしたとき、音楽は何倍にも膨れ上がることでしょう。新入部員を迎えてから初めての演奏会です。この大きな舞台から皆様へ壮大なるリズムとハーモニーを届けたいと思います。皆様楽しんでいただければ幸いです。

最後となりましたが、今回の演奏会を開くにあたりご尽力くださいました諸先生方、ならびに関係者各位の皆様へ厚く御礼申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ部長
藤塚 公輔

-2-

PROGRAM

第Ⅰ部

- トランペット吹きの休日 (作曲 Leroy Anderson)
MOのための4章より 行進曲 (作曲 水野真人)
Impression 1999 (作曲 舟見景子)

第Ⅱ部

- RollingStrings (作曲 西方淳一)
大陸の西 -Cabo da Roca- (作曲 坂野信哉)
MOの為の妖精組曲より IV-Sylphe- (作曲 二橋潤一)

第Ⅲ部

- ORION (作曲 森岡万貴)
社の鼓動 ~魂の還る場所~ (作曲 丸本大悟)
AZZURRO (作曲 丸本大悟)

-3-

Stage Members

○▶: ○部コンマス

Conductor

高橋 浩一 (FB2 I部)
小原 裕希 (FB2 II部)
三田村 茂和 (建築4 III部)

1st Mandolin

安本 豊 (電情4 III▶)
山口 良規 (機械4)
岡崎 拓也 (電電2 II▶)
冨永 武志 (応情1)
吉田 祐太 (FB1)

Mandola Tenor

河合 智之 (CS4)
増倉 隆 (CS3)
江田 愛 (FB2)
奥 由輔 (CS2)
池田 直樹 (環応1)
菅岡 貴大 (応情1)
三浦 亮太 (FB1)

Guitar

山川 拓也 (電情4)
藤田 和幸 (機械3)
小原 裕希 (FB2)
是富 崇 (応情2)
石塚 歩美 (応情1)
高橋 千咲 (応情1)
松山 歩 (応情1)
田原 蓮 (環応1)

2nd Mandolin

秀野 嘉紀 (DM4 I▶)
三田村 茂和 (建築4)
藤塚 公輔 (機械3)
仲田 理恵 (FB2)
青木 佐和 (経営1)

Mando Cello

西方 淳一 (DM4)
石黒 幸介 (CS3)
高橋 浩一 (FB2)
後藤 一成 (経営1)
永田 俊介 (応情1)
真壁 亜由美 (DM1)

Contra Bass

柿沼 秀幸 (FB2)
丸山 阿弓 (応情1)

建築…建築学科 電情…電子情報学科 機械…機械工学科
環応…環境応用化学科 FB…生命機能学科 応情…応用情報工学科
DM…デジタルメディア学科 CS…コンピュータ科学科
電電…電気電子工学科 経営…経営システム工学科

-4-

曲紹介

トランペット吹きの休日

(作曲 Leroy Anderson)

『ラッパ吹きの休日』とも呼ばれるこの曲は、元は三本のトランペットに管弦楽の伴奏がついた曲です。運動会の定番曲として有名な曲なので、一度は耳にしたことがあると思います。曲の雰囲気は陽気で活気に満ち溢れたものとなっており、最初から最後まで明るくそして華やかに聞いていただける曲だと思います。所々に現れるドリンの細かなパッセージにも注目です。

MOのための4章より 行進曲

(作曲 水野真人)

特徴的なリズムが序盤と終盤に現れ、その独特なメロディがやみつきになるだろうと思います。中盤に差し掛かると急に曲調が変わり、今までは違う雰囲気の中で各パート同士の掛け合いが始まります。全体を通して単純なリズムが続きますが、心に残りやすいフレーズで心地よい印象が残ります。

Impression 1999

(作曲 舟見景子)

この曲は「臨みを抱えた旅行者が列車に乗って旅をしていく」というストーリーを描いたものです。列車から見える景色や、それを見た旅行者の感情の表れの変化につれて、曲調の変化が見えてくると思います。この旅の途中で、全てが自分の存在を支えてくれることに気づき、最後には前を向いて歩いていく・・・そういう気持ちの表れがエンディングで感じられると思います。旅人が列車で感じた情景を思い浮かべながら聞いてみてください。

RollingStrings

(作曲 西方淳一)

第二部最初にお送りする曲はHTMC全員が意見を出し合い作り上げた曲です。ある童謡をモチーフに、7つの章で構成された壮大な曲となっており、様々な情景を映し出します。この曲を聴いて、幼かったあの頃を思い出してみてはいかがでしょうか。

大陸の西 -Cabo de Roca-

(作曲 坂野信哉)

「ここに地果て、海始まる」ポルトガルを代表する16世紀の詩人、ルイス・デ・カモンイスの遺した言葉です。これはユーラシア大陸の最西端にあるロカ岬という場所にも石碑と共に刻まれています。この楽曲はその大陸の果て、ロカ岬を想い描いて作られました。序盤の期待に溢れるメロディーや中盤の熱く勇ましい旋律からは、嘗て新世界を求めて道の大海原へと船を繰り出した航海者たちの想いを感じさせてくれます。大陸の果てより広がる広大な海の冒険をお楽しみください。

-5-



- Mandola Tenor -

新・よげんの書

2009ねん 9がつ12にち
あくのそしきが現れる
かさならない音 続かない曲
おそいくるスイマにみんなが
きょうふにおちいる
2009ねん 12がつ1日にち
こららんする嵐のボールに
7にんの組主が立ち上がった
ゆうしゃアルテマの
力をかりて
はたしてこんご
彼らは嵐のボールを
すくえるのでしょうか？

「ドラパートの紹介文、
これっていいんですか？」
「今が幸せならそれでいいんです！」

- Mando Cello -

もう地味とは言わせない・・・

「セロって地味じゃない？」・・・
そう思っていた時期が私にもありました。
ギター？ベース？主役は俺らだ！！

そんなこんなので、今日も元気いっぱい
低音を震えさせたせます。
新人3名を加え計6人と、なんだかんだで
大所帯となり、さらにパワフルになったセロパートにご注目ください！！



-8-



- Guitar -

新編組

ギタパン坊将軍

提供

ギタパート

キヤスト

佐藤大祐 山川

家老 藤田

神様 小原

初星 足梨

のろし組人 高橋

伏兵 石塚

まっちょ 松山

化学君 田原

- Bass -

ん？何かね？
ベースパートに
何か用でも？
ベースパートの
半分は愛、半分がメガネで
できている。
ベースパートは
メガネなくしてあらず。
メガネのメガネによる
メガネのためのパートだ。
コンタクトレンズなど
不要なのだよ、君い。
まあ低音の美しい音色でも
堪能してくれたまえ。



-9-

卒業生◇4年間のあゆみ

2006.4	秀野入学、河合、西方に poster のバッグを自慢する (他メンバーも入学wwww) 三田村、輪転機で脱走
5	三田村、秀野と金銭して銀に困る (当時1年約10名弱) パート決め、山川、西方押しつけギタ一就任
6	飲み会に面喰らう、符機、河合vs曾我(曾我を力まに)
8	秀野アトミック、安本病気の詩がんばる ワーキングドタキャン(8人)、3回目の恋、西方脱臼 山川化装、山川HDC事件
9	合宿、安本等書き師デビュー 三田村棒ビー伝説 西友 貴依さんの顔にサッカーボールぶつける 河合、北原に買ったジャージ返して来ず
11	河合、部総選挙、安本に終極 三田村本番選別 曾我引退、秀野又、天●さんパイオハザード事件
12	河合 夏歌北、河合ヤケクワになる、安本マリオサンシャインはまる 秀野山川とシラバラでWデート
2007.1	まさかの河合?えんちゃん、法政工黄金時代到来!(安本以外www)
2	西方同様、秀野旅誕生
3	合宿 河合... 安本山川南がライブ! 北原引退 三田村脱走事件
4	JOINT 打ち上げ安本復活、初打ち死 三田村、大久保へ移転 藤原登場(いきなりのおメ語に一同困惑)
5	西方、メディアウェーブ入部
6	三田村部内選挙大逆転、秀野コール誕生 三田村夜王(歌舞伎町の顔に)
8	ワーキング 山川なめろうデビュー(サンダル事件)、闇のゲーム開催 混浴で待ち伏せ(しかし不発) 山川引つけは真の別印 西方失踪 真夏の部室移動
9	合宿、三田村目撃まで起きて西方グダ切れ 6人全員同じ部屋で寝る河合安本は1つの密でwwww) 藤原毎一編 三田村西方、秀野旅 三田村引きオタニート
10	西方究極(2年連続の飲み会) 1年石軍、藤原入部

-10-

11	学祭演奏、客2人 安本、山川ロデビュー 三田村、本音選別 河合、星コン弾かない 打ち上げ西方暴徒と化す(秀野ブテ切れ)
12	秀野Sからメール、二人きりの教室でいろいろ、西方デジコン王者
2008.1	もてき安芸(ワ)吉)
2	●んちゃんてだれ? 山川「ボンバーマン!!!」似てないwww このころ練習に低音パート山川だけ
3	三田村「おい、もてき!」、ぼよっちょ出現、河合だめ幹事 合宿、山川梅ダイブ&彰陽昌 曾我の形見サッカーボールなくなる 山川「実録コーデと席が毎回隣に 三田村、梅酒ゼリーで死亡 自己紹介暗記が流行
4	秀野 My 楽屋購入(もちろんケースは黒) 三田村、ケネ選別
5	山口入部(何ヤル男暴怒)マンドリンっておいしい?説明しよう! 西方、JOINT本番「成人式」の為欠席 JOINT 打ち上げ西部「次はなんとか、次はなんとか。」意味不明コール
6	家政の「雲の行方」により部内演完全脱化、山口お台場で等閑落 山川(精神崩壊 西方●虫にかかると 安本野宿 in 東中野の公園
7	安本西方、成績優秀により学校から褒金をもらう(50万) 山川6日→7日事件
8	全マン、山川は京都ブロックの飲み参加 山口入部3ヶ月で参加 山川單身ワーキャンで人気者
9	レミ達の飯、初日快勝だったが…、だるまんが転んだ(穴●さんハメ)、 山口、安本の落書きを恐れおしり寝 下ルチュの表現方法 秀野インターン途中でリターン、安本知ったか伝説 西方、まさかのメディアアウェーブ騒動 練習場所、軽音に乗っ取られる
10	T棟閉鎖、大統領で山口死亡 山川、資格試験行かない(秀野安本は落ちる)
11	11月22日秀野三田村結婚、科目科事(河合)家政とアリス無言飲み 山川、なめろう命名、3バカ誕生、秀野西方初めての昼飯 ホール轟轟(ノ)ノオラタ 本番前日に練習しすぎで湯身創傷 山口「未は飲み物だ」
12	一人身クリスマス会でレイジーサーキット100面、山口肺炎 安本有馬記念で大敗

2008.2	JOINT 開始 安本、家政に妹結婚 三田村ネオユニット(だがモチモチ) 単独録、小原&高橋の「鮎と鮎」 秀野と家政コーデの真面目な話
3	合宿トイレ掃除(by 西方、山口後藤お父さん、英雄のポーズ、 山口パート会ですべらない お風呂で「しゅー~~~~のっ」\('▽') 家政の自己紹介暗記 Dola パート録、増量書いて海へ 痛のガク~~~~!!!目撃 西方バングラへ旅立つ、PCにバングラウイルス、花のない花見で山川w
4	西方のナン作り、山口イケメソwww 山川「ルーラ」似てない 安本金づる(by 三田村)、就職をあきらめる人多数(河合、黒に内定) マイクプロラズマ肺炎大流行(健輔+石黒聖) 三田村ハバラッヂに内定 第2回花見、あれ?安本いないwww
5	JOINT 後リア充披露 山川打ち上げ失敗 山口の打ち上げ奮闘記、キュービー全員にプレゼント 山口、ピクニックで子供誘拐 安本バイク購入 4年、1年の多さに失神www準備足りない
6	秀野キムチの真似(部内演前にカオスなすごろく大会) 高円寺で4人(西方、秀野、山口、山川)飲んで他の3人来なくなる 西方、河合、安本演劇観覧、焼酎欲す
7	一年生との別れ(4名) 三田村(、、) 西方突然の誕生日祝いで大泣き 西方宅、Gの大量発生
8	4年会、山口、西方死亡(西方おも●し) 前期打ち上げゆるい(一)→スタ城で真の打ち上げ(西方河合の反省会) 7人中6人が大学院に内定(山口筑波大)
9	いつもと違う合宿、秀野合宿打ち上げで個人録へ 1年による、も~~~~り~~~~の~~~~くまさん! 欄に入った梅干(累計100個完売) 三田村の絶えない暴言 www 山口の1年生へのアドバイス「朝食は残さないように」 船トレ、翌日船内痛 みんなで大騒(大事な場面でもた地意不在) けむすき花火大会 安本暴走(態度迷惑)合宿後、えんちゃん出迎え
10	山川が月見で西方家訪問でなめろう、西方家はう●す、 1年生を飲み連れ回す(3回) →4年健屋 三田村リア充 三田村、安本を閉鎖(か~~~~!!!) 安本、三田村、山口、山川「たけしのコマ大」TV出演 西方一夜漬けで基本情報合格 父母会で依頼演 河合、安本 TX で筑波へ送る 3200円 orez
11	学祭、相変わらずの公開練習(後悔練習) 他大演奏会で同期の引退に複雑な心境(、)、引退したくぬぐお)
12/11	そして...伝説へ...



ご挨拶

本日はお忙しい中、私ども法政大学工学部マンドリンクラブの第47回定期演奏会に御来場頂きまして、誠に有難うございます。部員一同心より御礼申し上げます。

早いもので、私がマンドリンクラブに入部してから2年と半年が過ぎました。入部した当初は、楽譜をまともには読む事さえ出来ず、悪戦苦闘の日々でした。しかし、仲間と共に演奏をしていく中で、少しずつ音楽に触れる喜びというものを感じ始めました。また、演奏会を経験することで、より良い音楽を求めていかねばならないと思いました。演奏会は演奏者だけではなく、会場にいる全ての人が共通の感動を得られることを目標とし、それに少しでも近づきたいという考えが生まれました。

学校の再開に伴い、去年と比べ、より一層私どもの活動の場所は限られ、満足のいく活動が出来ない時期もありました。しかし、今日という日を素晴らしいものにしようと、仲間と共に限られた時間、場所の中で精一杯努力してまいりました。技術的にはまだまだ未熟であり、決して完成されたものとはいえませんが、これまで練習してきた成果を十分に発揮し、皆様と共に音楽を楽しむことができれば幸いです。

最後になりましたが、本日の演奏会を開催するにあたり、御尽力くださいました諸先生方、並びに関係者各位の皆様にも厚く御礼申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ 部長
柿沼 秀幸

法政大学校歌

作詞 佐藤春夫
作曲 近衛秀磨

一、
若きわれらが命のかぎり
ここに捧げて ああ愛する母校
見はるかす窓の 富士が峰の雪
蜜集めん 門の外濠
よき師 よき友 つじい結べり
法政 おおわが母校
法政 おおわが母校

二、
若きわれらが命のかぎり
ここに捧げて ああ愛する母校
われれと共に 認めたらすや
進取の気象 質実の風
青年日本の 代表者
法政 おおわが母校
法政 おおわが母校

三、
新しい文化の理想
花開く香雪が胸に
躍進の若き力
法政 法政 香雪が母校

一、
青春の烽火は高く
燃えたつよ香雪が胸に
ああ法政不滅の生命
演劇とここにあふる
法政 法政 香雪が母校

二、
オレンジのその情熱と
その香り香雪が胸に
ああ法政希望のひかり
学舎に今ぞそそく
法政 法政 香雪が母校

三、
青春の烽火は高く
燃えたつよ香雪が胸に
ああ法政不滅の生命
演劇とここにあふる
法政 法政 香雪が母校

作詞 藤 承夫
作曲 平井 康三郎

法政大学校歌

Today's PROGRAM

第I部

踊り明かそう I Could Have Danced All Night

作曲 Frederick Loewe 編曲 武藤理恵

L'Tendre Pluie D'Arlequin ~道化師の優しい雨~
作曲 坂野慎哉

十字軍~地平をこえて~ Phantasmal Overture vol.1
作曲 柴崎利文

第II部

Plink Plank Plunk!

作曲 Leroy Anderson 編曲 久保田孝

Merry Christmas Mr.Lawrence (戦場のメリークリスマス)
作曲 坂本竜一 編曲 赤城淳

いのち うた
生命の詩

作曲 藤掛廣幸

第III部

雪空のファンタジア

作曲 馬大樹

幻想的間奏曲 I

作曲 加賀城浩光

とき
時間の宝箱

作曲 丸本大悟

曲目紹介

❁ 踊り明かそう I Could Have Danced All Night

軽快な曲調で非常に聴き易い楽曲です。それはまるで、中世の貴族達の軽やかなステップを思わせるかのような印象を与えます。その舞台がどんなに優雅で気品に満ちた雰囲気だったのか、今では記録からしか知る事が出来ません。ただその時の雰囲気はこの音楽からほんの少しでも感じ取って頂ければ、過去の栄華を想う一つの切っ掛けにはなるかも知れません。法政工が御贈りする夜の始まりにはピッタリの一曲です。どうぞ御聴き下さい。

❁ L'Tendre Pluie D'Arlequin ～道化師の優しい雨～

雨という自然の流れに皆さんはどのような印象を覚えるでしょうか。子供の頃に見た、純粋な雨を思い出して下さい。その一粒は儂くも冷たくしかし、どこか温かみと優しさを持った非常に美しいものです。ところでこのタイトルには比喩表現が用いられています。"道化師の優しい雨、何故このような表現が用いられたのでしょうか。是非とも皆さんで、この楽曲を聴きながらその背景にある情景に想いを寄せてみて下さい。きっとその意味が、儂ながらも、そっと見えてくる事だと思えます。

❁ 十字軍～地平をこえて～ Phantasmal Overture vol.1

十字軍という名前に一瞬、驚かれる方もいらっしゃるかも知れません。その時間は正義という名の符が神に放された世界です。彼らはどうな曇りなき想いと未来、祝福を夢に見、その地平線を越えてきたのでしょうか。彼らの瞳には、何が映っていたのでしょうか。

この楽曲は、その勇壮な十字軍をイメージして描かれた音楽作品です。それは私達の知る歴史上の十字軍ではありません。道徳の十字軍は既に彼方の天と共にあり、今ここに描かれるのは希望に満ち溢れた彼らの眼です。

僕たちに彼らの新しい軌跡を今一度、繰らせて下さい。

第I部

4

曲目紹介

❁ Plink Plank Plunk!

この曲は、アメリカの作曲家であるルイ・アンダーソンの作品です。曲名の「Plink, Plank, Plunk!」は、「ぼろん、ぼたん、どずん!」という擬音語を表しています。アンダーソンの作品は、様々なテレビやラジオの音楽に使用されており、この「Plink, Plank, Plunk!」もアメリカのCBSの「I've Got a Secret」というテレビ番組で使われました。原曲は、弦楽器のピチカートで演奏され、途中には音を出しながら指をずらすグリッサンドや弦をはじいて指板にぶつけ音を出すスナップ、楽器の側板や裏板を手で叩いて音を出したり、マンドリンではない楽器を使ったり、聴くのももちろん観ても楽しい曲だと思います。それでは遊び心にあふれた演奏をどうぞお楽しみください。

❁ Merry Christmas Mr.Lawrence (戦場のメリークリスマス)

この曲は、映画「戦場のメリークリスマス」のメインテーマとして、坂本龍一により作曲され、英国アカデミー賞作曲賞を受賞した作品です。曲名の「Merry Christmas Mr.Lawrence」は、劇中でビートたけし演じる日本兵が、クリスマスの晩に捕虜のイギリス兵Lawrenceに「Merry Christmas Mr.Lawrence」と語りかけるラストシーンに由来しています。映画をご覧になったことがない方でも、坂本龍一の代表的な作品の一つなので一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。原曲は、坂本龍一によるピアノ曲ですが、様々な楽曲向けにアレンジされ演奏されています。序盤は物静かな雰囲気ですが、終盤に向かうにつれ打って変わって、全パートによる主旋律の受け渡ししが迫力を与えます。それでは一足早いですが私たちがからのメリークリスマスをお楽しみください。

❁ 生命の詩

この曲には、広島原爆をテーマとした歌詩があります。その詩を基に作曲し、マンドリンオーケストラの為に書き直されたのが、この「生命の詩」です。毎年原爆記念日に歌われているので、聴いたことがある方もいるのではないのでしょうか？

静かで、悲しくも中低音のメロディで始まり、中間部はテンポが速く情熱的です。後半は明るく、力強い曲調となっています。一步一步、明るい未来を目指して前進していく、そんな印象を受ける曲です。

マンドリン1st、マンドラ、ギターソロにも注目して下さい。

第II部

5

曲目紹介

❁ 雪空のファンタジア

作曲家、風太郎さんによって生み出された「旅立ちと始まりを描く“空”シリーズ第二曲」、雪の舞う空を見上げて歌う、儂い冬を想う曲です。全体の流れとして、テンポの変わり目が激しく、後半には力強いフレーズもある曲ですが、それはまるで不規則に舞い散る雪のようです。私たちが儂然と描き込んでいるであろう雪の持つ二面性—美しさと厳しさをこの曲からも得ることが出来るのではないのでしょうか。そしてギターの綺麗なソラバッセージには、冬の切なさを感じることが出来ると思います。雪空の寂しくも迫力あふれる法政工サウンドをお聞きください。

❁ 幻想的間奏曲 I

この曲は作曲家である加賀城 浩光が、八ヶ岳に行った際、あまりにも綺麗な朝の風景を目にして、「朝もやの朝霧、日の光にキラリと輝き、ボトンと降り落ちる朝霧」というイメージで書いた曲です。緩やかなテンポと静かな曲想からは心が洗われるようです。聞く人によって様々な印象を持つ曲だと思います。

この曲を聴いて、あなたはどんな風景を思い描きますか？

❁ 時間の宝箱

ある偉人が「青春は、できることなら人生の最後にとっておきたかった」と語った事があるそうです。彼に限らず、多くの人にとって学生時代は大切な思い出であり、ある種の輝きを持って思い起こされるものです。作曲家HPより

この曲の副題として「Jewel Box Of Glory Days」とあります。時間というものは全ての人間に平等に与えられているものです。過ごし方は人それぞれですが、Glory Days、つまり、作曲者の言葉を借りるならば学生時代の、素晴らしい日々を、ひとりひとりの宝物にして欲しいという願いが込められている曲なのです。今まで、私たちはどれほどの宝を集められたのでしょうか？ あなたは、どんな宝を集めましたか？

この曲で、あなた自身の輝く宝箱を開くことが出来たら、幸いです。

第III部

6

Stage Members

Conductor

小原 裕希 (F B 3 第1部)
菅岡 貴大 (応情2 第II部)
後藤 一成 (経営2 第II部)
高橋 浩一 (F B 3 第III部)

1st Mandolin

藤塚 公輔 (機械4)*
奥 由輔 (C S 3)*
青木 佐和 (経営2)
富永 武志 (応情2)*
杉山 恵理 (F B 1)

2nd Mandolin

仲田 理恵 (F B 3)
岡崎 拓也 (電電3)
吉田 祐太 (F B 2)*
筑川 由理佳 (F B 1)
長谷部 麻美 (F B 1)

Mandola Tenor

増倉 隆 (C S 4)
江田 愛 (F B 3)
池田 直樹 (環境2)
菅岡 貴大 (応情2)
三浦 亮太 (F B 2)
渡辺 信平 (F B 1)

Mando Cello

石黒 幸介 (C S 4)
高橋 浩一 (F B 3)
後藤 一成 (経営2)
永田 俊介 (応情2)
真壁 亜由美 (DM 2)
山崎 莉子 (応情1)

Guitar

藤田 和幸 (機械4)
足常 崇 (応情3)
小原 裕希 (F B 3)
石塚 歩美 (応情2)
高橋 千咲 (応情2)
田原 遼 (環境2)
松山 歩 (応情2)
茂呂 亮寛 (経営1)

Contra Bass

柿沼 秀幸 (F B 3)
丸山 阿弓 (応情2)
* 1部コンマス
* 2部コンマス
* 3部コンマス

機械…機械工学科 電電…電気電子工学科
経営…経営システム工学科 応情…応用情報学科
F B …生命機能学科 環境…環境応用化学科
DM…デジタルメディア学科 C S …コンピューター科学科

7



4年 石黒
3年 高橋
2年 永田
2年 後藤
2年 真壁
1年 山崎

Mando Cello



Guitar

細キタパコーポレーション

能ある鷹は爪を無くす
代表取締役 ガ・チユウ

出勤だけは社長レベル
部長 コレツネ嬢子

音楽の神に愛された男
特命係長 只野小原

80年代は俺の時代だ
課長 田原俊彦

前髪立革命
お局様 松山マッソウ

べ、別に寂しくなんてないんだからね!
窓際族 高橋めんどっち

も〜り〜の〜
清掃員 石塚なめ朗

期待のニューカマー
新入社員 もろ三兄弟

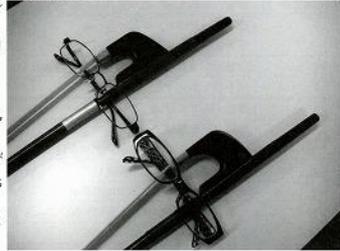
こんな姿で恐縮です。こんな姿で恐縮です。

左上におりますのは、新品で
絶対調の弓でございます。
但し奏者が弱弱ですので本日
いっしょやるかどうか…
是非ともお客様自身の目で、
お確かめくださいませ。

右下におりますのは、強と仲
良くしたい弓でございます。

奏者が弾き方を変えましたが
仲良くできるかどうか…
是非ともお客様自身の耳でお
確かめくださいませ。

ベースから目と耳を覗きぬよ
う宜しくお願い致します。



Contra Bass

About the Film

ぼくは、あの夏の合宿、レミおぼさんの作ったサンヴィレッジで一週間だけ過ごした

そこでぼくは、レミおぼさんの言っていた小人のシキシャッティに出会った――

人間に見られてはいけない
それが床下のシキシャッティたちの掟だったが、タカハシは見つかってしまう
オハハはそれを助けるべく、急を招く

かろうじてタカハシは助かった

ゴトウ「おまえは、兄弟を危険に
さらしているんだぞ」
スガオカ「そらだそらだー」

タカハシはゴトウに反発する

タカハシ「人間がみんなそんなに
危険だとは思わないわ」

シキシャッティに大きな事件が
迫っていた

――人間とシキシャッティ、
どちらが真逆の種族なのか!?



Conductor

☆☆☆4ねんせいのおゆび☆☆☆

2007.4	藤塚、増倉入部。たった2人だけ… (・ω・)
5	藤塚真っ先にドリンクカートへ 増倉気づいたら下ろされた。
6	記憶喪失：私は誰？あなたはどこ？
7	何も言えぬ…
8	藤塚、増倉スタックデビュー。 藤塚は空を飛び、石黒はコート。 増倉ワーキヤンで熊に追いかけられる。
9	新部室棟ができたため部室移動。 合宿から帰ってきたら旧部室が跡形もなかった。
10	石黒入部。まじっか、やばいっせねしお言わないwww 遅れて藤田入部。 昭和女子との飲み、増倉ここで…・Bへ、別に何も無いんだからね!B 文化祭!
11	なぜかフリーマーケットでスラダンなどを売る。売かったよー 石黒、藤田、藤塚は増倉設置で法政初のミスコンを見に行く。 文化祭打ち上げにて! 藤田：先輩により元航空部→コクーン(ポケモン)→かたくなる(後) →ガチガチガチガチ 石黒：既婚し、お母さん召喚 (ハッピーターン) 定演打ち上げ、増倉 先輩に睡眠邪魔され半ギレ番打ち
12	石黒、藤田忘年会でスタックデビュー
2008.1	初の1年会。 藤田：地元の駅がドラマ『クロサギ』撮影をしていて、電車に乗れず遅刻。 NEWSの山Pはちゃんと見たぜb 石黒：へえへ 増倉：ほっしー空に「ドラッグで愛って言われる人多いよね」って言われる。
2	第1・2回マスクラ舞祭開催立川
3	合宿 石黒・藤塚海ダイブ! 石黒・あ○の節節と受身(笑) 藤塚 花見の代わりの飲みで人生再生酒蔵からハッピーターン
4	藤田：太学まで後半5〜10分くらいのアパートで1人暮らしを始める。 夕食後、ハービムへwww
5	♪ガキガキヤ〜ン ジャンジャンジャンジャ
6	文連親睦会にて、石黒りんごを獲りつぶせず、藤田りんご酔で死亡www 藤塚 MC 増倉だけバイトでいいない 2年会事件秘笈!!!

7	ういっと思っじやん?
8	ワーキヤン、石黒、藤田、藤田二歌www
9	合宿。 石黒食事の検印「いただきますクィッシュ!」 皆「・・・」 石黒マラソンで ARSNOVA 組曲を演奏中に爆睡…。あ○さんにベースの弓 でつつかれる。
10	ゲネ打ち上げ 石黒ハッピーターン♪2回目
11	藤田藤塚でガチノック ラストの西部 騙げない 実践のゼロ1台の名前が「いじぐる」になる。「ちゃんといじぐる待った?」
12	石黒・藤田：ジャガーさん家で一人身クリスマス会でルイジサーキットレ 00回達成。藤田キレるw 『そうかあ、○かあ。』
2009.1	モー
2	Beyond 3.5size〜♪タンタンタタ タタタタタ
3	合宿 藤田と山川さん beyond the skies 歌って藤田、家政に笑われる(笑) 練習場所占領 家政に怒られる。 増倉 最後のパート棟の休憩中に部屋を離れたら、1人だけ置いてけぼりに される。みんなは海へ行っていた…。めっちゃ焦った。ゼロに心配される。 マラソン 藤田 嵐の大地終了直後のくしゃみ 家政がマラソン中、法政工は別の場所で大会唱 (伴奏付)
4	ゲネ 石黒絶妙なタイミングで奇跡の講演台落下、一時停止 (DVDありw) 石黒が石黒面を激き散らし、広まる。
5	ジョイント本番 トレンタ電車間違え大遅刻 増倉スタマキ必死!
6	部内演奏まきのお茶会wwwwwwwwwwwwwww
7	(´・ω・)シブッ
8	前期打ち上げ 増倉、すぎやー宅に泊まるがすぎやー記憶無し、起きてびっ くり!
9	合宿にて、 石黒「富士山ってあるじゃないですかー、俺食べましたよ」…? みんな大爆笑 藤田ほんとど回した。 打ち上げ前の煙たすぎる花火、『翼を下さい』を大会唱。
10	たけしのコマ大数学科にまさかの出演。 たけしに『ギターばっかじゃねえか?』とツッコまれる。
11	どっきり動画制作 (藤田村さんの顔のパーツ使石黒になる etc…)
12	定演 藤田本番ガチ泣き 増倉だけ、感動の場面で涙にこぼれwww

	石黒 4年生のみの演奏で弾き、一緒に卒業・・・？ ssss 石黒：誰か何かが言うたびに『っと思うじゃん？』連呼。 正直、ウザい・・・w
2010.1	石黒しばらく行方不明・・・
2	増倉 女子美のドラとのパート練中に椅子から落ちる(女子美失笑...)
3	石黒 合宿4日目から参加。生存確認。『あつ、生きてんだ・・・』 高橋より藤田のちゅんちゅん発見!!! 女子美コーチ長谷川武宏さん「ちゅんちゅんって何？」と聞かれるwww 増倉就話終了だってお(´ω´)
4	4年行方不明・・・w
5	しかし、増倉だけ置いていかれる。
6	1年5組石黒先生誕生(担当科目:情報) 生徒からタメ口www 石黒就話終了ですの
7	藤田、藤塚 大学院進学決定!っと思うじゃん?でもやっぱりそうなんだよ
8	ドラ増倉ほとんど1人。ドラ
9	ガッチーナ、グロリーナ、「マスタラとシュシュ」をリリース。 増倉雨を呼び、花火できず(´・ω・´) 3ショット Wii大会勃発w
10	どいつもこいつもボケボケボケボケ 文化祭は聴音のせいで隔離される・・・
11/19	<i>Their trace is not over...</i>



執行役員 部長・全マン 榊沼秀幸
副部長 岡崎拓也
会計・合宿 仲田理恵
ステマネ 足常崇
パンフレット 江田愛
企画文連 奥由輔

広告にご協力いただいた皆様に
部員一同心より感謝いたします。

発行日 11月19日
印刷 PICO プリンティングイン株式会社
美しい印刷、ありがとうございます。

次の演奏会は
5月4日(水) 武蔵野大学・法政大学工学部 ジョイントコンサート
府中の森 芸術劇場 ウィーンホール

♪ 演奏会おめでとうございませう♪

音楽・スポーツ・ゼミの合宿、卒業旅行などの手配。
貸切バスの予約など、色々な目的にご利用下さい。
丈夫で明るい、元気のスタッフが対応させていただきます!!
私達は“音楽の味方”です!!! 東京駅前東宝ビル4F 93-2960

〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南1-15-1
Tel:0422-43-4100 Fax:0422-43-4175
URL: <http://www.wtr.co.jp/>

ワタルツ-リスト
Waltz-List

Mandolin & Guitar インターネットショッピング
ikegaku 10,000件を記念して

10,000件達成感謝フェア開催中!
「豪華賞品」レアグッズ 抽選で当たります!

落合マンドリン総発売店 株式会社イケガク
東京都墨田区西船場 3-23-13
Tel:03-5952-1391 郵しほ
Fax:03-5952-1392 E-mail: info@ikegaku.co.jp

焼き鳥の美味しいお店
スタミナの城

大小宴会 受け賜ります
J/R中央線 東小金井駅 北口前
TEL 042-(381)-9602

豊富な、透明な響き
雪、緑、紅葉——。
素晴らしい自然環境の中、
豊かな、透明な響きをホール
いっぱいいたたえた格調
高い演奏会は、都会では味
わうことのできない心の贅
沢とも言えるでしょう。

ザンギョレロジ 株式会社
& Harmony Hall
〒102-8276 東京都千代田区千代田 1-1-1
TEL:03(57)89-2261
FAX:03(57)89-4522

2010年11月19日(金)
三鷹市芸術文化センター 風のホール
開場: 18:00 開演: 18:30

法政大学工学部マンドリンクラブ

THE 48 TH REGULAR CONCERT

2011年11月18日(金)

府中の森芸術劇場 ウィーンホール

開場：18：00 開演：18：30

法政大学校歌

作詞 佐藤春夫
作曲 近衛秀磨

一、
若きわれらが命のかぎり
ここに捧げて ああ愛する母校
見はるかす窓の 富士が峰の雪
望春めん 門の外濠
よき師 よき友 つどい結べり
法政 おお わが母校
法政 おお わが母校

二、
若きわれらが命のかぎり
ここに捧げて ああ愛する母校
われひと共に 認めたららずや
進取の気象 備安の風
青春日本の 代定者
法政 おお わが母校
法政 おお わが母校

法政大学校歌

青春の烽火
作詞 藤承夫
作曲 平井 康三郎

一、
青春の烽火は高く
燃えたつて母事が物に
ああ法政不滅の生命
後刻どこにあぶる
法政 法政 母事が母校

二、
オランダのその情熱と
その香り母事が物に
ああ法政希望のひかり
青春に今ぞそそく
法政 法政 母事が母校

三、
新しき文化の理想
是同じ母事が物に
ああ法政プログラム變り
躍進の若さの
法政 法政 母事が母校

f ご挨拶 p

本日はお忙しい中、私たち法政大学工学部マンドリンクラブの第48回定期演奏会にお越しいただき、誠にありがとうございます。部員一同心より御礼申し上げます。

この日のために限られた時間の中で、多忙な学生生活と並行させながら日々練習に励んでまいりました。まだまだ未熟な私たちではありますが、皆様楽しんでいただけるよう私たちの持てる力を全て出し切り、精一杯演奏したいと思います。

また各部ではトップを務める学年が異なります。1部は3年生、2部は2年生、3部は4年生がトップを務めます。それぞれの学年ごとのカラーをお楽しみください。

最後になりましたが、今回の演奏会を開催するにあたり、御尽力くださいました諸先生方、並びに関係者各位の皆様には厚くお礼申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ 部長

永田 俊介

1

PROGRAM

第I部

- ◎「スペイン」第2組曲より「祝宴」(鈴木 静一)
- ◎In the mood (J.C.Garland/編曲: 赤城 淳)
- ◎山河緑照 (藤掛 廣幸)

第II部

- ◎そり滑り (Leroy Anderson)
- ◎アシタカせっ記 (久石 譲/編曲: 尾関 美和子)
- ◎THE SOUND OF MUSIC (編曲: R.Rodgers)

第III部

- ◎AQUA EXPRESS (遠藤 秀実)
- ◎杜の鼓動Ⅳ～桜の風景～ (丸本 大祐)



2

「スペイン」第2組曲より「祝宴」 鈴木 静一

鈴木静一作曲のスペイン組曲は、第一組曲から第三組曲まで存在し、1959年ヨーロッパを訪れた際の印象をもとに作られたそうです。

本日、第一組曲目にお送りいたします本曲は、スペイン第二組曲からの選曲であり、本組曲は、第一楽章「汽車の窓から〜グラナダ〜ロンド」、第二楽章「モロッコへの憧れ〜ジブラルタル」、第三楽章「悲しき関ヶ原〜ベレス」、そして、第四楽章「祝宴」の四楽章で構成されています。第四楽章「祝宴」は、第三楽章「悲しき関ヶ原〜ベレス」を受けて演奏されます。

「祝宴」

関ヶ原が終ると、人々は街に溢れ出し、バラオの祭りで祝宴が始まる。ここではジプシーのフラメンコ踊りに拍手、足拍子、カステネットの音がはねかえり、人々も負けず踊り取り、街から街を移動する。この脱獄げ騒ぎは夜と共に高潮する。

<作者記>

快活で力強いサウンドをお楽しみいただくとともに、曲を通して、関ヶ原を終え、宴に誘く人々や街の情景を思い描いていただければ幸いです。

In the mood J.C.Garland/編曲: 赤城 淳

本曲「In the Mood」(イン・ザ・ムード)は、1939年にサクソフォニストであるJoe Garland(ジョー・ガーランド)により作曲され、1939年にダグ・ミラー率いる楽団の演奏によって広く世間に浸透したジャズ楽曲です。曲名を御存知ない方も、テレビやラジオ、映画など、様々なメディアで使用されているため、一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。

曲名のIn the Moodには、「気分が乗って」というような意味合いがあり、文字通り、心躍らせる軽快なメロディーが印象的な楽曲です。ジャズ楽曲といえど音楽性を含み演奏が一般的で、聞き馴染みがあるかと思いますが、今回は弦楽器のみでの演奏で、皆様に一味違った「In the Mood」を感じていただければ幸いです。

それでは、マンドリンオーケストラが織り成す心躍る軽快なジャズメロディーをお楽しみ下さい。

山河緑照 藤掛 廣幸

まず最初にイメージに浮かんで来たのは、山々の美しい緑が染んだ水面を緑色に染めてキラキラ輝いている様子でした。「山河緑照」というタイトルは作曲を開始する前に、このようにして決まりました。 <作者記>

序盤は親しみやすく、記憶に残るようなフレーズが用いられており、この曲のテーマメロディとなっています。中間部からは雰囲気が一転し、活気がある、軽快なテンポで曲が流れていきます。終盤はより力強いあるテーマメロディで始まり、決然とした、勢いのあるフレーズへと移り変わっていきます。

この曲はマンドリンオーケストラのために書き直されたもので、原曲は邦楽合奏の為に作曲されているため、どこか和の雰囲気を感じ取ることができます。曲に楽しく、時に力強く、曲全体に盛り、様々な自然が想像されます。メロディーの移り変わりと共に、皆様を感じ取った自然を思い浮かべながら聞いていただけたらと思います。

第I部 曲紹介

第II部 曲紹介

そり滑り Leroy Anderson

クリスマスが近づくと、街の中やテレビでよく耳にするメロディーに聞き覚えのある人も多いのでは?それがこの曲、アメリカ合衆国のLeroy Andersonが作曲した「そり滑り」です。

その軽快なリズムからは、降り積もった雪の上をそりで滑る爽やかな冬の光景が目に見えて来るかのようです。

それでは、一定お先にクリスマス気分をお楽しみください!

アシタカせっ記 久石 譲/編曲: 尾関 美和子

映画「もののけ姫」の挿入曲として使用されている「アシタカせっ記」。

タイトルにある「せっ記」には「正史には残らず耳から耳へ伝えられた物語」という意味があるそうです。この曲はその言葉の通り、「もののけ姫」の舞台で描かれた歴史の重みが、繰り返されるメインメロディーによって伝わってきます。

映画を見たことのある方も、そうでない方も、その壮大な世界観を感じて頂けたら幸いです。

THE SOUND OF MUSIC 編曲: R.Rodgers

1965年に公開されたミュージカル映画「サウンドオブミュージック」は、第二次世界大戦中のオーストリアで、厳格なトランプ大佐と彼の7人の子供たちのもとに家庭教師としてやってきた歌の大好きなマリアが、音楽を通じて心を通い合わせていく物語をもとにしたお話です。世界中で愛されており、ミュージカルの最高傑作とも言える作品です。

今回演奏する曲は、その中の曲からなるメドレーになっています。

- ・The Sound of Music
- ・マリア (Maria)
- ・もうすぐ17才 (Sixteen Going on Seventeen)
- ・私のお気に入り (My Favorite Things)
- ・ドレミの歌 (Do-Re-Mi)
- ・なにかよいこと (Something Good)
- ・エーデルワイス (Edelweiss)
- ・すべての山に愛を (I'll Be Ev'ry Mountain)

映画を見たことがない人も一度は耳にしたことがある名曲が軽快に繰り返され、次々と変わる曲調をお楽しみください。

AQUA EXPRESS

遠藤 秀安

アクアエクスプレスとは、九州旅客鉄道に1988年から2002年まで保有されていたジョイフルトレインと呼ばれる車窓の一端のことです。車両は自由に青春を謳った車窓で窓面には「AQUA EXPRESS」のロゴがデザインされており、窓窓や屋根を彩った黒字の提案・カーペットなどが特徴的な定期列車でありました。

この曲は作曲家の遠藤氏が、自分の中にある様々な見聞や雑念を取り払い、純粋に自分の好きな曲を作ろうと思い作曲されました。そして曲名を「AQUA EXPRESS」と名付け、もう一度思いを新たに、一歩ずつ前に進んでいこうという気持ちを表わしたそうです。

メロディーは親しみやすく、かつ音楽的に技術力のあるものとなっています。上昇する音型は、水車へ向かってゆく前向きな気持ちを表わしています。

本日は法政大学工学部マンドリンクラブの希望に満ちあふれた未来へ向けて演奏します。どうぞお楽しみください。

社の鼓動IV～桜の風景～

丸本 大悟

「社の鼓動」は全4楽章から構成される組曲です。また、本曲「社の鼓動IV」も3楽章から構成される組曲で、今回はその第1楽章「桜の風景」を演奏させていただきます。「社の鼓動」では1楽章、2楽章、3楽章において、三種の「社」の音が描かれてきました。本曲では、その全ての「社」の鼓動を感じて頂くことが出来るでしょう。

作曲家の丸本大悟氏は、桜を「特別に」美しいと思ったことはなかったそうです。しかし、歌謡から聴いて数年が経ったある時、ふと桜の風景。

ただ普通の、ありふれた桜の風景。そして、自分の人生の大切な思い出にあるものと同じ、桜の風景。

本曲は、そんな桜の風景に抱いた、心を締め付けられるような感情を孕ませている楽曲です。

始まりは社の中、静くも優しいメロソングの旋律は、柔らかな響きに癒やを感じさせます。景色は淡み、そこに現れる鮮やかな桜の風景。目を奪われるのは一瞬、その後聞こえてくるフレーズは、この本楽章「桜の風景」のメインテーマであり、あなたの大切な歌謡の思い出を、ふっくと蘇らせてくれることでしょう。

そして曲は静やかに流れ、静寂なメロディと響きあいます。黒を纏い、涙を溜げながら静かに降り行く桜を感じさせるそのメロディは、あなたの胸を打つ思い出たちを蘇らせてくれるでしょう。

静寂に入ると、曲は再び穏やかなテンポとなり、桜の風景の前に立ち戻り、静かに流れていきます。吹き抜ける一陣の風。徐々に見上げていくと次第に暖える、どこまでも如大空。一陣の風を纏い吹き抜けるその桜の風景を思いながら、純愛を運ぶ。

桜の見る多くの人々は、今見ている風景の向こうに、もう一つの桜の風景を見ているのではないのでしょうか。あなたのの中に生きるあの桜の顔を見、思い出してみて下さい。

**第三部
曲紹介**

Stage Members

Conductor

- 菅岡 貴大 (3年) : 1部1・2曲目
- 後藤 一成 (3年) : 1部3曲目
- 長谷部 麻美 (2年) : 2部1・2曲目
- 高橋 浩一 (4年) : 2部3曲目・3部1曲目
- 奥 由輔 (4年) : 3部2曲目

Concert master/mistress

- 青木 佐和 (3年) : 1部1・2曲目
- 吉田 祐太 (3年) : 1部3曲目
- 箕川 由理佳 (2年) : 2部
- 岡崎 拓也 (4年) : 3部

1st Mandolin

- 岡崎 拓也 (4年)
- 富永 武志 (3年)
- 吉田 祐太 (3年)
- 長谷部 麻美 (2年)
- 箕川 由理佳 (2年)
- 金丸 峻士 (1年)

Mandola

- 江田 愛 (4年)
- 奥 由輔 (4年)
- 池田 直樹 (3年)
- 菅岡 貴大 (3年)
- 三浦 亮太 (3年)
- 渡辺 恒平 (2年)
- 小野 智宏 (1年)

Guitar

- 星常 崇 (4年)
- 石塚 歩美 (3年)
- 高橋 千咲 (3年)
- 田原 遼 (3年)
- 松山 歩 (3年)
- 茂呂 亮寛 (2年)
- 井坂 琢也 (1年)
- 鈴木 彬 (1年)

2nd Mandolin

- 仲田 理恵 (4年)
- 青木 佐和 (3年)
- 杉山 惠理 (2年)
- 新井 香織 (1年)
- 土部 浩太郎 (1年)

Mandolin Cello

- 高橋 浩一 (4年)
- 後藤 一成 (3年)
- 永田 俊介 (3年)
- 眞壁 亜由美 (3年)
- 山崎 祐子 (2年)
- 山村 和也 (1年)

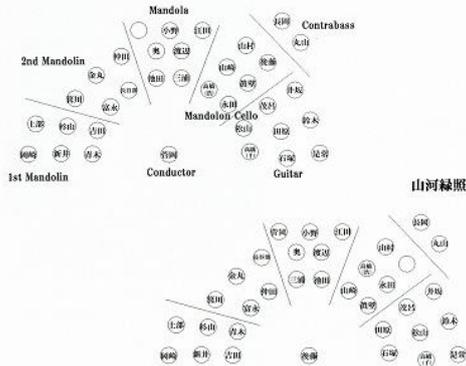
Contrabass

- 丸山 阿弓 (3年)
- 長岡 祐希 (1年)

座席位置 #

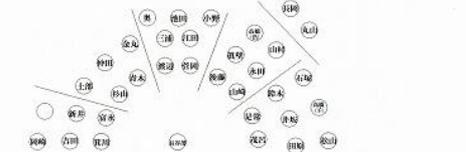
第I部

スペイン第二組曲より第四楽章「祝宴」・In the Mood



第II部

そり滑り・アシタカせつ記



THE SOUND OF MUSIC

第III部

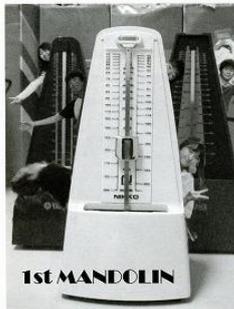
AQUA EXPRESS



社の鼓動IV～桜の風景～



PART INTRODUCTION



1st MANDOLIN

【1stドリン大団圓】

皆さん、1stドリン界には6人の小人がいるのをご存知ですか？
では、どんな彼らを紹介します。

- 2.5次元の性人科・ひきこもり族： 岡崎先輩
- ひとみしり科・食べること族： ジェリー先輩
- 放送終了の青い鳥科・ジャグリング族： スーミン先輩
- おどろしい科・空見ること族： ゆり
- 朝は苦手科・いつでもリュック族： あさみん
- おあざっぱ科・昼寝(二度寝も)族： かねごん

今日も1stドリン界の力を

見せてやんよ☆

「困穴あけるわよ！」

〈Sかんど☆めんぼ〜〉

◆すぎやまEリ◆
無駄につっこみマシガン
(ハ・ウ・ハ)オラオラ

◇あらいCおり◇
その笑顔はバート内太陽☆
(*^v^*)ニバ

◆おおきさわ◆
クラブ内への影響力は半端ない
(`・ω・´)キリッ

◇Nかたりえ◇
我が4年！
今日も楽しい仲間みえすていばる！！
(^▽^´)エハ

◆Dべこつらう◆
キャラ開花真近のニューフェイス！
(´・ω・´)ン？

5人揃ってSECOND!
なかだだ〜ん♪なかだだ〜ん♪



2nd MANDOLIN

さあお待ちかね♪みんな大好きドラパートの紹介だよ(´)
まあ内のパートはあれなんです。一言で言うと変態の集まりなんです！

お姉ちゃん大好き0君、ハ〇とは俺の嫁M君。幼女大好き0君。
スクール水着が大好き0君。自称マダムキラ〜S君。
レズビアンとバイセクシャルの4年生。

MANDOLA

そんな個性的？なメンバーだからこそまとまりのある素晴らしい演奏ができるんです。たぶんですが(汗



わが感性豊かなドラパートが奏でる調和のとれた音楽をどうぞお聞きください(´-`)

マンドリン戦隊 セロレンジャー！！

MANDOLIN CELLO

マンドリン界の平和は
オレ達が守る！

- チームリーダー 高橋レッド
- チームの先駆者 むっくるブルー
- ぼたもち描かせたら世界一 後藤イエロー
- アジアンビューティ まかベピンク
- こんにやくハンター よしこグリーン
- Be gentleman のつくんホワイト



音楽あるところ、セロのメロディーあり！！
今日も昔の心にオアシスを届けるぜ☆

我がギタバでは、高校球児のごとく厳しい練習をしています(?)

天然だが音楽に抜かりなし、是常さん 替え弦は「ゴールド!」、トシちゃん先輩
ムードメーカー、ちーちゃん先輩 くまー、USA、ふーみん先輩
先輩にも丁寧、まっちゃん先輩 ギターのサドルを壊した、もろ
先輩の音取りミスに気づく、アッキーラ 寒くても半袖で汗を流す、先生

そんなギタバは、演奏会という甲子園目指して、まっくらです！

GUITAR



CONTRABASS

ウイスキー(※1)を飲んで
いる私たち・・・

さあ、今宵もベース(※2)
を語りましょうか、王子
？

※1 ウイスキーと書いて
お茶と読めます。
※2 ベースという名のメ
ガネです。

CONDUCTOR



12

四年
なかだのあゆみ

	通常の出来事	その他	N 田の出来事
2008.4	江田、岡崎、奥、小原、柿沼、是常、高橋、仲田の8人が入部。	一緒に入った友人としか話さない暗黒期。夜明けは遠い。(江仲、岡奥、小柿、高橋ハブ、是常知らん) 新歓: 先輩と是常とピッチャー	新歓は夕飯を食べにきました。 まだ皆からの呼びかけ「仲田さん」
5		K 沼: じゃんけんて負けてベース	「やっぱり仲田か?」プロテクト決定!
6	部内演	武蔵野での江田「たぶんドラパート」	
7	テスト期間		勉強はできているらしい
8	ワーキャン	岡崎リア先おめでとうノ(σ)\\ やっと同期が誰か全員判明 是常と高橋が初会話。スマブラで和解 0 原様のピアノリサイタル開演 2 番手是常、オーディション自由曲「スノースマイル」とか www 最終日打ち上げ0 原「ウイスキーです」 最後まで生き残って大富豪 岡崎の最新メールが酷い(リア充的な意味で)	
9	初の合宿		塾講師バイトとの調性否 符するも、それはまだ序章に過ぎなかったのだ...
10	定演ゲネ	合宿(約1ヶ月半)振りに全員集合	(赤い色々とばれてはいけません...)
11	一回目の定期演奏会	ARISNOVA 組曲が弾けなくて...秋 打ち上げ: 熱では常時ログアウト、ママタクシー	バーミヤンで典に筆を渡さず。「食べたいの?」
12		Beyond the sky が満場一致で通った	N 田も一入りました
2009.1			
2	家政と練習	毎週飲みに行く先輩、気付いたら居ない同期、是常魔王に目を付けられる	塾講師が本家に呼びました。N 田さんの来世にご期待下さい!!
3	家政とジョイント合宿	録音: 風の大地終わりに K 沼くしゃみ K 沼リア先おめでとうノ(σ)\\ 是常、家政様のベースにぶっつけ、遂に怒られる。「ちよっと楽屋来い」	

13

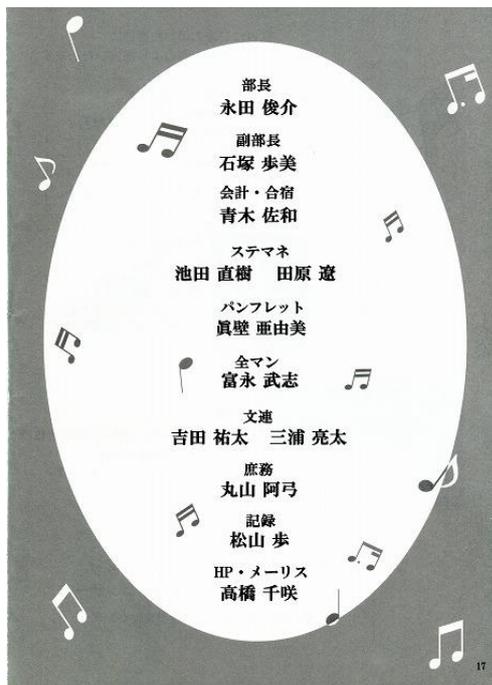
4	新歓	岡崎さんが新しい世界にログインしました。	N 田さんの優等生猫がバグもいよいよ最後の時となりました。
5	家政さんとのジョイント	高橋、0 原初指揮。船と艇コンどと言われる。 高橋熱でログアウト 家政の教人とディズニー、法政工側はまさかの全員参加(こんな時ばかり)	後輩ができて調子乗れ始める。キアラが確定される
6	部内演	ドラクエメドレーが熱い 安心と実績の武蔵野 女子美: まさかのお茶会	道曲会議で伝説のシルフを推し「私多分、2nd で、最初の連符はきっと1st だから大丈夫!」
7	テスト期間		
8		参加率: 後輩 > 自分達	「連符 2nd www ざま www」 By 仲田以外 しかし他の二年も全然弾けず
9	夏合宿	高橋の企画で競泳び。 マリカやりすぎて奥岡崎合奏中爆睡 豪雨の中の火花は...煙かった orz	ポタン電池を見比べて買い、サイズを間違える。 ピクチャの仲田インが熱い! なっかーだのなっかーだ☆ こちら道から「J」を呼ばれるようになる
10		先輩に薦められ、2年だけで練習... しようとしたが集まり悪い	色紙を作られる ゲネ開場 20 分前「江田ちゃん、ご飯食べよう!」
11	学祭	初 2 年飲みをすぎや宅で行った為、全然 2 年飲みじゃないし、次の日の練習に遅れる。 ゲネで岡崎、足つて立えない	新 OS! WindowsNoKada
12	二回目の定演	奥 BL 小説作成。 是常、AZZURRO の 3sol!! で臨時ログアウト 打ち上げ: K 沼ログアウト	塾生徒 A「先生は...28歳くらいのお母?」 塾生徒 B「学校の先生紹介しようか?」

14

2010.1		岡崎さんの前ラタ修行決定。 部長代理K沼「代理です」 奥、単独でドリンへ移動決定	
2			高橋の飽とム子が痛い
3	女子美さんと ジョイント 合宿	打ち上げが現代っ子組（ポケモン） とピアノ組（0原様）と飲み組で酷い 高橋「ちゅんちゅん」命名	後輩をさしおいて みやみやさい(25時)
4		新歓演奏	仲田、高橋、I塚、Mっくるで 新歓後スーズでディズニー 「(新歓演奏のために)免許 試験落ちてあげただんだから !!!」
5	女子美さんと のジョイント	スキル「ドミナント何とか」取得	単独ステージでコンミス 何気に初ノ口も、「高橋こっ ち見んせしー」
6	部内演	速すぎる忍たま。セロー人。	←「え「すべては高橋のせい でしょ」
7	テスト期間	←ここまでは是常以外 これからは是常だけ。	
8		女子美と数人でディズニー 1ヵ月間国外逃亡を果たす江田「ちょ っとアメリカ行ってくる。」 岡崎後援無し⇒ニート決定	⇒そのため合宿では途中 まで広い個室を一人で占領
9	夏合宿	前日まで合宿していた家政から語面 台を借りる。 K沼リア充のため手足口病で不参加 4日目夜：江田合流「なんで語面台無 いの？」⇒合宿後、仲田に誘われ上海	あっ、語面台忘れた！ ⇒だって去年はあった(と思 った)もん。。。 大学で中国語選択を理由 に上海万博に行く
10	ゲネとか	是常「ここにみんなの集合があつて …」	TV出演、「私に酔いしれさ さい(はあど)
11	三回目の定演	是常、録音ボタン●を押し忘れ、臨 時ログアウト 「！黒氏「校歌 CDに入ってる無いのか ー」 打ち上げK沼ログアウト	仲田一葉礼発行

12			
2011.1		ここら辺から飲み回りの回数が多くなり 始める	
2	春合宿	K沼さん、ここら辺から存在の力が...	就活のため打ち上げのみ ログアウト
3		さよならならスタ減、また会う日まで 地震発生！棄置置き去りorz	営業時間は 24 時まで
4			私仕事はできるよ。
5	武蔵野さんと のジョイント	前座とアンコールが4年クオリティ な件について。 高橋、家の都合で不参加	F氏からのラフスター (ぬれ煎付き)
6	部内演	あれ、またセロー人。。。。	ポケでも「理形調子乗ってん な」で全て片付けられる
7	テスト期間	←是常のみ笑	就職決まっばよ☆ 仲田家「塾講師になるんじや なかったの？」 さよなら Filebank によ N(akada)ドライブ使用開始
8		ここにきてまさかの是常リア充に全 俺が泣いた「(o)ノ	←「え、あの是常が。。。？ まじないけw p」
9	最終合宿	是常：ジョナサンでふりかけw 岡崎「くぎゅうううううううう」 K沼さん、正式脱退のお知らせをずる だけの簡単なお仕事。 中日：高橋企画5人6脚で4年が有終 の美。後の罰ゲーム、食当での水と飯 の盛り方は異常。 白い人が来た。白い人「来ちゃった！」	掛け声「RIEEEEEEEEH!!」が ちゅんちゅんだけ流る。 「食事当番って楽しい！」 打ち上げでセクシーな裸姿 をさらされる。00 氏曰くボ ンッキャッポンッ
10	ゲネ	シャナ3期始まる	マジNAKADA1000%
11	四回目の定演	コジ初めば「が」に	「えーい！！

ここからは4年に代わりまして
K常がお送りします（キラッ





法政大学工学部マンドリンクラブ
第49回定期演奏会

法政大学校歌

作詞 佐藤春夫
作曲 近衛秀磨

一、
若きわれらが命のかぎり
ここに捧げて ああ愛する母校
見はるかす窓の 富士が峰の雪
望集めん 門の外津
よき師 よき友 つどい結べり
法政 おお わが母校
法政 おお わが母校

二、
若きわれらが命のかぎり
ここに捧げて ああ愛する母校
われひと共に 認めたらすや
進取の気象 賢英の風
青年日本の 代表者
法政 おお わが母校
法政 おお わが母校

法政大学志願歌

作詞 藤永夫
作曲 平井康三郎

一、
青春の輝きは高く
燃えたつよ希望の勢に
ああ法政 不屈の生命
深刻とここにあふる
法政 法政 希望が母校
法政 法政 希望が母校

二、
オレんじのその情熱と
その香り 希望の勢に
ああ法政 希望のひかり
学舎に今ぞそそく
法政 法政 希望が母校
法政 法政 希望が母校

三、
斬しき文士の理想
花開く希望の勢に
ああ法政 ストララム響き
躍進の若き力
法政 法政 希望が母校
法政 法政 希望が母校

プログラム

第Ⅰ部

- マンドリンオーケストラの為の4章 IV.アレグロ 作曲 水野真人
- 桜色の幻影 作曲 末廣健児
- 星の航路 作曲 柴崎利文

第Ⅱ部

- ムーン・リバー 作曲 Henry Mancini、編曲 武藤理恵・神谷幹夫
- Winter Wonderland 作曲 Felix Bernard、編曲 小穴雄一
- いきものがかりメドレー 作曲 水野良樹、編曲 小関利幸

第Ⅲ部

- Impression II 作曲 舟見景子
- Planetarium 作曲 丸本大悟
- I. Adagio Reminiscenza
- II. Allegro con spirito

挨拶

本日はお忙しい中、第49回法政大学工学部マンドリンクラブ定期演奏会にご来場くださり、誠にありがとうございます。

今年は多くの新入生が入部し総勢40人以上の部員が所属しています。歴代のOB・OGの方々が50年近く築き上げてきたこの部活を今も続けていけている事に部長として誇りを感じているとともに、より良い部に出来るよう日々精進しています。

日々の練習を通して一つの曲を造りあげていく難しさや素晴らしいさを感じながら成長する毎日を送ることができたと思います。

半年の間、私達なりに一所懸命に練習してきました。練習の成果が今日の演奏会で発揮でき、皆さまに少しでも楽しんで頂ける事を願っています。

最後までマンドリンオーケストラの奏でる美しい音色をお楽しみください。

最後にはなりますが、本日の演奏会を聞くに当たり御協力頂いた皆さまに深くお礼申しあげます。

部長 渡辺信平

第I部

曲紹介

マンドリンオーケストラの為の4章 IV.アレグロ

作曲 水野真人

マンドリンオーケストラの為の4章は I.行進曲 II.小妖精 III.ファンタジー IV.アレグロで構成されています。

今回はその第4楽章であるアレグロを演奏させていただきます。
本曲は出だしから駆け上がるような曲調で始まり、音量の強弱やメロディーの移り変わりなどがとても印象的です。途中のパートごとの掛け合いも聴きどころといえます。
軽やかなテンポで進み、演奏後には聴き手も爽快感を味わえることと思います。

ぜひ、リズムにのりながらお楽しみください。

桜色の幻影

作曲 末廣健児

始まりは、穏やかな春の様子を感じさせます。
曲中にある雨は心地よく、桜の蕾がゆっくりと開き始めるかのような印象です。
マンドリンのピッキングの動きやギターのリズムは、まるで風に舞う花びら。
移り変わるマンドラやマンドセロの柔らかなメロディは、聴く人を優しく包み込んでくれます。

そしてその後、桜が咲き誇るかのように曲は盛り上がりを見せます。
終盤になると、その景色が幻だったかのような、どこか幻想的な雰囲気を残しながら曲は終わります。

美しい桜を思い描きながらお聴きください。

星の航路

作曲 柴崎利文

この曲は、「雲の行方」や「風の隊商」などで知られる、Phantasmal Overture シリーズの第5作目にあたる作品です。
タイトルの「星の航路」にあるように、曲中からは宇宙の広大さや、星々がきらめく様子が想像できる場面があります。

序盤はゆったりとしたテンポで始まり、中間部のAllegro energicoでは一転して宇宙の活動的な部分を感じさせます。からりと変わる雰囲気が印象的です。
その後、しほらくするほど風が過ぎ去ったかのように、穏やかな曲調の掛け合いが始まります。流れるような高音のメロディは神秘的な星の輝きを感じさせ、力強い低音とハーモニーを織り成すことによって、心地よく耳に響いてくることでしょう。
そして再び、冒頭のメロディをへて、フィナーレへと向かいます。

ぜひ、この曲が生み出す壮大な世界観を感じただけでも嬉しいですよ。

-3-

第II部

ムーン・リバー

作曲 Henry Mancini、編曲 武藤理恵・神谷幹夫

「ムーン・リバー」(Moon River)は1961年に作詞ジョニー・マーサー、作曲ヘンリー・マンシーニによって作られた曲です。
同年に公開された映画『ティファニーで朝食を』の主題歌であり、主演女優のオードリー・ヘプバーンが歌いました。この歌は作詞者ジョニー・マーサーの故郷、南部ジョージア州サバナにある「バック・リバー」という川の揺れる水面に月光が映る様子と、そして映画のヒロイン、オードリー・ヘプバーンをイメージして作られたそうです。

温かみのあるやさしく美しいメロディを堪能してください。

Winter Wonderland

作曲 Felix Bernard、編曲 小穴雄一

「Winter Wonderland」は1934年にリリースされたアメリカのポップスであり、作曲はFelix Bernardです。
この曲はクリスマスソングの定番で、様々なアーティストによってカバーされており、クリスマスシーズンになると街角で流れているのをよく耳にすることができます。

陽気で明るい雰囲気になっています。みなさん楽しいクリスマスをイメージしてお聞きください。

いきものがかりメドレー

作曲 水野良樹、編曲 小関利幸

吉岡聖恵、水野良樹、山下穂尊の3人による国民的人気バンド、いきものがかりの代表曲が豪華メドレーになりました。2006年のメジャーデビュー曲『SAKURA』に始まり、ヒット曲『ありがとう』『じいふる』など6曲を組み込んだボリューム満点のメドレーです。それぞれの曲はサビまでしっかり入っていて、いきものがかりの世界をたっぷり堪能できる内容となっています。
いきものがかりが好きな人も、知らない人も楽しんで聞いてください。

SAKURA

ブルーバード

じいふる

気まぐれロマンティック

ホテルノヒカリ

ありがとう

-4-

第III部

Impression II

作曲 舟見景子

本日、第三一曲目にお送りいたします曲は、舟見景子氏作曲「Impression II」です。本曲は同作曲者の前作である「Impression1999」の雰囲気を受け継いでおり、急、緩、急の三部構成になっています。また、「葛藤」をテーマとした「Impression1999」から、本曲「Impression II」では「前向きであること」をテーマとして心情が描かれています。

実は「前向き」って言葉、嫌いな人が多いです。
心の中には寂しさや迷いといった抱えて隠しちゃうものがあるのですが、それでも前向きでありたいという気持ちでこの曲を書きました。
乗り越えた先にはきっと穏やかで光に満ちた風景が広がってほしいものです。
<作曲者記>

私たちの心には、喜びや嬉しさ、楽しさ、心地よさといった正の感情だけでなく、少なからず不安や恐怖、悲しみ、苦しみなどの負の感情が混在しています。人はそうした負の感情から立ち止まってしまう気持になることもや、時には過去にすがりたくなることもあります。しかし、明日を生きるためには前に進まなければなりません。曲の前半部分では、こうした負の感情を一心不乱に振り払うかのように勢いのあるメロディーがまくらしていきま。そして、中間部分におどろける緩やかな旋律は一時の安らぎを与え、その心地よさに歩みを止めてしまいたいそうにならなくても、それまでに越えてきた様々な感情を思い出して前向きに進んでいくことを意識させ、終盤へとつながっていきます。曲全体を通して、随所にみられるアクセントや変拍子、転調なども心情の移り変わりや前向きでありたいという気持ちを感じ取っていただければ幸いです。

Planetarium I. Adagio Reminiscenza II. Allegro con spirito

作曲 丸本大悟

本曲は2楽章からなる組曲で、マンドリン・マンドラによる2重奏曲「遠い日」、「Spirit of Planet」という二つの曲を元にマンドリンオーケストラのために書き直されたものです。

第1楽章「Adagio Reminiscenza」は題名に「Adagio」とあるように、ゆったりとしたテンポで曲が流れていきます。また、「Reminiscenza」には「回想」という意味があり、その言葉通り大切な記憶を思い出すようなどこか懐かしいメロディが印象的です。静かな夜空を感じさせるようなハーモニクスで始まり、中間部にかけてパートが増えいき、しほらくに壮大なメロディへと移ります。1stマンドリン、ギターのsoloを経て、中間部では再び静寂を取り戻します。終盤の1stマンドリンの連符、2ndマンドリンのメロディは満天の星空が想像されます。

第2楽章「Allegro con spirito」の元となった「Spirit of Planet」はある意味で常に空を翔る者である人間が、それでも一歩ずつ進んでいかなければならない、という決意を曲想としています。次々と折り返る流れ星のようなソロで始まり、これから何かが起こるような期待を感じさせます。曲中のいたるところに見られるアクセントは、まるで無数の流星のようです。終盤の迫力は未来へと進むエネルギーを思わせます。忘れてはならない思い出である過去への憧れ、そしてこの先に待ち受ける未来への希望を表した曲です。

-5-

ステージメンバー

Conductor

I部 長谷部 麻実
II部 金丸 峻士
III部1曲目 菅岡 貴大
III部2曲目 後藤 一成

Concert master & mistress

I部 箕川 由理佳
II部 新井 香織
III部1曲目 吉田 祐太
III部2曲目 富永 武志

1st Mandolin

是常 崇 (4年)
富永 武志 (4年)
吉田 祐太 (4年)
箕川 由理佳 (3年)
新井 香織 (2年)
菊地 健介 (1年)
竹内 沙樹 (1年)

2nd Mandolin

青木 佐和 (4年)
杉山 恵理 (3年)
長谷部 麻実 (3年)
金丸 峻士 (2年)
佐藤 葵弥 (1年)
福田 翔大 (1年)

Mandola

池田 直樹 (4年)
菅岡 貴大 (4年)
三浦 亮太 (4年)
渡辺 信平 (3年)
小野 智宏 (2年)
佐藤 将文 (1年)
山口 春葉 (1年)
渡辺 彩香 (1年)

Mandocello

後藤 一成 (4年)
永田 俊介 (4年)
眞壁 亜由美 (4年)
山崎 禎子 (3年)
山村 和也 (2年)
伊藤 滉佑 (1年)
栗山 真帆 (1年)

Guitar

石塚 歩美 (4年)
高橋 千咲 (4年)
田原 遼 (4年)
松山 歩 (4年)
茂呂 亮寛 (3年)
井坂 琢也 (2年)
鈴木 彬 (2年)
石井 秀門 (1年)
糸井 雄紀 (1年)
太田 修平 (1年)

Contrabass

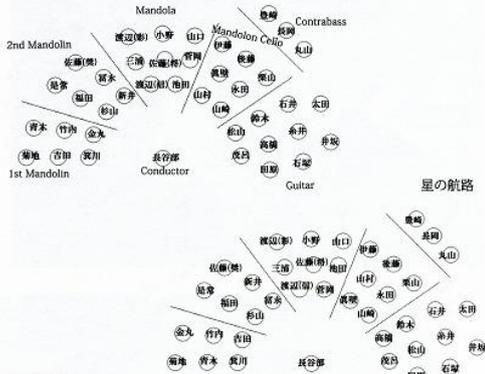
丸山 阿弓 (4年)
長岡 祐希 (2年)
豊崎 明明 (1年)

-6-

座席位置

第I部

マンドリンオーケストラの為の4章 IV.アレグロ・桜色の幻影



第II部

ムーン・リバー・Winter Wonderland



-7-

いきものがかりメドレー

第III部

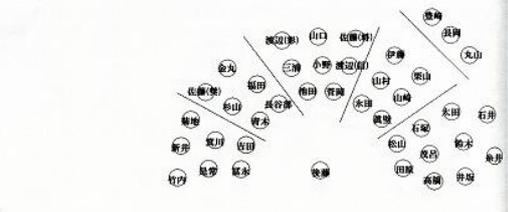
Impression II



Planetarium

I. Adagio Reminiscenza

II. Allegro con spirito



-8-

1st Mandolin

パート紹介



2nd Mandolin



-9-

Mandola Tenor



Mandolon Cello



-10-



部長 渡辺 信平
 会計・合宿 山崎 禎子
 ステマネ・全マン 杉山 恵理
 パンフレット 箕川 由理佳
 企画文連 茂呂 亮寛

広告にご協力頂いた皆様に
 部員一同心より感謝いたします。

♪ 演奏会おめでとうございます ♪

音楽・スポーツ・ゼミの合宿、卒業旅行などの手配
 貸切バスの予約など、色々な目的にご利用下さい。
 丈夫で明るい、元気なスタッフが対応させて頂きます!!
 私達は“音楽の味方”です!! 東京駅前専任旅行業・第9-296号

〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南1-15-1
 Tel:0422-43-4100 Fax:0422-43-4175
 URL: <http://www.wtr.co.jp/>

ワタルツアーリスト
 Wataru Tourist Arrangement

豊富な、透明な響き

雪、緑、紅葉
 すばらしい自然環境の中、
 豊かな、透明な響きをホー
 ルいっぱいいたたえた格調
 高い演奏会は、都会では味
 わうことのできない心の贅
 沢とも言えるでしょう。

サンギャレッシュ & Harmony Hall
 東京都武蔵野市吉祥寺南1-15-1
 〒180-0003
 TEL:0422-43-4100
 FAX:0422-43-4175

2012年4月よりイケガクは
日曜・祝祭日も 営業開始!

印刷
 PICO プリンティングイン株式会社

いつも綺麗な印刷
 ありがとうございます。

〒117-0001 東京都豊島区西池袋 3-23-4-2F
 Tel: 03-5952-1391 Fax: 03-5952-1392
 営業時間 平日・土曜 10:00 ~ 19:00
 日曜・夜日 10:00 ~ 18:00

株式会社 **イケガク**



ご挨拶

本日は日頃からHTMCをご支援下さいます皆様と御一緒に記念すべき定期演奏会を開催する事が出来、現役部員一同およびOB・OG会員も感謝・御礼を申し上げます。又個人的には格別の喜びも感じております。

HTMCの定期演奏会と言うと、1964年11月11日に新宿の厚生年金会館小ホール（800名収容）に於いて開催した第1回目当時の事を何時も思い浮べます。

初めての事でもあり、不安を感じながらも怖いもの知らずで突き進み、「何とかしよう」と言う全部員の一体感と、工学部内の音楽クラブ（ウエスタンブレイボーイズおよびラテンノバス）の協力と後押しも得て、「何とかあった」の出来栄えではありました。

又、この年1964年は、「東京オリンピック開催（10月10日）」、「東海道新幹線、東京ー新大阪、開業（10月1日）」、工学部の港区麻布新堀町から東小金井の武蔵野市狛野町への移転（4月1日）等々が有り、世の中は「騒がしい勢い」に満ちていて、HTMCも「行け行けの空気」であったのかも知れません。

終わりに、HTMCは更なる伝統・歴史の構築と活動の継承を目標として行く所存ですので、ご来場の皆様の変わらぬご支援を、御願ひ申し上げます。

又、この場を借りて現役の部員に御願ひしたい事は、先・後輩各々3学年分を含む7学年分のクラブ活動を通じての仲間は、将来に亘って本当に得たい友となりますから、その繋がりを大切に持って行って下さいと言う事です。

OB・OG会々長 菊地 隆（1965年機械工学科卒）

本日はお忙しい中、私たち法政大学工学部マンドリンクラブの定期演奏会にご来場頂き誠にありがとうございます。

今年は50回目の定期演奏会の年であり、こうしてOB・OGの方々を迎えて50回という記念定期演奏会を迎えられましたことをうれしく思います。

この日のために、部員一同日々練習に励んでまいりました。皆様に楽しんでいただけるよう精一杯演奏しますので、ご来場いただきました皆様に楽しんでもらえたら幸いです。

今年は、記念定演ということもあり、1部を3年生、2部を2年生、OB・OGの部をOB・OGの方々、3部は4年生が中心となって曲を作り上げてきました。それぞれの部のカラーをぜひお楽しみください。

最後になりましたが、今回の演奏会を開催するにあたり、ご協力頂いた関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

部長 井坂 琢也

-1-

プログラム	
第I部	
Rock'n March	作曲 藤掛 廣幸
Little Tune for Mandolin Orchestra No.3 風の彼方へ	作曲 大村 慎一
Beyond the skies	作曲 末廣 健児
第II部	
となりのトトロより「風のとおりみち」	作曲 久石 譲 編曲 中野 薫
嵐メドレー	編曲 遠藤 秀安
OBの部	
Solamente una Vaz	作曲 Agustín Lara 編曲 T.Sakakibara
愛器を奏でて Play Fiddle Play	作曲 A.Altman 編曲 中川 信良
トロイカ ロシア民謡	編曲 高橋 芳巨
(ルンバ)砂漠の哀愁	編曲 平山 英三郎
第III部	
星空のコンチェルト	作曲 藤掛 廣幸
杜の鼓動Ⅲ 街の灯-	作曲 丸本 大悟

-2-

曲紹介

第I部

Rock'n March

作曲 藤掛 廣幸

この曲はもともと吹奏楽のコンクールの課題曲としてつくられ、それを作曲家がマンドリンオーケストラのために書き直したものです。曲名に「マーチ」とついているものの、いわゆる普通の軍隊調のものではなく、もっと楽しくワクワクするアフロ・ロック（ノリの良いアフリカ音楽の要素）のようなリズム感の音楽にしたい、という発想で書かれた曲です。

どのパートにもメロディと刻みがあり、とてもバリエーション豊かな曲調です。第50回の記念定期演奏会の幕開けにふさわしい、とても楽しく軽快なメロディ・伴奏・リズムをぜひともお楽しみください。

Little Tune for Mandolin Orchestra No.3

風の彼方へ

作曲 大村 慎一

どこからともなくやってくる風の中にどこかの音楽が聴こえてくる

—そんなイメージから始まり、この曲中ではいくつもの風が表現されます。やってきては過ぎていき、時に嵐のように激しく、時にそよ風のように優しく。曲調が変わる場面では、風がこちらに語りかけるように、はたまた何かを尋ねているようにも聴こえます。風に運ばれているのか、立ち向かっているのか、その先には何があるのか。私たちの演奏でご想像いただけたら幸いです。

Beyond the Skies

作曲 末廣 健児

澄みきった青空、満点の星空、燃えるような夕焼け空、そして時には雨雲に埋め作られた空。

空はいつも私たちの上に広がっていて、見上げていとそよ風に吸い込まれてしまいそうな感覚に襲われます。

～このまま大空へ飛んで行くことができたら、どこまで行けるだろう？そして何が見えてくるのだろう？～

そういった空への“憧れ”ともいえるイメージからこの曲は生まれました。

-3-

第Ⅱ部

となりのトトロより「風のとおりみち」

作曲 久石 譲
編曲 中野 薫

「風のとおりみち」は、スタジオジブリ制作の映画「となりのトトロ」のイメージソングとして作られました。

この曲は、となりのトトロの多数の場面で使われていますが特にさつき、メイが植えたどんぐりから芽が出て、大きな木に育っていく場面で用いられているのが一番印象に残っているのではないのでしょうか？

はじまりはそよ風。次第に風が強くなっていく。どこか切ないこの曲を、緑豊かな集落にいるような気分でお聞きください。

嵐メドレー

編曲 遠藤 秀安

1999年のデビュー作から2010年の最近のものまで約10分のメドレーの間に16もの曲が詰め込まれています。

ドラマ花より男子2の主題歌でファン人気も高いLove so sweetや山田太郎ものがたりの主題歌happinessといったアップテンポな曲に加え、beautiful days、とまどいながらのような前者2つとは雰囲気異なる曲も入っています。

誰もが知っている口ずさみたくなるような曲が多いので、一緒に曲を楽しんでいただければ幸いです。

-4-

第Ⅲ部

星空のコンチェルト

作曲 藤掛 廣幸

夜空に輝く無数の星たちを見ていると様々なイメージが浮かび上がってきます。

「コンチェルト」というタイトルを選んだのは、「音」そのものの美しさを追究したいという思いに基づき、バロック音楽の「合奏協奏曲」を現代に蘇らせたい、という意図があったからです。

主要なメロディは、ミュージカル「小さな虫の物語」から引用されました。＜作曲家HPより一部抜粋＞

静かな夜空を思わせるかのような繊細なメロディで曲は始まります。中間部では一転して、星々の躍動感、そして力強さが伝わってきます。その中でも、ふと夜空の広大さや輝く星の優雅さを感じさせるフレーズがあり、とても印象的です。

そしてドラマティックな盛り上がりを見せながら、曲はフィナーレへと向かいます。

ぜひ、場面によって変わる星空を感じて頂けたらと思います。

杜の鼓動Ⅲ-街の灯-

作曲 丸本 大悟

「杜の鼓動」は全4楽章から構成される組曲です。

今回はその第3楽章である“街の灯”を演奏させていただきます。

「街の灯」は、都市でビルの立ち並ぶ様を「森」と比喩する所から曲想を得ました。

人工的な建造物の立ち並ぶ森、自然の動植物達の住む森、そのどちらもが人には必要であり2つの森はせめぎあいながらも融和を図ろうとします。＜作曲家記より一部抜粋＞

この第3楽章では、自然と人とのせめぎ合いがモチーフとなっています。

そのため、曲中には都市のビルが立ち並ぶ様子をイメージさせる部分や自然の中の生命力が伝わってくるようなフレーズなど、二つの「森」が感じられる場面があります。

その二つの「森」のせめぎ合い、そしてその先の「森」の姿を感じて頂けたら幸いです。

-5-

ステージメンバー

Conductor

I部 鈴木 彬
II部 金丸 峻士
III部 栗山 真帆
OB部 佐藤 将文
IV部 田作 好司郎
V部 長谷部 麻実

Concert master & mistress

I部 新井 香織
II部 菊地 健介
III部 福田 翔大
OB部 清水 正明
IV部 杉山 恵理

Mandolin

杉山 恵理 (4年)
長谷部 麻実 (4年)
箕川 由理佳 (4年)
新井 香織 (3年)
金丸 峻士 (3年)
菊地 健介 (2年)
佐藤 奨弥 (2年)
竹内 沙樹 (2年)
福田 翔大 (2年)
川崎 有芽乃 (1年)
黒岩 佑有 (1年)
竹内 大將 (1年)
中村 康輔 (1年)
市倉 暁示 (4期)
清水 正明 (7期)
徳江 健一 (9期)
遠藤 弘行 (11期)
岡崎 拓也 (48期)
青木 佐和 (49期)

Mandola

渡辺 信平 (4年)
小野 智宏 (3年)
佐藤 将文 (2年)
山口 春菜 (2年)
渡辺 彩香 (2年)
高橋 真由 (1年)
巽田 順一 (11期)
中村 明博 (42期)

Mandocello

山崎 禎子 (4年)
山村 和也 (3年)
伊藤 潤佑 (2年)
栗山 真帆 (2年)
小林 史弥 (1年)
宮島 彩季 (1年)
小田 中利成 (22期)
高橋 豊 (49期)
永田 俊介 (49期)

Guitar

茂呂 亮寛 (4年)
井坂 琢也 (3年)
鈴木 彬 (3年)
石井 秀門 (2年)
伊東 浩志 (1年)
銭 楽天 (1年)
花井 さやか (1年)
平野 春菜 (1年)
榎本 隆司 (8期)
縄 恭一 (9期)
鈴木 光彦 (42期)
是常 崇 (48期)
高橋 千咲 (49期)

Contrabass

長岡 祐希 (3年)
内藤 泰明 (9期)
高橋 豊 (13期)
丸山 阿弓 (49期)

Percussion

菊地 隆 (1期)

-6-

座席表

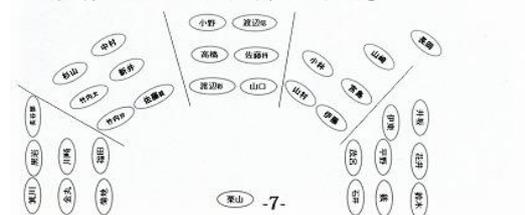
第Ⅰ部 Rock'n March Little Tune for Mandolin Orchestra No.3



Beyond the skies



第Ⅱ部 となりのトトロより「風のとおりみち」



-7-

部長 井坂 琢也 パンフレット 小野 智宏
 会計・合宿 新井 香織 企画文連 長岡 祐希
 ステマネ 鈴木 彬 関マン 山村 和也

広告にご協力頂いた皆様に
 部員一同心より感謝いたします。

法政大学工学部マンドリンクラブOB・OG会
 会長 菊地 隆



♪ 演奏会おめでとうございます ♪

音楽・スポーツ・ゼミの合宿、卒業旅行などの手配。
 貸切バスの予約など、色々な目的にご利用下さい。
 丈夫で明るい、元気なスタッフが対応させて頂きます!!
 私達は“音楽の味方”です!!

WTR

〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南1-15-1

Tel: 0422-43-4100 Fax: 0422-43-4175

URL: <http://www.wtr.co.jp/>

ワールズリスト
Illustration of World List



豊かな、透明な響き
 雪、緑、紅葉。すばらしい自然環境の中、豊かな、透明な響きをホールいっぱいにたたえた格調高い演奏会は、都会では味わうことのできない心の贅沢とも言えるでしょう。

メルマガ「イケガク便り」配信中!
 今すぐご登録を!

Facebook
 Twitterでも情報に届きます!

〒171-0211 東京都豊島区池袋9-215-2F
 TEL: 03-5561-1391 Fax: 03-5561-1392
 営業時間 平日: 10:00 ~ 19:00
 休業日: 10:00 ~ 19:00

株式会社イケガク

印刷 PICO プリンティングイン株式会社

いつも綺麗な印刷
 ありがとうございます。



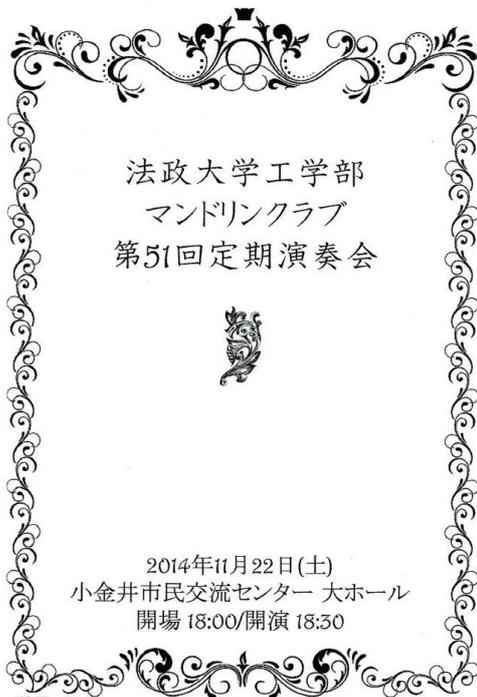
府中の森芸術劇場 ウィーンホール
 11月23日(土)
 開場 17:30/開演 18:00

法政大学工学部
 マンドリンクラブ

第50回記念定期演奏会

2013年11月23日(土)
 府中の森芸術劇場 ウィーンホール

～プログラム～
 Beyond the skies 開場 17:30
 嵐メドレー 開演 18:00
 星空のコンチェルト 入場料無料
 杜の鼓動Ⅲ～街の灯～
 他



 法政大学工学部
 マンドリンクラブ
 第51回定期演奏会



2014年11月22日(土)
 小金井市民交流センター 大ホール
 開場 18:00/開演 18:30

法政大学校歌

作詞 佐藤春夫
作曲 近衛秀麿

一、
 若きわれらが命のかぎり
 ここに揮げ志のあまざるを
 見はかす門の外
 追慕の心よ 外
 追慕の心よ 外
 追慕の心よ 外
 法政 おお わが母校
 法政 おお わが母校

二、
 若きわれらが命のかぎり
 ここに揮げ ああ愛するを
 われひと共に 認めたらすや
 追慕の心よ 追慕の心よ
 追慕の心よ 追慕の心よ
 追慕の心よ 追慕の心よ
 法政 おお わが母校
 法政 おお わが母校

法政大学校歌

青春の烽火
作詞 藤永久
作曲 平井康三郎

一、
 青春の烽火は高く
 照らす 青春の光
 照らす 青春の光
 照らす 青春の光
 照らす 青春の光
 法政 法政 青春が母校
 法政 法政 青春が母校

二、
 オレンジのその輝きと
 その香り 青春の輝きと
 ああ法政 青春の輝きと
 青春に 青春に
 法政 法政 青春が母校
 法政 法政 青春が母校

三、
 新しい文化の理想
 見届く 青春の輝き
 見届く 青春の輝き
 見届く 青春の輝き
 見届く 青春の輝き
 法政 法政 青春が母校
 法政 法政 青春が母校

御挨拶

本日はお忙しい中、第51回定期演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。

我々マンドリンクラブは今年も10人の新入部員を迎え、演奏会に向けて夏合宿や学園祭などを通して日々の練習に励んで参りました。

人数が演奏のボリュームに大きく関わるマンドリンオーケストラにおいて、本年度も多くの部員を獲得できたということは喜ばしい限りです。部員一人ひとりが音に磨きをかけ、一つの曲を創っていく楽しさというのは、私が入部した当初も、2年経った今でも変わりません。

部員一同、互いに高め合って上手くなり、なにより楽しんで合奏をできるように精進して参りました。私は、これほど楽しい雰囲気部の活動において部長として仕事ができたと誇りに思います。

そんな私たちマンドリンクラブの、活気に溢れた音とともに皆様を感動させることができたら幸いです。どうぞ最後までお楽しみください。

最後になりましたが、今回の演奏会を開催するにあたり、御協力いただいた皆様はこの場をお借り致しまして、厚く御礼を申し上げます。

部長 伊藤滉佑



プログラム

▶オープニング

法政大学校歌 作曲 近衛秀麿

▶I部

「My Sketch」より Reset! 作曲 舟見景子
 組曲「瑞木の詩」より 第四楽章「光陽の樹」 作曲 末廣健児
 夏空の憧憬 作曲 馬大樹

▶II部

戦場のメリークリスマス
 作曲 坂本龍一 編曲 赤城淳
 HIGHLIGHTS FROM HARRY POTTER
 作曲 John Williams 編曲 高野勲
 絵本の旅 作曲 本間ユウスケ

▶III部

劇的序奏「緋川ガラシャ」 作曲 鈴木静一
 AZZURRO 作曲 丸本大悟

▶エンディング

青春の烽火 作曲 平井康三郎

第I部

曲紹介

「My Sketch」より Reset!

作曲 舟見景子

大きなソウが歩いてくる。後ろからぞろぞろとソウが歩いてくる様は、まるで行進曲のように思える。数々の困難を乗り越えながらも軽快に、楽しく歩き続ける。その楽しそうな雰囲気にも、多くの動物たちが飲み込まれていく。My Sketchシリーズのうちのひとつの曲です。大きな曲が小説だとすると、この単曲は日記か随筆のようなものだと思います。軽快に、楽しく演奏し、この曲で演奏会の幕を盛大に開けます。

組曲「瑞木の詩」より 第四楽章「光陽の樹」-

ひかり
作曲 末廣健児

何もない荒地に木々の芽が植えられ、朝日が出てきて一斉に育ちあつという間に森を形成していく。数々の木々の隙間から差し込む光が、きらきら輝きを表し、朝の訪れを感じさせる。森の奥でまだ育っていないひとつの木の芽が、成長しようとしている。一億光を浴びたその芽は、ゆっくり育ち、やがて森一番の大樹に育つ。光に向かって伸びていく様は、希望に満ち溢れている。

夏空の憧憬

作曲 鷹大樹

一輝く青空の下、高みを目指して駆け抜けた人々の、永遠の絆を描く詩一首 (作曲者記)
この作品は、「空色の時間」、「雪空のファンタジー」に続く「仲間」をテーマに描いた「空」の三部作の完結編にあたる曲です。
青い空、白い雲。いつかの夏空の情景と共に仲間たちとの記憶が思い起こされるかのようにはじまり、最後は仲間との別れを懐かしむような切なげな音で終わります。
輝く青春時代を思い浮かべて聴いて下さい。

II部

戦場のメリークリスマス

作曲 坂本龍一 編曲 赤城

この曲は英国アカデミー賞作品賞を受賞した映画「戦場のメリークリスマス」のオリジナルサウンドトラックです。
映画は作者自身のインドネシアでの、日本軍俘虜収容所体験を描いた作で、美しく印象的なメロディーが特徴である曲です。
最初は静かですが、場面ごとにドラマティックに盛り上がり、最後は…
この曲を通じて、「哀愁」を感じて頂けたら幸いです。

HIGHLIGHTS FROM HARRY POTTER

作曲 John Williams 編曲 高野

ハリポッターは世界中の多くの人から愛されている映画で、今回、映画使われている劇中歌を皆様にお届けします。
最近ではUSJでハリポッターのテーマパークが開園し、まだまだ絶大な人気を誇る作品であり、このメドレーは、誰もが知っている聞き覚えがあるようなフレーズが多いので、一緒に魔法の世界を感じて頂けたらと思います。

絵本の旅

作曲 本間ユウスケ

この曲は、多様なジャンルの中で活躍される音楽家、本間ユウスケさんによって2008年に作られました。
曲中の一部分にピアノの奏法を用いるなど、他のマンドリン曲とは一風変わった空気をもちながら、親しみやすく、しかし難けば聴くほど引き込まれるメロディーの深さも印象的です。
さて、「絵本の旅」という曲名から、どんなお話が浮かびますか？
少年が冒険に出かけるお話、お姫様の恋模様、しゃべる動物のお話、綺な風景の中での、この曲は様々な場面が登場します。ぜひ聞き逃すことなく色々なお話を楽しんでみてください。

III部

劇的序楽「細川ガラシャ」

作曲 鈴木静一

この曲は、戦乱の世に明智光秀の三女として生まれ細川家に嫁いだが父の忠告に背を添った叛乱の生涯を送り、正室の立場と信仰の間で豊臣方の策に苦しめられ、最後は自らの意思で家臣の刃を胸に受け炎に身を投じた細川ガラシャを描いた劇的序曲である。(作曲者解説参考)
前半はガラシャの生きた時代と悲運を感じさせる激しいAdagioで幕を開け、後半から聴こえる聖歌のようなAndante、忍び寄る転機をイメージさせるAllegroと続く。
曲の中盤ではガラシャ自身の姿がsoloによって描かれ、同時に動乱の世と苦しむ人々が浮かんでくる。
終盤、盛大な「信仰」でキリシタンとなるが策謀の手が伸び、敵襲の中で決死と最期を迎え辭世の句を残す。
「散りぬべき時知りてこそ世の中の花も花なれ人も人なれ」
劇的だけでなく悲運の中で信仰を支えに生きた、人間味も感じて頂けたらと思います。

AZZURRO

作曲 丸本大悟

この曲は、前半、後半で大きく分かれていますが、お互いの関連が強く単曲で完結しない為、2楽章形式の組曲ではなく繋げて演奏する1曲としました。(作曲者記)
曲名の「AZZURRO」はイタリア語で「青」を意味します。青は心を落ち着かせる色です。深い海の静寂、神祕を感じさせ、澄みきった空や、果てしない宇宙へ大きな広がりをも連想させます。水・海・空・宇宙といった壮大な音のイメージを表現していきたいです。
皆さんはこの曲からどんな「青」を思うでしょうか。

ステージメンバー

Conductor		Concert master & mistress	
I部	佐藤 将文	I部	竹内 沙樹
	栗山 真帆		佐藤 葵弥
II部	伊東 浩志	II部	黒岩 佑有
	花井 さやか		中村 康輔
III部	鈴木 彬	III部	新井 香織
	金丸 峻士		

Mandolin	Mandola	Guitar
新井 香織 (4年)	小野 智宏 (4年)	井坂 珠也 (4年)
金丸 峻士 (4年)	佐藤 将文 (3年)	鈴木 彬 (4年)
菊地 健介 (3年)	山口 春菜 (3年)	石井 秀門 (3年)
佐藤 葵弥 (3年)	小暮 璃沙 (2年)	伊東 浩志 (2年)
竹内 沙樹 (3年)	高橋 真由 (2年)	銭 菜天 (2年)
福田 翔大 (3年)	園田 智子 (1年)	花井 さやか (2年)
川崎 友身 (2年)		平野 春菜 (2年)
黒岩 佑有 (2年)		川上 峻太郎 (1年)
竹内 大将 (2年)		杉本 浩香 (1年)
中村 康輔 (2年)	MandoCello	
泉 里佳 (1年)	山村 和也 (4年)	
当麻 達平 (1年)	伊藤 混佑 (3年)	
中村 有希 (1年)	栗山 真帆 (3年)	
	小谷 優奈 (1年)	
	重久 雄大 (1年)	Bass
		長岡 祐希 (4年)
		市原 植果 (1年)

Announcer
加藤 萌乃 (白百合女子大学 白百合女子大学放送研究会)

座席表

I部 1曲目 「My Sketch」よりReset!
2曲目 組曲「瑞樹の詩」より第四章「光陽の樹」

I部 3曲目 夏空の憧憬

-7-

II部 1曲目 劇的序奏「細川ガラシャ」

II部 2曲目 AZZURRO

-9-

パート紹介

感謝のこころで
びたむきに作り發けた
積み重ねの音です。

ドラパートは先に行く。
感動のない音は奏でない。

Mandola

Let's go DOLA-PA!!

-10-

MandoCello

世界は目には見えるものが全てではない。
夢見る力、想像する力、
すなわち、セロを持って者だけが
見える世界がある。

セロ。
それは不可能を可能にし、
世界に光を灯す無限の力である。

Guitar

今 マンドリン界には、ギタバの力が必要な
ギタバのギタバによる
ギタバのための定演が今始まる

-11-

幹部役職

部長	伊藤滉佑	副部長・指揮	栗山真帆
指揮	佐藤将文	会計・合宿	竹内沙樹
ステマネ	福田翔大	関マン	菊地健介
パンフレット	山口春菜	企画文連	佐藤葵弥
庶務	石井秀門		

広告にご協力いただいた皆様、
部員一同心より感謝致します。

♪ 演奏会おめでとうございます ♪

音楽・スポーツ・ゼミの合宿、卒業旅行などの手配
貸切バスの手配など、色々な目的にご利用下さい。
丈夫で明るい、元気なスタッフが対応させていただきます！！
私達は“音楽の味方”です！！ 東京藝術大学音楽学部 第3-1340号

〒180-0009 東京都武蔵野市吉祥寺南1-15-1
Tel:0422-43-4100 Fax:0422-43-4175
URL: <http://www.mtr.co.jp/>

ワタルリスト
Mandolin & Guitar

ワタルリスト
& Harmony Hall

TEL:0207-88-2281
FAX:0207-88-4622

豊かな、透明な響き
雪、緑、紅葉
すばらしい自然環境の中、
豊かな、透明な響きをホール
いっぱいにしたたえた格調
高い演奏会は、都会では味
わうことのできない心の賢
沢とも言えるでしょう。

印刷
PICO プリンティング株式会社

いつも綺麗な印刷
ありがとうございます！

ケガク (Kegaku) (VISA・MasterCard)
で支払えます！

〒171-0021 東京都豊島区池袋3-26-6-2F
TEL:03-6207-1111 FAX:03-6207-1102
E-mail: info@pico-print.com
営業時間 9:00~18:00
受付 10:00~16:00
Mandolin & Guitar
株式会社イゲガク

第52回
法政大学工学部
マンドリンオーケストラ
定期演奏会

11/27(金)
三鷹市芸術文化センター
礼拝ホール

ご挨拶

部長挨拶
本日はお忙しい中、第52回法政大学工学部マンドリンクラブ定期演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。
この一年間、私たちはマンドリン界に変革を起こそうという想いで「mandolin innovation」という目標を掲げてきました。私たちの奏でる音色は勢いの中にも繊細さを感じることができ、マンドリンオーケストラに新たな風を吹き込みます。
第一部は個性あふれる二人のダクターが幻想的な世界へ誘い、第二部では初トップを飾る2年生のフレッシュな響きをお届けします。そして、第三部はマンドリン人生の集大成となる4年生の魂の演奏に酔いしれ、法政工にしかできない唯一無二の演奏をどうぞお楽しみください。
最後になりましたが今回の演奏会を開催するにあたり、ご協力いただいた関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

部長 竹内大将

OB会長挨拶
皆様、本日はお忙しいところ多くの方々に御来場下さいまして誠にありがとうございます。法政大学工学部マンドリンクラブ定期演奏会が今年で52回目、半世紀以上になり、マンドリンの響きが継承され、輝かしい歴史と伝統が備わり、OB・OG会として誇りとこの上ない喜びがあります。
その昔50年前、当時の我々も、夏の合宿から秋の夜半にがむしやりに練習し、定期演奏会当日、緊張して指揮棒を見つめたことが脳裏に浮かび、懐かしく蘇ります。
青春の学生時代、一つのクラブ活動に全力投入し、マンドリンクラブの演奏に熱い血潮を注いだ部活動や友達は、今後の人生の大きな財産と励みになります。
今後とも、マンドリンクラブは更なる練習と努力を重ね、充実した演奏をお聴きできるような致しますので、ご来場の皆様の変なご支援を心よりお願い申し上げます。

OB・OG 会長 市倉亮示 (4期 1964年機械工学科入学)

Program

◆ 第Ⅰ部
Amalthea ~ for Mandolin Orchestra
Floating Cloud
マンドリンオーケストラの為の
幻想曲第一番イ短調 Op.22

◆ 第Ⅱ部
リスボン の 恋人たち
あの日の川
組曲『惑星』より「木星」

◆ 第Ⅲ部
流星群
ARSNOVA 組曲

作曲: 丸本大悟
作曲: 武藤理恵
作曲: 久保田孝
作曲: 湯浅隆
編曲: 森本和幸
作曲: 久石譲
編曲: 陣内義和
作曲: G.Holst
編曲: 小穴雄一
作曲: 末廣健児
作曲: 末廣健児・丸本大悟

曲紹介

◆ 第Ⅰ部 ◆
Amalthea ~ for Mandolin Orchestra 作曲: 丸本大悟
指揮: 3年 花井さやか
Amalthea(アマルテア)とは木星の第5衛星の名称を意味します。
お気付きの方はいらっしゃるかと思いますが、本演奏会の曲目は色々な意味での「そら」に関連する曲がたくさんあります。霧開けを飾るこの曲は、宇宙の壮大さを余すことなく表現しています。
もともとマンドリンチェロの4重奏曲として作られたこともあり、低音が非常に映える迫力のあるイントロから始まります。低音は宇宙の雄大さを、高音は星々の煌めきを奏で、時に優しく、時に激しく、現代のマンドリンオーケストラの良さを全身に感じるこの曲です。
テーマは「強く美しい宇宙」を目指していますが、強く美しいといえは私たち、そんな法政工らしき全員の演奏をお楽しみください!

Floating Cloud 作曲: 武藤理恵
指揮: 3年 花井さやか
『雲の中に迷い込んでしまう。もやの中に光と影が交差している。』
数々の独特な曲を作り出している武藤理恵さん。彼女の作品の中で、一枚のスケッチから作られたという小曲が複数あります。これはそのうちのひとつで、2014年に初演されたばかりの新曲です。
空に浮かぶ雲、と考えると明るイメージが思い浮かぶ方も多いと思いますが、この曲は光の裏の影や、夢幻のような少し不安になる面が見え隠れしているところが特徴的です。マンドリンオーケストラの船に乗ってひと時の雲の跡に出掛けましょう。

マンドリンオーケストラの為の幻想曲第一番イ短調 Op.22 作曲: 久保田孝
指揮: 3年 伊東浩志
この曲は上智大学ソフィア・マンドリンの委嘱を受けて作曲され、同マンドリンオーケストラの第23回定期演奏会(1984年)において初演されました。
作曲者の久保田孝氏が憧れを抱いていた「完全5度上行して2度下行する旋律」のモチーフを中心に全曲をまとられたものです。序盤の美響な雰囲気は主要主題から始まり勇壮な感じに変化していくところや、明るい第2主題とのコントラスト、2つのメロディーを同時進行させたオーケストレーションなどに注目して聴いて頂ければ幸いです。
いつもの法政工とは違う迫力もお楽しみください。

◆ 第Ⅱ部 ◆

リスボンの人たち 作曲：湯浅隆 編曲：森本和幸
指揮：2年 小谷優奈

作曲者の湯浅氏は、ポルトガルギターの留学でリスボンに渡りました。
この曲は、湯浅氏がリスボンに対する憧れ、想いが込められています。
中盤の Dolin と Dola のかけ合いが、恋人同士のときめきを描いています。
外国映画の一場面のような洒落た情景を思い浮かべながらお聴き下さい。

あの日の川 作曲：久石譲 編曲：陸内義和
指揮：2年 小谷優奈

「トンネルのむこうは不思議の町だった。」
この曲は、映画「千と千尋の神隠し」の劇中歌で、千尋が成長を重ねていく中で流れる曲です。
大きな無力感で迷いながら小さな希望を信じて生き生きとしていく千尋の姿を、前半はゆったりとしたテンポから後半の軽快なリズムに乗せて演奏します。

組曲『惑星』より「木星」 作曲：G.Holst 編曲：小穴雄一
指揮：2年 川元佳一郎

この曲は、イギリスの作曲家グスタフ・ホルスト作曲の代表的な組曲「惑星」の第四曲です。平原綾香が発表したこの曲の中間部をポップス風にアレンジした「Jupiter」は、日本でも大ヒットを記録しました。メロディはそのままでの「中間部だけは聴いたことがある」という方も多いのではないのでしょうか。
組曲「惑星」は題目となる7つの惑星の占星術におけるイメージを曲にしたものですが、占星術における木星イメージは概ね脚題の通りで「快楽や富をもたらす」とされています。そのイメージの通り、曲全体を通してイメージは快活で明るく、楽しい曲になっています。やはり一番有名なのは中間部ですが、前後半部も聴きやすい曲で、特に終盤や終わりは素晴らしいです！中間部しか知らない、という方も是非お楽しみください！

◆ 第Ⅲ部 ◆

流星群 作曲：末廣健児
指揮：4年 栗山真帆

流星群は、ひとつの場所を中心に星々が放出される様である。
あの星はいつまで星だろうか？流星群が降り注ぎ、私達の記憶もそれに合わせて思い出される。様々な軌道で星が降り注ぐ様は、これからの私達を示しているかのようだ。

感謝の気持ちを星のゆめきみにのせて、HTMC 流星群をどうぞお聴き下さい。

ARSNOVA 組曲 作曲：末廣健児・丸本大悟
指揮：4年 佐藤将文

ARSNOVA 組曲は二楽章で構成されており、
組曲「硝子の鈴」や「Beyond the skies」などで有名な末廣健児が第一楽章を、組曲「社の鼓動」や「虹彩」の作曲者である丸本大悟が第二楽章をそれぞれ担当し、共作したのになります。

第一楽章の Lento espressivo は新しいものに出合い、新しいことに挑戦するときの不安な思いや一方で浮き立つ思い、あの頃のワクワクとした少年のような気持ちといった過去の心情が描かれているように思います。
心躍るメロディに楽しさや豊かさといった表情を魅せる一方で、回顧する懐かしさや切なさが織り交ざります。

第二楽章の Allegro は卒業する4年生や彼らを送り出す部員、それぞれの未来へと繋がる人生が描かれているように思います。仲間とぶつかって苦悩や葛藤を交えることもあれば、不安に駆られてどうしようもない時だってあります。しかし、どんな時でも一歩でも前へ進み、がむしゃらに、最後にはそれぞれが描いたモノを見つけてほしいです。

ARSNOVA 組曲はこの演奏会が最後である4年生が初めての定期演奏会に出会い、これまで追いかけてきた憧れの曲であり、追い続けた背中です。
私たちのマンドリンという人生は第一楽章 Lento espressivo から始まり、そして第二楽章 Allegro を演奏することであの頃から成長して前進していく私たちを強く表現します。

ステージメンバー

◆ CONDUCTOR ◆

- I部 花井 さやか
伊東 浩志
- II部 小谷 優奈
川元 佳一郎
- III部 栗山 真帆
佐藤 将文

CONCERT MASTER&MISTRESS

- I部 川崎 友芽乃
- II部 中村 有希
当麻 凌平
- III部 竹内 沙樹
菊地 健介

◆ MANDOLIN

- 菊地 健介 電電 4年
- 佐藤 奨弥 環応 4年
- 竹内 沙樹 生命 4年
- 福田 翔大 社会 4年
- 川崎 友芽乃 生命 3年
- 巽岩 佑有 生命 3年
- 竹内 大将 環応 3年
- 中村 康輔 環応 3年
- 泉 里佳 応植 2年
- 当麻 凌平 DM 2年
- 中村 有希 環応 2年
- 飯田 愛実 応植 1年
- 城所 帆希 CS 1年
- 白須 友季葉 環応 1年
- 講本 涼香 DM 1年

◆ MANDOLONCELLO

- 伊藤 浩佑 創生 4年
- 栗山 真帆 環応 4年
- 宮島 彩季 生命 3年
- 小谷 優奈 応植 2年
- 重久 雄大 環応 2年
- 中川 麗奈 環応 1年

◆ GUITAR

- 石井 秀門 生命 4年
- 伊東 浩志 電電 3年
- 錢 楽天 生命 3年
- 花井 さやか 創生 3年
- 平野 春葉 生命 3年
- 川上 雄太郎 環応 2年
- 川元 佳一郎 機械工 2年
- 杉本 治香 応植 2年
- 小林 孝平 機械工 1年
- 山口 真梨南 環植 1年

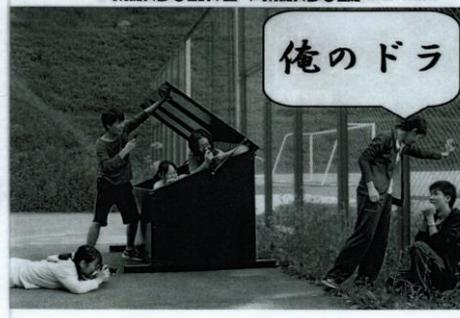
◆ CONTRABASS

- 栗山 真帆 環応 4年(田部のみ)
- 市原 祐果 応植 2年
- 樋戸 啓 環植 1年

◆ MANDOLA

- 佐藤 将文 生命 4年
- 山口 春葉 応植 4年
- 高橋 真由 生命 3年
- 園田 智子 環植 2年
- 魚本 祐介 機械工 1年
- 田原 真琴 環植 1年

パート紹介



今年、トマトを食べるために生きて、生きるためにトマトを食べるな。

あなた：Why Japanese People! But I am Japanese.

くりちゃん、生きる伝統、くりバート身替着、見送すな、見送すな。

しーちゃん、かきあげ、しげ、やっぱ人間は、あなたに足りないのは「時間」、じかなくていい、それはイヤだけど、夏巻、上。

MANDOLONCELLO ▲ ▼ GUITAR

GREATEST HITS 2015 Regular concert guitar part

今年、トマトを食べるために生きて、生きるためにトマトを食べるな。

あなた：Why Japanese People! But I am Japanese.

くりちゃん、生きる伝統、くりバート身替着、見送すな、見送すな。

しーちゃん、かきあげ、しげ、やっぱ人間は、あなたに足りないのは「時間」、じかなくていい、それはイヤだけど、夏巻、上。

CONTRABASS ▲ ▼ CONDUCTOR

一振りのタクトに、「愛」を込めて。

部長 竹内大将 パンフレット 高橋真由
 会計 平野春菜 企画文連 銭楽天
 ステマネ 川崎友芽乃 関マン 中村康輔

♪ 演奏会おめでとうございます ♪

音楽・スポーツ・ゼミの合宿、卒業旅行などの手配、貸切バスの予約など、色々な目的にご利用下さい。
 丈夫で明るい、元気なスタッフが対応させていただきます!!
 私達は「音楽の味方」です!! 東京都知事賞継続賞・第3-1940号

〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南1-15-1
 Tel:0422-43-4100 Fax:0422-43-4175
 URL: <http://www.mfr.co.jp/>

ワホルツリスト

音楽の宿 ロッチ白い鳥

〒378-0411 群馬県利根郡片品村戸倉329-3
 TEL 0278-58-7581代 FAX 0278-58-7879
<http://shiroitori.net/>

マンドリン・リユース (中古楽器販売) はじめました。

これから楽器をはじめたい方、目星をつけておきたい方、ぜひご相談ください!

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-23-5 2F
 Tel. 03-5952-1391 Fax. 03-5952-1392
 E-mail: info@ikegaku.co.jp <http://www.ikegaku.co.jp/>
 平日・土曜 10:00 ~ 19:00 日曜・祝日 10:00 ~ 18:00

株式会社 **イケガク**

広告のご協力いただいた皆様に部員一同心より感謝いたします。

法政大学校歌

作詞 佐藤春夫
 作曲 近藤秀彦

一、
 若きわれらが命のかざり
 ここに捧げて、ああ愛する母校
 見はるかな窓の、富士が峰の音
 響きあふ 門の外津
 まき節、よみえ、この鐘へり
 法政、おどろが母校

二、
 若きわれらが命のかざり
 ここに捧げて、ああ愛する母校
 われひと共に、認めたらうや
 運命の表裏、賢者の風
 青春日本の代表者
 法政、おどろが母校

法政大学校歌

作詞 藤本久
 作曲 平井清三郎

一、
 青春の輝きは高く
 照えたる青春の光に
 ああ法政不滅の光
 澄けしにあり
 法政、法政、去事が母校

二、
 ナレシンのその情熱を
 その響り母音が
 ああ法政希望の心
 青春に今こそ
 法政、法政、去事が母校

三、
 斬しき文化の理想
 花開く青春の光に
 ああ法政スランパ
 躍進の若きから
 法政、法政、去事が母校

次回演奏会予定
 2016年5月3日(火)
 小金井 宮地楽器ホール
 法政大学マンドリンクラブ・法政大学工学部マンドリンクラブジョイントコンサート
 ※日時等変更する可能性があります。

本日はご来場ありがとうございました。 部員一同



.....

第 53 回

法政大学工学部マンドリンクラブ

定期演奏会



2016年11月25日(金)

開場: 18:00 / 開演: 18:30

三鷹市芸術文化センター 風のホール

御挨拶

本日はお忙しい中、第53回法政大学工学部マンドリンクラブ定期演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。

普段、私たちは一人一人が音楽に真摯に向き合いながら楽しんで弾いています。一方で苦難も同時に味わい、悩みながらも成長をしてきました。

今回の演奏会で、第一部では初演の曲を弾きます。前例のない曲に対して私たちがなりの演奏を楽しんでいただけたら幸いです。第二部では初めての指揮、トップを務める2年生が中心の迫力ある演奏をお聴きください。そして第三部は今回の演奏会で引退となる4年生が中心となり、その集大成をお届けします。

また演奏会は聴いてくださる方と奏者のコミュニケーションの場でもあると思います。気軽に色々な形で、今回の演奏会について反応していただければ幸いです。最後にになりましたが今回の演奏会を開催するにあたり、ご協力いただいた関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ 部長 重久雄大



Program

◆第I部

組曲「風の組曲」より 第三楽章「風の軌跡」
作曲:長谷川武宏

SEA-BLUE for Mandolin Orchestra 2016年改訂版
作曲:中崎智大

組曲「杜の鼓動」より 第一楽章「樺の風景」
作曲:丸本大悟

◆第II部

vs.〜知覚と快楽の螺旋
作曲:福山雅治 編曲:遠藤秀安

雨の日のステンドグラス
作曲:武藤理恵

アルヴァマー序曲
作曲:J・バーンス 編曲:小川琢也

◆第III部

Mandolin Concerto
作曲:丸本大悟

組曲『』
作曲:→Pia-no-jaC← 編曲:池田寛志、森通香

祈り
作曲:末廣健児

第I部

◆組曲「風の組曲」より 第三楽章「風の軌跡」 作曲:長谷川武宏

演奏会一曲目にお送りするのは、長谷川武宏作曲、風の組曲から第三楽章「風の軌跡」です。マンドリン風による風のような連弾が特徴のこの曲は、何者にも縛られない自由な風を表現しています。また鍵盤にかけて、ひとつの大きな風となるかのごとく各パートの音色が重なる場面は圧巻の一言、一瞬でも気を抜くと、置き去りにされてしまったように感じるかもしれません。今宵、わたしたちがこのホールに巻き起こす法政工の風をご堪能ください。

◆SEA-BLUE for Mandolin Orchestra 2016年改訂版 作曲:中崎智大

みなさんは海と聞いてどんな色を思い浮かべますか?穏やかな海の深い青色や、荒れた海のくすんだ青色。思い浮かべる情景によって連想する色はさまざまだと思います。この曲はそんな次々と変化する海の色を表現しています。ある時はゆったりとした夜の海のような旋律、またある時は嵐の海のような猛然とした旋律。私たちが奏でる音から様々な海とその色まで感じていただければ幸いです。同じ海でもたくさんの「あお」を感じる事ができるでしょう。音と色の世界をどうぞ楽しんでみてください。

◆組曲「杜の鼓動」より 第一楽章「樺の風景」 作曲:丸本大悟

この曲は、組曲「杜の鼓動」の序章として作曲された曲です。組曲全体で自然と人との調和、せめぎあいを表したという「杜の鼓動」ですが、この第1章「樺の風景」では自然の「霧」における1日の始まりと終わり、躍動する自然を描いています。

一曲の中でゆったりとした部分もあれば軽やかな部分もあり、様々な音色が楽しめる曲となっています。ぜひ楽しんでお聴きください。

第Ⅱ部

◆vs.～知覚と快楽の螺旋

作曲 福山雅治 編曲 遠藤亮太

現象には必ず理由がある。我々がこの曲を演奏する理由、それは最高にかっこいいからだ。

この曲は映画化もされたドラマ「ガリレオ」のテーマ曲です。作曲者は主演も務めた福山雅治氏です。あるインタビューで福山氏は、007 シリーズやエルパン三世といった印象的なインストゥルメンタル曲を自分なりにできたらいいなと思って作曲した、と語っております。特徴的なエレキギターのメロディをマンドリンで演奏することで、より深みのある迫力を表現しています。さらに、途中各パートが楽器を叩くことによって、よりリズム感のある仕上がりとなっています。全身でこの曲を知覚し快楽を感じていただけるか、試させていただきます。

仮説は実証して初めて真実となる。実に面白い。

◆雨の日のステンドグラス

作曲 武藤理恵

ステンドグラスに滴る雨の音。雨粒のような旋律がそれぞれのパートから聞こえてきます。ぼつぼつと降っていた雨は次第に勢いを増し、主題の提示とともにざあざあとした雨へ移ります。マンドラテノールが情緒的に音を奏で、安らかな気持ちとともにどこか切なさやもの思ひを感じさせます。また、主題となる旋律が繰り返されることで止まらずに変化し続ける雨の様子が見られます。そしてがらりと雰囲気が変わり、土砂降りの雨がいつの間にか上がるように終わります。優しく暖かみのある音色の広がりをどうぞお聴きください。

◆アルヴァマー序曲

作曲 J.バーンス 編曲 小川琢也

アルヴァマー序曲は 1981 年にアメリカの作曲家ジェームズ・バーンによって作られた吹奏楽曲です。

アルヴァマーというのは作曲者の自宅の近くのゴルフ場の名前であるらしく、そのメロディも一つ一つが空間の広がりを感じさせるような美しいものです。この曲はシンプルかつ感動的な急、緩、急の三部構成で、力強く始まり、続いて軽快なリズムに乗せて雄大な感じさせるフレーズが演奏されます。中間部ではそれまでの軽快な曲調に代わり、光に満ち溢れたような旋律が顔を見せます。曲の最後で 1st マンドリンの早弾きに合わせ中間部の主題が再び現れるシーンは必聴です！

今回は軽快なリズムを強調するためにスネアドラムを編成に入れたの演奏しました。

3

第Ⅲ部

◆Mandolin Concerto

作曲 丸本大悟

コンチェルト（協奏曲）とは、一つの独奏楽器とオーケストラによって演奏される楽曲を意味します。近年書かれるマンドリンオーケストラのための曲としてはあまり見られない、マンドリン独奏をメインに据える珍しい構成となっています。

この「Mandolin Concerto」は、2011 年の「ARTE TOKYO」結成公演にて、同団体の委嘱作品として初演されました。その際の演奏では、団体の創設者であり、指揮者である井上泰信氏が独奏を務めています。

緊張感の漂う幕開けの後、激しくも美しいマンドラテノールの旋律によって曲が動き始めます。マンドリン独奏を主としつつ、優しくも平穏さを想起させるパートが続く。第一幕を終えます。あなたがコントラバスによる角笛のような音を耳にしたら、重厚かつ激しい民族音楽的な曲調の第二幕の始まりです。低音楽器はときに打楽器のようにも用いられ、この曲の独特な世界観を彩っています。やがて平穏さを取り戻し、安らかに、そして壮麗に終局を迎えます。

これまで積み重ねてきたたくさんの思い出を、これから訪れる未来への希望を、そして四年間の私たちの生き様をこの曲に乗せて、全身全霊で臨みたいと思います。リストが培ってきた音楽の集大成と、それに呼応するオーケストラの魂のこもった演奏を、ぜひともお聴きください。

4

◆組曲『Pia-no-ja-Ce』

作曲 Pia-no-ja-Ce 編曲 池田寛志 指揮 小川琢也

作曲者の「Pia-no-ja-Ce」は、ピアノ担当の HAYATO とカノン担当の HIRO の 2 人による、日本のインストゥルメンタルユニットです。このユニットには「ピアノとカノンの 2 つの楽器でライブ空間をジャックする」という意味が込められています。その名の通り、彼らの音楽はピアノとカノンのみのシンプルな構成でありながら、「ハイブリッド・インストゥルメンタル」と呼ばれる独自の世界を形成しています。

まるで地球が止まる瞬間、時針は狂いだす。

今回マンドリンオーケストラという形でこの曲を時に楽しく、時に切なく、そして何より楽しく演奏します！
原曲を知っている方もそうでない方も、私たちと一緒に楽しみましょう♪

◆祈り

作曲 木廣健児

ただ静かに、それでいてますますな強さをもつ。ひとつの思い、
その先にあるのは、ひとつの希望。
時として、届くことのない願い。
果たしてそのことに、意味はあるのか、否か。
―― それでも、人は押し続ける。
ひそやかに、そして、ひたむきに。

「祈り」は作曲者の木廣健児が「ARTE MANDOLINISTICA」より委嘱を受け、2010 年に作曲されました。非常に大切な人となつていった日々を案にむにとどめておきたい、という思いが本曲に込められています。

美しいソロで幕を開け、繊細にも重なりあつた旋律が演奏に奥行きを与え、流れるようなメロディの中にマンドリンの張り詰めた音の響きが、まるで一人一人の息づかいのように感じられます。

ぜひ、あなたにとって大切な人を思い浮かべながらお聴きください。

5

Stage Member

Conductor

I 部 当麻 凌平 川元 佳一郎
II 部 魚本 祐介 城所 帆昂
III 部 花井 さやか 伊東 浩志

Concert master and mistress

I 部 泉 里佳 中村 有希
II 部 飯田 愛実 白須 友季葉
III 部 川崎 友芽乃

Solo Mandolin

中村 康輔

Mandolin

川崎 友芽乃 (生命 4 年)
黒岩 佑有 (生命 4 年)
竹内 大将 (嘱 4 年)
中村 康輔 (嘱 4 年)
泉 里佳 (嘱 3 年)
当麻 凌平 (DM 3 年)
中村 有希 (嘱 3 年)
飯田 愛実 (嘱 2 年)
城所 帆昂 (CS 2 年)
白須 友季葉 (嘱 2 年)
湯本 涼香 (DM 2 年)
小川 理紗 (DM 1 年)
小田 秀将 (嘱 1 年)
山崎 航野 (嘱 1 年)

Mandola Tenor

高橋 真由 (生命 4 年)
園田 智子 (嘱 3 年)
魚本 祐介 (機械工 2 年)
田原 真琴 (嘱 2 年)
菊田 大輝 (DM 1 年)
谷松 希希 (嘱 1 年)

Mandolcello

栗山 真帆 (嘱 1 年)
重久 雄夫 (嘱 3 年)
中川 麗奈 (嘱 2 年)
土生 樹也 (DM 1 年)

Guitar

伊東 浩志 (電 4 年)
銭 東天 (生命 4 年)
花井 さやか (創生 4 年)
平野 華菜 (生命 4 年)
川上 峻太郎 (嘱 3 年)
川元 佳一郎 (機械工 3 年)
小林 孝平 (機械工 3 年)
山口 廣梨南 (嘱 2 年)
志賀 光太郎 (DM 1 年)

Contrabass

市原 柚果 (嘱 3 年)
神戸 悟 (嘱 2 年)

Percussion

志賀 光太郎 * II 部 3 曲目

6

パート紹介



【誰だ?】って聞かされたら、さげらあ 遠くまで大空を飛んで

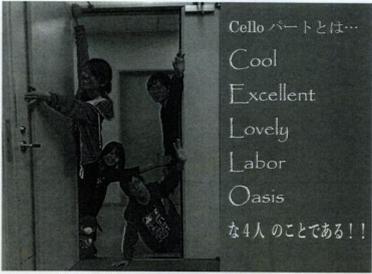
Mandolin ▲ ▼Mandola Tenor

どらばーと

ぼくらはできる子、がんばる子。



そして、卓裏(センター)から又、(ピック)を放つ



Cello パートとは…

- Cool
- Excellent
- Lovely
- Labor
- Oasis

な4人のことである!!

Mandolncello ▲ ▼ Guitar



今宵、最高のGuitar-Experienceをおたに

8



Contrabass ▲ ▼Conductor



あの時、ぼくらは夢の扉を叩いた

9

部長	重久 雄大	会計	泉 里佳
合宿・ステマネ	園田 智子	関マン	川上 峻太郎
指揮・文達	当麻 凌平	指揮	川元 佳一郎
庶務	市原 祐果	パンフレット	中村 有希

Emotional , happy life

♪夏休みおめでとうございます♪

音楽・スポーツ・ゼミ合宿から卒業旅行、貸切バスの予約まで25年間、大切な皆様へ、届けたい「豊かな心と楽しく生きる」

株式会社 ワタルツ-リスト

〒189-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町1-15-1 TEL03-622-43-4100 FAX03-622-43-4175

ワタルツ-リスト Watarutsu-List Co., Ltd.

本QRコードより
コンサート情報を
掲載しています! →

音楽の宿

ロッチ 白い鳥

〒378-0411 群馬県利根郡片品村戸倉329-3
TEL 0278-58-7581℥ FAX 0278-58-7879
<http://shiroitori.net/>

ハンドメイド・イケガクオリジナルモデル

KANADE マンダリン・コース

KANADE マンドリン 定価 129,600円

KANADE マンドラ 定価 129,600円

KANADE フラットマンドリン 定価 162,000円

〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-23-5-2F
Tel. 03-5952-1391 Fax. 03-5952-1392
E-mail: info@ikegaku.co.jp <http://www.ikegaku.co.jp/>

月・水～土曜 10:00～19:00 日曜・祝日 10:00～18:00
【定休日】毎週火曜(祝祭日は変更いたします)
※全てが100%国産

〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-23-5-2F
株式会社イケガク

広告にご協力頂いた皆様に部員一同心より感謝いたします。

10



第54回
法政大学工学部
マンドリンクラブ
定期演奏会

2017年11月18日(土)
開場:18:00 / 開演:18:30
小金井 宮地楽器ホール 大ホール

Program

第I部
組曲「杜の鼓動」より第二章「魂の還る場所」
作曲:丸本大悟
疾風風雅 作曲:椎根真太郎
Beyond the Skies 作曲:末廣健児

第II部
モンスターハンターより「英雄の証」
作曲:甲田雅人 編曲:吉水秀徳
アリア2つの小品より「風の塔の輪舞曲」
作曲:永井裕一
月に舞う 作曲:武藤理恵

第III部
叙情組曲 作曲:長谷川武宏
Planetarium 作曲:丸本大悟

ご挨拶

本日はお忙しい中、第54回法政大学工学部マンドリンクラブ定期演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。

私たちは一人一人がひたむきに音楽と向き合い、演奏を楽しみながら日々の練習に励んで参りました。曲を創り上げていく中で困難や課題はありましたが、部員全員の強い熱意で乗り越え、より良い演奏を追求してきました。

第一部では力強くも美しい世界を表現し、第二部では初トップを務める2年生が中心の勇壮な響きをお聴きください。そして第三部は、今回の演奏会で引退となる4年生の全ての思いが詰まった集大成をお届けします。活気に満ちた私たちの全力の演奏で、皆様に楽しんでいただければ幸いです。

最後になりましたが、今回の演奏会を開催するにあたり、ご協力いただいた関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ 部長 小林孝平



曲紹介

第I部

組曲「杜の鼓動」より第二章「魂の還る場所」

この曲での「杜」とは「神社や寺院の周りの森」という意味を持ち、これはこの曲が初演された場所が、今なお「杜」の多く残る京都であったことによるそうです。この曲は「自然と人の調和」をテーマに書かれた曲で、杜の鼓動の3つの楽章を通して見ることで、そのテーマがよりはっきりとわかるそうです。マンドリンのソロによりmpで奏でられる主題は穏やかさ、温かさを感じさせるもので、人の感情を表しているようです。この主題は何度か現れます。そして、曲の間では突然テンポが速くなり、第一章「樺の風景」の主題が再現されます。これは「自然の風景」を表していて、杜の鼓動のテーマをより強く感じる事ができます。今も各地に残る古い森のことを思い浮かべながら、この曲をお聞きいただければ幸いです。

疾風風雅

杜の鼓動とは一転して、二曲目は2/4拍子で書かれたアップテンポな曲です。跳ねるように上昇し流れるように下降するこの曲の主題は風が雅に舞っている様子を表しているようです。曲の冒頭では主題が1st、2nd、マンドラ、マンドセロと順々に回されていき、段々と風が集まってくる様を描いているようです。やがて集まった風たちの舞は激しさを増していきます。主題は1stと2ndによって絡み合うように演奏され、低音楽器の力強い伴奏が入ってきます。終盤ではギターによるタンポロがさらに賑わいを添えます。力強くも美しい演奏をお楽しみください。



Beyond the Skies

「空はいつも私達の上であり、どこまでも続いている。その先にはい
たい何があるのだろうか。」

そういった空への憧れから作曲された曲です。

曲はギターのアルペジオで始まり、マンドラから演奏される第1の主題
によって目の前に澄みきった青空が広がっていきます。中盤、第2の
主題が始まり、それはヘミオラのリズム(6/8と3/4が交錯するリズム)
を用いて躍動感あるメロディーを生み出し、時には荒々しい雨風をもた
らす雨雲の空を表現しています。そして曲の終盤、第1の主題が再現
され、その美しくも力強い音色は広大な青空を勇ましく飛び立っていく
様子が思い描かれます。

2つの主題からなる様々な空の情景をどうぞお楽しみください。



月に舞う

月の神の手をすり抜け人間界に降りた妖精は、若者と禁じられた恋に
落ちてしまいます。やがて月の神の知るところとなり、彼女は旋に背い
たものとして永遠に年を取ることなく、月の世界で舞い続けることを命
じられてしまいます。

この曲は、上記の妖精の感情を表した作品となっています。月の神の
存在を示す旋律から始まり、続くソロには、妖精の嘆きと永遠の舞への
覚悟が表されます。緩やかに舞は始まり、テンポの上昇とともに舞は激
しさを増します。舞は突然にして止め、場面の転換です。記憶を消され
た若者が月を望むとき、彼女の中に、若者と過ごした愛おしい日々が
甦ります。彼が月から目を離すと、彼女の舞は再開します。悲しく激しく
狂おしく、月に舞うのです。



第II部

モンスターハンターより「英雄の証」

アクションゲームとして著名な「モンスターハンター」シリーズのメイン
テーマで、このゲームをされる方なら知らぬ者はいない、屈指の曲と言
えます。新シリーズが来年登場することもあり、最近でも耳馴染みのあ
る方もおられることでしょう。

この曲はハンターが冒険に旅立ち、モンスターとの過酷な戦いや、ハ
ンターの勇士を彷彿させる迫力のある情景を第1主題で表現していま
す。また、安らぎや、悲しみ、そして冒険の儚ささえも感じさせる第2主
題とのコントラストが実に魅力的です。

迫力のあるこの曲で、みなさんを冒険の世界にお連れ致します。

アクア 2つの小品より～風の塔の輪舞曲～

「アクア 2つの小品」は東京湾アクアラインにある2つの人工島・風
の塔・うみはたるが題材になっており、陽光に輝く水面に多くの船が行
き交い、海原へと息吹を送る風の塔をイメージした曲です。

第1主題ではマンドリンの奏でる優しいワルツが、風の塔から吹いてく
る風と穏やかな海を表現しています。第2主題では転調し、より躍動感
のあるメロディを生み出し、海に生息している鳥たちの鳴き声を表現し
ています。幾度となく繰り返される第1主題は最後に激しくも切ない音
色を奏で、夕焼けに紅く照らされた海原を優しく包んでいきます。

この風の塔から描かれる様々な情景をどうぞお楽しみください。



第III部

叙情組曲

〈叙情〉とは自分の感情を述べあらわすこと、感情や情緒を主観的に
述べたもの、といった意味があります。

本曲には、懐かしい故郷の思い出、懐かしい時代への思いが込めら
れています。組曲の名の通り、本曲は大きく分けて4つの部分から構成
されています。急～緩～急の3つの部分、そして最後の回想部となっ
ております。

冒頭の怒涛の委拍子や舞曲に耳を奪われがちですが、この曲は叙情
性をテーマにしています。一部分ではなく全体の流れすべてを通して
〈叙情〉を表現しています。またこの曲には単音とトレモロ、pやfなどと
いったダイナミクスの差をはじめとした様々なコントラスト(対比)が表現
されています。さらには各パートをさらに分けた大きな編成という特色を
活かし、全体的にポリフォニック的で、色彩感をも感じられるよう工夫
されています。ひとつにたくさんの要素が詰め込まれている曲となっ
ておりますが、そのすべてが見事に調和し自然と耳に入ってくる一曲となっ
ております。

この曲を演奏するにあたって、聞く人すべてに思いだけでなくその
色や匂いまでも感じることができる、そんな曲にしていきたいと思いま
す。10分という短い間ですがこの曲に込められた〈胸が締め付けられ
る様な切なさを超えた感動〉を感じていただけると幸いです。





Planetarium

「Planetarium」は元々は「遠い日」、「spirit of planet」という別々に作られた二曲を組み合わせて生まれたものです。私達4年生はまだ1年生だった頃からこの曲が大好きで、いつか演奏したい!と憧れてきました。

マンドリンオーケストラ用の曲では星をモチーフにしたものが多数あるのですが、その中でもこの曲、特にI楽章はソロでのハーモニクスが多いです。静かな夜の空の中に星が煌めいているような美しさはそうした特徴から生まれていて、この曲にしかない見どころになっています。II楽章はアップテンポで、早弾きやノック等、法政大学工学部の良さを存分に感じていただけるかと思えます。

ハーモニクスや早弾きなど集中力が必要な場面が多く、音質等にもかなり注意をして練習をしてきました。

私達4年生の最後のステージ、大好きな後輩達と送る4年間の集大成。是非、楽しんでお聴き下さい!



Stage Member

Conductor

一部 城所 帆昂 魚本 祐介
二部 菊田 大輝 土生 樹也
三部 当麻 凌平 川元 佳一郎

Concert master and mistress

一部 飯田 愛実 湯本 涼香
二部 山崎 航野 小川 理紗
三部 中村 有希 泉 里佳

Mandolin

泉 里佳 (応植4年)
当麻 凌平 (DM4年)
中村 有希 (環応4年)
飯田 愛実 (応植3年)
城所 帆昂 (CS3年)
白須 友季菜 (環応3年)
湯本 涼香 (DM3年)
小川 理紗 (DM2年)
山崎 航野 (応植2年)
小川 実穂 (応植1年)
谷原 侑馬 (電電1年)
宮内 みずほ (CS1年)

Mandola Tenor

園田 智子 (応植4年)
魚本 祐介 (機械工3年)
田原 真琴 (応植3年)
菊田 大輝 (DM2年)
谷松 希香 (応植2年)
柴山 光歩 (応植1年)

Guitar

川上 峻太郎 (環応4年)
川元 佳一郎 (機械工4年)
花井 さやか (創生4年)
小林 孝平 (機械工3年)
山口 眞梨萌 (応植3年)
星野 謙斗 (経シス1年)

Mandolon cello

重久 雄大 (環応4年)
中川 麗奈 (環応3年)
土生 樹也 (DM2年)
新井 亜美 (応植1年)
清水 美那子 (応植1年)

Contrabass

市原 柚果 (応植4年)
神戸 悟 (応植3年)
小野田 圭織 (CS1年)

パート紹介



Mandolin ▲ ▼ Mandola Tenor



2017年度 幹部役職

*部長 小林孝平 *会計・合宿 湯本涼香
*指揮 魚本祐介 城所帆昂
*ステージマネージャー 飯田愛実 田原真琴
*庶務 白須友季菜 *文化連合委員 山口眞梨萌
*全日本学生マンドリン連盟 神戸悟 *パンフレット 中川麗奈

Emotional, happy life
♪演奏会おめでとうございます♪
音楽・スポーツ・ゼミ合宿から卒業旅行、貸切バスの予約まで25年間、
大切な皆様へ、届けたい「豊かな心と楽しく生きる」
株式会社 ワタルツーリスト
東京都知事登録旅行業・第3-2960号
〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町1-15-1 TEL:0422-43-4100 Fax:0422-43-4175
右QRコードより
コンサート情報を
掲載しています! →

音楽の宿

ロッチ白い鳥

〒378-0411 群馬県利根郡片品村戸倉329-3
TEL 0278-58-7581☎ FAX 0278-58-7879
<http://shiroitor.net/>

御礼

広告にご協力頂いた皆様、ご来場くださった皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

法政大学工学部マンドリンクラブ部員一同

法政大学校歌

作曲 近衛 春夫

一、
 兄弟わが命のかぎり
 ここに捧げても愛する母校
 聖域の空 門外漢の喧嘩
 よき師 よき友 けいこくへり
 法政 おお わが母校
 法政 おお わが母校

二、
 兄弟わが命のかぎり
 ここに捧げても愛する母校
 われど共に 進めたらや
 進取の風 留美の風
 青年日本の代表者
 法政 おお わが母校
 法政 おお わが母校

法政大学堂校歌

作曲 藤 承夫

青春の烽火は高く
 燃えたてて母が胸に
 ああ法政不滅の青春
 法政 法政 母が母校
 法政 法政 母が母校

一、
 青春の烽火は高く
 燃えたてて母が胸に
 ああ法政不滅の青春
 法政 法政 母が母校
 法政 法政 母が母校

二、
 ナレシのその情熱と
 その香りを母が胸に
 ああ法政 希望のひかり
 学舎にそそぐわが母校
 法政 法政 母が母校
 法政 法政 母が母校

三、
 新しい文化の理想
 花開く青春が胸に
 ああ法政不滅の青春
 躍進の若きわが母校
 法政 法政 母が母校
 法政 法政 母が母校

次回演奏会

東京家政大学・法政大学工学部マンドリンクラブ
 ジョイントコンサート

2018年 5月 6日(日)
 小金井宮地楽器ホール 大ホール



ご挨拶

組曲「瑞木の詩」より

本日はお忙しい中、第55回法政大学工学部マンドリンクラブ定期演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。

私たちは一人一人がひたむきに音楽と向き合い、演奏を楽しみながら日々の練習に励んで参りました。曲を創り上げていく中で困難や課題はありましたが、部員全員の強い熱意で乗り越え、より良い演奏を追求してきました。

第一部では力強くも美しい世界を表現し、第二部では初トップを務める2年生が中心の勇壮な響きをお聴きください。今年は第55回記念演奏会により、現役生とOB・OGによる合同ステージを行います。かつて現役生だったOB・OGの方々には、懐かしい風情を見ることができるとでしょう。合同ステージでは、総勢50名を超えるメンバーによって奏でられる大合奏を披露致します。普段より迫力のある第2部をどうぞご覧下さい。

そして第三部は、今回の演奏会で引退となる4年生の全ての思いが詰まった集大成をお届けします。活気に満ちた私たちの全力の演奏で、皆様楽しんでいただければ幸いです。

最後になりましたが、今回の演奏会を開催するにあたり、ご協力いただいた関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

部長 菊田大輝

プログラム

第Ⅰ部		
組曲「瑞木の詩」より第二章 森の住人たち	作曲: 末廣健児	
祈り for Mandolin Orchestra	作曲: 堀 雅貴・幡田賢彦 編曲: 小関利幸	
明日への序章	作曲: 末廣健児	
第Ⅱ部		
Oriental Wind	作曲: 久石 譲 編曲: 谷原佑馬	
マンドリンオーケストラの為のシンフォニエッタ 「森の精霊」より第3楽章 樹の精霊	作曲: 小林由直	
第Ⅱ部 OB・OG ステージ		
願いの叶う本作曲: 丸本大悟		
RuRu for Mandolin Orchestra	作曲: 湯浅 隆・吉田剛志 編曲: 御崎 恵	
「天国と地獄」序曲	作曲: J. オッフエンバック 編曲: 高梨芳臣	
第Ⅲ部		
残された時間	作曲: 末廣健児	
組曲「杜の鼓動」より第三章 街の灯	作曲: 丸本大悟	

第Ⅰ部

組曲「瑞木の詩」より第二章 森の住人たち 末廣健児

この組曲は、2003年5月に京都教育大学マンドリンクラブ様の委嘱により作曲されました。その中で、「森の住人たち」は爽やかで可愛らしい曲調が特徴でしょう。動物たちは森を駆け回り、ご飯を食べ、木陰で休み…懸命に生きています。樹々は何も言わず、そんな動物たちの生活を支え続けているのです。様々な命の形が共存する世界を想います。

祈り for Mandolin Orchestra 堀 雅貴・幡田賢彦

この曲は、東日本大震災による犠牲者の方々へのご冥福と、復興への祈りを込めて作曲されたようです。今回のこの曲の指揮者は福島県出身であり、今でも当時の被害の甚大さが思い出されます。祈りに耳を澄ませながら、被害者を弔い、そして生きている私たちが明日をどう生きるかをちょっとだけ考えてみてください。

明日への序章 末廣健児

それは私たちに必ず訪れるもの。追いかけても追いかけても届くことはなく、常に待ち構えている。「明日」とは私たちに新たな1歩を踏み出させる事象である。

この曲は、つかむことのできない「明日」を思い描き、私たちの明日への1歩を奮い立たせる曲となっています。序盤では、マンドリン族による繊細なメロディが、今日という1日が終わることの移り書きを描き、中盤では、ギターによるリズムカルな音色が、迫ってくる明日を表現しているかのようです。終盤では、全パートから奏でられるメロディにより、歓喜と希望のフィナーレを迎えることとなります。

この曲はご来場の皆様の明日への序章であります。曲の続きは明日のあなたが奏でてくれることでしょう。

第Ⅱ部

Oriental Wind

久石譲

今回演奏する Oriental Wind は久石譲の作曲で、2004年から2012年までサントリー緑茶 伊右衛門のCM曲として親しまれてきた曲です。アレンジも多数存在し、演奏者にとっても幅広い層で知られている曲でもあります。指揮をするに当たっては、流れるような静かな風が様々な場所へと茶の薫りを届け広がっていく情景をイメージしました。場面ごとに軽やかに移り変わるメロディをどうぞお楽しみ下さい。

マンドリンオーケストラの為のシンフォニエッタ 「森の精霊」より第3楽章「樹の精霊」

小林由直

この曲は変則的なパート分け(マンドリン4パート、マンドラ4パート、マンドロンチェロ3パート、ギター3パート、コントラバス2パートの全に19パート)となっており、音が厚く、独特なハーモニーを奏でます。以下、作曲者の言葉を引用して曲の解説を記します。
「第2楽章『火の精霊』では、何百年もかかって出来てきた森が一瞬にして灰になってしまいます。しかし、再びそこから小さな芽が顔を出し、成長し、様々な生き物も戻ってきます。
「樹の精霊」は再生し、命をつなぐ森への讃歌です。樹だけではなく、そこに住む動物や小さな生き物なども含む、生命への賛歌とさせていただきます。
途中にあらわれるハ長調のゆったりした旋律は、拙作「ELEGIA」の冒頭の旋律から派生しています。
また、若くして結核に倒れ、闘病生活の中で懸命に「生きる命」の意味を問い続けた詩人、矢沢幸の詩につけたメロディの一部も使われています。作曲家としてはもちろん、一医師として多くの人生と死を見てきた自分なりの「生命への賛歌」です。
—作曲者記—

第Ⅲ部

残された時間

未廣健児

この曲は大切な故人への鎮魂歌としてつくられ、2011年京都教育大学マンドリンクラブにより委嘱初演されました。曲は冒頭、コントラバスのソロで始まり、主旋律は各パートへと引き継がれていきます。美しくも切ないメロディは、仲間との「別れ」に対して、言葉にはできない様々な思いを届けてくれます。
ぜひ、あなたにとって大切な人を思い浮かべながらお聴きください。

大切な人達と過ごした、去りし日々の思い出。
私達の記憶の中にのみ宿り続ける、色褪せない時間。
これから未来を生きていく私たちに与えられた、一本の道。
一步一步踏みしめながら進みゆく、限りある時間。
そのはざまに、今という現実をどう受け止め、向き合っていくのか。

様々な思いを抱えながらも、少しずつ、精一杯歩んでいくことしか私達にはできないのではないかと思います。
(曲目解説より抜粋)

組曲「杜の鼓動」より第三章 街の灯

丸本大悟

杜の鼓動 第三章「街の灯」はゼルの立ち並ぶ様子を「森」と比喻することから曲想を得た楽章です。人工的な森と動物の住む森のせめぎあいと融和がテーマになっています。他の楽章とは異なる無機質な印象のフレーズと、1、2楽章の温かいフレーズが交互に登場します。曲中に何度か登場するソロはせめぎあいがながらも融和を図ろうとする二つの森の心を表しているようです。耳なじみのよいメロディばかりなので、ほかの楽章を聞いたことがない方でも楽しめる楽章です。ぜひ二つの森の物語を思い浮かべながら聞いてください。

ステージメンバー

Conductor

I部: 主生 樹也 菊田 大輝
II部: 山崎 光歩 谷原 侑馬
OB: 花井 さやか(53期) 田作 好司郎(49期)
III部: 魚本 祐介 城所 帆瑛

Concertmistress & Concertmaster

I部: 山崎 帆瑛 小川 理紗
II部: 宮内 みずほ 小川 実穂
OB: 湯本 涼香 川崎 友寿乃(53期)
III部: 白頭 友季葉 湯本 涼香

Mandolin

飯田 愛太 (応祐4年)
城所 帆瑛 (CS4年)
白頭 友季葉 (環祐4年)
湯本 涼香 (DM4年)
小川 理紗 (DM3年)
山崎 帆瑛 (応祐3年)
小川 実穂 (応祐2年)
宮内 みずほ (CS2年)
北村 隼太郎 (DM1年)
飯田 祐 (DM1年)
鈴木 孝啓 (応祐1年)
中野 匠真 (機械工1年)
森下 勝太 (応祐1年)
湯藤 弘行 (11期)
三上 徹 (18期)
川崎 友寿乃 (63期)

Mandola

魚本 祐介 (機械工4年)
田原 真琴 (応祐4年)
菊田 大輝 (DM3年)
谷松 希香 (応祐3年)
柴山 光歩 (応祐2年)
中村 力 (機械工1年)
平井 萌花 (生命機能1年)
濱田 順一 (11期)
中村 明博 (42期)
佐藤 和文 (52期)
高橋 真山 (53期)

MandoCello

中川 龍奈 (環祐4年)
土生 樹也 (DM3年)
新井 亜美 (応祐2年)
清水 美那子(応祐2年)
久保 愛太 (応祐1年)
中川 翼 (応祐1年)
内海 悟志 (42期)
茂木 勝俊 (45期)
栗山 真帆 (52期)
宮内 夢季 (53期)
重久 輝大 (54期)

Guitar

小林 孝平 (機械工4年)
山口 真梨南 (応祐4年)
星野 謙斗 (経シ2年)
松原 陸 (環祐2年)
谷原 侑馬 (環祐2年)
川野 皓治 (経シ1年)
西原 佑真 (応祐1年)
山本 祐士 (DM1年)
坂本 隆司 (8期)
鈴木 光彦 (42期)
山田 拓也 (46期)
足常 崇 (48期)
花井 さやか (53期)
平野 春菜 (53期)
川元 佳一郎 (54期)

Bass

神戸 栞 (応祐4年)
小野田 圭織 (CS2年)
高橋 豊 (13期)

パート写真(現役)

◇Mandolin



◇Mandola



◇MandoCello



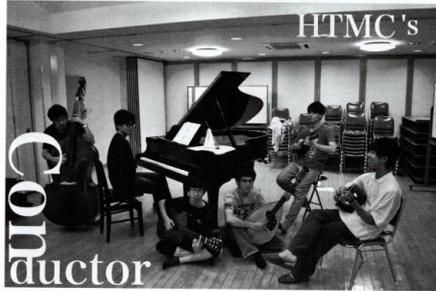
◇Guitar



◇Bass



◇Conductor



2018年度 幹部役員

部長・指揮者 菊田 大輝
 会計・合宿 小川 理紗
 文連・関マン 山崎 航野
 ステマネ 谷松 希香
 パンプ・指揮者 土生 樹也

法政大学校歌
 作詞 佐藤 泰夫
 作曲 近衛 秀麿

一、
 若きわれらが争のかざり
 ここに捧げて、あまする母
 見ゆるかす雲の 雲手が母の背
 望まぬ人門の外
 よき絆 よき愛 ついでにほべり
 法政 おおれが母校

二、
 若きわれらが争のかざり
 ここに捧げて、あまする母
 われらと共に、強めたるや
 進取の風 賢者の風
 青年日本を 代表す
 法政 おおれが母校

法政大学学生歌
 香泉の輝文
 作詞 藤永 夫
 作曲 井澤 三郎

一、
 香泉の輝文は高く
 照らしたる母の物に
 ああ法政不滅の生命
 塗刺どこにある
 法政 法政 香草が母校

二、
 オレンジのその輝文と
 その香り母草が物に
 ああ法政 希望のひかり
 学舎に金子そそぐ
 法政 法政 香草が母校

三、
 新しき時代の理想
 花開く香草が物に
 ああ法政つらぬ駆き
 理想のまきこから
 法政 法政 香草が母校

広告

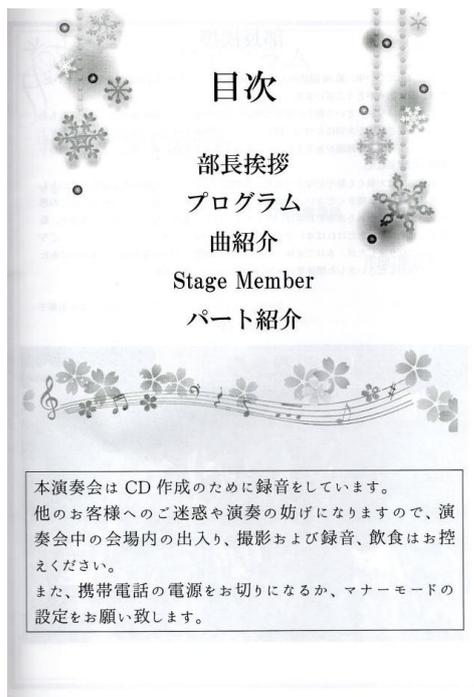
Iguchi Guitar & Mandolin shop
 野口・大野マンドリン総発売元
(有)絃楽器のイグチ
 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-26-5 パール代々木104
 TEL 03-3378-5357 FAX 03-3378-5358
 営業時間 11:00~19:00(日・祝日定休)
 Email: info@iguchi.main.jp
 URL: http://iguchi.main.jp/
 モバイル版通販サイトはこちら



ロッチ白い鳥
 〒378-0411 群馬県利根郡片品村戸倉329-3
 TEL 0278-58-7581 代 FAX 0278-58-7879
 http://shiroitori.net/

広告にご協力頂いた皆様、ご来場くださった皆様に
 厚く御礼申し上げます。
 誠にありがとうございました。

法政大学工学部マンドリンクラブ部員一同



部長挨拶

本日はお忙しい中、第56回法政大学工学部マンドリンクラブ定期演奏会にお越しいただき、誠にありがとうございます。

私たちは「令和」という新しい年号に変わってから初めての定期演奏会ということもあり、古き良き伝統を大切にしつつ、新しいことへの挑戦を行ってきました。曲を創り上げていく中で様々な課題がありました。部員全体で支え合い乗り越え、より良い演奏を追求してきました。

第1部では力強くも軽やかなリズムを、第2部では初トップを務める2年生を中心とした勇壮な響きをお聴きください。第3部では、今回の演奏で引退となる4年生の全ての想いが詰まった趣のある演奏をお届けいたします。活気が満ちた私たちの全力の演奏を、最後までお楽しみいただければ幸いです。

最後になりましたが、本日も来場くださいました皆様、今回の演奏会を開催するにあたってご尽力くださいました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ 部長 清水美那子



プログラム

第Ⅰ部

Amalthea for Mandolin Orchestra

マンドリン酒場の夜 作曲：丸本大悟

作曲：湯浅隆 編曲：吉田剛士

マンドリンオーケストラのための群炎Ⅱ 作曲：熊谷賢一

第Ⅱ部

人生のメリーゴーランド 作曲：久石譲 編曲：武藤理恵

紅蓮の弓矢 作曲：Revo 編曲：遠藤秀安

劇付随音楽「皇帝ボリス」より序曲 作曲：V. S. Kalinnikov 編曲：石村隆行

第Ⅲ部

社の鼓動Ⅳ -桜の風景- 作曲：丸本大悟

社の鼓動Ⅱ ~2. ある雪の日の記憶~ 作曲：丸本大悟

曲紹介

第Ⅰ部

Amalthea for Mandolin Orchestra 丸本大悟

今回演奏する丸本大悟作曲のAmalthea for Mandolin Orchestraは、マンドリンチェロと呼ばれる低音楽器の4重奏のバージョンをもとに再編された曲です。オーケストラ版では低音域の重厚な下地の上に華やかな高音がちらびめられ、もとの曲の豊かな雰囲気はそのままにまた違った良さが引き出されています。

定期演奏会の1曲目を飾るにふさわしい勢いのある曲ですどうぞお楽しみ下さい。

マンドリン酒場の夜 湯浅隆

オーケストラといわれると何か堅いものをイメージする人もいかもしれませんが、ですがこの曲はスイングを取り入れた弾みのいい明るさや、快活なマンドリンのメロディが特徴となっています。酒場のお客さんになったつもりで、自由な雰囲気を楽しみながら聴いてくれると幸いです。

マンドリンオーケストラのための群衆Ⅱ 熊谷賢一

本曲は1971年に作曲家、熊谷氏にとって最初のマンドリン合奏曲である群衆Ⅰを発表した後に書かれた2作品目であり、同年に名古屋学院大学マンドリンクラブによって初演されました。

本曲は6曲あるマンドリンオーケストラのための「群衆」の中で最も規模が小さいですが、主題間の関連性を軸とした綿密な構成感や、前作群衆Ⅰの主題の引用など、非常に密度が高い作品です。

曲の冒頭と終盤に現れるギターの特殊奏法、各パートが奏する不気味な不協和音、中間部の美しいメロディなどを、熊谷氏の作品の創作理念である「次世代を担う若い人達に平和を願い、生きる力と喜びを伝えること」を感じながら聞いていただければと思います。

(マンドリンオーケストラコンコルディア 第32回演奏会パンフレットより引用)

第Ⅱ部

人生のメリーゴーランド 久石譲

ジブリ映画「ハウルの動く城」のメインテーマである本曲は、物語の様々な場面で流れ、主人公ソフィーの心を豊かに表現しています。魔法使いのハウルとの生活で振り回されながらも勇敢に生きていくソフィーの人生を思い浮かべながら聞いてみてください。

3拍子の軽快な印象あるメロディで、第Ⅱ部の幕開けを彩るにふさわしい曲となっています。多様なアレンジで親しまれている曲ですが、今日はマンドリンオーケストラ編成でお楽しみください。

紅蓮の弓矢 Revo

ご存じの方も多いかもしれませんが、こちらはアニメ「進撃の巨人」のオープニングテーマ曲です。作曲者が原作のファンらしく、演奏を聞いていただければ原作を知らない方でも、この作品の世界観や情景をイメージできるのではないかと思います。人生のメリーゴーランドとは打って変わり、冒頭から激しい曲調で迫力のある曲となっています。各パートに見せ場があるので、それぞれの楽器の音に耳を澄ませて聴いてみてください。

劇付随音楽「皇帝ボリス」より序曲 V. S. Kalinnikov

皇帝ボリスは、ロシアの作曲家ヴァシリー・カリンニコフによって作曲された、ロシアの皇帝ボリス・ゴッドノフを描いた曲です。マンドリン界隈では知られつつある曲ですが、管弦楽をされている方々はカリンニコフの交響曲1番2番を知っている方でもこの曲は知らない方もいらっしゃいます。カリンニコフが重たい病と闘いながら作曲した曲であり、強い生への希望が曲に反映されている様に感じます。

この曲は、カリンニコフが得意とする種別形式で構成されています。5個ある主題1つ1つが皇帝の何かを表していると言われていて、どの主題が何を表しているのか、考えながらお聞きください。

第Ⅲ部

杜の鼓動Ⅳ-桜の風景- 丸本大悟

本幾年の冬を耐え、力強く立つ桜の木々は、今年も花を咲かせる。静かな朝、春風は爽やかに駆け、花びらは舞う。思い出も風に乗ってくる。またこの景色を観に戻ろう。音もなく花びらは落ちる。

杜の鼓動Ⅳ-桜の風景-は、桜の木々とそこに吹く風、そして桜を観る人たちにある桜との思いが感じられる作品となっています。桜はただ咲いているだけでも綺麗です。しかし、桜以外の事も共に感じることでさらに美しさが際立つのだと思います。

私たちは2016年の定期演奏会から、組曲「杜の鼓動」を一楽章ずつ演奏してまいりました。そして今年度の1年生は全ての楽章に携わることができ、杜の鼓動への強い思い入れもありません。したがって、今年はまだ演奏していない杜の鼓動を演奏することにいたしました。気合の入った第Ⅲ部をぜひご覧ください。

杜の鼓動Ⅱ ~2.ある雪の日の記憶~ 丸本大悟

あの頃の賑やかな色をしていた桜も長い時間が経ち、今では銀色の花を咲かせる季節になりました。積もり積もった雪の情景からは、あの美しかった桜の頃の記憶や、長い時を経た今の思いが思い返されるかのようです。

杜の鼓動Ⅱ. 2-ある雪の日の記憶-は、寒い雪の季節、これまで過ごしてきた記憶に思いを馳せ、これから進む新たな時間に向かっていく希望や力強さが感じられる作品となっています。記憶には、喜びや、辛さ、寂しさなど思いは様々です。マンドリンから奏でられる美しい雪のメロディにはそんな思いが込められているかのようです。

また、「杜の鼓動Ⅱ」の2曲目となる今曲は前曲「桜の風景」引用や、フルート・クラリネットの使用が特徴的となっています。両管楽器が奏するメロディにも是非注目してみてください。

今演奏の1りを飾めるこの曲は、私たち1年生の集大成となっております。1年生の桜の季節から今日までの記憶と想いが詰まった最後の演奏会となります。迫力と感動のフィナーレをどうぞ最後までお楽しみください。

Stage Member

Conductor

- Ⅰ部 柴山 光歩 谷原 侑馬
- Ⅱ部 谷原 侑馬
- Ⅲ部 土生 樹也 菊田 大輝

Concert master and mistress

- Ⅰ部 小川 実穂 宮内 みずほ
- Ⅱ部 猿田 昂 北村 健太郎
- Ⅲ部 山崎 航野 小川 理紗

Mandolincello

- 土生 樹也 (DM4年)
- 新井 亜美 (応植3年)
- 清水 美那子 (応植3年)
- 久保 慶太 (応植2年)
- 中川 翼 (応植2年)
- 阿部 彩乃 (経シス1年)
- 田沼 彩賀 (環応1年)

Guitar

- 谷原 侑馬 (電電3年)
- 星野 謙斗 (経シス3年)
- 松原 陸 (環応3年)
- 川野 慎治 (経シス2年)
- 西原 佑真 (応植2年)
- 浅岡 草太郎 (F B 1年)
- 小林 史佳 (応植1年)

Mandolin

- 小川 理紗 (DM4年)
- 山崎 航野 (応植4年)
- 小川 実穂 (応植3年)
- 宮内 みずほ (C S 3年)
- 北村 健太郎 (DM2年)
- 猿田 昂 (DM2年)
- 森下 勝太 (応植2年)
- 伊藤 春乃 (経シス1年)
- 大久保 慶 (F B 1年)
- 中川 愛加 (F B 1年)

Mandola Tenor

- 菊田 大輝 (DM4年)
- 谷松 希香 (応植4年)
- 梅本 真衣 (応植3年)
- 柴山 光歩 (応植3年)
- 中村 力 (機械工2年)
- 平井 萌花 (F B 2年)
- 神野 拓 (F B 1年)
- 棚瀬 元貴 (F B 1年)

Contrabass

- 小野田 主織 (C S 3年)
- 根本 野乃子 (F B 1年)

Flute&Clarinet

- 金山 星奈 (賛助)
- 辻 愛季子 (賛助)
- 宮崎 望心 (賛助)
- 長谷川 七海 (賛助)

パート紹介

Mandolin



息を合わせて
ハイタッチーズ

Mandola Tenor



1部 2部

Mandolncello



Guitar



Contrabass



ベースの子
Bassing With You

ねえ、
今から弾くよ！

Conductor



法政大学校歌

作詞 佐藤 春夫
作曲 近衛 香澄

一、
若きわれらが命のかぎり
ここに捧げて、ああ愛する母校
あはれなる門外生、あはれなる母校
よき神よ、まはして、越へり
法政 おおわが母校
法政 おおわが母校

二、
若きわれらが命のかぎり
ここに捧げて、ああ愛する母校
わがひと世に、認めたらんや
青春日本の、代名詞哉
法政 おおわが母校
法政 おおわが母校

法政大学学生歌
青春の烽火

作詞 勝 承夫
作曲 平井 康三郎

一、
青春の烽火は高く
燃えたり、青春が胸に
ああ法政、ああ法政、ああ法政
濃烈に、あはれなる
法政、法政、青春が母校
法政、法政、青春が母校

二、
オレ達のその情熱と
その香り、青春が胸に
ああ法政、希望のひかり
青春に、今こそ、こころ
法政、法政、青春が母校
法政、法政、青春が母校

三、
新しい文化の理想に
花開く、青春が胸に
ああ法政、クラム堅き
躍進の若きから
法政、法政、青春が母校

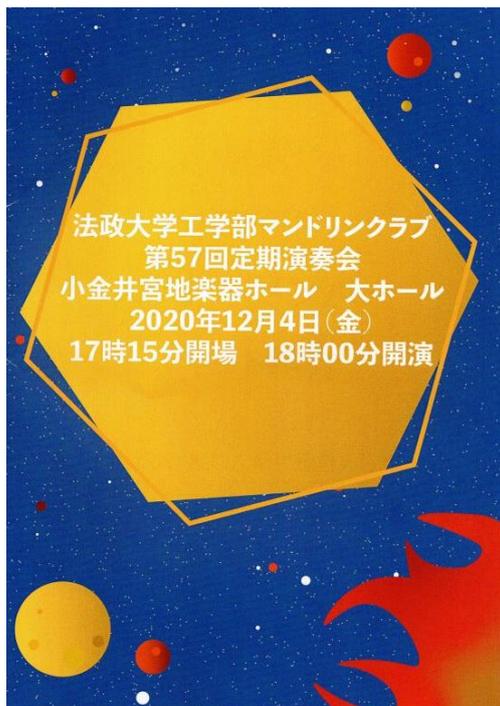
2019年度 幹部役員

部長 清水美都子	会計・会宿 小川実穂
ステマネ 新井亜美	指揮 栗山 光歩 谷原侑馬
庶務 星野謙斗	部長補佐 梅本真衣
文連 小野田圭織	関マン 松原陸
パンプ・文連 宮内みずほ	

Next Stage

國學院大学マンドリンクラブ・
法政大学工学部マンドリンクラブジョイントコンサート

2020年5月3日(日)
小金井 宮地楽器ホール 大ホール



目次

部長挨拶

曲紹介

ステージメンバー

パート紹介

本演奏会はCD作成のために録音をしています。他のお客様へのご迷惑や演奏の妨げになりますので、演奏中の会場内の出入り、撮影及録音、飲食はお控えください。また、携帯電話の電源をお切りになるか、マナーモードの設定をお願い致します。

部長挨拶

本日はお忙しい中、第57回法政大学工学部マンドリンクラブ定期演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。

私たちは様々な制約がある定期演奏会ということもあり、古き良き伝統を大切にしつつ、新しことへの挑戦を行ってきました。曲を創り上げていく中で様々な課題がありました。が、部員全体で支え合い乗り越え、より良い演奏を追求してきました。

第一部では軽やかで楽しいリズムを、第二部のアンサンブルステージでは賑やかな雰囲気、第三部では宇宙と混沌を感じてもらえたらと思います。活気に満ち溢れた私たちの全力の演奏を、最後までお楽しみいただけたらと思います。

本日まで来場くださいました皆様、今回の演奏会を開催するにあたりご尽力くださいました関係者の皆様へ厚く御礼申し上げます。

最後になりましたが、帰宅後は必ず手洗いうがいをするようお願い申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ57期 部長 北村健太郎

演奏会感染症対策について

- ・飛沫感染防止のため、原則、前後左右に1席ずつ間隔を空けてお座りください。
- ・お客様同士の会話は、最小限にとどめていただきますようお願いいたします。
- ・手洗いや備え付けの消毒液のご使用、咳エチケットのご協力をお願いいたします。
- ・会場内では常にマスクをつけるようお願いいたします。
- ・移動の際はソーシャルディスタンスの確保にご配慮ください。
- ・退場時の混雑を防止するため、エリアごとの時差退場を行います。会場アナウンスがあるまでお待ちください。
- ・演奏会終了後は演奏者との面会を行いません。速やかにお帰りください。また、演奏者への差し入れは受け取ることはできませんのでご了承ください。

プログラム

第一部

ブリック・ブレンク・ブランク
作曲:Leroy Anderson 編曲:遠藤秀安

千と千尋の神隠しより「いのちの名前」
作曲:久石譲 編曲:中野薫

Pirates of the Caribbean
作曲:Klaus Badelt 編曲:肝付兼美

第二部

The Road to Lissdoonvarna
アイルランド民謡 編曲:大将

明日も
作曲:宮崎朝子 編曲:北村健太郎

そりすべり
作曲:Leroy Anderson 編曲:中野薫

組曲「杜の鼓動」より第二章「魂の帰る場所」
作曲:丸本大悟

第三部

BLACK OUT
作曲:加賀城浩光

Overture Historique No.2
作曲:錦山栄治

第一部

プリंक・プレंक・プランク Leroy Anderson

米国生まれの作曲家であるルロイ・アンダーソンは、軽快かつチャーミングな管弦楽小品を数多く作曲していることで知られています。「プリंक・プレंक・プランク」という特徴的な曲名には、楽器をポロンと弾くという意味の「Plink」「Plunk」に語呂合わせで「Plank」を加えたという説、「Plink」をあたかも動詞の三段活用のように変化させたという説などがあります。その由来からも分かるように、賑やかで面白い曲となっております。どうぞお楽しみください。

.....
.....

いのちの名前 久石譲

「いのちの名前」は、映画「千と千尋の神隠し」のテーマソングであり、ご存知の方も多いかもしれません。この映画には、「大丈夫、あなたはちゃんとやっていける」というメッセージが込められており、そのメッセージはテーマソングである本曲にも、過去を懐かしみ未来への不安に立ち向かうような歌詞として現れています。本日の演奏に歌詞はありませんが、曲のあたたかく懐かしい雰囲気の皆様には伝われば嬉しく思います。どうぞお聴き下さい。

.....
.....

Pirates of the Caribbean Klaus Badelt

自身の夢のためカリブ海を冒険する孤高な海賊の姿を描いたハリウッド映画「Pirates of the Caribbean」。個性的なキャラクターや次々と展開されるストーリーと並ぶこの作品最大の魅力の一つはKlaus Badelt氏と彼の師匠にあたるHans Zimmer氏が織りなす音楽でしょう。自由気ままな海賊を表現した冒頭部、異変を示す前半部、そして覚悟と意地の後半部から構成される、肝付兼美氏の編曲により聴覚で楽しめる「Pirates of the Caribbean」をお聴きください。

第三部

BLACK OUT 加賀城浩光

曲名にもなっているブラックアウトという言葉には一般的に一時的な記憶喪失、停電などの意味を持ちます。他にも様々な業種の専門用語としても扱われるそうです。この曲でいうブラックアウトはいわゆる危機的状況を指しています。始めは真暗で先の見えない曲調から一転、SOSのサイレンの如くマンドリンが鳴り響き、低音が轟きます。BLACK OUTの演奏が決定して以来、指揮者自身も日常生活で追い詰められる度にこの曲が脳内で再生されていました。皆様も静寂から突然始まる緊張感、緊迫感をどうぞお楽しみ下さい。

.....
.....

Ouverture Historique No.2 藤山崇治

本作品は1978年に名古屋大学ギターマンドリンクラブによって委嘱され、東京公演において同クラブにより初演された。今回演奏する本作品は、2020年7月に改訂された2020年版である。チェロ、ベースのトシモロから始まり、無の中から生まれたカオスを奏でる第一主題、マンドリン、マンダラの二声による美しく叙情的な旋律を奏でる第二主題、再び現れたカオスを、力強く、そして激しく叩きつける第三主題。曲は崩壊のリスクの上をかるうじて綱渡りしながら、アグレッシブに展開してゆく。ギリギリまで徹底的にばらばらになることで一つに到達したときの醍醐味は、燃え上がるものを禁じ得ない、あふれたエネルギーの激しさは、この曲が熱いドラマであることを物語っているであろう。

第二部

The Road to Lisdoonvarna アイルランド民謡

Lisdoonvarnaはアイルランドのクレアにある温泉町である。アイルランド語で「峡谷に囲まれた砦」の意味。街にたどり着くための険しい道のりが描かれている。曲中でのボディーノックからアイリッシュな雰囲気を感じ取れるでしょう。



明日も

作曲：宮崎朝子

ガールズバンドSHISHAMOの代表曲。「明日も」の歌詞は辛くても苦しくても必死に走る主人公の「僕」「私」が描かれています。本日は不仲説が出ている3年生がアンサンブルを組み演奏をお届けします。



そりすべり

作曲：Leroy Anderson

クリスマスシーズンになると、スーパーマーケットで良く耳にする曲です。パーカッションも入り賑やかな演奏となります。この曲を聴いてクリスマス気分を先取りしましょう！



組曲「杜の鼓動」 より第二章「魂の帰る場所」 作曲：丸本大悟

「今年のHTMCは丸本大悟の曲をやらない?」と思ったそのあなた、安心して下さい。今年もやりますよ! 今回の演奏会のプログラムに足りないエモさをここで補います。



～ステージメンバー～

指揮者	コンサートマスター
一部 中村 力 小林 史佳	一部 猿田 昂 中川 愛加
三部 柴山 光歩 谷原 侑馬	三部 小川 実穂 宮内みずほ

マンドリン
小川 実穂 (応植4年)★
宮内 みずほ (CS4年)
北村 健太郎 (DM3年)
猿田 昂 (DM3年)
中川 愛加 (FB2年)
山下 穂乃花 (CS1年)

マンドラテノール
梅本 真衣 (応植4年)★
柴山 光歩 (応植4年)
中村 力 (機械工3年)
平井 萌花 (FB3年)
神野 拓 (FB2年)

マンドロンチェロ
土生 樹也 (DM4年)
新井 亜美 (応植4年)★
清水 美那子 (応植4年)
田沼 彩賀 (環応2年)

ギター
谷原 侑馬 (電電4年)
土生 樹也 (DM4年)※
川野 慎治 (経シス3年)
浅岡 草太朗 (FB2年)☆
小林 史佳 (応植2年)

コントラバス
小野田 圭織 (CS4年)★
根本 野乃子 (FB2年)

☆一部のみ
★三部のみ
※三部二曲目のみ

パート紹介

マンドリン



マンドラテノール



マンドロンチェロ



ギター



コントラバス



ダクター



演奏会案内

【団体名】中央大学音楽研究会マンドリン倶楽部

【開催日時】12月11日(金) 開場18:30/開演19:00

【開催場所】めぐろパーシモンホール 大ホール

【曲目】序曲「ハイムライゼ」、組曲「山の印象」、3Dimensions

【紹介文】

当倶楽部は、第119回定期演奏会を感染症対策を十分に行い開催いたします。平日開催ですので、ご予約のある方も多いことは存じますが、是非お越しいただけますと幸いです。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

【HP】<https://chuomandolin.amebaownd.com>

【Twitter】@chuomandolin

【団体名】Mandolin Ensemble LUIDA

【開催日時】2020/12/5(土)開場15:45/開演16:30

【開催場所】しずきんホール ユーフォリア

【曲目】交響組曲「FINAL FANTASY VII」、Xenoblade2、DELTARUNE

【紹介文】

当団は日本で唯一のゲーム音楽専門マンドリン楽団です。懐かしの名作から最新作まで、今回も幅広いゲーム音楽を演奏いたします。静岡市での開催と遠方ではございますが、明日(!)皆様のご来場お待ちしております。

【HP】<http://luidamandolin.web.fc2.com/index.html>

【Twitter】https://twitter.com/luida_mandolin

【団体名】東京大学マンドリンクラブ

【開催日時】12月26日(土) 開場17:00/開演17:30

【開催場所】川口リリア音楽ホール

【曲目】海の嬉遊曲、杜の鼓動 第2楽章～魂の還る場所へ、リベルタンゴ

【紹介文】

厳しい情勢下、例年より曲数を減らすことにはなりましたが第12回定期演奏会を行えることになりました。みなさまに温かい演奏をお届けできればと思います。感染症対策を行ったうえでお待ちしております。

【HP】<http://www.utmandolin.org/>

【HP】@utmandolin

演奏会案内

【団体名】武蔵野大学マンドリンクラブ

【開催日時】12月27日(日) 開場17:15、開演18:00

【開催場所】ルネこだいら

【曲目】星の航路、海辺の時計台、RENATA

【紹介文】

練習日程の関係で曲数が少なかったりという理由と制限のある演奏会になりますが、観に来てくださると嬉しいです！今年最後の演奏会はぜひMMCで！！
【Twitter】@mmc45

【団体名】慶應義塾マンドリンクラブ

【開催日時】12月26日(土) 開演16:00

【開催場所】タワーホール船堀

【曲目】歌劇『フィデリオ』序曲、虹彩、カイト

【紹介文】

第1部は2020年にちなんだ3曲、第2部はマンドリン界を代表するイタリア曲をお送りします。私たちは今年で創部110周年を迎えました！メモリアルイヤー最初で最後の演奏会、ぜひお越しください。

【HP】<https://keiomandolin.net>

【Twitter】@keio_mandolin

【団体名】オペラ集団| CANTORI (イ・カントーリ) 特別公演アフタヌーンコンサート

【開催日時】12/11(金) 14:30開場、15:00開演

【開催場所】小金井宮地楽器ホール 小ホール

【曲目】日本歌曲「からたちの花」、オペラ『椿姫』より、オペラ『リゴレット』より、他

【紹介文】

小林かなこ(ソプラノ)、小林勉(バリトン)、小森美穂(ピアノ)。日本歌曲からオペラの名曲まで、解説と共にお送りします。感染症対策有。

【チケット】全席自由2000円。

【HP】<http://blog.livedoor.jp/icanтори/>

退場時の混雑を防止するため、エリアごとの時差退場を行います。
会場アナウンスがあるまでお待ちください。
エリアにつきましては下の図をご覧ください。



引用: https://koganei-civic-center.jp/common2015/pdf/mainhall_03.pdf

アンケートはQRまたは<https://htmc57-kanso.web.app>よりアクセスしてください
チャット感覚で感想を投稿できる
掲示板も合わせてご利用ください。

チャット&アンケート

法政大学工学部マンドリンクラブ
第58回定期演奏会

2021. 12. 11 (Sat)
17:15 open/18:00 start

小全井 喜地楽器ホール 大ホール (3F)

第1部

フェスタス・デ・リスボア
作: 湯浅暁 / 編: 森本和幸

指揮: 小林史佳

本曲の作曲者である第2楽隊はポルトガルギター奏者で、ポルトガルにて日ポ交流470周年記念コンサートを開催するなど、非常にポルトガルに親しみがある方です。Festas de Lisboaはポルトガルの首都リスボンで行われるリスボン祭りであり、中世の面影を残す広場や路地り人々が祝いながら踊り明かします。白シャツか白衣装に身を包んだ人々が民謡音楽に合わせて熱く大盛り上がり。狭い奥通りもと熱気に染められる祭ります。

ギターのノックがボディ奏法から始まり、だんだんと他のパートが増えていく冒頭部は、祭り人々が集まり徐々に盛り上がりが出ていく様子を想像させます。キターやベースが奏するボサノヴァのリズムに乗せて、マンドリンが優雅なメロディーを歌う異国情趣溢れる一曲です。是非リスボンの街並みや祭りの雰囲気を感じていただきたいと思います。

Another Day Of Sun
作: Justin Hurwitz / 編: 遠藤秀安

指揮: 小林史佳

この曲は2016年に公開されたミュージカル映画「LA LA LAND」のオープニング曲としてリリースされました。

映画は演奏中の高速度演奏から始まり、一台の車から繰り出される音楽、一人の歌声から始まるミュージカルらしい歌とダンス。そこに性別の人種の違いはありません。遠藤秀安氏によって編曲されたマンドリンオーケストラ版はメロディーから車のクラクションに至るまで忠実に再現されており、劇中の歌声を表現した主旋律がマンドリンからギターまで様々なパートに割り振られています。序盤にはギターから始まる歌声がマンドリンに移りマンドリンチェロ、マンドリンへと流れ、終盤には2〜3パートで主旋律を担うことで、人々の自由と個性を尊重する楽曲の雰囲気を実現しています。コントラバスをはじめとする低音が絡むジャズ特有のリズムにも注目です。映画の冒頭部を思い浮かべながら個性あふれるHTMCによるミュージカルをお楽しみください。

マードックからの最後の手紙
作: 樽屋雅徳 / 編: 遠藤秀安

指揮: 根本野乃子

1912年4月、世界最大の豪華客船「タイタニック号」はニューヨークに向けて出航しました。船が航海に出た日の夜、船内ではたくさんの乗客たちが音楽に合わせて歌やダンスを楽しんでいました。彼らはタイタニック号に乗るこの日を心待ちにしていたのです。その一方で、タイタニック号の操縦士であるマードックは、一人船橋から静かな海を眺め、遠くにいる家族に向けて手紙を書いていた。そんな穏やかな状況から一変、マードックは船内から近づいていることに気がつきます。急いで号鐘を鳴らし、回避しようとしても時は既に遅く、船は氷山に衝突してしまいます。どんと沈んでいく船、船内に押し寄せた海水。死を覚悟する者から我先にと救命ボートに乗り込もうとする者まで、船内はパニック状態に陥ります。騒然とした状況の中、マードックは船が沈む直前の最後まで乗客の救助に尽力し、船と運命をともにすることを決意したのでした。

この楽曲は、タイタニック号を操縦していたW.マードック氏に焦点が当てられています。彼は手紙を書くことが自慢で、この日も大切な家族に向けて、その日の出来事を書いた手紙を書いていた。彼は彼でも家族思いであり、その人柄は手紙の文面にもよくあらわされていたそうです。そんなマードックからの最後の手紙を読むようにして聴いていただけたら幸いです。

本日はお忙しい中、第58回法政大学工学部マンドリンクラブ定期演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。2021年は昨年と引き続き、制限が多い中での開催となりました。その中でも皆様にも私たちができる最高の演奏をお届けするため、ひたすらに奮り戦いました。法政大学工学部マンドリンクラブ68回の伝統を絶やさず、演奏会が開催できたことを誇りに思います。最後にになりますが、本日は感謝の意を込めたお礼、今回の演奏会を開催するにあたりご協力いただきました関係者の皆様にお礼申し上げます。第58期代表 中川愛加

～感染症対策について～

新型コロナウイルス感染症対策のため、以下の点にご協力をお願いいたします。

- ・換気設備防止のため、原則として前後左右に1席ずつ間隔を空けて座席ください。
- ・会場内では常にマスクをご着用いただき、会話時は最小限にとどめていただきますようお願いいたします。
- ・移動の際は、ソーシャルディスタンスの確保にご配慮ください。
- ・退場の際は混雑防止のため、時差退場を行います。アナウンスがある場合はその場でお知らせいたします。
- ・団体および演奏者個人への差し入れはご遠慮いただきますようお願いいたします。

～Program～

(第1部)
フェスタス・デ・リスボア
作: 湯浅暁 / 編: 森本和幸

Another Day Of Sun
作: Justin Hurwitz / 編: 遠藤秀安

マードックからの最後の手紙
作: 樽屋雅徳 / 編: 遠藤秀安

— 休養 —

(第2部)
リベルタンゴ
作: Astor Piazzolla / 編: 遠藤秀安

風の印象詩
作: 細野昭美

Beyond the Skies
作: 末廣健児

— 休養 —

(第3部)
(風の囁声) Phantasmal Overture vol.3
作: 雲崎利洋

舞踊風組曲 第2番 Op.21
作: 久保田孝

HP Youtube Twitter

第1部

フェスタス・デ・リスボア
作: 湯浅暁 / 編: 森本和幸

指揮: 小林史佳

本曲の作曲者である第2楽隊はポルトガルギター奏者で、ポルトガルにて日ポ交流470周年記念コンサートを開催するなど、非常にポルトガルに親しみがある方です。Festas de Lisboaはポルトガルの首都リスボンで行われるリスボン祭りであり、中世の面影を残す広場や路地り人々が祝いながら踊り明かします。白シャツか白衣装に身を包んだ人々が民謡音楽に合わせて熱く大盛り上がり。狭い奥通りもと熱気に染められる祭ります。

Another Day Of Sun
作: Justin Hurwitz / 編: 遠藤秀安

指揮: 小林史佳

この曲は2016年に公開されたミュージカル映画「LA LA LAND」のオープニング曲としてリリースされました。

マードックからの最後の手紙
作: 樽屋雅徳 / 編: 遠藤秀安

指揮: 根本野乃子

1912年4月、世界最大の豪華客船「タイタニック号」はニューヨークに向けて出航しました。船が航海に出た日の夜、船内ではたくさんの乗客たちが音楽に合わせて歌やダンスを楽しんでいました。彼らはタイタニック号に乗るこの日を心待ちにしていたのです。その一方で、タイタニック号の操縦士であるマードックは、一人船橋から静かな海を眺め、遠くにいる家族に向けて手紙を書いていた。そんな穏やかな状況から一変、マードックは船内から近づいていることに気がつきます。急いで号鐘を鳴らし、回避しようとしても時は既に遅く、船は氷山に衝突してしまいます。どんと沈んでいく船、船内に押し寄せた海水。死を覚悟する者から我先にと救命ボートに乗り込もうとする者まで、船内はパニック状態に陥ります。騒然とした状況の中、マードックは船が沈む直前の最後まで乗客の救助に尽力し、船と運命をともにすることを決意したのでした。

第2部

リベルタンゴ
作: Astor Piazzolla / 編: 遠藤秀安

指揮: 上原愛

曲名のリベルタンゴは、「リベルタ(自由)」と「タンゴ」を合成してピアソラが名付けた造語です。タンゴは、アルゼンチンで生まれたダンス。またこのダンスのための音楽でもあります。19世紀前半にキューバで流行した舞曲がアルゼンチンにもたらされ、これがヨーロッパの音楽などが混ざり合い、タンゴが生まれたとされています。しかし、普通のタンゴとは違い、このピアソラのリベルタンゴは曲名の通り、「踊る」というタンゴの縛りから自由になり、幅広い音色と複雑な造りで音楽自体が主役になった「聴くためのタンゴ」なのです。本日演奏する遠藤秀安氏作曲のマンドリンオーケストラ版のリベルタンゴではメロディが色々なパートに移っていきます。それぞれが楽器が奏するメロディをお楽しみください。

風の印象詩
作: 細野昭美

指揮: 上原愛

細野昭美氏によって作曲された「風の印象詩」は、「4拍子→3拍子→4拍子→3拍子」という構成になっています。4拍子の部分では、穏やかな暖かい雰囲気を感じられます。3拍子の部分では、Allegro con brioが2回続きます。allegro con brio(アレグロ コンブリオ)とは、一般的に「速く」という意味で知られているAllegro(アレグロ)に「生き生きと、陽気に」を意味するcon brio(コンブリオ)を加えた、「陽気に速く」という意味です。低音楽器が生き生きと3拍子を奏している一方で、伸び伸びとしたメロディが奏でられています。本曲において拍子や調を変化させることで表現されている様々な風を感じていただけたら幸いです。どうぞお楽しみください。

Beyond the Skies
作: 末廣健児

指揮: 寺澤佳祐

澄み切った夜空、満天の星を、燃えるような夕焼け空。そして時は遂に輝め尽きた空へ。このまま空へと飛んでいくことが出来たら、どこまで行けるのだろうか。そして、何処へ行くのだろうか。そう思う空への「憧れ」ともいえるイメージから本曲は生まれました。作者は自身もマンドリンチェロ奏者として活躍しており、指揮者でもある末廣健児。本曲はギターの特徴的なアルペジオにより始まり、マンドリンにより共通動機が提示され、その動機が幾度も重ねられつつ取戻した後、空への憧れを表したような伸びやかな第1の主題が奏でられます。そして6/8と3/4拍子が交錯した、躍動感にあふれた、空へのエネルギーを表したような第2の主題が展開され、テンパリズムをそのままに再び第1の主題が展開されます。この部分におけるホ長調からト長調への転調は表しきれず、明るい響きとともに空へと飛び立つ様を描いているようです。その後、第2の主題が元の調で再現され、その方そのまに第1の主題がGrandiosoで再び奏でられます。輝びやかで豊かな和声とともに演奏は最強音へと達した後、音楽は静寂を取り戻し、共通動機を繰り返しながら再びギターのアルペジオへと進って行きます。

Classic Guitar

川野慎治 (経営システム4年) ※3部のみ
 小林史佳 (応用植物3年)
 浅岡草太郎 (生命機能3年) ※1部のみ
 寺澤佳祐 (創生科学2年)
 川島奈津美 (機械工学1年)
 福島崇太 (生命機能1年)
 谷原佑馬 (賛助)
 ※「Beyond the Skies」のみ

Contrabass

根本野乃子 (生命機能3年)
 本間文 (応用植物1年)
 潘田芽音 (賛助)
 ※「マードックからの最後の手紙」のみ

本日はご来場いただき誠にありがとうございました。お手数ですが、本日の演奏会のアンケートにご協力をお願いします。アンケート (Google Form) には、左のQRコードまたはURLから回答いただけます。また、メールからも感想を受け付けておりますので、Google Formからの回答が難しい方は下記メールアドレスまでご感想をお送りください (良かったと思う曲、演奏会全体を通して思ったこと、部員に向けてのメッセージetc)。たくさんのご感想をお待ちしております。

アンケートはこちらから！ メールからご回答の場合はこちらのメールアドレスまで！
 htmc2006@hotmail.co.jp

<https://forms.gle/NdeZWZVIAYdsDVvJ9>

ikegaku TV
 Mandolin & Guitar
 TEL: 03-5551-5150
 FAX: 03-5551-5151
 URL: <http://guchi.main.jp/>
 E-mail: info@guchi.main.jp

Guitar & Mandolin shop
 野口マサトシ代表 先生
 (有) 経美器のイグチ
 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-24-5
 151-0053 TEL: 03-3378-3357 FAX: 03-3378-3358
 営業時間 11:00-19:00 (日定休・曜日不変休)
 URL: <http://guchi.main.jp/>
 E-mail: info@guchi.main.jp

Stage Member

Concert Master & Concert Mistress

〈第1部〉 中川愛加
 〈第2部〉 北村健太郎
 〈第3部〉 北村健太郎、猿田昂

Conductor

〈第1部〉 小林史佳、根本野乃子
 〈第2部〉 上原英愛、寺澤佳祐
 〈第3部〉 中村力、北村健太郎

Mandolin 1st&2nd

北村健太郎 (デジタルメディア4年)
 猿田昂 (デジタルメディア4年)
 中川愛加 (生命機能3年)
 上原英愛 (環境応用2年)
 品川佳奈子 (応用植物1年)
 矢作日果里 (応用植物1年)

Mandola Tenore

中村力 (機械工学4年)
 平井萌花 (生命機能4年)
 神野祐 (生命機能3年)
 恒吉春奈 (応用植物2年)
 村瀬遥香 (環境応用2年)
 山下高輝 (生命機能 1年)

Mandolincello

大久保優 (生命機能3年)
 田沼彩賀 (環境応用3年)
 水口徳仁 (応用情報2年)
 榎本一太 (デジタルメディア1年)
 工藤茜 (応用植物1年)



法政大学工学部 マンドリンクラブ

第59回定期演奏会



11 DECEMBER 2022
15:15 OPEN
16:00 START

htmc.mandolin.starfree.jp

御挨拶

本日はお忙しい中、第59回定期演奏会にお越しくださり誠にありがとうございます。

徐々に活動の制限が緩和される中、以前とは異なる様々な状況が訪れた年となりました。しかしどのような変化も前向きに受け入れ、活動に取り組みで行くことが今の私達にできることだと考え、今日まで精一杯尽力して参りました。至らない点も多々あるかと思いますが、今後ともこの法政大学工学部マンドリンクラブを見守っていただけると幸いです。

また、2023年の12月3日、宮地楽器大ホールにて開催予定の第60回定期演奏会ではOB・OGの方々と一緒に演奏する部を設けております。こちらは五年に一度という貴重な機会となりますので、ぜひともお越しくださいませ。部員一同、OB・OGの皆さんと演奏できることを心から楽しみにしております。

最後になりましたが、本日まで来場くださいました皆様、そして演奏会を開催するにあたりご協力いただいた関係者の皆様改めて心から感謝申し上げます。この定期演奏会が少しでも皆様の安らぎの一時となれば幸いです。

法政大学工学部マンドリンクラブ
代表 矢作 日果里

第1部

ルージュの伝言

作：荒井由実/編：武藤理恵
指揮：上原英愛

本曲は1989年に公開されたジブリ映画「魔女の宅急便」のオープニングテーマソングに使用されています。主人公のキキが魔女の修行に出るために旅立っていき、空を飛んでいる時にラジオをつけたシーンで流れます。明るいテンポで、これから新しい街へ向かうキキのワクワクドキドキな心情にぴったりな曲です。

本日演奏するマンドリンオーケストラ版の「ルージュの伝言」では、マンドロンチェロ、ギター、コントラバスが羽むポップなリズムの上にマンドリン、マンドラが奏でる明るく楽しいメロディーをお楽しみ下さい。この演奏会の開催にふさわしい楽しい雰囲気をご堪能ください。

コバルトブルーの奇跡 ～旅立つ君へ～

作：武藤理恵
指揮：品川佳奈子

本曲はレヴワームマンドリンアンサンブル第15回記念定期演奏会の委嘱で作曲されました。大切な人が新たな道へ歩み始める時の別れと、その先に待つ新たな出会いがテーマになっており、日々出会うすべての出来事、すべての「奇跡」が、コバルトブルーのように深く光り輝き人生に彩をそえるようにという願いが込められた作品です。

本曲は、前半部分と後半部分で表情が鮮やかに変化するという特徴もっています。穏やかで、どこか懐かしさを与える前半部分がドラマチックに展開し、後半はうってかわって爽やかでリズムカナルな曲調に変化します。是非この表情の違いに注目してお聴きください。

また、主旋律を担う楽器が入れ替わるのも特徴の一つです。きらきらとした高音が印象的なマンドリンと、やわらかな中低音が印象的なマンドラが交互に主旋律を担います。主旋律ではないパートも、複数のパート同士が同じリズムを奏でては分かれています。また出会うなど、曲の中でも出会いと別れを繰り返しています。主旋律の後ろで異なるメロディーが聞こえてくる部分が「山あり谷あり」です。そのようなメロディーが聞こえてくるのか、様々な楽器の音にじっくりと耳を澄ませてお楽しみください。

第2部

西

作曲：丸本大樹
指揮者：上原英愛

西という言葉は夕空の色を表現する際によく使われます。その為か「西色」を思い浮かべると、色自体ではなく夕空の風景が、そしてそれに付随して色々な感情が思い起こされます。この曲に、そういった感情を少しでも感じていただければ幸いです。(作者記)

本曲では主旋律が全ての楽器で演奏されます。各楽器が奏でる「西色」の夕空の風景をぜひお楽しみ下さい。

小組曲「降誕祭の夜」

作：Amedeo Amadei
指揮：根本野乃子

第一章 Pifferata (横笛の歌)
本曲「降誕祭の夜」は、マンドリンとギターの二重奏である組曲「降誕祭の印象」をもとに作られたと考えられています。「降誕祭の印象」と同様、第一章では1stマンドリンの動きが「横笛の歌」を表現しています。ヨーロッパのクリスマス朝の静けさを感じさせるような、明るく美しいメロディラインが魅力です。

第二章 Al Presepio (棚(うまや)にて)
第二章では、イエス・キリストの誕生場面が描かれています。イエスの母マリアとその夫ヨセフは、ある日、ベツレヘムという町を訪れます。宿が見つからなかった2人は、ベツレヘムに住む友人に頼んでその家の小部屋に泊めてもらうことになりました。その夜、突然産気づいたマリアは馬小屋の中でイエスを出産します。血がつかないのではないかと恐れていたヨセフですが、生まれたばかりのイエスの愛らしい顔を見て、心がすくもって心から愛し守り続けることを決意しました。

第三章 Alleluia (アレルヤ)
「救い主がお生まれになった——」キリストの誕生によって世界が変わりました。賢人は黄金、乳香、没薬を贈り物としてささげ、人々はみなイエスのもとへ祈りに訪れます。第三章の曲に使われている「アレルヤ」には「キリストを賛美する」という意味があり、喜びの感情を表しています。曲調からもまさしく人々が誕生を祝賀している情景が目に浮かびます。冒頭のドラは教会の《鐘の音》を表しており、良いことの知らせを表現しているようにも感じとれます。

イエス・キリストの誕生をテーマにした本曲。作曲者のA.Amadei氏はクリスマスにちなみ曲を数多く残していることから、彼自身クリスマスには何か思い入れがあったのかもしれません。今回は年単位として最後の定期演奏会。たくさんさんの思いを込めて演奏をお届けします。本演奏会が少しでも皆様の心に響くものであれば幸いです。

第3部

山河線照

作：藤掛慶幸
指揮：小林史佳

演奏を聴く前に思い浮かべてみてください。この「山河線照」というタイトルから連想される風景はどのようなものがあるでしょうか。木々が空に茂り、動物が暮らす緑豊かな森でしょうか。それとも太陽に照らされる穏やかに流れる川でしょうか。それはこの曲の作者藤掛慶幸氏が思い描いた風景でしょうか。

この曲紹介を書いている私がタイトルから連想した風景はまさに「自然豊かな森や川」というものでした。しかし実際に演奏を聴いた私はこの連想とはちがう風景を思い浮かべます。タンゴの変化が激しい冒頭部。AndanteからAllegro con Brioへの気温差変化。そして全パートが序で勢いよく曲が進むのはタイトルだけでは想像し難い「自然の圧倒的な強さ」が見られ、またその中でもMandolinが奏する高音の煌めきやメロディの裏で一定の動きを見せるマンドロンチェロとギターは自然の強さから垣間見られる「自然の美しさ」を感じることができると考えます。

初めて聴いて以来この曲の曲になった私は森や川が寛く力を振い、しかし太陽が昇ると煌めきをみせる強く美しい自然という風景を連想しました。

さてこの曲紹介を読み、私たちの演奏を聴く皆様の中にはこの曲を初めて聴く方、何度か聴いたことがある方、実際に演奏したことがある方など様々な「山河線照」との関係があるかと思えます。初めて聴く方ももちろん、既にこの曲との関わりがある方も、それぞれの「山河線照」の風景を思い浮かべてみてはいかがでしょうか。(文武3部ドラトッフ)

《星の航路》Phantasmal Overture vol.5

作：柴崎利文
指揮：小林史佳

この曲は、昨年5月に駒澤大学ギター・マンドリン倶楽部さんとのジョイントコンサートで演奏する予定だったものです。新型コロナウイルスの影響でジョイントコンサートは中止となってしまいましたが、今回再び演奏する機会をいただき、たいへん嬉しく思っています。

本曲では、大航海時代に星の位置を頼りに新大陸を目指した船員たちの航海の情景が描かれています。曲中では、星の輝きと希望に満ちた船出を表す主題1。そして航海の中で嵐や荒波に立ち向かう船員の家を導く主題2が交互に繰り返されています。序奏の主題1では、真っ暗な夜空が広がります。星が一つ、つと輝き始める光景が目につくように、中盤の主題1と主題2が繰り返される場面では、何度も嵐を乗り越え、再び希望を見つげ出すような歯車が印象的です。終盤ではさらに星の輝きが増し、次第に静かな輝きとなり収束していく様子は、航路を見つげ進む船員を見送っているかのようです。

新しい星の輝きを頼る位置を頼りに進む船員の家は、先が見えないこの時代を生きる私たちの家とも似たようなものがあるのではないのでしょうか。本演奏会をもって引退する4年生。並びに今後のHTMCを引き継ぐ後輩たちの未来が、困難があろうとも希望で満ち溢れていることを願って演奏します。

Stage Member

Mandolin 1st&2nd



- ・中川愛加 (生命機能 4年)
- ・上原英愛 (環境応用化学 3年)
- ・矢作日菜理 (応用植物科学 2年)
- ・品川佳奈子 (環境応用化学 2年)
- ・木村虹輝 (環境応用化学 1年)
- ・吉田美紗 (生命科学 1年)
- ・谷口恭平 (賛助)
- ・杉田 昌穂 (賛助)

Mandola Tenore



- ・神野拓 (生命機能 4年)
- ・大久保優 (生命機能 4年)
- ・工藤善 (応用植物科学 2年)
- ・鹿島真衣 (応用植物科学 1年)
- ・北原羽花 (賛助)
- ・小泉 美珠 (賛助)

Mandolon cello



- ・田辺彩賀 (環境応用化学 4年)
- ・大久保優 (生命機能 4年)
- ・藤本一太 (ラゾラルメディア? 2年)
- ・藤澤慶宗 (応用植物科学 1年)
- ・古賀 由 (賛助)

Classic Guitar



- ・小林史佳 (応用植物科学 4年)
- ・浅岡基太郎 (生命機能 4年)
- ・川島奈津美 (機械工学 2年)
- ・船越 佑吾 (賛助)

Contrabass



- ・根本 野乃子 (生命機能4年)
- ・藤崎 夢菜子 (賛助)

アンケートご協力のお願い

本日はご来場いただきまして誠にありがとうございました。お手数ではございますが、本日の演奏会のアンケートのご協力をお願いします。左下のQRコードからご回答いただけます。演奏会の感想、よかったと思う曲、部員に向けてのメッセージetc、たくさんのご感想をお待ちしています！



メールでの感想もお待ちしております。こちらのQRコードから返信いただけます。

Next Concert Information

- ・青山学院大学・法政大学・明治学院大学・法政大学工学部
ジョイントコンサート 2023年5月6日(土)
ルネこだいら 中ホール
- ・第60回定期演奏会
2023年12月3日(日)
宮地楽器ホール 大ホール

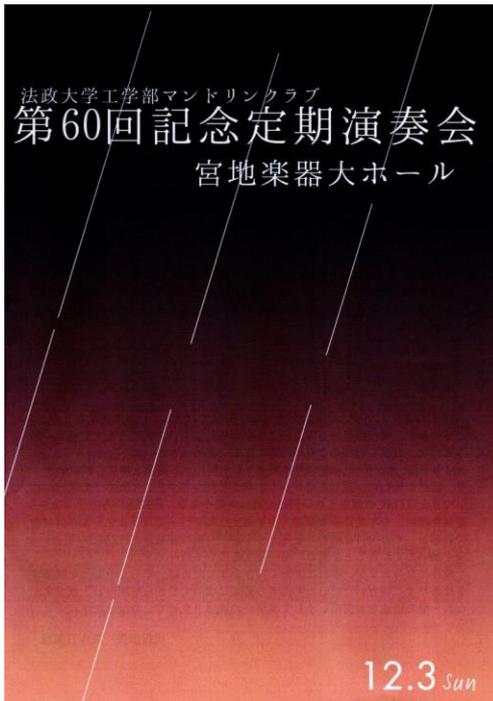


イケガク様
広告掲載にご協力いただき誠にありがとうございます。この場で厚くお礼申し上げます。

<https://ikegaku.co.jp>
info@ikegaku.co.jp

HTMC
公式ツイッター





ご挨拶

法政大学工学部マンドリンクラブ（HTMC）は今年で60回の定期演奏会を開催することになりました。これまでの皆様方のあたたかいご支援に感謝するとともに、ここまでクラブ継続に努力された部員、卒業生に併せて御礼申し上げます。

HTMCは法政大学の中で工学部マンドリンクラブとして独自に活動してまいりました。工学部キャンパス（東小金井）の立地条件もあり独自の活動に拍車をかけたのかもしれませんが、現在は理工学部、情報科学部、生命科学部として多岐にわたる分野に学生が学び、活動していますが、HTMCとして、設立当時の工学部の名称を残しています。

クラブは1957年に設立されOB/OGは今までに467名になっております。今年で設立から66年になりますが、さらに継続発展されることを祈念致します。

本日は現役と卒業生との合同演奏もあり、皆様方楽しんでいただけたら誠に幸甚です。

OB/OG会会長 清水正明

本日はお忙しい中、第60回記念定期演奏会にお越しくさり誠にありがとうございます。現役部長としてこのような節目に立ち会えたことを大変嬉しく思うと共に、日頃の皆様のご支援に深く感謝いたします。

約1年半前、私が役職に就いた当初はコロナ禍による制限と部員の減少により、活動が難しいと感じる時が多々ありました。しかし、これまで先輩方が紡いできたHTMCの歴史と熱い想いを胸に同期や先輩、後輩達の力を借りながら運営を続け、今年度は多くの新入生を迎え活動を行っております。この演奏会で幹部としての役目は終わりを迎えますが、今後は後輩達がHTMCの明るい未来を築いてくれることを信じ、精一杯支えていく所存です。

最後になりますが、本日ご来場くださいました皆様、そして演奏会を開催するにあたりご協力いただいた関係者の皆様に改めて心から感謝申し上げます。なお一層の精進をお約束しまして演奏会の挨拶とさせていただきます。

現役部長 矢作日果理

第1部

「猫の恩返し」より 風になる 作曲：つじあやの 指揮：木村虹琴（2年）

今年の定期演奏会の幕開けを飾る曲として、皆様にも馴染みのあるスタジオジブリの映画「猫の恩返し」の主題歌であるこの曲を選びました。2002年6月26日にリリースされたこの「風になる」の原曲MVは草原の中でウクレレを弾きながら歌う、つじあやのさんの素朴で気取らない歌声が印象的な曲となっています。

今回演奏させていただくマンドリンオーケストラバージョンでは、冒頭はマンドリン・マンダラの可愛らしいピッキングから始まり、その後のまるで猫が軽やかに走るようなリズムの上の、様々な楽器によるメロディーが特徴です。楽曲のすなおな明るい雰囲気やマンドリンオーケストラに合っていて聴く人の心を和やかにしてくれるような一曲となっています。映画を見たことがある人も、そうでない人も、草原の中で自然を楽しむような、そんな豊かな気持ちで聴いていただけたら嬉しいです。

東洋の印象第二組曲 作曲：A. Amadei 指揮：木村虹琴（2年）

この曲はイタリアの作曲家であるA. Amadeiさんにより作曲された曲であり、第1楽章・第2楽章・第3楽章という3つの楽章で構成されます。題名の「東洋」とは広い意味ではアジアですが、この曲においては中東をイメージして聴いていただくと嬉しいのです。

始めは第1楽章の「愛の歌と幻想曲」です。冒頭部の1stマンドリンのソロに続くマンダラのメロディーは甘く、まるで大切な人をいつくしむ歌のようです。途中でこれまでの甘美な雰囲気とはまた違った、ミステリアスかつ自由な曲調に変わります。アラブの踊り子が華麗に舞うようなイメージで聴いてみてください。

続いて第2楽章の「黄昏」はしみじみとした曲調で、冒頭部のセロのソリの奥ゆかしさが魅力となっています。その後も繊細な美しさが魅力の楽章となっています。

最後は第3楽章「市場にて」で締めくくります。題名の通り、昼間の市場でたくさんの人々が買い物したりお話をしたり、活気あふれる明るさが印象的です。中間部ではさっきまでの騒ぎを断ち切るようにドラのメロディーが始まり、そのギャップが聴きどころとなっています。さらにその後再び市場の活気が戻り、フィナーレを迎えます。ぜひ中東の雰囲気を楽しんでお聴きください。

第2部

天体観測 作曲：藤原基央、編曲：逢藤秀安 指揮：品川佳奈子（3年）

【始めようか天体観測ほつき星を探して】

BUMPOFCHICKENの楽曲のマンドリンアレンジ版です。原曲は2001年3月14日にリリースされたもので、現役生の大半がまだ生まれていない頃に作られた曲だと言えます。比較的最近では、車のCMで耳にした記憶がある方も多いのではないのでしょうか。マンドリンオーケストラならではの軽やかなメロディーをお楽しみください。

今宵・SAKURA 作曲：武藤理恵 指揮：品川佳奈子（3年）

【決してライトアップされることのない夜桜。花びらが散りゆく情景から始まる。やがてエキゾチックな和音があやしい世界に誘う。後半では気分が高揚する展開をみせたのち、再び静寂が訪れ幕を閉じる。（作曲者記）】

幻想的なハーモニーが印象的な一曲です。約5分と決して長くはない曲ですが、冒頭・中盤・終盤で目まぐるしく表情を変えます。テンパ感、強弱、フレーズ感を大切に演奏します。静かに散りゆく夜桜の情景と、鮮やかな桜吹雪の情景の対比が皆様の目の前に広がれば嬉しいです。

死の舞踏 作曲：C. Saint-Saëns 指揮：品川佳奈子（3年）

【フランスの詩人アンリ・カザリスの奇怪で幻想的な詩に靈感を得て、1872年にまずは歌曲として作曲され、1874年に管弦楽曲としてまとめられた。午前0時の時計の音とともに骸骨が現れて不気味に踊り始め、次第に激しさを増してゆが、夜明けを告げる雄鶏の音が響きわたるや幕に逃げ帰り、辺りが再び静寂に包まれるまでを描写的に描いている。（Wikipediaより引用）】

午前0時を告げる12回響きの鐘の音（ギター）のちの響き渡る、静寂を破るようなマンドリンの不協和音は一度聴いたら忘れられない独特の響きがあります。骸骨がカラカラと踊る様子がマンドリンの音色から想像されるのではないのでしょうか。オーケストラ版ではシロフォンが骸骨役を担当しているようです。特徴的なメロディーはもちろん、地面から湧き出してくるような低弦の響きもこの曲の雰囲気を作る重要な要素だと考えます。3拍子のワルツ感を意識しながら、妖しさと美しさを表現できるような演奏いたします。どうぞお楽しみください。

第3部

じょんがら抄 作曲：藤井廣幸 指揮：品川佳奈子(3年)

【#楽器を奏でる”ではなく、“力強く弾ずる”というイメージで…(作曲家記)】「マンドリンなのじょんがら…?」と思われたでしょうか。じょんがらと言えは津軽三味線が想像されると思いますが。マンドリンはトレモロと呼ばれる、単一の音を小刻みに繰り返す奏法で弾くことが特徴的な楽器ですが、本楽曲は主にピッキング奏法を用いたシャープな音色で演奏いたします。三味線とマンドリン系楽器の音色の共通点のようなものを感じ取っていただけるのではないかと思います。

尚、本楽曲は作曲者より「ギターパートもピックを使い…」との指示があるのですが、諸事情によりピックは使用いたしません。どうかご容赦くださいませ。現役・OB・OG、年代を超えて息をぴったりしたじょんがら抄をお届けします。

マンドリニストの群れ 作曲：C.A. Bracco 指揮：田作好司郎(9期)

第3部2曲目にお送りいたしますのは「マンドリニスト(マンドリン)の群れ」です。作曲は、CAブラッコ、19世紀半ば北部イタリアで生まれました。この曲は、マンドリニストであり作曲家でもあったブラッコがマンドリンオーケストラの為に書き下ろしたスケールの大きな作品で【マンドリン、みんな集まれ!】と言うような意味です。冒頭の軽快なテーマで始まり明るく軽快な中間部、そしてその後力強く終了します。

月に舞う 作曲：武蔵理恵 指揮：花井さやか(53期)

月の神の手をすり抜け人間界に降りた妖精は、若者と禁じられた恋に落ちてしまう。やがて月の神の知るところとなり、彼女は控に背いた者として永遠に年を取ることなく、月の世界で舞い続けることを命じられる。

曲は、月の神の存在を示す短調のマンドラの旋律から始まる。その後、マンドリンソロには、彼女の嘆きと舞うことへの覚悟が集約されている。ゆるやかに流れる傾き上げな主旋律は3/2拍子から6/8拍子に変わり、舞にも動きが加わる。4/4拍子からは、主旋律と並行して冒頭の月の神のテーマが勢いを伴って現れる。小節ごとに拍子が変わることで高揚感が生まれ、アップテンポとなったところで突然舞が止まる。

中間部のマンドリンソロは、彼女が人間界に降りたときの妖精の心を再現。二長調に転調し、若者と過ごした愛おしい日々が甘美な音楽と共に甦る。彼女との記憶を消された若者が、ふと月を見上げる時にだけ彼女に会えられる、至福の贈り物である。彼が月を見上げることをやめたその時、曲は短調に戻り、彼女の舞は再び始まる。家しく激しく狂おしく、月に舞うのである。

(クリスタルマンドリンアンサンブル30回記念定演パンフレットより引用)

Player

Mandolin 1st&2nd



- ・上原英登(4年) ・斎藤弘行(11期)
- ・矢作日菜理(3年) ・中村莉奈(54期)
- ・品川佳奈子(3年) ・泉里佳(54期)
- ・木村虹尋(2年) ・廣所帆羽(55期)
- ・吉田美紗(2年) ・瀧本涼香(55期)
- ・長谷川尊(2年) ・宮内奈々(57期)
- ・有賀成貴(1年) ・北村健太郎(58期)
- ・山口吉実(1年) ・栗田 崇(58期)
- ・佐々木幸直(賛助) ・中川史加(59期)

Mandoloncello



- ・榎本一太(3年) ・茂木龍俊(45期)
- ・廣澤優希(2年) ・峯山真帆(52期)
- ・岩佐 尊(1年) ・重久龍大(54期)
- ・佐藤秀磨(1年)

Mandola Tenore



- ・工藤 悠(3年) ・中村晴博(42期)
- ・島良真衣(2年) ・坂山光歩(57期)
- ・石原美和(1年) ・平井萌花(58期)
- ・西澤麗花(1年) ・神野拓(59期)
- ・長谷川蓮色(1年)

Classical Guitar



- ・川島幸海(3年) ・山川拓也(46期)
- ・井根乃香(2年) ・志井アヤカ(53期)
- ・廣津結大(1年) ・平野希空(53期)
- ・神戸勇貴(1年) ・川上綾太郎(54期)
- ・小柳一葉(1年) ・小林孝平(55期)
- ・加藤沙弥(賛助) ・谷原萌高(57期)
- ・小林覚佳(59期)

Contrabass



- ・古賀南多(1年) ・高橋 豊(13期)
- ・村上七菜実(1年)

Conductor

- ・品川佳奈子(3年) ・田作好司郎(9期)
- ・木村虹尋(2年) ・花井さやか(53期)

Next Concert

- ・武蔵野、東京家政、工学院、法政大学工学部
マンドリンジョイントコンサート
日程：2024年5月5日(日)
場所：江東区文化センター

- ・法政大学工学部マンドリンクラブ 第61回定期演奏会
日程：2024年12月22日(日)
場所：小金井 宮地楽器大ホール



広告掲載にご協力いただきありがとうございます



演奏会案内

【団体名】武蔵野大学マンドリンクラブ

【開催日時】12月27日(日) 開場17:15、開演18:00

【開催場所】ルネこだいら

【曲目】星の航路、海辺の時計台、RENATA

【紹介文】

練習日程の関係で曲数が少なかったりといろいろと制限のある演奏会になりますが、観に来てくださると嬉しいです！今年最後の演奏会はぜひMMCで！！
【Twitter】@mmc45

【団体名】慶應義塾マンドリンクラブ

【開催日時】12月26日(土) 開演16:00

【開催場所】タワーホール船堀

【曲目】歌劇『フィデリオ』序曲、虹彩、カイト

【紹介文】

第1部は2020年にちなんだ3曲、第2部はマンドリン界を代表するイタリア曲をお送りします。私たちは今年で創部110周年を迎えました！メモリアルイヤー最初で最後の演奏会、ぜひお越しください。

【HP】<https://keiomandolin.net>

【Twitter】@keio_mandolin

【団体名】オペラ集団| CANTORI (イ・カントーリ) 特別公演アフタヌーンコンサート

【開催日時】12/11(金) 14:30開場、15:00開演

【開催場所】小金井宮地楽器ホール 小ホール

【曲目】日本歌曲「からたちの花」、オペラ『椿姫』より、オペラ『リゴレット』より、他

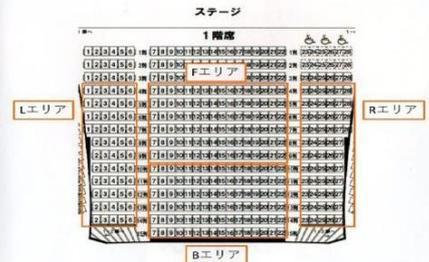
【紹介文】

小林かなこ(ソプラノ)、小林勉(バリトン)、小森美穂(ピアノ)。日本歌曲からオペラの名曲まで、解説と共にお送りします。感染症対策有。

【チケット】全席自由2000円。

【HP】<http://blog.livedoor.jp/icanтори/>

退場時の混雑を防止するため、エリアごとの時差退場を行います。
会場アナウンスがあるまでお待ちください。
エリアにつきましては下の図をご覧ください。



引用: https://koganei-civic-center.jp/common2015/pdf/mainhall_03.pdf

アンケートはQRまたは<https://htmc57-kanso.web.app>よりアクセスしてください
チャット感覚で感想を投稿できる
掲示板も合わせてご利用ください。

チャット&アンケート

2. 地方公演プログラム & 写真

**** 地方講演会パンフレット****

MANDOLIN & GUITAR CONCERT

昭和45年 8月18日(火)
PM 6 : 00 (開演)

富山市公会堂

主催 法政大学工学部マンドリンクラブ
協賛 北日本新聞社
後援 法政大学富山県人会
東京マンドリン宮田楽団

御挨拶

マンドリン・コンサートによせて
法政大学工学部長 大江 宏

私がはじめてマンドリンという楽器を知ったのは、まだ幼いころ叔父の家へ遊びに行ったときのことです。その時のふんふんがたいへんおもしろく目に映ったこと、またはじめて耳にしたそのいかにも親しみを誘う異質な音が子供心にも深く印象に残ったのをいまだに忘れることができません。叔父は西洋美術史の研究者で、大正の初期慶応の山原先生や水上瀧太郎氏等とフィレンツェからローマ・ナポリを旅し、数年の欧州留学の後日本へ帰ってからも外地で日本人の心に親しみ深く訴えたこの音を忘れ去らなかったでしょう。私達の大学生活にとってこのような轟きこそ最も大切にしてゆかなければならぬものかというのを今後更に痛感しています。

どうぞ御来場の皆様も我が工学部マンドリンクラブ諸君の演奏とともに、今宵一步を楽しみお過ごしいただけるよう願っております。

マンドリンクラブ顧問
工学部助教授 高橋 敏雄

今回富山市演奏会を開催することが出来ましたことは部員と共に非常に喜びたいと思っております。これは部員一同の日ごろの努力、各先輩の指導及び皆様の御協力によるものまことに大であると思っております。法政大学工学部マンドリンクラブは、工学部の1マーカーとして活動始めて数年、現在では部員70数名をかかえる団体であり、部長を中心とした部構成員の情熱と日常の活動に対する部員相互の理解と協力によって大きく育って来たクラブであります。

工学部の学生として勉学とクラブ活動とを両立させることは非常に困難であり、忍耐が必要であります。それを克服し、日ごろの練習の成果をここに充分発揮し、皆様へよい演奏を御聞かせ出来ることと信じております。

皆さんの御声援と御批判を受け、増々学生演奏グループとしての我が法政大学工学部マンドリンクラブが成長することを切に希望する次第です。

部長 榎本 隆司

今宵は、御多忙の所、法政大学工学部マンドリンクラブ富山市演奏会に御来場いただきまして、誠に有難うございます。楽しい学業の余暇に部員一同、皆様方の御期待に沿うような演奏を御聴かせしようと、毎日努力してまいりました。我がクラブでは、このような演奏会は、2度目の試みなので、至らない点が多々ある事と思っておりますがそのほろ苦さとファイトでカバーし学生らしく一生懸命演奏するつもりでございます。

今日、この会場でこのような演奏会を実現出来たことは、北日本新聞社、法政大学富山県人会の方々、富田第一高校先生ら及び御来場の皆様方の御支援と御理解の賜物と思ひ、深く感謝しております。どうか最後までごゆっくり御鑑賞下さいまして色々と御批評をいただければ幸いです。今後共よろしく御指導の程お願い申し上げます。

生花・花環

荒町の花 金

富山 いけばな 会館

TEL (21) 245440 001868

法政大学富山県人会 会長 中川 秀秋

このたび法政大学工学部マンドリンクラブがマンドリンとギター演奏会を開きましたところ、甚しお祈り。このように多数ご来場下さいまして、O.B.県人会一同この上ない喜びでございます。

この演奏会では「法政」の自由闊達な明るさ、たくましく若い学生諸君の情熱を心ゆくまで発揮してくれるのを確信いたしますので、皆様には、この若人達を通じて法政大学のより一層の発展のために御協力とご支援を賜るようお願いする次第でございます。

私どもO.B.といたしましても、このような演奏会の中で、音楽活動にたづなされた学生諸君の情熱に触れてより学生時代に帰った思いがする同時に、何か意義深いものを感じさせられております。

どうか、ご来場の皆様には最後まで楽しく過ごしていただきまして用日は希望に満ちてご活躍されることをお祈りいたします。

東京マンドリン宮田楽団 宮田 俊一郎

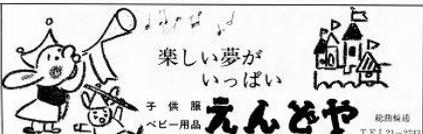
此度、御来富山にて法政大学工学部マンドリンクラブの演奏会が開催されますことは、富山の昔ながらの御協力・御支援、御理解の賜と存じ、感激致す次第で御報告します。部員一同この演奏会を全うしにして富山県人会の発展、一致団結、若さと情熱を御共感に御祈りいたします。本日の演奏会では、きっと青春の感激をのせて大いにひきまわることでしょう。

私もNHKの仕事の関係で一緒に同行出来ないのは非常に残念ですが、演奏会の盛大なこと、且ち演奏会を会場の皆様におきかせ出来るよう富山県人会より祈っております。

本日、御来場頂きました富山の昔ながらの暖かい御理解、御支援をお願い致しますと同時に今後ともよろしく御指導・御鞭撻の程お願い申し上げます。



富山県定例会



楽しい夢がいっぱい

子供服 えんどうや

TEL (21) - 2742

Program

指揮 沢山清孝・川村純一郎
司会 関口正晴・清水正明

第1部 オリジナル・クラシック

レオナード作曲.....H. Ravitran 作曲
ベルシャの市場にて.....A. Kotelny 作曲
美しく悲しきダンス.....Johann Strauss 作曲

第2部 <ギター合奏>

日本民謡集
組曲「おとせ」
<アラメンゴキター独奏>.....関口正晴
ワイルド・ローズ
マロンゴ・ヒターノ
ソ・アラ・レス

第3部 マンドリン・ヒットメロディー

歌謡曲メロディー.....
サルサ島の影.....バーブ・アールバート 作曲
黒いオルフェ.....ホルヘ・ボシワフ 作曲
太陽がいっぱい.....エルモ・ロドリゲス 作曲
エルワンパチョロ.....ラファエル・エルナンデス 作曲
グランド・グランド.....アグスティン・ラサ 作曲
ニコロソ.....フアン・マリア・サントス 作曲
ウクレレの島.....パウロ・ミゲル・メンデス 作曲
いそいそ.....ジュー・マンデル 作曲
ラ・アラセ.....ジョー・ヴァン・ウェッファー 作曲

政府登録国際観光旅館

奥田屋

富山市桜木町3/11 TEL 0360189

曲目解説

レナータ序曲 H. Raviarano 作曲

短急の楽風に富んだダイナミックなこの曲レナータはアレクサンダー音楽の最高峰と称せられる作品で、数多くのマンドリンオーケストラがあげ、現在では、最もポピュラーなマンドリンオリジナル曲となっています。

曲はアレグロ・ビートの始まり、マンドリンの高音部のメロディーとそれに対する低音部との繰り返し、後、ギター、マンドリンソロのカタパツァからロマンスが美しいメロディーへと流れた後、突然低音部の力強い音、そしてアレグロに入り豪快に終ります。

ベルシャの市場にて A. Ketelbey 作曲

ケテルビーはイギリスに生まれ、通俗曲の作曲家として親しみやすい管弦楽曲を多く作りました。中でも最も有名でよく耳にするのが、この「ベルシャの市場にて」です。この曲はベルシャの民謡などを使っているわけではなく、イギリス人が考えた東洋的雰囲気を持つ曲です。こういう東洋的なところが西洋人の心に訴えるところが多いので、世界的に持てはやされています。曲は、ある日のベルシャの市場における描写が6つの楽節によって描かれています。皆様もこの曲によって、市場の風景を想像しながらお聞き下さい。

美しく響きドナウ Johann Strauss 作曲

ワルツといえばワハン・シュトラウス、コハン・シュトラウスといえはすぐでくるのがこの曲でしょう。戦争によって書き止めた人々の心を癒すために作曲されたのですが、初演は成功せず、その年1867年にパリで開催された万国博の音楽会で再演されたとき、初めて大成功を収めました。曲はドナウの流れを思わせる長い序奏のあと、楽節に富んだ5つのワルツがあらわれ、終結部に入って今までは現われたらつワルツのメロディーをうまく合わせて華やかに曲の最後をかきります。

フラメンコ

フラメンコとは、情熱の国スペインの民謡で非常に古いものです。現在はアンダルシア地方のものももっとも好まれ、良く弾かれます。フラメンコは、歌(カンタ) 踊り(バイレ)そしてギター、この三つがそろって本来の素晴らしいものになりますが、現在はギターのためのにすばらしいアレンジがなされており、今日の曲は数多くある曲目から、特に素晴らしい曲を開口幾部のアレンジでおくりします。

高級鮮魚

志満屋

島松 次郎

富山市総曲輪一丁目 TEL (32) 5319

曲目解説・メンバー紹介

ティコティコ アロイス・オリヴェイラ作曲

もとの題を「ティコ・ティコ・パバ」といいます。ティコティコは南によく似た小島で、「パバ」はとうもろこしのこと、そういった題をついばみにある小島のようなすが、いかにモークラスとえがかれてい

マカレナの乙女 パウティスタ・モンテルデ作曲

マカレナの乙女とは、牛との闘いの無事を祈る闘牛士が、守護神と例え想いのこ、闘牛場をはなやかに活気づける欠くことのできない音楽で闘牛の威厳とロマンスリズムあふれる曲です。

ステージメンバー

指揮 澤 沢山 常 浩 川村 純 一郎
コンヤートマスター 増田 芳 住

1st Mandolin

増田 芳 住

清水 正 明

伊 東 悠 枝

根 本 栄 子

Mandola-Tenor

川村 純 一郎

武 山 常 浩

滝 田 善 一

Fluete

根 本 順 一

井 上 和 夫

2nd Mandolin

栗 原 幸 男

八 木 憲 夫

岩 崎 清

大 平 繁 子

武 田 敦 子

林 淑 郎

Bass

山 内 文 雄

内 藤 泰 明

Clarinete

松 田 正 明

Mando-Cello

田 作 好 司 郎

Guitar

根 本 隆 司

安 江 正 博

関 島 晋 三

神 永 晋 士

三 田 勝

中 正 博

堀 田 好 夫

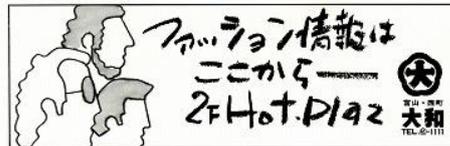
松 原 和 雄

渡 辺 葉 子

Percussion

塩 田 正

森 下 和 夫





MANDOLIN & GUITAR CONCERT

昭和46年 8月14日(土)
P.M. 6:00(開演)

浜松市民会館

主催 法政大学工学部マンドリンクラブ
後援 法政大学校友会浜松支部
東京マンドリン宮田楽団

浜松市演奏会によせて

御挨拶

法政大学工学部長 森田 忠 孝

法政大学工学部マンドリンクラブは、法政工学部における学生の音楽グループの中でも最も大きな、そして最も活発な団体の一つと聞いております。工学部の学生は、目録機械とか電気とかの「固い」学問を学んでいるだけに、かえってメロディーやハーモニーに対するものが人一倍強いようです。ですから、わが工学部においても、放課後ともなると、あちこちから妙なる音が流れ、陸風寮やキャンパスに響かぬ限りは遠くまで響きます。練習を通じて曲の高度を高めてゆき、その成果を一年の演奏会に結ぶその緊張と興奮は演奏会にたずさる者の無上の醍醐味といつてよいでしょう。

本日御来場の皆様どうぞわが工学部マンドリンクラブの演奏を最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

マンドリンクラブ顧問

工学部助教 高橋 敏 彦

今回浜松市演奏会を開催することが出来たことは部員と共に非常に喜ばしいことと存じます。これは部員一同の目ごの努力、各先輩の指導及び後援の御協力によるものことに大であると思っております。法政大学工学部マンドリンクラブは工学部の1サークルとして活動始めて数年、現在では部員60名をかかえる団体であり部長を中心とした部員間の情緒と日常の活動に対する部員相互の理解と協力によって大きく育って来たクラブであります。工学部の学生として勉学とクラブ活動を両立させることは非常に困難であり忍耐が必要であります。それを克服し、日頃の練習の成果をここに充分発揮し、皆様へよい演奏を御開かせ出来ることと信じております。

皆さんの御声援と御賛助を受け、増々学生演奏グループとしての我が法政大学工学部マンドリンクラブが成長することを切に希望する次第です。

法政大学校友会

浜松支部長 鈴木 勝 助

ただ今諸先生方の御挨拶がありました。この度当浜松支部に於て法政大学工学部マンドリンクラブの演奏会を開催することになりました。

本日は御多忙にもかかわらず多謝御来場いただきました支部長として厚く御礼申し上げます。このマンドリンクラブは歴史も長いのですが各部員は若さと情熱を燃して我闘に取り組んでおります。どうか御来場の皆様より一層の御理解と御声援によりまして充実に成長されることをお願いする次第であります。

DAINAMIC GASOLINE

前田油脂株式会社

東京マンドリン宮田楽団 宮田 俊 一 郎

此度、御来場にて法政大学工学部マンドリンクラブの演奏会を開催されましたことは、浜松の音楽界の御協力・御支援・御理解の賜と存じ、感謝致す次第で御礼申す。部員一同もこの演奏会を幸いにして団り学業の合間、一休団結、若さと情熱を練りに練りあげました。本日の演奏会では、きっと貴族の感懐をのせて大いに楽しみましょう。

私もNHKの仕事の関係で一緒に同行出来ないのは、非常に残念ですが演奏会の盛大なること、又、長き演奏会会場の皆様におきかえ出来るよう道中乗車のお楽しみ所と存じます。本日御来場頂きました貴族の皆様から御理解・御支援をお願い致しますと同時に今後ともよろしく御指導・御懇話の程お願い申し上げます。

部 長 橋 本 一

今宵は、御多忙の折、法政大学工学部マンドリンクラブ浜松市演奏会に御来場いただきまして、誠に有難うございます。このような演奏会は我がクラブにおいて3度目の試みなので至らない点が多々ある事と思っております。皆様方の御期待に沿えるような演奏を御馳かせしよう、毎日努力してまいりました。

このひとときを音楽を通じて皆様方と良い仲間になれたら幸いと思っております。今日、この会場でこのような演奏会を実現出来たことは、法政大学同窓会校友会の方々、宮田俊一郎先生並びに御来場の皆様方御支援と御理解の賜と厚く感謝しております。どうか最後まで、ごゆっくり御聴き下さいまして色々と御挨拶をいただきます事とさせていただきます。今後ともよろしく御指導の程お願い申し上げます。





総合
95レーンズ

H B 浜松ボウリング
浜松市体育館前

指揮 田作好司郎

第1部 オリジナル・クラシック

ローマの衣裳……………C・ガランティ作曲
皇帝円舞曲……………J・シュトワス作曲
序曲第2番響へ短調……………K・ヴェルギ作曲
劇場支配人……………モーツァルト作曲

第2部 ギターアンサンブル

マイアミビーチルンバ……………アーヴィング・フィールド作曲
マズルカ……………ドリーブ作曲
管弦楽組曲第三番ガボット……………J・S・バッハ作曲
舞 曲……………ピボ作曲
ペサメムーチョ……………コンスエロ・ペラスケス作曲
マラゲニア……………エルネスト・レクオーナ作曲

第3部 ポピュラー

♪Love♪
ある愛の詩……………Francis Lai 作曲 向井俊博 編曲
恋 流……………Lao Carmi 作曲 山中正博 編曲
閑……………D.Pace 作曲 森下和夫 編曲
男 と 女……………Francis Lai 作曲 内藤泰明 編曲

♪情 熱♪
キエンセラ……………Ovaldo Farres 作曲 宮田俊一郎 編曲
キサスキサス……………Ovaldo Farres 作曲 宮田俊一郎 編曲
グラナダ……………Agustin Lara 作曲 宮田俊一郎 編曲

その他 セレンローサ・エストレリータ 等々

曲目紹介

1. Original & Classic

「ローマの夜叉」 C・ガランティ 作曲
 この曲はマッテオネの編曲により我が国でもマンドリン合奏曲として、たびたび演奏されるようになりまし
 た。アレグロで軽やかにクラシックとされることが多い。この曲が編曲された後にもアンダンテ
 (ス・アレグロ) アンドラテ(マンドラテ)、アマビレ、アレグロ、アダージョと歌
 しく変わります。それは題名どおり歌しく、その色彩を奏スアレグロ・ヴェーヴォで華やかに納曲する。

「皇帝円舞曲」 J・シュトラウス 作曲
 1868年、63歳の時当時のオーストリア皇帝フランツ・ヨーゼフ1世の皇帝即位40年の記念祝賀会が開か
 れました。
 この曲はその為の為に作曲されたもので皇帝に捧げられました。そのため、この名があるわけですがそ
 の名にふさわしく非常に堂々とした荘重な気分を持っています。特に最後の部分は行進曲風のリズムで書
 かれていたのも特徴で、そのためほかのワルツとは異なった趣味をもっています。

「序曲第2番 聖へ短調」 K・ウェルグ 作曲
 まずアンダンテの遅いテンポで始まり、美しい和音の調の中を気高きと軽めな旋律が流れて来ま
 す。続いてアレグロに変わり活発なテンポで華麗なマンドリンと重厚なマンドラ、マンドセロのメロ
 ディ、からみ合い中間部ではマンドリン、ギター、ベースのハーモニーを伴奏としてフルートの躍動的な
 フロが聞かれます。
 再びテーマに戻り勇壮な低音楽器のリズムのついでにビウモンソにより豪壮なフィナーレに達する
 のです。
 曲を通しての強弱の交又は、作者の激しい心の動きを表わしているようです。

「劇場支配人」作曲 モーリアルト 作曲
 シュアファニー・デム・エンゲレンの書いた一種の音楽つき喜劇のために1786年ウィーンで作曲されまし
 した。この歌劇は新しい様式の一歩を組織しようとしている劇場支配人の所へ山山の自衛隊の音楽や歌
 手が出て来ます。
 彼はその二人を女性歌手として気に入り、私の方がアマリダンと言い争い互いに譲りあいま
 せん。そしてあまり激しい過ぎた二人はのちを確めてしまし最後によりやう無益な争いに気がつく解するど
 う内容をもっています。

AIB ¥236,000

音楽は心を育てる近道です。
アトラスピアノ はその近道を開いています。

国立音楽大学指定工場
アトラスピアノ製造株式会社
 浜松市神田町1400 TEL. 0534 (54) 7331



2. Guitar Ensemble

- メンバー 1st 森井誠治・榎本隆司・松原和雄
 2nd 山中正博・小出行雄・山辺幹敏
 3rd 神永哲士・三田 勝・広津真理子

- ギターは小さいオーケストラである……………ペーデーベン
 ○すぐれたギターは美しいものは考えられない……………ジョーバン
 ○ギターは表現力豊かなクラブサン……………ドビッシ

舞踊組曲「コッペリア」
 舞はヨーロッパの南部にある国境の町がリシアを舞台にしています。青年フランツはスワニルダとい
 う美しい愛人がいるにもかかわらず、人形師コッペリアの娘コッペリアに恋をします。スワニルダの
 心は隠かではありません。そこである夜スワニルダはコッペリアに忍び込み、コッペリアの側に近
 寄りまると美しい乙女だと思っていたコッペリアは実は自動人形、そこで一度を奪いスワニルダはコッペ
 リアの妖術を身につけ、そこでやっとならフランツをからかいます。結局フランツもコッペリアが奪取る
 人形であったことを知って、スワニルダとめでたく結婚するのです。

1. 「前奏とマズルカ」
 楽器による重々しい和音から始まり、パイオロンにみずみずしい旋律が流れ、しばらくしてから勢い
 のよいマズルカが全奏登場で聞かれます。この曲は、かつて「朝日ニュース」のテーマ音楽に使用されて
 いたものでオールドファンには懐かしい曲です。

2. スワニルダのワルツ
 堂々とした重々しい和音から始まり、パイオロンにみずみずしい旋律が流れ、しばらくしてから勢い
 のよいマズルカが全奏登場で聞かれます。この曲は、かつて「朝日ニュース」のテーマ音楽に使用されて
 いたものでオールドファンには懐かしい曲です。

マラゲーニャ
 スペインの南、アンダルシア地方にマラゲーニャという楽舞があります。ここは古くから開けた地中海への
 門戸ともいえる良港で保養地としても名高いところ。その昔ラテンアメリカの新天地開拓を目指す人々
 は皆この港から船出したものでした。古い歴史を誇る町角ではジプシーが華やかなフラメンコ舞踊を
 踊ります。それがこの「マラゲーニャ」すなわち「マラゲ舞」なのです。

マイアミビーチサンバ
 アメリカの有名な観光地マイアミ海浜をうたった曲でヴァン・クラグの演奏で有名です。

ペサメム・メー
 スペインの完成作曲家コンセルロ・ペラスカスの作品
 原曲はバレエでその昔イメロデーは我が国でも演奏されています。

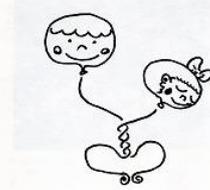
演奏性を重視した
 精密な設計
ヤマハギター

YAMAHA 日本楽器株式会社
 浜松市神田町122



- クラシックギター ¥1,000,-
- クラシックギター ¥1,000,- ¥20,000,-
- クラシックギター ¥35,000,- ¥200,000,-

3. Popular



愛
 たった一字の不思議な力
 奇怪な力を持つ言葉
 世の中のどんなものでも
 たうち出来ぬ不思議なもの
 因縁が
 思想を殺さないように
 法律が
 愛を滅亡する事は出来ない
 力強く強いこの一字
 不思議な言葉
 たったこの一字が
 底知れない 心の世界を
 平気で動かす

ある愛の詩 (Love Story)
 アメリカでベストセラーとなり、歌謡化され、またまた好評を博したもので家路の遠い、親の反対
 といった障害を押し切って結婚に踏みこんだ愛する二人が、やっと幸福な道に歩み高そうとした
 時、死の訪れによって激しい愛を断ち切られてしまったStoryを見事に描き出した感銘的な映画
 でこの愛とかなしみを語りあげたひとつの重要な要素となつたフランス・レイが書いた美しいテーマ
 音楽。

息 流
 サンレモ・フェスティバルの第5回に第2位となった名曲です。
 イタリアのポップ・ミュージック界はロマンチックなビザン・リズムで全盛でしたがこれは、その頃の曲で、山
 の上から流れ落ちる急流に思ふ人々をたどるという歌詞が描かれています。
 *身をふるわせながら私のそばから急流のように走り去っていったあなた……………

雨 (La Pioggia)
 北イタリアの花の都サンレモ市にここで毎年行なわれ、優勝者よりも人真曲の何かが大ヒットするとい
 うシンドラを持つサンレモ・フェスティバル。そのサンレモ・フェスティバルでジャコ・チンクィエ
 とジャンスガールが組んで歌い入賞しシンドラ通り1969年の世界的大ヒットとなった曲「雨」。
 日本では雨というと涙や悩みがすぐ連想され、またリズムメロの採用が思い出されますが、この曲「雨」
 はむしろすがすがしくリズムカナルで、いやみのない可愛らしい曲です。



指揮者 田代野郎
 コンサートマスター 堀江健一
 ミュージックディレクター 森下和夫

1st Mandolin	T. 池江健一(3) 榎本安子(3) 榎本孝(2)	増田芳往(4) 山崎波精(3)	榎東照夫(4) 村上貞一(2)	川村純一郎(4) 武田牧子(2)
2nd Mandolin	T. 岩崎 清(3) 小野崎 一(3) 原田秀男(1)	東京年男(4) 大平福子(2) 森田 一(1)	伊藤 謙(4) 津 源(2) 堀内 龍(1)	伊東 豊(3) 遠藤 弘(1)
Mandola Tenor	T. 堀 登一(3) 大塚 実(2)	青柳 幸(4)	武山 清(4)	小林 和男(3)
Mando Cello	T. 入江 博(4)			
Guitar	T. 森井誠治(3) 神永哲士(3) 山中正博(3) 山辺幹敏(2) 阿部弘行(1) 宮崎 裕(1)	榎本隆司(4) 小出行雄(3) 齊藤 志(2) 松原 和(2) 岩崎 文(1) 北島 一(1)	岡島 三(4) 三田 勝(2) 鈴木 繁(2) 山 達(2) 北島 一(1)	鈴木 幸一(4) 森下和夫(3) 塚田好夫(2) 岸本 和(1) 藤田 幸(1)
Bass	T. 内藤 泰(3)	山内 文(4)	小川 正(1)	
Flute	T. 榎本 一(3)	高橋 敏(2)	山崎 知(1)	吉夫 高(1)
Clarinet	T. 松田 正(3)	阿部 義(1)		
Percussion	T. 森下和夫(3)	池田 正(4)	松原和雄(2)	岩崎 文(1)

クラブ紹介・一年間の行事

私達のクラブは昭和22年に数名の同好者によって発足しました。
工学部のため新しい面もいろいろありますが、プレクトラム音楽の魅力にとりつかれた者が其の音楽性の追求に努めてきました。現在では、その数約60数名と工学部文化系サークルの中で最大のクラブと成長しました。
このような1つの学部・工学部だけというマンドリンクラブは他に類をみずユニークな存在として関係各方面から注目されております。

一年間の行事予定

- | | |
|-----------|-----------------|
| 46年 1月16日 | 四年生進出しコンパ |
| 3月19日～24日 | 強化練習 |
| 25日～31日 | 春季合宿（千葉縣若井にて） |
| 4月13日 | 新入生オリエンテーション |
| 28日 | 新入生歓迎コンパ |
| 5月15日 | 第6回スプリングコンサート |
| 23日 | 新入生歓迎合同ハイキング |
| 8月1日～5日 | 強化練習 |
| 6日～13日 | 夏季合宿（長野縣白樺湖・浜松） |
| 14日 | 浜松市演奏会 |
| 10月9日 | 八王子演奏会 |
| 11月12日 | 第8回定期演奏会 |

以上が我がクラブの主な日程です。
部員一同一致団結して学生生活を満喫しています。

営業案内 海外国内旅行案内・周遊券の取扱
国鉄団体の取扱 / 旅券の発売
バス、航空機、船舶の予約受付



日本国有鉄道公認
名鉄観光サービス株式会社
営業所 浜松市田町118(かぎビル内) TEL.52-8453・52-9078

法政大学校歌

法政大学校歌

佐藤 泰夫 作詞
近衛 秀磨 作曲

- | | |
|---|--|
| 1. 若きわれらが命のかぎり
ここに捧げて愛する母校
見はるかす窓富士が家の雪
堂集めむ門の外塚
よき師よき友つどひ結べり
法政 おわ わが母校
法政 おわ わが母校 | 2. 若きわれらが命のかぎり
ここに捧げて愛する母校
われひと共にあめたらずや
進取の気象賢美の風
青年日本の代表者
法政 おわ わが母校
法政 おわ わが母校 |
|---|--|

学 生 歌

藤 永 次 作詞
平 井 康 三 郎 作曲

青春の烽火 (のろし) :

- | | |
|--|--|
| 1. 青春のろしは高く
燃えたつよ吾等が胸に
ああ法政不滅の生命
激刺とここにあふる
法政 法政 吾等が母校 | 2. オレンジのその情熱と
その青り吾等が胸に
ああ法政希望のひかり
学舎に今こそそそぐ
法政 法政 吾等が母校 |
|--|--|

編集後記

慣れない仕事のために楽園が醒れ、このプログラムの作成においても、あつては伝説的や、更なるために東奔西走しようやくここに編集後記を書くに至りました。ない知恵をしぼりしぼってようやく出来あがったプログラムです。

本日は御礼下さりまして有難う御座りました。
部員一同力を合わせて今日まで頑張っていました。最後は今日の演奏に色々と御協力下さいました方々に深くお礼申し上げます。

編集委員 小野精一・三田勝・松田正明・小林和男

Ladies Mode
TENYODO
天 陽 堂
浜松モール街 TEL.52-3237

H.T.M.C.
YAMAGATA 1980
CONCERT 9,10

PM6:00 山形市民会館

第一部

鐘のあいさつ 作曲 E・エルガー
編曲 平井 朗

ホルカ「狩り」 作曲 J・シュトラウス
編曲 平井 朗

ウイーンの森の物語 作曲 J・シュトラウス
編曲 明井 敏明

第二部

「調和の幻想」より2つのバイオリンとチェロのための協奏曲 作曲 A・ビバルディー
編曲 三上 徹

第三部

宇田歌謡ヤマト 編曲 平井 朗

ローレライ 編曲 平井 朗

花菱音頭 編曲 宮田 俊一郎

重鎮シリーズ 編曲 岡原 元郎

オリーブの首飾り 編曲 宮田 俊一郎

アルティラ 編曲 宮田 俊一郎

テネーラ 編曲 さかき原 崇

主催 法政大学工学部マンドリンクラブ
後援 山形市教育委員会 山形市小学校教育研究会音楽部会

曲目解説

指揮 平井 朗
コンマス 岡原 元郎

鐘のあいさつ

イギリス近代の作曲家エルガーが、最愛の妻アリスに奉げた、ひたすらに美しい曲、それがこの「鐘のあいさつ」なのです。旋律の美しさは言葉にできない程で、私達を別の世界へと誘っているようです。ブラームスの影響を強く受けつつありますが、傑出作曲家の才能はブラームスも超越している程です。愛の妻は悪妻と相罵が繰り返されていますが、アリスは例外中の例外で、その夫の愛はキュービットも思わすほどの赤くしてしまわぬでした。1920年に最愛の妻を失い、そのショックでエルガーはその後大作曲を断念してしまいました。

私達のマンドリンでこの愛を再現できるでしょうか、お楽しみに。

ホルカ「狩り」

「親しき者きドナウ」で有名な、ワルツ王ヨハン・シュトラウスは、百曲以上のホルカを作っています。ホルカには、速いホルカとゆっくりしたホルカとありますが、この曲は特に速いホルカで、馬に乗って野や林を駆けまわるハンター達の様子がよく表現されています。そして、楽器を知らせるトランペットやホルンの響き、それに続く鼓声など、視線を「狩り」の世界へ連れていってくれることでしょう。

ウイーンの森の物語

音楽の都として知られたウイーンは、歴史的に如何で世話をやきといった人情がある。ウイーンを限りなく愛したヨハン・シュトラウスは、代表的なウイーン子であり、ワルツによって、全世界の人々を魅了させたワルツ王である。彼は四百曲以上のウイーンワルツを作っているが、その中でもこの曲は代表的な作品としてあげられる。ウイーン付近は、川の北を流れるドナウ川を中心に、至る所で美しい森がある。ベートーベンが作曲の英雄を得た森、シューベルトが絶望と喜びを交えた森、そしてウイーン人が敬慕に集まるビクニクにいつも賑わっている森である。この曲は作曲家の魂が一言一言に込められている。

「私の全ての力は、この土に根ざし、湧き出ている。私の心がそれを聞き、手がそれを書き記したたけなのです。……ウイーン！神よ、この輝く神国に祝福あらんことを！」この曲は、彼が久しぶりに見るこの森の美しさに心打たれ、わずかな一週間で作曲したものである。

山形演奏会実行委員長 兼 兼一 マンドリンクラブ部長 平代 健司

「調和の幻想 作品3」より
2つのバイオリンとチェロのための協奏曲

ビバルディーは「四季」の作者として良く知られているバロック時代の人です。この曲「調和の幻想 作品3」は、独奏曲集「調和の幻想」とそれに対する全体的部分とから構成されている曲です。この曲は、独奏家として2つのバイオリンとチェロが用いられていますが、今日は、独奏楽器としてマンドリンとマンドラを使い演奏します。曲は、冒頭、独奏楽器が美しいカノンで演奏し、次に様々なフーガが全体と独奏楽器で演奏されます。カノン、フーガは共にバロック時代に良く使われた形式です。そしてゆっくりとしたイタリア風の美しい部分を過ぎ、3つの独奏楽器が活躍する速いフィナーレが続いてきます。三人の独奏者には高度なテクニックが要求され独奏部分が聞き所となっています。

マンドリン豆知識

マンドリンオーケストラは、あまり知られていませんが、日本はドイツ、オランダなどに盛んで、多くの大学や高校、職場でマンドリンオーケストラが作られています。もともとマンドリンとは、西南アジアで生まれたリュートの中のマンドラ（今のマンドラ・テナー）は違いますが）という楽器から生まれたもので、イタリアで発達し、19世紀のピナッチョ、カウチエの改良により現在のマンドリンができました。また、この時期に現れたカラムニエルによって多くの変種が研究され、マンドリン音楽に高い芸術性が与えられました。

またマンドリンの語源は、イタリア語のアルマンツ（almandó・すもも）にあると言われ、程々にマンドリンの共鳴調は、すももを二つに割った様な形をしています。

オーケストラ編成図

マンドリンパート

管楽器のバイオリンに相当するマンドリンオーケストラの主力です。
1st マンドリンは、旋律の高音をとり、その響きは可憐な響きをたえています。最も上手好きなパートでOPのA部をはじめ強者や弱いです。
2nd マンドリンは、裏の旋律をとることが多くリズムや音が重要になります。一年生が主力で、そして音価なパートです。

ドラムパート

最も表現力があり、旋律から伴奏まで全てこなすことができます。その人の声に似て似た音を叩きます。またマンドリンとマンドラは、力強い響きでいつも他のパートを圧倒しています。

セロパート

低音楽器で、聴く限りならぬマンドリンオーケストラに深さを与えることができます。また低音楽器と高音には調和的な効果があります。
マンドラと管楽器にはさまれて目立たないながらも新品のセロで力強く響きつづいています。

ギターパート

ギターらしい音色はいろいろ使われ、伴奏として主に使われます。うる時にはハーブの響きに似てアルペジオ、そしてある時は、ベースなみの鋭いリズムを奏します。一年生もがんばっています。

ベースパート

我がオーケストラで唯一、フレットの無い楽器で低音のリズムを司ります。形がかわりながらその響きはよく、響きあがることがよく響きます。

パーカッションパート

もともとラテンの力強いパートでしたが、ティンパニ、スネア等が加わり、本格的なパートと変わりました。16ビート、3連符、5連符、8連符とあらゆるリズムを奏します。しかしその原形はラテンでおぼろげなところでしょう。

管パート

マンドリンをより一層引き立たせるために、ユニゾンで旋律を演奏したり、オブリガートで力を加えます。その楽器は、フルート、クラリネット、オーボエがあり、それぞれ美しい音色を奏してくれることでしょう。

あいさつ

今日は、私達の演奏会にお越し下さりまして、ありがとうございます。このたび、山形の皆様、私達の演奏会をお聴かせできる機会もまたたき、誠に喜ばしい事と、感謝一同感じています。

私達は、練習の場において、常に一人一人が、自分自身に厳しくする心がけ、また仲間同士のよきあいを大切にして、調和のとれたクラブを築き、それが生き生きとしたパートとなるよう、日夜努力を重ねております。この一週間にわたる選手での合宿の特訓により、一年生も合奏の仲間に加わり、幹部もそれらしい顔となり、私達のクラブも、一層引きあがりました。この際にお世話になった山形に感謝の気持ちと、お礼の言葉を述べさせていただきます。これからも、しっかりと練習しつづけます。

最後になりましたが、今回の合宿及び、公演活動の発展にあたり、御協力下さいました後援各位、また山形県庁、山形市役所、社会福祉課、文化課、観光課各位、法政大学校友会、後援会その他多くの方々に御協力、御指導頂きまして誠にありがとうございます。

3. JOINT コンサートプログラム & 写真

STAGE MEMBER

<p>法政大学工学部マンドリンクラブ</p> <p>Conductor 佐藤 弘基 (特奏3)</p> <p>Concert-Master 柳原 崇 (特奏3)</p> <p>1st Mandolin 柳原 崇 (特奏3) 石井 良徳 (特奏3) 高橋 淳 (特奏3) 徳岡 治郎 (1本4) 村上 悟宏 (特奏2) 高山 又宏 (特奏2) 忍清谷 淳 (特奏2)</p> <p>2nd Mandolin 黒河 精志 (特奏3) 植松 英樹 (特奏2) 浜口 直人 (特奏2)</p> <p>Mandola Tenor 千葉 晴宗 (特奏3) 高野 一治 (特奏3) 橋本 善純 (1本4) 長家 義和 (特奏2)</p> <p>Mando Cello 佐藤 誠 (特奏4)</p> <p>Bass 高橋 豊 (1本4) 斎藤 一之 (OG)</p> <p>Guitar 田中 一彦 (特奏3) 岡田 安次 (特奏3) 植田 直樹 (特奏4) 山口 昌生 (特奏4) 清水 毅形 (特奏2) 若山 幸雄 (1本2) 岡本 明彦 (特奏2)</p> <p>Flute 河川 真澄 (1本3) 船田 昌彰 (1本2) 喜田嶋多朗彦 (特奏2)</p> <p>Clarinet 佐藤 和良 (特奏2) 宮崎 洋志 (特奏2)</p> <p>Percussion 高橋 淳 (特奏3) 岡田 安次 (特奏3) 高山 又宏 (特奏2) 忍清谷 淳 (特奏2) 小出 芳弘 (特奏1) 佐藤 信郎 (特奏1)</p>	<p>東洋女子短期大学マンドリンクラブ</p> <p>Conductor 松沢 綾子 (特奏2)</p> <p>Concert-Master 岡谷 由子 (特奏2)</p> <p>1st Mandolin 瓜谷 尚子 (特奏2) 市川 香子 (特奏2) 原島 珠美 (特奏2) 久保田愛美子 (特奏2) 小林 智子 (特奏2) 藤田 智子 (特奏2)</p> <p>Mandola Tenor 野守善久子 (特奏2) 大井 弘子 (特奏2) 鈴木かの子 (特奏2) 西島 美幸 (特奏2)</p> <p>Guitar 田畑 静子 (特奏2) 相沢美登里 (特奏2) 石川 和香 (特奏2) 神崎みどり (特奏2) 柴村 佳子 (特奏2) 野老 和子 (特奏2) 望月善世子 (特奏2)</p> <p>2nd Mandolin 鎌倉 恵子 (特奏2) 亀田亜矢子 (特奏2) 曾本 明美 (特奏2) 戸村香代子 (特奏2) 平川 悦子 (特奏2)</p> <p>Bass 小野 理子 (特奏2)</p> <p>Flute 石橋 由美 (特奏2) 村上 恵子 (OG)</p>
---	---

司会者
明治大学 政治経済学部 4年
高田 剛 会川 威
宮崎 啓樹

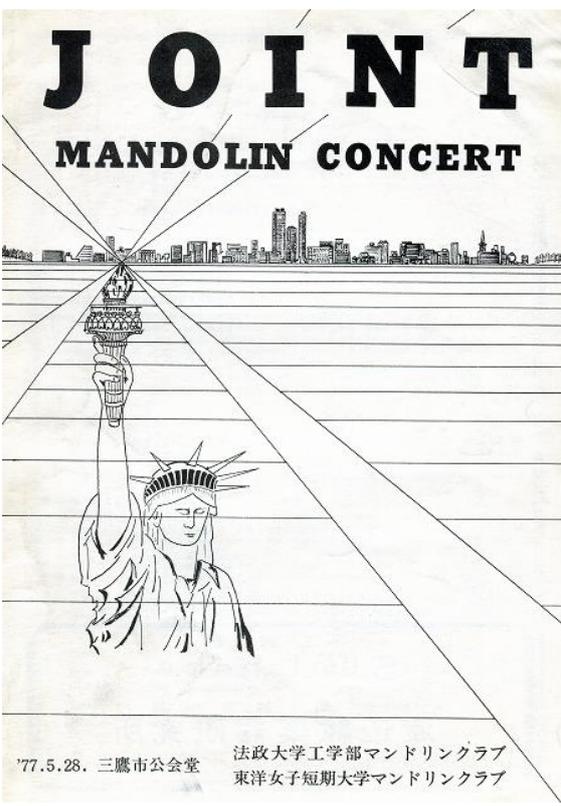
本日はお忙しい中お集りの皆様へようこそをおこししました。私達はこの6ヶ月間お互いの経験向上を目指し、今日までご集られた時間ではありましたが、精一杯練習してまいりました。それだけ自分達のクラブには自信を込め、各々のクラブの発展に役立っていることができれば、この演奏会もより有意義なものになると思います。

共催の私達の演奏会ではございますが、全力を尽くします。どうぞ最後までごゆっくりとご鑑賞下さい。

最後に、この演奏会のために指導、献金下さった宮田吉子夫人、OB、OGの皆様にも深く御礼申し上げます。

役員一同

JOINT MANDOLIN CONCERT



7/7.28. 三鷹市公会堂

法政大学工学部マンドリンクラブ
東洋女子短期大学マンドリンクラブ

あいさつ

法政大学工学部マンドリンクラブ 阿部 優

御来場の皆様、本日は御多忙の中このコンサートに御出席いただきありがとうございます。縁あって再度 Joint concert の機会をいただきましたことは本学部に東洋女子短期大学、両校のマンドリンクラブの日常活動の努力もさることながら、偏に皆様の御支援の賜物と存じ、今宵の演奏をお楽しみ頂くことで日頃の御厚意の報いに役立てば幸いです。

また、現在とすれば容易な方へ思われがちですが、お互い不同歩な都会生活の常識となりつつあり、異に同様の土が無い、その輪を広げるとも若者が持つ役割を担うには充分ではなく、明確な目的意識を持ちながら、共に頑張って活動が出来るように思えます。その意味からも御来場の皆様への御礼を感ずる次第です。この場を中心のテーマとなるより希望する所です。

東洋女子短期大学マンドリンクラブ 小林 真子

音楽の楽しい季節がのびてまいりました。今が私どものマンドリン演奏会にいたいただきまして、ありがとうございます。

法政大学工学部マンドリンクラブと東洋女子短期大学マンドリンクラブの両校の活動もますます盛んになり進んでいること存じております。これも、皆様の暖かいご支援とご理解のお陰と感謝しております。まがまだ未熟ではございますが日頃の練習の成果を十分発揮して、楽しい演奏会にしてほしいと、念じております。

東洋マンドリン管楽団演奏会 富田 吉子

法政大学工学部マンドリンクラブ、東洋女子短期大学マンドリンクラブ合同演奏会のおめでとうございます。前回の5月、アクトラム音楽を通して両校の友情を深める一方、両校の特技を取り入れた演奏は皆様の思い出し、心に響く演奏会となる事を思っています。

本日、この両校の演奏会に御来場の皆様、お忙しい中お集りにありがとうございます。今日まで短期ではありましたが、合同演奏会や、また、練習場、曲の選択等、お互い話し合い、種々の困難を乗り越えての演奏会が実現しました。今が社会人として進出してゆく皆さんに有意義であると思っております。

今回は、両校のジョイントコンサートを開催し、お聞き下さいますようお願いすると同時に、両校の今後の御指導、御鞭撻ほど、よろしくお願い致します。

法政大学工学部マンドリンクラブ OB・OG会 会長 橋 恭一

名の振らうに過ぎず、隔日一日とまじまじと出立し、また、初夏の匂いからいよいよ夏です。今日この頃です。そんな季節の変わり目よりな暖かい空、この演奏会に、少しでもお集りいただければ……と願っております。ニューフェイスのフレッシュな演奏も、今宵はお楽しみ下さい。

この演奏会に当り、関係各社の御協賛に対し、深く御礼申し上げます。

東洋女子短期大学マンドリンクラブOG会会長 飯塚 裕美

ジョイントコンサート、おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。昨年の合同演奏会が終わってからの半年、暑い夏が終わり、暖かい春が訪れようとしています。この季節の移り変わりの中で、部長さん1人が体験してきたこと……楽しみ・喜び・苦しみ……それは、とても貴重なことではないでしょうか。

マンドリンを愛する心、ギターを愛する心……音楽を愛する心、それらが一つになって、今宵、このコンサートで奏出されると思います。そしてこの日の為に頑張ってきた日々が、美しい青春時代の思い出となって、1人1人の胸に響くものだと思います。

最後に、私達の後援を頂く御来場下さいました、諸先生をはじめ、今日演奏会に下さいます法政大学工学部マンドリンクラブの皆様にも深く感謝致しますと共に、今後の暖かいご支援、ご指導、よろしくお願い申し上げます。

手工 絃楽器
S.Watanabe
マンドリン・ギター他低音楽器
絃楽器全般製作・修理
渡辺絃楽器研究所
北区池袋野川5-43-5号 TEL (03) 8528-9
国電 飯橋駅 船電 池袋野川5丁目下車

- 2 -

STAGE MEMBER

Conductor 佐藤 和良(機械3) 藤沢 希み子(英文2)	Concert-Master 高山 文治(電気3) 伊藤 美智子(英文2)
1st Mandolin ① 高山 文治(電気3) 井上 慎二(機械3) 藤原 淳(電気3) 石井 昌徳(計測4) 藤原 崇(機械4) 高橋 淳(計測4) 杉山 雅章(機械2) 西本 公洋(建築2) 渡辺 真(建築2)	Guitar ① 若山 泰樹(土木3) 岡本 明彦(理工3) 清水 敏彦(機械3) 岡田 安史(建築4) 田中 一郎(建築4) 井上 勉(理工2) 野賀 実久(電気2) 田中 誠一(土木2) ② 下島 智子(英文2) 野野 真美子(英文2) 関 慎典(英文2)
2nd Mandolin ① 浜口 直人(機械3) 黒河 精志(理工4) 小田 芳弘(電気2) 長瀬 伸二(電気2) 宮口 修介(英文2) ② 山崎 勝久(英文2) 大塚 洋子(英文2) 竹村 真司(英文2) 成宮 尚子(O, G) 岡島 珠美(O, G)	Flute ① 藤多 高多賀郎(建築3) 船田 昌紀(土木3) 河川 武彦(土木4) 渡崎 賢一(土木2) ② 田中 由美子(英文2)
Mandola-Tenor ① 長塚 義和(理工3) 千葉 晴希(機械4) 加藤 裕夫(理工2) 佐藤 悦郎(理工2) ② 吉沢 清子(英文2) 神原 幸正(英文2) 渡辺 智恵(英文2)	Clarinet ① 宮崎 洋志(建築3) 佐藤 弘泰(電気4) 佐藤 昌昭(理工2)
Mando-Cello ① 橋本 崇樹(計測3) 常盤 一治(建築4) ② 斎藤 ひよみ(英文2)	Percussion ① 藤原 淳(電気3) 岡田 安史(建築4) 高橋 淳(計測4) 杉山 雅章(機械2) 小田 芳弘(電気2) 佐藤 多美子(民間音楽)
Bass ① 山本 真(電気2) 高橋 真(O, B) ② 大塚 伊久子(英文2)	Timpany 佐藤 弘泰(電気4)

PROGRAM

1st STAGE (合同演奏) 指揮 佐藤 和良

序曲「二長調」 作曲 K. ヴェルキ
Cavalleria Rusticana 作曲 P. マスカニー
牧場にて 作曲 ジュリアン

2nd STAGE (東洋女子短期大学マンドリンクラブ) 指揮 藤沢 希み子

日本のうた 編曲 宮田 俊一郎
日本総勢
旅 愁
浜辺の歌
出 船
城ヶ島の雨
日本の民謡
春茶前節 (沖 磯)
茶 切 節 (静 岡)
串 本 節 (和歌山)
津軽じょんがら節 (青 森)

3rd STAGE (法政大学工学部マンドリンクラブ) 指揮 佐藤 和良

ベルシャの市場にて 作曲 A. ケテルビー
Plink・Plank・Plunk 作曲 ルイ・ロンドンソン
南国のパラ 作曲 J. シェトラウス

4th STAGE (合同演奏) 指揮 藤沢 希み子

ボビウー
バラ色のメヌエット
青い影
ジャンパワヤ
葉がすべて
ラ テン 指揮 佐藤 和良
タ ブー
さらばジャマイカ
マッシュケナダ
マンボジャンボ

曲目紹介

序曲「二長調」 作曲 K. ヴェルキ

マンドリン・オーケストラによる活気ある作品で、多くのアレグロ音楽作品の中でも名曲と認められている。曲は、現代ドイツの作曲家、K. ヴェルキの作曲で、彼はこの他に「二長調」、「三長調」、「四長調」と5つの序曲を残している。

曲は、長大かつ荘重で、美しいメロディの序曲で始まり、美しく、うかめするようなメロディを持った2つのカナル主題へと移り変わり、やがて、ビームレットの鋭い盛り上がりを見せ終結します。

牧場にて 作曲 ジュリアン

この曲は、マンドリン・マンドラとして、「地獄の第一」田園牧歌とされ、よく知られている。ジュリアンの名作の一つです。アレグロ・モダンなさわやかなメロディで始まる「朝」、マンドラの響きでメロディが目の出をわかし、草原の賑やかな朝を描写しています。次に、この曲のテーマである、アレグロの軽快な「牧場にて」、ファンタスティックな「牧歌の歌」、メロディックで、華やかな「祭り」の思い出。そして、多分の6拍子で始まる「収穫」から、再びテーマが現われ、終曲を結びます。

日本のうた 編曲 宮田 俊一郎

日本には昔から多くのうたが生まれ、愛されてきた曲が、たくさんあります。中でも民謡はどんな土地にも必ず存在し、人々の口から口へと歌いつづかれています。故郷を思う時、そこには民謡があるのです。

また、四季の移り変わりや、美しい景色が自然が生み出したすばらしい曲が、私達の心の中に生きています。

今回は、誰もが一度は聞いたことのある曲を数曲、「日本の総勢」と題し、メロデーで、そして、北は青森から南は沖縄までの17の都府県を同じメロデーで、演奏いたします。クラシックやボビウーとはまた一風違ったマンドリンの音色をどうぞお楽しみください。

ベルシャの市場にて 作曲 A. ケテルビー

作曲家、アルベール・ケテルビーは、ドイツの作曲家で、指揮者も活躍し、「中国寺院の庭に」、「修道院の庭に」、「旧教会の庭に」と多くの名曲を残していますが、この「ベルシャの市場にて」は、1928年に作られた曲であり、最もポピュラーになりました。

ベルシャの市場を背景とした情景音楽で、遠くからやってくる旅商、店員は、ラダダの足音のリズムで、次に広大な海の雄姿、そして、次の機織を背景で、正女の舞を描写しています。奇麗で、へが、太宰府の舞などの市場の様子を次々と表現し、そして、正女の出現、旅商の出現、また市場が、ものを賑やかにとるといえるように、巧みに表現されています。

南国のパラ 作曲 J. シェトラウス

探検記のウィーンはウィーン・ワルツに似て、ウィーン・ワルツに似ていると言っても過言ではありません。中でも、J. シェトラウスは400曲以上のワルツを書き上げ、「ワルツ王」ともよばれるようになったのです。

ウィーン・ワルツの特徴は、まずワルツに入る前にゆるやかな序奏が付き、次にワルツが軽快なリズムで、雄健に、結尾でまたゆるやかなメロディの思い出のように閉結されることです。

この「南国のパラ」は、1880年頃書かれた探検記「女王のレースのハンカチーフ」のメロディをあつめて完成させた有名なワルツです。

パート紹介

1st Mandolin

1stとすると、みなさんは、どのようなパートだと思われるでしょうか。音階の練習に、手慣れた動き、美しい音を出してガンババルーンなのです。そして目この練習では、コンダクターに何回となくタクトを振るえられている。

そんな私達を想像しながら、今日の演奏をお楽しみ下さい。

最後は別途1stのセッティングを……
「そうぞ、ハハハ、笑って、
指揮者ニクリや音を出せ」

2nd Mandolin

トワよりもセリと交わらぬ「軟弱性」をセッターとしての役割、我々2ndのパート。すなわち、後者が女性という問題は、すべて1stにゆずり、人間性を重視した最もヒューマンなパートだと考えます。

みなさん、どうでこの曲はベルシャの市場と出陣を兼ね、同じ探検記の人間性のある旅・旅・旅、そして、その時と人間的になりながら演奏を指揮者があつておられるはず。より人間の演奏にしているのです。

もし、このコンサートで少しでも人間味を感じられたならば、そこには必ずや後パートの隠れた努力があったのです。

Mandola-Tenor

我々Mandola-Tenorは、一言で言うと、「一言で言い表せない」というパートです。

というよりは、あまりにも表現に難があるためです。そして、その魅力が一面を顕微鏡合しませう。まず、同僚あわせての最高の美声4名・英名3名の集合であることです。次にそれに比例して、心が美しく、コンダクターのいかなる指示も察知し、この中で音に受け入れられます。そしてまた、顔と心に比例して、音色もまた美しいのです。そんなことは我々の魅力のほんの一部で、もし、その魅力を知ったならば、あなたもきっと「Mandola-Tenor」と呼びたくてしょう。さて今回の「Mandola-Tenor」の演奏はどのようなものになりますか？

Mando-Cello

題目 マンドセロのイメージに関する考察 天候 19.1 気温 23.8℃ 湿度 36.1%

1. 航空工場の見地 ダーボルト・エンジン
2. 宇宙飛行の見地 アラカール (宇宙の幕開)
3. 数学的見地 ラウス・シュタイン
4. 社会的見地 2000年の音楽家結成案
5. 文学的見地 村上春樹・野村浩一
6. 芸術的見地 津軽ジャンク
7. マンドラの見地 難解ノ…………… 評A-A?

Guitar

総計11名の、「若くは若い」のギターパート。走るコト、止まるコトが得意な、他のパートをいつも圧倒し、ダブルスコアで進んでいることがギターパートの唯一の自慢です。

キャプテンのイザベラ以下、ポイントゲッターのゲルト下系、ゲームメーカーのオペラ・田中、センター・フィードのベレ、アシストのネルソン・清水、リベロのクライア・岡本etc…その魅力は豊富で、バックアップのワーク・今日は、スウィッチ・ランタン・ローラーを振り回して、正装で舞台に登場しますが、我々の「魔のいびき」をセッターに聞こえなく二重奏下さい。

Bass

ジック・ブルース、ロジャー・グロバー、スージー・タート、イコ・オズワット、アキラ・ヤマモト、トリス・ジャクソン……これ程、世界最一流のベーシストたち。そして、この中から、なんと有名な今回のコンサートに出演する。この2人が担当する「種あり」には、そこには期待があり、コンダクターの「種」との組み合わせからいば音を出し出すことができるのです。

なお、ベーシストは、もっぱら「サクソフォーン」との鳴らがあるが、それはまっかたで、現に、コンサート後のクラブにそなえて、日後「ドラム・バスター」で特演中。

指揮 佐藤 和良、指揮 佐藤 和良

Flute

三度のメソよりもフルートが好き。あの清浄で明朗、かつ表情に富み、明るく、高い音域に魅せられて集まったフルートの会は、両腕のわで待たない。今日この日を日曜して毎日の嬉しい。感動にも涙を流す。増強してまいりました。我がフルートは常に舞台に前って先鋒であり、美しい旋律を皆様にお届けしています。マンドリンの音色も、いいですが、なまよとだけフルートの音に耳を傾けてみて下さい。時には驚く。時には泣く。時には力強く、あなたの心に響き渡り、さよとフルートの音色に心酔して頂けると幸いです。

Viva Flute ♪

Clarinet

ステージの最後列に陣取りしているのが我々クラリネットでありまして、音楽的センスのよき、技術的なうまさにおいては他のパートに大きく差を付けていることは目覚ましい認めるところであります。また我々のパートとしては「音楽には無用」を以て、全く女をよめつけておりません。そして超一流のハンサムボーイズであるという誇りの高いことです。黄金パートの中身を見ても、もはや超群者さまでびにされた4毛の先輩さんと、指揮者にもなり兼ねた長年トップの若手さんと、天才少年候補者、社外社もそろそろ特異なむかえつつあり、我々のパートは必ずや20世紀のまじりなきはばないでいくだろう。

司会者紹介

明治学院大学アオックス研究会 経済学部3年 特田一成

明治学院アオックス研究会とは、49年からの長い付き合いで、今回のジョイントコンサートの機会をお願いしたところ、すでに賛同を引き付けていただきました。お力で取ることがなにより好きだという音楽好きの魂は、きっと、秘伝のステーキを大きく盛り上げ、楽しいコンサートにして下さると思います。

編集後記

編集現場をロケットを飛ばし、ニッサ、ニッサと毎日走り回った結果がこのプログラム。できればともあれ、今回のコンサートでの音程のよき楽内話を助けてくれた、これはどうも感謝の意はありませぬ。最後にアオックスの歌壇にあり、歌壇を公認する方々。是非に伝言の方々、また御協力下さった方々の皆様には厚くお礼申し上げます。

発行	ジョイントコンサート実行委員会
	委員長 志保春 君
編集	田本朝彦 大塚伊久子
表紙	デザイン 熱田昌紀
印刷	アザック印刷 京 (03)-8321-6681

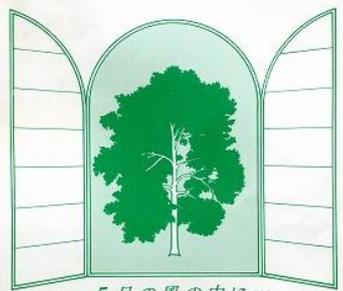


各種プログラム・機関誌・新聞・複製印刷

アザック写真印刷

東京都文京区小石川1丁目25-3
TEL (813) 6691 (代表)

Joint Concert



5月の風の中に...

1978年5月12日 P.M.5:45
虎ノ門ホール

法政大学工学部
マンドリンクラブ

♪

清泉女子大学
マンドリンクラブ

ごあいさつ

今宵は、お忙しい中をよりこそおいで下さいました。ここにジョイントコンサートを開くことができましたのも、皆様方の暖かい御支援の賜と、部員一同心より感謝いたしております。同じマンドリンクラブとはいえず、全く性質の異なる団体がつつの目標に向かい、そこには距離をこえ互に理解を深めあがりました。それをつつと積み重ねてゆくうちに、相手も理解し、また同時に、自分自身をもみつめることができましたように思います。

音楽でひとつになった喜びを今後の演奏から少しでも、感じていただければ幸いです。どうぞ、最後まで、ごゆっくりお聞き下さい。

最後になりましたが、この演奏会を開くにあたり、御指導下さいました、清水先生、清水先生、お力添え下さいました方々に、深く、お礼申し上げます。

法政大学工学部
マンドリンクラブ

♪

清泉女子大学
マンドリンクラブ

ジョイントコンサートに寄せて

法政大学工学部マンドリンクラブ顧問 岡部 俊

本日は御多忙のなかを皆様にお集まりいただき深く御礼申し上げます。今年も何れかと雖も、足が遠くはない快晴となっておりますが、春の夕暮一時をマンドリンの演奏を音にストレスを解消して戴ければ幸いです。

同好の士に因縁はないと云われますが、所謂一大学、一学部内の活動には遠くがあり、それを越えて橋を架かせる一環として、清泉女子マンドリンクラブとのコンサートが開催された事は、両クラブ員にとって日常活動を表現する貴重な機会であらうと思えます。

この場を借りて、貴団に伺います。彼らの人間としての成長にヒントを得る場となるよう御指導各々の御指導、御叱咤をお願い致します。

清泉女子大学マンドリンクラブ顧問 丹波 菊井

本日はご多忙中おいで下さいまして誠にありがとうございました。

クラブ創立以来十数年間、学生達が自主的に活動してまいりましたが、知らず知らずのうちに井の中の蛙になってしまった感も否めません。ここに新しい試みとして法政大学工学部マンドリンクラブとのジョイントコンサートを開催することができましたことは、これまでの歳を持ち帰り、新鮮な空気に入れ、一回りも二回りも大きく成長するための良い機会ではないかと思えます。

今クラブは一つの転機期を迎えているようです。これからのように変わっていくか、未知の部分も多く残っています。新しい事を始める意気込みと感心すると共に、そこに内在するいくつかの問題にどのように対処するか楽しみを見つけてまいります。

まだまだ未熟な演奏ではございますが、これからも皆様方の御指導、御叱咤を移りますよう心からお願ひ申し上げます。

東京マンドリン協会顧問 宮田 吉子

法政大学工学部マンドリンクラブ、清泉女子大学マンドリンクラブの合同演奏会おめでとうございます。春のコンサートを開催することは、学業の余暇とは申せ、新人部員の育成など多忙の中で何かと大変であったと存じます。そのひたむきな情熱を努力には謝が下がり、その最上アクトに敬服致します。

法政大学工学部は男性部員のみ、清泉女子大は女性部員のみ、互いの異端の上に立つての演奏は、素晴らしいものと楽しみておりました。

さて、ジョイントコンサートと一口に申しますが、互いの意志統一、練習会場との往復など多岐にわたる準備が必要であったと思ひます。それらを乗り越えての本日の演奏、これを機に、そして、本日の気持ちをいつまでも大切に、今後も両校マンドリンクラブが手をとりあってマンドリン音楽の発展に尽くして頂きたいと存じます。演奏会お集まりの皆様におかれまして、こういった字マンドリンクラブに縁のない御理解、御声援をひととお願ひ申し上げます。

まずは、本日のジョイントコンサート、本音におめでとうございませう。

PROGRAM

第1部

OPENING España Cani

清泉女子大学マンドリンクラブ (単独演奏) 指揮 河合三千世

導 師	Konrad Wolki 作曲
星への祈り	Pietro Garbin 作曲
歌劇「果敢なき人生」よりスペイン舞曲第1番	Manuel de Falla 作曲

法政大学工学部マンドリンクラブ (単独演奏) 指揮 佐藤昌昭

映画に借られたクラシック ミュージック

円舞曲 美しく青きドナウ	J. Strauss 作曲
ハンガリア舞曲 第5番	Brahms 作曲
ピアノコンチェルト 第21番 ハ長調 K.467	Mozart 作曲
第2楽章 アンダンテ ヘ長調	
ノクターン 変ホ長調 作品9-2	F. Chopin 作曲
トッカータとフーガ ニ短調	J. S. Bach 作曲

第2部

〈合同演奏〉

皇帝円舞曲	J. Strauss 作曲
マドンナの宝石	E. W. Ferrari 作曲
歌劇「ジョコンダ」より 時の踊り	Amilcare Ponchielli 作曲

第3部

ポピュラー		指揮 河合三千世
アクエリアス	Aquerius	Galt Macdermot 作曲
やさしく歌って	Killing me softly with her song	Charles Flox 作曲
スターダスト	Star Dust	Hoagy Carmichael 作曲
ラ テ ン		指揮 佐藤昌昭
エルカンパニェロ	EL CUMBANCHERO	Patata Hernandez 作曲
セレン ローサ	CEREZO ROSA	
マラゲニア	MALAGUENA	E. Lecuona 作曲
クマーナ	CUMANA	

第1部 SEISEN



〈清泉女子大学マンドリンクラブの結成の経緯〉

この清泉女子大学マンドリンクラブは、一般にありがた「買より盤」といった意味での大衆クラブとは違ひ、自ら美人といわれる女性の含有率約6割以上という驚異的な視覚を備えているという点は特長に属するであろう。ちなみに音楽経験しその意欲は高い演奏を望んでいる彼女達ばかりである。またこのクラブでは完全な全寮制が実施され、彼女達に一人ひとりに彼女らと、夫婦・親子・兄弟・姉妹の契りを結ぶ者も多い。

(法政マンドリンクラブ大研習主任 二枚君)

導 師 Konrad Wolki 作曲

Die Heimreise

フェルネの悲劇的初期の作品。哀愁の風情あるいは人々を魅了しながら、「ふるさと」へと強く郷土の心を惹きつけています。曲は純粋な3拍子ですが、その第1主題の旋律は和声処理は豊かに満ち、ふるさとに帰る感情を垣間見ることができています。

星への祈り Pietro Garbin 作曲

Invocation aux Etoiles Nocturne

私の手持ち楽譜の中には、この作者の作品はただ1曲のみで、作者の経歴も不明である。私の知る限りである。由小娘に送られたある秋夜の後、月夜に星が舞臺に輝いていた。私のすぐ目の前には、子供の頃好きだった三歳の星があり、いつかのように私に微笑とまじかき手を去ってくれた。私は子供の頃からの星を親友のように思っていた。この星をなつかしい思い出の星を思い浮かべ、自然と静かに手をあわせて有り難げの涙があつた。そんな瞬間がこの情景ではなだらかな。

表田 尚 記

歌劇「果敢なき人生」より スペイン舞曲第1番 Manuel de Falla 作曲

Vidubre, La Vie Brève

このオペラは、愛した男に別れを告げることを知った娘が、その男の婚約の夜で自殺をはかるといふ、ドラマティックな物語を題材としたものである。マンドリン合奏用にアレンジされたこの舞曲は、マンドリンの情緒的で、もの悲しいメロディを流し、リズムを緩やかにステップ、そして、キターの旋律が大衆的効果である。(女性の中心に描き進みしを少しでも表現しよう、花も舞い降りて知識の愛しさを思わせるの演奏です。)



この演奏会が開かれるまでに、数多くの話し合いが交わされ、多くの場合、次の話し合いをどこで開くかを決定する会議となつた。

編集後記

「プログラムを作るといのは実は口実で...」
 「あーい、本婚の理由も言わないで...」(あまきん)
 「おかしな話、俺と同じかな。」(ゴチ)
 「いやだ...でも、俺の先妻はさかづきだ。」(ゴザン)
 「実は俺もさかづきだ。」(俺め夫)
 「もんなら、デニスはどうだ。」(ウツン)
 プログラム編集にあたり御協力下さいました方々に
 厚く御礼申し上げます。(プログラム委員会)



執行部



プログラム委員会

編集 プログラム委員会
 後尾 仁志 若色 弘子
 篠岡 茂樹 岡田千世子
 探沢 行夫
 カブト 雅彦 幸彦
 表紙デザイン M・A・S・K
 印刷 (有) 杉並印刷
 TEL(590) 5483

便利な贈りもの。伊勢丹の商品券

全国主要都市に共通です。日本全国をひとつに結んだ、伊勢丹の商品券。お知り合い、お友達などへの贈りものにも便利です。全国主要都市指定のデパートやストアでお好きなショッピングを楽しんでいただけます。

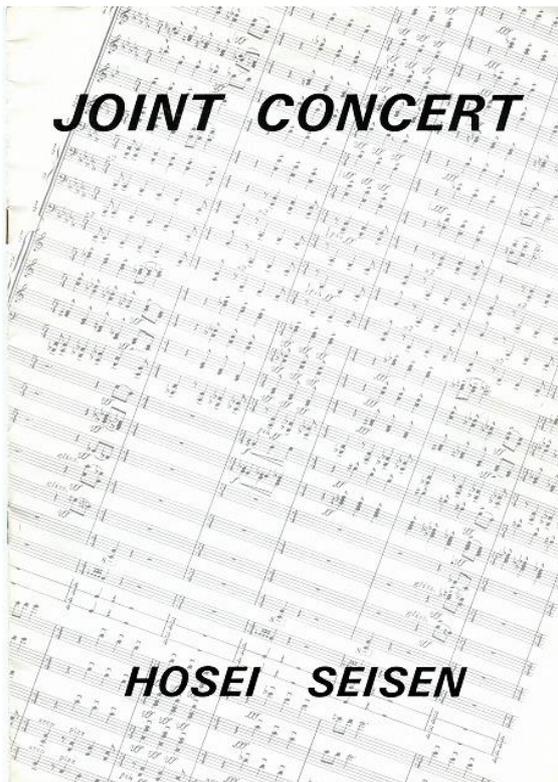


祝 法政大学工学部 マンドリンクラブ 合同演奏会
 武蔵野女子大学 マンドリンクラブ

FRANCE フレンチステーキ & パブ
 焼肉 ……焼肉バイキング

宴会・コンパ歓迎

TEL (280) 0741-3
 東海苑



Joint Concert

新宿文化センターホール

1981・5・20 (Wed.)

P.M.6:00 開演



法政大学工学部マンドリンクラブ
 清泉女子大学マンドリンクラブ

ジョイントコンサートに寄せて

清泉女子大学マンドリンクラブ編曲 五味 充子

今回はご多忙のなかをご承諾下さいまして有難うございました。
 昨春は清泉女子大学のクラブだけで、楽しいコンサートを開催しましたが、本年はまた法政大学工学部とのジョイント・コンサートとなりました。編曲の拡大にもなす各々の精進を、両大学部員の一一致と協力でのりこえ、美しいハーモニーが会場を彩ることを願っております。
 このコンサートで得た数々の貴重な体験をもとに、両クラブが一層の発展をみますよう、楽しいご挨拶と場がいご支援を頼むたいと存じます。

法政大学工学部マンドリンクラブ編曲 阿部 優

本日は皆様方に御来場誠に厚くお礼申し上げます。
 本学マンドリンクラブと清泉女子大学マンドリンクラブのジョイントコンサートも同を重ね、春の定期演奏会と云っても過言ではない程に定着してまいりましたのも編曲の諸見録の御支援の賜物と存じます。
 このコンサートを両クラブ員の心技の集結の場として、また、皆様方の熱いご声援を心から感謝いたします。
 では、ごゆるりと薫風の一時、マンドリンの演奏をお楽しみ下さい。

東京マンドリン宮田楽団主宰 宮田 吉子

本日はジョイントコンサートを通じて法政大学工学部マンドリンクラブ及び清泉女子大学マンドリンクラブの皆さん、心から御礼申し上げます。新入部員、義務行部とすべての責任が変わり本年初のステージでは何かと苦分の多い毎日と想いますが、部の上りスタートはさらさら今宵から、それぞれの持ち場、攻守べく役割に各学年大いに専任して卒業の命題の定した学生生活をよくも総論のフット、又男部の持つ強たくまじいタッチ、女性の持つ優美、編曲等々両校の良さを取り入れたいとうことは合同演奏は技術向上に大変役立つと考えております。その成果を持ち定座に知って努力前進されますよう期待しておりますと共にジョイントコンサートの御成功を心から願っております。

ごあいさつ

本日、演奏会にお越し下さいました皆様、弊れた場においで定座して下さいませ。最近のジョイントコンサートをお心にかけて下さいませ、誠にありがとうございます。温かい御支援のもと、今こうして皆様の前に幕を開けていただけたら幸いです。
 2年前に共演の経験があるとはいえ、卒業生を送り出し、後継の地は新しい編曲である私達、大学生としてクラブに慣れて行く姿勢、その意義を思い直したく、新たな気持ちで臨みました。2年という時を経て、クラブの規模も目標も変わって来た所が、どこまで協力し合ひ、又熱い会えるか、そしてこの期間に思ひ合ったものを、どう前向きにして行くかという事は、今回の課題でもあります。この一つのステップを、今宵見守って下さるようお願い申し上げます。
 尚、最後になりましたが、この日まで御指導下さいました諸先生方、方御いっしょに下さりました諸先輩方、関係者の皆様は、心より感謝を述べさせていただきます。

ジョイントコンサート実行委員長 安藤 伸子
 藤 浪 豊

MUSIC NUMBERS

OPENING・MUSIC・・・ 踊り明かそう・・・フレドリック・ロウ

第 1 部

※ 清泉女子大学マンドリンクラブ 指揮 奈良岡節子 ※
 交響曲第四番、ト短調 K. 550. 第1楽章・・・W. A. Mozart
 東洋の印象第二組曲 …… A. Amadei

※ 法政大学工学部マンドリンクラブ 指揮 鶴宮 修 ※
 アフリカン・シンフォニー …… バン・マッコイ
 愛は奇蹟のように…… …… バリー・マニロウ
 CARNIVAL …… カルロス・サンタナ

第 2 部

※ 合同演奏 <アメリカ特集>
 指揮 奈良岡節子 指揮 鶴宮 修
 明にぬれても B. Bacharach 聖者の行進 アメリカ民謡
 金髪の子供 フェスター 星条旗よ永遠なれ J. Ph. スーザ
 California Dreamin' ジョン・ワイルド 荒野の七人 パンステイン
 マイトル・タウン S & G 夜のストレンジャー ケンフェルト
 ジェンババヤ ハンク・ウィリアムス トゥナイト・アメリカ パンステイン

第 3 部

<クラシック>

※ 歌劇「ザンパ」序曲 ルイ・エロール
 ※ ソルベグの歌 E. グリーグ
 ペールギュント第II組曲より
 ※ スペイン奇想曲 R. コルサコフ

JOINT CONCERT



1984 HOSEI KASEI

ジョイントコンサートによせて

法政大学工学部マンドリンクラブ顧問 阿部 優

今日は御多忙のところ皆様にお集まりいただき厚く御礼申し上げます。
周年より先いと云え、今年も春と共にジョイントコンサートを、ここに迎えられますことを嬉しく存じます。
おが法政大学工学部マンドリンクラブ唯一の練習者である私にとりまして、「春の恒例」であるこのコンサートも、半ば単位で組織される部員（特に幹部）には初めての経験であり、当然の結果としてパートナーも少かりです。
本年は従って「東京家政大学マンドリンクラブ」とのジョイントコンサートが、無事ここに表示する運びとなり、我々はさておき、この舞台という目標に向っての努力と、業績に対する誠実さで、皆様の心に触れられん事を期待する所存です。
では、浮世を離れてマンドリンの調べに浸られんことを……

東京家政大学マンドリンクラブ顧問 平沢 尚孝

春爛漫の今宵、法政大学工学部マンドリンクラブと東京家政大学マンドリンクラブが、ジョイントコンサートを開催される運びとなりましたこと、心よりお慶び申し上げます。
東京家政大学マンドリンクラブは、昨年よりやく20周年を迎えたところですが、日頃は、安んずらぬ楽な音色、固苦の音楽を演奏し、向上しつづけようと努力しております。
そのような好に試みられる、法政大学工学部マンドリンクラブとのジョイントコンサートは、まことに特権を得たものと思われ、すなわち、男性的力強さと女性的繊細さのジョイントによる、新たなハーモニーの創造は、両クラブにとって、大いなる機となったであらうと期待致します。
両クラブを日増しより御声援下さる皆様、今後とも、相愛の御支援、御礼をお願ひ申し上げます。

ごあいさつ

本日お忙しいなか、私達のジョイントコンサートにおいでくださいまして、誠にありがとうございます。
初めてのジョイントコンサートということで、両校の練習方法・考え方の相違に悩まされながらも、いつかは音楽を通じて一体になれることを信じ、今日まで練習に励んでまいりました。
今宵その成果を皆様を感じていただければ幸甚です。
このコンサートを開くにあたって、御協力くださいました諸先生、諸先輩、関係者の方々、そして御来場くださいました皆様、心から御礼申し上げます。

ジョイントコンサート実行委員長 杉山 哲彦
武田 美電子

第1部

HOSEI



見て下さい、今日の高級な表情、顔には5分前行動さびさびと動き、両目熱心、体中も個人線に組み出さずして大衆的な大衆大衆の顔で、な～んて、ちよっとはのびちよった！
実は……女のです。

曲目紹介

君の瞳に恋してる 編曲 田中 彰
オリジナルは60年代後半、フランク・シナトラが歌いヒットしたもので5年程前の一流のディスク・ジョッキーに受けて、ボーイズ・タウン・ギャングが再びヒットさせたものです。

黒い狼とカンパレ

「季節風」が明けたこの曲は、ボブ・ディランの方ならご存じではないでしょうか、セツない愛を伝えようとするメロディが、ギターをバックに流れます。
カンパレとは、フィンランドの楽隊でその本質を捉えた本質のもので、民族的叙事詩の中に、乙女の愛を謳ったことともあるとのことです。

We're all alone

この曲は1977年にヒットした、ボブ・ディランのアルバム「ライヴ・オン・ストリート」のタイトル・トラックで、その後の数年間は空前の空気を醸成しています。

宇宙のファンタジー

アース・ウィンド＆ファイアの77年発表のアルバム「次世代」に入っている曲で、日本で大ヒットしました。その後の数年間は空前の空気を醸成しています。

さて、法政甲隊ステージ最後のこの曲で、我等の宇宙船はあなたも乗りますか。

「第21回定期演奏会、12月1日(土) 日本橋市センターホール」

やきとり・うなぎ
お二階はお飯敷

鯉 作

中野店 (36) 3 8 8 4 番

KASEI



合宿中に夜遅くまで練習し、合同練習では手づくりのお弁当をこころそうしてくれた彼女らは本気で音楽編成・明日快活・頭脳明晰・交際後援・土農工商・三徳音楽・支障減衰・四益五人・勤報健行・心算秘蔵・竹

曲目紹介

シンフォニア 作曲 G. マンテニ
編曲 白比沙 敬道
本曲が作曲されたのは、作者がイタリアの歩兵第3旅団に配属された時で、かの「英雄の祭典」を作曲した意匠が透き通る。

第1主題は増した熱気が徐々に展開して、第2主題は第1主題の対比を生じたもので、(高)は思われないが、後半肉内に組み込まれている。構成の上には、終局までには幾度も用いているが、前半の三拍子のアンダンティーノの美しさがこれを凌駕している。

交響的前奏曲

作曲 U. ボックキアリ
U. ボックキアリは、アレクシス音楽の作曲家としては、大規模な交響曲編成を成功させたことにより、その功績は偉大なものである。
曲は、ソナタ形式の小品が変化したもので、1つの主題を中心に巧みに転調してゆく。

(再演) 第1主題が第2主題を象徴し、和音構成の巧妙さを感じながら展開してゆく。
(再演) 第1主題が第2主題を象徴し、和音構成の巧妙さを感じながら展開してゆく。

選に凝れる付箋的な旋律が、心にしみこんでくるこの曲は、後の最高傑作であると言っても過言ではなく、それだけに高度な表現能力を必要とする曲である。

「第21回定期演奏会、10月22日(水) 浅草公会堂」

第1主題が第2主題を象徴し、和音構成の巧妙さを感じながら展開してゆく。

十七郎御家守

樹里

◎定期、スピード、
ボートレーク
◎フビー

カメラ・顕微鏡
峰光堂

TAVERNA レストラン
12h
スバゲッティ
グラタン
ピザ
☎090-8941
北区上十条2-7-14

PROGRAM

第 I 部 〈単独ステージ〉

法政大学工学部マンドリンクラブ

- ▶ Can't take my eyes off you B. T. GANG
- ▶ 黒い猫とカンテレ K. UEYAMA
- ▶ We're all alone Boz Scaggs
- ▶ FANTASY E. W. & F.

東京家政大学マンドリンクラブ

- ▶ シンフォニア G. Manente
- ▶ 交響的前奏曲 U. Bottacchiari

第 II 部 〈合同ステージ〉 ポピュラー

チキチキパン

夏の日の恋

In the Mood

Moon light serenade

マンボ ジャンボ

ティコ ティコ

マッシュケナダ

第 III 部 〈合同ステージ〉 クラシック

- ▶ 歌劇「セビリアの理髪師」原曲 G. Rossini
 - ▶ 「弦楽とオルガンのためのアダージョ」ト短調 T. Albinoni
 - ▶ 歌劇「いよいよながらの王様」より E. Chabrier
- ポーランドの祭り

- 2部 曲目紹介 -

Chitty Chitty Bang Bang 作曲 Sherman 訳 赤城洋
& K. Sherman

1965年のミュージカル映画「チチ・バン・バン」のテーマソングです。ボーンズ・ドナルドソンと1967年録音された、ジャズ・バンド「チチ・バン・バン」が、水たまりを走り、海の上を走り、そして空まで飛ぶ物語です。おなじみの曲ですが、あなたもぜひ聴いてみてください。さあ、おどろきの世界に飛び込んで、第2部の冒険を始めてください!

Summer Place 作曲 2/27/41-42 訳 藤本 雅一

1969年の映画「夏の場所」の主題歌です。この曲は、当時の流行音楽界で、最も成功を収めた楽曲の一つです。原曲は、ジャズ・バンド「ジャズ・ワンダーランド」の楽曲です。今回は、この曲を、マンドリン・クラブのメンバーが演奏します。

In the Mood 作曲 T. Garland 訳 五羽 芳洋

ジャズ・バンドの曲の中で最も有名な曲の一つです。ポピュラーな曲ですが、クラシックの曲としても演奏されています。ぜひ、この曲を聴いてください!

学生さん、コンパ大歓迎。御予約は、ご相談に応じます。

新宿 西口

なんじゃもんじゃ

343-1010

Moon light serenade 作曲 Glenn Miller 訳 岡藤 天郎

飛鳥と自然と愛の手を取り合おう。ムーン・ライト・セレナーデは、ロマンチックな曲です。

マンボ・ジャンボ 作曲 Pops Ford 訳 宮田 俊一郎

マンボ・ジャンボは、全世界に知られた有名な曲です。原曲は、ジャズ・バンド「マンボ・ジャンボ」の楽曲です。今回は、この曲を、マンドリン・クラブのメンバーが演奏します。

ティコ ティコ 作曲 2/27/41-42 訳 藤本 雅一

この曲は「ティコ・ティコ」として知られています。原曲は、ジャズ・バンド「ジャズ・ワンダーランド」の楽曲です。今回は、この曲を、マンドリン・クラブのメンバーが演奏します。

マッシュケナダ 作曲 2/27/41-42 訳 藤本 雅一

ブラジル音楽の代表曲です。原曲は、ジャズ・バンド「ジャズ・ワンダーランド」の楽曲です。今回は、この曲を、マンドリン・クラブのメンバーが演奏します。

春の管楽器フェア

5/19(土)~6/末

豊富な在庫の中から、あなただけのものを...

1. 楽器の選び方

2. 楽器のメンテナンス

3. 楽器の修理

4. 楽器の展示

5. 楽器の試奏

6. 楽器の購入

ヤマハ選谷店

〒150 東京都渋谷区東1-1-1

TEL 03-3498-1111

第III部 曲目紹介

歌劇「セビリアの理髪師」原曲 作曲 R. ロッシーニ 編曲 宮田 俊一郎

ロッシーニという人は、ひとつの作曲家にとりかかると、まるで楽隊にでも入りかかっているかのように熱中する人でしたが、反対にすぐ退場なところもあったようです。たとえば、新しい歌劇を書いたが初演までには作曲がまにあわないので以前書いた曲を使ってしまう、ということもたびたびあったそうです。じつは、この「セビリアの理髪師」原曲もそうだったのです。全曲は喜劇で仕上げたのですが、作曲がまにあわず以前書いた「セビリアの理髪師」の原曲をそのまま使った。しかもこの原曲はそれまでに二度も上演されている……ですがロッシーニという感じですね。

しかし、素晴らしい歌劇です。音楽的なアレンジメントなど、曲のすみずみまでロッシーニの音楽の特色がよく現れた曲です。

「弦楽とオルガンのためのアダージョ」ト短調 作曲 T. アルビノーニ 編曲 田中 隆

この曲は、オーヴァー・ウェルズ監督の演出である映画「新列」のテーマ音楽にも使われ、曲を聞けば「あ、なんだこの曲か」という人が多いと思います。

ゆっくりとしたテンポで演奏して、しかも短調であるため、第一印象は「暗い」と感じるかもしれませんが、メロディーは静かな美しさを保った本筋にふさわしい曲です。1stマンドリンの奏でるソロをじっくりとお聞き下さい。

歌劇「いよいよながらの王様」より 作曲 E. シャブリエ 編曲 田中 隆

シャブリエというと、二重奏の協奏曲《スペイン》を思い浮かべるのではないのでしょうか。この《ポーランドの祭り》を知っている人は少ないと思うので、簡単に紹介しておきます。

この曲は、ポーランドの作曲家であったため、第一印象は「暗い」と感じるかもしれませんが、メロディーは静かな美しさを保った本筋にふさわしい曲です。1stマンドリンの奏でるソロをじっくりとお聞き下さい。

この曲は、曲名の通り「祭りだ」という雰囲気を持った楽しい曲です。中でもティンパニーがとってもカッコイイですよ。

高嶺紳士服
国鉄物資部指定店

山一洋服店

丸玉線大宮大和町1-1261
TEL 0486 (82) 1580

金工 手打ちどん商店

和乃屋

丸玉線大宮大和町1-1261
TEL 0486 (82) 1580

JOINT CONCERT

HOSEI tec & SEISEN



ごあいさつ

法政大学工学部マンドリンクラブ顧問 阿部 優

皆様、本日は御来場頂きありがとうございます。
今春もここに再び、本クラブと清泉女子大学マンドリンクラブとのジョイントコンサートを開催出来たことを皆様と共に喜ぶさせていただきます。
両クラブの合同活動の歴史もかなり古く、その間、若干の空白もありますが、春のジョイントコンサートを往として現在に至っているのです。
とはいえ、実質的には両クラブ間の練習は春休みに限られ、技能の研鑽というよりは、目的に向かって、「心を一つにできるか」に尽きるような気がします。さて、本日の結果はどうでしょう・・・
先づは、マンドリンの演奏とともに、彼らの活動の出来場にも耳目を向けられ、お楽しみ下さることをお願い申し上げます。

清泉女子大学マンドリンクラブ顧問 春日井 明

期待しながら、心配しながら、思い出しひたひたながら、あるいは仕方なしに、皆さんに来て頂きました。ありがとうございます。
彼等、彼女等は精進こめて半年間、この日に向かって遅れんばかりの情熱を煮え沸かせてきました。個々の力量、個と個の調和。集団と集団の調和。多分誇るべき成果を見せてくれるものと思います。清泉のマンドリンクラブにとってはその活動を充実させて行くのに、なくてはならないものとなったジョイントコンサート。
音楽を通じて、奏者の一人一人がその既知の輪を広げ、調和の領域を広げたいと思います。成功を祈ります。そして御来臨皆様のご支援を心からお願ひ申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ部長 千野 友久
清泉女子大学マンドリンクラブ部長 金川 昌子

本日はお忙しいなかを、私達のジョイントコンサートにおいていただきまして、誠にありがとうございます。
違った個性を持ちながら、年々部員数が増えていくという点では同じ境遇にいる私達が、一年のブランクを乗り越えて再び一緒にコンサートを開くことができました。一年とはメンバーもかなり変わり、ある時は互いの感覚の違いに戸惑いながら、そしてまた互いの良さを認め、吸収しながら、ジョイントでなければできない音楽を求めて頑張っていました。昨年の4月にジョイントの話し合いがスタートし、12月に練習をはじめて半年が過ぎました。その歳月の積みと、部員一人一人のこのコンサートに賭ける様な思いが皆様へ伝わり、何かを感じていただければ幸いです。
なお、最後になりましたが、本日の演奏会を開催するにあたってお世話になりました諸先生方、諸先輩方、並びに関係者の皆様へ心より感謝の言葉を述べさせていただきます。

2

PROGRAM

I		
The Montagues and The Capulets — Romeo and Juliet No.2 — モンタギュー家とキャプリット家 → 舞踏組曲「ロメオとジュリエット」より		S. Prokofieff
Contemplazione Intermezzo 黙想 ПЫСКОКАР УБЕПТЮПА ロシア序曲		G. Manente
II		
One — A Chorus Line — Scarborough Fair This Night	Feels So Good Barbarian Hello Good-bye	
III		
Jupiter, the Bringer of Jollity — The Planets — 木星—組曲「惑星」より		G. Holst
Elsa's Procession to the Cathedral — Loghegrin — エルザの大聖堂への入場 — 歌劇「ローエングリン」より		R. Wagner
Hungarian Rhapsody No. 2 ハンガリー狂詩曲 第2番		F. Liszt

3

曲目解説

I部

舞踏組曲「ロメオとジュリエット」より Serge Prokofieff 作曲
"モンタギュー家とキャプリット家" 千野 友久 編曲

シェイクスピアの悲劇「ロメオとジュリエット」は、その情緒的内容の深さが極めて音楽的であるために、今まで多くの作曲家たちによって、さまざまな形の作品化がなされた。交響曲ではベルリオーズの劇的交響曲、チャイコフスキーの幻想序曲などがあるが、これらの諸作品に対して、プロコフィエフのこのバレエ曲は、その情緒の深さ、個性の鋭さにおいて、また、規模の大きさにおいても遙かに優位に立っている。第1章・第4場（舞台はキャプリット家の舞踏会場）に使われるこの「モンタギュー家とキャプリット家」は、騎士と貴婦人を表す威圧的な音楽になっている。和声伴奏の上に主題が常にユニゾンで奏される音楽で、騎士や貴婦人たちが踊った後、ロー・コ・ビウ・トランワイロでジュリエットが登場し、パリスと踊る。プロコフィエフ特有の「音の語り」が悲劇の結末を暗示している。

黙想

Giuseppe Manente 作曲

マネンテは、1867年、イタリアのサンニオに生まれた。王立陸軍音楽学校を卒業後、軍隊隊長を兼任し、「幕僚の黙想」、序曲「今と昔」、序曲「祖国なし」、「降誕祭の夜」などの吹奏楽曲を作曲した。また、マンドリンオーケストラのために、「メリアの半鐘に立ちて」、「マンドリン演奏」など数多くの作品を残した。

本曲は、イカ・ブレットロ誌に発表された晩年の作品である。曲は、Larghetto で静かに始まる。次第に高まっていき、それが頂点に達した後、緩く Andante Cantabile で、ギターのような美しい旋律によって、再び主題が軽やかに流れ出す。途中、主題の再現場において高潮し、やがて消えゆくようにして曲は閉じられる。終結、やすらぎに満ちた旋律が流れる美しい曲である。

原、曲はマンドリン四重奏であるが、本日はチェロ、ベースを加えた編成で演奏する。

ロシア序曲

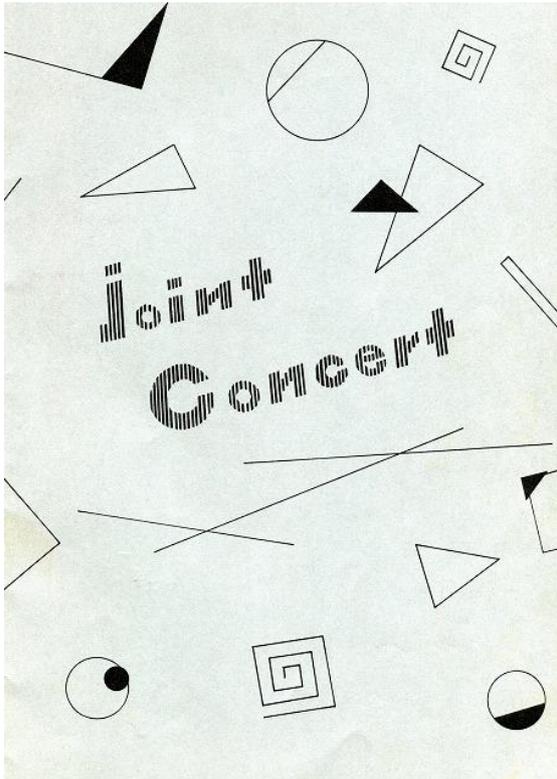
H. AYZAOKNH 作曲

峰山 栄治 編曲

本曲は、1945年にバラライカオーケストラのために書かれた作品を、1979年に峰山氏がマンドリンオーケストラ用に編曲したものである。ロシアの民族楽器であるバラライカは、マンドリンと同じくリュートの流れを組み合わせた楽器であるため、この曲はマンドリンによくなじみ、マンドリンオーケストラの特性をひき出している。

曲は、Vivace に終結し、速いテンポにおける楽器のかけ合い、パートの分刻、主題の繰り返しの要素などが効果的に使われている。第1拍子の軽快なテンポで明るく始まり、続く第2拍子は、ロシア民族音楽特有のリズムから短調の流れるような旋律へと移る。やがて曲が盛り上がり、重厚な和音で上昇していった瞬間、再び冒頭の主題に戻る。写では、ロシアの大自然を思わせるゆったりとした旋律が奏でられる。そこからマンドラがギターのようなリズムののって現れ、やがて第2主題が再現される。第3拍子から第4拍子を経て、冒頭の旋律が短調となって現れる。その主題が何度も繰り返され、最高潮に達するや、一気にギターソロが流れ、フルートソロにより主題が変奏される。真意を帯びた中にも静かな情熱を感じさせる終結部である。

4



PROGRAM

第I部

歌劇「フィガロの結婚」序曲	W.A.モーツァルト
交響曲第25番ト短調 第1楽章	W.A.モーツァルト
小組曲「降誕祭の夜」	A.アマティ

第II部

Never on Sunday	Volare
追憶	ひき潮
いい日旅立ち	Morning Island

第III部

くるみ割り人形より「行進曲」	P.J.チャイコフスキー
管弦楽組曲第3番の第2曲 ～G線上のアリア～	J.S.J.バッハ
富士旅情	鈴木 勝一

プログラム紹介

歌劇「フィガロの結婚」

作曲 W.A.モーツァルト

ヤッホー 遂に出ました「フィガロの結婚」！モルマンシエの戯曲第2弾が二年前のジョイントで、ロッシェの「セビリアの理髪師」を演奏したのを憶えているかい。このフィガロとは、セビリアの町に住んでいる庶民のことなんだぜ。さうはみんなでセビリアに行って髪をカットして来たんだ。さまっているだろう。

序曲は1786年4月29日に出来たんだけど、これを聞いて天領の誕生日を記念して作ったんだな、なんて思うやつかいなら勘違いするなよ。まだ天皇は生まれてなかったんだぜ。同年5月1日、ウィーンでの初演は評判がイマイチだったんだった。

まあとにかく、神童モーツァルト作曲にふさわしく我々神童達が演奏するから、よく耳の穴をこぼして聞いてくれな。《文中、お見苦しい点が多数ございましたことをお詫び申し上げます》

交響曲第25番ト短調第1楽章

作曲 W.A.モーツァルト
編曲 斎藤 隆之

1773年、17歳のモーツァルトが初めて版譜で書いた交響曲である。先輩ヨゼフ・ハイドンが開拓した巧曲で複雑なソナタ形式を持ったこの曲からは、彼がまさに神童であったことがうかがわれる。また、そのドラマティックで急速な流れと誇々たる情熱は、25年の後にベートーベンが解き放った嵐に蘇りされるロマン派の先駆的作品であると明らかにしている。

映画「アマテウス」で印象的に使われているこの曲は、モーツァルトの飄々そうな生活の餘の部分を示している。

1791年、天才モーツァルトは病弱から凡人サレリに毒殺された。(真偽のほどは定かでない)

小組曲「降誕祭の夜」

作曲 A.アマティ

作曲家アマティは、1806年12月9日、イタリアのコレートに生まれ、1806年6月16日、トリノに逝っている。彼の作品は多岐にわたる。マンツィン合奏曲創作は、1807年頃から始まっているが、従来のマンツィン曲にはなかった精緻な構成、高揚した宗教的感情と、美しい大自然の尊い印象を、従一流の洗練的手法で描いている。

本曲は、アマティの没後、遺作として発表されたもので後の作品番号（op. 484）のついた最後の作品である。キリスト生誕を題材とした協奏曲で、次の三つの楽章から成っている。

第1楽章—精進の境 (Pifferata)
第2楽章—夜想曲「瞑にて」(Al Presopio-Notturmo)
第3楽章—アレグロ (Allegria)

プログラム紹介

くるみ割り人形より「行進曲」

作曲 P.J.チャイコフスキー
編曲 聖田俊一朗

「くるみ割り人形」は、チャイコフスキーの3つのバレエ音楽「白鳥の湖」「眠れる森の美女」「くるみ割り人形」の中の最終作である。ドイツのロマン的な作家E・T・A・ホフマンの幻想的な童話「くるみ割り人形とつかぬの王様」にもとづくもので、最もすぐれたバレエ音楽とあててよい。幻想的で繊細な音楽が聴衆を魅了し、意心に連れ帰らせるのである。

ドイツのある町に住む少女クララが、クリスマスの贈り物として、くるみ割り人形をもらう。その夜、クララが目を見ますと、はつか鼠の群れが攻めてきて、おもちゃの人形たちと競争の真境中。そこでクララはくるみ割り人形を助けて鼠の王様をやっつける。すると、くるみ割り人形は真実な王子の姿に変わって、クララをお菓子の国へと案内する。

行進曲は、子供たちがクリスマス・ツリーを飾った部屋に入ってくるころを表現したものである。

管弦楽組曲第3番の第2曲「アリア」

作曲 J.S.J.バッハ

バッハがタイプテヒで市の音楽監督として活躍していた時に作られたもので、正式には管弦楽組曲第3番の第2曲「アリア」という名称がついている。後に、ドイツのヴァイオリンの名手ヴィルヘルムが「独奏ヴァイオリン用に編曲し、「G線上のアリア」として、親しまれるようになった。曲の題目が示すように、4本の弦のうちいちばん低いG線だけでひくように編曲されているが、その神々しいばかりに清涼麗やかな旋律の美しさは格別である。

なお、バッハは全部で4曲の「管弦楽組曲」を書いているが、この4曲の中では、フルート独奏のはいった「第2巻」と、木目お送りする「アリア」を含む「第3巻」が、とくにすぐれた作品である。

富士旅情

作曲 鈴木 勝一

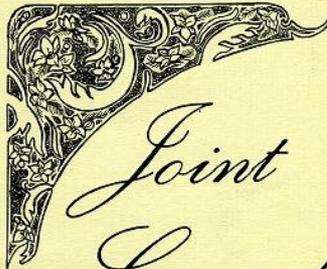
広重の絵と芭蕉の句によせる幻型曲。
雪は美しく明れ、奥の山富士は白雪の縞帽子を冠ぶり、紫の茶寮をひき、駿河の海を見おろし、立つ。

濃木と草原の鯉野を馬の背に広重が行く。芭蕉が行く、馬ひく馬子の馬子歌に微情溢れ、芭蕉は句を案じ広重由緒を開く。

この時天女は眠らぬ、薄雲のすだれをおろす。霧茫茫、音もなく時雨が行く。

静けさを綴り、鼓夜の馬の一群が近づくと、葉しげにいななき、跳躍奔走、大地を踏み鳴らし、馳せぬぐる。

やがて馬の群れは遠ざかり、旅人は馬の背にもどる。爽やかな鈴の音、馬子の馬子歌、空は広重の雄背、天女はすだれをかか離れにほほえむ。



Joint Concert

1990.5.17(木)
Open 6:00 Start 6:30
於 武蔵野市民文化会館小ホール

法政大学工学部マンドリンクラブ
実践女子大学マンドリンクラブ

Program

I部 法政大学工学部ステージ

エンターティナー Scott. Joplin 作曲
下山浩平 編曲

会議は踊る W.R.Heymann 作曲
森 敏明 編曲

ベルシャの市場にて A.W.Ketelbey 作曲
入谷志保 編曲

カバレリヤ・ルスチカーナ P.Mascagni 作曲
坂口淳子 編曲

メリークリスマス・ミスターローレンス 坂本龍一 作曲
松本秀明 編曲

~~バグダッドの太宰 Boieldieu, F.H 作曲~~

II部 実践女子大学ステージ

イスパニアカーニ Marquina 作曲
赤城 淳 編曲

愛の挨拶 E. Elger 作曲
赤城 淳 編曲

マンドリンのための組曲 W. Althoff 作曲

III部 合同ステージ

三つのスペイン風舞曲 P. Lacomme 作曲
A. Marlacchi 編曲

ハンガリー狂詩曲 Liszt 作曲
入谷志保 編曲

Stage Members

法政大学	実践女子大学
Conductor 坂口淳子 (機械3)	Conductor 片山明子 (食食4)
Concert Mistress 入谷志保 (土木3)	Concert Mistress 岡本一枝 (総服4)
1st Mandolin T.入谷志保 (土木3) 武藤佳子 (経工4) 福田尚紀 (機械3)	1st Mandolin T.岡本一枝 (総服4) 伊丹久仁江 (国文2)
2nd Mandolin T.藤本孝子 (建築3) 前川達也 (電子4) 宮本龍司 (電子4) 坂口淳子 (機械3) 太田錦光 (電子2) 小川裕子 (経工2)	2nd Mandolin T.岸 直美 (総服2) 林 睦子 (総服2)
Mandola-Tenor T.中村一彦 (電子3) 松田圭介 (電子4) 榎岸英樹 (計測2)	Mandola-Tenor T.渡部ひろみ (食食4) 丸岡由佳 (総服2)
Mandolon-Cello T.下山浩平 (電子3) 森 敏明 (電子3) 人見孝一 (機械2)	Guitar T.田中智子 (食食4) 片山明子 (食食4) 鶴重紅美子 (食管2) 根 信子 (英文2)
Guitar T.本多完之 (電子3) 松本秀明 (電子2) 茂木 学 (計測2)	Contra-Bass T.河野明子 (英文4)
Contra-Bass T.林 淳一 (電子2)	
Percussion 竹村明子 (総助)	

司会 萩原明子
(実践女子大学放送研究会)

曲目解説

バグダッドの太宰 次回予告 Boieldieu, F.H作曲

ボイエデュエーは、19世紀のはじめ、フランスで活躍した喜劇作曲家で、豊かなメロディと軽快さをもった喜劇歌を数多くものにし、当時かなり人気を集めていた。
喜劇「バグダッドの太宰」は彼の代表作で、今日我々が知っているのは改作されたもの。この序曲は、アヴェヴェア・オーケストラによりしばしばとりあげられ、ひろく知られている。

マンドリンのための組曲 W. Althoff作曲

この組曲はアラビア風、中国風、スラブ風、の3楽章から構成されている。それぞれの国の情景が目に浮かぶような曲である。

- 1楽章「アラビア風」……マンドリンの美しい音色が他のパートが別なリズムの上を流れる。砂漠を渡る風を思わせる曲である。
- 2楽章「中国風」……歯切れ良いメロディーが特徴の短い曲である。
- 3楽章「スラブ風」……重なり合う拍子の変化に富んだ旋律の後に緩やかで美しい旋律が続く。最後は再び冒頭に反り軽快に終る。

三つのスペイン風舞曲 P. Lacomme 作曲 A. Marlacchi 編曲

作曲家ポール・ラコムはフランスの作曲家で、オペレッタの作曲家として知られる。この曲はマンドリン合奏用に編曲されて有名になった。

- 1楽章「ポレロ」……重なり合う拍子に徐々に盛り上がる部分と、ポレロのリズムにのった軽快な部分とが交互に見られる。
- 2楽章「アンダルセ」……マンドリンからギターまでがユニゾンで冒頭を任せ、一転して低音の刻みに上に優雅な響きが流れる。
- 3楽章「フォルワコ」……スペインのバスク地方の民謡で付点音の多用が特徴である。激しい中にも悲哀が込められているようだ。

ハンガリー狂詩曲 Liszt 作曲 入谷志保編曲

ハンガリー狂詩曲第2番はハンガリー民族音楽の特徴が最も豊かで、たんにハンガリー狂詩曲のみならずリストの全作中で最も人々に好まれ愛されているといっても過言ではないであろう。
本日演奏するハンガリー狂詩曲は、リストと指揮を同じくする弟子ドップラーとで、ピアノ独奏曲を管弦楽用に編曲したものである。

Joint Concert



東京家政大学
Mandolin Club
法政大学工学部
Mandolin Club

1994. 5. 12. Thu.

PROGRAM

FIRST STAGE (法政大学工学部)

マンドリニストの群れ C. A. Bracco
海の組曲～*Suite Marinara*～ A. Amadei

SECOND STAGE (東京家政大学)

マンドリナータ E. Carosio
星の庭 小林 由直
Fantastic March 尾園 勝善

THIRD STAGE (合同)

Overture in D-Maj. K. Wolk
序曲二短調 S. Falbo
GRAND CHACONNE 藤掛 廣幸

曲目紹介

海の組曲～*Suite Marinara*～

今世紀初頭に活躍したイタリアのマンダリン音楽の代表的作曲家A. Amadeiによるこの組曲は、旋律の美しさはもとより、マンダリン音楽の個性を發揮した名曲の一つといえる。4つの楽章からなり、各楽章はギリシア神話に登場する神々に標題をとり、尚のち移々たる雨を掻き出している。

第一楽章 *La Sereata delle Najadi*
静寂な夜の海、従やかな波にのせて水の精ナイアードは軽やかに駆け回っています。

第二楽章 *La Danza della Ondine*
海辺の岩々に寄せてはくだける波、波の上に戯れる水の精オンディーヌの踊りは魅惑的で夢的に満ちています。

第三楽章 *Il Canto delle Sirene*
シシリー島に住んで、その美しい声で人々を惑わせる半人半魚の女神シレーネは、もの言わぬ夜の海に向かって歌っています。人々は、迫り来る海の危険をも知らずに安らかに眠っているようです。

第四楽章 *La Fuga del Tritoni*
突如として静寂を破る密音が起ります。半人半魚の男神、トリトーンは、貝笛を吹き鳴らしながら波を駆けめまわります。

Fantastic March
ゆつたりとしたメロディーに始まり、アレグロに入ると、余パートが力強いリズムを舞む。マーチの始まりである。ほかに満ちたメロディーが、ドラムやチェロからマンダリンへ移行する。

中盤、ドラムやマンダリンのメロディーが響く。

再び、ほかに満ちたメロディーが繰り返され、元気に曲は終わる。

私たち、マンダリンクラブでは、昨年30周年を迎え、新たな一歩を踏み出すと、この曲を選曲いたしました。



STAGE MEMBER 法政大学工学部

<i>Conductor</i> 末武 照彦 (機械4)	<i>Concert Master</i> 守田 和 弘 (計測3)
<i>Sub Conductor</i> 吉田 和 義 (機械2)	
<i>1st Mandolin</i> T. 守田 和 弘 (計測3) 柴山 幸 康 (電子4) 永 沢 智 路 (計測4) 保 科 法 子 (土木2) 吉田 和 義 (機械2)	<i>Mando Cello</i> T. 安 藤 滋 (計測3)
<i>2nd Mandolin</i> T. 大 塚 洋 (建築3) 末武 照彦 (機械4) 矢 島 雄 一 (機械4) 蛭 田 崇 介 (物質2)	<i>Guitar</i> T. 鳥 澤 航 也 (経営2) 会 見 直 子 (経営4) 香 野 健 一 (院生1) 園 部 聡 司 (賛 助)
<i>Mandola Tenor</i> T. 加 藤 亮 (計測3) 浅 見 竹 彦 (機械4) 寺 田 尚 弘 (電情2)	<i>Contra Bass</i> T. 清 水 口 誠 (機械2) 足 立 文 孝 (機械4)



序曲ニ短調

作曲家 S. Falbo は、19世紀末シチリア島に生まれ、その作品に見られる近代的手法は当時のプレクトラム音楽会に大きな影響を与えました。今回演奏するこの曲は、1911年「イル・プレット」誌主催の第4回作曲コンクールにおいて第1位に入選し、1921年ベルガモで開かれた競演会の課題曲に選ばれています。曲は不安な和音で始まり、不気味な導入部の後、Allegro の主題へと移ります。続いて同じようなメロディーを繰り返し、経過部を経て初めの主題を再現します。Coda は、Piu mosso で、不協和音を用いた和音の進行と共にフィナーレを飾ります。

GRAND CHACONE

作曲家藤掛廣幸氏は、愛知県立芸術大学及び大学院を卒業後、第43回音楽コンクール2位、笠川賞では「シャコンヌ」で1位を受賞、ヌブリュッセルで行なわれたエリザベート国際音楽コンクール管弦楽部門ではグランプリを受賞、「バストラルファンタジー」で作曲コンクール2位を受賞するなど華々しい経歴をされています。本曲は、1981年に神戸大学の依頼によって作られ初演されました。作曲者は、「シャコンヌ」とはバロック音楽形式の一つで、中世の教会調旋律法的なハーモニーによる8小節のテーマをもとに3拍子がとられ一つのテーマが次々と変奏されていき、全体が一つの曲を形作る変奏曲形式という方法によって作曲されている。このテーマの和声の進行は作曲家として、とても気に入っているものなのでスムーズに仕事を進めることができた。」と述べています。

STAGE MEMBER
東京家政大学

- | | | | |
|----------------------|----------------|-------------------------|-----------------|
| <i>Conductor</i> | 野口美嘉 (学4年) | <i>Concert Mistress</i> | 姫野亜紀子 (学4年) |
| <i>Sub Conductor</i> | 小宅絵理子 (学3年) | | 金内佳子 (学3年) |
| <i>Mandolin</i> | T. 姫野亜紀子 (学4年) | <i>Guitar</i> | T. 長谷川志津子 (学4年) |
| | T. 金内佳子 (学3年) | | 永島さおり (学4年) |
| | 小宅絵理子 (学3年) | | 菊池直恵 (学2年) |
| | 神田美香 (学2年) | | 吉田俊子 (学2年) |
| | 三上智子 (学2年) | | |
| | 永沢智路 (賛助) | | |
| <i>Mandola Tenor</i> | T. 野口美嘉 (学4年) | <i>Contra Bass</i> | T. 梁瀬美和子 (学4年) |
| | 木村一美 (学2年) | | 長田しの (学2年) |
| | 高橋香織 (学2年) | | |
| <i>Mando Cello</i> | T. 徳江明子 (学4年) | | |
| | 松浦俊子 (学2年) | | |
- 木暮 奈保美 (賛助)

OCHAI MANDOLIN 落合手工マンドリン

ひとつひとつの音に生命が宿ります。

材料 正統な 桐 楓 桜 楓

完成 切欠生 半割 口割生

伊藤 切欠生 半割 口割生

伊藤 切欠生 半割 口割生

Ikebukuro Gakki

〒171 東京都豊島区西池袋 3-31-3
TEL:03-3566-6558 FAX:03-3566-9995

証明写真
現像・プリント
写真材料
編集・印刷

エリオ写真出版
Tel 5248-0734

Joint Concert

Housei Univ. Tech.
Mandolin Club
&
Shirayuri Women's College
Mandolin Club

1995. 5.13 (土)
open 5:30p.m. start 6:00p.m.
於：武蔵野市民文化会館 小ホール

御挨拶

若頭に臨演る季節となりました。本日はお忙しい中、法政大学工学部マンドリンクラブ・白百合女子大学マンドリンクラブのジョイントコンサートに御来場頂きまして、誠に有り難うございます。

このジョイントコンサートが実現致しましてから今日に至るまで、私達は共に準備をかさねてきました。クラブ運営に関する考え方など、異なることの多い両校ではございましたが、千袋崇岩井での合同合宿、その後の合同練習を通じ理解と友情を深めて参りました。練習も必ずしも充分とは言えず、技術的に未熟な点も多しとは存じますが、マンドリンを演奏することへの情熱により互いに励まし合い努力して、今回のコンサートを迎えました。

部員一同、御来場の全ての皆様へ何かに響くものをお届けすることができますような演奏をしたいと心から願っております。どうぞ、ごゆっくりと御鑑賞下さい。

最後になりましたが、コンサート開催にあたりまして、温かい御指導、御尽力くださいました先生方をはじめ先輩関係者の皆様へ、厚く御礼申し上げます。今後とも、御指導、御鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ
白百合女子大学マンドリンクラブ

曲目解説

魔女の谷 Menichetti 作曲
同曲は、レオ音楽で、聖歌に呪われた王子王女の救済な革命が描かれている。本曲は、ギタールとマンドラによる狂歌で静寂とした谷の描写で始まり、気品のある主題を奏でる。続いて華麗な小妖精たちが楽しく踊り狂っている場面へと展開し、そして魔女の死による葬送行進曲を経て、平和に満ちたマエストロから勝利を告げるラッパの音によって幕を閉じる。

Myrthalia 一序曲 M.Nacchi 作曲
マチョッキは、イタリアで生まれ、フランスで長く活躍した。マンドリン・ギターの名作曲家として世に知られている。「ミリタリア」とは、「ムールートの艶めかしい花咲く国」という意味で、旋律が楽しいロマンチックで珍しい曲です。

田園風景 真時と夜の祭り 鈴木 静一 作曲
農村の祭りは秋の収穫が盛んでから行われることが多い。

— 深まりゆく秋の田園の夕暮れ
子どもたちが歌声をあげ
織守の森へ駆け出て行く —

— 一日が暮れるとひとときを賑わう森の社
お神楽、見世物、そしてさまざまの夜店—
素朴な祭りの情熱の確かさ—

音楽 スターツ 音楽出版 印刷 印刷 スターツ 印刷

株式会社 **スターツ** リスト

代表取締役	代表取締役

〒180 東京都武蔵野市吉祥寺南町1-10-1 オフィスビル302
TEL.0422-43-4100 FAX.0422-43-4175

曲目解説

Sulla Piana della Melia Giuseppe Macente 作曲
メリアの平原に立ちて 中野 二郎 編曲
本曲「Sulla Piana della Melia」は、1909年「Il Piottro」誌主催の第2回作曲コンクールに於いて、第2位に入賞した曲である。

本誌の1910年7、8月号に連載された其時は、単に一序曲とあり、その後改めて再録出版の時、作者の了解を得て「Sulla Piana della Melia」と名付けられたもようである。作者マチェンテは其後、大編曲の作曲家に転じてフィレンツェのラビニから出版した。これをもとにマンドリンオーケストラに書き改めたものは、速度・表情記号の細かい表示、和音の微細な変化があり、リズムカルで大変面白く、190小節から成り立っている。

この曲は、力強い作風の中にもlat Mandolinのピチカートといったような数多の精巧を用いており、まさにマンドリン音楽上至宝作品といえる。

尚、「メリアの平原に立ちて」は、7世紀ギリシャのイオニアにあった古代都市が、他の都市と戦って破れ、滅亡の運命をたどって行くところを描いているのである。

夜明けの讃歌

夜明け……さわやかな朝の光のイメージの中に、誰もが願っているはずの「平和への祈りの気持ち」を込めて作曲しました。世界で、唯一の被爆国である日本の広島と長崎、その尊い貴重な体験を通じて生まれる「平和への思い」を作品を通じて全世界に訴えていかなければ……常々、それが作曲家としての使命であるように感じていた僕は、この曲が生命を得て一人歩きをし、より多くの人々の心に平和の輪をつくりあげていくために役立つことを願って止みません。(作者 記)

PROGRAM	
I部 法政大学工学部ステージ	
魔女の谷	Menichetti 作曲
「バグダットの大守」序曲	F.A.Boiellini 作曲 宮田 俊一郎 編曲
II部 白百合女子大学ステージ	
「Myrthalia」序曲	M.Maclocchi 作曲
Spilen (憂愁)	A.Amadei 作曲
田園風景 朝と夜のぼり	鈴木 静一 作曲
III部 合同ステージ	
「Renata」序曲	H.Lavitorano 作曲 宮田 俊一郎 編曲
Sulla Piana della Melia	G.Menente 作曲 中野 二郎 編曲
夜明けの讃歌	藤掛 廣幸 作曲

STAGE MEMBER	
■法政大学工学部	
Conductor	吉田 和義 (機械 3)
Sub Conductor	青木健一郎 (95F.2)
Concert Mistress	篠科 法子 (土木 3)
1st Mandolin	T. 篠科 法子 (土木 3) 大塚 圭 (建築 4) 須永 隆則 (95F.2) 水沢 智路 (賛 助)
2nd Mandolin	T. 梶田 渡介 (機械 3) 守田 和弘 (建築 4) 吉田 和義 (機械 3)
Mandola Tenor	T. 寺田 尚弘 (電機 3) 加藤 亮 (建築 4) 陸等 将司 (95F.2)
Mando Cello	T. 片桐 英樹 (土木 2) 安藤 滋 (建築 4)
Guitar	T. 鳥塚 航也 (経営 3) 宮谷 和貴 (土木 2) 吾郷 健一 (院生 2)
Contra Bass	T. 清水口 誠 (機械 3) 青木健一郎 (95F.2)
お知らせ	
法政大学工学部マンドリンクラブ 第3回定期演奏会 12月上旬 いずみホール	
白百合女子大学マンドリンクラブ 第4回定期演奏会 1995.11.15 (水) 聴場エミナース	
■白百合女子大学	
Conductor	白須賀由緒子 (国文 4)
Concert Mistress	高橋美穂子 (国文 4)
1st Mandolin	T. 高橋美穂子 (国文 4) 鶴見麻理子 (仏文 4) 中山 美和 (国文 2) 菅田 美月 (O G) 森 弓利子 (O G) 小林みちる (O G)
2nd Mandolin	T. 藤丸 穂子 (仏文 4) 田本 倉 (英文 4) 武田裕香子 (国文 2) 角巻三穂子 (国文 2) 前田 真穂 (仏文 2) 諸藤 裕子 (O G) 渡部 レナ (O G)
Mandola Tenor	T. 早川奈津江 (英文 4) 藤部知加子 (国文 4) 田中 敦子 (賛 助) 大塚 真希 (賛 助)
Mando Cello	T. 岡澤裕美子 (国文 4) 白須賀由緒子 (国文 4) 谷口由英子 (O G) 神野 香織 (賛 助)
Guitar	T. 平野 智子 (仏文 4) 中山 麗英 (O G) 高田ゆかり (賛 助) 松村奈津子 (賛 助) 渡辺 桂子 (賛 助) 渡利よう子 (賛 助)
Contra Bass	T. 末松 晴子 (国文 4) 宮下明日香 (O G)
Pulut.	村山 英和 (賛 助)
Percussion	
Clarinet	

Joint Concert '96

Date 1996.5.13 [Mon.]
Open 17:30
Start 18:00

セッション杉並

駒澤大学ギター・マンドリン倶楽部
法政大学工学部マンドリンクラブ

曲紹介

オアシスにて

Nell'Oasi—Intermezzo Arabo E・Marii

本曲は、1921年に開催されたイタ・フレットロ誌主催のコンクールで2位に入賞した名作あるマンドリン・オリジナル曲である。

本曲は、まずマンドリン系のムニオンによる重々しいメロディーが広大な印象を印象づける。そして後半の一定したリズムがキャラバンのはたきりと思わせる。マンドリンのタッチ感によって人々がオアシスを発見した事を暗示し、キャラバンは砂漠の彼方へと進んで行く。

英雄行進曲「イタリア」

Marcia Eroica op.526 A・Amadei

「降魔祭の夜」、「落の組曲」などの名曲で知られているA・アマデイの数多くの作品の中の一つである「イタリア」は副題に英雄行進曲とあるように、最初の4分の2拍子で繰り広げられる男壮て且つ軽快なマーチで始まる。そして中間部で4分の3拍子に乗って全パートが様々な形をかみ合い、美しいハーモニーを醸し出している。そして再び行進曲へと移り、華やかに曲を閉じる。

スペイン舞曲集より第五集「アンダルース」

Twelve Spanish Dance; NO.5 in E Minor "Andaluzia" E・Granados (鈴木静一編)

このE・グラナドスによるスペイン舞曲集は、1890年代にピアノのために作曲された。そして、その後ギターやオーケストラによって本曲は演奏されており、現在でも多くの音楽家に愛されている。特にこの第五集「アンダルース」は、スペイン語ギターの本音となっていて、A・セゴビアらによって演奏されている。



Program

Stage I ~法政工学部ステージ~

小 嶋	II・ラゼトラーノ
メスエット	I・ボッケリーニ
- 出来石春寿郎作曲 松浦洋三編曲のソナタ	
オアシスにて	E・マルティ
英雄行進曲「イタリア」	A・アマデイ

Stage II ~駒澤ステージ~

スペイン舞曲集より第五集「アンダルース」	E・グラナドス
抒情小曲集第十集より「昔々」	E・H・グリーグ
歌劇「アウリスのイフィゲニア」より序曲	C・W・グルク

Stage III ~合同ステージ~

シンフォニア	G・マネンテ
シエナ組曲	V・チェルラ



歌劇「アウリスのイフィゲニア」より序曲

Overture, Iphigenie en Aulide C・W・Gluck(R・Wagner編)
(飯垣拓也 マンドリンオーケストラ編曲)

作曲家グルクは、1714年にオーストリアに生まれ、数多くのオペラを残し、古典オペラの改革者となつた人物である。本オペラは1772年、ウィーンで作曲された三幕よりなる悲劇である。月の女神アルテミスにけいとして犠牲にされたイフィゲニアの激しい運命をうづつた物語で、初演は1774年にパリで行われ、この地の人気をさらうほどの成功を博した。

なお本曲は、かのリヒャルト・ワーグナーがドレスデンの歌劇場で自分が指揮をした時に序曲を書きかえた編曲版であり、この編曲によって交響楽団の重要なパートの1つとして、しばしば演奏されていた。

シンフォニア

SINFONIA G・Manente
(中野二郎 編)

本曲の作曲家マネンテの約60余りの作品の大半は吹奏楽曲である。この「シンフォニア」も原曲は吹奏楽曲で、生前のマネンテと親交のあった中野二郎氏によってマンドリンオーケストラ用に編曲された。シンフォニアとは今日では交響曲と呼ばれるが、17世紀には急一組一急の部からなる「イタリア式序曲」の事を指した。本曲も力強いAllegroから始まり、四分の三拍子のAndantinoで美しいロマンティックな流れ、再びAllegro、最後はFin mossoで華やかに終わる。

シエナ組曲

Suite Senese per orchestra a plectro in tre tempi V・Cerrai

本曲のタイトル「シエナ」とは、イタリア中部にある小都市の名前であり、商業の盛んな活気ある街である。本曲は、そんなイタリアの明るい雰囲気を描写した三曲からなる組曲である。往事はなげ、民衆の浮かれた様子を歌った一曲目「祭り広場」。先を走らない二人も印象的に表す「熱帯の夕暮」。そして民衆の賑わいの南をさへ「発見する路曲」祝賀曲にて。

三千年の昔から地中海とアドリア海、2つの海から吹く風をあげて洗練されていったイタリアの小都市の情景がうかんでくる曲である。



ごあいさつ

部員代表 青木健一郎

本日はお忙しい中、私共駒澤大学ギターマンドリン倶楽部・法政大学工学部マンドリンクラブのジョイントコンサートにご来場頂き、誠にありがとうございます。

今回の演奏会に向けて3月から練習を重ねて参りましたが、技術的にはまだまだ稚拙な点多いかと存じます。しかし、そこは合宿や合同練習で培った団結力でカバーし、精一杯演奏いたしますのでどうぞ最後までごゆっくりとお聞き下さい。

最後になりましたが、本日の演奏会に当たり、ご支援、ご指導下さいました方々ならびに本日ご来場下さいました皆様へ厚く御礼申し上げます。

Orchestra Members

Conductor 萩垣裕也
吉田和義
山下 剛
青木健一郎

Concert-Mistress
10 英穂
佐科由子

1st Mandolin

● 池 英理(駒4)
● 保科法子(法4)
大山賢将(駒4)
吉田和義(法4)
古見真以子(駒3)
横山弘子(法2)
萩西尊哉(駒-OB)

2nd Mandolin

● 経田悠介(法4)
● 滝田寛子(駒4)
● 古橋光二(駒3)
● 西村美奈子(駒3)
● 滝田武正(駒2)
木武悠彦(賛助)

Mandola Tenor

佐藤秀紀(駒4)
寺田善宏(法4)
武藤肇一(駒4)
● 佐藤裕一(駒3)
● 津守祐司(法3)
● 堀切唯子(駒2)

Flute

吉野智子(賛助)

Clarinet

藤原芳行(賛助)

Concert-Mistress

10 英穂
佐科由子

Mandolin Cello

● 星野恵幸(駒3)
● 片桐英樹(法2)
大野謙教(駒2)

Guitar

● 藤井新太郎(駒4)
● 喜澤航也(法4)
山下 剛(駒3)
● 渋谷雅俊(法3)
加藤久美子(駒2)
細田直也(法2)
渡田明彦(駒2)
吉藤慶一(法-賛助)

Contra Bass

坂垣拓也(駒4)
濱添口 誠(法4)
石丸君平(駒4)
● 青木健一郎(法3)
● 浅見信之(駒2)
松村紀子(駒2)

Mandolone

知久正之(駒-OB)

Percussion

藤原みち(賛助)
市場 隼子(賛助)

Joint Concert



法政大学工学部マンドリンクラブ
実践女子大学マンドリンクラブ

1998. 5. 1. (Fri)
Open 6:00P.M.
Start 6:30P.M.

於：いずみホール

曲目紹介

サイモン&ガーファングルメドレー

赤城 淳 編曲

この曲は、「苦悩の川にかかる橋のように君の心を恋にしてあげよう」という内容の愛の歌「明日にかける橋」をオープニングとして、クワイマックスで花嫁がさらわれるシーンが印象的なアメリカ映画「卒業」に使われた「スカボロフェア」「サウンドオブサイレンス」そして、軽快なリズムが心地よい「ボクサー」の4曲から構成されています。どれもよく知られている名曲ですが、随所にあられる、マンドリンソロ、マンドラフ、"ボクサー"の中のギターのリズムなどもお楽しみ下さい。

マンドリニストの群れ

C. A. Bracco 作曲
赤城 淳 編曲

19世紀末の作家ブッコは、この「マンドリニストの群れ」をもって不朽の名を残しました。第一楽章Allegroは、重畳感あふれる伴奏の上をマンドリンの力強く軽快なメロディーが流れ、第二楽章Adagioはゆったりと愛らしく、かつ悲哀感さえ作いながらもうたわれ、第三楽章は再びAllegroとなり軽快なフォルツァシモで曲を終ります。シンフォニックな味を出すこの曲は、その後のマンドリン音楽の方向をアンサンブルからオーケストラへと決定付けたものとして、マンドリン合奏曲中の傑作ともいわれています。

(Naek Five調へ)

宅配限定品 低温殺菌牛乳

草原の朝 720ml

あの懐かしい味わいが今ここに
須永牛乳店 埼玉県東市北町 2-6-25
TEL 048-432-3465

御挨拶

本日はお忙しい中、私達法政大学工学部マンドリンクラブ・実践女子大学マンドリンクラブのジョイントコンサートにご来場下さいまして、誠にありがとうございます。

私達は長年積み上げてきた両校の伝統、習慣の違いにとまどいを感じながらも、合同練習・合同合宿を通じて親睦を深め、今宵の演奏会を迎えることとなりました。二月間という短い期間ではありましたが、部員一同それぞれの思い出を胸に、心を込めて演奏いたします。

最後になりましたが、お力添え下さいました先生方、先輩方、並びに関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ
実践女子大学マンドリンクラブ
部員一同

教科書・CD・自動車教習所・OA機まで学生
生活の必需品はなんでも揃う実践生のお店で

購買部 寿書店

大学店 042-583-4986
短大店 042-584-1961

○DPE
○フィルム
○証明写真
○電話取付

何れも格安です。

実践写真売店

大学店 ☎042-583-5324
短大店 ☎042-582-2276

パート紹介

I s t

いえーい！マンドリン1stじゃん！メロディーじゃん！すーごいじゃん！！おやおやおそのマンドリニスト（1st）さんや弾けてないじゃん！だめじゃん！ウップス！指が固いそうじゃん！ウップス！ら、血がまああぁ！教子さん身がしどきるじゃん！惚れるじゃん！AKIKO・MATUOKA出たぞじゃん！手紙おっさん？！なんですと！お！あやっべうっべー！ウツリタカノリ期待の楽園！古来弾けてないじゃん！だめじゃん！

2nd

2ndのパート紹介をしましょう。比較的温和と思われる人間が集まったようで、パート練習の時は本当に真面目に練習しています。シ・カ・シ、ここだけの話私達には裏がある…。この裏を知りたいあなたは今日のステージ、2ndから目が離せない▼裏を好み裏を走り裏を渡るパート、それが2ndパートだから 表より裏が好きあなたはきっと私達のパートの本質を見抜けるからっ▼▼サブハー▼

Do la

こんにちは、私達Do la 3人組です。え！？3人？実践単独でも、合同でも変わらないじゃないかってケラケラ、そういうことはあまり深く考えず、他のパートに負けないように音を奏でている私達のことも見て下さい▼ 嬉しくもポイントでは、その素晴らしい顔面を披露するの最後となってしまう幸先、これからTOPへ向けてますます素晴らしい演奏のみんなと先、と私、戸田の演奏を最後までお楽しみ下さいませ▼

Cello

クーのことを思っていました。クーならきっと仲間たちを紹介するでしょ！太った人が小笠原（メツ）でしょ。モキゅ 女の人が中谷さんでしょ。（実践女子の壁 西洋タンゴが）余った人が須永（アフリカマン）でしょ。ワンボボ、（アフリカマン）みんな慣れればけっこういいやつらでしょ。一生懸命弾きますです。よろしくね▼ラーム、ワンドフル！！

Guitar

『ド』は藤田達也の『本』（ギョクさむいぞー！！）
『レ』は矢野龍子の『耳』（ものけです）
『ミ』は浅川さおりの『ア』（もーどサウソウでカウジ▼）
『ファ』は岡村純子の『本』（タリ神でず）
『ソ』は市瀬志子の『イ』（電車は手船だに）
『フ』は野口碧彦の『ノ』（家は肉屋）
『シ』は幸せよオートギターも弾けます おちよめらよめ 編曲 藤井フミヤ

Bass

降り続く雨を見ながら、今日も君を思う。
恋を伝う僕は、僕の心の指が、
どうしても伝えられないこの気持ち。
おきえようとするほどに、君は僕の内で大きくなる。
僕は、その愛しさを増した。
僕は、その歌を増した。

——Bassパート、それはオーケストラの安息地——

Program

I. 法政大学工学部ステージ

- ♪ エジプトの庭園にて A. Ketteliddy作曲
清水 保雄編曲
- ♪ 麗女の谷 F. Menichetti作曲
入谷 志保編曲

II. 実践女子大学ステージ

- ♪ 美しき青きドナウ J. Strauss作曲
赤城 淳編曲
- ♪ ビエモンテ皇子 G. Menente作曲
- ♪ 青春の輝き リチャード・カーペンター作曲
赤城 淳編曲

III. 合同ステージ

- ♪ ものけね〜アシタカせっさ〜 久石 譲作曲
赤城 淳編曲
- ♪ サイモン&ガーファンクルメドレー 赤城 淳編曲
- ♪ マンドリニストの群れ C. A. Bracco作曲
赤城 淳編曲

活魚・割烹 **大衆酒場**
 **スタミナの城**
 中央線
 東小金井駅北口 ☎(81)9602

STAGE MEMBER

* 法政大学工学部

Conductor
山崎 博光 (経営工4)

Concert Mistress
横山 敦子 (機械4)

1st Mandolin

T横山 敦子 (機械4)
佐藤 隆紀 (電気電子2)
安藤 浩 (賛助)

2nd Mandolin

T渡辺 武史 (経営工4)
橋本 純 (電気電子2)

Mandola Tenor

窪寺 将司 (賛助)

Mando Cello

T小笠原 康弘 (経営工2)
須永 大介 (システム2)

Guitar

T細田 達也 (電気情報4)
野口 智彦 (システム2)

Contra Bass

山崎 博光 (経営工4)
T米田 高志 (システム2)

Announcer

古川 みづき
(白百合女子大学)

* 実践女子大学

Conductor
浅川 さおり (国文3)

Concert Mistress
松岡 晶子 (美英4)

1st Mandolin

T松岡 晶子 (美英4)
片倉 千佳 (美英3)
高橋 亜夫 (食管3)
吉水 純子 (国文2)

2nd Mandolin

T伊東 久美子 (食食4)
千野 綾子 (生環3)
豊田 直子 (食管2)

Mandola Tenor

T本多 幸子 (食食4)
金子 清佳 (国文3)
戸田 みゆき (食食2)

Mando Cello

T中谷 理絵 (美英3)

Guitar

T矢田 絵里子 (生環4)
浅川 さおり (国文3)
市瀬 恵子 (食食2)
関村 綾子 (生文2)

Contra Bass

T青木 志帆 (国文3)

T:Part Top

編集後記

イヤー人生いろいろあるけど明るく楽しくいきましょーよん！
 皆の楽しい音でもいろいろと今、朝の4:00デマッス・・・
 本日は最後までどうもありがとうございました。
 また、パンフ作成にあたりご協力くださいました方々、並びに
 広告を掲載させて頂いた各位に厚く御礼申し上げます。

編集 / 片倉千佳

MANDOLIN JOINT CONCERT

武蔵野女子大学マンドリンクラブ
法政大学工学部マンドリンクラブ

1999. 5. 1 (土)

Open 6:30p.m.

Start 7:00p.m.

於 いずみホール

御挨拶

本日はお忙しい中、私ども武蔵野女子大学・法政大学工学部マンドリンクラブのジョイントコンサートにお越しいただき誠にありがとうございます。

今宵の演奏会を開催するにあたり、3月から合同合宿、合同練習をしてきました。その間、両校の習慣や伝統に戸惑いを感じながらも、互いの技術の吸収だけでなく、より親睦を深められるようにと頑張ってきました。今宵の演奏会ではその成果が存分に発揮できればよいと願います。まだまだ未熟な演奏ではございますが、今日の演奏会が部員一人一人の良き思い出となるよう、そしてマンドリンの魅力をより多くの方々に知って頂けるよう精一杯演奏しますのでごゆっくり御拝聴下さい。

最後に、本日の演奏会を開催するにあたって御尽力くださいました諸先生、諸先輩、並びに関係者の方々にご心より御礼申し上げます。

武蔵野女子大学マンドリンクラブ
法政大学工学部マンドリンクラブ

STAGE MEMBER STAGE MEMBER

法政大学工学部	武蔵野女子大学
Conductor 佐藤隆紀(電電3)	Conductor 浅井真樹子(日文4)
Concert Master 小笠原康弘(経営3)	Concert Mistress 柳澤知里(日文2)
Mandolin 佐藤隆紀(電電3) 橋本純(電電3) 小林裕司(電情2) 横山健介(電情2) 他	Mandolin 浅井真樹子(日文4) 秋泉聡子(国文2) 花光佑貴子(人間2) 富田衣里(日文2)
Mandola Tenor 須永大介(システム3)	Mandola Tenor 池田あゆみ(賛助) 山本聡美(賛助)
Mando Cello 小笠原康弘(経営3)	Mando Cello 林飛鳥(日文2)
Guitar 野口智彦(システム3) 福井勝治(土木2)	Guitar 柳沢知里(日文2) 安部公恵(日文2)
Contra Bass 米田高志(システム3)	Contra Bass 高崎陽子(日文2) 篠原加奈(賛助) 區森康子(賛助)

曲目解説

マンドリンオーケストラのための

「生命の詩」(世界の生命=広島の子)

この曲は1989年に作曲された次のような歌詞のコースがのっている。

【焔火の中に 生まれ出た 新しき生命 広島
それは今 世界の平和 平和を築く 聖なる力
ああ戦争 守りゆく 生命 生命 広島の子
生命 生命 世界の生命】
(作詞原田重敏)

曲は序奏の中から鐘の音から始まり、プロローグには、ギターのアレンジと14c マンドリンのデュオで静寂をたたえた8拍子の主題が続く。この後、人々の心が繋がっていく。Solo から tutti になって民衆の合唱へと盛り上がり、中間部は張り詰めた緊張の感情を表すがごとく激しく響き、空がそれらを支えようとするような全楽器の和音が鳴り響く。そして嵐の嵐から立ち上がった人々の力が強く響く。最後に明日への希望の光を高くにうたいあげ、平和への祈りを世界中に響かせるように終わる。

Remembranza

作曲家は1956年生まれで、学生時代より作曲に熱しマンドリンの曲を発表してきた。作曲および和声は石黒氏に師事。本曲リメンランザは作曲家の出身大学である青山学院大学リズムマンドリン第20回定期演奏会の為記念として依頼された曲で、大学後援に委ねられた曲である。穏やかな序奏主題に始まり、同じ主題によるコーダにより曲を閉じる佳曲である。尚、リメンランザとはイタリア語で追想曲という意味である。

PROGRAM

第1部

- 蛍の舞曲
A. Amadei 作曲
- Yesterday Once More
R. Carpenter 作曲
- お子様アニメメドレー
- マンドリンオーケストラのあひ
「生命の詩」 藤掛廣行 作曲

第2部

- 選俗修道士
G. Filippa 作曲
- 組曲「ペレアスとメリザンド」より
シンリエンス G. Faure 作曲
- Remembranza
戸井田まこと 作曲

お知らせ

法政大学工学部マンドリンクラブ
第36回定期演奏会
12月11日(土)
於 いずみホール

武蔵野女子大学マンドリンクラブ
第34回定期演奏会
11月中旬
於 武蔵野女子大学内宮頂ホール

**MANDOLIN
JOINT
CONCERT**

武蔵野女子大学マンドリンクラブ
法政大学工学部マンドリンクラブ

2001.4.27 (Fri.)
Open 6:30p.m.
Start 7:00p.m.

於 いずみホール

はじめに

本日は御忙しい中私ども武蔵野女子大学・法政大学工学部マンドリンクラブのジョイントコンサートにお越し頂き誠にありがとうございます。

今年のジョイントコンサートを開催するにあたり、二月から合同練習を開始し、三月には合同合宿をさせていただきました。その間両校の習慣や伝統に戸惑いを感じながらも、お互いの技術の進歩や吸収だけでなく、より親睦を深められるようにと頑張ってきました。今年のジョイントコンサートではその成果が存分に発揮できればと思っています。

まだまだ未熟な演奏ではございますが、今年のコンサートが部員一人一人の良き思い出となるよう、そしてマンドリンの魅力をより多くの方々に知って頂けるよう精一杯演奏致しますのでごゆっくり御鑑賞ください。

最後になりましたが、本日のジョイントコンサートを開催するに当たって御尽力・御協力くださいました諸先生、諸先輩、並びに関係者の方々にも心より御礼申し上げます。

武蔵野女子大学マンドリンクラブ
法政大学工学部マンドリンクラブ

PROGRAM

第Ⅰ部

～武蔵野女子大学STAGE～

●PLUCKING STRINGS

作曲：Julius Steffaro

●アンタカセつ記

作曲：久石 譲 編曲：風 大樹

●晩年に

作曲：H.Lavitrano

第Ⅱ部

～法政大学工学部STAGE～

●EL MATADOR

作曲：C.A.Bracco

●明日に架ける橋

：サイモン&ガーファンクル

●Romantisches Konzertstück

作曲：Konrad Wölki

第Ⅲ部

～合同STAGE～

●Prelude 2

作曲・編曲：吉水秀徳

●ファンタジア九州

作曲・編曲：藤掛廣幸

曲目解説

Prelude 2

この曲は吉水秀徳氏によってマンドリンオーケストラ本来の6パートによる演奏を考えて作られた曲である。

二短調の単純ながら優しい第1主題、ロ短調の躍動的な第2主題、そして第1主題の忠実な再現の第3主題によって構成されたこの曲は、演奏時間が10分程であることなど気軽に演奏されることを目指して作曲がなされている。

本曲は1989年夏に作曲され、同年9月に作曲者の母校である大阪府立四条瀬高校にて初演された。

ファンタジア九州

この曲は藤掛廣幸氏が「九州に因んだ曲を…」という協同マンドリンオーケストラからの希望に沿って作られた曲で、「五木の子守歌」と「ひえつき節」という二つの九州の民謡をテーマにヴァリエーションや交響的な手法を用いた作曲がなされている。

本来はマンドリンオーケストラの6パートの他、フルートやクラリネット、ホルンなどといったパートも用意されていて、より豊かな響きに仕上がっている。

本曲は1996年に作曲され、作曲家の藤掛氏自身の指揮のよって初演された。

STAGE MEMBERS

～武蔵野女子大学～

Conductor

柳澤 知里 (日文4)

Concert Mistress

花光 佑貴子 (人間4)

富田 依里 (日文4)

Mandolin

富田 依里 (日文4)

花光 佑貴子 (人間4)

大島 さとみ (社福2)

村田 智菜 (社福2)

Mandora Tenor

川島 明美 (社福2)

葛間 優子 (社福2)

Mando Cello

大橋 晃江 (社福2)

田中 亜矢子 (社福2)

齊田 えり (賛助)

Guitar

安部 公恵 (日文4)

柳澤 知里 (日文4)

坂ノ下 奈央 (人間2)

水沼 愛 (日文2)

Contra Bass

木村 浩子 (賛助)

Percussion

足立 絢子 (賛助)

村本 寛太郎 (賛助)

～法政大学工学部～

Conductor

福井 勝治 (土木4)

河合 宏明 (電電3)

Concert Mistress

伊藤 しずか (システム3)

Mandolin

伊藤 しずか (システム3)

河合 宏明 (電電3)

倉持 剛志 (経済3)

加納 裕三 (建築2)

小玉 剛史 (システム2)

小林 葵 (CS2)

宮下 寛 (建築2)

Mandora Tenor

石川 大介 (システム2)

小笠原 康弘 (賛助)

Mando Cello

倉田 光 (経済3)

野口 明久 (土木2)

Guitar

福井 勝治 (土木4)

高木 嘉和 (電電3)

佐藤 貴紀 (CS2)

Contra Bass

大野 慶晃 (物産2)

MANDOLIN JOINT CONCERT

法政大学工学部マンドリンクラブ
東京家政大学マンドリンクラブ

2002年4月27日(土)
開場17:30/開演18:00
練馬文化センター

ご挨拶 *****

本日はお忙しい中、私ども法政大学工学部マンドリンクラブ・東京家政大学マンドリンクラブ ジョイントコンサートにお越しいただき誠にありがとうございます。

本日の演奏会を開催するにあたり、二ヶ月間という短い期間ではありましたが、両校の習慣や伝統の違いに戸惑いを感じながらも、合同練習・合同合宿を通じて互いに親睦を深めて参りました。

今宵の演奏会では、その成果を発揮できればと願っております。そして私たちの演奏が、ご来場の皆様の思い出に残るものとなれば幸いです。

最後になりましたが、お力添えいただきました先生方、先輩方、並びに関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ部長 加納 裕二
東京家政大学マンドリンクラブ部長 前田 康英

定期演奏会のお知らせ

法政大学工学部マンドリンクラブ
第39回 定期演奏会
2002年12月6日(金)
いずみホール

東京家政大学マンドリンクラブ
第39回 定期演奏会
2002年12月5日(木)
川口リリア音楽ホール

MANDOLIN & GUITAR

ikegaku

〒117-0047 練馬区池袋1-1-1
TEL: 03-3581-1391
<http://village.infoweb.ne.jp/~ikegaku/>

多目的ホール有・24時間貸出しOK
音響設備完備 専任講師

SUN-BAY

〒117-0047 練馬区池袋1-1-1
TEL: 03-3581-0001
TEL: 03-3581-0002

曲目解説 *****

第I部 法政大学工学部ステージ

生命の詩 作曲 藤掛 廣幸

曲は暗闇の中から届く鐘の音から始まる。プロローグには、ギターのアルペジオと1stマンドリンのゼグエンツにのせて悲哀をたたえたハ短調の主題が続く。その後、人々の心の歌が聞こえてくる。Soloからtuttiになって民衆の合唱へと盛り上がっていく。中間部は猛り狂う戦火と原爆の恐怖を表すがごとく激しく奏され、やがてそれらを打ち破るような全楽器の和音が鳴り響く。そして闇の底から立ち上がった人々の歌が力強く歌われる。最後に明日への希望の光を高らかにうたいあげ、平和への祈りを世界中に響かせるように終わる。

第II部 東京家政大学ステージ

プレリュード 2 作曲 吉水 秀徳

曲は、緩-急-緩の3部で構成されている。二短調の単純ながら流れるトレモロで優しく包み込む第1主題。1小節5回のトレモロという規則的なリズムながら、激しく躍動的な短調の第2主題、そして第1主題の忠実な再現部である。吉水氏が演奏しやすいようにと作曲された曲である。自分自身のプレリュードとして、これからに続く演奏にしたい。

各行っていただくお客様のお楽しみにお応えし、

20%

割引サービスを実施いたします。

11:00開演 09PM 年中無休

(都内での研修・合宿のお手強い)

東大正門前 本郷 心たぎ旅館

※3タイプの会議場完備!!

丸の内線 本郷1丁目
交通 南武線 東大前 駅より
三田線 春日
TEL: 03(3811)1841
FAX: 03(3814)5789

第III部 合同ステージ

狂詩曲 -海- 作曲 鈴木 静一

一知らぬ間に後退する「引き潮」の静かさには衰退(おとろえ)を感じる。～キラキラと美しく輝きながら～だが海はそらで巻き返しをたくらむ!「引き潮」は引きしげられ写す。矢はやがて切つてはなれたる!「あけ潮」を打ち砂浜を噴む浪! 浪! この時海は湧らつとはち切れるばかり活気に充ちる!そしてその極限にくる「満潮」のどかさ、おだやかさーこの狂詩曲は平穏の日の海の日を繰り返しを描いてゆく。

セレナーデ No. 2 作曲 藤掛 廣幸

本曲は1979年、広島修道大学の委属により作曲、同年11月に初演されたセレナーデシリーズの第2作である。全部で6つの楽章から成り立っているが、各楽章はアタッカで結ばれ休憩は含まれない。主題は第1楽章と最終楽章に配され、どちらの楽章でも中間に現れる旋律は藤掛氏の数多い「泣き」の旋律中もっとも美しいものの一つで、「初恋の胸のとぎみき」を表していると言われる。第2楽章はSwingと記された強むようなジャズ風楽章。第3楽章は、第1楽章同様にドラマの劇伴から生まれた曲で、「川のほとり」(Riverside Serenade)という別名を間奏曲風楽章。続く4、5楽章は同一モチーフを含むひとかたまりの楽章と言えるが、ここでこの星のまたたくような羽音の旋律と西部劇でも思わせるような勇渾なテーマの対象はダイナミックである。

TEL: 03-3581-1111

川口リリア音楽ホール

〒117-0047 練馬区池袋1-1-1

リリア

TEL: 03-3581-0001

PROGRAM

第I部 法政大学工学部ステージ

序曲「真夏の夜の夢」より“結婚行進曲”

作曲 メンデルスゾーン

Chesford Portrait

作曲 James Swearingen

生命の詩

作曲 藤掛 廣幸

第II部 東京家政大学ステージ

サウンド オブ ミュージック モドレー

作曲 Richard Rodgers

Spanish Serenade

作曲 Bizet
編曲 白比野 俊道

プレリュード 2

作曲 吉水 秀徳

第III部 合同ステージ

狂詩曲-海-

作曲 鈴木 静一

セレナーデ No.2

作曲 藤掛 廣幸

STAGE MEMBER

学年・五十音順

Conductor

河合 宏明(法・電電4)
小野 恵(家・心理4)
加納 裕二(法・建築3)

Concert Master

伊藤 しずか(法・シキ4)
倉持 剛志(法・経営工4)
佐藤 香里(家・心理4)
西村 朋子(家・造形4)

1st Mandolin

★伊藤 しずか(法・シキ4)
★榎村 朋子(家・造形4)
佐藤 香里(家・心理4)
加納 裕二(法・建築3)
小玉 剛史(法・シキ3)
田川 瞳(家・管土2)
黛 克典(法・シキ2)

2nd Mandolin

★倉持 剛志(法・経営工4)
☆小山 智可(家・管土4)
河合 宏明(法・電電4)
小林 葵(法・CS3)
宮下 寛(法・建築3)
大山 明希子(家・楽義短2)
古賀 政弘(法・シキ2)
清水 かおり(家・管土2)
神永 智子(OG)

Mandola Tenor

★石川 大介(法・シキ3)
☆浅沼 真理(家・楽義4)
小野 恵(家・心理4)
須山 加奈子(家・環境4)
船島 里奈(家・管土2)
高島 麻帆(家・保育短2)
武庫 隆雄(法・電電2)
渡辺 有紀子(家・管土2)

Mandolon Cello

★倉田 光(法・経営工4)
☆小川 円香(家・英文4)
庄司 友美(家・管土4)
野口 明久(法・土木3)
加賀 さとみ(家・管土2)

Guitar

★高木 嘉和(法・電電4)
☆天野 美枝(家・児童4)
佐藤 真紀(法・CS3)
池田 有理(家・心理2)
河崎 典男(法・機械2)
古宮 大輔(法・機械2)
前田 康美(家・児童2)
森林 毅(法・機械2)
江口 有紀(OG)
吉田 瑠依(OG)

Contrabass

★大野 慶晃(法・物化3)
☆古市 典子(家・児童4)
江藤 輝(家・楽義2)
榎岸 哲也(法・シキ2)

Announcer

須賀 美智子
(白百合女子大学)

★：各パートのトップ
☆：各パートのトップ
法：法政大学工学部
家：東京家政大学

法政大学工学部・津田塾大学

The
Mandolin
Joint
Concert

於： いずみホール（JR中央線西国分寺駅徒歩1分）
2003. 4. 30（水）
open 18:00 start 18:30

御挨拶

本日はお忙しい中、私たち法政大学工学部・津田塾大
マンドリンクラブのジョイントコンサートにご来場いた
だき、誠にありがとうございます。

今宵のコンサートを開催するにあたり、2ヶ月間とい
う短い期間ではありましたが、コンサートの成功を目標
とし、日々練習を重ねてきました。その間、互いの伝統
や習慣の違いに戸惑いを感じながらも、会での合宿や
練習を通じて、互いに親睦を深めて参りました。今宵の
コンサートが私たち一人一人にとってかけがえのないの
となる様、皆一杯演奏したいと思います。そして、私た
ちの奏でる音楽が、ご来場の皆様の方に響く音楽となれ
ば幸いです。まだまだ未熟な演奏ではございますが、ど
うぞ最後までごゆっくりご聴取下さい。

最後になりましたが、本日のコンサートを開催するに
あたり、ご指導ご協力して下さった諸先輩方、並びに関
係者の皆様にお礼申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ部長 古賀玖弘
津田塾大学マンドリンクラブ部長 相藤雅代

-2-

Program

第I部	
情熱大陸	葉加瀬太郎 作曲 平井朗 編曲
花のワルツ	Tchaikovsky 作曲 平井朗 編曲
海のファンタジー	藤樹廣幸 作曲 指揮 古宮大輔
第II部	
綺想的間奏曲	A. Amadei 作曲
峠	鈴木静一 作曲
風の印象詩	細野昭美 作曲 指揮 相藤雅代
第III部	
マンドリニストの群れ	C. A. Bracco 作曲 指揮 島田有子
幻想曲第一番イ短調作品22	久保田孝 作曲 指揮 加納裕二

-3-

曲紹介

海のファンタジー

海のファンタジーの原曲は、150人を超える松坂商業高校ギタークラブの角
に、藤樹廣幸氏によって作曲されたものです。このクラブはギターをひきながら
歌を歌うのを得意にしているため、三パートに分かれた合唱も入るように作詞・
作曲されました。この原曲をマンドリンオーケストラのみで演奏できるように書
き直されたのがこの曲です。

風の印象詩

1999年に作曲されたこの曲は、全てのパートがそれぞれの趣を表現し、重なり
あふことで新たな風を表現しています。繊細で幻想的な冒頭部、続くAllegroは
力強く軽快で、次音を吹き抜ける風をイメージさせます。中間部ではAllegroとは
対照的な柔風、優しくやわらかな風が吹くようです。
この曲独特のさわやかや美しい音の重なり合いをお楽しみください。

マンドリニストの群れ

作曲者のブラッコは19世紀の中頃、北部イタリアに生まれ、20世紀初頭にジュ
ヴァにて没した。マンドリニスト、ヴァイオリニスト、合奏指揮者としても豊富な経
験を蓄えており、音楽集団の組織や運営も巧みにこなしていた。『マンドリンの群れ』
或いは『マンドリニストの群れ』と訳される本曲は、彼の20曲ほどのマンドリン曲の
代表曲であると共に、マンドリン合奏音楽発展初期に文藝的オーケストラレイアウト
に基づいた真実な形式楽曲として提供されたことにより、マンドリン音楽史上における
画期的な意義と認められる。1902年、トリノのイェル・プレットロ誌の主宰者イェル
・マンドリーノ第6回作曲コンクールで第1位賞を受賞。3度の下流音楽家として
何度も形を変えて出現する主題、華麗な旋律、興味豊かなテンポの変化、さらに各
楽器群の独立した芸術的効果顕著な数曲は、まさにマンドリン合奏の黎明期における
飛躍的な進歩と考えよう。

幻想曲第一番イ短調作品22

本曲は1986年に作曲され、明治大学付属明治高等学校定期演奏会にて久保田
孝自身の指揮により初演奏されたものである。

曲はスラビックの荒涼とした雰囲気をもってあり、妖しげな導入部から始まって、
次第に緊張感を増してAllegroへと入る。本曲の特徴である規則的に主題Cが現れた
後、個性はへ控へて変化し2ndマンドリンに押し付けられた主題Cが裏で展開されて
ゆく。中間部では再び冒頭の妖しげな雰囲気を持ち、そして再びAllegroの主題
A、Cの後、今度はイ長調でドラの主題Bが裏で現れる。再びイ短調に戻り主題C
が力強く演奏された後、コードへと導かれ曲は終結する。

-4-

STAGE MEMBER

◆Conductor◆

加納裕二 (法:建築4)
島田有子 (津:国際4)
相蘇雅代 (津:英文3)
古宮大輔 (法:機械3)

◆Concert Master◆

宮下 寛 (法:建築4)
荒川 加奈子 (津:国際4)
小玉 剛史 (法:システム4)

◆Mandolin◆

☆宮下 寛 (法:建築4)
★荒川 加奈子 (津:国際4)
加納裕二 (法:建築4)
小玉 剛史 (法:システム4)
古賀 政弘 (法:システム3)
泉 香織 (津:英文2)
小股 健太郎 (法:電電2)
西郷 昌裕 (法:システム2)
本間 朝子 (津:英文2)
水本 貴子 (津:情数2)

◆Mandola Tenor◆

☆石川 大介 (法:システム4)
★比知屋 未紗 (津:英文2)
中村 明博 (法:システム2)

◆Mandolin Cello◆

☆野口 明久 (法:土木4)
★久保田 美樹 (津:英文4)
相蘇 雅代 (津:英文3)
内海 悟志 (法:電電2)

◆Guitar◆

☆佐藤 貴紀 (法:CS4)
★宮川 令子 (津:英文3)
河崎 典男 (法:機械3)
古宮 大輔 (法:機械3)
森 林 毅 (法:機械3)
鈴木 光彦 (法:電電2)
山 野 愛 (津:情数2)

◆Contrabass◆

☆大野 慶晃 (法:物化4)
★島田 有子 (津:国際4)
根岸 哲也 (法:システム3)

☆法政工トップ
★津田塾トップ

♡マリー・フランキーのページ♡

※マリー・フランキーベース&コンダクターの島田有子の別名



こんにちは。一身上の都合で一足早く引退することになりました。島田有子です。私のためにこのようなページを作っていたら、嬉しい限りでございます。私はマンドリンクラブにはホントに片足を突っ込む程度に入部したのですが、いつの間にか自分の生活のほぼ中心にまでなってしまうました。オドロキです。いろいろたくさんありましたが、私にとっては何が一番よかったかってーと、やっぱりサークルで出会った、仲間や先輩や友達ができたことです。音楽をともにする仲間なんてなかなかないかなー、と思いますが、まさにジャスト、そんな感じ。

そのほかにも、音楽を聴くジャンルが広がったり、日記をつけたり、酒量があきらかに増したり、徹夜でもがんばれるようになったり・・・いろいろ変わりました。さらなるメタモルフォーゼを行うきっかけになったかと思えます。

一番期待していた恋愛面では、なんら得られなかったクラブ生活となりましたが、そのあたりは未素に望みをかけて引退していきたくと思えます。

最後になってしまいましたが、クラブの皆、先輩、ジョイント一緒にした法政工・ムサ女のみんな、他の学校仲間良くしてくれた方々、どうもありがとうございます。まだまだかなりご迷惑かけると思いますが、どうぞよろしくお願いたします。また会う日まで！多分そんなに遠い未来じゃない、またヨロシク。

YUKO SHINADA



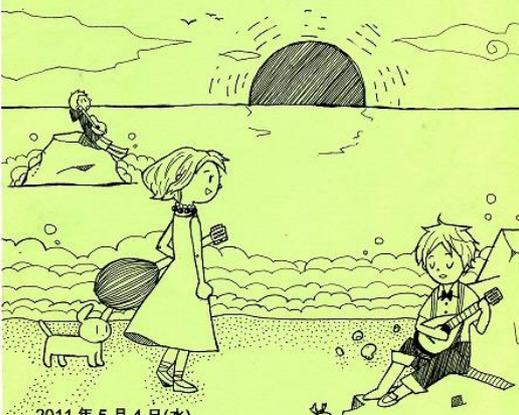
後輩から

我がマンドリンクラブのコンダクター、たった一人のパーシスト、そして最盛のムードメーカー、島田先輩を語りつくすには恐らく何時間あっても足りないでしょう。とりあえず言えることは、私たちが後輩の面倒をよく見て下さり、滅多に怒らず、爽快らしくおおらかで、人並みにはずれて素天的なお方・・・ということです。コンダクターとして、去年は部長としてもクラブをまとめて下さった先輩ですが、その器の大きさには毎回驚かされました。すばらしいです。本当に、そんな島田先輩ですが、残念な事に今回のコンサートで引退となってしまいました。今まで本当にお疲れ様でした。またいつでも遊びに来て下さいね。

先輩の席は常に空けてお待ちしております。

武蔵野大学・法政大学工学部マンドリンクラブ

ジョイントコンサート



2011年5月4日(水)
開場 18:00 開演 18:30
府中の森芸術劇場ウィーンホール

御挨拶

この度は私たちの演奏会にお越しいただきありがとうございます。
法政大学工学部と武蔵野大学は毎年部内演奏会を開いており、特に交流の深い大学同士だと云えます。その交流を生かし、皆様の心に残るような演奏が出来ればと願っております。まだまだ未熟な私たちではありますが、皆様に来てよかったと思えますよう一杯演奏しますのでよろしくお願いたします。
最後に東北地方太平洋沖地震につきまして、被災された皆様にもよりお見舞い申し上げます。そして、微力ではありますが私達も1日も早い復興の力になりたいと思っております。

武蔵野大学マンドリンクラブ部長 鈴木仁葉
法政大学工学部マンドリンクラブ部長 永田俊介



PROGRAM

第1部(武蔵野Stage)

マンドリニストの生活 J.B.Kok 作曲
Little Tune for Mandolin Orchestra No.3風の彼方へ 大村慎一 作曲
流星群 末廣健児 作曲

第2部(法政工Stage)

ワシントン・ポスト John Philip Sousa作曲, 遠藤秀安 編曲
TAKUMI/匠 松谷卓 作曲, 尾関美和子 編曲
風のキャンティレーナ 長谷川武宏 作曲

第3部(武蔵野・法政工合同Stage)

杜の鼓動・樺の風景 丸本大悟 作曲
雲の行方~Phantasmal Overture vol.2~ 柴崎利文 作曲

- 1 -

曲紹介

第1部
マンドリニストの生活 J.B.Kok 作曲

この曲はマーチのテンポでワクワクする曲となっております。ところで、みなさんは曲名を聞いてどう思いましたか？生活とあるので、1日・1ヶ月・1年と、人によって様々な時間を思い浮かべたはずですが、私はマンドリンに向かう姿勢をこの曲からイメージしました。曲の前半は目標に向かって練習し、少しずつ上手になります。ところが中盤でスランプに陥ります。それをなんとか乗り越えて、気持ち新たに弾き始めることを連想しました。みなさんもマンドリニストはどんな生活を送っているのか、想像しながらお聞き下さい。

Little Tune for Mandolin Orchestra No.3風の彼方へ 大村慎一 作曲

この曲はどのパートにも見せ場があります。1stから2ndにAロディが移り、ドラ・セロの裏メロ、ベースのソロがあります。いつも裏方にいる低音パートのがんばりをみなさんに聞いてほしいです。他にも、曲調が変わる場面では、ギターのソロに1st・2nd、そしてドラのソリが加わり、風が吹れるように弾いています。この曲は、主に裏方で進行していきます。さらにリズムも楽しく苦勞しました。それぞれのパートに注目してお聞き下さい。

流星群 末廣健児 作曲

初演が2008年と比較的新しい作品となります。無限な宇宙、そこにまるで星がはじけ生まれるような神秘を思わせる序奏に、celloのメロディが乗ってスタートします。終始、変拍子こそ少ないですが、繰り返されるわずかなテンポの違いを上下に表現できるかどうかで印象が変わる曲と言えます。また、dolaやcelloがレ・モロにより旋律を奏する背景で、dolinがピッキングでそれを盛り付けるような動きがあったりします。これも本作品におけるひとつの特徴で、星がきらめくようなイメージで演奏しています。
曲中において数多くの3拍3連と6連符、きれいなギターソロから1st、2nd、dola、celloトップによるソロ、そしてフィナーレのGrandiosoでは宇宙の広大さと星たちが放つ輝くばかりの輝き、これらひとつひとつが皆さんに伝われば、と思います。

- 2 -

第2部

ワシントン・ポスト

John Philip Sousa作曲, 遠藤秀安 編曲

この曲は、「マーチ王」と呼ばれているスーザによって作曲された愛国的なアメリカ合衆国の行進曲です。アメリカをはじめ多くの国で、スーザの有名な行進曲の一つとして広まっています。特に第1楽律は有名で、多くの方に知られていると思います。中間部は「風変わった思やかなギター」のメロディです。そして中間部の繰り返し以降、低音の力強い対旋律が始まります。第2部1曲目にふさわしい明るく、楽しい曲です。

TAKUMI/匠

松谷卓 作曲, 尾関美和子 編曲

テレビ番組「大改造!! 劇的ビフォーアフター」の挿入曲です。新しい住居を見せるとき音楽が、この「TAKUMI」です。有名な部分だけでなく、メインメロディに似ているゆったりとしたメロディも印象的です。曲の前半から徐々に盛り上がり、後半は壮大な気持ちになります。やさしく、どこか懐かしさを与えてくれる曲です。

風のカンティレーナ

長谷川武宏 作曲

本曲「風のカンティレーナ」は長谷川武宏氏により「風の組曲」「風の記憶」と共に「風の三幕作」の一つとして作曲されたものです。題名に在るカンティレーナ(Cantilena)とは、器楽において叙情的で歌うような旋律を意味する語であり、序盤は柔和でゆったりとした曲調で始まりますが、中盤に差し掛かると一転して、軽やかで爽快感溢れる流れるようなメロディが盛り上がりを見せます。そして、終盤には再び序盤のような穏やかさが訪れるというドラマティックな構成になっています。また、この曲は作曲家である長谷川武宏氏自身が風に対する思いや憧れを抱いて作曲され、緩急ある曲調によって何者にも縛られることなく、とらえどころのない存在としての「風」を私たちにイメージさせてくれます。本日は私たちの演奏から、そうした自由な存在に思いを馳せていただけますよう、束の間ではありますが、耳を傾け身も心も預けて、風の流れを感じていただければ幸いです。

- 3 -

第3部

杜の鼓動 - 樺の風景 -

丸本大悟 作曲

杜の鼓動は全3楽章から構成される組曲です。1楽章「樺の風景」、2楽章「霧の還る場所」、3楽章「街の灯」。今回はその第1楽章「樺(ケヤキ)の風景」を演奏させていただきます。

第1楽章で表される「杜」とは「森」の事を指し、物語は森の静謐な朝から始まります。悠くも何処か力強いトレモロの旋律はまるで黎明を響かせるような響きを感じさせます。序盤から用いられるこのフレーズは杜の鼓動、全楽章を通したテーマともいえるでしょう。

中間部からは雰囲気が一転し、躍動感溢れる自然の姿が描かれます。非常に軽快なテンポで演奏は流れていき、それはまさに「杜の鼓動」を思わせてくれます。それはまるで風や大地や樹々、森の動物達の繰り返す鼓音の渦のようでもあり、また輪廻転生を繰り返す世界を静かに廻り続ける荘厳さを表しているようでもあります。

終盤はまた序盤のフレーズへ戻り、物語は一日の終わりを迎えます。序盤で聴いて頂いたものとメロディの流れは殆ど同じものではありませんがより迫力のある、まさに物語の終幕に相応しい構成になっています。

物語の装丁後にはきつと、各々の想う「杜の余韻」を感じて頂けるのではないのでしょうか。

ジョイントだからこそ可能とした、この重厚な演奏をお楽しみ下さい。

雲の行方~Phantasmal Overture vol.2~

柴崎利文 作曲

この曲はその名の通り、雲が流れていく様子を表現した曲です。冒頭では雲がゆったりと穏やかに流れています。そこにそよ風が吹き、雲は緩急をつけるように流れます。次第に風は強さを増し、雲は黒大雲となり風の強さに相まって広大な空を流れていきます。途中、風は弱まりますが、雲は空に広がっていきます。やがて風は止み、雲は勢いをなくしてその場に留まり、揺られていきます。しかし、突如強い上昇気流が発生し、雲は積乱雲となり電気を帯びて雷を伴います。不安定となった大気は積乱雲を成長させ、雲は更に勢いを増していきます。やがて積乱雲は衰退していき、再び上昇気流が発生し、新たな積乱雲が発生します。新たな積乱雲は勢いを増して雷を伴い、そして消えていきます。その後、雲は先ほどまでは違い、優雅でいて仕舞に空を翳うように流れ、空へと消えていきます。広大な空に漂い、穏やかでいて美しく流れる雲をイメージしながらお聞きください。

- 4 -

STAGE MEMBERS

Conductor

霧沢研太 (武蔵野4年) 星野佑希 (武蔵野4年) 小原裕希 (法政工4年)
菅岡貴大 (法政工3年) 後藤一成 (法政工3年) 田中西 (武蔵野2年)

Concert master/mistress

星彩美 (武蔵野4年) 岡崎拓也 (法政工4年)
小山愛 (武蔵野3年) 青木佐和 (法政工3年) 富永武志 (法政工3年)

Mandolin

井川朋子 (武蔵野4年) 村山未佳 (武蔵野2年)
土方愛美 (武蔵野4年) 杉山忠理 (法政工2年)
星彩美 (武蔵野4年) 長谷部麻美 (法政工2年)
吉武佳那 (武蔵野4年) 箕川由理佳 (法政工2年)
岡崎拓也 (法政工4年)
仲田理恵 (法政工4年)
小山愛 (武蔵野3年)
山田沙知 (武蔵野3年)
青木佐和 (法政工3年)
富永武志 (法政工3年)
吉田祐太 (法政工3年)
飯村恵 (武蔵野2年)
近藤美幸 (武蔵野2年)

Mandola Tenor

伊藤沙織 (武蔵野4年) 池田直樹 (法政工3年)
星野佑希 (武蔵野4年) 菅岡貴大 (法政工3年)
奥山輔 (法政工4年) 三浦亮太 (法政工3年)
江田愛 (法政工4年) 岩野泰子 (武蔵野2年)
渡辺信平 (法政工2年)

Mandolin Cello

荒井萌 (武蔵野4年)
梶裕美子 (武蔵野3年)
後藤一成 (法政工3年)
永田俊介 (法政工3年)
眞壁亜由美 (法政工3年)
加藤由香梨 (武蔵野2年)
田中西 (武蔵野2年)
山崎祐子 (法政工2年)

Guitar

大谷佳奈 (武蔵野4年)
田村亜紗子 (武蔵野4年)
霧沢研太 (武蔵野4年)
是常崇 (法政工4年)
小原裕希 (法政工4年)
橋本悠太 (武蔵野3年)
石塚歩美 (法政工3年)
高橋千咲 (法政工3年)
田原 遼 (法政工3年)
松山 歩 (法政工3年)

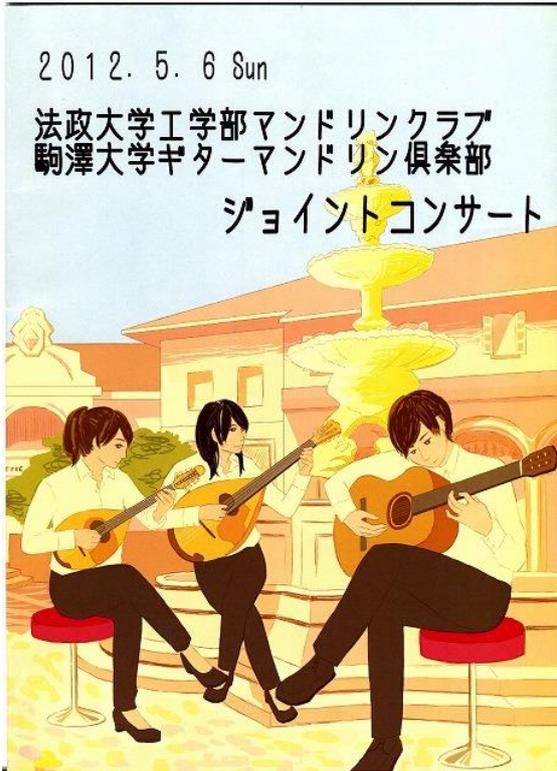
Contrabass

神沼秀幸 (法政工4年)
鈴木仁葉 (武蔵野3年)
丸山阿弓 (法政工3年)

松本美由貴 (武蔵野2年)
茂呂 亮寛 (法政工2年)

- 5 -

- 6 -



*******ご挨拶*******

法政大学工学部
部長 渡辺 信平



本日は私たちの演奏会にご来場頂きありがとうございます。
このジョイントコンサートを開催出来たことを大変嬉しく思います。また開催するにあたりご協力頂いた関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。
今回の演奏会は駒澤大学の皆様とご一緒させて頂き、普段の練習方法や音楽に対する考え方などさまざまな刺激を頂きました。短い期間ではありましたが私達にとって実りのあるものだったと考えております。
この日のために私達なりに一生懸命練習を怠りませんでした。その成果がしっかりと出せるよう願っております。
本日ご来場頂きましたお客様には演奏会を通じて、私達の一曲一曲に込めた思いを感じて頂けると嬉しい限りです。
では、最後まで私達の演奏会をお楽しみください。

駒澤大学
部長 野口 啓太郎



本日はお忙しい中、駒澤大学・法政大学工学部ジョイントコンサートにお越しいただき、誠にありがとうございます。
本日の演奏会を迎えるにあたり、譜面の調達不能による遅延し直し、練習場所の確保難航などといったトラブルに見舞われました。しかしお互いに協力し合い、限られた時間の中で日々練習に励んできました。
今回集まったメンバーでの演奏は本日で最後になりますが、同一生懸命演奏させていただきました。ジョイントコンサートならではの音の厚み・迫力、各大学のカラーを演奏の中で少しでも感じていただけたら幸いです。
最後になりましたが、今回の演奏会の開催にあたりご尽力いただきました関係者の皆様や、本日ご来場いただきました皆様への御礼を申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

*******プログラム*******

第1部	法政大学工学部
茜 - Akane -	丸本大悟 作曲
風の丘	久石譲 作曲、中野薫 編曲
流星群	末廣健児 作曲
第2部	駒澤大学
リベルタンゴ	Astor Piazzolla 作曲、平井朗 編曲
セレナーデ風ガボット	Amedeo Amadei 作曲
めぐる季節	高橋太志 作曲
第3部	二校合同
組曲「風の大地」	加賀城浩光 作曲
劇的序曲	Arrigo Cappelletti 作曲

*******第1部*******

茜 - Akane -	丸本大悟 作曲
<p>“茜という言葉は夕空の色を表現する際によく使われます。 その為か「茜色」を思い浮かべると、色自体ではなく夕空の風景が、そしてそれに付随して色々な感情が思い起こされます。この曲に、そういった感情を少しでも感じて頂ければ幸いです。”(作曲者記より)</p> <p>人それぞれ思い出す夕空により、イメージする茜色も赤みを帯びたり、淡いものであったり、多様な色みを醸し出すことでしよう。 ぜひ、あなたの中に素敵な夕空を思い描いてみてください。</p>	
風の丘	久石譲 作曲、中野薫 編曲
<p>映画「魔女の宅急便」を見た方は、この曲に聴き覚えがあるのではないのでしょうか。タイトルの「風の丘」にあるように、柔らかな風が丘を吹き抜けるかのような軽やかな曲調が印象的です。 親しみやすいメインメロディに加え、中間部のマンドラとマンドセロ、マンドリンとマンドラの軽快なリズムの掛け合いが特徴的です。 親しみやすいメロディは年代を問わず愛されており、思わず口ずさみたくくなるような一曲です。</p>	
流星群	末廣健児 作曲
<p>始まりは静かな夜空を感じさせます。 そこに次々と流れ星が流れるかのように各パートが重なり合い、素敵な響きを奏でます。曲中で繰り返されるメインメロディは、聴く人を包んでくれるような優しい曲調が魅力です。 中間部は前半の緩やかな流れとは変わり、次第に軽快なテンポへと移ります。裏で斜む3連や6連符のリズムが、メロディと合わさることにより心地よいハーモニーを織り成すところは、この曲の聴きどころとも言えるでしょう。 そして柔らかなギターからのsoliから、神秘的なマンドリン、マンドラ、マンドセロのsoloを受け、曲はフィナーレへと向かいます。後半の柱大さはまさに流星群。この曲を物語っています。 夜空いっぱい流星群を思い浮かべながらお聴き下さい。</p>	

※ ※ 第2部 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

リベルタンゴ Astor Piazzolla 作曲、平井朗 編曲

作曲家アストル・ピアゾラは、南アメリカ大陸南部に広がる情熱の国、アルゼンチン共和国に生をうけました。バンドネオンを巧みに操り、奏者としてだけでなく作曲家としても彼は頭角を現してゆきます。ピアゾラは、その類稀なる才能をふんだんに散りまわした音楽作品を次々と発表しましたが、それら数々の楽曲の中で最も一般的に親しまれている作品が、本曲「リベルタンゴ」です。今回はマンドリンオーケストラに馴染む様に編曲を施された「リベルタンゴ」を皆様にお届け致します。情熱的な、自由なタンゴのリズムを心ゆくまでお楽しみ下さい。

セレナーデ風ガボット Amedeo Amadei 作曲

本曲「セレナーデ風ガボット」(原題: Gavotte Serenade)は、簡素な構成ながら非常に豊かな表情を紡ぎ出すロンド形式の楽曲です。ロマンティックなAndanteから曲は始まり、華やかなメロディが歌い上げられ、快活なGavottaに移ってゆきます。小気味良いテンポで刻まれるギターの伴奏と共に、楽しいガボットが展開され、やがて1stマンドリンと2ndマンドリンが織り成す田園的なTrioへと転じてゆきます。ころころと盛んに表情を変え、小品ながら聴衆を驚かさせない作りとなっている本曲は、多数あるアマデイの曲の中でも指折りの佳作と言って差し支えないでしょう。

めぐる季節 高橋太志 作曲

私たちの暮らすこの小さな島国には、四季があります。それは常日ごろから本当に何気なく、しかし確かに私たちの肌に触れている事象なのですが、余りにも身近なものに感じてしまうものなのか、「四季」の繊細な変化を日々はっきりと実感している日本人は意外と少ないようにも思えます。本曲「めぐる季節」は、四季、すなわち春夏秋冬の移ろいを非常に明快なメロディによって巧みに表現したマンドリンオーケストラ曲です。その全体的な親しみやすさやフレーズ的美麗さに、今まで数多くのマンドリンオーケストラが魅了され、繰り返し演奏されてきました。清々しい春から1年が始まり、快活な夏、愁いを帯びた秋、厳しい冬を経て、再び季節は新しい春へと輪変わりしてゆきます。変わりゆく四季折々の趣を味わいつつ、それぞれの季節に抱く様々な印象を思いめぐらせながらお聴き頂ければ幸いです。

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

組曲「風の大地」 加賀城浩光 作曲

本曲は4つからなる組曲で、マンドリンを抱えて大陸を旅するイメージで作られています。 “大草原の真ん中でマンドリンを奏でると、遠い昔からの地で愛されてきた民族楽器のように思えてきます。そして、その音は人が忘れてしまった事を思い出させてくれます。自然とのハーモニー。大地の風に運ばれない事がこの地で生きていく条件なのかもしれません。人も自然は自然に帰っていくものですから・・・。”(作曲者記より) 最初に訪れる地は砂漠です。砂塵が捲き中、枯れ果てた砂漠に咲く花を探す旅をします。第1楽章「砂漠の花」は不気味な静けさを感じさせるsoloで始まり、soloが終わると突然砂塵の舞う過酷な砂漠へと変わります。中間部は風が止んだかのように穏やかなテンポで曲が流れていき、終盤で再び砂塵が吹き荒れます。続いては草原に向かいます。第2楽章「草原の遠方へ」では曲全体を通して、マンドリンの優しいメロディが印象的です。見渡す限りの草原が心地よい風にゆらゆらと揺れているような、そんな自然の風景が感じられます。 第3楽章「遊牧の歌」は旅人と遊牧民の出会いが描かれているようです。序盤から中間部は活気が溢れ軽快なテンポで曲が進んでゆき、遊牧民の陽気な雰囲気や大自然で生き抜く力強さが想像されます。終盤はゆったりとしたメロディで、自然の中でのんびりと移ろす情景や旅人をもてなす思いやりが感じられます。 そして最後に、自然のうねりや荒々しさを表現するかのような第4楽章「風の大地」で大陸の旅を終結します。

劇的序曲 Arrigo Cappelletti 作曲

作者はイタリアのココモに生まれ、同地で没した作曲家。本曲「劇的序曲」は、1913年、イルプロット誌主催の作曲コンクールで位を獲得した。オーケストラのために作曲したものをマンドリン合奏に書き直したという。 曲はマンドリンとマンダラの鮮やかなメロディで始まる。重々しい低音と重なり合い、尋常ならざる雰囲気を感じ出す。重厚感あふれる冒頭は必ずや、皆様に強烈なインパクトを与えることだろう。 Allegro vivaceからの第1主題は、シンコペーションが印象的に使われている。暗く、狂おしい雰囲気を感じたい。 第2主題は優しく穏やかな1stマンドリンのメロディで始まる。だんだんと明るく、壮大に展開してゆくメロディと、低音群の織りなす美しい和音の響きを楽しんで頂きたい。 第1主題の展開部、第2主題の再現部を経て、曲は高まりながらクライマックスへと向かう。 初期の手写譜には「欲望の翼にのって」と題するモチーフが「劇的序曲」のタイトルに添えられている。 欲望とは何なのか。 手に入れたという強い気持ち。抑制しなければならぬという苦悩。相反する思いが私を苦しめる。欲望は生きるための糧である。同時に解放されたいとも願う。欲望に屈辱されながら、私達は今日も生きていく。

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

ステージメンバー

駒ヶ野大学 法政大学工学部

- | | | |
|---------------------|-------------------------|-------------------|
| Conductor | Concert mistress | Mandola |
| I部 長谷部 麻実 | I部 杉山 恵理 | 池田 直樹(法4・風) |
| II部 乙幡 遼悟 | II部 大橋 早帆 | 相川 みのり(駒3) |
| III部 後藤 一成 | III部 青木 佐和 | 乙幡 遼悟(駒3・駒) |
| 根岸 成美 | 高野 亜由 | 中里 彩乃(駒3) |
| 1st Mandolin | 2nd Mandolin | 望月 大樹(駒3) |
| 高野 亜由(駒4・駒) | 島居 恵(駒4) | 渡辺 信平(法3) |
| 青木 佐和(法4・風) | 是常 崇(法4) | 川上 江里子(駒2) |
| 大橋 早帆(駒3) | 冨永 武志(法4) | 久我 秀平(駒2) |
| 和田 千夏(駒3) | 吉田 祐太(法4・風) | 島田 清風(駒2) |
| 杉山 恵理(法3) | 土居 秋桜子(駒3・駒) | 小野 智宏(法2) |
| 長谷部 麻実(法3) | 松永 和貴(駒3) | 小池 静香(駒2) |
| 近藤 夕華(駒2) | 箕川 由理佳(法3) | 金丸 峻士(法2) |
| 宮下 康平(駒2) | 会田 峻介(駒2) | |
| 新井 香織(法2) | 小栗 直樹(駒2) | |
| | 小池 静香(駒2) | |
| | 金丸 峻士(法2) | |
| Mandocello | Guitar | Contrabass |
| 阿河 弘晃(駒4・駒) | 根岸 成美(駒4) | 矢野 真美子(駒4・駒) |
| 平岡 瑠美(駒4) | 石塚 歩美(法4) | 丸山 阿弓(法4・風) |
| 後藤 一成(法4) | 高橋 千咲(法4・風) | 石毛 貴子(駒2) |
| 永田 俊介(法4・風) | 田原 遼(法4) | 長岡 祐希(法2) |
| 眞壁 亜由美(法4) | 松山 歩(法4) | |
| 小林 雅弘(駒3) | 櫻井 拓実(駒3・駒) | |
| 野口 啓太郎(駒3) | 茂呂 亮寛(法3) | |
| 山崎 慎子(法3) | 太田 達彰(駒2) | |
| 大熊 寿々加(駒2) | 佐藤 雄太(駒2) | |
| 渡辺 大(駒2) | 中田 瑛(駒2) | |
| 山村 和也(法2) | 西内 芳伯(駒2) | |
| | 福原 拓海(駒2) | |
| | 間野 南美(駒2) | |
| | 井坂 珠也(法2) | |
| | 鈴木 彬(法2) | |

風…風の大地 トッ
劇…劇的序曲 トッ

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

パート紹介



Mandola Tenor



Mandolon Cello



-8-

Guitar



Contrabass



-9-

Conductor



駒澤大学ギターマンドリン倶楽部
第42回定期演奏会
2012年11月24日(土)
彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

法政大学工学部マンドリンクラブ
第49回定期演奏会
2012年11月30日(金)
三鷹市芸術文化センター 風のホール

-10-

法政大学工学部マンドリンクラブ
部長 渡辺 信平
会計 山崎 禎子
ステージマネージャー 杉山 恵理
パンフレット 箕川 由理佳

駒澤大学ギターマンドリン倶楽部
部長 野口 啓太郎
副部長 大橋 早帆
会計 小林 雅弘
ステージマネージャー 土居 秋桜子、松永 和貴
広報 平岡 瑞美、中里 彩乃
望月 大樹、間野 萌美

アナウンサー 白百合女子大学放送研究会 土橋衣梨香
表紙 早川 夏実

-11-

**東京家政大学&法政大学工学部
マンドリンクラブ
ジョイント・コンサート**

日時 2013年5月6日(月)
開場 17:30 開演 18:00
会場 彩の国さいたま芸術劇場
音楽ホール

ご挨拶

法政大学工学部 部長 井坂 琢也
 本日は、お忙しい中私たちのジョイントコンサートにお越し頂き誠にありがとうございます。
 今回の演奏会は家政大学の皆様とご一緒させて頂き、短い期間ではありましたが練習方法や曲に対する考え方など部にとって良い刺激となりました。
 また、今年は工事で練習場所が確保できないという時期もありましたが、様々な方々の協力によって本日を迎えることができました。
 この日のために、一生懸命練習を積み音楽を作り上げてまいりました。今まで練習してきた成果を出し、音にのせた思いをご来場いただきましたお客様に届けられ、楽しんでもらえたら幸いです。
 最後にになりましたが、ジョイントコンサートを開催できたことをうれしく思うとともに、演奏会を開くにあたり、ご協力頂いた関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

東京家政大学 部長 川 果蓮
 本日はお忙しい中、東京家政大学・法政大学工学部マンドリンクラブジョイントコンサートにご来場頂き誠にありがとうございます。
 本日の演奏会をむかえるにあたり限られた時間の中で、両校での練習、合宿を通してお互い成長しあいながら練習に動んで参りました。そして、このメンバーで今日という日をむかえられたことに感謝致します。
 不慣れた演奏ではありますが、皆さんと素敵な時間を過ごすように部員一同、精一杯演奏致しますので、どうぞお楽しみください。
 最後にになりましたが、本日ご来場頂いた皆様、演奏会開催にあたってご協力頂いた各方面の方々に心より御礼申し上げます。



-1-

プログラム

第Ⅰ部	法政大学工学部
Desert Rose	武藤理恵 作曲
杜の鼓動 -魂の還る場所-	丸本大悟 作曲
狂詩曲「海」	鈴木静一 作曲
第Ⅱ部	東京家政大学
カシアーナの温泉 (Bagni di Casciana Marcia)	G.Manente 作曲 中野 二郎 編曲
ウェールズの賛美歌に基づく3つの前奏曲より 「ロージメドル前奏曲」	Vaughan Williams 作曲 長谷川武宏 編曲
風の印象詩 -Impression of wind-	細野昭美 作曲
第Ⅲ部	二校合同
虹彩	丸本大悟 作曲
EUREKA	石川淳 作曲

-2-

曲紹介

第Ⅰ部

Desert Rose 武藤理恵 作曲

この曲は同名の天然石ではなく、本当に砂漠に咲いたバラをイメージして作曲されたようです。
 「妖しげに始まるギターの前奏は砂漠に眠るバラを呼び起こす。眠りから覚めたバラは、一夜限りの美しい花を咲かせる。人知れず・・・」(作曲者ブログより引用)
 この曲には2種類のメロディ、憂いを帯びたような美しいもの、歡び踊るようなものがあります。バラはなぜそのような歌うのか、その心情を想像しながら聴いていただけたらと思います。

杜の鼓動 -魂の還る場所- 丸本大悟 作曲

「杜の鼓動」は1楽章「櫻の風景」、2楽章「魂の還る場所」、3楽章「街の灯」の全3楽章から構成される組曲です。いずれも様々な姿の「森」を描いたもので、本曲「魂の還る場所」は神社や寺院の周りの森がモチーフとなっています。
 神秘的な自然と人の調和をイメージさせる美しい旋律をお楽しみください。

狂詩曲「海」 鈴木静一 作曲

平穏な日の海の情景を描いたこの曲は、朝日に輝きながら後退していく「ひき潮」の美しく優しいメロディからはじまります。
 しかし、海は一変して怪しげな表情をみせると瞬間に牙を剥いたように激しくうねりながら盛り返します。「あげ潮」は磯を打ち力強い海を表します。
 そして、穏やかで夕日が沈む「満潮」がおとずれると海は再び荒れていきます。そんな様々な海の様子をイメージしつつお聴きください。

-3-

第Ⅱ部

カシアーナの温泉 (Bagni di Casciana Marcia)
G.Manente 作曲 中野 二郎 編曲

この曲は、作者のジュゼッペ・マネンテ(1867~1941)が、イタリアのピストイアの音楽学校の教官を勤めていた際、同地のカシアーナ温泉で日々の疲れを癒していた(遊んだ…?笑)思い出を描いた曲です。

元々、吹奏楽用に作曲されており、行進曲(マーチ:Marcia)で2拍子の明るい曲となっています。2年生の中で、明るく、華やかな曲調が2部のオープニングとしてふさわしいのではないかと話がまとまり、この曲を選びました。

単楽隊のマーチ調に、それでいて温泉らしさも伝えていけたらな、と思います。

ウェールズの賛美歌に基づく3つの前奏曲より
「ロージメードル前奏曲」

Vaughan Williams 作曲 長谷川武宏 編曲

この曲は、1920年にイギリスのヴォーン・ウィリアムスによって作曲されました。元々はオルガン独奏曲ですが弦楽や吹奏楽、マンドリン・オーケストラなど幅広く編曲されています。

J.D Edwards(1805-85)という賛美歌の作曲家のメロディーが元になっており、穏やかな美しさと同時に、侘しさや郷愁が旋律から感じられる味わい深い曲となっています。

風の印象詩 -Impression of wind-

細野昭美 作曲

この曲は「風」の持つさまざまな印象を連ねております。冒頭部分では風の持つ「静寂さ」を、マンドリンソロでは「柔和」と「荘厳」を。

Allegro con brioから三拍子となって走り抜けるような「鋭さ」を、その風が落ち着き、移調後では恍惚で穏やかな「暖かい風」になりギターソロを迎え、そして再びAllegro con brioとなって、疾風が吹きフィナーレを迎えます。

様々な風の表情を感じながらお聴きください。

-4-

第Ⅲ部

虹彩

丸本大悟 作曲

自然に見える景色の中で、虹はその鮮やかな色彩、一瞬にして現われ消えてしまう儚さ、空いっぱいに広がる大きさ、一方で小さく、触れることが出来そうなくらい身近にも見ることの出来るとても不思議な存在だと思えます。この曲は私が虹に感じる色彩や想起される感情を曲想としています。

本来は、人間の瞳の色を決定し、目に入る光の量を調節する部分の事を「虹彩」と呼びます。この曲名には虹を見た一人の人間の心象であるという意味を込めました。

作曲者記

EUREKA

石川淳 作曲

タイトルにある「EUREKA」にはギリシャ語で「見つけた、発見した」という意味があります。

この作品は、作曲者である石川淳氏が学生時代にマンドリン曲に対する純粋な想いを込めて作曲したと言われており、曲中からは若々しい力が伝わってくるような場面があります。

そして、何より今を生きている私たちと重なる部分も感じられます。

若いゆえの葛藤、喜び、前に進もうとする力。

出だしの重味のある雰囲気から、ダイナミックに盛り上がりを見せる様子は、まるで人が思い悩み、壁にぶつかりながら、何か答えを見つけて出そうとする姿を表しているかのようです。

本日は部員一同、若い力を発揮し、演奏したいと思います。

ぜひ、この曲の壮大な世界観を感じていただけたら幸いです。

-5-

ステージメンバー

Conductor

I部 金丸 峻士
II部 檜作 美穂子
III部 鈴木 香穂里
長谷部 麻実

Concert mistres

I部 新井 香織
II部 川 果蓮
III部 上田 明希
杉山 恵理

1st Mandolin

上田 明希(家4・虹)
杉山 恵理(法4・E)
川 果蓮(家3)
新井 香織(法3)
金丸 峻士(法3)
竹内 沙樹(法2)
福田 翔大(法2)

2nd Mandolin

神山 亜寿美(家4・虹)
箕川 由理佳(法4・E)
長谷部 麻実(法4)
檜作 美穂子(家3)
川村 菜摘(家2)
菊地 健介(法2)
佐藤 奨弥(法2)

Mandola

松本 安祐美(家4・虹)
近藤 敬帆(家4)
渡辺 信平(法4・E)
小野 智宏(法3)
小松 佑綺(家2)
丸島 千弦(家2)
佐藤 将文(法2)
山口 春菜(法2)
渡辺 彩香(法2)

Mandocello

石川 愛(家4・虹)
山崎 禎子(法4)
渡辺 恵理子(家3)
山村 和也(法3・E)
松岡 美三加(家2)
伊藤 澁佑(法2)
栗山 真帆(法2)

Guitar

鈴木 香穂里(家4)
茂呂 亮寛(法4・E)
井坂 琢也(法3)
鈴木 彬(法3)
山崎 舞(家2・虹)
山中 沙織(家2)
石井 秀門(法2)

Contrabass

長岡 祐希(法3・虹E)
真鍋 真美(家OG)

家…東京家政大学
法…法政大学工学部

虹…虹彩のトップ
E…EUREKAのトップ

-6-

パート紹介

1st Mandolin

♪あっきー すずらん(まれに見る清楚型女子)
♪ぎやまぼら(情熱的に突っ走る型女子)
♪かぬこん わたげ(たんぼぼの進化型=吾村ち天然)



♪かれんちゃん ひまわり(突然笑うDS)
♪かおりん ひまわり(笑顔でごまかすこっぴどい師)
♪さきちゃん つつじ(その辺にはいない変人)
♪ふくちゃん はんじー(あるパラベーターコン男子)
お花いっぱいでお送りいたします
※花粉症の方はご注意ください。

2nd Mandolin

八王子界隈に住む妖精・妹系女子、ゆりちゃんガール！
心は悪を！腹黒い正義のロケラ、あまみん！
史上最も人間に近い神、人間界では花粉症、神ちゃん行進！



♪カクカク 踊ったん女。超然とした天然、みほこ
♪子100%！潜在時変装、なつち、みほこ
♪枚目×ラテン系×幸福×フラグ × タケオブラの
白目白。思慮なき孤高のシロクマ。さとの神

我等、2nd戦隊マンドリンジャー！！

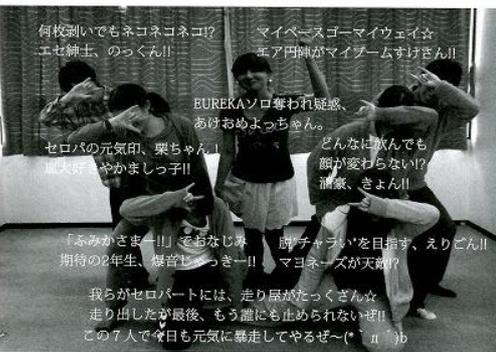
-7-

Mandola Tenor



ドラパートを海洋生物に例えると… わたちゃん(クラゲ)
 はるるん(インゲンチャク) ぼわぼわ系女子なま(けい)しい
 どんな気候にも耐えられる変温動物
 頭強り所さんの癒し系女子
 ぶっさ(カリオホ村) さまら(ラクホ) ぶんぶん(けつが)
 小さいけれど、元氣はつらう! 一部にて初サブトップを
 技術は一番! ドラでは大りに頑張ります!
 あゆみん(伊一子) おのんど(原ノ) 担当します!
 海と川を長距離移動する体力で、 マスコットの保存
 今日も力強く胸に優しくドラを奏でる
 こんこん(イカ) なべちゃん(海豹)
 海苔をこまなく愛する、かわいくて 女子トークならお任せ☆
 優しいイカフライウーマン★ ぬいぐるみを抱くのが好きな努力家

Mandolin Cello



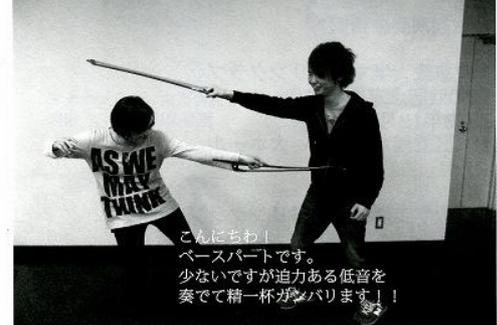
何枚割いてもネコネコネコ? マイベスコーマイウエイ☆
 エセ紳士、のつくん!! 五ア円陣がマイブームすげさん!!
 EUREKAソロ奪われ疑惑、
 あげおめよっちゃん。
 セロパの元気印、栗ちゃん! どんなに歌んでも
 顔が変わらない?!
 誰か、きよん!!
 「ふみかさまー!!」を新なじみ 牌「チャライ」を目指す、えりごん!!
 期待の2年生、爆音ビョッキー!! マコネーズが天降!!
 我らがセロパートには、走り屋がたっくさん☆
 走り出したが最後、もう誰にも止められないぜ!!
 この7人で毎日元気に暴走してやるぞ~(*´`n´b)

Guitar



こんにちは。ギターパートです。
 (メンバー)
 エド→特技:ものまね*レパートリー多数
 スナブ→特技:ドラゴン速歩き
 キャプテン→特技:単位落とす
 先生→特技:カラスのものまね (ええ声)
 あつき→特技:カラス (ノーマル)
 もろ→特技:カラス (風邪ぎみ)
 フモさん→特技:光合成
 こんなギタパをよろしくね♪

Contrabass



こんにちは!
 ベースパートです。
 少ないですが迫力ある低音を
 奏でて精一杯がんばります!!

Conductor



かねごん☆ みほこ☆
 ばばばーばー ばばばーばー ユニークな天然さんだよ!
 あさみん☆
 「それ以上言ったら今度1人で葬らせるからね」
 アッキーラ☆ らもさん☆
 クールなイケメン伊右衛門侍 茶目っ気たっぷりな家政の大黒柱

◆次回演奏会情報

東京家政大学マンドリンクラブ
 第50回記念定期演奏会
 2013年12月14日(土)
 台東区立浅草公会堂 大ホール

法政大学工学部マンドリンクラブ
 第50回記念定期演奏会
 2013年11月23日(土)
 府中の森芸術劇場 ウィーンホール

役職

法政大学工学部マンドリンクラブ
 部長 井坂 琢也
 会計 新井 香織
 ステージマネージャー 鈴木 彬
 パンフレット 小野 智宏
 企画文連 長岡 祐希
 関マン 山村 和也

東京家政大学マンドリンクラブ
 部長・パンフレット 川 果蓮
 会計 渡辺 恵理子
 コンダクター 椿作 美穂子

アナウンサー 白百合女子大学放送研究会 鯉川 英香
 表紙 川 果蓮



目次

- 部長挨拶
- プログラム
- 曲紹介
- Stage Member
- パート紹介



本演奏会は CD 作成のために録音をしています。
 他のお客様へのご迷惑や演奏の妨げになりますので、演奏会中の会場内の出入り、撮影および録音、飲食はお控えください。
 また、携帯電話の電源をお切りになるか、マナーモードの設定をお願い致します。

部長挨拶

本日は法政大学・法政大学工学部マンドリンクラブジョイントコンサートにお越しいただきまして、誠にありがとうございます。

今年3年ぶりとなる「オール法政」でのジョイントコンサートということで、同じ大学に所属する者同士、共に練習に励み、時に互いの技術を教え合いながら成長してきました。また、その過程を通して交流を深め、クラブの趣いを結んだ「ひとつの楽団」となることができたと感じています。

第Ⅰ部では部員14名の少数精鋭部隊である私たち法政の演奏を、第Ⅱ部では工学部さんの洗練された美しいメロディを、そして第Ⅲ部では法政としてひとつとなった両クラブの一体感溢れる演奏をお届けします。

最後になりましたが、本日まで準備いただいた皆様、私たちの演奏会のために尽力して下さった関係者各位の皆様には心から感謝申し上げます。

法政大学マンドリンクラブ 部長 宮本悠生

本日はお忙しい中、法政大学・法政大学工学部マンドリンクラブジョイントコンサートにご来場いただき、誠にありがとうございます。

私たちは互いに学び合い、限られた時間ではありましたが、技術を向上させ曲を仕上げました。

第Ⅰ部・第Ⅱ部では各校それぞれの色鮮やかなメロディをお楽しみください。第Ⅲ部では、同じ法政大学で学ぶもの同士ということもあり「初めから一つのマンドリンクラブだったのでは？」と思えるほどの一体感をお楽しみください。

最後になりましたが、本日まで準備くださった皆様、今回の演奏会を開催するにあたってご協力くださいました関係者の皆様には心から御礼申し上げます。

法政大学工学部マンドリンクラブ 部長 清水美穂子



プログラム

第Ⅰ部 法政大学ステージ

セイリング・デイ - 出航 - 作曲:遠藤秀安

映画「ティファニーで朝食を」より ムーンリバー 作曲:Henry Mancini 編曲:武藤理恵

英雄行進曲「イタリア」 作曲:Amedeo Amadei

桜色の幻影 作曲:末廣健児

第Ⅱ部 法政大学工学部ステージ

組曲「錦川の風景」より

- I. 生命を育む森
- II. 水辺で遊ぶ子どもたち
- III. 紅葉の反映 作曲:末廣健児

夜空への回想曲Ⅱ～花火の煙めき～ 作曲:中崎智大

第Ⅲ部 二校合同ステージ

雲の行方 Phantasmal Overture vol.2 作曲:柴崎利文

星のしずく -空への扉- 作曲:丸本大悟

曲紹介 第I部

セイリング・デイ-出航- 遠藤秀安

遠藤秀安氏により作曲されたこの曲「セイリング・デイ」は、「船出の日」をモチーフとしていて、これから新しいことが始まるんだ！そんなワクワクした楽曲になっています。
また、各楽器の役割がはっきりとしていて、聴いていて、そして弾いていて楽しい楽曲となっています。

映画「ティファニーで朝食を」より ムーンリバー

Henry Mancini

この曲は、映画「ティファニーで朝食を」の劇中曲としてオーディー・ヘブバーン演じるホリー・ゴットフリーが歌ったことで有名です。

作曲者のヘンリー・マンシーニ氏はこの曲を、自分の子供の頃をイメージしながら作曲したそうです。

子供時代のあの頃に戻れますように、というささやかな願いのようなものを感じられる曲となっています。

英雄行進曲「イタリア」 Amedeo Amadei

A. Amadei 氏の楽曲として有名なこの曲は、行進曲と題するように、堂々とし、また快活に始まりますが、中間部では1stと2ndの掛け合いにより優雅な一面も感じられる楽曲となっています。

また、ギターのリズムがより優雅さを表現してくれるのでそちらにも耳を傾けてみてください。

桜色の幻影 末廣健児

この曲は、その題に幻影とあるように、全体を通して消え入るようなフレーズが多く、少し物悲しさを感じる曲となっています。

作曲者の末廣健児氏はこの曲で、春の時期に訪れる別れ、散っていく桜の花びら…そういった春の移り変わりを表現しているように思いました。

第III部

雲の行方 Phantasmal Overture vol.2 柴崎利文

本作品は、柴崎利文氏が大学4年時の1999年に行われた関東学生マンドリン連盟卒業演奏会で、彼の指揮で初演されました。

作品のモチーフとなったのは、青空に浮かぶ白い雲、嵐の前広がる曇り雲、月にかかる灰色の雲といった様々なタイプの雲です。彼は、少年の頃から雲を眺めているのが大好きでした。そして、「あの雲はどこから来たのか、どこへ行くのか自分でも知らない。でも、遠くへ遠くへと旅を続けている」という思いを持ち続けていました。本作品には、そうした子供の頃からの複雑な感情が投影されています。

曲構成は、大まかには主題Ⅰ提示(緩)→主題Ⅱ提示(急)→主題Ⅰ変奏(緩)となっています。全体を通じて何度も登場する主題Ⅰでは、「流れ行く雲」を表現することで、卒業を控えた彼自身の懐かしさと不安を投影しています。主題Ⅱでは一転して、大学時代に経験した苦悶や喜びを描いています。終曲部に登場する主題Ⅰ変奏は、彼を含めた卒業生全員の未来への讃歌です。

卒業生を送り、新入生を迎えた私たちにとって再出発の春にふさわしい曲となっています。ぜひ、力強くエネルギッシュな演奏をお楽しみください。

星のしずく-空への扉- 丸本大悟

星の光ははるか遠い場所から、とでもとても長い時間をかけて私たちの下へと届くと言われております。その光はどこで生まれ、どんな軌跡をたどってここまで降り注いでいるのか。

この曲は冒頭部分、マンドラチネールから始まる小さなメロディが星の光を一粒一粒表現し、まるで星が降っているかのように感じられることでしょうか。中盤でのマンドラチネールから始まるメロディはやがて、すべてのパートを巻き込み、大きな波を引き起こします。それは、星の光の軌跡を描き、様々な星の流れの様子を表現しているかのようです。終盤では、全パートから奏でられるメロディにより、壮大なフィナーレを迎えることとなります。

今演奏会のトリを務める「星のしずく-空への扉-」。
どうぞ最後までお楽しみいただければ幸いです。

第II部

組曲「錦川の風景」より

I. 生命を育む森 II. 水辺で遊ぶ子どもたち III. 紅葉の反映 末廣健児

本作品は、作曲者が幼少期に育った山口県美和町の美しい自然と風景を描写した作品で、2017年に行われた岩国マンドリンオーケストラの第60回定期演奏会で初演されました。1楽章から5楽章を通して四季を表現しており、錦川の自然豊かな情景を思い浮かべることが出来ます。

本来、本作品はティンパニやシンバルなど多数の打楽器を伴う大編成の曲ですが、本演奏では弦楽器のみで3楽章までの演奏となります。

是非、作曲者の描いた錦川の風景を想像しながらお聴きください。

夜空への回想曲Ⅱ～花火の煌めき～ 中崎智大

今回演奏する「夜空への回想曲Ⅱ～花火の煌めき～」は、マンドリン曲として作られた「夜空への回想曲」シリーズの第2楽章にあたる作品となっています。

初めの小さな光は次第に数を増し、色形さまざまな花火を夜空へと映し出します。そこには花火だけではなく、それを見ている人の気持ちも映し出されていることでしょう。打ち上げられ、華々しく消え去るまでの花火独特の情景を、マンドリンを通してお楽しみいただければと思います。

Stage Member

Conductor

I部 田中 幸次郎
II部 谷原 侑馬 柴山 光歩
III部 斉藤 衣莉 菊田 大輝

Concert master and mistress

I部 宮本 悠生
II部 小川 実穂 宮内 みずほ
III部 山崎 由貴 山崎 航野

Mandolincello

飯島 啓介 (法政4年)
*II部のみ
片桐 光 (法政4年)
*I部のみ
土生 樹也 (法政4年)
*III部のみ
新井 亜美 (法政3年)
清水 美那子 (法政3年)
浅井 志織 (法政2年)
*I部のみ
久保 慶太 (法政2年)
中川 翼 (法政2年)

Guitar

斉藤 衣莉 (法政4年)
小山 希実子 (法政4年)
*I部のみ

Mandolin

山崎 由貴 (法政4年)
小川 理紗 (法政4年)
山崎 航野 (法政4年)
宮本 悠生 (法政3年)
小川 実穂 (法政3年)
宮内 みずほ (法政3年)
大隈 杏莉 (法政2年)
島谷 彩香 (法政2年)
北村 健太郎 (法政2年)
猿田 昂 (法政2年)
鈴木 孝啓 (法政2年)
森下 勝太 (法政2年)

Mandola Tenor

小野 達也 (法政4年)
長谷 直美 (法政4年)
菊田 大輝 (法政4年)
谷松 希香 (法政4年)
梅本 真衣 (法政3年)
柴山 光歩 (法政3年)
飯盛 晴葉 (法政2年)
中村 力 (法政2年)
平井 萌花 (法政2年)

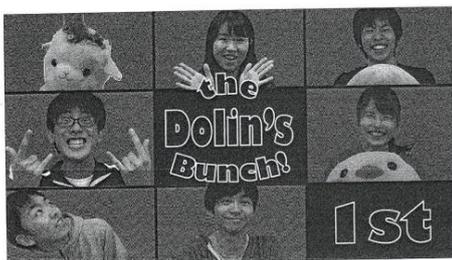
谷原 侑馬 (法政3年)
星野 謙斗 (法政3年)
松原 陸 (法政3年)
中村 拓都 (法政2年)
川野 慎治 (法政2年)
西原 佑真 (法政2年)
山本 裕士 (法政2年)

Contrabass

田中 幸次郎 (法政3年)
小野田 圭織 (法政3年)
工藤 皓輝 (法政2年)

パート紹介

Mandolin1st



- 山崎 由貴：後輩思いのとても優しい先輩。その優しい音色で合奏中寝ちゃうひとも！
 山崎 航野：星だ！コロニーだ！いやザキ先輩だー!! ドリンバの頼れるおとうさんここに見参！
 小川 実穂：いつも笑顔な優しい先輩！その裏に隠した知られざる一面とは…。リソな先輩！
 北村 健太郎：最近ベースに浮気気味！？2年ドリンの最強エース！きたけーん!!
 猿田 昂：ポケモンにうるさいカントー地方出身のかいパンやろう。目指せトレモロマスター！
 鈴木 孝啓：女子力高め系雄魚キャラ。料理、洗濯、演奏なんでもやります！ええやりますとも!! ずっきー!

Mandola Tenor



- 小野 遼也：ドラに熱い。夢はドラの音を存分に響き渡らせてエモく弾けるエモゴリラを育てることだそう。そんな先輩はエモゴリラ第一号(？)
 長谷 直美：たくさん笑ってください(笑)パートの先輩としても女性としても憧れる素敵なお姉さんの存在です!!
 菊田 大輝：指揮者として曲を作り上げ、後輩へのサポートも忘れない。その姿はHTMCの大黒柱。
 谷松 希香：4年ドラパートの優しくて可愛い先輩。バイオリン経験者で、ドラの指使いがとっても綺麗!
 梅本 真衣：去年秋からHTMCに加入した新戦力。破竹の勢いで上達している。
 柴山 光歩：HTMCの愛されキャラ。最近アイディンティティのメガネを捨ててコンタクトになった。
 飯盛 晴菜：癒しキャラと言われるけど私だって本当は癒されたい()今年もゆるくドラに奮闘していきたいと思います!
 中村 力：2年ドラパートの力持ち。胸にしていると感じる謎の安心感が魅力!
 平井 萌花：HTMC 2年の紅一点にして学年内の影のリーダー。

Mandolin2nd



- 小川 理紗：いるだけで安心感をもたらしてくれる。クールとキュートさを持ち合わせているドリンの女神的な存在。がわお先輩！
 宮本 悠生：部長職以外にも役職を3つ掛け持ちし、ブラック企業にも負けない労働で最近お疲れのご様子。高音域の早弾きがとても綺麗。
 宮内 みずほ：いつも優しい笑顔でパートを癒してくれる。しかし演奏中は力強い演奏でみんなを引っ張ってくれる!! ゆずほ先輩!
 大隈 吉莉：先輩が卒業し、ドリンパート主力になり始めたことで先輩の偉大さをひしひしと感じている。一言一言しっかり出るのが強み。
 島谷 彩香：一年かかってようやくまともなトレモロを習得し始めた気がする。最近左手身に怪我を負いすぎているので誰か何とかして欲しい。
 森下 勝太：夏休みからの参戦！メトロを耳に付けて練習する。得意技は力強い腕から繰り出される爆音。

Mandolincello



- 飯島 啓介：謎を呼ぶ法政さんのセロバを構成する1人。ジョイントを1人で受け持つ胆力がある一方、楽譜を忘れるお茶目な一面も…?
 土生 樹也：紅茶とプログラミングを嗜むクールな男、しかし内に秘めたセロ魂は誰よりも熱い！セロバ最強の男が待望の緊急参戦!
 新井 亜美：パート練を穏やかな雰囲気で包むセロバの良心。例えるならスミレの花の様に、お淑やかな佇まいで山の崖にも生える芯の強さも持ち合わせてる。プレない強さは剣道経験からか…?
 清水 美那子：日夜黒猫系有名ゲーム実況者の普及に燃える若き部長、着々とファンを増やしてららしい、部員全員が視聴者になる日も近いかも…?
 久保 慶太：緑色のエプロンと三角巾に身を包み、日夜まいばすけっとで働くバイト戦士。日タスギとヒノキとハウスダストに悩まされ年中箱ティッシュを装備している。鼻かみが久用でしたら私にどうぞ。
 中川 翼：マンドリンクラブ2年の参謀役、テスト前に彼の世話になった人は救れず…。ユーモアのある一面もあり、頭が良くて面白いので最強である。

法政大学工学部マンドリンクラブ
駒澤大学ギターマンドリン倶楽部

ジョイント コンサート

～Program～

〈星の航路〉Phantasmal Overture vol.5
作曲:柴崎利文

海辺の時計台
作曲:青山涼

劇的序曲
作曲:A.Cappelletti

他

入場無料

2021.5.2(sun)
13:30 open 14:00 start

場所:小金井 宮地楽器ホール 大ホール
アクセス
JR中央線 武蔵小金井駅南口より徒歩1分

法政大学工学部マンドリンクラブ
公式Twitter

駒澤大学ギターマンドリン倶楽部
公式Twitter



ご来場の皆様へ

○演奏会当日のご案内

以下の点にご理解・ご協力をお願いいたします。

- ・体調の優れない方のご来場はお控え下さい。
- ・入場の際に検温を致します。
- ・マスクの着用、咳エチケット、手指の消毒にご協力下さい。
- ・演奏会前後のロビー等でのご歓談はお控え下さい。また、終演後の出演者との面会も行いません。
- ・感染症対策のため、差し入れはお断りさせていただきます。

○事前登録のお願い

新型コロナウイルス感染症対策の為、ご来場いただく方の連絡先を収集させていただいております。下記URLまたはQRコードよりご登録をお願いいたします。

なお、ご登録いただいた情報に関して、

1. ご登録いただいた情報は、新型コロナウイルスの感染が発覚した場合に保健所等の公的機関に提出する可能性があります。あらかじめご了承ください。
2. 利用目的の達成に必要な範囲内で適正に個人情報を取り扱うとともに、利用目的以外での利用はいたしません。
3. 収集した個人情報は演奏会終了後2か月間保管し、期間が経過しましたら適正に処分いたします。

何かご不明な点がございましたら、下記問い合わせ先までお問い合わせください。

〈事前登録フォーム〉
<https://forms.gle/AvgiJ8dHwfdWVxP08>

お問い合わせ

○法政大学工学部マンドリンクラブ
Twitter: @htmcMandolin
Mail: htm2006@hotmail.co.jp

○駒澤大学ギターマンドリン倶楽部
Twitter: @kgmc_mandolin
HP: <https://kgmc-mandolin.jimdofree.com/>

感染症拡大状況によって、開催方法の変更や開催中止の判断をすることがございます。あらかじめご了承ください。演奏会の最新情報はTwitterにて発信いたしますのでご確認ください。




IV 資料室

5. OB/OG 名簿

【OB/OG 会員名簿】

項番	氏名	旧姓等	期	入学年度	項番	氏名	旧姓等	期	入学年度
1	今田 安津子	旧姓:志村	1	1961	61	佐野 修		6	1966
2	竹本 雅胤		1	1961	62	小川 清彦		6	1966
3	菊池 隆		1	1961	63	前畑 繁人		6	1966
4	牛久保 忠男		1	1961	64	北島 修		6	1966
5	栗田 隆弘		1	1961	65	有元 年春		6	1966
6	笹森 竣		1	1961	66	杵村 優一郎		7	1967
7	島貫 勉		1	1961	67	塩見 清春		7	1967
8	野澤 清		1	1961	68	関口 幾朗		7	1967
9	菊池 紋子	旧姓:花崎	2	1962	69	栗原 武		7	1967
10	小林 健一郎		2	1962	70	五反田 利幸		7	1967
11	三浦 安夫		2	1962	71	綱川 日出夫		7	1967
12	阿部 金次郎		2	1962	72	佐藤 正		7	1967
13	細川 佳秀		2	1962	73	手塚 先人		7	1967
14	市野川 進		2	1962	74	清水 正明		7	1967
15	大野 忠		2	1962	75	川口 正博		7	1967
16	井上 健		3	1963	76	八木 憲夫		7	1967
17	志賀 貞生		3	1963	77	北垣 信二		7	1967
18	小泉 晴雄		3	1963	78	伊藤 康雅		8	1968
19	松尾 信之		3	1963	79	榎本 隆司		8	1968
20	星野 芳晴		3	1963	80	塩田 正		8	1968
21	袖山 繁義		3	1963	81	岡島 省三		8	1968
22	多田 文嗣		3	1963	82	栗原 年男		8	1968
23	田辺 雅俊		3	1963	83	吾妻 孝信		8	1968
24	小松 清		4	1964	84	坂東 照夫		8	1968
25	椎名 民夫		4	1964	85	山内 文雄		8	1968
26	白井 吾郎		4	1964	86	川村 純一郎		8	1968
27	井口 健司		4	1964	87	増田 芳住		8	1968
28	吉野 繁		4	1964	88	澤山 常清		8	1968
29	山崎 秀良		4	1964	89	入江 博		8	1968
30	市倉 皖示		4	1964	90	鈴木 幸一		8	1968
31	酒巻 正紀		4	1964	91	岩崎 清		9	1969
32	小原 林太郎		4	1964	92	根本 栄子		9	1969
33	杉原 英之		4	1964	93	根本 順一		9	1969
34	瀬川 昌充		4	1964	94	三田 勝		9	1969
35	大和 明		4	1964	95	山崎 政晴		9	1969
36	沢端 司郎		4	1964	96	山中 正博		9	1969
37	椎名 康之		4	1964	97	小出 行雄		9	1969
38	谷村 一男		5	1965	98	小野 精一		9	1969
39	遠山 周二		5	1965	99	小林 和男		9	1969
40	古木 良夫		5	1965	100	松田 正明		9	1969
41	山内 治夫		5	1965	101	森井 誠治		9	1969
42	貝出 賢司		5	1965	102	森下 和夫		9	1969
43	原 卓雄		5	1965	103	神永 哲士		9	1969
44	広田 稔		5	1965	104	杉山 豊枝	旧姓:伊藤	9	1969
45	佐藤 秀夫		5	1965	105	田作 好司郎		9	1969
46	桜井 幸雄		5	1965	106	徳江 健一		9	1969
47	桜井 慎一		5	1965	107	内藤 泰明		9	1969
48	山下 稔		5	1965	108	縄 恭一		9	1969
49	小澤 仁		5	1965	109	広津 真理子		10	1970
50	松本 光緒		5	1965	110	高橋 敏弘		10	1970
51	大塚 敏紘		5	1965	111	斎藤 忠男		10	1970
52	中西 章雄		5	1965	112	山辺 幹雄		10	1970
53	上野 仁		6	1966	113	松原 和雄		10	1970
54	吉原 重雄		6	1966	114	川上 良一		10	1970
55	下村 聡		6	1966	115	早津 牧子	旧姓:武田	10	1970
56	関口 正順		6	1966	116	大屋 茂喜		10	1970
57	丸茂 勝彦		6	1966	117	塚田 好夫		10	1970
58	栗田 誠		6	1966	118	榎木 喜章		10	1970
59	五十嵐 優		6	1966	119	劉(林) 淑恵		10	1970
60	荒谷 重治		6	1966	120	鈴木 繁		10	1970

項番	氏名	旧姓等	期	入学年度	項番	氏名	旧姓等	期	入学年度
121	遠藤 弘行		11	1971	181	安藤 武		17	1977
122	小川 正晴		11	1971	182	井手 祐二		17	1977
123	北島 昭一		11	1971	183	角張 通		17	1977
124	堀田 秀男		11	1971	184	吉武 寿雄		17	1977
125	藁田 順一		11	1971	185	久保田 明		17	1977
126	久富 柳次		12	1972	186	国井 和巳		17	1977
127	宮崎 正新		12	1972	187	黒江 真一郎		17	1977
128	宮林 毅		12	1972	188	山下 和彦		17	1977
129	五十嵐 修		12	1972	189	小山 実		17	1977
130	坂野 一之		12	1972	190	神原 利幸		17	1977
131	松原 清美		12	1972	191	川島 一廣		17	1977
132	石月 治義		12	1972	192	大沼 正幸		17	1977
133	渡辺 寛		12	1972	193	渡辺 充		17	1977
134	藤野 博之		12	1972	194	馬淵 邦夫		17	1977
135	澤本 幸雄		12	1972	195	鈴木 整		17	1977
136	鵜飼 治朗		13	1973	196	渥美 晃一		18	1978
137	臼井 良明		13	1973	197	菰淵 茂樹		18	1978
138	橋本 喜純		13	1973	198	広井 敬		18	1978
139	高橋 豊		13	1973	199	三上 徹		18	1978
140	佐藤 誠		13	1973	200	周藤 元郎		18	1978
141	山口 哲生		13	1973	201	松浦 雅彦		18	1978
142	植田 益穂		13	1973	202	深澤 行夫		18	1978
143	淵脇		13	1973	203	清水 洋伸		18	1978
144	岡田 安央		14	1974	204	浅尾 仁志		18	1978
145	河口 武透		14	1974	205	大野 明彦		18	1978
146	高橋 淳		14	1974	206	朝井 能明		18	1978
147	黒河 精志		14	1974	207	渡辺 幸彦		18	1978
148	佐藤 弘基		14	1974	208	八代 健司		18	1978
149	榊原 崇		14	1974	209	平井 朗		18	1978
150	常盤 一治		14	1974	210	北岡 正剛		18	1978
151	石井 良徳		14	1974	211	伊藤 泰由		19	1979
152	千葉 晴示		14	1974	212	加藤 和彦		19	1979
153	田中 一彦		14	1974	213	吉江 安則		19	1979
154	井上 信宏		15	1975	214	金子 昭		19	1979
155	岡本 明彦		15	1975	215	小川 健太郎		19	1979
156	喜多嶋 多賀彦		15	1975	216	森		19	1979
157	宮崎 洋志		15	1975	217	神山 英之		19	1979
158	高山 文宏		15	1975	218	鶴宮 修		19	1979
159	佐藤 和良		15	1975	219	渡辺 博史		19	1979
160	若山 幸雄		15	1975	220	藤浪 豊		19	1979
161	植松 美樹		15	1975	221	一方井 志雄		20	1980
162	清水 敏彦		15	1975	222	関場 達也		20	1980
163	石倉 昌紀		15	1975	223	原田 一則		20	1980
164	長塚 義和		15	1975	224	高橋 泰彦		20	1980
165	浜口 直人		15		225	三澤 健一		20	1980
166	忽滑谷 淳		15	1975	226	植田 治久		20	1980
167	井上 勉		16	1976	227	千野 道人		20	1980
168	加藤 郁夫		16	1976	228	早川 英樹		20	1980
169	宮口 修介		16	1976	229	仲野 雅朗		20	1980
170	江口 直之		16	1976	230	藤田 智己		20	1980
171	佐藤 悦郎		16	1976	231	柳沢 清明		20	1980
172	佐藤 昌昭		16	1976	232	鈴木 康之		20	1980
173	山本 晃		16	1976	233	和田 清		20	1980
174	小出 芳弘		16	1976	234	藁谷 弘一		20	1980
175	須崎 賢一		16	1976	235	塩野 義博		21	1981
176	杉山 雅章		16	1976	236	嘉悦 寿		21	1981
177	西本 公洋		16	1976	237	山領 康弘		21	1981
178	長瀬 伸二		16	1976	238	新井 英幸		21	1981
179	田中 誠一		16	1976	239	中園 佳治		21	1981
180	渡辺 真		16	1976	240	中田 昌広		21	1981

項番	氏名	旧姓等	期	入学年度	項番	氏名	旧姓等	期	入学年度
241	中野 喜明		21	1981	301	足立 文孝		31	1991
242	日高 伸二		21	1981	302	末武 照彦		31	1991
243	平野 雅夫		21	1981	303	矢島 雄一		31	1991
244	鈴木 修一		21	1981	304	安藤 滋		32	1992
245	安西 秀彦		22	1982	305	加藤 亮		32	1992
246	三村 芳浩	旧姓:玉利	22	1982	306	守田 和弘		32	1992
247	小池 茂樹		22	1982	307	大塚 洋		32	1992
248	小田中 利成		22	1982	308	吉田 和義		33	1993
249	小林 仁		22	1982	309	寺田 尚弘		33	1993
250	杉山 哲雄		22	1982	310	清水口 誠		33	1993
251	中嶋 友一		22	1982	311	鳥澤 航也		33	1993
252	田中 聡		22	1982	312	蛭田 崇介		33	1993
253	木多 昇平		22	1982	313	保科 法子		33	1993
254	佐藤 浩		23	1983	314	窪寺 将司		34	1994
255	酒井 浩		23	1983	315	渋谷 和俊		34	1994
256	松本 訓		23	1983	316	青木 健一郎		34	1994
257	西谷 孝宏		23	1983	317	片桐 英樹		34	1994
258	千野 友久		23	1983	318	細田 達也		35	1995
259	池田 泰隆		23	1983	319	山崎 博光		35	1995
260	内田 斉		23	1983	320	横山 敦子		35	1995
261	板垣 浩		23	1983	321	渡辺 武史		35	1995
262	保田 光隆		23	1983	322	小笠原 康弘		37	1997
263	柳井 孝之		23	1983	323	佐藤 隆紀		37	1997
264	三澤 健一		23	1983	324	須永 大介		37	1997
265	佐藤 亮一		25	1985	325	野口 智彦		37	1997
266	西崎 典浩		25	1985	326	米田 高志		37	1997
267	大浪 亮一		25	1985	327	福井 勝治		38	1998
268	立花 真介		25	1985	328	伊藤 しずか		39	1999
269	岡田 徹		26	1986	329	河合 宏明		39	1999
270	岩崎 滋		26	1986	330	倉田 光		39	1999
271	佐藤 光浩		26	1986	331	倉持 剛志		39	1999
272	松沼 雅臣		26	1986	332	高木 嘉和		39	1999
273	東方 弘之		26	1986	333	石川 大介		40	2000
274	馬塩 英樹		26	1986	334	加納 裕二		40	2000
275	片岡 佳子		27	1987	335	小玉 剛史		40	2000
276	宮本 健司		27	1987	336	佐藤 貴紀		40	2000
277	松田 圭介		27	1987	337	宮下 覚		40	2000
278	前川 達也		27	1987	338	大野 慶晃		40	2000
279	井戸 志保		28	1988	339	野口 明久		40	2000
280	金谷 淳子		28	1988	340	古賀 政弘		41	2001
281	下山 浩平		28	1988	341	古宮 大輔		41	2001
282	森 敏明		28	1988	342	河崎 典男		41	2001
283	中村 一彦		28	1988	343	森林 毅		41	2001
284	藤本 孝子		28	1988	344	内海 悟志		42	2002
285	福田 尚紀		28	1988	345	鈴木 光彦		42	2002
286	本多 宗之		28	1988	346	中村 明博		42	2002
287	根岸 英樹		29	1989	347	沼 義人		43	2003
288	小川 裕子		29	1989	348	浦山 恒太郎		43	2003
289	松本 秀明		29	1989	349	高橋 宏和		43	2003
290	人見 孝一		29	1989	350	藁毛 裕一		43	2003
291	太田 錦光		29	1989	351	吉井 友紀		44	2004
292	茂木 学		29	1989	352	飯村 浩明		44	2004
293	林 淳一		29	1989	353	貴儀 聡史		44	2004
294	金谷 武志		30	1990	354	茂木 勝俊		45	2005
295	吾郷 健一		30	1990	355	内海 恒亮		45	2005
296	秋田 英毅		30	1990	356	小柳 智寛		45	2005
297	永沢 智路		31	1991	357	天野 正博		45	2005
298	会見 直子		31	1991	358	齋藤 哲平		45	2005
299	柴山 幸康		31	1991	359	青木 英明		45	2005
300	浅見 竹彦		31	1991	360	仁保 陽平		45	2005

項番	氏名	旧姓等	期	入学年度	項番	氏名	旧姓等	期	入学年度
361	河合 智之		46	2006	421	宮島 彩季		53	2013
362	秀野 嘉紀		46	2006	422	伊東 浩志		53	2013
363	西方 淳一		46	2006	423	銭 楽天		53	2013
364	三田村 茂和		46	2006	424	花井 さやか		53	2013
365	安本 豊		46	2006	425	平野 春菜		53	2013
366	山川 拓也		46	2006	426	市原 柚果		54	2014
367	山口 良規		46	2006	427	中村 有希		54	2014
368	石黒 幸介		47	2007	428	川元 佳一郎		54	2014
369	藤田 和幸		47	2007	429	川上 峻太郎		54	2014
370	藤塚 孝輔		47	2007	430	園田 智子		54	2014
371	増倉 隆		47	2007	431	当麻 凌平		54	2014
372	江田 愛		48	2008	432	重久 雄大		54	2014
373	是常 崇		48	2008	433	泉 里佳		54	2014
374	岡崎 拓也		48	2008	434	魚本 祐介		55	2015
375	奥 由輔		48	2008	435	小林 孝平		55	2015
376	小原 裕希		48	2008	436	白須 友季菜		55	2015
377	柿沼 秀幸		48	2008	437	中川 麗奈		55	2015
378	高橋 浩一		48	2008	438	湯本 涼香		55	2015
379	仲田 理恵		48	2008	439	田原 真琴		55	2015
380	青木 佐和		49	2009	440	山口 眞梨萌		55	2015
381	池田 直樹		49	2009	441	飯田 愛実		55	2015
382	石塚 歩美		49	2009	442	神戸 悟		55	2015
383	後藤 一成		49	2009	443	城所 帆昂		55	2015
384	菅岡 貴大		49	2009	444	小川 理紗		56	2016
385	高橋 千咲		49	2009	445	菊田 大輝		56	2016
386	田原 遼		49	2009	446	谷松 希香		56	2016
387	富永 武志		49	2009	447	土生 樹也		56	2016
388	眞壁 亜由美		49	2009	448	山崎 航野		56	2016
389	松山 歩		49	2009	449	宮内 みずほ		57	2017
390	永田 俊介		49	2009	450	柴山 光歩		57	2017
391	丸山 阿弓		49	2009	451	小野田 圭織		57	2017
392	三浦 亮太		49	2009	452	新井 亜美		57	2017
393	吉田 祐太		49	2009	453	梅本 真衣		57	2017
394	杉山 恵理		50	2010	454	小川 実穂		57	2017
395	山崎 禎子		50	2010	455	谷原 侑馬		57	2017
396	箕川 由理佳		50	2010	456	清水 美那子		57	2017
397	長谷部 麻実		50	2010	457	北村 健太郎		58	2018
398	渡辺 信平		50	2010	458	中村 力		58	2018
399	茂呂 亮寛		50	2010	459	猿田 昂		58	2018
400	新井 香織		51	2011	460	平井 萌花		58	2018
401	金丸 峻士		51	2011	461	川野 慎二		58	2018
402	井坂 琢也		51	2011	462	中川 愛加		59	2019
403	山村 和也		51	2011	463	小林 史佳		59	2019
404	小野 智宏		51	2011	464	田沼 彩賀		59	2019
405	鈴木 彬		51	2011	465	神野 拓		59	2019
406	長岡 祐希		51	2011	466	大久保 優		59	2019
407	菊地 健介		52	2012	467	根本野乃子		59	2019
408	佐藤 奨弥		52	2012	468	浅岡草太郎		59	2019
409	竹内 沙樹		52	2012	469	阿部綾乃		59	2019
410	福田 翔太		52	2012	470	上原英愛		60	2020
411	佐藤 将文		52	2012					
412	山口 春菜		52	2012					
413	伊藤 滉佑		52	2012					
414	栗山 真帆		52	2012					
415	石井 秀門		52	2012					
416	竹内 大将		53	2013					
417	中村 康輔		53	2013					
418	川崎 有芽乃		53	2013					
419	黒岩 佑有		53	2013					
420	高橋 真由		53	2013					

【編集後記】

50周年の記念誌を担当し10年が過ぎました。

当然60周年の記念誌も発刊の予定となり今までの経緯から引き受けることにしました。

50周年記念誌で抜けていた資料も確保し、なんとか繋がりは保てたと思います。

定期演奏会の曲目から始まり、パンフレット、部員の方々の紹介、地方公演、ジョイントコンサート等々を含めるとページ数は384と更に膨らみ、PCのメモリー不足による異常停止、再立ち上げで苦勞しました。

ファイルサイズが大きくなり後半の編集ではファイルを2分割しなんとか終わることができホットしております。

記念誌をご覧頂き、皆様方の思い出の一助となれば誠に幸甚です。

最後になりましたが寄稿頂きました諸先輩、部員の方々、および写真等資料の検索の協力を頂きました現役の方々に厚く御礼申し上げます。

2024年 OB/OG 会長 7期 清水正明